

# 瑞穂町 基礎調査報告書

～「第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画」策定に向けて～

平成27年3月

瑞 穂 町



## ◇ 目 次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 第1章 時代の潮流と社会的動向 .....     | 3  |
| 1. 行財政とまちづくり .....        | 3  |
| 2. 住民参画・官民協働の動向 .....     | 8  |
| 3. 公的民間活力と新たなまちづくり .....  | 9  |
| 4. 人口構造の変化 .....          | 10 |
| 5. 持続可能な社会、低炭素社会づくり ..... | 16 |
| 6. 経済等の動向 .....           | 17 |
| 7. 国土デザイン .....           | 20 |
| 8. ICT戦略 .....            | 21 |
| 9. 安全・安心な社会づくり .....      | 22 |
| 10. 教育 .....              | 23 |
| 第2章 瑞穂町の現状と課題 .....       | 27 |
| 1. 人口・世帯 .....            | 27 |
| 2. 土地利用 .....             | 34 |
| 3. 都市基盤（都市施設等） .....      | 38 |
| 4. 生活環境・生活安全 .....        | 50 |
| 5. 産業 .....               | 53 |
| 6. 保健衛生・福祉 .....          | 54 |
| 7. 学校教育 .....             | 67 |
| 8. 文化的資産・社会的活動 .....      | 69 |
| 9. 行財政 .....              | 84 |
| 第3章 関連計画等 .....           | 95 |
| 1. 分野別の計画 .....           | 95 |

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 第4章 人口推計 .....                     | 123 |
| 1. 将来人口推計にあたり .....                | 123 |
| 2. 人口の状況と推計内容 .....                | 126 |
| 3. 将来人口の推計結果 .....                 | 129 |
| 4. 年齢三区分別人口の推計結果 .....             | 131 |
| 5. 世帯数の推計 .....                    | 134 |
| 6. 就業人口の推計 .....                   | 139 |
| 7. 将来人口推計の全体まとめ .....              | 150 |
| 第5章 財政の状況 .....                    | 155 |
| 1. 瑞穂町の収支状況 .....                  | 155 |
| 2. 瑞穂町の歳入状況 .....                  | 159 |
| 3. 瑞穂町の歳出状況 .....                  | 178 |
| 3－②. 瑞穂町の歳出状況（目的別） .....           | 181 |
| 4. 瑞穂町の財政状況 .....                  | 204 |
| 第6章 各種意見 .....                     | 213 |
| 1. 町民提案（まちづくり懇談会、まちづくり女性懇談会） ..... | 213 |
| 2. 箱根ヶ崎駅アンケート調査 .....              | 218 |
| 3. 瑞穂農芸高等学校アンケート調査 .....           | 252 |
| 4. みずほ小・中学生子ども議会 .....             | 268 |
| 5. 町長への手紙 .....                    | 272 |
| 第7章 職員意見 .....                     | 295 |
| 1. 提案された施策・事業等 .....               | 295 |

---

## 第 1 章 時代の潮流と社会的動向

---



## 1. 行財政とまちづくり

### (1) 行財政改革・地方分権化

#### 1) 行財政改革

全国の約 1,800 の地方公共団体の財政を相対的にみると、財政力の弱い市町村が大多数を占めている状況である。

地方財政の財源不足は地方税収等の落込みや減税等により平成 6 年度以降急激に拡大し、平成 15 年度には約 17 兆円に達した。平成 26 年度は、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が一定程度増加するとともに、国の取り組みと歩調を合わせて歳出抑制が図られたものの、社会保障関係費の自然増や公債費が高い水準で推移することなどにより、財源不足は約 11 兆円に達している。

また、地方財政の借入金残高は、減税による減収の補てん、景気対策等のための地方債の増発等により、平成 26 年度末には 200 兆円、対 GDP 比も 40% となり、平成 3 年度から 2.9 倍、130 兆円の増となっている。

こうした状況の中、統一的な基準による地方公会計の整備が進められている。

地方公会計は、これまで、各地方公共団体において財務書類の作成・公表等に取り組まれてきたが、人口減少・少子高齢化が進展している中、財政のマネジメント強化のため、地方公会計を予算編成等に積極的に活用し、地方公共団体の限られた財源を「賢く使う」取り組みを行うことは極めて重要であり、新地方公会計制度として、

1. 資産や債務の正確な把握と管理
2. 財務情報の分かりやすい開示
3. 行政評価・予算編成・決算分析との関係付け
4. 議会における予算や決算審議での利用等

を進めることとなった。

なお、「今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会」により、平成 27 年 1 月 23 日に「統一的な基準による地方公会計マニュアル」が取りまとめられている。

#### 2) 地方分権化

地方分権改革は、平成 5 年の衆参両院における「地方分権の推進に関する決議」から 20 年以上が経過し、この間、国から地方、都道府県から市町村への権限移譲や地方に対する規制緩和（義務付け・枠付けの見直し）など、数多くの具体的な改革が行われてきた。

第 4 次一括法（地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成 26 年法律第 51 号））により、地方分権改革推進委員会の勧告事項については一通り検討・対処を行ったため、地方分権改革は新たなステージを迎えている。

これまでの 20 年に及ぶ国と地方の取り組みを総括するとともに、地方分権改革の今後の進むべき方向を明らかにするため、平成 26 年 6 月 24 日に地方分権改革有識者会議において、「個性を活かし自立した地方をつくる～地方分権改革の総括と展望～」が取りまとめられた。

この取りまとめでは、地方分権改革のミッションとして「個性を活かし自立した地方をつくる」を掲げ、従来からの課題への取り組みに加え、地方の「発意」と「多様性」を重視し、地方に対する権限移譲及び規制緩和に係る改革提案を地方公共団体等から募る「提案募集方式」を導入することとしている。

また、権限移譲については、全国一律に行うことを基本とするが、一律の移譲が難しい場合には、希望する自治体に選択的に移譲する「手挙げ方式」を導入することとしている。

更に、国家戦略特区制度を進化させ、地方の情熱に応じて規制改革を進める「地方創生特区」を設けている。

## 改革の「総括」 ～地方分権の基盤の確立～

第1次分権改革(H7～11):国と地方の関係を上下・主従から対等・協力へ

例:機関委任事務制度の廃止、国の関与の基本ルールの確立

第2次分権改革(H19～):数多くの具体的な改革を実現(地方に対する権限移譲、規制緩和等)

権限移譲等(国→地方 66事項(実施率69%)、都道府県→市町村 113事項(67%)、義務付け・枠付けの見直し(975事項(74%))

## 今後の「展望」 ～新しいステージの改革の取組～

### 改革の使命・目指す姿

#### Mission ミッション

個性を活かし自立した地方をつくる

#### Vision ビジョン

- ・ 行政の質と効率を上げる
- ・ まちの特色と独自性を活かす
- ・ 地域ぐるみで協働する

### 改革の進め方

#### 1 提案募集方式の導入

- ・ 個々の地方公共団体から全国的な制度改正の提案を広く募る方式

#### 2 手挙げ方式の導入

- ・ 個々の団体の発意に応じ選択的に移譲する方式

#### 3 政府の推進体制の整備

- ・ 地方の提案を恒常的に受け止め、スピード感を持って実現を図る体制

#### 4 効果的な情報発信

- ・ SNSの活用、地方の優良事例発信、全国シンポジウムの新規開催など

### 目指すべき方向

- 1 国と地方の役割分担の見直し(権限移譲等)
- 2 地方に対する規制緩和の推進
- 3 地方税財政の充実強化
- 4 重要な政策分野(土地利用等)に関する改革
- 5 改革の成果を実感できる情報発信の展開

### 今後地方に期待すること

#### 1 改革成果の住民への還元

- ・ 地域課題の解決に向け独自の工夫を凝らし、地域を元気にする
- ・ 住民に分かりやすい情報発信に努力

#### 2 住民自治の拡充

- ・ 政策形成過程への参画、協働の推進、地方議会の機能発揮

#### 3 改革提案機能の充実

- ・ 専門性を有する人材の育成、政策法務の強化
- ・ 地方六団体の機能強化

なお、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案」(第5次地方分権一括法案)が平成27年3月20日に閣議決定した。

### 3) 地方自治法における総合計画の位置づけ

長らく長期総合計画を策定する法的根拠であった地方自治法が改正され、新たな長期総合計画の位置づけが模索されている。

地方自治法の一部を改正する法律（平成 23 年法律第 35 号）が平成 23（2011）年 5 月 2 日に公布・平成 23（2011）年 8 月 1 日に施行され、地方自治法第 2 条第 4 項の規定が削除された。

〔地方自治法第 2 条第 4 項の規定〕 ※平成 23 年法律第 35 号により廃止

市町村は、その事務を処理するに当たっては、議会の議決を経てその地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行なうようにしなければならない。

これにより、

- ①策定要件（市町村に基本構想の策定を義務づけること）
- ②手続要件（基本構想の策定は、議会の議決を経ること）
- ③内容要件（基本構想は、地域における総合的かつ計画的な行政運営に資すること）
- ④実行要件（自治体経営は、基本構想に即して行われるべきこと）

の 4 つの規定が廃止されたと理解されているが、基本構想を含む総合計画自体の要否に加え議会議決の要否など、市町村の計画ガバナンスのあり方自体も市町村の責任・裁量で決定すべき事項になったと捉える必要がある。

法改正の経緯や目的であるが、法改正の発端は、平成 19（2007）年 5 月の地方分権改革推進委員会の「地方分権改革推進にあたっての基本的な考え方―地方が主役の国づくり―」（※「基礎自治体優先」「明快、簡素・効率」「自由と責任、自立と連帯」などを地方分権の基本原則として掲げた考え方）において、

○「義務づけ・枠付けの見直しと条例制定権の拡大」の一項目として「個別法令による地方自治体に対する事務の義務づけについて、撤廃・緩和するよう見直し」する方針が決定

○上記を踏まえ、地方分権推進委員会の第一次勧告（平成 20（2008）年 5 月）では、法制的な仕組みの横断的な見直しの中で、「地方自治体に義務づけ・枠付けをしているもののうち、国による義務づけを許容するメルクマール（判断基準）に沿わないものは、原則廃止する」方針の打ち出し

がなされたが、その後、地方分権推進委員会の第三次勧告（平成 21（2009）年 10 月）では「計画の策定及びその手続きの自治体への義務づけ」については廃止又は単なる奨励へ見直すこととされ、地方自治法第 2 条第 4 項の規定廃止が決定された。

これにより、法律による義務に応じた計画策定から、住民本位の計画策定への転換が図られることとなったが、今後は、市町村の自主的な取り組みとしての総合計画に生まれ変わることが求められている。

## (2) 行政評価

行政機関が行う政策の評価に関する法律が平成 19 年に改正され、自治体の行政評価への取り組みが着実に進んでいる。

今後の社会経済情勢を見極めつつ行財政改革を進め、道州制等も視野に入れた広域圏形成の方向性、市町村合併後の、新都市及びその他都市の行財政状況の健全化と住民サービスの向上が求められている。

こうしたことを踏まえ、行政運営と各部分野の施策の推進に対する実効性の高い P D C A（プラン・ドゥ・チェック・アクション）というマネジメントサイクルの手法を使った的確なマネジメントがより一層必要となっている。

また、行政評価の実施にあたっては、地域で暮らす老若男女の住民やまちづくり等の人材・N P O等のほか、各分野の有識者・経験者等の専門家など、内外の第三者の目（確認・指摘）と声（意見・提案）を重視した評価システムづくりが、極めて重要となっており、それらが委員となった行政評価委員会等が設置・開催される事例も増えている。

〔行政評価の導入状況〕

|                | 市区   |         |              |         |        |
|----------------|------|---------|--------------|---------|--------|
|                | 今回調査 |         | 平成22年10月1日現在 |         | 対前回調査比 |
|                | 団体数  | 構成比 (%) | 団体数          | 構成比 (%) |        |
| 既に導入済          | 588  | 82.8    | 554          | 78.1    | 4.7    |
| 試行中            | 35   | 4.9     | 69           | 9.7     | △ 4.8  |
| 検討中（導入予定時期決定）  | 8    | 1.1     | 20           | 2.8     | △ 1.7  |
| 検討中（導入予定時期未定）  | 38   | 5.4     | 55           | 7.8     | △ 2.4  |
| 導入予定なし         | 14   | 2.0     | 11           | 1.6     | 0.4    |
| 過去に実施していたが廃止した | 27   | 3.8     | -            | -       | -      |
| 合計             | 710  |         | 709          |         |        |

|                | 町村   |         |              |         |        |
|----------------|------|---------|--------------|---------|--------|
|                | 今回調査 |         | 平成22年10月1日現在 |         | 対前回調査比 |
|                | 団体数  | 構成比 (%) | 団体数          | 構成比 (%) |        |
| 既に導入済          | 325  | 34.9    | 280          | 29.8    | 5.2    |
| 試行中            | 57   | 6.1     | 97           | 10.3    | △ 4.2  |
| 検討中（導入予定時期決定）  | 11   | 1.2     | 25           | 2.7     | △ 1.5  |
| 検討中（導入予定時期未定）  | 401  | 43.1    | 432          | 45.9    | △ 2.8  |
| 導入予定なし         | 112  | 12.0    | 107          | 11.4    | 0.7    |
| 過去に実施していたが廃止した | 24   | 2.6     | -            | -       | -      |
| 合計             | 930  |         | 941          |         |        |

※今回調査とは、平成 25 年 10 月 1 日現在の調査である。

出典：地方公共団体における行政評価の取組状況（総務省、平成 26 年 3 月 25 日公表）

|                   | 市区町村 (126) |         |
|-------------------|------------|---------|
|                   | 団体数        | 構成比 (%) |
| 評価の必要性に疑問         | 5          | 4.0     |
| 自治体規模が小さく、体制が取れない | 61         | 48.4    |
| 評価手法、基準が未確立       | 52         | 41.3    |
| 職員理解が不十分          | 1          | 0.8     |
| 合併直後のため           | 0          | 0.0     |
| その他               | 7          | 5.6     |

※構成比は四捨五入のため、100.0 にならない。

また、近年評価を行う上でK P I の活用も多くなっている。K P I とは Key Performance Indicator の略である。

重要業績評価指標と訳されているが、目標の達成度合いを計る定量的な指標のことであり目標に向かって政策を推進するあたり、「何を持って進捗とするのか」を定義するために設定される尺度で、現況を指し示す様々な指標の中から、進捗を表現するのに最も適していると思われるものが選択される。

#### 〔K P I のポイント〕

1. 業績評価指標は、曖昧なものではなく具体的なものにすること。
2. 使用する業績評価指標は、戦略と重要成功要因を含む行政運営の状況を十分にカバーするものであること。
3. 使用する業績評価指標は、それぞれ因果関係をもち、バランススコアカードの学習と成長の視点や顧客の視点などにおける努力が業務プロセス、顧客の視点につながり、最終的に財務視点の成功に結びつくものであること。
4. 業績評価指標は、目標達成の責任者にとって現実的な目標の設定であること。
5. 業績を測定・評価するプロセスは、易しく単純なものであること。

なお、後述するが、地方創生法に基づき策定される「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、その成果を計る指標としてK P I の設定が求められている。

### (3) 地域主体のまちづくり（自立性の高い地域形成）

行財政改革による新たな行政運営のあり方を踏まえつつ、下記の視点を重視し、今後の地域のあるべき姿を考え、国と地域が抱える様々な社会的課題の解決のために、各地域が官民総力をあげて（“地域力”を発揮して）主体的にまちづくりを実践していく必要がある。

- ・地域における住民参画・官民協働の仕組み・体制づくり
- ・公的民間活力を活かした、新たなまちづくりの推進
- ・広域行政圏における、周辺の都市とその他の市町村との連携体制の構築
- ・人口構造の変化と長寿福祉社会を踏まえた、より効率的・効果的な地域運営
- ・地域社会における、持続可能な社会・低炭素社会づくりの実践
- ・各地域における官民上げての社会経済の再生
- ・雇用情勢への対応と社会保障の充実→新たな雇用機会の創出、職能・職域の開拓
- ・地域の産業振興、科学技術の発展への寄与
- ・インフラ整備・・・国土ネットワークの充実とコミュニティ・インフラの整備の促進
- ・都市機能の整備・・・大都市圏・地方都市、都市と中山間地との新たな関係の構築
- ・老若男女の誰にとっても安全・安心な社会づくりの実践
- ・男女平等社会の定着に向けたさらなる取り組み
- ・国際化・国際交流の促進・・・グローバルな視点でのローカルな地域づくりの実践

## 2. 住民参画・官民協働の動向

住民参加型の政策策定手法は、パブリック・コメントの外、ワークショップや審議会委員の公募など様々な取り組みが行われている。

しかし、サイレントマジョリティーとも呼ばれる「隠れた多くの潜在的な住民意向」を把握し、その集約した住民の声を分析して政策策定を行うことも重要である。

### (1) 公共事業の構想段階における計画策定への住民参画

社会資本整備において住民参画が重要であるという方向を受けて、国土交通省所管の公共事業の構想段階における住民参加手続きガイドラインが平成 15 年 6 月に策定され、計画策定者からの積極的な情報公開・提供等を行うことにより住民参画を促し、住民・関係者等との協働の下で、事業の公益性及び必要性について適切な判断を行うなど、より良い計画となるよう取り組まれている。

一方、計画づくりにあたっては、社会面・経済面・環境面等の様々な観点から総合的に判断していく必要があるとの認識により、既に計画策定のプロセスをより透明性・公正性の高いものにしていくための先行的な取り組みが、国土交通省の一部事業において実施されており、こうした事例を基に、公共事業の構想段階における計画策定プロセスのあり方について、標準的な考え方を示したガイドラインとして、「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン」が策定されている。

また、事業に先立つ早い段階での環境配慮の取り組みを進めるために、環境省によって「戦略的環境アセスメント導入ガイドライン」が平成 19 年 4 月に策定されており、「公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン」は、社会面・経済面・環境面等の観点から総合的に検討を行うことから、戦略的環境アセスメントを含むとされている。

### (2) 住民参画による官民協働を目指した公共事業の取り組み

既に、自治体の総合計画やマスタープラン等の策定において、住民が参画するワークショップが全国各地で行われ、民意と住民提案を反映した計画が策定されている事例は近年多くなっている。一方、大規模公共事業においては、まだ住民参画による計画策定の事例が少ない中、パブリック・インボルブメント（P I）手法を取り入れた国家的公共事業として、次のような取り組みがある。

### 3. 公的民間活力と新たなまちづくり

国土形成計画にもうたわれている「新たな公」（公共・公益的役割を担う新たな民間主体）として、NPO（非営利団体）やTMO（タウンマネジメントオーガニゼーション＝まちづくり会社）、社会的企業（ソーシャル・エンタープライズ）等が活躍の場・機会を拡大し、様々なテーマ・地域において非営利活動や社会貢献事業に取り組んでいる。

また、欧米に見られるような「グランドワーク」やコミュニティを基盤とした先進的な都市計画やまちづくり事業にならい、地域に根ざした社会資本整備や実践的なまちづくりにおいて、広範な分野・地域の橋渡しや新企画の事業化等のエリアマネジメントとプロジェクトマネジメントを行う、メディエーターと呼ばれる新たな職能を持つ人材・組織が必要となっている。

#### 〔PPPの推進〕

公民が連携して公共サービスの提供を行う方法をPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）と呼び、PFI、指定管理者制度、市場化テスト、公設民営方式、さらに包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシング等も含まれる。

今後の社会資本整備の手法として、財政難などを背景に民間で担えるものは民間にという流れのなかでPPPの活用が注目されているが、「PPP/PFIの抜本改革に向けたアクションプラン」（平成25年6月 民間資金等活用事業推進会議）では、地域における事業機会の創出や効率的なインフラ運営、サービスの向上、民間投資の喚起による経済成長を実現するため、公共施設等運営権方式などについて、集中強化期間・重点分野・数値目標を設定し、アクションプランの事業規模目標（10年間で2～3兆円）を前倒しし、政府一体となって取り組むこととされている。

#### ※Private Finance Initiative

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（PFI法）

## 4. 人口構造の変化

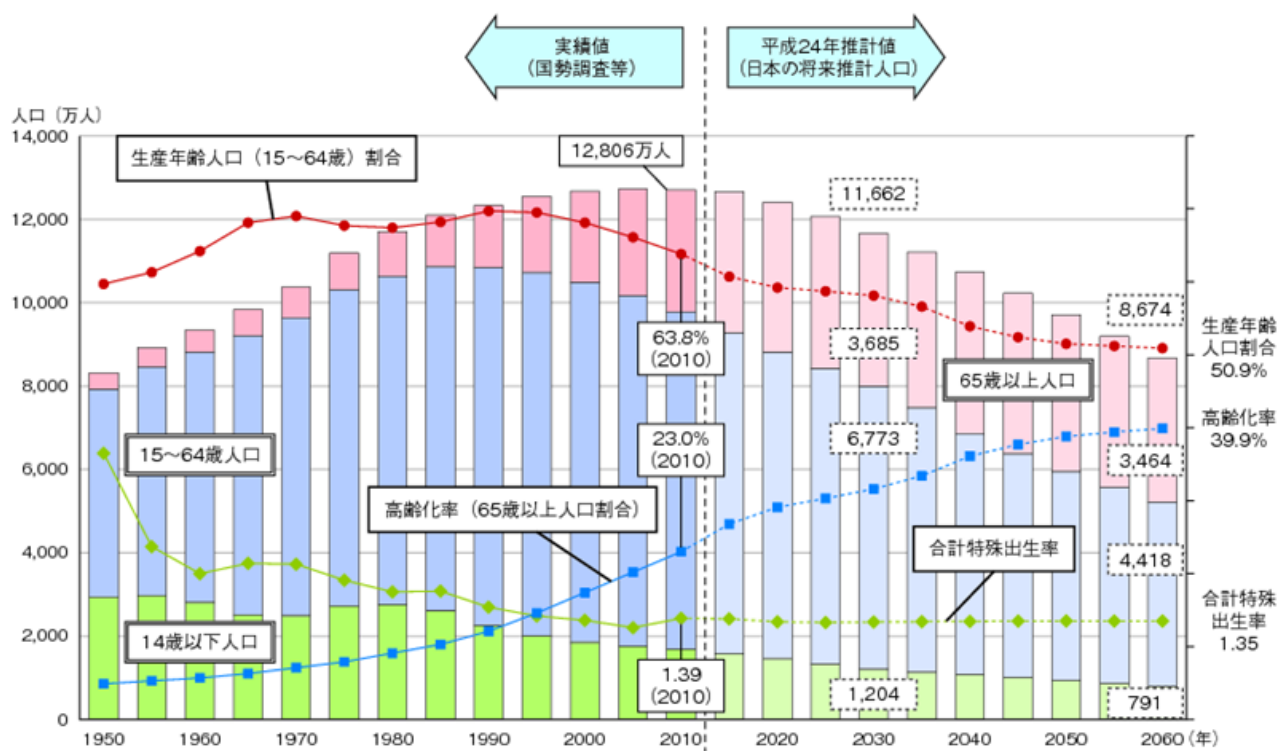
### (1) 人口構造の変化

#### 1) 人口の現状・推定

日本の総人口は、平成 19 (2007) 年をピークに減少に転じており、長期的な人口減少過程に入ることが見込まれている。平成 22 (2010) 年の日本の総人口 (国勢調査) は 1 億 2,806 万人であるが、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」 (出生中位推計 (平成 24 年 1 月推計)) では、平成 60 (2048) 年には 1 億人を割り、平成 72 (2060) 年には 8,674 万人へ減少することが予測されている。

人口減少のピッチは今後加速し、2040 年以降は毎年 100 万人以上減少し、2010 年から 2060 年の半世紀の間に約 3 分の 2 の規模まで縮小する。

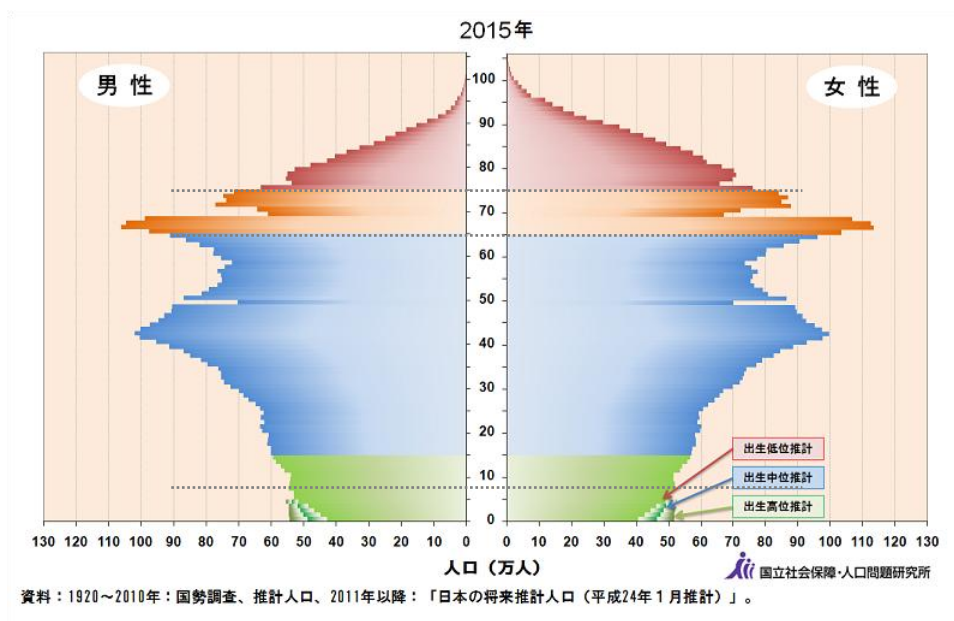
なお、東京都の近年の人口は、平成 22 年の国勢調査では 1,316 万人で、前回調査 (平成 17 年) の 1,258 万人と比べ約 58 万人 (4.6%) 増加し、初めて 1,300 万人を超えた。多摩地域は 419 万人で、前回調査から 3.1% 増加しているものの、増加数、増加率ともに前回調査を下回り、増加率は区部に比べ鈍化している状況にある。



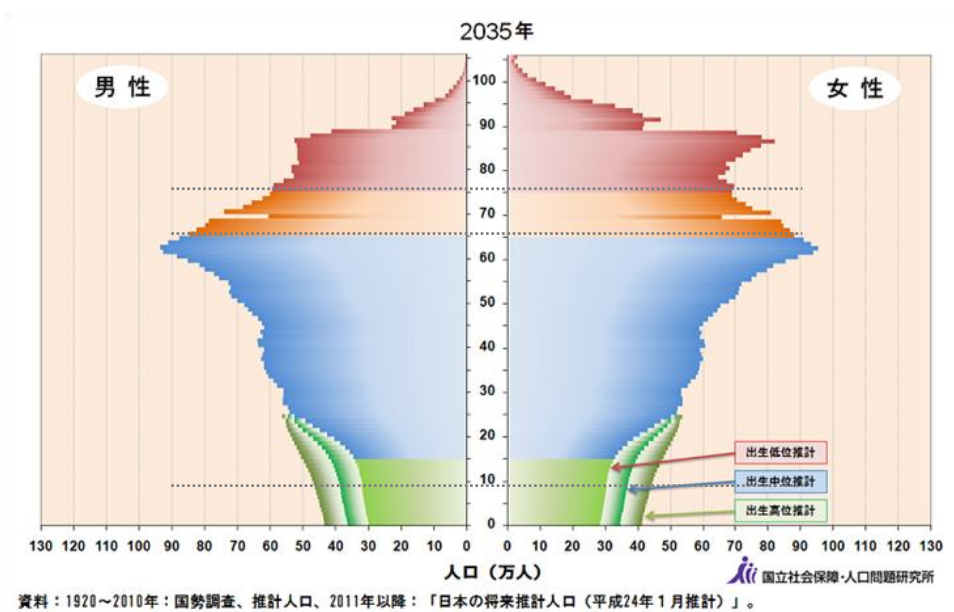
出典：総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成 24 年 1 月推計) : 出生中位・死亡中位推計」 (各年 10 月 1 日現在人口)  
厚生労働省「人口動態統計」

## 2) 人口構造の変化（超高齢・少子化社会）

総人口の減少とともに、人口構成の変化が続いており、人口ピラミッドの形が中高年齢層が厚い「壺型」から「逆ピラミッド」の形状へと変わっていく状況にある。

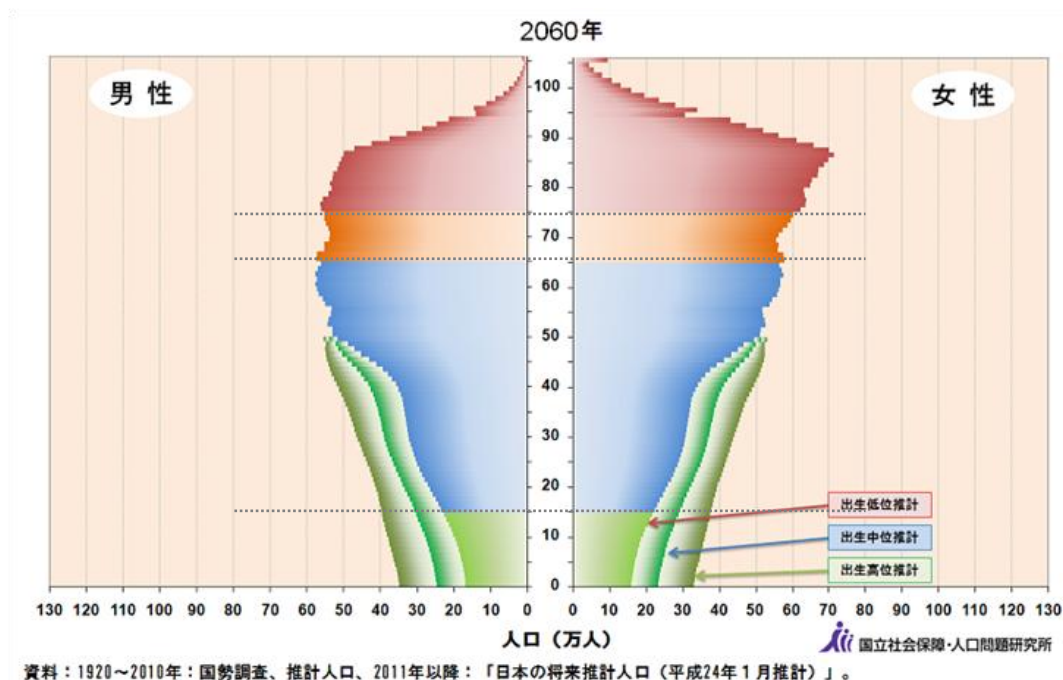


老年人口は2010年の2,948万人から2035年には3,741万人に増加し、その後、2042年の3,878万人をピークに減少傾向に転じるが、総人口の減少により2060年の高齢化率は39.9%まで上昇する。なお、平成25年簡易生命表によると、男性の平均寿命は初めて80歳を超え80.21歳（世界4位）、女性の平均寿命は86.61年（世界1位）となった。



少子化については、出生数の減少が続き、年少人口は2010年の1,684万人から、2035年には1,129万人と、ほぼ3分の2に減少し、2060年には791万人と半減以下が見込まれている。「日本の将来推計人口」では出生率中位の合計特殊出生率（TFR（1人の女性が生涯に産む子供の数））を、2010年の1.39に対し、2060年を1.35とほぼ同程度に見込む条件下でも、1970年代半ば以降、長期にわたりTFRが人口置換水準（2.07）を下回り続けた結果、出産年齢人口の規模が縮小し、出生数が減少する構造となっている。

また、生産年齢人口は既に減少しているが（ピークは1995年の8,717万人）、2010年の8,173万人に比べ2060年は4,418万人とほぼ半減する。この結果、老年従属人口指数（高齢者1人を現役何人で支えるかを表す指標）が上昇し、2010年に2.8人で1人、2060年には1.3人で1人を支える社会となることが予想されている。



### 3) 東京都の高齢化の想定

都内の65歳以上の高齢者は、2010（平成22）年10月1日現在約264万人で、高齢化率は20.4%となっているが、今後、高齢者人口は急速に増加し、高齢化率は、団塊の世代全員が65歳以上を迎える2015（平成27）年には23.1%、その25年後の2040（平成52）年には33.5%に達し、都民の3人に1人が65歳以上の高齢者という極めて高齢化の進んだ社会の到来が見込まれている。

また、2010（平成22）年から2040（平成52）年までの都道府県別の高齢者人口の増加率の上位10位は、沖縄県を除き、大都市圏で占められており、大都市で急速に高齢化が進むことが予測されている。東京都は沖縄県、神奈川県に次いで第3位となっており、高齢者人口の増加率は55.8%となっている。

さらに、世帯構造の変化については三世代同居世帯が減り、単独世帯（1人暮らし世帯）や夫婦のみの世帯が急増すると見込まれている。東京都の65歳以上の1人暮らし世帯数は、年々増加し、2005（平成17）年に約50万人（総世帯に占める割合は8.7%）から、2010（平成22）年には約62万人（11.5%）となり、2030（平成42）年には約90万人（14.2%）にまで達することが予測されている。

## (2) 人口減少・人口構造の変化への対応

### 1) 超高齢化への対応

日本は平均寿命の延伸、高齢者数の増加、高齢化の速度など先行モデルのない“超高齢社会”に向け突き進んでおり、人口構造が大きく変化していく中で、「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」（平成 25 年）に基づく措置として、医療保険制度及び介護保険制度の持続可能性を確保していく「医療介護総合確保推進法」（平成 26 年）等、介護・医療制度の変革に取り組んでいる。

こうした中、地方自治体でも高齢者の健康寿命を伸ばす「健康長寿」を目標に掲げ、さまざまな取り組みが展開されている。また、認知症高齢者の増加や高齢夫婦・一人暮らし高齢者の増加などが見込まれる中で、医療や介護が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続し、その地域で人生の最期を迎えることができる環境を整備していくことが喫緊の課題となり、介護予防や在宅生活期間の増加を重視した健康づくり、多様な主体が参画する生活支援サービスの展開、認知症対策、介護・医療連携の推進など地域包括ケアシステムの構築が求められている。

### 2) 少子化対策

生涯未婚者が 1990 年（平成 2 年）以降急速に増加し、初婚年齢の上昇が続くなど、未婚化・晩婚化が進行する中で、出産・子育てと就労の両立支援や若者の失業対策など、結婚・出産・子育てをしやすい環境を整備することが求められている。

少子化社会は、地域・社会の担い手の減少、現役世代の負担増加、経済や市場の規模の縮小や経済成長率の低下など、個人・地域・企業・国家に至るまで、多大な影響を及ぼすものであり、現在の少子化の状況は、我が国の社会経済の根幹を揺るがしかねない危機的状況にある。

少子化対策として、平成 25 年に子ども・子育て関連 3 法が施行されるとともに、子どもと子育てを応援する社会の実現に向けて、少子化社会対策基本法（平成 15 年）に基づき、平成 27 年に少子化社会対策大綱（平成 27 年 3 月 20 日閣議決定）を策定している。保育所の待機児童の解消、男女の働き方改革（ワークライフバランス）、結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会づくりなど総合的な子育て支援の一層の推進、今後 5 年間の「少子化対策集中取組期間」の位置づけなど、重点的対策を展開することとなっている。

なお、東京都の合計特殊出生率は、平成 17（2005）年に過去最低の 1.00 を記録した後、2013 年の合計特殊出生率は 1.13 となり、緩やかに回復傾向にあるが、依然として低い水準で推移している。

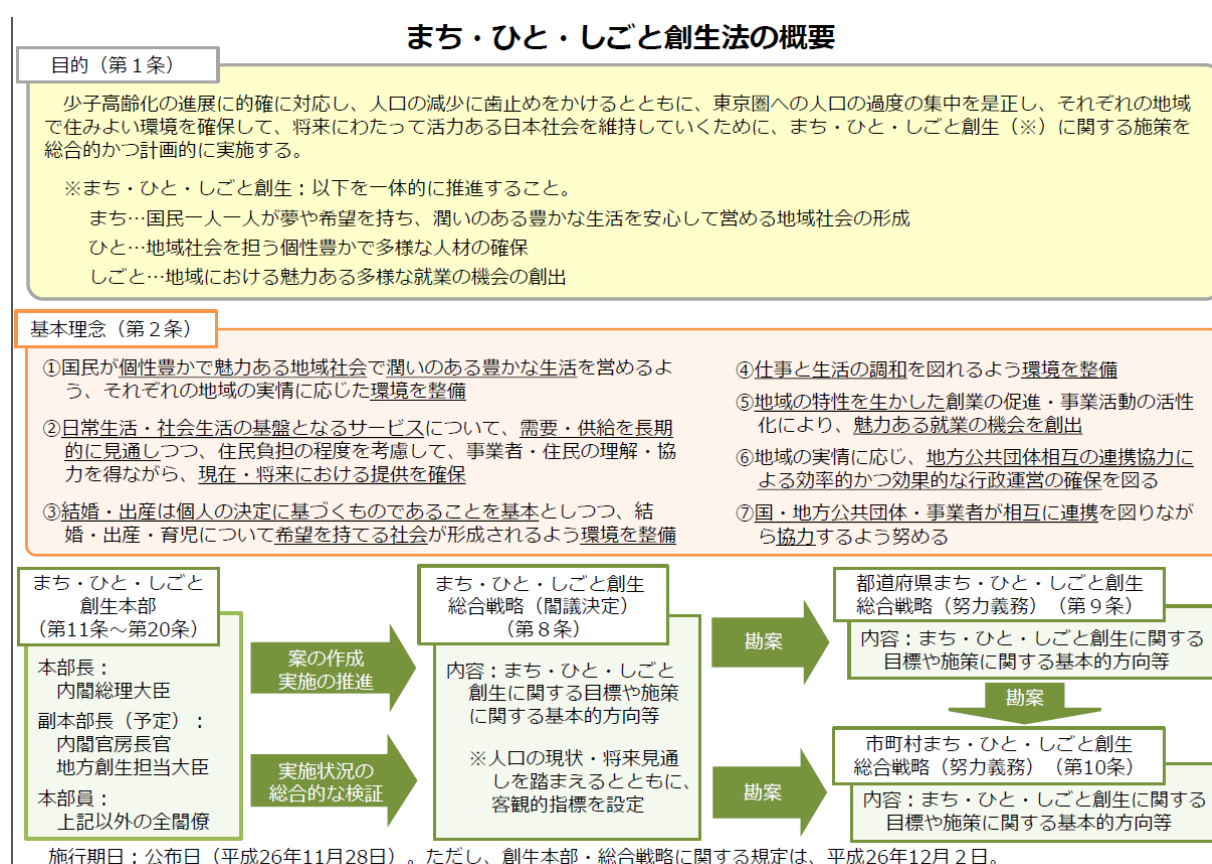
「東京都長期ビジョン」（平成 26 年 12 月）では「福祉先進都市の実現」を掲げ、2017 年度末までに待機児童を解消するとともに、その後も待機児童ゼロの継続、小学生が放課後等を安全・安心に過ごすことができる居場所づくり、安心して子供を産み育てられる社会の実現などの推進が示されている。

### 3) 人口減少への対応

人口減少・人口構造の変容は、市場規模の縮小や海外からの投資の減少、労働力の減少による経済の縮小、世代間格差の拡大、財政・社会保障制度の持続可能性を大きく低下させる懸念があり、地方消滅といった不安も増長させている。

人口急減・超高齢社会を超えて、日本発の成長・発展モデルを構築するため「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（平成26年12月2日閣議決定）を策定し、中長期展望として、2060年に1億人程度の人口を確保し、成長力の確保に取り組むこととしている。

また、「長期ビジョン」を踏まえ、人口減少と地域経済縮小の克服やまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2015～2019年度の5か年）を策定し、地方版総合戦略（各地域の人口動向や産業実態等を踏まえ、2015～2019年度（5か年）の政策目標・施策を策定）の推進を求めている。



なお、人口減少は、過密化の解消による住環境・交通条件の改善、環境負荷の低減、一人当たりの社会資本整備負担の軽減、教育の質的充実など、安定した成熟社会の築く好機とも考えられており、こうしたことを踏まえて、急激な人口減少を抑制する、適切な社会経済システムを構築することが重要となっている。また、コンパクトな都市づくりや密集市街地の改善などに適切に活かす取り組みを推進する必要がある。

#### 4) 空き家等への対策

都市郊外においては、ニュータウンエリアでの急速な高齢化や若年人口の流出、人口規模の縮小による公共交通サービスや小売サービスの存続危機など生活利便性の低下、介護保険財政の悪化、コミュニティの弱体化、空き家問題などへの対応が求められる。

この中で、近年特に注目され始めているのは空き家問題である。総務省の「2013年住宅・土地統計調査（速報集計）」によると、全国の住宅に占める空き家の割合は2013年10月時点で13.5%、820万戸に上り、年々増加している。地方だけでなく、都市部でも空き家は増えており、管理が不十分な空き家が防災や防犯の問題、衛生上の問題、景観の悪化などの諸問題を引き起こしている。

地域住民の安全を考慮して、空き家の管理条例などを制定する自治体が増加傾向にある。

問題のある空き家の適切な管理を強く促し、倒壊の恐れがある空き家を撤去することなどを地方自治体が行いやすくするために、国が法的な根拠を提示して支援する必要があることから、「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が、2015年2月26日に施行されたが、今後の都市問題との関係から、空き家対策の検討がより求められる。

### 空き家等対策の推進に関する特別措置法案の概要

#### 背景

適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用のため対応が必要（1条）  
参考：現在、空き家は全国約757万戸（平成20年）、272の自治体が空き家条例を制定（平成25年10月）

#### 定義

○ 「空き家等」とは、建築物又はこれに附属する工作物であって居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地（立木その他の土地に定着する物を含む。）をいう。ただし、国又は地方公共団体が所有し、又は管理するものを除く。（2条1項）  
○ 「特定空き家等」とは、  
① 倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態  
② 著しく衛生上有害となるおそれのある状態  
③ 適切な管理が行われないことにより著しく景観を損なっている状態  
④ その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にある空き家等をいう。（2条2項）

#### 施策の概要

##### 国による基本指針の策定・市町村による計画の策定等

- 国土交通大臣及び総務大臣は、空き家等に関する施策の基本指針を策定（5条）
- 市町村は、国の基本指針に即した、空き家等対策計画を策定（6条）・協議会を設置（7条）
- 都道府県は、市町村に対して技術的な助言、市町村相互間の連絡調整等必要な援助（8条）

##### 空き家等についての情報収集

- 市町村長は、
  - ・ 法律で規定する限度において、空き家等への立入調査（9条）
  - ・ 空き家等の所有者等を把握するために固定資産税情報の内部利用（10条）等が可能
- 市町村は、空き家等に関するデータベースの整備等を行うよう努力（11条）

##### 空き家等及びその跡地の活用

市町村による空き家等及びその跡地に関する情報の提供その他これらの活用のための対策の実施（13条）

##### 特定空き家等に対する措置

特定空き家等に対しては、除却、修繕、立木竹の伐採等の措置の指導・助言、勧告、命令が可能。さらに、要件が緩和された行政代執行の方法により強制執行が可能。（14条）

##### 財政上の措置及び税制上の措置等

市町村が行う空き家等対策の円滑な実施のために、国及び地方公共団体による空き家等に関する施策の実施に要する費用に対する補助、地方交付税制度の拡充、必要な税制上の措置等（15条）

## 5. 持続可能な社会、低炭素社会づくり

### (1) 地球温暖化対策

地球温暖化の進行は、気候変動により人類の生存基盤及び社会経済の存立基盤を揺るがす重大な脅威であり、環境と経済の両立を図りつつ、切れ目なく地球温暖化対策を推進する必要がある。なお、気象庁の「異常気象レポート 2014」では、このまま地球温暖化が続いた場合、今世紀末には日本の平均気温は最大で 3.5℃ 上昇すると予測している。

政府は現在、2015 年末の気候変動枠組み条約第 21 回締約国会議（C O P 21）に向けて、2030 年時点で 05 年比 30% 以上削減する目標等が検討されているが、温室効果ガスの排出量を左右するエネルギーミックスの策定を進めている段階であり、当面の排出削減目標は決まっていない。

しかし、政府は「当面の地球温暖化対策に関する方針（平成 25 年 3 月 15 日、地球温暖化対策推進本部決定）」において、新たな地球温暖化対策計画の策定に至るまでの間においても、地方公共団体、事業者及び国民には、それぞれの取組状況を踏まえ、京都議定書目標達成計画に掲げられたものと同様以上の取り組みを推進することを求めており、地域においては、地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定の検討が望まれる。

また、エネルギー市場改革としては、電力システム改革も進展しており、電力市場の基盤インフラである送配電ネットワークを発電、小売から分離し、公平にアクセスできるようにするとともに、ガス事業でも小売を全面自由化するなど、ダイナミックなエネルギー市場を創造する方向で動いている。徹底した省エネルギーと、再生可能エネルギーの最大限の導入が求められている。

なお、国では平成 25（2013）年 5 月に、第 3 次循環型社会形成推進基本計画（循環型社会基本計画）」を定め、発生抑制、再使用、再生利用、処分等の対策がバランス良く進展した循環型社会の形成を図ることを目指している。

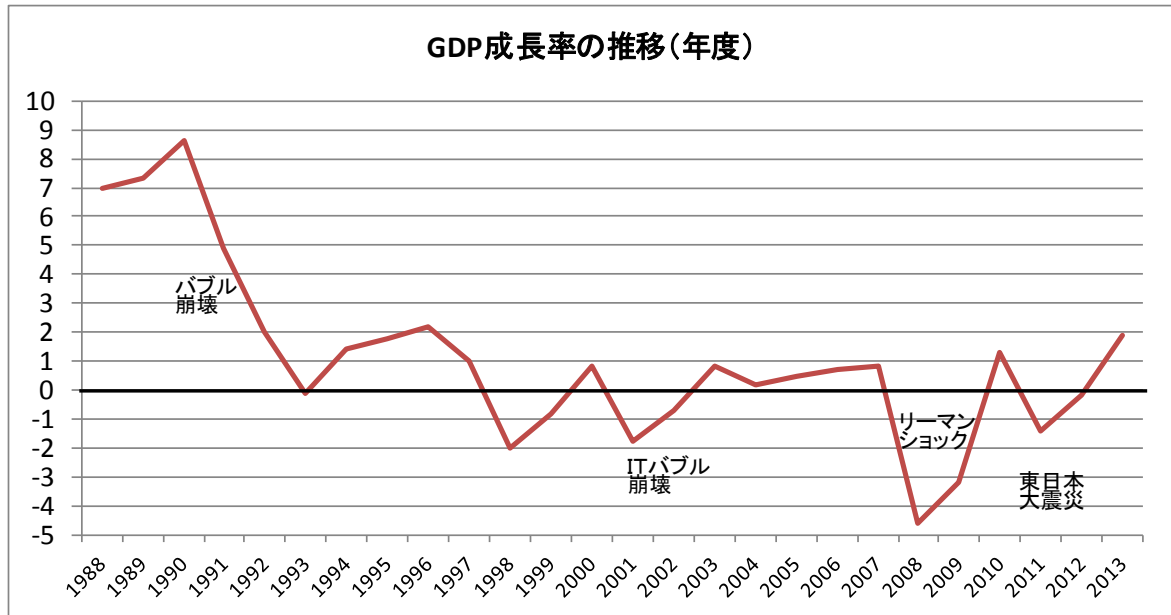
また、平成 24（2012）年 9 月に「生物多様性国家戦略 2012－2020」を掲げ、生物多様性を社会に浸透させ、地域における人と自然の関係を見直し、再構築し、森・里・川・海のつながりを確保し、地球規模の視野を持って行動することを目指している。

豊かな自然環境に恵まれた瑞穂町においても、地球規模での環境保全や循環型社会の形成に寄与する取組みを進めることが求められており、その一つとして、田園環境整備マスタープランにより、農村地域の環境保全の基本方針や地域の整備計画等を定める予定となっている。

## 6. 経済等の動向

### (1) 経済動向

バブル経済崩壊後の日本経済は低成長を続け、1991～2011年度は「失われた20年」（平均実質GDP成長率0.8%）と位置付けられている。近年では2008年のリーマンショックを契機とする世界経済の減速等もあり、円高とデフレの悪循環が継続した。また、平成23（2011）年3月の東日本大震災や欧州の債務危機など内外の様々なショックに見舞われ、個人消費や企業の設備投資の減少を招くなど、国内の経済は停滞感が増し、経済及び生活に対して大きな影響を及ぼした。



その後、平成24（2012）年秋以降の大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略や「量的・質的金融緩和」の導入により株価上昇や過度な円高の是正等もあり、実質GDP成長率が2012年以降プラス成長となり、企業の内部留保は急増している。2014年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もあったが、消費税率10%への引上げを延期し平成29年4月からの実施となり、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、緩やかな回復基調が期待されている。

一方、近年の経済財政を概観すると、社会保障等財政の持続可能性や巨額な政府債務残高の懸念、非正規雇用の増大を含む実質賃金の減少による消費支出の低迷、新興国との価格競争や国内産業空洞化など課題を抱えている。

今後、安定した経済成長のため、医療・介護分野等の国内潜在需要の掘り起こし、輸出及び企業の海外展開支援による海外需要の取り込み、法人税率の引き下げなど国際競争力の向上、新たな事業創出や既存産業の成長等による産業の新陳代謝の促進、老朽化した社会資本の更新など公共投資の維持等の必要性が指摘されている。

地域においては経済活力の維持・増進を図るため、身近な生活を支える商店街の活性化や中小零細企業や新規創業の支援、都心部との近接性を生かした企業立地の促進、地域資源を活用した産業振興など経済基盤の再生を積極的に進める必要がある。

## (2) 雇用情勢等

非正規労働者数は増加傾向が続き、平成 26 年 11 月（2014）年において、初めて 2,000 万人を超え 2,012 万人（雇用者全体の約 38%）を占め、正規雇用者との経済格差などが問題となっている。また、若者の非正規労働者割合は依然として高いものの、女性や高齢者の増加が目立っている。

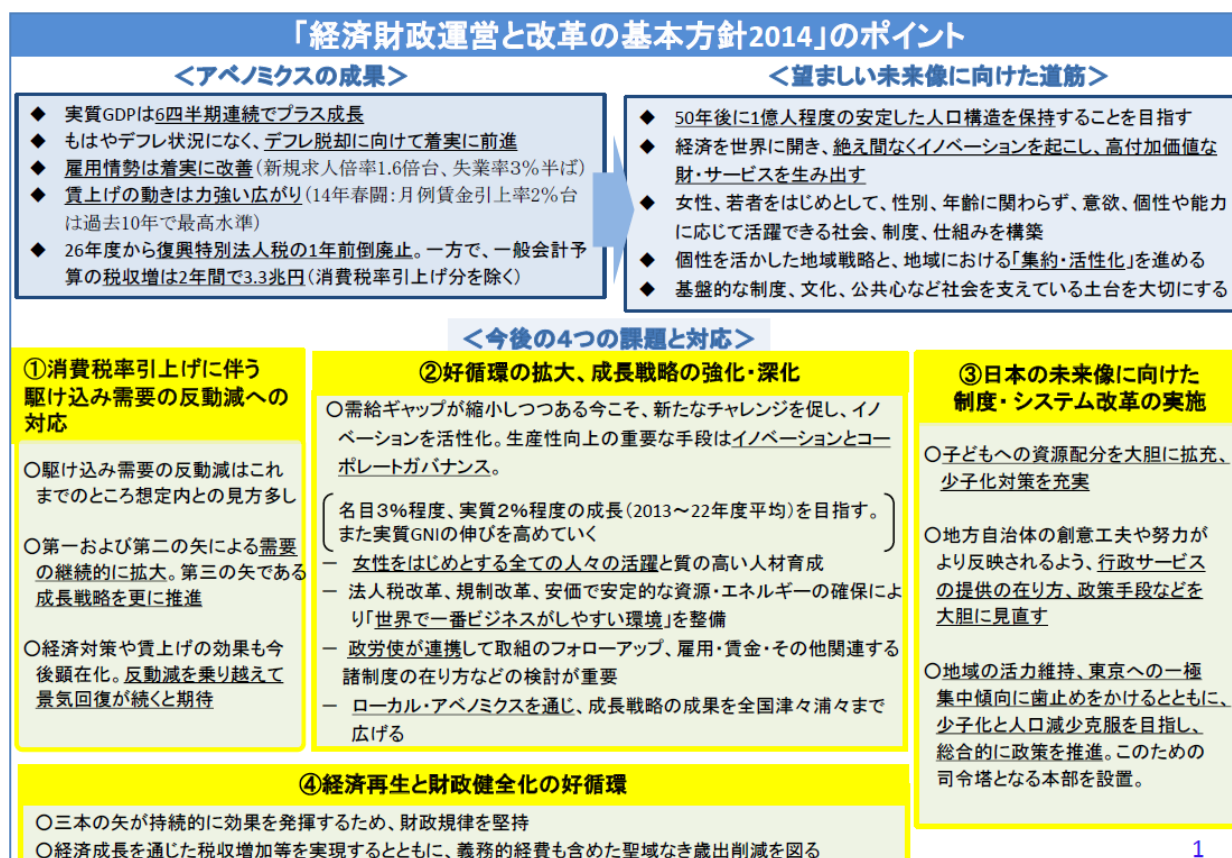
完全失業率は 2000 年代には 5 % 台まで上昇していたが、平成 26（2014）年には 3.6 % と低下しつつあり、また、平成 26（2014）年の有効求人倍率は、前年比で 0.16 ポイント上昇し 1.09 倍となった。1.0 倍を上回ったのは 2007 年の以来 7 年ぶりである。

今後、働き方の改革（多様な就業形態、ジョブ型労働市場の構築、ワーク・ライフ・バランスの実現等）、若者の雇用の安定、女性・高齢者の就業促進などが求められている。同時に平成 27 年 4 月から始まる生活困窮者支援制度などを含む相談支援の促進が必要となる。

なお、労働力人口は既に減少に転じており、団塊の世代の引退に加え、バブル崩壊後の長期間において若年労働力を十分に採用してこなかったこと等により、今後、技能の継承や人材確保のための対応を迫られる企業も増加することが予想される。

## (3) 経済財政運営と改革の方針

経済財政諮問会議において「選択する未来」委員会を設置し、今後半世紀先を見据え、持続的な成長・発展のための課題とその克服に向けた対応を検討し、「経済財政運営と改革の基本方針 2014」（骨太の方針）」を閣議決定（平成 26 年 6 月）している。



また、新たな成長戦略として「日本再興戦略」が策定されている。

## 「日本再興戦略」改訂2014の概要

### 改訂の基本的考え方

- この1年間、「3本の矢」によってもたらされた変化を一過性のものに終わらせず、経済の好循環を引き続き回転させていく。
- そのため、日本の「稼ぐ力＝収益力」を強化。同時に、「日本再興戦略」で残された課題（働き方、医療、農業等）にも対応。
- デフレ状況から脱却しつつある今こそラストチャンス。企業経営者や国民一人一人に、具体的な行動を促していく。

### 1. 日本の「稼ぐ力」を取り戻す **改革に向けての10の挑戦**

#### 「企業が変わる」～「稼ぐ力」の強化

- ①《コーポレートガバナンスの強化》  
- コーポレートガバナンス・コードの策定
- ②《公的・準公的資金の運用の在り方の見直し》  
- GPIFの基本ポートフォリオ、ガバナンス体制の見直し
- ③《産業の新陳代謝とベンチャーの加速、成長資金の供給促進》  
- 大企業を巻き込んだ支援、政府調達への参入促進、Iqity等の供給

#### 「国を変える」

- ④《成長志向型の法人税改革》  
- 数年で法人実効税率を20%台まで引き下げることを目指す
- ⑤《イノベーションの推進とロボット革命》  
- 革新的な技術からビジネスを生み出すナショナルシステム  
- ロボットによる社会的課題の解決と新たな産業革命

### 2. 担い手を生み出す～女性の活躍促進と働き方改革

#### ⑥ 女性の更なる活躍促進

- 学童保育の拡充
- 女性就労に中立的な税・社会保障制度等の実現

#### ⑦ 働き方の改革

- 働き過ぎ防止のための取組強化
- 時間ではなく成果で評価される制度への改革
- 多様な正社員の普及・拡大
- 予見可能性の高い紛争解決システムの構築

#### ⑧ 外国人材の活用

- 外国人技能実習制度の見直し
- 製造業における海外子会社従業員の受入れ
- 特区における家事支援人材の受入れ
- 介護分野における外国人留学生の活躍

### 3. 新たな成長エンジンと地域の支え手となる産業の育成

#### ⑨ 攻めの農林水産業の展開

- 農業委員会・農業生産法人・農業協同組合の一体的改革
- 酪農の流通チャネル多様化
- 国内外とのバリューチェーンの連結（6次産業化、輸出の促進）

#### ⑩ 健康産業の活性化と質の高いヘルスケアサービスの提供

- 非営利ホールディングカンパニー型法人制度（仮）の創設
- 個人への健康・予防インセンティブの付与
- 保険外併用療養費制度の大幅拡大

## 成長の成果の全国波及

#### 地域活性化／中堅・中小企業・小規模事業者の革新

- 地域活性化施策をワンパッケージで実現するプラットフォームの構築
- 中堅・中小企業・小規模事業者によるふるさと名物応援と戦略産業の育成
- 地域ぐるみの農業の6次産業化、酪農家の創意工夫、魅力ある観光地域づくり
- PPP/PFIを活用したインフラ運営の実現

#### 地域の経済構造改革

- 都市機能や産業・雇用の集約・集積とネットワーク化
- 東京への人口流出の抑制
- ⇒ 司令塔となる本部の設置、政府一体の推進体制の構築

#### 更なる成長に向けた対応

実現し進化する戦略／経済の好循環のための取組の継続／改革への集中的取組み（国家戦略特区の強化等）

## 7. 国土デザイン

国は、2050 年を見据え、未来を切り開いていくための国土づくりの理念・考え方を示す「国土のグランドデザイン 2050～対流促進型国土の形成～」を策定した。その中で、基本的考え方として地域構造をコンパクトとネットワークという考え方でつくり上げることが掲げている。

〔コンパクトシティの位置づけ〕

### 経済財政運営と改革の基本方針（平成25年6月14日閣議決定）

（骨太の方針）

（都市再生・まちづくり、地域活性化等）

人口減少や高齢化が進展する地方都市においては、上記の連携を活かし、民間の知恵や資金を活用しつつ、それぞれの地域戦略に基づき、コンパクト・シティやスマート・シティを実現・拡大するとともに、公共交通の充実や高齢者等が安心して暮らせる住宅の整備等を行う。

### 日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）

（成長戦略）

#### 5. 立地競争力の更なる強化

##### ○コンパクトシティの実現

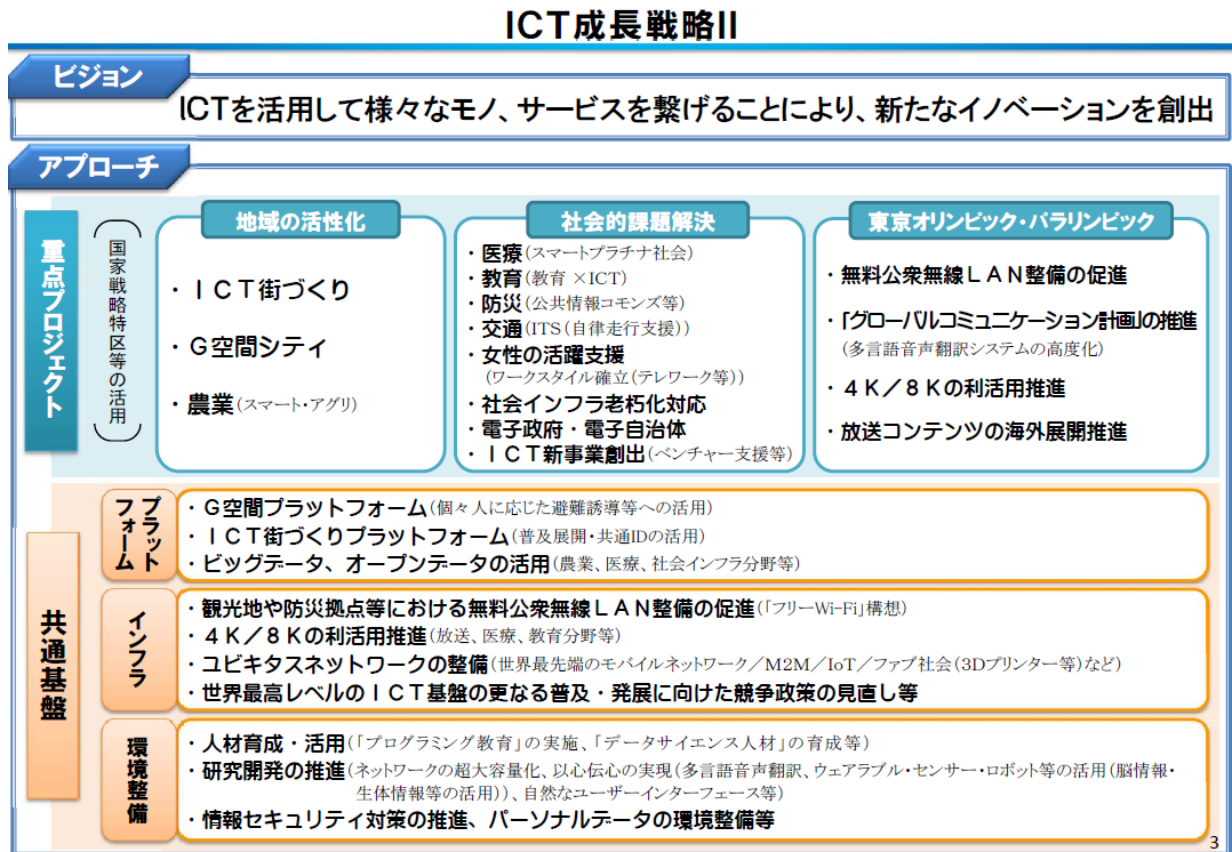
- ・本年中に都市再構築戦略を策定し、地方都市におけるコンパクトシティの実現に向けて、支援措置や土地利用制度との組合せによる民間を活用した住居や生活機能の街なかへの誘導、空き地の集約化、空きビル等の活用推進のための制度構築や市役所、学校跡地等の公的不動産の有効活用の推進など民間主導による「身の丈に合った再整備」、来訪型の都市型産業の立地を促進することにより、都市構造のリノベーションを推進する。
- ・空き店舗の流動化を促す新たな仕組み等による投資や企業の喚起、合併市も含む小規模な都市等での取組等を通じ、民間投資の喚起を軸とする中心市街地活性化を図る。

なお、平成 26（2014）年 5 月に行われた都市再生特別措置法の改正では、都市の集約を進めるため「立地適性化計画」の策定を通じてまちなかへの機能立地を誘導する仕組みが導入され、その他にも、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、中心市街地活性化に関する法律、地方自治法の改正等が行われている。これらは、「歩いて暮らせる」「商業や介護、子育てなど生活に必要なサービスを受けやすい」「安心して住める」といった生活の質の持続的な確保を目指している。

現在、我が国の社会資本の多くが建設後 30～50 年を経過しており、今後、その維持と更新に多額の経費を要することが見込まれ、地方公共団体が所有する全ての公共施設等を対象に、地域の実情に応じて、総合的かつ計画的に管理する計画「公共施設等総合管理計画」の策定が求められている。

## 8. ICT戦略

国が掲げる「スマート・ジャパン ICT戦略」（2014 年 6 月）により様々な取り組みが進められている。地方自治体においては、平成 27 年 10 月の社会保障・税番号（マイナンバー）制度開始をはじめ、クラウド技術の進展、オープンデータの活用などにより、安全・安心分野、医療・介護等分野を中心に「ICTを活用した街づくり」など新たな ICT 戦略が求められるとともに、個人情報等を的確に守る情報セキュリティシステムがますます重要となっている。



### 〔マイナンバー社会保障・税番号制度〕

マイナンバーは、住民票を有する全ての人に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものである。平成 27 年 10 月から国民一人ひとりにマイナンバーが通知されるが、これにより、今後行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤として、3つの期待される効果が上げられている。

1つ目は、所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防止するとともに、困窮者に対するきめ細かな支援を行えるようになる。(公平・公正な社会の実現)

2つ目は、添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、国民の負担が軽減される。また、行政機関が持っている自分の情報を確認したり、行政機関から様々なサービスの知らせを受け取ったりできるようになる。(国民の利便性の向上)

3つ目は、行政機関や地方公共団体などで、様々な情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減される。複数の業務の間での連携が進み、作業の重複などの無駄が削減されるようになる。(行政の効率化)

## 9. 安全・安心な社会づくり

安全・安心な社会づくりは、すべての生活者・経営者、すべての分野・地域・事業にとってその活動を維持・発展するための安定的な基盤を形成することであり、この基盤が脆弱である社会は、健全な経済社会と人々の快適な生活を創り出さないとされている。

少子化や高齢化の進展を踏まえ、子ども・女性・高齢者・障がい者など身を守る力の弱い人たちを事故・犯罪・災害から守る官民協働の取り組みを強化する必要があるとともに、事業不振・雇用不安・過労・病苦等による自殺や独居老人の孤独死を防ぎ、一度の人生を安心して送り続けるための、暮らしと命を守るセーフティネットづくりが急がれている。

### (1) 地域社会の安全の現状

#### 1) 交通安全

道路交通法の強化による厳罰化と安全講習の充実が図られているが、幼い命が犠牲、悪質な飲酒運転が後を絶たない現状とともに、高齢者の運転による事故、高齢者が被害の事故の増加が問題となっている。

また、環境政策や福祉政策等とリンクした、歩いて暮らせるまちづくり、自転車利用の増大への対応などが必要となっている。

#### 2) 治安

##### ①犯罪発生状況・検挙率

高齢者をねらう巧妙な詐欺事件の多発が後を絶たないなど、高齢化に伴う犯罪の誘発やネットを利用した多様な手口などに対応した、地域の監視・取り締まり対策の強化とともに世界に誇る検挙率の回復が急がれている。

##### ②犯罪対策の方向

犯罪弱者の保護強化、自主防犯組織の増大、防犯ボランティアやNPOの活躍が見られ、そのより一層の展開への支援・協力を図り、地域住民の目による、子供や高齢者等の見守りのための活動を官民協働で促進することが重要となっている。

また、地域社会における外部監視カメラの設置について、その是非を国内外の事例や国民・住民意識などを参考に検討していくことが必要であるとされている。

#### 3) 防災・減災

東日本大震災を踏まえた法制上の課題のうち、緊急を要するものについては、災害対策基本法等の一部を改正する法律として「第1弾」改正（平成24年6月公布）、続いて「第2弾」改正が平成25年6月公布された。「減災」の考え方等、災害対策の基本理念を明確化することをはじめ、大規模広域な災害に対する即応力の強化、広域応援・受援体制、安全な避難（緊急避難場所の指定、避難行動要支援者の避難対策の推進）等を定めるとともに、教訓伝承、防災教育の強化や多様な主体の参画による地域の防災力の向上等が求められている。

地方公共団体では、避難勧告等の発令基準の明確化、タイムライン（防災行動計画）やBCP（事業継続計画）等をあらかじめ定めておくなどが取り組まれている。

なお、政府の地震調査研究推進本部によると、南関東を震源域とするマグニチュード7クラスの首都直下地震が、今後30年以内に約70%という高い確率で発生すると予測されている。

## 10. 教育

平成 18（2006）年 12 月に新しい教育基本法が成立し、これまでの教育基本法が掲げてきた普遍的な理念は継承しつつ、公共の精神など、日本人が持っていた規範意識を大切にすることや、それらを醸成してきた伝統と文化を尊重することなど、今日極めて重要と考えられる理念が明確にされた。

また、教育に関する重要な事項として、生涯学習の理念、家庭教育、幼児期の教育、学校・家庭・地域の連携協力などが新たに規定された。

その上で、平成 18（2006）年 10 月には、21 世紀にふさわしい教育体制を構築し、教育の再生を図っていくことを目的として「教育再生会議」が設置され、社会総がかりで教育再生を図るための方策の検討が行われたが、その結果、児童生徒に対する毅然としたいじめへの対応が強化されたほか、全国的な学力調査が、平成 19（2007）年度より約 40 年ぶりに実施されることとなった。

また、学力の向上、徳育の充実、大学・大学院の改革、教育財政の在り方や、小中一貫教育の推進など「6－3－3－4 制」の弾力化や英語教育の改革、現場の自主性を活かしたシステム、子ども、若者、家庭への総合的な支援なども進められることとなった。

平成 25（2013）年には、教育再生実行会議において、地方教育行政の権限と責任の明確化、国・都道府県・市町村の役割の明確化と権限の見直し、地方教育行政や学校運営に対する地域住民の意向の適切な反映が示され教育委員会の抜本的な改革が進められることとなった。

また、初等教育（小中学校）においては教育の情報化がさらに進められ、教育現場での大きな変化が訪れようとしている。

平成 25 年 6 月に第 2 期の「教育振興基本計画」が閣議決定され、「自立・協働・創造に向けた一人一人の主体的な学び」の必要性が示され、その実現に向けた生涯学習社会の構築が求められている。

### 〔第 2 期教育振興基本計画の概要〕

#### 第 1 部

我が国の危機的な状況を回避するための社会の方向性として「自立・協働・創造モデルとしての生涯学習社会の構築」を掲げ、この実現に向けた教育の方向性として、以下の 4 つの基本的方向性が打ち出されている。

1. 社会を生き抜く力の養成 ～多様で変化の激しい社会での個人の自立と協働～
2. 未来への飛躍を実現する人材の養成 ～変化や新たな価値を主導・創造し、社会の各分野を牽引（けんいん）していく人材～
3. 学びのセーフティネットの構築 ～誰もがアクセスできる多様な学習機会を～
4. 絆（きずな）づくりと活力あるコミュニティの形成 ～社会が人を育み、人が社会をつくる好循環～

#### 第 2 部

4 つの基本的方向性に基づく 8 つの成果目標と 30 の基本施策を掲げ、「4 つのビジョン、8 つのミッション、30 のアクション」として体系的に整理されている。

#### 第 3 部

各施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、的確な情報の発信と国民の意見等の把握や反映、計画の進捗状況の点検及び見直しの必要性について記載されている。

〔第２期教育振興基本計画のポイント〕

- 第１期計画が学校段階等の縦割りで施策等を整理していたのに対して、第２期計画では、各学校間や、学校教育と職業生活等との円滑な接続を重視し、「社会を生き抜く力の養成」など、生涯の各段階を貫く教育の方向性を掲げた。
- 検証改善サイクルの実現に向けて、第１期計画では必ずしも十分とは言えなかった成果目標・指標をできる限り明確に掲げた。
- 少子化・高齢化、グローバル化など、我が国が直面する危機的な状況を踏まえ、将来の社会のあるべき姿を描きつつ、その実現に必要な施策を体系的に整理した。

---

## 第 2 章 瑞穂町の現状と課題

---



## 1. 人口・世帯

### (1) 人口

#### 1) 総人口の推移

国勢調査による人口の推移を見ると、瑞穂町の総人口は、平成 17 年まで増加傾向を示してきたが平成 22 年には微減している。一方、瑞穂町の住民基本台帳を見ると、総人口は平成 16 年から減少傾向にあったが、平成 26 年 1 月 1 日現在の人口は 33,904 人となっている。

#### 2) 年齢階層別人口の推移

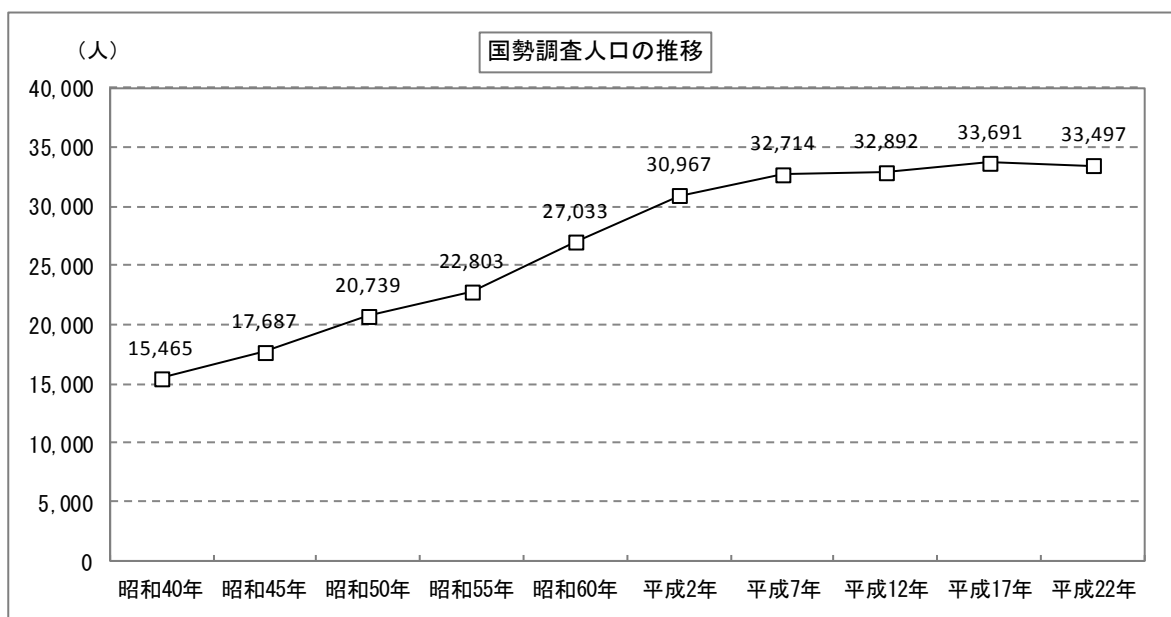
瑞穂町の、平成 17 年から平成 26 年までの年齢階層別人口の推移（住民基本台帳）をみると、老年人口比率が毎年高くなる傾向にあり、平成 26 年には 23.53%となっている。一方、年少人口比率は毎年低くなっており、平成 19 年に 15%を切って平成 26 年は 12.97%となっている。また、生産年齢人口比率も毎年低くなる傾向にあり、平成 26 年は 63.50%となっている。

平成 26 年 1 月 1 日現在の多摩地域における年齢階層別の人口比率を比較すると、瑞穂町の年少人口比率は、多摩市町村総計の平均を上回っており、全市町村の中で 11 位と高くなっているが、生産年齢人口比率は多摩市町村総計の平均を下回っており、全市町村の中で 18 位と低くなっている。また、老年人口比率は、多摩市町村総計の平均を上回っており、全市町村の中で 12 位となっている。

#### ■国勢調査結果にみる総人口の推移（昭和 40 年～平成 22 年）

|        | 昭和 40 年 | 昭和 45 年 | 昭和 50 年 | 昭和 55 年 | 昭和 60 年 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総人口（人） | 15,465  | 17,687  | 20,739  | 22,803  | 27,033  |

|        | 平成 2 年 | 平成 7 年 | 平成 12 年 | 平成 17 年 | 平成 22 年 |
|--------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 総人口（人） | 30,967 | 32,714 | 32,892  | 33,691  | 33,497  |



■住民基本台帳にみる瑞穂町の年齢階層別人口の推移

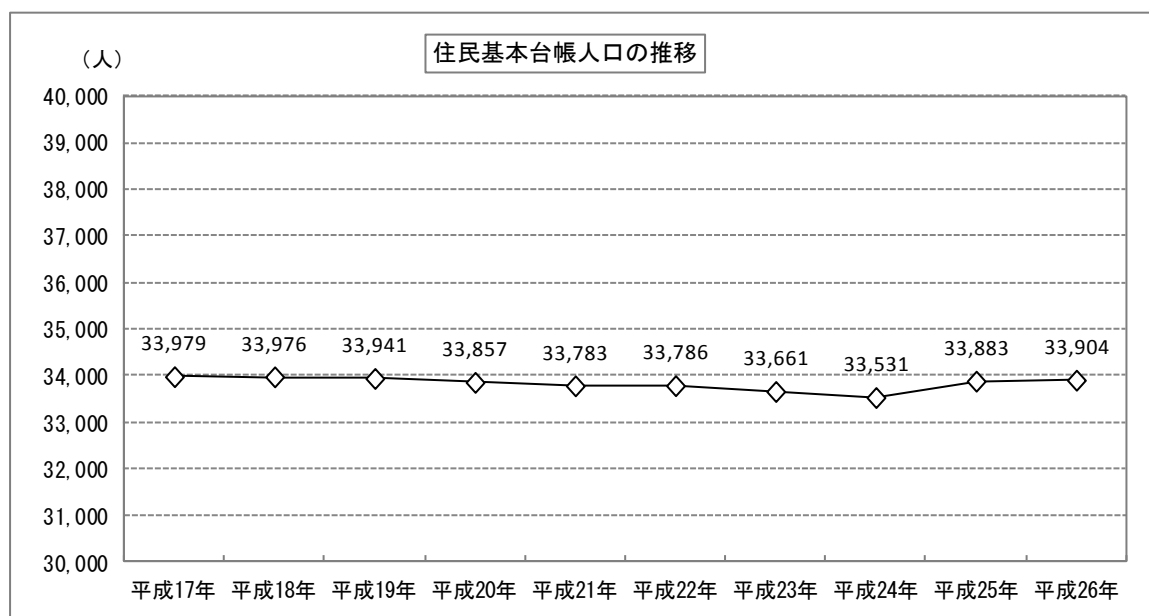
(単位:人)

|                | 平成 17 年 | 平成 18 年 | 平成 19 年 | 平成 20 年 | 平成 21 年 |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総人口(人口)        | 33,979  | 33,976  | 33,941  | 33,857  | 33,783  |
| 増減(前年比)        | △46     | △3      | △35     | △84     | △74     |
| 年少人口(14歳以下)    | 5,213   | 5,148   | 5,067   | 4,964   | 4,867   |
| 人口増減(前年比)      | △35     | △65     | △81     | △103    | △97     |
| 年少人口比率         | 15.34%  | 15.15%  | 14.93%  | 14.66%  | 14.41%  |
| 生産年齢人口(15～64歳) | 23,481  | 23,250  | 22,998  | 22,726  | 22,429  |
| 人口増減(前年比)      | △225    | △231    | △252    | △272    | △297    |
| 生産年齢人口比率       | 69.10%  | 68.43%  | 67.76%  | 67.12%  | 66.39%  |
| 老年人口(65歳以上)    | 5,285   | 5,578   | 5,876   | 6,167   | 6,487   |
| 人口増減(前年比)      | 214     | 293     | 298     | 291     | 320     |
| 高齢者人口比率(高齢化率)  | 15.55%  | 16.42%  | 17.31%  | 18.22%  | 19.20%  |

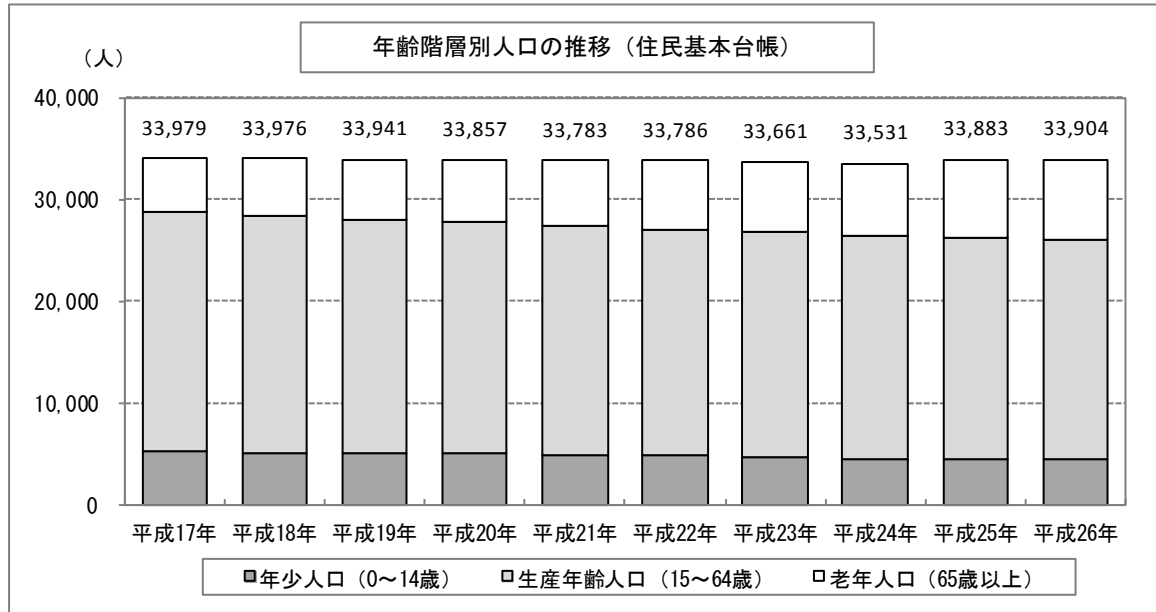
(単位:人)

|                | 平成 22 年 | 平成 23 年 | 平成 24 年 | 平成 25 年 | 平成 26 年 |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総人口(人口)        | 33,786  | 33,661  | 33,531  | 33,883  | 33,904  |
| 増減(前年比)        | 3       | △125    | △130    | 352     | 21      |
| 年少人口(14歳以下)    | 4,777   | 4,676   | 4,557   | 4,470   | 4,396   |
| 人口増減(前年比)      | △90     | △101    | △119    | △87     | △74     |
| 年少人口比率         | 14.14%  | 13.89%  | 13.59%  | 13.19%  | 12.97%  |
| 生産年齢人口(15～64歳) | 22,210  | 22,049  | 21,823  | 21,832  | 21,531  |
| 人口増減(前年比)      | △219    | △161    | △226    | 9       | △301    |
| 生産年齢人口比率       | 65.74%  | 65.50%  | 65.08%  | 64.43%  | 63.51%  |
| 老年人口(65歳以上)    | 6,799   | 6,936   | 7,151   | 7,581   | 7,977   |
| 人口増減(前年比)      | 312     | 137     | 215     | 430     | 396     |
| 高齢者人口比率(高齢化率)  | 20.12%  | 20.61%  | 21.33%  | 22.37%  | 23.53%  |

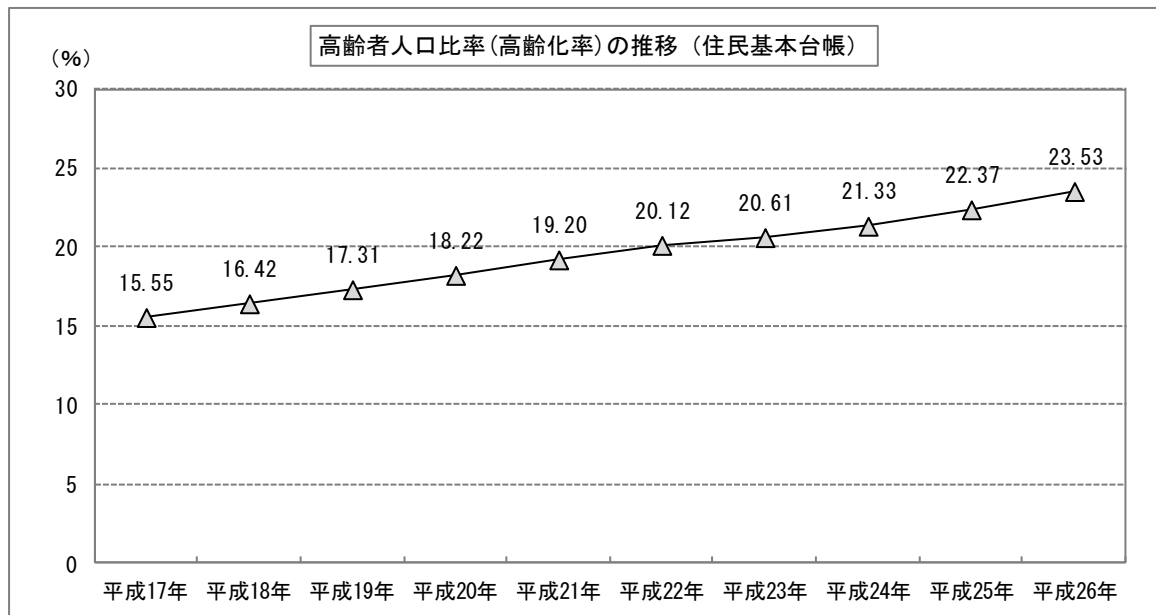
住民基本台帳(各年1月1日)



(各年1月1日)



（各年 1 月 1 日）



（各年 1 月 1 日）

■ 多摩市町村総計でみた年齢階層別人口比率の比較

|        | 瑞穂町    |         | 多摩市町村総計   |         |
|--------|--------|---------|-----------|---------|
|        | 総数（人）  | 人口比率    | 総数（人）     | 人口比率    |
| 年少人口   | 4,396  | 12.97%  | 533,655   | 12.83%  |
| 生産年齢人口 | 21,531 | 63.50%  | 2,684,459 | 64.56%  |
| 老年人口   | 7,977  | 23.53%  | 940,247   | 22.61%  |
| 計      | 33,904 | 100.00% | 4,158,361 | 100.00% |

住民基本台帳（平成 26 年 1 月 1 日）

### 3) 人口密度・昼間人口・外国人登録者数

#### ①人口密度

平成 26 年 1 月 1 日現在の瑞穂町の人口密度は、2,014 人／km<sup>2</sup>であり、また、横田基地の面積を除く人口密度は約 2,301 人／km<sup>2</sup>である。

#### ■人口密度

|     | 人口（人）  | 行政面積<br>(km <sup>2</sup> ) | 人口密度<br>(人／km <sup>2</sup> ) |
|-----|--------|----------------------------|------------------------------|
| 瑞穂町 | 33,904 | 16.83                      | 2,014.5                      |
|     |        | 14.73                      | 2,301.7                      |

※下段は、横田基地の面積を引いた算出値（平成 26 年 1 月 1 日）

#### ②昼間人口

平成 22 年 10 月 1 日現在の瑞穂町の昼間人口は、平成 17 年 10 月 1 日と比べて 184 人増加して 36,272 人（増減率 0.5%）となっている。また、昼間人口指数（夜間人口を 100 とした場合の比率）は 108.3 であり、多摩市町村総計の平均を大きく上回っている。

#### ■昼間人口の推移

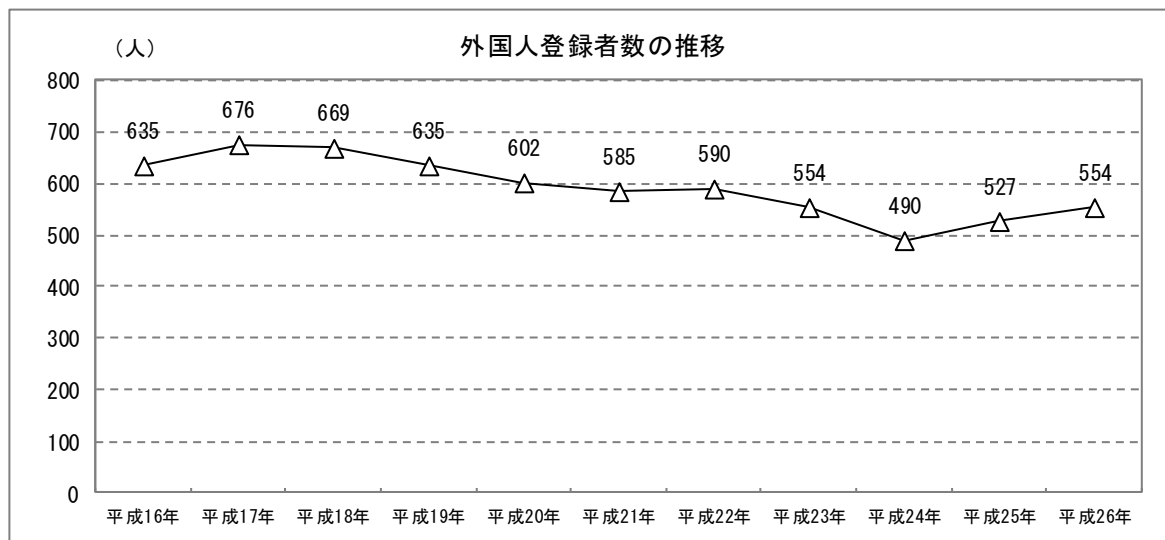
|         | 平成 12 年<br>(人) | 平成 17 年<br>(人) | 平成 22 年<br>(人) | 増減率<br>(%) | 昼間人口指数 |
|---------|----------------|----------------|----------------|------------|--------|
| 瑞穂町     | 34,871         | 36,088         | 36,272         | 0.5        | 108.3  |
| 多摩市町村総計 | 3,513,797      | 3,663,705      | 3,836,593      | 4.7        | 91.66  |

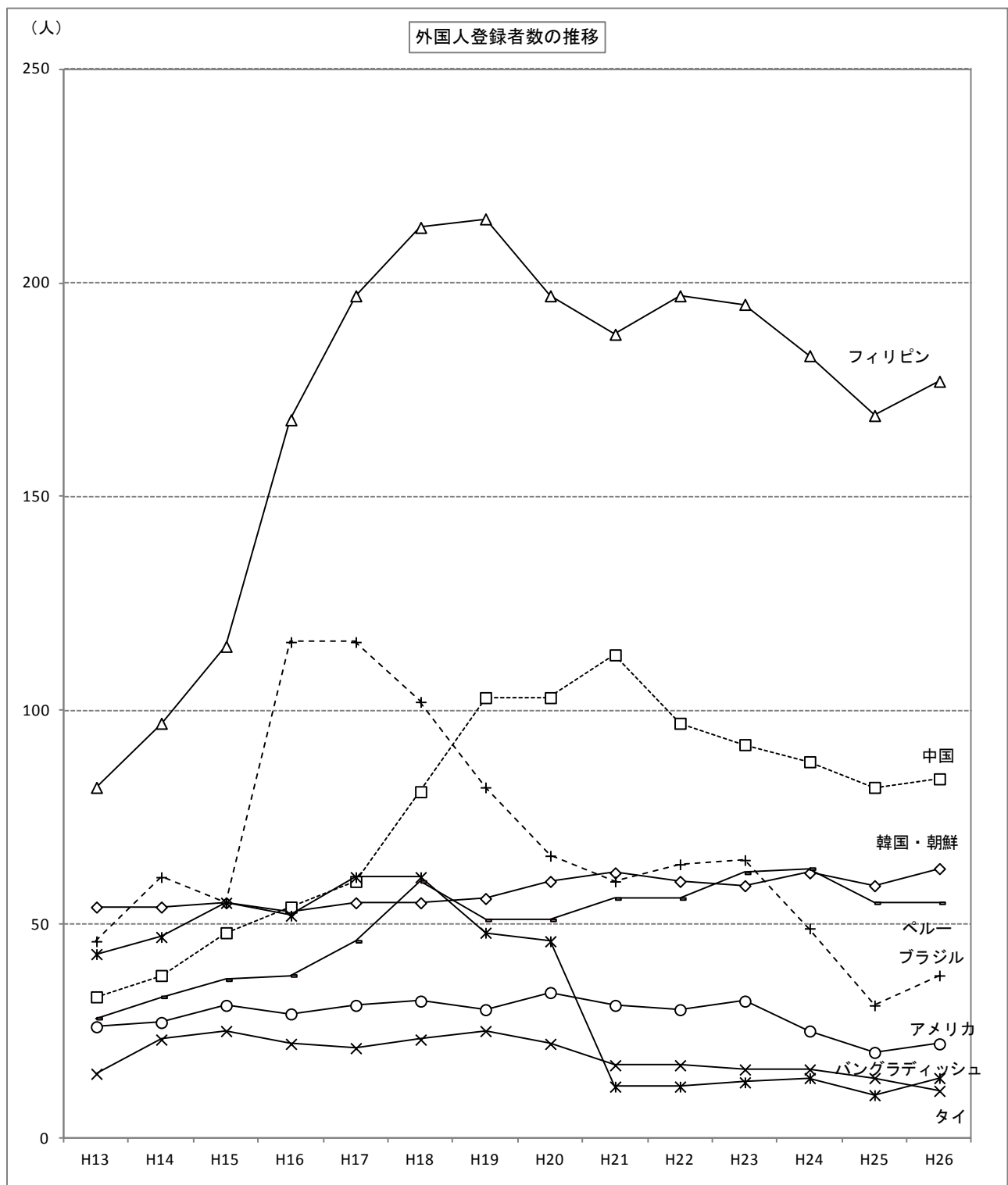
#### ③外国人登録者数

瑞穂町の外国人登録者数は、平成 17 年にピークとなり、その後減少し、平成 25 年には微増に転じている。

フィリピン、中国、韓国などアジア系、ペルー・ブラジルなど南米の国籍を持つ外国人が多い。

なお、平成 27 年 1 月 1 日時点の瑞穂町全人口に占める外国人の比率は 1.64(554 人/33,808 人)である。



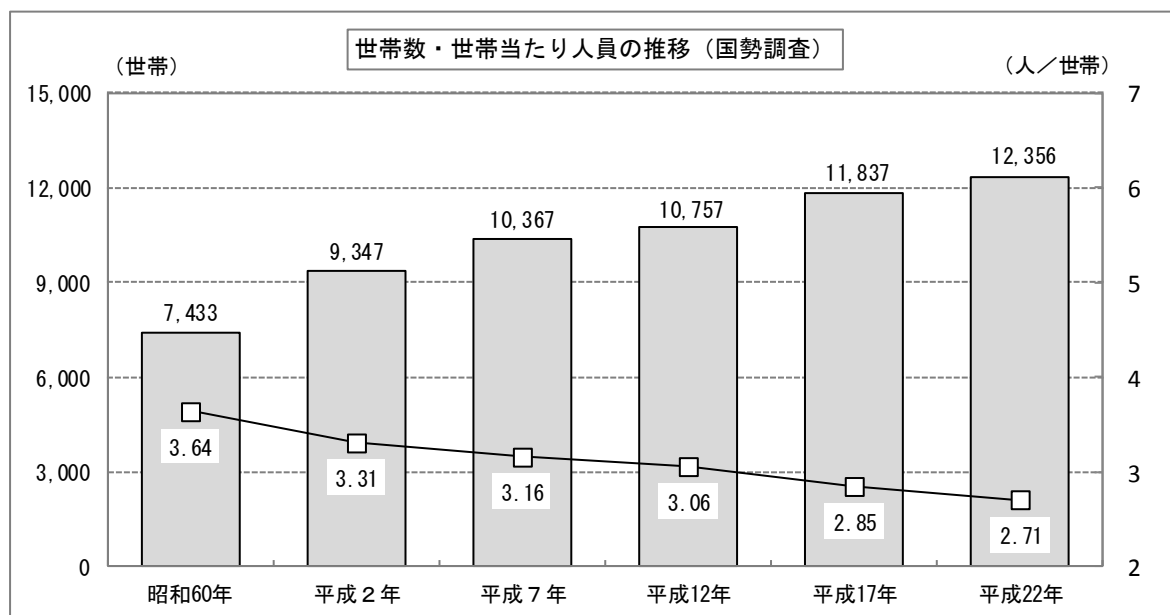


## (2) 世 帯

瑞穂町の世帯数は、国勢調査の結果によると、昭和 60 年から平成 22 年の 25 年間に約 1.7 倍の 12,356 世帯に増えている。一方、平均世帯人員は減少を続けており、昭和 60 年から平成 25 年までに 0.93 人減って、2.71 人となっている。

なお、瑞穂町の住民基本台帳によると平成 27 年 3 月現在の世帯数は 14,383 世帯（外国人世帯 272 世帯を含む）で、平均世帯人員数は 2.35 人（総人口 33,769 人）である。

### ■世帯数の推移



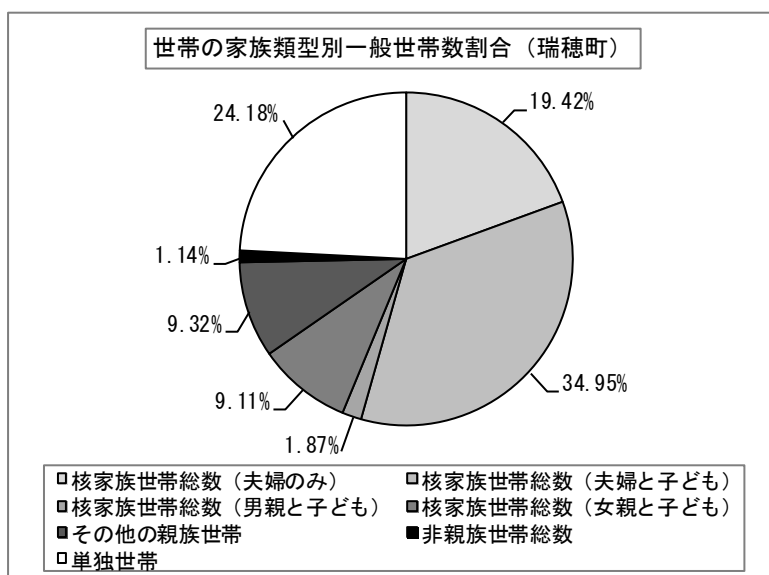
### ■世帯数・世帯人員数

|       |      | 昭和 60 年   | 平成 2 年    | 平成 7 年    | 平成 12 年   | 平成 17 年   | 平成 22 年   |
|-------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 瑞穂町   | 世帯数  | 7,433     | 9,347     | 10,367    | 10,757    | 11,837    | 12,356    |
|       | 世帯人員 | 3.64      | 3.31      | 3.16      | 3.06      | 2.85      | 2.71      |
| 多摩市町村 | 世帯数  | 1,178,105 | 1,347,816 | 1,470,344 | 1,600,390 | 1,730,596 | 1,836,546 |
|       | 世帯人員 | 2.92      | 2.72      | 2.57      | 2.44      | 2.34      | 2.28      |

多摩地域データブック（多摩地域主要統計表）（各年 10 月 1 日）

＊本項の数値は国勢調査結果に基づくが、世帯数は一般世帯数とその他世帯数を合計した総世帯数である。

## ■世帯の家族類型別一般世帯数



|    |            | 世帯数    | 割合 (%) |
|----|------------|--------|--------|
| 総数 |            | 12,356 | 100.00 |
|    | 親族世帯総数     | 9,227  | 74.68  |
|    | 核家族世帯総数    | 8,075  | 65.35  |
|    | 夫婦のみ       | 2,400  | 19.42  |
|    | 夫婦と子ども     | 4,318  | 34.95  |
|    | 男親と子ども     | 231    | 1.87   |
|    | 女親と子ども     | 1,126  | 9.11   |
|    | その他の親族世帯   | 1,152  | 9.32   |
|    | 非親族世帯総数    | 141    | 1.14   |
|    | 単独世帯       | 2,988  | 24.18  |
|    | 65歳以上の単独世帯 | 873    | 7.07   |
|    | 65歳未満の単独世帯 | 2,071  | 16.76  |
|    | 不詳         | 44     | 0.36   |

（平成 22 年 10 月 1 日）

## 2. 土地利用

### (1) 土地利用の現況

瑞穂町の土地利用を見ると、特徴的なものとして、町の東部中央に都立公園の狭山丘陵（西端部）があり、南部に町域全体面積の約 13%を占める横田基地がある。

主な市街地は、都道 166 号線（旧国道 16 号）以東の青梅街道沿いの箱根ヶ崎、石畑と殿ヶ谷地区に分布し、その後、西部土地区画整理事業により長岡、箱根ヶ崎と武蔵野地区に拡大して形成されている。

主な住宅地は、市街地のうち長岡南西部と箱根ヶ崎西部の工業地域を除いた市街地に形成され、その他一部として元狭山地区で形成されている。

商業は、主に箱根ヶ崎駅前から青梅街道沿いに分布して商店街が形成されているほか、大型商業施設が元狭山及び殿ヶ谷地区に立地している。

地目別に土地利用の推移をみると、市街化により農地が大きく減少し宅地が増加している。また、山林・原野・雑種地は僅かに減少しており、平成 22 年には、宅地 30.61%、農地 18.68%、山林・原野・雑種地 16.98%、公共用地等が 33.73%となっている。

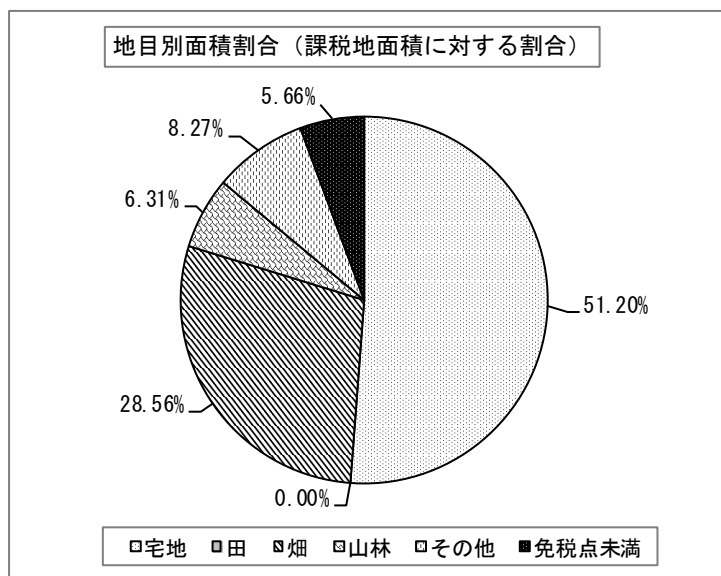
なお、昭和 60 年から平成 2 年の間に狭山丘陵が都市計画公園とされたことにより、公共用地等が大幅に増加している。

■地目別面積 (単位：ha)

|       | 瑞穂町    |
|-------|--------|
| 宅地    | 481.33 |
| 田     | 0.00   |
| 畑     | 268.46 |
| 山林    | 59.36  |
| その他   | 77.77  |
| 免税点未満 | 53.20  |

(平成 25 年 1 月 1 日)

■地目別面積割合（課税地面積に対する割合）



地目別土地面積のうち宅地に占める地区割合は工業地区が 37.0%であるが、多摩市町村総計の 7.2%と比較すると群を抜いて多く、その順位は 3 位となっている。

#### ■土地利用構成（地目の割合）の推移

（単位：％）

|                 |           | 昭和60年  | 平成2年   | 平成7年   | 平成12年  | 平成17年  | 平成22年  |
|-----------------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 宅地              |           | 21.45  | 23.46  | 25.64  | 27.23  | 28.14  | 30.61  |
| 非宅地             | 農地        | 24.94  | 22.58  | 20.30  | 19.56  | 19.00  | 18.68  |
|                 | 林地・原野・雑種地 | 25.38  | 18.63  | 18.40  | 17.66  | 17.86  | 16.98  |
| 公共用地等（横田基地・道路等） |           | 28.23  | 35.33  | 35.66  | 35.55  | 35.00  | 33.73  |
| 合 計             |           | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |

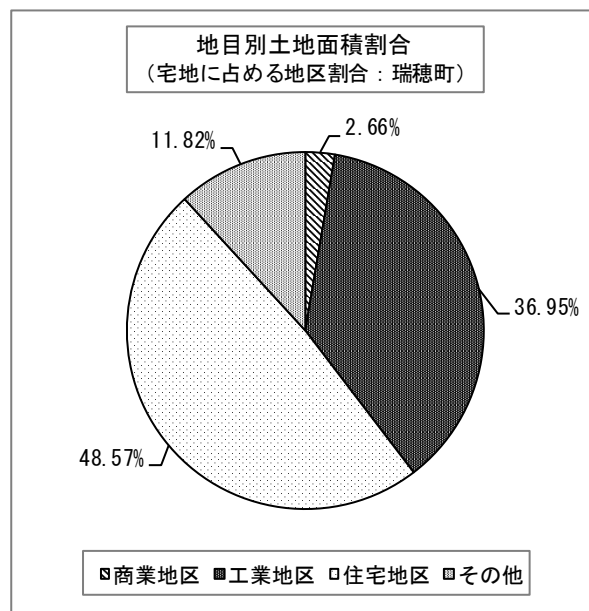
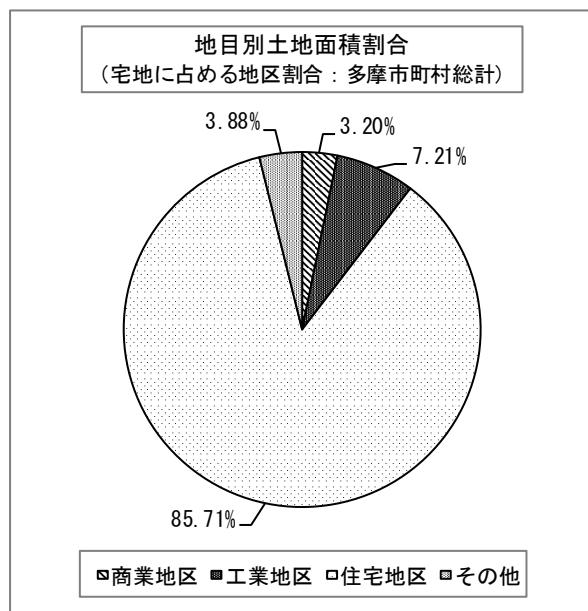
（固定資産概要調書 各年 1 月 1 日）

#### ■地目別土地面積割合（宅地に占める地区割合）

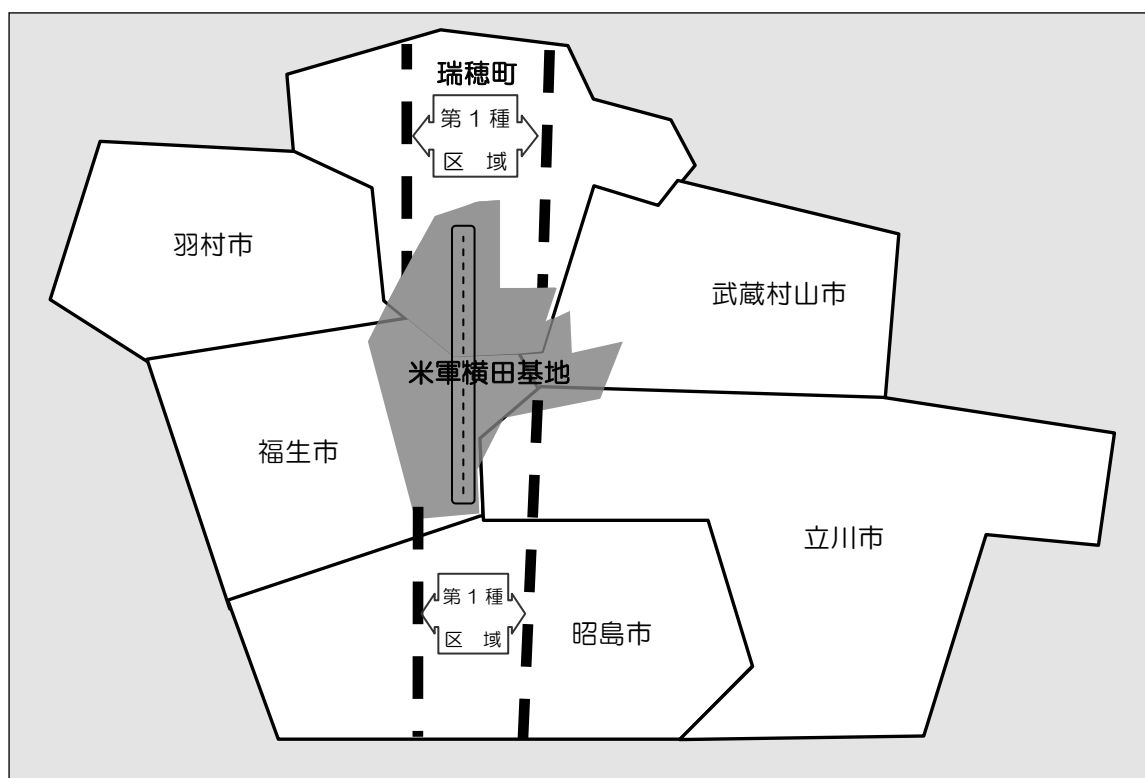
（単位：％）

| 指標   | 多摩市町村<br>総計 | 瑞穂町   | 順位 |
|------|-------------|-------|----|
| 商業地区 | 3.20        | 2.66  | 22 |
| 工業地区 | 7.21        | 36.95 | 3  |
| 住宅地区 | 85.71       | 48.57 | 27 |
| その他  | 3.88        | 11.82 | 7  |

（平成 25 年 1 月 1 日）



## ■横田基地の概況



## ■基地周辺自治体の提供面積等概要

|          | 瑞穂町                   | 福生市                   | 羽村市                   | 昭島市                   | 立川市                   | 武蔵村山市                 |
|----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 行政面積     | 16.83k m <sup>2</sup> | 10.24k m <sup>2</sup> | 9.91k m <sup>2</sup>  | 17.33k m <sup>2</sup> | 24.38k m <sup>2</sup> | 15.37k m <sup>2</sup> |
| 基地への提供面積 | 2.101k m <sup>2</sup> | 3.317k m <sup>2</sup> | 0.417k m <sup>2</sup> | 0.021k m <sup>2</sup> | 0.290k m <sup>2</sup> | 0.990k m <sup>2</sup> |
| 行政面積比    | 12.5%                 | 32.4%                 | 4.2%                  | 0.1%                  | 1.2%                  | 6.4%                  |
| 基地総面積比   | 29.4%                 | 46.5%                 | 5.8%                  | 0.3%                  | 4.1%                  | 13.9%                 |
| 第1種区域面積  | 7.2k m <sup>2</sup>   | 0.4k m <sup>2</sup>   | 0.0k m <sup>2</sup>   | 4.7k m <sup>2</sup>   | 1.1k m <sup>2</sup>   | 0.0k m <sup>2</sup>   |
| 行政面積比    | 42.8%                 | 3.9%                  | 0.0%                  | 27.1%                 | 4.5%                  | 0.0%                  |

※「第1種区域」とは、うるささ指数が 75WECPNL 以上の区域。航空騒音に係る環境基準は、居住区域で 70WECPNL 以下

## (2) 用途地域の指定

瑞穂町は、行政区域の全域が都市計画区域に指定されており、その内の 44.4%が市街化区域に指定されている。また、用途地域は市街化調整区域を含む 1,150.4ha に指定されている。

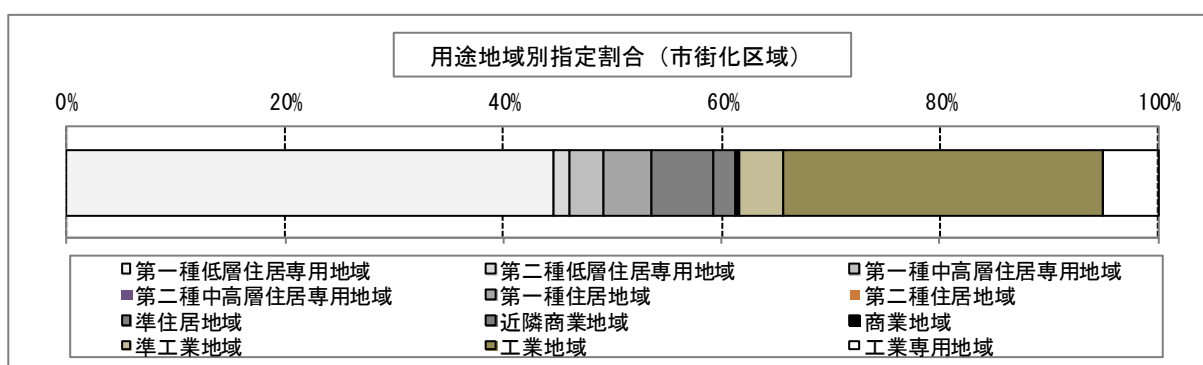
用途地域の構成は、住居系用途地域が 442.7ha（市街化区域内の割合 59.26%）、商業系用途地域が 17.3ha（2.32%）、工業系用途地域が 287.0ha（38.42%）、その他市街化調整区域内に住居専用地域が 403.4ha（市街化調整区域での割合 43.10%）を占めている。

# ■用途地域指定状況

| 都市計画区域<br>(行政区全域) |         | 用途の種類        | 面積 (ha) | 各区域における<br>割合 (%) |
|-------------------|---------|--------------|---------|-------------------|
| 区域<br>区分          | 市街化区域   | 第一種低層住居専用地域  | 332.8   | 44.55             |
|                   |         | 第二種低層住居専用地域  | 11.6    | 1.55              |
|                   |         | 第一種中高層住居専用地域 | 23.1    | 3.09              |
|                   |         | 第二種中高層住居専用地域 | 指定なし    | —                 |
|                   |         | 第一種住居地域      | 32.2    | 4.31              |
|                   |         | 第二種住居地域      | 指定なし    | —                 |
|                   |         | 準住居地域        | 43.0    | 5.76              |
|                   |         | 近隣商業地域       | 14.3    | 1.91              |
|                   |         | 商業地域         | 3.0     | 0.40              |
|                   |         | 準工業地域        | 30.4    | 4.07              |
|                   |         | 工業地域         | 218.6   | 29.27             |
|                   |         | 工業専用地域       | 38.0    | 5.09              |
|                   |         | 計            | 747.0   | 100.00            |
|                   | 市街化調整区域 | 第一種低層住居専用地域  | 403.4   | 43.10             |
|                   |         | 無指定          | 532.6   | 56.90             |
| 計                 |         | 936.0        | 100.00  |                   |
| 合 計               |         |              | 1,683.0 | —                 |

(平成 26 年 4 月 1 日現在)

# ■用途地域別指定割合 (市街化区域)



## (3) 緑の保全・活用

瑞穂町は、多摩地域全体における地目の構成割合から見ると山林の面積は多くはない。一方、畑が減少する傾向にありながらも、畑の面積は多摩地域全市町村の中で 6 位に位置するほど広く、町の行政面積の 3 割近くを占めている。

また、町の東部の狭山丘陵の区域が狭山近郊緑地保全区域に指定されている。

### 3. 都市基盤（都市施設等）

#### (1) 交通基盤

##### 1) 鉄 道

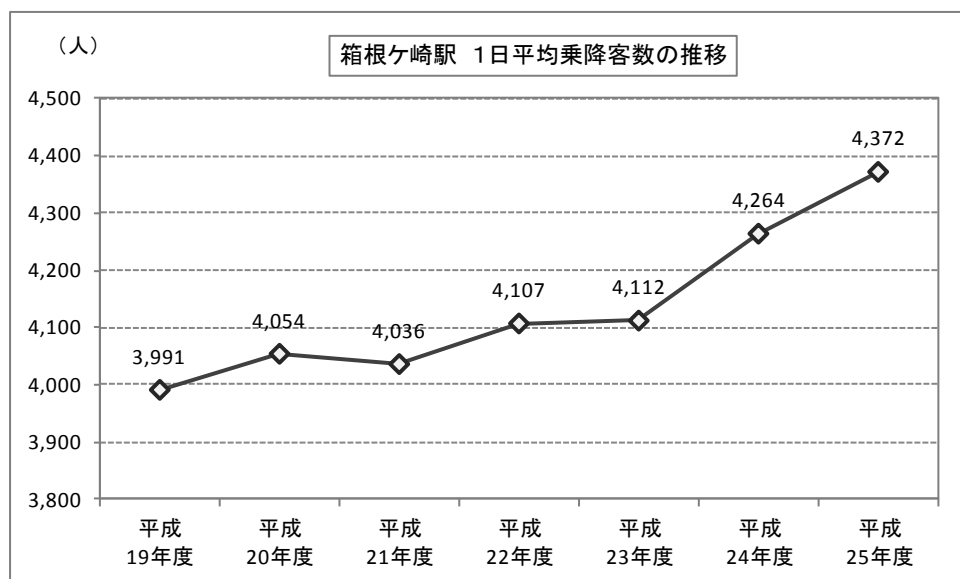
瑞穂町の中心市街からの最寄り駅であるＪＲ八高線箱根ヶ崎駅の１日平均乗客数は、平成 25 年度において定期・切符での利用を合わせて 4,372 人であり、定期・切符での利用共に増加傾向にある。

また、他の西多摩地域主要駅１日平均乗客数を平成 19 年度と平成 25 年度で比較すると、箱根ヶ崎駅を除く各駅ともに乗客数は微減傾向にある。

■西多摩地域主要駅１日平均乗客数の推移

（単位：人）

| 線名          | 駅名    | 平成<br>19 年度 | 平成<br>20 年度 | 平成<br>21 年度 | 平成<br>22 年度 | 平成<br>23 年度 | 平成<br>24 年度 | 平成<br>25 年度 |
|-------------|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| JR 青梅線      | 福生    | 16,863      | 16,668      | 16,361      | 16,208      | 15,984      | 16,416      | 16,817      |
|             | 羽村    | 14,378      | 14,318      | 14,095      | 13,970      | 13,872      | 14,008      | 14,103      |
|             | 青梅    | 7,625       | 7,491       | 7,336       | 7,144       | 6,951       | 6,993       | 7,096       |
|             | 奥多摩   | 928         | 913         | 915         | 902         | 877         | 885         | 919         |
| JR 五日市<br>線 | 秋川    | 7,704       | 7,447       | 7,362       | 7,358       | 7,310       | 7,408       | 7,479       |
|             | 武蔵五日市 | 4,860       | 4,761       | 4,698       | 4,602       | 4,509       | 4,584       | 4,624       |
| JR 八高線      | 箱根ヶ崎  | 3,991       | 4,054       | 4,036       | 4,107       | 4,112       | 4,264       | 4,372       |



## 2) 道 路

瑞穂町の道路率（行政面積に対する道路の総面積）は約 8.8%であり、多摩市町村総計の平均（約 6.5%）より高いが、同地域の中では下位に位置する。また、道路舗装率は約 85.1%となっている。

### ■道路率及び舗装率

| 市町村名  | 行政面積<br>(km <sup>2</sup> ) | 総延長<br>(m) | 市町村道<br>延長 (m) | 総面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 市町村道<br>面積 (m <sup>2</sup> ) |
|-------|----------------------------|------------|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 八王子市  | 186.31                     | 1,512,545  | 1,301,790      | 14,240,217               | 9,110,118                    |
| 立川市   | 24.38                      | 292,961    | 255,223        | 2,554,257                | 1,842,145                    |
| 武蔵野市  | 10.73                      | 146,081    | 124,443        | 1,119,722                | 793,157                      |
| 三鷹市   | 16.50                      | 290,128    | 259,835        | 1,909,598                | 1,407,281                    |
| 青梅市   | 103.26                     | 958,720    | 838,219        | 4,752,177                | 3,159,452                    |
| 府中市   | 29.34                      | 475,162    | 424,527        | 3,725,359                | 2,593,442                    |
| 昭島市   | 17.33                      | 252,595    | 225,331        | 1,735,262                | 1,292,153                    |
| 調布市   | 21.53                      | 439,169    | 404,095        | 2,673,675                | 2,016,171                    |
| 町田市   | 71.63                      | 1,336,868  | 1,251,894      | 8,474,946                | 6,964,362                    |
| 小金井市  | 11.33                      | 176,781    | 159,565        | 1,059,179                | 785,761                      |
| 小平市   | 20.46                      | 259,418    | 222,927        | 1,924,501                | 1,446,682                    |
| 日野市   | 27.53                      | 493,538    | 451,638        | 3,278,489                | 2,408,012                    |
| 東村山市  | 17.17                      | 301,775    | 276,780        | 1,764,806                | 1,485,294                    |
| 国分寺市  | 11.48                      | 240,451    | 227,073        | 1,295,683                | 1,129,817                    |
| 国立市   | 8.15                       | 153,120    | 138,554        | 1,268,035                | 867,619                      |
| 福生市   | 10.24                      | 149,945    | 129,099        | 1,115,049                | 774,431                      |
| 狛江市   | 6.39                       | 127,779    | 117,306        | 806,994                  | 642,047                      |
| 東大和市  | 13.54                      | 235,334    | 209,502        | 1,532,289                | 1,249,601                    |
| 清瀬市   | 10.19                      | 183,779    | 170,814        | 1,045,674                | 842,506                      |
| 東久留米市 | 12.92                      | 248,072    | 228,598        | 1,521,650                | 1,283,644                    |
| 武蔵村山市 | 15.37                      | 270,552    | 251,596        | 1,541,896                | 1,265,353                    |
| 多摩市   | 21.08                      | 292,201    | 254,654        | 3,169,668                | 2,175,644                    |
| 稲城市   | 17.97                      | 254,639    | 231,883        | 1,933,320                | 1,402,005                    |
| 羽村市   | 9.91                       | 164,306    | 147,234        | 1,323,521                | 1,032,658                    |
| あきる野市 | 73.34                      | 751,073    | 681,999        | 3,338,992                | 2,217,632                    |
| 西東京市  | 15.85                      | 266,594    | 233,744        | 1,728,251                | 1,294,750                    |
| 瑞穂町   | 16.83                      | 244,745    | 220,171        | 1,475,098                | 1,055,104                    |
| 日の出町  | 28.08                      | 141,704    | 115,345        | 888,556                  | 559,266                      |
| 檜原村   | 105.42                     | 119,832    | 69,554         | 1,019,774                | 172,561                      |
| 奥多摩町  | 225.63                     | 302,211    | 223,653        | 1,549,487                | 528,134                      |
| 総 計   | 1,159.89                   | 11,082,078 | 9,847,046      | 75,766,125               | 53,796,802                   |

（平成 25 年 4 月 1 日）

| 市町村名  | 舗装面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 道路率<br>(%) | 順位 | 舗装率<br>(%) | 順位 |
|-------|---------------------------|------------|----|------------|----|
| 八王子市  | 12,394,995                | 7.6        | 25 | 87.0       | 21 |
| 立川市   | 2,425,731                 | 10.5       | 16 | 95.0       | 13 |
| 武蔵野市  | 1,086,177                 | 10.4       | 17 | 97.0       | 5  |
| 三鷹市   | 1,851,912                 | 11.6       | 10 | 97.0       | 5  |
| 青梅市   | 3,899,510                 | 4.6        | 26 | 82.1       | 27 |
| 府中市   | 3,565,897                 | 12.7       | 4  | 95.7       | 10 |
| 昭島市   | 1,623,484                 | 10.0       | 20 | 93.6       | 16 |
| 調布市   | 2,538,954                 | 12.4       | 6  | 95.0       | 13 |
| 町田市   | 7,193,148                 | 11.8       | 8  | 84.9       | 26 |
| 小金井市  | 1,013,615                 | 9.3        | 23 | 95.7       | 10 |
| 小平市   | 1,887,487                 | 9.4        | 22 | 98.1       | 1  |
| 日野市   | 2,993,065                 | 11.9       | 7  | 91.3       | 19 |
| 東村山市  | 1,664,182                 | 10.3       | 18 | 94.3       | 15 |
| 国分寺市  | 1,235,549                 | 11.3       | 11 | 95.4       | 12 |
| 国立市   | 1,237,336                 | 15.6       | 1  | 97.6       | 3  |
| 福生市   | 1,085,219                 | 10.9       | 13 | 97.3       | 4  |
| 狛江市   | 774,366                   | 12.6       | 5  | 96.0       | 8  |
| 東大和市  | 1,423,462                 | 11.3       | 11 | 92.9       | 17 |
| 清瀬市   | 971,415                   | 10.3       | 18 | 92.9       | 17 |
| 東久留米市 | 1,461,528                 | 11.8       | 8  | 96.0       | 8  |
| 武蔵村山市 | 1,330,103                 | 10.0       | 20 | 86.3       | 22 |
| 多摩市   | 2,788,597                 | 15.0       | 2  | 88.0       | 20 |
| 稲城市   | 1,644,990                 | 10.8       | 15 | 85.1       | 24 |
| 羽村市   | 1,275,456                 | 13.4       | 3  | 96.4       | 7  |
| あきる野市 | 2,445,026                 | 4.6        | 26 | 73.2       | 28 |
| 西東京市  | 1,694,480                 | 10.9       | 13 | 98.0       | 2  |
| 瑞穂町   | 1,255,497                 | 8.8        | 24 | 85.1       | 24 |
| 日の出町  | 756,843                   | 3.2        | 28 | 85.2       | 23 |
| 檜原村   | 497,858                   | 1.0        | 29 | 48.8       | 30 |
| 奥多摩町  | 804,132                   | 0.7        | 30 | 51.9       | 29 |
| 総 計   | 66,820,014                | 6.5        | —  | 88.2       | —  |

※道路率…行政面積中に占める道路面積の割合 (平成 25 年 4 月 1 日)

# ■公道延長及び道路面積

| 区分（平成 23 年 4 月 1 日現在） |        | 国道      | 都道      | 町道        | 合計        |
|-----------------------|--------|---------|---------|-----------|-----------|
| 路線延長（本）               |        | 1       | 7       | 1,003     | 1,011     |
| 延長（m）                 |        | 5,820   | 18,754  | 219,769   | 244,343   |
| 平均幅員（m）               |        | 27.98   | 13.71   | 4.75      | 5.99      |
| 面積（㎡）                 |        | 162,871 | 257,123 | 1,043,870 | 1,463,864 |
| 舗装                    | 面積（㎡）  | 162,871 | 243,293 | 834,755   | 1,240,919 |
|                       | 舗装率（％） | 100.00  | 94.62   | 79.97     | 84.77     |

| 区分（平成 24 年 4 月 1 日現在） |        | 国道      | 都道      | 町道        | 合計        |
|-----------------------|--------|---------|---------|-----------|-----------|
| 路線延長（本）               |        | 1       | 7       | 1,005     | 1,013     |
| 延長（m）                 |        | 5,820   | 18,754  | 219,859   | 244,433   |
| 平均幅員（m）               |        | 27.98   | 13.71   | 4.78      | 6.02      |
| 面積（㎡）                 |        | 162,871 | 257,123 | 1,051,635 | 1,471,629 |
| 舗装                    | 面積（㎡）  | 162,871 | 243,293 | 845,101   | 1,251,265 |
|                       | 舗装率（％） | 100.00  | 94.62   | 80.36     | 85.03     |

| 区分（平成 25 年 4 月 1 日現在） |        | 国道      | 都道      | 町道        | 合計        |
|-----------------------|--------|---------|---------|-----------|-----------|
| 路線延長（本）               |        | 1       | 7       | 1,010     | 1,018     |
| 延長（m）                 |        | 5,820   | 18,754  | 220,171   | 244,745   |
| 平均幅員（m）               |        | 27.98   | 13.71   | 4.79      | 6.03      |
| 面積（㎡）                 |        | 162,871 | 257,123 | 1,055,104 | 1,475,098 |
| 舗装                    | 面積（㎡）  | 162,871 | 243,293 | 849,333   | 1,255,497 |
|                       | 舗装率（％） | 100.00  | 94.62   | 80.50     | 85.11     |

## (2) 下水道

瑞穂町の下水道排除方式は、分流式を採用している。汚水の処理区は多摩川流域下水道多摩川上流処理区で、町の汚水は流域下水道幹線を通り昭島市にある多摩川上流水再生センターで処理され多摩川に流出されている。雨水は、多摩川水系の残堀川と荒川水系の不老川に流出される。

下水道汚水普及率は 98％であり、西多摩地区（４市３町１村）では４番目の普及率となっている。

### (3) 公園・緑地

#### 1) 公 園

瑞穂町には都市公園が 32 か所あり、その合計面積は約 143.69ha となっている。なお、そのうちの 129.80ha は、野山北・六道山公園が占めている。

また、瑞穂町の都市公園と都市公園以外の公立公園を合算した面積を、住民 1 人あたりに換算すると 18.63m<sup>2</sup>/人であり、多摩市町村の中で 2 番目に多くなっている。

#### ■公園一覧

| 名 称       | 面積 (ha)  | 位 置                                |
|-----------|----------|------------------------------------|
| 野山北・六道山公園 | 約 129.80 | 大字殿ヶ谷、大字石畑、大字箱根ヶ崎、大字駒形富士山及び大字高根各地内 |
| 瑞穂公園      | 約 2.15   | 箱根ヶ崎字日光街道東地内                       |
| 下師岡公園     | 約 1.10   | 長岡二丁目地内                            |
| 松原中央公園    | 約 2.00   | 箱根ヶ崎西松原地内                          |
| 元宿公園      | 約 0.12   | 長岡長谷部字元宿地内                         |
| 西平公園      | 約 0.87   | 箱根ヶ崎字西平地内                          |
| 稲荷ヶ丘公園    | 約 0.49   | 箱根ヶ崎字宿西地内                          |
| 円山公園      | 約 0.35   | 箱根ヶ崎字池廻り地内                         |
| 宿東公園      | 約 0.25   | 箱根ヶ崎字宿東地内                          |
| 御岳公園      | 約 0.28   | 石畑字吉野岳地内                           |
| 殿ヶ谷公園     | 約 0.12   | 殿ヶ谷字狭山平地内                          |
| 阿豆佐味公園    | 約 0.29   | 殿ヶ谷字宮前地内                           |
| 一本榎公園     | 約 0.30   | 殿ヶ谷字榎内川添地内                         |
| 元狭山公園     | 約 0.40   | 駒形富士山字小ハヶ地内                        |
| 狭山谷公園     | 約 0.37   | 石畑字狭山谷地内                           |
| 玉林寺公園     | 約 0.15   | 殿ヶ谷字山際地内                           |
| 円福寺北公園    | 約 0.42   | 箱根ヶ崎字狭山地内                          |
| 高根下公園     | 約 0.21   | 高根字高根下地内                           |
| みずほさかえ公園  | 約 0.16   | むさし野二丁目地内                          |
| 松山公園      | 約 0.18   | 高根字高根新田地内                          |
| 駒形公園      | 約 0.25   | 二本木字和田地内                           |
| かすが公園     | 約 0.43   | 長岡四丁目地内                            |
| 下野公園      | 約 0.25   | 長岡一丁目地内                            |
| 若草公園      | 約 0.14   | 長岡一丁目地内                            |
| さくら公園     | 約 0.24   | 箱根ヶ崎東松原地内                          |
| 松原ひがし公園   | 約 0.37   | 箱根ヶ崎東松原地内                          |
| 松原西公園     | 約 0.45   | 箱根ヶ崎西松原地内                          |
| 南平ひばり公園   | 約 0.37   | 南平二丁目地内                            |
| 二本木公園     | 約 0.32   | 二本木字長田久保地内                         |
| むさしの公園    | 約 0.25   | むさし野一丁目地内                          |
| 交通公園      | 約 0.46   | 箱根ヶ崎字秩父街道北地内                       |
| 富士見公園     | 約 0.15   | むさし野二丁目地内                          |
| 32 か所     | 約 143.69 |                                    |

## 2) 緑 地

瑞穂町の都市計画決定されている緑地は 10 か所で、その合計面積は約 18.33ha である。そのほかに、首都圏近郊緑地保全区域として狭山近郊緑地保全区域が指定され、その瑞穂町分の面積は 265.6ha となっている。

また、民有地の緑地関係については、生垣の設置補助や保存樹林の調査等を行い、細部の緑地の保全・創出に努めている。

### ■緑地一覧

| 名 称     | 面積 (ha) | 位 置                     |
|---------|---------|-------------------------|
| 長谷部緑地   | 約 4.70  | 長岡長谷部地内                 |
| 狭山池緑地   | 約 8.70  | 箱根ヶ崎地内                  |
| 池廻緑地    | 約 0.29  | 箱根ヶ崎地内                  |
| つつじヶ丘緑地 | 約 1.10  | 長岡一丁目、箱根ヶ崎西松原及び南平二丁目各地内 |
| 松原西緑地   | 約 1.00  | 箱根ヶ崎西松原地内               |
| 南平緑地    | 約 0.58  | 南平一丁目及び南平二丁目各地内         |
| 松原東緑地   | 約 0.19  | 箱根ヶ崎東松原地内               |
| 桜緑地     | 約 0.45  | 箱根ヶ崎東松原地内               |
| 下野緑地    | 約 0.75  | 長岡一丁目地内                 |
| 春日緑地    | 約 0.57  | 長岡四丁目地内                 |
| 10 か所   | 約 18.33 |                         |

| 名 称                | 面積 (ha)            | 対象区域                                                                | 法的指定               |
|--------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 狭山近郊緑地保全区域<br>1 か所 | (瑞穂町部分)<br>約 265.6 | 東村山市 20.4ha、東大和市<br>357.0ha、武蔵村山市 82.0ha<br>瑞穂町 265.6ha、埼玉県 882.0ha | 首都圏近郊<br>緑地保全区域の指定 |

### ■生垣設置補助事業集計表

| 年 度      | 件 数 | 延長 (m) | 補助金額 (円)  |
|----------|-----|--------|-----------|
| 平成 8 年度  | 6   | 137.2  | 542,618   |
| 平成 9 年度  | 6   | 114.4  | 401,000   |
| 平成 10 年度 | 6   | 93.7   | 387,268   |
| 平成 11 年度 | 3   | 54.3   | 251,500   |
| 平成 12 年度 | 1   | 20.0   | 100,000   |
| 平成 13 年度 | 3   | 32.5   | 162,500   |
| 平成 14 年度 | 2   | 37.0   | 155,000   |
| 平成 15 年度 | 3   | 40.0   | 195,000   |
| 平成 16 年度 | 2   | 31.7   | 158,500   |
| 平成 17 年度 | 3   | 25.8   | 129,000   |
| 平成 18 年度 | 2   | 30.4   | 130,248   |
| 平成 19 年度 | 1   | 22.8   | 100,000   |
| 平成 20 年度 | 3   | 57.3   | 279,000   |
| 平成 21 年度 | 0   | 0.0    | 0         |
| 平成 22 年度 | 2   | 31.9   | 191,000   |
| 平成 23 年度 | 1   | 19.0   | 80,066    |
| 平成 24 年度 | 1   | 5.0    | 33,000    |
| 平成 25 年度 | 0   | 0.0    | 0         |
| 平成 26 年度 | 3   | 33.2   | 196,000   |
| 合 計      | 48  | 786.2  | 3,491,700 |
| 平 均      | 2.5 | 41.3   | 183,773   |

■保存樹林等台帳総括表

| No. | 指定地           | m <sup>2</sup> | 指定番号 |      | 樹木の明細           |
|-----|---------------|----------------|------|------|-----------------|
| 1   | 殿ヶ谷 9 6 7－1   | －              | 樹木   | 4 号  | ケヤキ 2.98        |
| 2   | 長岡長谷部 3 1 3－1 | －              | 樹木   | 5 号  | ケヤキ 3.65        |
| 3   | 箱根ヶ崎 1 0 0    | －              | 樹木   | 6 号  | ケヤキ 3.68        |
| 4   | 箱根ヶ崎 1 0 0    | －              | 樹木   | 7 号  | ケヤキ 3.10        |
| 5   | 箱根ヶ崎 2 4 3 1  | －              | 樹木   | 8 号  | ケヤキ 2.35        |
| 5   | 箱根ヶ崎 2 4 3 1  | －              | 樹木   | 9 号  | ケヤキ 2.10        |
| 7   | 二本木 8 4 3－1   | －              | 樹木   | 10 号 | シダレサクラ 2.32     |
| 8   | 殿ヶ谷 8 6 9     | －              | 樹木   | 11 号 | ケヤキ 2.07        |
| 9   | 長岡長谷部 1 9 0   | －              | 樹木   | 12 号 | タラヨウ 1.80       |
| 10  | 箱根ヶ崎 1 8 8    | －              | 樹木   | 13 号 | ケヤキ 2.70        |
| 11  | 箱根ヶ崎 2 0 4    | －              | 樹木   | 14 号 | ケヤキ 2.80        |
| 12  | 駒形富士山 7 3     | －              | 樹木   | 15 号 | サクラ（エドヒガシ） 1.76 |
| 13  | 長岡長谷部 3 2 8   | －              | 樹木   | 16 号 | シダレモ 2.97       |
| 14  | 殿ヶ谷 7 7 5     | －              | 樹木   | 17 号 | ケヤキ 2.48        |
| 15  | 殿ヶ谷 7 7 5     | －              | 樹木   | 18 号 | ケヤキ 1.90        |
| 16  | 殿ヶ谷 7 7 5     | －              | 樹木   | 19 号 | ケヤキ 1.55        |
| 17  | 石畑 1 7 9 5    | －              | 樹木   | 20 号 | ケヤキ 2.32        |
| 18  | 駒形富士山 3 2 6   | －              | 樹木   | 24 号 | コウヤマキ 2.40      |
| 19  | 箱根ヶ崎 9 7      | －              | 樹木   | 25 号 | ケヤキ 2.65        |
| 20  | 殿ヶ谷 9 4 0     | －              | 樹木   | 26 号 | ケヤキ 2.26        |
| 21  | 箱根ヶ崎東松原 3 5－7 | －              | 樹木   | 27 号 | ケヤキ 3.35        |
| 22  | 殿ヶ谷 9 6 2     | －              | 樹木   | 28 号 | ケヤキ 2.87        |
| 23  | 石畑 1 8 4 7    | －              | 樹木   | 29 号 | ケヤキ 2.15        |
| 24  | 駒形富士山 1 3 3   | －              | 樹木   | 30 号 | ケヤキ 2.60        |
| 25  | 石畑 1 7 4 7    | －              | 樹木   | 31 号 | ケヤキ 2.15        |
| 26  | 長岡長谷部 3 2 9   | －              | 樹木   | 32 号 | カキ 1.78         |
| 27  | 箱根ヶ崎 9 6      | －              | 樹木   | 34 号 | ケヤキ 2.09        |
| 28  | 箱根ヶ崎 9 6      | －              | 樹木   | 35 号 | ケヤキ 1.80        |
| 29  | 二本木 6 5 4     | －              | 樹木   | 36 号 | サラ樹高 17m        |
| 30  | 高根 1 4 9－4    | －              | 樹木   | 37 号 | イチヨウ 1.71       |
| 31  | 高根 1 4 9－4    | －              | 樹木   | 38 号 | イチヨウ 1.60       |
| 32  | 高根 1 4 9－4    | －              | 樹木   | 39 号 | タラヨウ 1.50       |
| 33  | 高根 6 1 5      | －              | 樹木   | 40 号 | サクラ 2.80        |
| 34  | 箱根ヶ崎 2 3 8    | －              | 樹木   | 41 号 | ケヤキ樹高 15m       |
| 35  | 長岡一丁目 1 2－2   | －              | 樹木   | 42 号 | ミズキ 2.18        |
| 36  | 長岡長谷部 3 9 0   | 2,202          | 樹林地  | 1 号  | アカマツ            |
| 37  | 長岡長谷部 3 8 2－2 | 2,969          | 樹林地  | 2 号  | アカマツ            |
| 38  | 長岡長谷部 3 8 3   | 2,247          | 樹林地  | 3 号  | アカマツ、コナラ        |

| No. | 指定地              | m <sup>2</sup> | 指定番号 |      | 樹木の明細                                          |
|-----|------------------|----------------|------|------|------------------------------------------------|
| 39  | 箱根ヶ崎 1 0 7 3     | 2,120          | 樹林地  | 4 号  | コナラ、ヒノキ                                        |
| 40  | 箱根ヶ崎 1 0 7 0 - 1 | 5,753          | 樹林地  | 5 号  | コナラ、ヒノキ                                        |
| 41  | 箱根ヶ崎 1 0 0 4     | 4,827          | 樹林地  | 6 号  | コナラ、ヒノキ                                        |
| 42  | 箱根ヶ崎 1 0 3 7 - 1 | 5,735          | 樹林地  | 7 号  | コナラ、ヒノキ                                        |
| 43  | 箱根ヶ崎 9 4 1       | 7,521          | 樹林地  | 9 号  | コナラ、ヒノキ、アカマツ                                   |
| 44  | 長岡下師岡 3 9 7      | 8,383          | 樹林地  | 10 号 | コナラ、ヒノキ、スギ、クリ、アカマツ                             |
| 45  | 長岡下師岡 4 0 0      | 11,409         | 樹林地  | 11 号 | コナラ、ヒノキ、スギ、クリ、アカマツ                             |
| 46  | 長岡下師岡 4 0 5      | 4,498          | 樹林地  | 12 号 | コナラ、ヒノキ、スギ、アカマツ                                |
| 47  | 長岡長谷部 4 1 7      | 1,739          | 樹林地  | 13 号 | コナラ、ヒノキ                                        |
| 48  | 長岡下師岡 3 9 5      | 4,219          | 樹林地  | 15 号 | コナラ、ヒノキ、スギ、クリ、アカマツ                             |
| 49  | 箱根ヶ崎 1 0 0 0 - 1 | 3,659          | 樹林地  | 17 号 | コナラ、アカマツ                                       |
| 50  | 長岡下師岡 3 9 9      | 4,034          | 樹林地  | 18 号 | コナラ、ヒノキ、スギ、クリ、アカマツ                             |
| 51  | 箱根ヶ崎 9 2 8 - 1   | 2,600          | 樹林地  | 19 号 | コナラ、スギ、クリ、アカマツ                                 |
| 52  | 箱根ヶ崎 1 0 3 5     | 3,316          | 樹林地  | 20 号 | コナラ                                            |
| 53  | 箱根ヶ崎 1 0 7 2 - 1 | 3,692          | 樹林地  | 21 号 | コナラ、ヒノキ                                        |
| 54  | 箱根ヶ崎 9 7 6       | 3,160          | 樹林地  | 22 号 | コナラ、アカマツ                                       |
| 55  | 箱根ヶ崎 9 7 1       | 5,266          | 樹林地  | 23 号 | コナラ、アカマツ                                       |
| 56  | 長岡長谷部 3 9 3 - 1  | 1,266          | 樹林地  | 24 号 | ヒノキ                                            |
| 57  | 二本木 4 0 2        | 15,032         | 樹林地  | 25 号 | スギ、ヒノキ、アカマツ                                    |
| 58  | 長岡長谷部 4 1 9 - 1  | 2,897          | 樹林地  | 26 号 | コナラ、ヒノキ                                        |
| 59  | 箱根ヶ崎 9 6 7       | 4,826          | 樹林地  | 27 号 | コナラ、ヒノキ、アカマツ                                   |
| 60  | 駒形富士山 5 8 5      | 2,986          | 樹林地  | 28 号 | コナラ、アカマツ、ミズキ                                   |
| 61  | 駒形富士山 5 8 7 - 1  | 4,029          | 樹林地  | 29 号 | コナラ、アカマツ                                       |
| 62  | 二本木 7 0 9 - 2    | 1,461          | 樹林地  | 30 号 | コナラ、アカマツ、ミズキ                                   |
| 63  | 箱根ヶ崎 9 7 2       | 4,809          | 樹林地  | 31 号 | アカマツ、ミズキ                                       |
| 64  | 箱根ヶ崎 1 0 0 7     | 5,226          | 樹林地  | 32 号 | コナラ、アカマツ                                       |
| 65  | 箱根ヶ崎 9 2 6       | 14,791         | 樹林地  | 35 号 | コナラ、アカマツ                                       |
| 66  | 長岡長谷部 4 1 9 - 2  | 5,257          | 樹林地  | 37 号 | コナラ                                            |
| 67  | 箱根ヶ崎 9 7 9       | 5,084          | 樹林地  | 38 号 | アカマツ、ヒノキ、リョウブ、ミズキ、ヤマザクラ                        |
| 68  | 二本木 7 0 9 - 1    | 2,973          | 樹林地  | 39 号 | コナラ、アカマツ、ミズキ                                   |
| 69  | 箱根ヶ崎 9 8 7 - 1   | 1,831          | 樹林地  | 40 号 | ヒノキ、イヌシデ                                       |
| 70  | 二本木 7 0 7 - 1    | 1,666          | 樹林地  | 41 号 | ヒノキ、イヌシデ                                       |
| 71  | 駒形富士山 5 9 0      | 2,840          | 樹林地  | 43 号 | ミズキ、カシ、ヒノキ                                     |
| 72  | 二本木 4 0 7        | 9,479          | 樹林地  | 44 号 | ヒノキ、スギ                                         |
| 73  | 長岡長谷部 2 5 4 - 1  | -              | 屋敷林  | 1 号  | アラカシ 2.52 ・ 1.60 ・ 1.57 ・ 1.53                 |
| 74  | 富士山栗原新田 1 2 3    | -              | 屋敷林  | 2 号  | シラカシ 1.49 ・ 1.45、アラカシ 1.27 ・ 1.20、<br>ケヤキ 1.43 |
| 75  | 箱根ヶ崎 1 6 6       | -              | 屋敷林  | 3 号  | ケヤキ 3.20 ・ 3.10 ・ 1.28 ・ 1.46 ・ 1.76 ・<br>1.86 |

| No. | 指定地             | m <sup>2</sup> | 指定番号 |      | 樹木の明細                                                        |
|-----|-----------------|----------------|------|------|--------------------------------------------------------------|
| 76  | 長岡長谷部 2 9       | -              | 屋敷林  | 5 号  | ムクロジ 1.89、トチノキ 1.63、ヤマザクラ 2.37/1.67・1.58、シンジュ 1.90、アラカシ 1.50 |
| 77  | 富士山栗原新田 1 8     | -              | 屋敷林  | 6 号  | ヒバ 2.35、ケヤキ 2.11、シラカシ 2.08、材 1.80、ミズキ 1.85、ホダクイシ 1.20        |
| 78  | 長岡長谷部 1 5 4     | -              | 屋敷林  | 8 号  | ケヤキ 2.04・1.5、材ノキ 1.90、ヤマザクラ 1.50                             |
| 79  | 長岡長谷部 1 1 8     | -              | 屋敷林  | 9 号  | ヤマザクラ 2.95、ケヤキ 2.02・1.92、スダジイ 1.79、材ノキ 1.60、シラカシ 1.68        |
| 80  | 長岡長谷部 1 0 6     | -              | 屋敷林  | 10 号 | ケヤキ 2.12・2.60・2.10～、クスノキ不明、サイカチ 2.27～、シラカシ 1.80・1.81～        |
| 81  | 殿ヶ谷 8 8 1       | -              | 屋敷林  | 11 号 | ケヤキ 2.31・2.02・1.67・1.66・1.55、スダジイ 1.89                       |
| 82  | 長岡長谷部 1 1 9     | -              | 屋敷林  | 12 号 | ケヤキ 3.90・1.55、アラカシ 1.78、ヤマザクラ 1.80                           |
| 83  | 駒形富士山 2 6       | -              | 屋敷林  | 13 号 | シラカシ 2.85、ケヤキ 2.62・2.43・2.39                                 |
| 84  | 駒形富士山 1 0 3     | -              | 屋敷林  | 14 号 | ケヤキ 2.70・2.30・1.86、シラカシ 2.15                                 |
| 85  | 長岡長谷部 3 2 0     | -              | 屋敷林  | 15 号 | ケヤキ 2.30・1.76・1.75・1.70・1.58・1.50                            |
| 86  | 長岡長谷部 5 2       | -              | 屋敷林  | 16 号 | ケヤキ 2.34・2.17・2.03・1.92・1.73、スギ 1.90                         |
| 87  | 長岡長谷部 4 7       | -              | 屋敷林  | 17 号 | ケヤキ 2.50・1.80、ヒノキ 1.65・1.36                                  |
| 88  | 長岡長谷部 2         | -              | 屋敷林  | 19 号 | ムクロジ 2.69、シラカシ 2.38、ヤマザクラ 2.55、萩 1.77                        |
| 89  | 駒形富士山 3 0 2 - 1 | -              | 屋敷林  | 20 号 | ケヤキ 2.85・2.40、ミズキ 1.85・1.80                                  |
| 90  | 長岡長谷部 3 1 6     | -              | 屋敷林  | 21 号 | シラカシ 2.35、1.45、材ノキ 1.52、モミジ 1.50                             |
| 計   |                 | 175,802        | 計    | 56   |                                                              |

| 区 分 | 件数 | 所有者（個人法人）      |
|-----|----|----------------|
| 樹木  | 35 | 個人 29 名        |
| 樹林地 | 37 | 個人 33 名、法人 1 名 |
| 屋敷林 | 18 | 個人 18 名        |

（平成 27 年 3 月末日）

#### (4) 住宅・地価

##### 1) 住 宅

瑞穂町における持ち家比率（87.4%）、一戸建て比率（65.6%）は共に多摩地域全市町村に比べ高く、非防火木造住宅比率（42.0%）も高くなっている。

瑞穂町の公営住宅に関しては、町営住宅が平成 25 年 4 月 1 日現在で 72 戸となっている。

#### ■西多摩市町村営住宅調べ

（単位：戸）

| あきる野市 | 青梅市 | 福生市 | 羽村市 | 瑞穂町 | 日の出町 | 奥多摩町 | 檜原村 |
|-------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|
| 169   | 750 | 337 | 131 | 72  | 67   | 85   | 66  |

（平成 25 年 4 月 1 日）

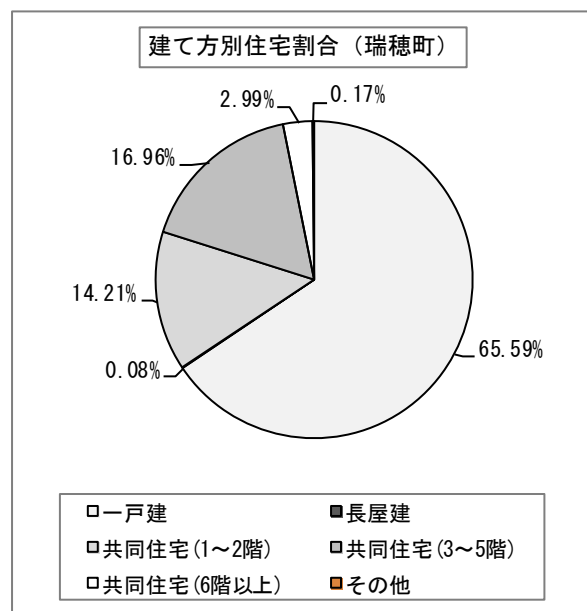
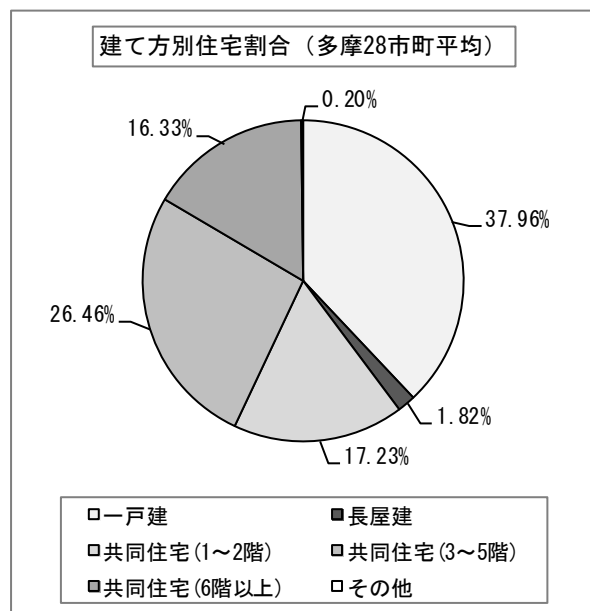
#### ■建て方別住宅数

（単位：戸）

| 区 分         | 多摩 28 市町<br>平均 | 瑞穂町   |
|-------------|----------------|-------|
| 一戸建         | 23,642         | 7,890 |
| 長屋建         | 1,134          | 10    |
| 共同住宅（1～2 階） | 10,730         | 1,710 |
| 共同住宅（3～5 階） | 16,477         | 2,040 |
| 共同住宅（6 階以上） | 10,171         | 360   |
| その他         | 124            | 20    |

（平成 20 年 10 月 1 日）

※多摩 28 市町には奥多摩町、檜原村を含まない

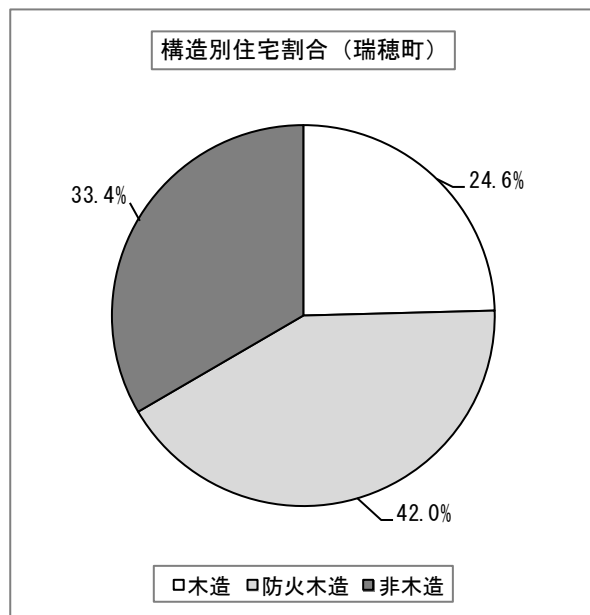
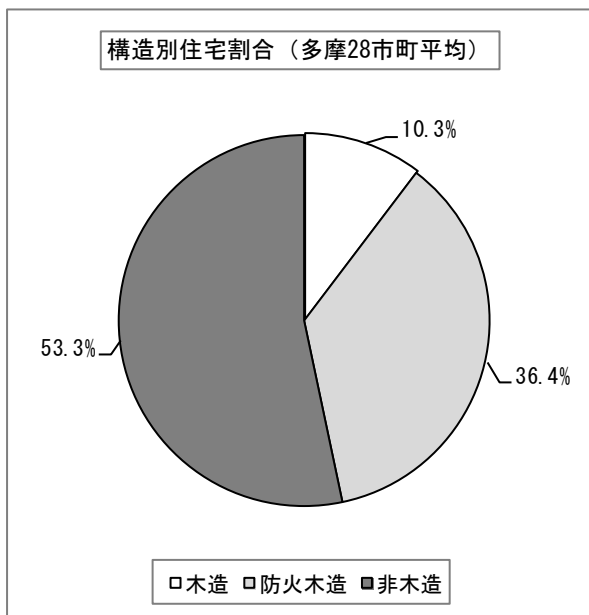


# ■構造別住宅数

(単位：戸)

| 区 分  | 多摩28市町平均 | 瑞穂町   |
|------|----------|-------|
| 木造   | 6,444    | 2,960 |
| 防火木造 | 22,687   | 5,060 |
| 非木造  | 33,264   | 4,020 |

(平成20年10月1日)

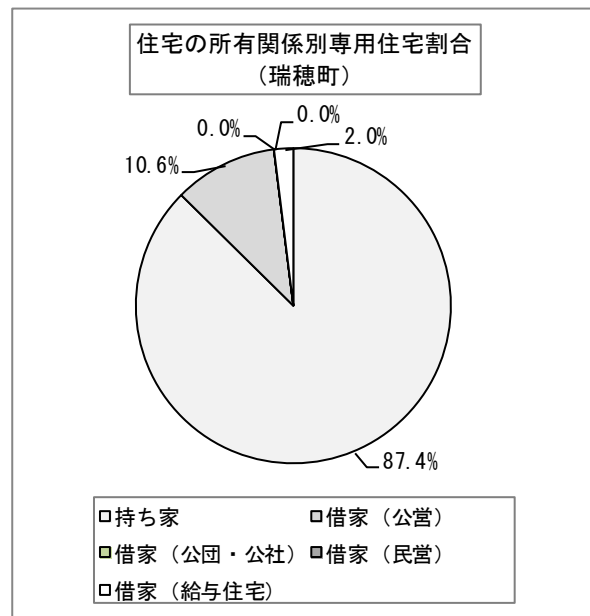
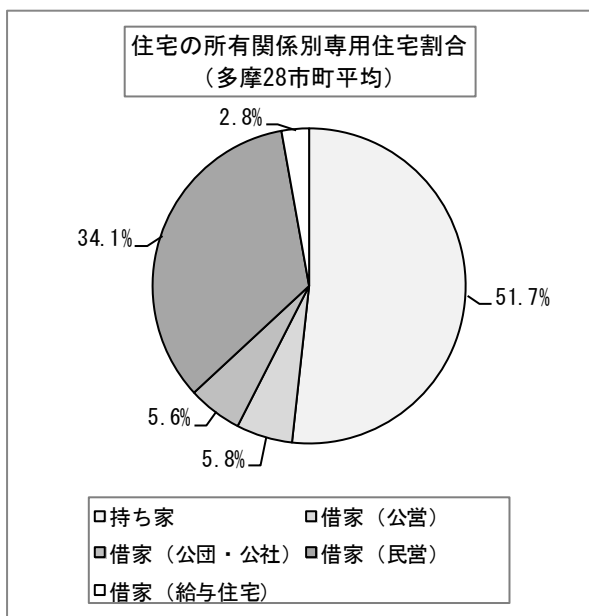


# ■所有関係別専用住宅数

(単位：戸)

| 区 分       | 多摩28市町平均 | 瑞穂町   |
|-----------|----------|-------|
| 持ち家       | 31,109   | 7,560 |
| 借家（公営）    | 3,470    | 920   |
| 借家（公団・公社） | 3,364    | 0     |
| 借家（民営）    | 20,491   | 2,520 |
| 借家（給与住宅）  | 1,695    | 170   |

(平成20年10月1日)



## 2) 地 価

都市基盤整備と関わる地価動向については、バブル経済崩壊後、全国的に地価が下がる傾向にあった中で、瑞穂町における地価も住宅地・商業地共に下がり続けてきた。平成 18 年を境に微増ながら住宅地・商業地共に上昇したものの、平成 21 年からは再び下降傾向が続いている。

### ■ 公示地価の推移

(単位 千円/㎡)

| 用<br>途      | 平<br>成<br>9<br>年 | 平<br>成<br>10<br>年 | 平<br>成<br>11<br>年 | 平<br>成<br>12<br>年 | 平<br>成<br>13<br>年 | 平<br>成<br>14<br>年 | 平<br>成<br>15<br>年 | 平<br>成<br>16<br>年 | 平<br>成<br>17<br>年 | 平<br>成<br>18<br>年 | 平<br>成<br>19<br>年 | 平<br>成<br>20<br>年 | 平<br>成<br>21<br>年 | 平<br>成<br>22<br>年 | 平<br>成<br>23<br>年 | 平<br>成<br>24<br>年 | 平<br>成<br>25<br>年 |
|-------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 住<br>宅<br>地 | 188              | 183               | 164               | 149               | 140               | 129               | 120               | 113               | 110               | 108               | 109               | 113               | 108               | 101               | 99                | 96                | 95                |
| 商<br>業<br>地 | 281              | 268               | 225               | 191               | 177               | 163               | 147               | 137               | 132               | 130               | 132               | 137               | 131               | 123               | 120               | 117               | 115               |

(各年 1 月 1 日)

#### 4. 生活環境・生活安全

##### (1) 生活環境

##### 1) ごみ処理

瑞穂町の1人1日当たりのごみ量排出量は平成25年度で941.8g、資源化率は33.7%となっている。

##### ■1人1日あたりごみ排出量・資源化率の推移

(単位：g、%)

| 区分 \ 年度      | 平成17年度 | 平成18年度  | 平成19年度  | 平成20年度 | 平成21年度 |
|--------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| 1人1日あたりごみ排出量 | 973.0  | 1,008.9 | 1,002.5 | 977.3  | 932.0  |
| 資源化率         | 32.4   | 35.6    | 35.7    | 35.3   | 35.5   |

| 区分 \ 年度      | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 1人1日あたりごみ排出量 | 897.4  | 915.0  | 921.7  | 941.8  |
| 資源化率         | 35.6   | 36.0   | 35.2   | 33.7   |

##### 2) 公害（苦情）

瑞穂町において、過去3年間に寄せられた公害の苦情件数の状況は下表のとおりである。

公害の種類では、大気汚染、騒音、悪臭、その他が多い。公害等発生源を産業別で見ると、主に建設業、製造業が多い。公害等発生源の用途地域をみると、住居地域と工業地域で地域全体のほとんどを占めている。

##### ■公害の種類

(単位：件)

| 種類     | 大気汚染 | 水質汚濁 | 土壌汚染 | 騒音 | 振動 | 地盤沈下 | 悪臭 | その他 | 計  |
|--------|------|------|------|----|----|------|----|-----|----|
| 平成17年度 | 5    | 0    | 0    | 5  | 0  | 0    | 4  | 2   | 16 |
| 平成18年度 | 19   | 1    | 0    | 7  | 1  | 0    | 12 | 21  | 61 |
| 平成19年度 | 7    | 2    | 0    | 15 | 0  | 0    | 12 | 12  | 48 |
| 平成20年度 | 17   | 3    | 0    | 10 | 1  | 0    | 7  | 6   | 44 |
| 平成21年度 | 9    | 3    | 0    | 10 | 0  | 0    | 4  | 21  | 47 |
| 平成22年度 | 10   | 1    | 0    | 12 | 0  | 0    | 9  | 25  | 57 |
| 平成23年度 | 11   | 0    | 0    | 13 | 1  | 0    | 15 | 16  | 56 |
| 平成24年度 | 9    | 4    | 1    | 9  | 0  | 0    | 7  | 28  | 58 |
| 平成25年度 | 15   | 0    | 0    | 5  | 0  | 0    | 9  | 25  | 54 |

■ 公害等発生源の主な産業

(単位：件)

| 種類       | 農業 | 建設業 | 製造業 | 運輸業 | 卸売・小売業 | 飲食店 | サービス業 | その他 | 計  |
|----------|----|-----|-----|-----|--------|-----|-------|-----|----|
| 平成 17 年度 | 1  | 4   | 2   | 1   | 0      | 0   | 7     | 1   | 16 |
| 平成 18 年度 | 0  | 5   | 7   | 0   | 3      | 1   | 10    | 35  | 61 |
| 平成 19 年度 | 4  | 4   | 10  | 2   | 3      | 2   | 10    | 13  | 48 |
| 平成 20 年度 | 1  | 3   | 6   | 2   | 2      | 0   | 15    | 15  | 44 |
| 平成 21 年度 | 0  | 5   | 8   | 1   | 0      | 0   | 9     | 24  | 47 |
| 平成 22 年度 | 0  | 7   | 12  | 1   | 1      | 1   | 7     | 28  | 57 |
| 平成 23 年度 | 0  | 4   | 8   | 0   | 0      | 0   | 12    | 32  | 56 |
| 平成 24 年度 | 0  | 6   | 2   | 0   | 2      | 0   | 8     | 40  | 58 |
| 平成 25 年度 | 2  | 12  | 6   | 3   | 0      | 0   | 2     | 29  | 54 |

■ 公害等発生源の用途地域

(単位：件)

| 種類       | 住居地域 | 近隣商業地域 | 商業地域 | 準工業地域 | 工業地域 | 工業専用地域 | 調整区域 | その他 | 計  |
|----------|------|--------|------|-------|------|--------|------|-----|----|
| 平成 17 年度 | 11   | 0      | 0    | 0     | 4    | 0      | 1    | 0   | 16 |
| 平成 18 年度 | 34   | 0      | 2    | 2     | 17   | 0      | 6    | 0   | 61 |
| 平成 19 年度 | 20   | 1      | 1    | 0     | 18   | 0      | 3    | 5   | 48 |
| 平成 20 年度 | 25   | 0      | 0    | 0     | 9    | 5      | 5    | 0   | 44 |
| 平成 21 年度 | 31   | 0      | 0    | 0     | 11   | 1      | 4    | 0   | 47 |
| 平成 22 年度 | 36   | 0      | 0    | 1     | 18   | 0      | 0    | 2   | 57 |
| 平成 23 年度 | 24   | 0      | 0    | 2     | 19   | 2      | 8    | 1   | 56 |
| 平成 24 年度 | 41   | 0      | 1    | 1     | 10   | 0      | 4    | 1   | 58 |
| 平成 25 年度 | 30   | 0      | 0    | 3     | 10   | 5      | 6    | 0   | 54 |

■ 住宅防音工事の状況

(単位：件)

| 年度<br>区分 | ～平成<br>14 年度 | 平成<br>15 年度 | 平成<br>16 年度 | 平成<br>17 年度 | 平成<br>18 年度 | 平成<br>19 年度 |
|----------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 新規工事     | 4,690        | 102         | 79          | 48          | 67          | 27          |
| 追加工事     | 3,386        | 85          | 64          | 16          | 40          | 21          |
| 機能復旧     | 864          | 248         | 206         | 151         | 65          | 3           |

| 年度<br>区分 | 平成<br>20 年度 | 平成<br>21 年度 | 平成<br>22 年度 | 平成<br>23 年度 | 平成<br>24 年度 | 平成<br>25 年度 | 累計    |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 新規工事     | 114         | 22          | 27          | 35          | 42          | 10          | 5,263 |
| 追加工事     | 50          | 28          | 18          | 20          | 9           | 26          | 3,763 |
| 機能復旧     | 154         | 192         | 362         | 147         | 54          | 163         | 2,609 |

■確認航空機騒音測定結果

(測定場所: 箱根ヶ崎民家(滑走路直下))

| 年度     | 区分 | 回数<br>(回) | 日平均<br>(回) | ヘリコプター(内数) |       | 最高<br>(dB) | WECPNL 値<br>(W) |
|--------|----|-----------|------------|------------|-------|------------|-----------------|
|        |    |           |            | 回数(回)      | 割合(%) |            |                 |
| 平成15年度 |    | 13,742    | 37.5       | 944        | 6.9   | 118.0      | 86.9            |
| 平成16年度 |    | 12,490    | 34.2       | 1,194      | 9.6   | 115.9      | 82.7            |
| 平成17年度 |    | 10,865    | 29.8       | 810        | 7.5   | 113.2      | 81.5            |
| 平成18年度 |    | 9,932     | 27.1       | 635        | 6.4   | 113.3      | 80.2            |
| 平成19年度 |    | 8,847     | 24.4       | 544        | 6.1   | 111.3      | 78.9            |
| 平成20年度 |    | 9,982     | 27.3       | 549        | 5.4   | 112.9      | 79.5            |
| 平成21年度 |    | 9,565     | 26.4       | 672        | 7.0   | 113.6      | 78.9            |
| 平成22年度 |    | 10,398    | 28.5       | 594        | 5.7   | 113.4      | 77.9            |
| 平成23年度 |    | 9,584     | 26.2       | 291        | 3.0   | 112.0      | 78.4            |
| 平成24年度 |    | 8,520     | 23.3       | 235        | 2.8   | 111.7      | 77.6            |
| 平成25年度 |    | 9,591     | 26.6       | 347        | 3.6   | 111.4      | 76.8            |

(2) 生活安全

1) 交通事故発生状況

交通事故発生件数は、年により増減はあるが、平成25年には237件となっている。

■交通事故発生状況の推移

(単位: 件、人)

| 年   |     | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 |
|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 区分  | 件数  | 305   | 313   | 271   | 307   | 259   | 262   | 244   | 237   |
| 死傷者 | 死者  | 3     | 1     | 0     | 1     | 0     | 1     | 0     | 0     |
|     | 重傷者 | 5     | 0     | 8     | 0     | 0     | 6     | 4     | 2     |
|     | 軽傷者 | 386   | 399   | 311   | 369   | 306   | 320   | 281   | 293   |
|     | 計   | 394   | 400   | 319   | 370   | 306   | 327   | 285   | 295   |

2) 犯罪発生状況

瑞穂町の平成19年から平成25年までの年間犯罪件数の推移を見ると、平成23年までは概ね増加傾向にあったが、平成24年からは減少している。また、罪種別では非侵入盗犯がほとんどを占める。

■罪種別犯罪発生状況の推移

(単位: 件)

| 年     |  | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 |
|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 区分    |  | 2     | 3     | 2     | 2     | 4     | 2     | 3     | 2     |
| 凶悪犯   |  | 21    | 20    | 16    | 16    | 23    | 12    | 10    | 16    |
| 粗暴犯   |  | 78    | 63    | 43    | 39    | 40    | 50    | 37    | 19    |
| 侵入盗犯  |  | 408   | 463   | 454   | 442   | 527   | 680   | 401   | 459   |
| 非侵入盗犯 |  | 23    | 21    | 10    | 19    | 16    | 13    | 13    | 10    |
| 知能犯   |  | 3     | 0     | 4     | 1     | 8     | 5     | 2     | 2     |
| 風俗犯   |  | 145   | 122   | 116   | 144   | 92    | 113   | 92    | 79    |
| その他   |  | 680   | 692   | 645   | 663   | 710   | 875   | 558   | 587   |
| 合計    |  |       |       |       |       |       |       |       |       |

出典: 福生警察署

## 5. 産業

### (1) 第1次産業（農業）

瑞穂町における平成22年の農家戸数は452戸、経営耕地面積は19,380aであり、いずれも多摩市町村の平均を上回る。

### (2) 第2次産業（工業）

瑞穂町における平成24年の工業分野の事業所数等は、多摩地域平均の倍以上の206事業所である。

年間の工業製造品出荷額は3,139億5,341万円となっており、同地域全市町村平均の倍程度と規模が大きい。

### (3) 第3次産業（商業）

瑞穂町における平成21年の商業事業所数は、439事業所であり、多摩地域平均に比べ著しく低い。

### (4) 産業の主な指標

以上の産業に関する現況を総括し、多摩地域における指標として整理すると、次表のとおりとなる。農業と工業が、多摩市町村の中で上位であるのと対照的に、商業が低位に位置している状況である。

#### ■産業に関する主な指標

| 指 標          | 単位  | 多摩市町村<br>総計の平均 | 瑞穂町        |
|--------------|-----|----------------|------------|
| 農家戸数         | 戸   | 340            | 452        |
| 経営耕地面積       | a   | 14,865         | 19,380     |
| 工業従業者規模別事業所数 | 事業所 | 99             | 206        |
| 工業製造品出荷額等    | 万円  | 15,727,478     | 31,395,341 |
| 商業従業者規模別事業所数 | 事業所 | 1,115          | 439        |

農業：平成22年農林業センサス

工業：平成24年工業統計調査

商業：平成21年経済センサス基礎調査

## 6. 保健衛生・福祉

### (1) 保健衛生

#### 1) 医 療

現在、町内にある病院の数は1、医院・診療所の数は8、眼科の数は1、歯科関係は6となっている。

#### ■医療機関一覧

| 名 称      | 診療科目    | 名 称      | 診療科目     |
|----------|---------|----------|----------|
| 新井クリニック  | 内、胃、小   | 青松歯科医院   | 歯        |
| 石畑診療所    | 内       | 岩永歯科医院   | 歯、小歯     |
| 栗原医院     | 内、消内、小  | 殿ヶ谷歯科医院  | 歯、小歯、矯   |
| 高沢病院     | 内、リハ、消内 | 箱根ヶ崎歯科医院 | 歯、小歯、矯、口 |
| 高水医院     | 内、小、婦   | みずほ歯科医院  | 歯、小歯     |
| 菜の花クリニック | 内、消内、歯  | 山岸歯科医院   | 歯、小歯     |
| 丸野医院     | 内、皮     |          |          |
| みずほクリニック | 内、整、リハ  |          |          |
| すずき瑞穂眼科  | 眼       |          |          |

#### 2) 健診等受診

基本健康診査は平成 20 年度から特定健康診査に変わり、以降、受診者は、増加傾向にあるといえる。また、がん検診については診療科目によって変動があるものの、子宮がんを除き全体的には増加傾向にある。

乳幼児の健康診査の受診数は、年度によって変動があるが、対象年齢児の減少とともに減少傾向にある。

#### ■健康診査及びがん検診受診状況

(単位：人)

| 年度<br>項目 |        | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|----------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 健康診査     | 基本健康診査 | 3,782    | 3,784    | 4,056    | 4,353    | －        |
|          | 若年     | －        | 368      | 414      | 436      | 204      |
|          | 無保険者   | －        | －        | －        | －        | 38       |
|          | 特定健康診査 | －        | －        | －        | －        | 2,912    |
|          | 後期高齢者  | －        | －        | －        | －        | 911      |
|          | 計      | 3,782    | 4,152    | 4,470    | 4,789    | 4,065    |
| がん検診     | 胃      | 381      | 411      | 402      | 416      | 434      |
|          | 肺      | 149      | 141      | 154      | 186      | 247      |
|          | 大腸     | 3,003    | 3,018    | 3,203    | 3,508    | 3,123    |
|          | 子宮     | 697      | 331      | 346      | 444      | 426      |
|          | 乳      | 188      | 197      | 214      | 249      | 294      |

(単位：人)

| 年度<br>項目 |        | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|----------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 健康診査     | 基本健康診査 | —        | —        | —        | —        | —        |
|          | 若年     | 244      | 208      | 220      | 189      | 182      |
|          | 無保険者   | 44       | 47       | 67       | 68       | 76       |
|          | 特定健康診査 | 3,011    | 3,170    | 3,214    | 3,322    | 3,495    |
|          | 後期高齢者  | 1,046    | 1,136    | 1,220    | 1,339    | 1,455    |
|          | 計      | 4,345    | 4,561    | 4,721    | 4,918    | 5,208    |
| がん検診     | 胃      | 481      | 520      | 509      | 547      | 566      |
|          | 肺      | 295      | 365      | 391      | 468      | 502      |
|          | 大腸     | 3326     | 3,487    | 3,505    | 3,743    | 3,855    |
|          | 子宮     | 566      | 529      | 562      | 509      | 399      |
|          | 乳      | 617      | 456      | 470      | 459      | 401      |

## ■ 母子保健事業の状況

(単位：人)

| 年度<br>項目      |  | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|---------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|
| 3～4 か月児健康診査   |  | 288      | 281      | 252      | 273      | 231      |
| 1 歳 6 か月児健康診査 |  | 329      | 293      | 301      | 273      | 280      |
| 3 歳児健康診査      |  | 329      | 342      | 303      | 321      | 288      |
| 幼児歯科健康診査      |  | 1,341    | 1,305    | 1,298    | 1,226    | 1202     |

| 年度<br>項目      |  | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|---------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|
| 3～4 か月児健康診査   |  | 224      | 233      | 230      | 211      | 222      |
| 1 歳 6 か月児健康診査 |  | 267      | 228      | 241      | 230      | 229      |
| 3 歳児健康診査      |  | 291      | 270      | 250      | 239      | 255      |
| 幼児歯科健康診査      |  | 1122     | 1100     | 1031     | 964      | 986      |

(2) 福 祉

1) 高齢者福祉・要介護等認定状況

瑞穂町の高齢者福祉施設は7施設が運営されており、うち、老人福祉施設が3施設、介護老人福祉施設が4施設となっている。

■ 高齢者福祉施設

| 市町村名         | 老年(65歳以上)人口<br>(人) | 老人福祉<br>施設数 | 介護老人福祉施設数<br>(特別養護老人ホーム) | 計   |
|--------------|--------------------|-------------|--------------------------|-----|
| 八王子市         | 130,715            | 8           | 23                       | 31  |
| 立川市          | 39,691             | 7           | 6                        | 13  |
| 武蔵野市         | 29,803             | 4           | 6                        | 10  |
| 三鷹市          | 37,198             | 3           | 4                        | 7   |
| 青梅市          | 34,238             | 5           | 24                       | 29  |
| 府中市          | 50,467             | 4           | 6                        | 10  |
| 昭島市          | 25,889             | 5           | 4                        | 9   |
| 調布市          | 45,556             | 0           | 6                        | 6   |
| 町田市          | 101,481            | 10          | 14                       | 24  |
| 小金井市         | 23,281             | 1           | 2                        | 3   |
| 小平市          | 40,266             | 1           | 6                        | 7   |
| 日野市          | 41,244             | 5           | 4                        | 9   |
| 東村山市         | 36,571             | 4           | 7                        | 11  |
| 国分寺市         | 24,635             | 1           | 4                        | 5   |
| 国立市          | 15,590             | 1           | 2                        | 3   |
| 福生市          | 13,303             | 1           | 4                        | 5   |
| 狛江市          | 18,162             | 1           | 2                        | 3   |
| 東大和市         | 20,390             | 1           | 4                        | 5   |
| 清瀬市          | 19,240             | 6           | 5                        | 11  |
| 東久留米市        | 29,615             | 7           | 4                        | 11  |
| 武蔵村山市        | 16,487             | 6           | 2                        | 8   |
| 多摩市          | 35,567             | 7           | 4                        | 11  |
| 稲城市          | 16,221             | 1           | 3                        | 4   |
| 羽村市          | 12,525             | 2           | 3                        | 5   |
| あきる野市        | 21,302             | 2           | 13                       | 15  |
| 西東京市         | 43,925             | 8           | 8                        | 16  |
| 瑞穂町          | 7,977              | 3           | 4                        | 7   |
| 日の出町         | 5,265              | 3           | 4                        | 7   |
| 檜原村          | 1,105              | 1           | 2                        | 3   |
| 奥多摩町         | 2,538              | 1           | 4                        | 5   |
| 多摩市町村<br>総 計 | 940,247            | 109         | 184                      | 293 |

(平成26年1月1日)

# ■町内高齢者福祉施設

| No | 施設名               | 所在地                | 定員(人) |
|----|-------------------|--------------------|-------|
| 1  | 特別養護老人ホーム みずほ園    | 瑞穂町大字箱根ヶ崎 922 番地 1 | 180   |
| 2  | 特別養護老人ホーム 不老の郷    | 瑞穂町大字二本木 1319 番地   | 80    |
| 3  | 特別養護老人ホーム 良友園     | 瑞穂町大字箱根ヶ崎 670 番地 1 | 100   |
| 4  | 特別養護老人ホーム フラワープラム | 瑞穂町大字長岡長谷部 83 番地 1 | 80    |
| 5  | 介護老人保健施設 菜の花      | 瑞穂町大字殿ヶ谷 454 番地    | 100   |
| 6  | 介護老人保健施設 ユニット菜の花  | 瑞穂町大字殿ヶ谷 454 番地    | 47    |
| 7  | 介護老人保健施設 けんちの苑みずほ | 瑞穂町大字長岡長谷部 31 番地 1 | 112   |

# ■老年人口割合

| 市町村名         | 老年（65 歳以上）<br>人口（人） | 老年（65 歳以上）<br>人口比率（％） | 比率<br>順位 |
|--------------|---------------------|-----------------------|----------|
| 八王子市         | 130,715             | 23.20                 | 14       |
| 立川市          | 39,691              | 22.27                 | 19       |
| 武蔵野市         | 29,803              | 21.21                 | 23       |
| 三鷹市          | 37,198              | 20.64                 | 26       |
| 青梅市          | 34,238              | 24.84                 | 7        |
| 府中市          | 50,467              | 19.92                 | 28       |
| 昭島市          | 25,889              | 22.93                 | 16       |
| 調布市          | 45,556              | 20.37                 | 27       |
| 町田市          | 101,481             | 23.81                 | 11       |
| 小金井市         | 23,281              | 19.90                 | 29       |
| 小平市          | 40,266              | 21.61                 | 22       |
| 日野市          | 41,244              | 22.97                 | 15       |
| 東村山市         | 36,571              | 24.05                 | 9        |
| 国分寺市         | 24,635              | 20.75                 | 25       |
| 国立市          | 15,590              | 20.96                 | 24       |
| 福生市          | 13,303              | 22.62                 | 18       |
| 狛江市          | 18,162              | 23.31                 | 13       |
| 東大和市         | 20,390              | 23.90                 | 10       |
| 清瀬市          | 19,240              | 25.92                 | 5        |
| 東久留米市        | 29,615              | 25.44                 | 6        |
| 武蔵村山市        | 16,487              | 22.84                 | 17       |
| 多摩市          | 35,567              | 24.08                 | 8        |
| 稲城市          | 16,221              | 18.82                 | 30       |
| 羽村市          | 12,525              | 22.04                 | 21       |
| あきる野市        | 21,302              | 26.01                 | 4        |
| 西東京市         | 43,925              | 22.24                 | 20       |
| 瑞穂町          | 7,977               | 23.53                 | 12       |
| 日の出町         | 5,265               | 31.09                 | 3        |
| 檜原村          | 1,105               | 44.90                 | 1        |
| 奥多摩町         | 2,538               | 44.85                 | 2        |
| 多摩市町村<br>総 計 | 940,247             | 22.61                 |          |

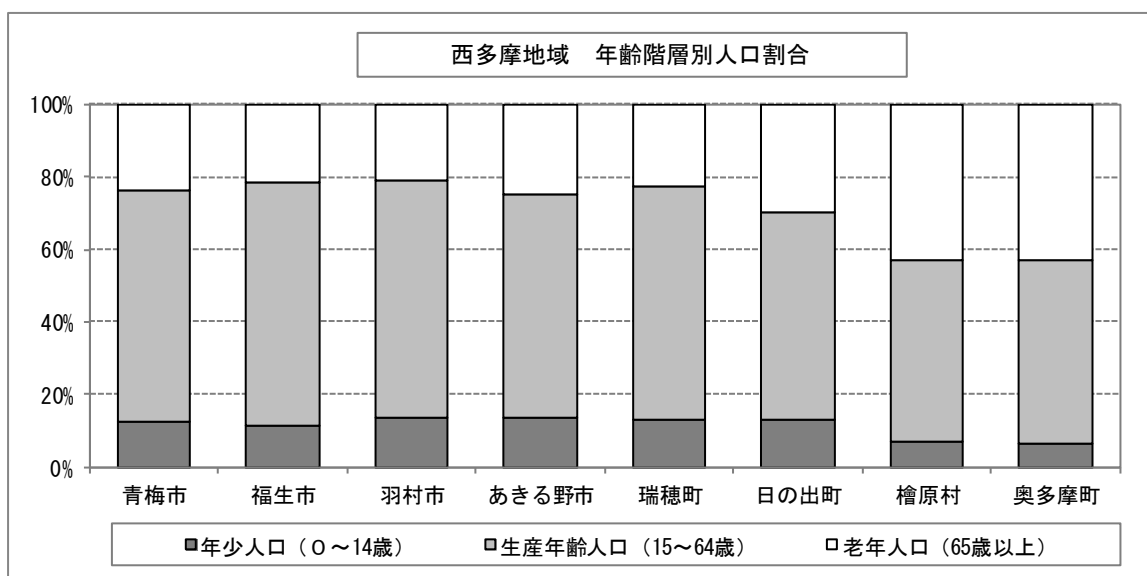
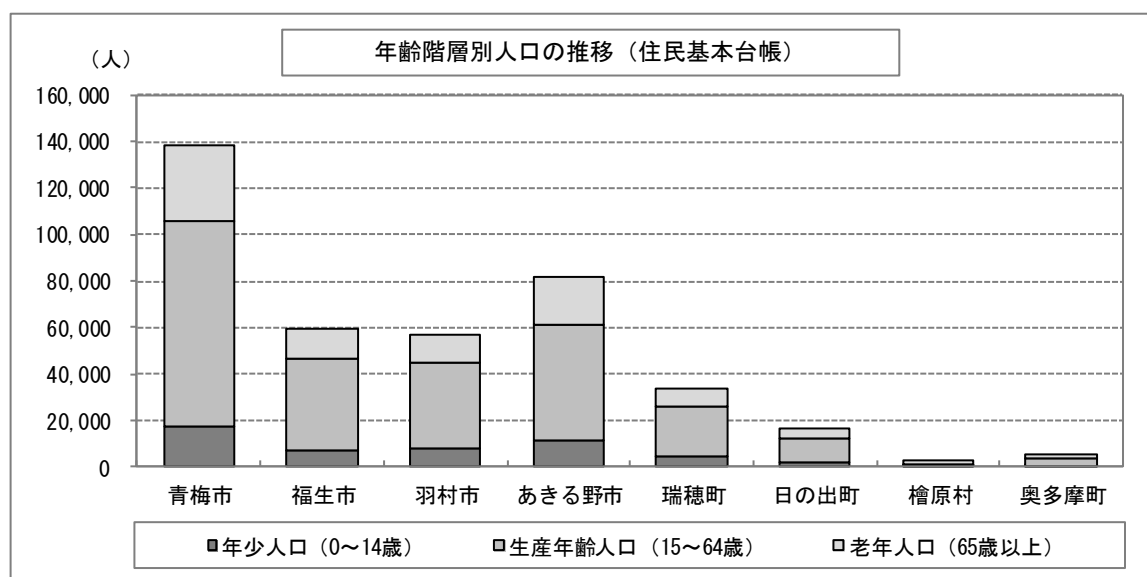
（平成 26 年 1 月 1 日）

■西多摩地域における年齢階層別人口の比較 (単位：人)

| 市町村名   | 年少人口<br>(0～14歳) | 生産年齢人口<br>(15～64歳) | 老年人口<br>(65歳以上) |
|--------|-----------------|--------------------|-----------------|
| 青梅市    | 16,834          | 86,761             | 34,238          |
| 福生市    | 6,654           | 38,864             | 13,303          |
| 羽村市    | 7,704           | 36,608             | 12,525          |
| あきる野市  | 11,204          | 49,406             | 21,302          |
| 瑞穂町    | 4,396           | 21,531             | 7,977           |
| 日の出町   | 2,287           | 9,380              | 5,265           |
| 檜原村    | 168             | 1,188              | 1,105           |
| 奥多摩町   | 358             | 2,763              | 2,538           |
| 西多摩地域計 | 49,605          | 246,501            | 98,253          |

(平成26年1月1日)

■西多摩地域における年齢階層別人口参考グラフ



■ 老人クラブ

(単位：人)

| 老人クラブ名    | 区 域                | 平成<br>15年度 | 平成<br>16年度 | 平成<br>17年度 | 平成<br>18年度 | 平成<br>19年度 | 平成<br>20年度 |
|-----------|--------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 殿ヶ谷第一寿会   | 安住町、表町             | 82         | 76         | 72         | 68         | 63         | 61         |
| 殿ヶ谷第二寿会   | 中芝町                | 53         | 53         | 53         | 51         | 51         | 51         |
| 殿ヶ谷仲町寿会   | 仲町                 | 73         | 77         | 79         | 76         | 73         | 70         |
| 石畑第一寿会    | 東砂町、西砂町            | 65         | 66         | 74         | 71         | 68         | 64         |
| 石畑第二寿会    | 丸町、神明町             | 60         | 60         | 63         | 61         | 57         | 53         |
| 石畑上寿会     | 表東町、表上町            | 67         | 67         | 62         | 61         | 60         | 53         |
| 石畑旭寿会     | 旭町                 | 59         | 65         | 63         | 66         | 64         | 63         |
| 箱根ヶ崎第一寿会  | 東一丁目、西一丁目、二丁目、中三丁目 | 57         | 65         | 59         | 58         | 60         | 69         |
| 箱根ヶ崎第二寿会  | 六～九丁目              | 70         | 71         | 67         | 61         | 64         | 51         |
| 箱根ヶ崎第三寿会  | 四、五丁目              | 60         | 62         | 58         | 52         | 57         | 56         |
| 東三丁目寿会    | 東三丁目               | 76         | 93         | 88         | 86         | 85         | 83         |
| 長岡第一寿会    | 長岡町、春日町、東長岡町       | 123        | 123        | 121        | 121        | 103        | 102        |
| 長岡第二寿会    | 愛宕町、水保町            | 85         | 83         | 80         | 73         | 63         | 57         |
| 長岡愛好会     | 長岡町、春日町、東長岡町       | —          | —          | —          | —          | —          | —          |
| 元狹山第一寿会   | 駒形町、二本木町           | 58         | 57         | 54         | —          | 55         | 58         |
| 元狹山第2寿会   | 高根町、駒形町            | —          | 59         | 53         | 57         | 61         | 59         |
| 元狹山第三寿クラブ | 栗原町、富士山町           | 76         | 89         | 85         | 83         | 79         | 79         |
| 元狹山第四寿会   | 栗原町、富士山町、松山町       | —          | —          | —          | —          | —          | —          |
| 武蔵野会      | 旭が丘                | 73         | 72         | 67         | 64         | 64         | 60         |
| さかえ町友好会   | さかえ町               | 68         | 54         | 54         | 54         | 57         | 54         |
| 富士見白寿会    | 富士見町               | 53         | 53         | 54         | 54         | 52         | 53         |
| 松原若松寿会    | 松原町                | 53         | 53         | 53         | 54         | 58         | 59         |
| 南平寿会      | 南平町                | 52         | 53         | 52         | 55         | 50         | 52         |
| 計         |                    | 1,363      | 1,451      | 1,411      | 1,326      | 1,344      | 1,307      |

(単位：人)

| 老人クラブ名    | 区 域                | 平成<br>21年度 | 平成<br>22年度 | 平成<br>23年度 | 平成<br>24年度 | 平成<br>25年度 |
|-----------|--------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 殿ヶ谷第一寿会   | 安住町、表町             | 53         | —          | —          | —          | —          |
| 殿ヶ谷第二寿会   | 中芝町                | 51         | —          | —          | —          | —          |
| 殿ヶ谷仲町寿会   | 仲町                 | 69         | 67         | 63         | 60         | 61         |
| 石畑第一寿会    | 東砂町、西砂町            | 61         | 57         | 56         | 45         | 44         |
| 石畑第二寿会    | 丸町、神明町             | 51         | 50         | 50         | 39         | 37         |
| 石畑上寿会     | 表東町、表上町            | 53         | 54         | 46         | 41         | 41         |
| 石畑旭寿会     | 旭町                 | 61         | 61         | 68         | 67         | 65         |
| 箱根ヶ崎第一寿会  | 東一丁目、西一丁目、二丁目、中三丁目 | 69         | 110        | 63         | 52         | 52         |
| 箱根ヶ崎第二寿会  | 六～九丁目              | 53         | 52         | 51         | 51         | 43         |
| 箱根ヶ崎第三寿会  | 四、五丁目              | 57         | 52         | 51         | 48         | 40         |
| 東三丁目寿会    | 東三丁目               | 81         | —          | —          | —          | —          |
| 長岡第一寿会    | 長岡町、春日町、東長岡町       | 120        | 110        | 84         | 63         | 63         |
| 長岡第二寿会    | 愛宕町、水保町            | 61         | 60         | 62         | 62         | 58         |
| 長岡愛好会     | 長岡町、春日町、東長岡町       | —          | —          | 17         | 45         | 47         |
| 元狹山第一寿会   | 駒形町、二本木町           | 58         | —          | —          | —          | —          |
| 元狹山第2寿会   | 高根町、駒形町            | 57         | 66         | 62         | 58         | 57         |
| 元狹山第三寿クラブ | 栗原町、富士山町           | 79         | 81         | 81         | 82         | 71         |
| 元狹山第四寿会   | 栗原町、富士山町、松山町       | —          | —          | 32         | 38         | 34         |
| 武蔵野会      | 旭が丘                | 59         | 57         | 50         | 46         | 44         |
| さかえ町友好会   | さかえ町               | 53         | 50         | 47         | 47         | 46         |
| 富士見白寿会    | 富士見町               | 56         | 52         | 50         | 46         | 50         |
| 松原若松寿会    | 松原町                | 59         | 56         | 56         | 60         | 54         |
| 南平寿会      | 南平町                | 52         | 53         | 51         | 45         | 43         |
| 計         |                    | 1,313      | 1,088      | 1,040      | 995        | 950        |

■シルバー人材センター会員数

|                | 単位 | 平成<br>15 年度 | 平成<br>16 年度 | 平成<br>17 年度 | 平成<br>18 年度 | 平成<br>19 年度 | 平成<br>20 年度 |
|----------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 会員数            | 人  | 310         | 307         | 299         | 396         | 410         | 440         |
| 就業実人数          | 人  | 260         | 270         | 266         | 338         | 362         | 357         |
| 就業率(就業実人数／会員数) | %  | 83.9        | 87.9        | 89.0        | 85.4        | 88.3        | 81.1        |
| 受注件数           | 件  | 1,268       | 1,299       | 1,229       | 1,251       | 1,332       | 1,280       |
| 公 共            | 件  | 334         | 323         | 303         | 327         | 350         | 322         |
| 民 間            | 件  | 934         | 976         | 926         | 924         | 982         | 958         |

|                | 単位 | 平成<br>20 年度 | 平成<br>21 年度 | 平成<br>22 年度 | 平成<br>23 年度 | 平成<br>24 年度 | 平成<br>25 年度 |
|----------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 会員数            | 人  | 440         | 445         | 451         | 474         | 482         | 470         |
| 就業実人数          | 人  | 357         | 366         | 382         | 419         | 447         | 442         |
| 就業率(就業実人数／会員数) | %  | 81.1        | 82.2        | 84.7        | 88.4        | 92.7        | 94.0        |
| 受注件数           | 件  | 1,280       | 1,208       | 893         | 1,348       | 1,574       | 1,847       |
| 公 共            | 件  | 322         | 301         | 474         | 348         | 396         | 613         |
| 民 間            | 件  | 958         | 907         | 419         | 1,000       | 1,178       | 1,234       |

■介護保険認定者数の状況

| 市町村名  | A：老年（65歳以上）人口（人） | B：要介護（要支援）認定者数 第1号（人） | B/A×100（%） |
|-------|------------------|-----------------------|------------|
| 八王子市  | 130,715          | 22,462                | 17.2%      |
| 立川市   | 39,691           | 6,830                 | 17.2%      |
| 武蔵野市  | 29,803           | 5,899                 | 19.8%      |
| 三鷹市   | 37,198           | 6,776                 | 18.2%      |
| 青梅市   | 34,238           | 4,536                 | 13.2%      |
| 府中市   | 50,467           | 8,884                 | 17.6%      |
| 昭島市   | 25,889           | 4,278                 | 16.5%      |
| 調布市   | 45,556           | 8,599                 | 18.9%      |
| 町田市   | 101,481          | 16,689                | 16.4%      |
| 小金井市  | 23,281           | 4,459                 | 19.2%      |
| 小平市   | 40,266           | 6,929                 | 17.2%      |
| 日野市   | 41,244           | 7,233                 | 17.5%      |
| 東村山市  | 36,571           | 6,916                 | 18.9%      |
| 国分寺市  | 24,635           | 4,302                 | 17.5%      |
| 国立市   | 15,590           | 2,870                 | 18.4%      |
| 福生市   | 13,303           | 1,852                 | 13.9%      |
| 狛江市   | 18,162           | 3,334                 | 18.4%      |
| 東大和市  | 20,390           | 3,038                 | 14.9%      |
| 清瀬市   | 19,240           | 3,405                 | 17.7%      |
| 東久留米市 | 29,615           | 4,367                 | 14.7%      |
| 武蔵村山市 | 16,487           | 2,264                 | 13.7%      |
| 多摩市   | 35,567           | 4,559                 | 12.8%      |
| 稲城市   | 16,221           | 2,231                 | 13.8%      |
| 羽村市   | 12,525           | 1,683                 | 13.4%      |
| あきる野市 | 21,302           | 2,597                 | 12.2%      |
| 西東京市  | 43,925           | 8,367                 | 19.0%      |
| 瑞穂町   | 7,977            | 1,111                 | 13.9%      |
| 日の出町  | 5,265            | 621                   | 11.8%      |
| 檜原村   | 1,105            | 181                   | 16.4%      |
| 奥多摩町  | 2,538            | 389                   | 15.3%      |
| 多摩地域計 | 940,247          | 157,661               | 16.8%      |

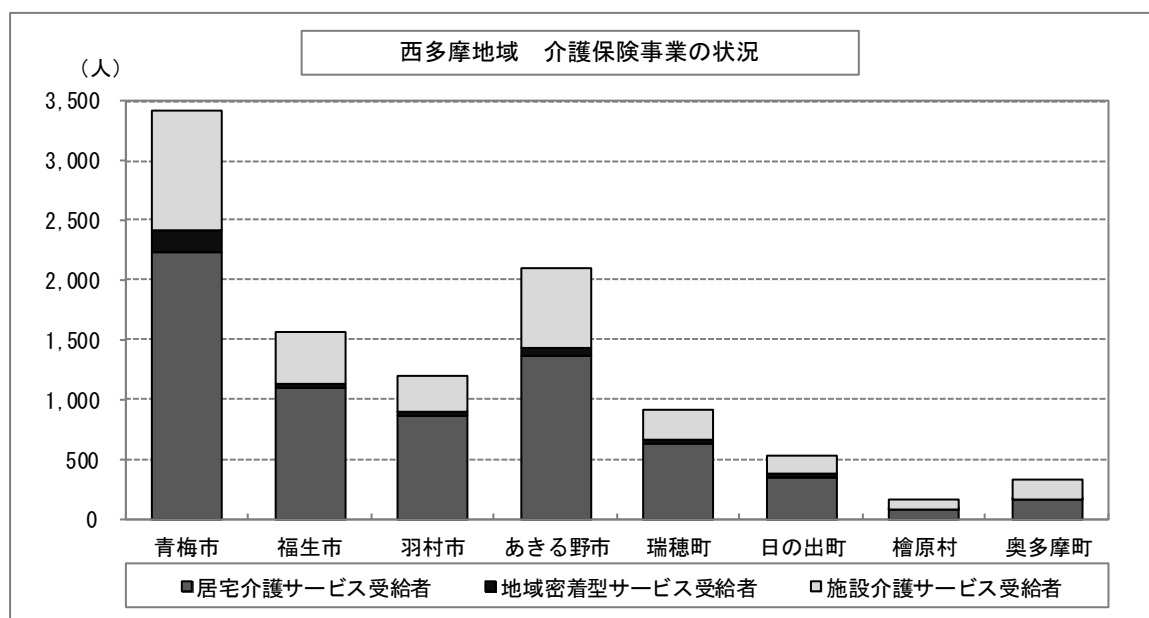
（平成26年1月）

■介護保険事業の状況（西多摩地域）

（単位：人）

| 市町村名  | 居宅介護サービス<br>受給者 | 地域密着型サービス<br>受給者 | 施設介護サービス<br>受給者 |
|-------|-----------------|------------------|-----------------|
| 青梅市   | 2,290           | 180              | 1,010           |
| 福生市   | 1,108           | 15               | 445             |
| 羽村市   | 889             | 38               | 318             |
| あきる野市 | 1,413           | 79               | 673             |
| 瑞穂町   | 605             | 16               | 258             |
| 日の出町  | 332             | 23               | 167             |
| 檜原村   | 67              | 1                | 76              |
| 奥多摩町  | 146             | 5                | 168             |
| 計     | 6,850           | 357              | 3,115           |

（平成 26 年 1 月末）



（平成 26 年 1 月末）

## 2) 児童福祉

瑞穂町の保育園は7施設（公立2、私立5）あり、平成20年度の合計の定員584名から平成25年度は644名に増加している。

### ■ 保育園入園児童数

（単位：人）

|           | 平成17年度         | 平成18年度         | 平成19年度         | 平成20年度         | 平成21年度         |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 石畑保育園     | 1,177<br>(58)  | 1,166<br>(51)  | 1,145<br>(54)  | 1,271<br>(59)  | 1,267<br>(71)  |
| むさしの保育園   | 1,563<br>(42)  | 1,524<br>(36)  | 1,522<br>(51)  | 1,480<br>(36)  | 1,488<br>(35)  |
| 東松原保育園    | 1,036<br>(72)  | 1,032<br>(60)  | 1,090<br>(15)  | 1,057<br>(49)  | 1,016<br>(37)  |
| 狭山保育園     | 1,228<br>(73)  | 1,270<br>(25)  | 1,265<br>(34)  | 1,239<br>(40)  | 1,220<br>(56)  |
| 長岡保育園     | 1,088<br>(73)  | 1,053<br>(94)  | 1,061<br>(107) | 1,044<br>(84)  | 1,060<br>(38)  |
| みずほひじり保育園 | 846<br>(153)   | 892<br>(95)    | 989<br>(42)    | 969<br>(36)    | 1,012<br>(37)  |
| とのがや保育園   | -<br>-         | -<br>-         | -<br>-         | -<br>-         | -<br>-         |
| 管外保育園     | 939            | 757            | 632            | 481            | 463            |
| 合 計       | 7,877<br>(471) | 7,694<br>(361) | 7,704<br>(303) | 7,541<br>(304) | 7,526<br>(274) |

|           | 平成22年度         | 平成23年度         | 平成24年度         | 平成25年度         | 平成25年度<br>定員 |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|
| 石畑保育園     | 1,282<br>(69)  | 1,233<br>(52)  | 1,262<br>(14)  | 1,209<br>(36)  | 110          |
| むさしの保育園   | 1,477<br>(3)   | 1,505<br>(10)  | 1,410<br>(27)  | 1,449<br>(16)  | 120          |
| 東松原保育園    | 1,022<br>(58)  | 1,035<br>(20)  | 968<br>(43)    | 946<br>(32)    | 90           |
| 狭山保育園     | 1,237<br>(4)   | 1,145<br>(2)   | 1,147<br>(9)   | 1,150<br>(1)   | 100          |
| 長岡保育園     | 1,064<br>(17)  | 1,074<br>(5)   | 979<br>(24)    | 884<br>(67)    | 90           |
| みずほひじり保育園 | 995<br>(14)    | 947<br>(14)    | 866<br>(12)    | 811<br>(0)     | 74           |
| とのがや保育園   | -<br>-         | 481<br>(2)     | 611<br>(27)    | 686<br>(70)    | 60           |
| 管外保育園     | 462            | 406            | 372            | 370            | -            |
| 合 計       | 7,539<br>(165) | 7,826<br>(105) | 7,615<br>(156) | 7,505<br>(222) | 644          |

（備考）上段は町内在住の入園児童数。下段は町外からの受託児童数。  
各年度の入園児童数は、各月入園児童数の1年間の合計人数。

■認可保育所の状況

(単位：所、人)

| 年               | 施設数 |    |    | 定 員 |     |     | 入所児童数 |     |     |
|-----------------|-----|----|----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
|                 |     | 公立 | 私立 |     | 公立  | 私立  |       | 公立  | 私立  |
| 平成 22 年 4 月 1 日 | 6   | 2  | 4  | 584 | 230 | 354 | 614   | 230 | 384 |
| 平成 23 年 4 月 1 日 | 7   | 2  | 5  | 644 | 230 | 414 | 628   | 226 | 402 |
| 平成 24 年 4 月 1 日 | 7   | 2  | 5  | 644 | 230 | 414 | 614   | 221 | 293 |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | 7   | 2  | 5  | 644 | 230 | 414 | 588   | 214 | 374 |
| 平成 26 年 4 月 1 日 | 7   | 2  | 5  | 644 | 230 | 414 | 610   | 226 | 384 |

■児童館利用状況

(単位:人)

|          |   | 幼児  | 小学生 | 中学生 | 高校生等<br>18歳未満 | 町外  | 計     |
|----------|---|-----|-----|-----|---------------|-----|-------|
| 平成 17 年度 | 男 | 126 | 214 | 112 | 12            | 27  | 491   |
|          | 女 | 143 | 339 | 35  | 5             | 26  | 548   |
|          | 計 | 269 | 553 | 147 | 17            | 53  | 1,039 |
| 平成 18 年度 | 男 | 123 | 322 | 173 | 38            | 33  | 689   |
|          | 女 | 133 | 451 | 95  | 5             | 25  | 709   |
|          | 計 | 256 | 773 | 268 | 43            | 58  | 1,398 |
| 平成 19 年度 | 男 | 140 | 369 | 217 | 78            | 37  | 841   |
|          | 女 | 147 | 456 | 164 | 24            | 37  | 828   |
|          | 計 | 287 | 825 | 381 | 102           | 74  | 1,669 |
| 平成 20 年度 | 男 | 197 | 314 | 241 | 229           | 47  | 1,028 |
|          | 女 | 237 | 365 | 284 | 99            | 38  | 1,023 |
|          | 計 | 434 | 679 | 525 | 328           | 85  | 2,051 |
| 平成 21 年度 | 男 | 117 | 329 | 195 | 307           | 37  | 985   |
|          | 女 | 141 | 340 | 261 | 189           | 38  | 969   |
|          | 計 | 258 | 669 | 456 | 496           | 75  | 1,954 |
| 平成 22 年度 | 男 | 157 | 409 | 213 | 314           | 53  | 1,146 |
|          | 女 | 180 | 436 | 271 | 191           | 57  | 1,135 |
|          | 計 | 337 | 845 | 484 | 505           | 110 | 2,281 |
| 平成 23 年度 | 男 | 97  | 324 | 224 | 14            | 61  | 720   |
|          | 女 | 94  | 308 | 225 | 18            | 65  | 710   |
|          | 計 | 191 | 632 | 449 | 32            | 126 | 1,430 |
| 平成 24 年度 | 男 | 175 | 395 | 264 | 22            | 71  | 927   |
|          | 女 | 165 | 385 | 254 | 20            | 76  | 900   |
|          | 計 | 340 | 780 | 518 | 42            | 147 | 1,827 |
| 平成 25 年度 | 男 | 193 | 400 | 202 | 21            | 47  | 863   |
|          | 女 | 217 | 361 | 182 | 23            | 77  | 860   |
|          | 計 | 410 | 761 | 384 | 44            | 124 | 1,723 |

### 3) 福祉関係のボランティア

瑞穂町においては、個人 514 人、24 のグループのボランティアが、福祉関係の活動に参加し、社会奉仕している。

#### ■西多摩地域における福祉に関するボランティア数

| 市町村名<br>(西多摩地域) | 個人ボランティア（人） |     |     | ボランティア<br>グループ |       |
|-----------------|-------------|-----|-----|----------------|-------|
|                 | 計           | 男   | 女   | グループ数          | 人数    |
| 青梅市             | －           | －   | －   | 74             | 3,086 |
| 福生市             | －           | －   | －   | 164            | －     |
| 羽村市             | －           | －   | －   | 57             | 1,020 |
| あきる野市           | 65          | 6   | 59  | 88             | 1,499 |
| 瑞穂町             | 514         | 188 | 326 | 24             | 357   |
| 日の出町            | －           | －   | －   | 13             | 133   |
| 檜原村             | 19          | 13  | 6   | 3              | 45    |
| 奥多摩町            | 190         | －   | －   | 15             | 241   |
| 計               | 788         | 207 | 391 | 438            | 6,381 |

※個人登録制度なし

※個人登録制度なし。個人・グループ総数が 4,313 人

※個人登録制度なし

※個人登録制度なし

※個人ボランティアの男女集計なし

(社会福祉協議会調 (平成 26 年 3 月末現在))

## 7. 学校教育

### (1) 義務教育

瑞穂町の小学校、中学校の学校数、在学者数、本務教員数を多摩市町村総計の平均とともに整理すると、下表のとおりである。

#### ■義務教育の学校数・在学者数・本務教員数（公立）

|          | 単位 | 多摩市町村<br>総計の平均 | 瑞穂町   |
|----------|----|----------------|-------|
| 小学校学校数   | 校  | 14.7           | 5     |
| 中学校学校数   | 校  | 7.4            | 2     |
| 小学校児童数   | 人  | 6,836.8        | 1,828 |
| 小学校本務教員数 | 人  | 374.7          | 106   |
| 中学校生徒数   | 人  | 3,126.1        | 952   |
| 中学校本務教員数 | 人  | 196.3          | 59    |

（平成 26 年 5 月 1 日）

#### 〔参考〕

|          | 単位 | 多摩市町村<br>総計の平均 | 瑞穂町   |
|----------|----|----------------|-------|
| 小学校学校数   | 校  | 15             | 5     |
| 中学校学校数   | 校  | 7              | 2     |
| 小学校児童数   | 人  | 6,949          | 2,106 |
| 小学校本務教員数 | 人  | 353            | 106   |
| 中学校生徒数   | 人  | 2,959          | 990   |
| 中学校本務教員数 | 人  | 181            | 57    |

（平成 19 年 5 月 1 日）

#### 1) 小学校教育

平成 26 年における小学校 1 校当たりの児童数をみると 365.6 人（平成 19 年は 421.2 人）であり、7 年前よりも減少している。

#### 2) 中学校教育

平成 26 年における中学校 1 校当たりの生徒数をみると 476.0 人（平成 19 年は 495.0 人）であり、7 年前よりも減少している。

### 3) 長期欠席児童・生徒出現率

平成 26 年 5 月 1 日の学校基本調査において、瑞穂町の小学校及び中学校の長期欠席児童・生徒の出現率は、小学校で 1.7%、中学校で 6.8%となっており、小学校に比べ中学校における出現率が高い結果となっている。

#### ■瑞穂町長期欠席児童・生徒出現率

| 区 分               | 単位  |       |
|-------------------|-----|-------|
| 小学校 1 校当たり児童数（公立） | 人/校 | 365.6 |
| 小学校長期欠席児童出現率（公立）  | %   | 1.7   |
| 中学校 1 校当たり生徒数（公立） | 人/校 | 476.0 |
| 中学校長期欠席生徒出現率（公立）  | %   | 6.8   |

（平成 26 年 5 月 1 日）

## 8. 文化的資産・社会的活動

### (1) 文化的資産

指定文化財は次のとおりである。東京都指定の文化財が1つあり、その他はすべて町指定の文化財となっている。

#### 1) 指定文化財

##### ■指定文化財

| No | 名称／種別     | 指定年月日      | 所在地（伝承地）   | 所有（管理・伝承）者                                    |
|----|-----------|------------|------------|-----------------------------------------------|
| 1  | 紙本着色観心十界図 | 平成元年3月24日  | 箱根ヶ崎 132   | 沖 悟(宗教法人円福寺代表役員)                              |
| 2  | 福正寺観音堂    | 昭和48年3月20日 | 殿ヶ谷 1155-1 | 鈴木 文雄(宗教法人福正寺代表役員)                            |
| 3  | 中興開山月叟壽像  | 昭和48年3月20日 | 殿ヶ谷 1129   | 鈴木 文雄(宗教法人福正寺代表役員)                            |
| 4  | 阿弥陀如来像一体  | 昭和48年3月20日 | 石畑 1708    | 吉岡 康(石畑財産管理委員会委員長)                            |
| 5  | 御嶽神社本殿    | 昭和48年3月20日 | 石畑 1848    | 宮崎 盛明(宗教法人御嶽神社代表役員)<br>栗原 清 (神社総代)            |
| 6  | 吉野岳地藏堂    | 昭和52年5月28日 | 石畑 1805-1  | 吉岡 康(石畑財産管理委員会委員長)<br>吉岡 道雄(吉野岳地藏堂石畑地藏尊奉賛会会長) |
| 7  | 古文書       | 昭和48年3月20日 | 長岡長谷部 118  | 長谷部 幸作                                        |
| 8  | 古文書       | 昭和48年3月20日 | 長岡長谷部 65   | 長谷部 良夫                                        |
| 9  | 古文書       | 昭和48年3月20日 | 駒形富士山 193  | 栗原 仁                                          |
| 10 | 古文書       | 昭和48年3月20日 | 長岡長谷部 32   | 清水 悦子                                         |
| 11 | 古文書       | 昭和48年3月20日 | 箱根ヶ崎 166   | 村山 友直                                         |
| 12 | 加藤塚跡地     | 平成25年2月28日 | 箱根ヶ崎 315   | 東京都建設局                                        |
| 13 | 御嶽神社櫓     | 昭和48年3月20日 | 石畑 1848    | 宮崎 盛明(宗教法人御嶽神社代表役員)<br>栗原 清 (神社総代)            |
| 14 | 神明神社櫓     | 昭和48年3月20日 | 石畑 1773    | 宮崎 盛明(宗教法人御嶽神社代表役員)<br>古川 卓治(神明神社総代)          |
| 15 | 福正寺多羅葉樹   | 昭和48年3月20日 | 殿ヶ谷 1129   | 鈴木 文雄(宗教法人福正寺代表役員)                            |
| 16 | 浅間神社の檜    | 昭和48年3月20日 | 箱根ヶ崎 2598  | 矢ヶ崎 正邦(宗教法人浅間神社代表役員)<br>関谷 祥久(加藤神社総代表)        |
| 17 | 五輪様のかきの木  | 昭和52年5月28日 | 駒形富士山 376  | 細渕 尚生                                         |

| No | 名称／種別   | 指定年月日            | 所在地（伝承地）   | 所有（管理・伝承）者                         |
|----|---------|------------------|------------|------------------------------------|
| 18 | 石畑重松囃子  | 昭和 48 年 3 月 20 日 | 石畑 1848    | 鈴木 勇（石畑重松囃子保存会代表）                  |
| 19 | 箱根ヶ崎獅子舞 | 昭和 48 年 3 月 20 日 | 箱根ヶ崎       | 須賀 省三（箱根ヶ崎獅子舞保存会代表）                |
| 20 | 殿ヶ谷の山車  | 平成 18 年 7 月 6 日  | 殿ヶ谷 1034-2 | 尾作 定三（殿ヶ谷有財産管理委員会委員長）              |
| 21 | 石畑の山車   | 平成 18 年 7 月 6 日  | 石畑 1848    | 石塚 澄男（石畑自治会会長）<br>大野 益巳（石畑山車保存会会長） |
| 22 | 殿ヶ谷の神輿  | 平成 24 年 3 月 22 日 | 殿ヶ谷 1304-2 | 尾作定三（殿ヶ谷有財産管理委員会委員長）               |
| 23 | 高根の神輿   | 平成 24 年 3 月 22 日 | 高根 94-8    | 田中幸男（高根町町内会長）                      |

## 2) 文化施設

平成 25 年度におけるスカイホールの利用状況は次のとおりである。ホール、リハーサル室及び展示ギャラリーは、4 月～8 月の間、改修工事のため利用できない状況であった。

平成 19 年度の利用状況と 9 月以降を比較すると、利用回数は減っているが、ホール及びリハーサル室の利用人数は増えている。

### ■スカイホール利用状況（平成 25 年度） ※ホールについては舞台のみの利用含む

|      | 大ホール |        | 小ホール |        | リハーサル室 |       | 展示ギャラリー |       |
|------|------|--------|------|--------|--------|-------|---------|-------|
|      | 回数   | 人数     | 回数   | 人数     | 回数     | 人数    | 回数      | 人数    |
| 4 月  | —    | —      | —    | —      | —      | —     | —       | —     |
| 5 月  | —    | —      | —    | —      | —      | —     | —       | —     |
| 6 月  | —    | —      | —    | —      | —      | —     | —       | —     |
| 7 月  | —    | —      | —    | —      | —      | —     | —       | —     |
| 8 月  | —    | —      | —    | —      | —      | —     | —       | —     |
| 9 月  | 13   | 1,335  | 13   | 760    | 9      | 50    | 7       | 35    |
| 10 月 | 20   | 7,863  | 22   | 7,479  | 18     | 565   | 11      | 1,130 |
| 11 月 | 7    | 4,930  | 15   | 3,760  | 7      | 544   | 4       | 500   |
| 12 月 | 4    | 2,656  | 14   | 3,473  | 3      | 90    | 0       | 0     |
| 1 月  | 7    | 716    | 9    | 1,430  | 4      | 32    | 0       | 0     |
| 2 月  | 5    | 829    | 8    | 129    | 0      | 0     | 0       | 0     |
| 3 月  | 11   | 4,637  | 17   | 2,282  | 12     | 252   | 0       | 0     |
| 計    | 67   | 22,966 | 98   | 19,313 | 53     | 1,533 | 22      | 1,665 |

※4～8 月は改修工事のため、使用不可

|      | スカイホール会議室 |       | 競技場会議室 |     | 計   |       |
|------|-----------|-------|--------|-----|-----|-------|
|      | 回数        | 人数    | 回数     | 人数  | 回数  | 人数    |
| 4 月  | 29        | 432   | 2      | 41  | 31  | 473   |
| 5 月  | 33        | 278   | 5      | 51  | 38  | 329   |
| 6 月  | 32        | 311   | 2      | 17  | 34  | 328   |
| 7 月  | 33        | 346   | 5      | 49  | 38  | 395   |
| 8 月  | 29        | 322   | 3      | 14  | 32  | 336   |
| 9 月  | 41        | 305   | 14     | 83  | 55  | 388   |
| 10 月 | 47        | 471   | 12     | 43  | 59  | 514   |
| 11 月 | 43        | 493   | 8      | 105 | 51  | 598   |
| 12 月 | 31        | 962   | 0      | 0   | 31  | 962   |
| 1 月  | 22        | 192   | 4      | 29  | 26  | 221   |
| 2 月  | 25        | 221   | 3      | 22  | 28  | 243   |
| 3 月  | 33        | 332   | 0      | 0   | 33  | 332   |
| 計    | 398       | 4,665 | 58     | 454 | 456 | 5,119 |

※競技場会議室において、適応指導教室（スタディールームいぶき）の使用状況は除く。

■【参考】スカイホール利用状況（平成 19 年度）

|      | 大ホール |        | 小ホール |        | リハーサル室 |     | 展示ギャラリー |       |
|------|------|--------|------|--------|--------|-----|---------|-------|
|      | 回数   | 人数     | 回数   | 人数     | 回数     | 人数  | 回数      | 人数    |
| 4 月  | 4    | 1,135  | 14   | 385    | 8      | 78  | 0       | 0     |
| 5 月  | 6    | 3,020  | 10   | 735    | 10     | 80  | 0       | 0     |
| 6 月  | 5    | 90     | 21   | 1,415  | 10     | 50  | 0       | 0     |
| 7 月  | 6    | 1,140  | 18   | 796    | 18     | 186 | 0       | 0     |
| 8 月  | 8    | 1,355  | 14   | 390    | 11     | 110 | 0       | 0     |
| 9 月  | 18   | 1,642  | 15   | 1,114  | 18     | 193 | 0       | 0     |
| 10 月 | 25   | 4,784  | 39   | 4,981  | 12     | 34  | 20      | 1,500 |
| 11 月 | 16   | 2,900  | 16   | 2,450  | 10     | 46  | 9       | 1,500 |
| 12 月 | 2    | 560    | 24   | 1,177  | 9      | 80  | 0       | 0     |
| 1 月  | 15   | 920    | 13   | 120    | 16     | 57  | 0       | 0     |
| 2 月  | 17   | 1,584  | 10   | 973    | 20     | 35  | 0       | 0     |
| 3 月  | 14   | 862    | 24   | 1,605  | 20     | 45  | 0       | 0     |
| 計    | 136  | 19,992 | 218  | 16,141 | 162    | 994 | 29      | 3,000 |

|      | スカイホール会議室 |       | 競技場会議室 |       | 計     |        |
|------|-----------|-------|--------|-------|-------|--------|
|      | 回数        | 人数    | 回数     | 人数    | 回数    | 人数     |
| 4 月  | 35        | 383   | 28     | 317   | 89    | 2,298  |
| 5 月  | 31        | 371   | 27     | 347   | 84    | 4,553  |
| 6 月  | 30        | 339   | 20     | 249   | 86    | 2,143  |
| 7 月  | 35        | 360   | 21     | 274   | 98    | 2,756  |
| 8 月  | 31        | 281   | 22     | 183   | 86    | 2,319  |
| 9 月  | 24        | 343   | 16     | 182   | 91    | 3,474  |
| 10 月 | 35        | 282   | 29     | 258   | 160   | 11,839 |
| 11 月 | 26        | 321   | 20     | 253   | 97    | 7,470  |
| 12 月 | 25        | 278   | 21     | 243   | 81    | 2,338  |
| 1 月  | 21        | 211   | 12     | 134   | 77    | 1,442  |
| 2 月  | 44        | 411   | 46     | 431   | 137   | 3,434  |
| 3 月  | 27        | 197   | 19     | 151   | 104   | 2,860  |
| 計    | 364       | 3,777 | 281    | 3,022 | 1,190 | 46,926 |

■スカイホール利用内容：大ホール（平成 25 年度） ※ホールについては舞台のみの利用含む

|      | 音楽 |       | 演劇・演芸 |        | 講演会 |     | 映画 |    |
|------|----|-------|-------|--------|-----|-----|----|----|
|      | 回数 | 人数    | 回数    | 人数     | 回数  | 人数  | 回数 | 人数 |
| 4 月  | —  | —     | —     | —      | —   | —   | —  | —  |
| 5 月  | —  | —     | —     | —      | —   | —   | —  | —  |
| 6 月  | —  | —     | —     | —      | —   | —   | —  | —  |
| 7 月  | —  | —     | —     | —      | —   | —   | —  | —  |
| 8 月  | —  | —     | —     | —      | —   | —   | —  | —  |
| 9 月  | 4  | 185   | 2     | 1,030  | 0   | 0   | 0  | 0  |
| 10 月 | 4  | 2,498 | 4     | 4,145  | 0   | 0   | 0  | 0  |
| 11 月 | 1  | 30    | 6     | 4,900  | 0   | 0   | 0  | 0  |
| 12 月 | 2  | 2,061 | 0     | 0      | 0   | 0   | 0  | 0  |
| 1 月  | 3  | 206   | 0     | 0      | 0   | 0   | 0  | 0  |
| 2 月  | 3  | 24    | 0     | 0      | 2   | 805 | 0  | 0  |
| 3 月  | 7  | 2,187 | 0     | 0      | 0   | 0   | 0  | 0  |
| 計    | 24 | 7,191 | 12    | 10,075 | 2   | 805 | 0  | 0  |

※4～8月は改修工事のため、使用不可

|      | その他 |       | 計  |        |
|------|-----|-------|----|--------|
|      | 回数  | 人数    | 回数 | 人数     |
| 4 月  | —   | —     | —  | —      |
| 5 月  | —   | —     | —  | —      |
| 6 月  | —   | —     | —  | —      |
| 7 月  | —   | —     | —  | —      |
| 8 月  | —   | —     | —  | —      |
| 9 月  | 7   | 120   | 13 | 1,335  |
| 10 月 | 12  | 1,220 | 20 | 7,863  |
| 11 月 | 0   | 0     | 7  | 4,930  |
| 12 月 | 2   | 595   | 4  | 2,656  |
| 1 月  | 4   | 510   | 7  | 716    |
| 2 月  | 0   | 0     | 5  | 829    |
| 3 月  | 4   | 2,450 | 11 | 4,637  |
| 計    | 29  | 4,895 | 67 | 22,966 |

■【参考】スカイホール利用内容：大ホール（平成 19 年度）

|      | 音楽 |       | 演劇・演芸 |       | 講演会 |       | 映画 |     |
|------|----|-------|-------|-------|-----|-------|----|-----|
|      | 回数 | 人数    | 回数    | 人数    | 回数  | 人数    | 回数 | 人数  |
| 4 月  | 0  | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 5 月  | 2  | 2,000 | 0     | 0     | 2   | 1,000 | 0  | 0   |
| 6 月  | 3  | 70    | 0     | 0     | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 7 月  | 6  | 1,140 | 0     | 0     | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 8 月  | 2  | 526   | 0     | 0     | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 9 月  | 12 | 100   | 5     | 1,522 | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 10 月 | 7  | 2,240 | 1     | 10    | 0   | 0     | 1  | 885 |
| 11 月 | 0  | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 12 月 | 0  | 0     | 2     | 560   | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 1 月  | 2  | 70    | 0     | 0     | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 2 月  | 17 | 1,584 | 0     | 0     | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 3 月  | 13 | 630   | 0     | 0     | 1   | 232   | 0  | 0   |
| 計    | 64 | 8,360 | 8     | 2,092 | 3   | 1,232 | 1  | 885 |

|      | その他 |       | 計   |        |
|------|-----|-------|-----|--------|
|      | 回数  | 人数    | 回数  | 人数     |
| 4 月  | 4   | 1,135 | 4   | 1,135  |
| 5 月  | 2   | 20    | 6   | 3,020  |
| 6 月  | 2   | 20    | 5   | 90     |
| 7 月  | 0   | 0     | 6   | 1,140  |
| 8 月  | 6   | 829   | 8   | 1,355  |
| 9 月  | 1   | 20    | 18  | 1,642  |
| 10 月 | 16  | 1,649 | 25  | 4,784  |
| 11 月 | 16  | 2,900 | 16  | 2,900  |
| 12 月 | 0   | 0     | 2   | 560    |
| 1 月  | 13  | 850   | 15  | 920    |
| 2 月  | 0   | 0     | 17  | 1,584  |
| 3 月  | 0   | 0     | 14  | 862    |
| 計    | 60  | 7,423 | 136 | 19,992 |

■スカイホール利用内容：小ホール（平成 25 年度） ※ホールについては舞台のみの利用含む

|      | 音楽 |       | 演劇・演芸 |       | 講演会 |     | 映画 |     |
|------|----|-------|-------|-------|-----|-----|----|-----|
|      | 回数 | 人数    | 回数    | 人数    | 回数  | 人数  | 回数 | 人数  |
| 4 月  | —  | —     | —     | —     | —   | —   | —  | —   |
| 5 月  | —  | —     | —     | —     | —   | —   | —  | —   |
| 6 月  | —  | —     | —     | —     | —   | —   | —  | —   |
| 7 月  | —  | —     | —     | —     | —   | —   | —  | —   |
| 8 月  | —  | —     | —     | —     | —   | —   | —  | —   |
| 9 月  | 2  | 220   | 0     | 0     | 0   | 0   | 0  | 0   |
| 10 月 | 7  | 2,042 | 2     | 4,000 | 0   | 0   | 0  | 0   |
| 11 月 | 2  | 150   | 0     | 0     | 1   | 140 | 1  | 285 |
| 12 月 | 9  | 2,521 | 1     | 179   | 0   | 0   | 0  | 0   |
| 1 月  | 2  | 220   | 0     | 0     | 0   | 0   | 1  | 300 |
| 2 月  | 1  | 12    | 1     | 0     | 1   | 56  | 0  | 0   |
| 3 月  | 9  | 1,340 | 0     | 0     | 0   | 0   | 0  | 0   |
| 計    | 32 | 6,505 | 4     | 4,179 | 2   | 196 | 2  | 585 |

※4～8月は改修工事のため、使用不可

|      | 会議・研修 |     | その他 |       | 計  |        |
|------|-------|-----|-----|-------|----|--------|
|      | 回数    | 人数  | 回数  | 人数    | 回数 | 人数     |
| 4 月  | —     | —   | —   | —     | —  | —      |
| 5 月  | —     | —   | —   | —     | —  | —      |
| 6 月  | —     | —   | —   | —     | —  | —      |
| 7 月  | —     | —   | —   | —     | —  | —      |
| 8 月  | —     | —   | —   | —     | —  | —      |
| 9 月  | 3     | 190 | 8   | 350   | 13 | 760    |
| 10 月 | 3     | 217 | 10  | 1,220 | 22 | 7,479  |
| 11 月 | 1     | 50  | 10  | 3,135 | 15 | 3,760  |
| 12 月 | 0     | 0   | 4   | 773   | 14 | 3,473  |
| 1 月  | 0     | 0   | 6   | 910   | 9  | 1,430  |
| 2 月  | 3     | 0   | 2   | 61    | 8  | 129    |
| 3 月  | 5     | 423 | 3   | 519   | 17 | 2,282  |
| 計    | 15    | 880 | 43  | 6,968 | 98 | 19,313 |

【主催事業（平成 25 年度）】

- こどもシネマ「シュガー・ラッシュ」 平成 25 年 10 月 20 日（日）  
大ホール 定員 1,008 人 入場者数 509 人
- 日米親善演奏会クリスマスコンサート 平成 25 年 12 月 1 日（日）  
大ホール 定員 1,008 人 入場者数 750 人
- プレミアムコンサート瑞穂町公演（弦楽四重奏） 平成 25 年 12 月 15 日（日）  
小ホール 定員 236 人 入場者数 210 人
- 地球のステージ1 平成 26 年 2 月 28 日（金）  
大ホール 定員 940 人 入場者数 627 人
- 吉幾三コンサート 平成 26 年 3 月 15 日（土）  
大ホール 定員 978 人 入場者数 952 人

■【参考】スカイホール利用内容：小ホール（平成 19 年度）

|      | 音楽 |       | 演劇・演芸 |     | 講演会 |       | 映画 |     |
|------|----|-------|-------|-----|-----|-------|----|-----|
|      | 回数 | 人数    | 回数    | 人数  | 回数  | 人数    | 回数 | 人数  |
| 4 月  | 9  | 170   | 0     | 0   | 2   | 125   | 0  | 0   |
| 5 月  | 4  | 150   | 0     | 0   | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 6 月  | 16 | 826   | 2     | 370 | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 7 月  | 10 | 629   | 0     | 0   | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 8 月  | 0  | 0     | 0     | 0   | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 9 月  | 2  | 220   | 5     | 60  | 2   | 246   | 0  | 0   |
| 10 月 | 6  | 510   | 0     | 0   | 1   | 301   | 2  | 300 |
| 11 月 | 0  | 0     | 0     | 0   | 1   | 200   | 0  | 0   |
| 12 月 | 15 | 737   | 0     | 0   | 2   | 100   | 0  | 0   |
| 1 月  | 0  | 0     | 0     | 0   | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 2 月  | 0  | 0     | 0     | 0   | 6   | 723   | 0  | 0   |
| 3 月  | 13 | 620   | 4     | 250 | 0   | 0     | 0  | 0   |
| 計    | 75 | 3,862 | 11    | 680 | 14  | 1,695 | 2  | 300 |

|      | その他 |       | 計   |        |
|------|-----|-------|-----|--------|
|      | 回数  | 人数    | 回数  | 人数     |
| 4 月  | 3   | 90    | 14  | 385    |
| 5 月  | 6   | 585   | 10  | 735    |
| 6 月  | 3   | 219   | 21  | 1,415  |
| 7 月  | 8   | 167   | 18  | 796    |
| 8 月  | 14  | 390   | 14  | 390    |
| 9 月  | 6   | 588   | 15  | 1,114  |
| 10 月 | 30  | 3,870 | 39  | 4,981  |
| 11 月 | 15  | 2,250 | 16  | 2,450  |
| 12 月 | 7   | 340   | 24  | 1,177  |
| 1 月  | 13  | 120   | 13  | 120    |
| 2 月  | 4   | 250   | 10  | 973    |
| 3 月  | 7   | 735   | 24  | 1,605  |
| 計    | 116 | 9,604 | 218 | 16,141 |

### 3) 社会体育施設

#### ■ 体育施設利用状況

(年末年始を除く)

| 【平成 17 年度】         | 利 用 者 数 (人) |        |        |
|--------------------|-------------|--------|--------|
| 施 設 名              | 一般貸出        | 大会等    | 計      |
| 町営グラウンド野球場         | 3,967       | 1,810  | 5,777  |
| 町営グラウンド庭球場         | 4,400       | 195    | 4,595  |
| 中央体育館              | 14,326      | 1,285  | 15,611 |
| 武道館                | 10,498      | 238    | 10,736 |
| 町営第 2 グラウンド        | 15,404      | 3,840  | 19,244 |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場 | 3,840       | 0      | 3,840  |
| 町営第 2 庭球場          | 17,299      | 519    | 17,818 |
| 町営少年サッカー場          | 3,431       | 2,267  | 5,698  |
| 計                  | 73,165      | 10,154 | 83,319 |

※町営グラウンド庭球場は、照明塔改修工事のため 17. 6. 1～9.30 まで休場。町営第 2 グラウンド、ゲートボール場は、雨水排水工事のため 17. 8.22～9. 2 まで休場。

| 【平成 18 年度】         | 利 用 者 数 (人) |        |         |
|--------------------|-------------|--------|---------|
| 施 設 名              | 一般貸出        | 大会等    | 計       |
| 町営グラウンド野球場         | 7,213       | 2,420  | 9,633   |
| 町営グラウンド庭球場         | 7,961       | 437    | 8,398   |
| 中央体育館              | 14,278      | 2,758  | 17,036  |
| 武道館                | 5,409       | 420    | 5,829   |
| 町営第 2 グラウンド        | 19,734      | 7,855  | 27,589  |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場 | 3,931       | 230    | 4,161   |
| 町営第 2 庭球場          | 24,149      | 342    | 24,491  |
| 町営少年サッカー場          | 6,012       | 6,510  | 12,522  |
| 計                  | 88,687      | 20,972 | 109,659 |

※町営グラウンドは、排水設備改修工事のため 18. 6.26～7.14 まで使用中止。武道館は、改修工事のため 18.11.1～19. 3.31 まで使用中止。町営第 2 グラウンド、ゲートボール場は、管理柵改修工事のため 18.12.19～19. 1.19 まで使用中止。中央体育館は、外周柵改修工事のため 19. 2.14～3.31 まで使用中止。

| 【平成 19 年度】         | 利 用 者 数 (人) |        |         |
|--------------------|-------------|--------|---------|
| 施 設 名              | 一般貸出        | 大会等    | 計       |
| 町営グラウンド野球場         | 6,277       | 2,200  | 8,477   |
| 町営グラウンド庭球場         | 15,428      | 670    | 16,098  |
| 中央体育館              | 15,667      | 1,741  | 17,408  |
| 武道館                | 13,901      | 295    | 14,196  |
| 町営第 2 グラウンド        | 23,677      | 4,700  | 28,377  |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場 | 5,516       | 0      | 5,516   |
| 町営第 2 庭球場          | 25,251      | 258    | 25,509  |
| 町営少年サッカー場          | 5,687       | 3,380  | 9,067   |
| 計                  | 111,404     | 13,244 | 124,648 |

※町営第 2 庭球場は、補修工事のため 19. 7. 1～7.31 まで A～C コート使用中止。

| 【平成 20 年度】         | 利 用 者 数 (人) |        |         |
|--------------------|-------------|--------|---------|
| 施 設 名              | 一般貸出        | 大会等    | 計       |
| 町営グラウンド野球場         | 14,852      | 3,430  | 18,282  |
| 町営グラウンド庭球場         | 20,235      | 285    | 20,520  |
| 中央体育館              | 13,667      | 1,540  | 15,207  |
| 武道館                | 16,651      | 210    | 16,861  |
| 町営第 2 グラウンド        | 21,526      | 5,205  | 26,731  |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場 | 9,973       | 0      | 9,973   |
| 町営第 2 庭球場          | 33,101      | 430    | 33,531  |
| 町営少年サッカー場          | 9,684       | 1,795  | 11,479  |
| 計                  | 139,689     | 12,895 | 152,584 |

| 【平成 21 年度】         | 利 用 者 数 (人) |        |         |
|--------------------|-------------|--------|---------|
| 施 設 名              | 一般貸出        | 大会等    | 計       |
| 町営グラウンド野球場         | 12,223      | 4,321  | 16,544  |
| 町営グラウンド庭球場         | 16,550      | 460    | 17,010  |
| 中央体育館              | 21,137      | 1,011  | 22,148  |
| 武道館                | 17,409      | 202    | 17,611  |
| 町営第 2 グラウンド        | 24,069      | 3,386  | 27,455  |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場 | 10,163      | 0      | 10,163  |
| 町営第 2 庭球場          | 34,079      | 216    | 34,295  |
| 町営少年サッカー場          | 6,504       | 495    | 6,999   |
| 計                  | 142,134     | 10,091 | 152,225 |

※中央体育館は床塗装工事のため 22.1.5～1.31 まで休場。体育施設等予約システム登録者数:729 人  
(22.3.31 現在)

| 【平成 22 年度】         | 利 用 者 数 (人) |        |         |
|--------------------|-------------|--------|---------|
| 施 設 名              | 一般貸出        | 大会等    | 計       |
| 町営グラウンド野球場         | 14,909      | 4,260  | 19,169  |
| 町営グラウンド庭球場         | 18,505      | 740    | 19,245  |
| 中央体育館              | 23,540      | 1,845  | 25,385  |
| 武道館                | 17,453      | 440    | 17,893  |
| 町営第 2 グラウンド        | 24,197      | 3,030  | 27,227  |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場 | 11,007      | 0      | 11,007  |
| 町営第 2 庭球場          | 33,011      | 350    | 33,361  |
| 町営少年サッカー場          | 7,858       | 406    | 8,264   |
| ビューパーク競技場          | 12,836      | 3,122  | 15,958  |
| 計                  | 163,316     | 14,193 | 177,509 |

※体育施設等予約システム登録者数:932 人(23.3.31 現在)

| 【平成 23 年度】           | 利 用 者 数 (人) |        |         |
|----------------------|-------------|--------|---------|
| 施 設 名                | 一般貸出        | 大会等    | 計       |
| 町営グラウンド野球場           | 15,748      | 4,280  | 20,028  |
| 町営グラウンド庭球場           | 17,788      | 858    | 18,646  |
| 中央体育館                | 25,415      | 2,409  | 27,824  |
| 武道館                  | 18,764      | 534    | 19,298  |
| 町営第 2 グラウンド          | 25,560      | 3,780  | 29,340  |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場   | 11,505      | 0      | 11,505  |
| 町営第 2 庭球場            | 32,126      | 932    | 33,058  |
| 町営少年サッカー場            | 9,173       | 523    | 9,696   |
| ビューパーク競技場            | 13,224      | 3,321  | 16,545  |
| 長岡コミュニティセンター トレーニング室 | 1,673       | 0      | 1,673   |
| 計                    | 170,976     | 16,637 | 187,613 |

※体育施設等予約システム登録者数:1,073 人(24. 3. 31 現在)。長岡コミュニティセンタートレーニング室利用期間 23. 11. 27～24. 3. 31(年末年始を除く)。東日本大震災の発生により中央体育館は 23. 3. 12～4 月末日まで利用停止。野球場・庭球場は 23. 3. 12～4 月末日までナイターのみ中止。

| 【平成 24 年度】           | 利 用 者 数 (人) |        |         |
|----------------------|-------------|--------|---------|
| 施 設 名                | 一般貸出        | 大会等    | 計       |
| 町営グラウンド野球場           | 16,121      | 6,856  | 22,977  |
| 町営グラウンド庭球場           | 30,793      | 891    | 31,684  |
| 中央体育館                | 37,000      | 3,634  | 40,634  |
| 武道館                  | 27,981      | 626    | 28,607  |
| 町営第 2 グラウンド          | 13,384      | 3,241  | 16,625  |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場   | 3,427       | 0      | 3,427   |
| 町営第 2 庭球場            | 41,415      | 922    | 42,337  |
| 町営少年サッカー場            | 10,353      | 2,177  | 12,530  |
| ビューパーク競技場            | 29,277      | 4,125  | 33,402  |
| 長岡コミュニティセンター トレーニング室 | 5,594       | 0      | 5,594   |
| シクラメンスポーツ公園          | 8,318       | 2,140  | 10,458  |
| 計                    | 223,663     | 24,612 | 248,275 |

※体育施設等予約システム登録者数:1,257 人(25. 3. 31 現在)。野球場・庭球場は 24. 12～4 月末日までナイターのみ中止。

| 【平成 25 年度】           | 利 用 者 数 (人) |        |         |
|----------------------|-------------|--------|---------|
| 施 設 名                | 一般貸出        | 大会等    | 計       |
| 町営グラウンド野球場           | 18,573      | 8,020  | 26,593  |
| 町営グラウンド庭球場           | 30,841      | 920    | 31,761  |
| 中央体育館                | 43,158      | 3,891  | 47,049  |
| 武道館                  | 31,809      | 645    | 32,454  |
| 町営第 2 グラウンド          | 22,505      | 7,597  | 30,102  |
| 町営第 2 グラウンドゲートボール場   | 8,167       | 0      | 8,167   |
| 町営第 2 庭球場            | 37,580      | 960    | 38,540  |
| 町営少年サッカー場            | 16,242      | 5,380  | 21,622  |
| ビューパーク競技場            | 33,531      | 5,618  | 39,149  |
| シクラメンスポーツ公園          | 10,827      | 7,970  | 18,797  |
| 長岡コミュニティセンター トレーニング室 | 4,528       | 0      | 4,528   |
| 計                    | 257,761     | 41,001 | 298,762 |

※体育施設等予約システム登録者数:1,312 人(26. 3. 31 現在)。野球場・庭球場は 25. 11. ～2 月末日のみ中止。

## (2) 社会的活動

### 1) 生涯学習団体

平成 26 年度における瑞穂町の生涯学習登録団体は 188 団体あり、分野は、趣味・教養、子育て支援、環境、伝統芸能、スポーツ、芸術・文化、ボランティア、健康体操、ダンスなど、多岐に渡って老若男女の町民が日々活動している。

■瑞穂町生涯学習推進団体登録団体分類表

| 大分類<br>【部門】 | 団体数 | 中分類<br>【分野】 | 団体数 | 主な活動                                                                |
|-------------|-----|-------------|-----|---------------------------------------------------------------------|
| 健康・スポーツ     | 74  | 健康体操        | 34  | ヨーガ、自彊術、健康体操、ピラティス、ストレッチ、丹田呼吸、エアロビ、ファンクショナルトレーニング                   |
|             |     | スポーツ        | 21  | サッカー、テニス、卓球、少林寺拳法、太極拳、空手、新体操、ウォーキング、グランドゴルフ、ソフトボール、ビーチバレーボール、スポーツ吹矢 |
|             |     | ダンス         | 19  | 社交ダンス、スポーツダンス、フラダンス、ヒップホップダンス、キッズダンス                                |
| 生活・趣味       | 39  | 地域活動        | 18  | 子育て支援、親子遊び、ボランティア、自然環境、生活環境、福祉活動、地域活動                               |
|             |     | 趣味・教養       | 21  | 古文書、英会話、料理、囲碁、将棋、俳句、指圧、編み物・手芸、パソコン、詩吟、着付け                           |
| 芸能・音楽       | 45  | 芸能          | 19  | 和太鼓、尺八、お囃子、獅子舞、朗読劇、日本舞踊、琉球舞踊、鳴子踊り、ソーラン踊り                            |
|             |     | 音楽          | 26  | 合唱・コーラス、歌謡、民謡、楽器演奏、吹奏楽、大正琴、文化箏                                      |
| 美術・工芸       | 30  | 美術          | 22  | 絵画、水墨画、絵手紙、華道・いけ花、茶道、盆栽、書道、写真、フラワーアレンジメント                           |
|             |     | 工芸          | 8   | 陶芸、村山大島紬、ビーズ、折り紙、トールペイント                                            |

## 2) NPOの活動

瑞穂町内に主たる事務所を置いているNPO法人（認証済）は12団体あり、特定非営利活動促進法にしたがって様々なテーマの活動を展開し社会貢献している。

### ■特定非営利活動法人（NPO法人）認証一覧

| 特定非営利活動法人<br>の名称            | 認証年月日           | 定款に記載された目的                                                                                                                                                             |
|-----------------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特定非営利活動法人さつきフォスターファミリー      | 平成20年<br>8月5日   | この法人は、広く一般市民、特に里親・里子に対して、里親制度の普及・啓発及び推進に関する事業、里親・里子についての相談及び支援に関する事業、保育及び育児の支援に関する事業を行い、子どもの健全育成と地域社会の福祉の増進を図り、広く公益に寄与することを目的とする。                                      |
| にあい福祉サービス                   | 平成12年<br>1月17日  | この法人は、東京都西多摩地域周辺の高齢者、障害者等に対し、介護保険事業及び在宅福祉サービス事業を行い、増進に寄与することを目的とする。                                                                                                    |
| Renaissance 2001<br>Project | 平成12年<br>4月20日  | この法人は、すべての人々に対して、芸術に関する事業を行い、芸術振興に寄与することを目的とする。                                                                                                                        |
| 自立支援センターすだち                 | 平成13年<br>2月16日  | この法人は、知的障害者に対して、生活の場を提供し自立するための援助を行なう。また、地域に住んでいる知的障害者及び家族のゆとりある生活に寄与することを目的とする。                                                                                       |
| 福祉サービスハーモニー                 | 平成13年<br>3月27日  | この法人は、東京都西多摩地域周辺の高齢者、障害者及び児童等に対し、介護保険事業及び在宅福祉サービス事業、移送サービス事業、児童居宅サービス事業を行い、福祉の増進に寄与することを目的とする。                                                                         |
| 日本鷹匠協会                      | 平成14年<br>7月10日  | この法人は、児童及び青少年をはじめとする一般市民に対して、我が国に伝承される鷹匠及び鷹狩りに関する調査研究及びその普及啓発や情報提供等を行うとともに、鷹狩りの実施及び鷹匠の後継者育成、絶滅の危機に瀕している猛禽類の保護等の活動を実施し、以って伝統文化の保護及び振興、自然環境の保護及び児童・青少年の健全育成に資することを目的とする。 |
| 護民官                         | 平成14年<br>10月25日 | この法人は、万人の生活環境の維持改善に関する事業を行い、生活向上に寄与することを目的とする。                                                                                                                         |
| つくし                         | 平成15年<br>11月12日 | この法人は、瑞穂町および周辺地域の高齢者・障害者（児）に対して、福祉の増進に関する事業を行い、住み良い地域社会の形成に寄与することを目的とする。                                                                                               |
| みずほまち精神保健福祉<br>会            | 平成15年<br>12月12日 | この法人は、精神障害者及び広く一般市民に対して、生活支援や就労援助、グループホーム等の支援・運営事業や、障害者福祉に関する普及・啓発事業等を行い、広く福祉の増進に貢献することを目的とする。                                                                         |
| 瑞穂町体育協会                     | 平成21年<br>3月23日  | この法人は、広く一般町民を対象として、体育スポーツの振興、健康体力づくり、競技力の向上及びスポーツ文化に関する事業を行い、健全なスポーツ精神の涵養を図り、町民の明るく健康的な社会の建設に寄与することを目的とする。                                                             |

| 特定非営利活動法人<br>の名称           | 認証年月日               | 定款に記載された目的                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域生涯学習推進ネットワーク All for One | 平成 25 年<br>12 月 9 日 | この法人は、広く一般市民に対して、特に西多摩地域（瑞穂・羽村・青梅など）の方々と、子どもから高齢者・障がい児（者）までの幅広い層を対象とし、地域のスポーツ・文化・生涯学習に関連する情報を集約し発信するとともに、スポーツ・文化に関する体験教室やレクリエーションなどを企画・運営し、スポーツ・文化・生涯学習の振興を行う中で、世代などを超えた地域住民の人的交流を行い、豊かな地域生活の活性化に寄与することを目的とする。 |
| わかば                        | 平成 27 年<br>2 月 16 日 | この法人は、会員の協働による運営の下、学校から帰宅しても就労等で保護者が家におらず適切な監護が受けられない小学校就学児童を一時的に預かり、集団生活の中で基本的な生活習慣及び健全な遊びを身に付けるとともに、保護者が安心して働き子育てできる地域社会の確立に寄与することを目的とする。                                                                    |

（平成 27 年 2 月 28 日現在）

### 3) 生涯学習施設（図書館）

瑞穂町には図書館と地域図書室があり、地域図書室は「元狭山ふるさと思い出館」「長岡コミュニティセンター」「武蔵野コミュニティセンター」「殿ヶ谷会館」の4室がある。

平成17年度以降の利用者の状況をみると、図書館では概ね2万人前後で推移してきたが、平成24年度以降2万人を割り、平成25年度には18,020人と減少傾向にある。

また、4か所にある地域図書室全体の利用者数も、平成17年度以降減少が続いており、平成25年度には15,444人となっている。

その結果、平成25年度における図書館及び地域図書室の利用者数合計は33,464人となっている。

#### ■ 図書館・地域図書室利用者数の推移

（単位：人）

| 区分<br>年度 | 図書館    | 地域図書室       |              |               |       |        | 合 計    |
|----------|--------|-------------|--------------|---------------|-------|--------|--------|
|          |        | 元狭山ふるさと思い出館 | 長岡コミュニティセンター | 武蔵野コミュニティセンター | 殿ヶ谷会館 | 計      |        |
| 平成17年度   | 22,644 | 4,094       | 6,543        | 9,312         | 571   | 20,520 | 43,164 |
| 平成18年度   | 21,263 | 3,121       | 6,413        | 9,209         | 1,089 | 19,832 | 41,095 |
| 平成19年度   | 20,395 | 2,162       | 5,735        | 9,773         | 726   | 18,396 | 38,791 |
| 平成20年度   | 21,234 | 1,911       | 6,795        | 9,426         | 1,331 | 19,463 | 40,697 |
| 平成21年度   | 21,319 | 1,593       | 5,618        | 9,381         | 950   | 17,542 | 38,861 |
| 平成22年度   | 20,388 | 1,328       | 6,405        | 8,656         | 724   | 17,113 | 37,501 |
| 平成23年度   | 20,547 | 1,483       | 5,746        | 8,333         | 503   | 16,065 | 36,612 |
| 平成24年度   | 19,489 | 1,316       | 6,975        | 7,377         | 667   | 16,335 | 35,824 |
| 平成25年度   | 18,020 | 1,287       | 6,430        | 7,156         | 571   | 15,444 | 33,464 |

## 9. 行財政

### (1) 行財政

#### ■ 財政の主なデータ（近隣市町村との比較）

|              | 財政力指数 | 経常収支<br>比率（％） | 公債費<br>比率（％） | 実質収支<br>比率（％） | 実質公債費<br>比率（％） | 将来負担<br>比率（％） |
|--------------|-------|---------------|--------------|---------------|----------------|---------------|
| 立川市          | 1.084 | 92.4          | 9.7          | 8.2           | 2.8            | —             |
| 青梅市          | 0.860 | 95.9          | 8.6          | 3.1           | 3.7            | 16.8          |
| 昭島市          | 0.961 | 96.4          | 9.7          | 3.5           | 1.3            | 8.9           |
| 福生市          | 0.723 | 91.5          | 7.3          | 6.4           | 1.5            | —             |
| 東大和市         | 0.843 | 91.5          | 10.1         | 7.7           | 1.6            | —             |
| 武蔵村山市        | 0.800 | 95.6          | 7.6          | 6.6           | 2.0            | —             |
| 羽村市          | 0.948 | 95.7          | 8.6          | 4.7           | 4.0            | —             |
| あきる野市        | 0.712 | 94.8          | 13.7         | 3.3           | 7.0            | 64.7          |
| 瑞穂町          | 0.987 | 89.2          | 4.5          | 7.3           | 0.3            | —             |
| 日の出町         | 0.718 | 104.8         | 11.6         | 5.1           | 7.0            | 42.6          |
| 檜原村          | 0.178 | 75.0          | 5.0          | 7.3           | 4.8            | —             |
| 奥多摩町         | 0.361 | 78.0          | 10.7         | 4.4           | 8.2            | 18.2          |
| 東京都<br>市町村平均 | 0.949 | 91.6          | 9.7          | 5.0           | 2.2            | 2.6           |

（平成 24 年度）

#### 〔参考〕平成 19 年度

|              | 財政力指数 | 経常収支<br>比率（％） | 公債費<br>比率（％） | 実質収支<br>比率（％） | 実質公債費<br>比率（％） | 将来負担<br>比率（％） |
|--------------|-------|---------------|--------------|---------------|----------------|---------------|
| 立川市          | 1.255 | 86.8          | 8.6          | 4.2           | 8.4            | 22.1          |
| 青梅市          | 0.977 | 87.5          | 4.1          | 3.2           | 6.1            | －4.6          |
| 昭島市          | 1.141 | 95.3          | 8.9          | 1.6           | 3.4            | 27.6          |
| 福生市          | 0.809 | 98.0          | 6.9          | 2.7           | 4.7            | 74.8          |
| 東大和市         | 0.977 | 98.6          | 10.1         | 4.8           | 5.8            | 126.2         |
| 武蔵村山市        | 0.870 | 95.7          | 6.4          | 5.6           | 1.6            | 22.2          |
| 羽村市          | 1.158 | 95.5          | 6.3          | 2.9           | 5.1            | 9.4           |
| あきる野市        | 0.836 | 102.1         | 13.4         | 2.0           | 9.5            | 140.6         |
| 瑞穂町          | 1.156 | 84.1          | 2.9          | 4.9           | 5.5            | －14.5         |
| 日の出町         | 0.789 | 114.1         | 13.4         | 4.6           | 11.2           | 140.3         |
| 檜原村          | 0.251 | 85.2          | 3.8          | 6.9           | 7.3            | －92.1         |
| 奥多摩町         | 0.454 | 91.6          | 16.0         | 3.4           | 5.8            | 25.5          |
| 東京都<br>市町村平均 | 1.085 | 91.3          | 8.3          | 3.7           | 6.0            | 25.9          |

#### 1) 財政力指数

財政力指数は地方公共団体の財政力を示す指数で、普通交付税の算定に用いる基準財収入額を基準財政需要額で除して得た数値であり、「1」を超える場合には普通交付税が交付されない不交付団体となる。また、「1」以下であっても「1」に近い団体ほど財政的に余裕があるといえる。

瑞穂町は、0.987 で「1」をわずかに割っているものの、東京都市町村平均（0.949）を上回っている。

## 2) 経常収支比率

経常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標であり、適正水準は一般的に 70% から 80% とされている。

瑞穂町の経常収支比率は 89.2% ではあるが、都市町村平均 (91.6%) より下回っている。

## 3) 公債費比率

公債費比率は、経常収支比率と同様に地方公共団体の財政構造の弾力性を判断する指標の一つであり、公債費（これまでに借り入れた地方債の元利償還金）が一般財源に占める割合である。

瑞穂町の公債比率は 4.5% であり、都市町村平均 (9.7%) より大きく下回っている。

## 4) 実質収支比率

実質収支比率は、実質収支を標準財政規模で割った指数で、負数の場合は赤字を示すことになる。

瑞穂町の実質収支比率は 7.3% であり、都市町村平均 (5.0%) を多少上回っている。

## 5) 実質公債費比率

実質公債費比率は、借入金（地方債）の償還額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものである。

瑞穂町の実質公債費比率は 0.3% であり、都市町村平均 (2.2%) を下回っている。

## 6) 将来負担比率

将来負担比率は、地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や、将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものである。

瑞穂町の将来負担比率はなく、都市町村平均 (2.6%) を大きく下回っている。

※将来負担比率がない場合は「－」と表記する。

## (2) その他の財政関係

### ①課税・納税

町税収納率については、平成元年度からみると平成 14 年度まで減り続けてきたが (97.9%→89.9%)、平成 14 年度より滞納整理の強化を進めたことにより平成 15 年度以降は増加傾向となり、平成 19 年度の町税収納率は多摩市町村総計の平均 (95.5%) とほぼ同じ水準となり、その後平成 25 年度まで概ね 95%前後で推移している。

一方、国保税の収納率については、平成元年度の 91.6%から減り続け、平成 19 年度には 77.1%になり、平成 25 年度においては 72.8%まで下がっている。

なお、平成 15 年度から平成 21 年度までの瑞穂町の納税義務者数については、課税標準額の段階によって異なるが全体的に増えていて、平成 22 年度以降は 14,700 人台で推移している。

### ■町税・国保税の収納率

#### ○町税収納率

(単位：%)

| 年度  | 元年   | 2 年  | 3 年  | 4 年  | 5 年  | 6 年  | 7 年  | 8 年  | 9 年  | 10 年 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 現年度 | 98.9 | 98.6 | 98.7 | 98.1 | 97.8 | 97.9 | 97.5 | 97.4 | 97.4 | 97.1 |
| 滞繰分 | 43.8 | 45.6 | 33.6 | 29.6 | 30.2 | 26.0 | 25.5 | 22.0 | 18.7 | 15.8 |
| 合 計 | 97.9 | 97.6 | 97.4 | 96.6 | 95.6 | 94.8 | 94.0 | 93.1 | 92.5 | 91.0 |
| 年度  | 11 年 | 12 年 | 13 年 | 14 年 | 15 年 | 16 年 | 17 年 | 18 年 | 19 年 | 20 年 |
| 現年度 | 97.6 | 97.6 | 97.2 | 97.4 | 97.2 | 97.6 | 97.8 | 98.2 | 98.1 | 98.0 |
| 滞繰分 | 15.8 | 17.4 | 11.2 | 16.3 | 18.6 | 24.1 | 30.8 | 35.6 | 40.1 | 34.6 |
| 合 計 | 91.0 | 90.5 | 90.0 | 89.9 | 90.4 | 91.4 | 93.3 | 94.4 | 95.4 | 95.4 |
| 年度  | 21 年 | 22 年 | 23 年 | 24 年 | 25 年 |      |      |      |      |      |
| 現年度 | 97.9 | 98.4 | 98.5 | 98.7 | 98.7 |      |      |      |      |      |
| 滞繰分 | 28.7 | 23.1 | 28.5 | 26.1 | 25.1 |      |      |      |      |      |
| 合 計 | 94.8 | 95.4 | 94.7 | 95.1 | 95.3 |      |      |      |      |      |

#### ○国保税収納率

(単位：%)

| 年度  | 元年   | 2 年  | 3 年  | 4 年  | 5 年  | 6 年  | 7 年  | 8 年  | 9 年  | 10 年 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 現年度 | 96.4 | 96.7 | 95.1 | 95.1 | 92.9 | 94.3 | 92.4 | 92.8 | 91.9 | 91.2 |
| 滞繰分 | 32.4 | 32.9 | 27.6 | 26.0 | 23.0 | 22.9 | 16.8 | 15.2 | 12.0 | 12.0 |
| 合 計 | 91.6 | 91.9 | 90.3 | 89.4 | 86.1 | 85.6 | 83.8 | 81.5 | 78.4 | 73.9 |
| 年度  | 11 年 | 12 年 | 13 年 | 14 年 | 15 年 | 16 年 | 17 年 | 18 年 | 19 年 | 20 年 |
| 現年度 | 90.1 | 91.4 | 89.5 | 89.6 | 88.9 | 89.2 | 89.9 | 90.0 | 91.0 | 89.8 |
| 滞繰分 | 13.2 | 19.1 | 16.3 | 14.9 | 17.9 | 18.7 | 24.6 | 26.5 | 27.2 | 25.5 |
| 合 計 | 76.8 | 75.5 | 73.1 | 71.8 | 71.6 | 71.3 | 73.1 | 75.8 | 77.1 | 74.6 |
| 年度  | 21 年 | 22 年 | 23 年 | 24 年 | 25 年 |      |      |      |      |      |
| 現年度 | 88.8 | 88.6 | 90.0 | 89.6 | 89.7 |      |      |      |      |      |
| 滞繰分 | 23.1 | 21.1 | 22.6 | 21.9 | 25.3 |      |      |      |      |      |
| 合 計 | 73.4 | 71.3 | 72.3 | 71.8 | 72.8 |      |      |      |      |      |

■個人町民税（所得割）納税義務者の推移

（単位：人）

| 課税標準額の段階               | 平成<br>15 年度 | 平成<br>16 年度 | 平成<br>17 年度 |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 5 万円以下の金額              | 363         | 428         | 387         |
| 5 万円を超え、10 万円以下        | 208         | 213         | 208         |
| 10 万円を超え、20 万円以下       | 398         | 373         | 375         |
| 20 万円を超え、40 万円以下       | 770         | 822         | 822         |
| 40 万円を超え、60 万円以下       | 908         | 916         | 927         |
| 60 万円を超え、80 万円以下       | 892         | 889         | 919         |
| 80 万円を超え、120 万円以下      | 1,889       | 1,870       | 1,790       |
| 120 万円を超え、160 万円以下     | 1,864       | 1,795       | 1,788       |
| 160 万円を超え、200 万円以下     | 1,409       | 1,454       | 1,463       |
| 200 万円を超え、300 万円以下     | 2,314       | 2,259       | 2,451       |
| 300 万円を超え、400 万円以下     | 1,231       | 1,201       | 1,226       |
| 400 万円を超え、550 万円以下     | 935         | 923         | 1,041       |
| 550 万円を超え、700 万円以下     | 394         | 376         | 390         |
| 700 万円を超え、1,000 万円以下   | 220         | 221         | 253         |
| 1,000 万円を超え、2,000 万円以下 | 147         | 127         | 136         |
| 2,000 万円を超える金額         | 59          | 57          | 60          |
| 合 計                    | 14,001      | 13,924      | 14,236      |

（単位：人）

| 課税標準額の段階             | 平成<br>18 年度 | 平成<br>19 年度 | 平成<br>20 年度 | 平成<br>21 年度 |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 10 万円以下の金額           | 583         | 601         | 599         | 603         |
| 10 万円を超え、100 万円以下    | 4,451       | 4,507       | 4,678       | 4,759       |
| 100 万円を超え、200 万円以下   | 4,491       | 4,550       | 4,552       | 4,612       |
| 200 万円を超え、300 万円以下   | 2,476       | 2,464       | 2,607       | 2,496       |
| 300 万円を超え、400 万円以下   | 1,247       | 1,221       | 1,157       | 1,179       |
| 400 万円を超え、550 万円以下   | 973         | 998         | 1,024       | 897         |
| 550 万円を超え、700 万円以下   | 409         | 383         | 397         | 359         |
| 700 万円を超え、1,000 万円以下 | 252         | 241         | 224         | 235         |
| 1,000 万円を超える金額       | 207         | 214         | 219         | 207         |
| 合 計                  | 15,089      | 15,179      | 15,457      | 15,347      |

（単位：人）

| 課税標準額の段階             | 平成<br>22 年度 | 平成<br>23 年度 | 平成<br>24 年度 | 平成<br>25 年度 |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 10 万円以下の金額           | 604         | 595         | 621         | 621         |
| 10 万円を超え、100 万円以下    | 4,887       | 4,956       | 4,769       | 4,839       |
| 100 万円を超え、200 万円以下   | 4,699       | 4,608       | 4,514       | 4,523       |
| 200 万円を超え、300 万円以下   | 2,103       | 2,205       | 2,377       | 2,361       |
| 300 万円を超え、400 万円以下   | 1,048       | 1,052       | 1,090       | 1,076       |
| 400 万円を超え、550 万円以下   | 731         | 669         | 739         | 759         |
| 550 万円を超え、700 万円以下   | 310         | 288         | 283         | 250         |
| 700 万円を超え、1,000 万円以下 | 173         | 179         | 176         | 162         |
| 1,000 万円を超える金額       | 169         | 167         | 167         | 163         |
| 合 計                  | 14,724      | 14,719      | 14,736      | 14,754      |

■平成 25 年度所得割の段階別等調べ ※平成 26 年度版町税概要より

| 課税標準額の段階<br>区分           | 納税義務者<br>(人) | 総所得<br>金額等<br>(千円) | 所得<br>控除額<br>(千円) | 課税<br>標準額<br>(千円) | 算出<br>税額<br>(千円) | 平均<br>税率<br>(%) | 納税者の<br>構成<br>比率<br>(%) | 段階別税額の<br>構成<br>比<br>(%) |
|--------------------------|--------------|--------------------|-------------------|-------------------|------------------|-----------------|-------------------------|--------------------------|
| 10 万円以下の<br>金額           | 621          | 362,982            | 350,289           | 551,432           | 17,320           | 6.0             | 4.2                     | 1.0                      |
| 10 万円を超え、<br>100 万円以下    | 4,839        | 6,439,441          | 3,698,995         | 2,896,587         | 168,792          | 6.0             | 32.8                    | 9.6                      |
| 100 万円を超え、<br>200 万円以下   | 4,523        | 10,876,256         | 4,263,277         | 6,960,744         | 407,029          | 6.0             | 30.7                    | 23.1                     |
| 200 万円を超え、<br>300 万円以下   | 2,361        | 8,614,720          | 2,842,358         | 6,101,342         | 356,113          | 6.0             | 16.0                    | 20.2                     |
| 300 万円を超え、<br>400 万円以下   | 1,076        | 5,276,773          | 1,578,883         | 3,769,386         | 223,978          | 6.0             | 7.3                     | 12.7                     |
| 400 万円を超え、<br>550 万円以下   | 759          | 4,809,724          | 1,293,273         | 3,541,264         | 211,687          | 6.0             | 5.1                     | 12.0                     |
| 550 万円を超え、<br>700 万円以下   | 250          | 1,991,520          | 455,517           | 1,586,395         | 93,664           | 6.0             | 1.7                     | 5.3                      |
| 700 万円を超え、<br>1,000 万円以下 | 162          | 1,612,520          | 283,899           | 1,389,421         | 81,536           | 6.0             | 1.1                     | 4.7                      |
| 1,000 万円を<br>超える金額       | 163          | 3,652,069          | 320,245           | 3,356,338         | 200,636          | 6.0             | 1.1                     | 11.4                     |
| 合 計                      | 14,754       | 43,636,005         | 15,086,736        | 30,152,909        | 1,760,755        | 6.0             | 100.0                   | 100.0                    |

〔参考〕（平成 19 年度） ※平成 20 年度版町税概要より

| 課税標準額の段階<br>区分           | 納税義務者<br>(人) | 総所得<br>金額等<br>(千円) | 所得<br>控除額<br>(千円) | 課税<br>標準額<br>(千円) | 算出<br>税額<br>(千円) | 平均<br>税率<br>(%) | 納税者の<br>構成<br>比率<br>(%) | 段階別税額の<br>構成<br>比<br>(%) |
|--------------------------|--------------|--------------------|-------------------|-------------------|------------------|-----------------|-------------------------|--------------------------|
| 10 万円以下の<br>金額           | 601          | 346,205            | 332,000           | 266,749           | 8,564            | 5.9             | 4.0                     | 0.4                      |
| 10 万円を超え、<br>100 万円以下    | 4,507        | 6,343,277          | 3,744,361         | 2,699,259         | 158,668          | 6.0             | 29.7                    | 8.0                      |
| 100 万円を超え、<br>200 万円以下   | 4,550        | 11,236,677         | 4,550,547         | 6,721,909         | 401,934          | 6.0             | 30.0                    | 20.2                     |
| 200 万円を超え、<br>300 万円以下   | 2,464        | 9,148,080          | 3,126,378         | 6,051,699         | 362,061          | 6.0             | 16.2                    | 18.2                     |
| 300 万円を超え、<br>400 万円以下   | 1,221        | 6,082,904          | 1,854,765         | 4,405,929         | 258,867          | 6.0             | 8.0                     | 13.0                     |
| 400 万円を超え、<br>550 万円以下   | 998          | 6,441,083          | 1,783,088         | 4,810,643         | 283,976          | 6.0             | 6.6                     | 14.3                     |
| 550 万円を超え、<br>700 万円以下   | 383          | 3,040,619          | 693,518           | 2,408,581         | 142,634          | 6.0             | 2.5                     | 7.2                      |
| 700 万円を超え、<br>1,000 万円以下 | 241          | 2,388,036          | 426,586           | 2,064,610         | 120,901          | 6.0             | 1.6                     | 6.0                      |
| 1,000 万円を<br>超える金額       | 214          | 4,437,440          | 384,782           | 4,343,230         | 251,903          | 6.0             | 1.4                     | 12.7                     |
| 合 計                      | 15,179       | 49,464,321         | 16,896,025        | 33,772,609        | 1,989,508        | 6.0             | 100.0                   | 100.0                    |

## ②横田基地防衛補助金関係

### ■防衛補助金の推移

(単位：千円)

| 区 分     | 平成15年度  | 平成16年度  | 平成17年度  | 平成18年度  | 平成19年度  | 平成20年度  |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 3条      | 35,309  | 46,255  | 1,536   | 42,542  | 2,244   | 48,655  |
| 8条      | 120,991 | 193,717 | 52,073  | 127,266 | 8,849   | 7,303   |
| 9条      | 182,887 | 185,310 | 186,744 | 187,140 | 193,152 | 187,875 |
| 再編      | 0       | 0       | 0       | 0       | 38,923  | 103,835 |
| 整備統合事業  | 0       | 0       | 0       | 0       | 10,581  | 3,822   |
| 小計      | 339,187 | 425,282 | 240,353 | 356,948 | 253,749 | 351,490 |
| 維持      | 8,589   | 9,681   | 8,570   | 8,938   | 9,157   | 8,625   |
| 合計      | 347,776 | 434,963 | 248,923 | 365,886 | 262,906 | 360,115 |
| 基地交(助成) | 639,595 | 660,179 | 663,479 | 681,006 | 717,009 | 661,582 |
| 〃 (調整)  | 27,386  | 28,612  | 27,181  | 26,555  | 27,508  | 26,133  |
| 〃 (計)   | 666,981 | 688,791 | 690,660 | 707,561 | 744,517 | 687,715 |

| 区 分     | 平成21年度  | 平成22年度  | 平成23年度  | 平成24年度  | 平成25年度  |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 3条      | 0       | 0       | 0       | 8,248   | 264,085 |
| 8条      | 0       | 20,794  | 27,802  | 67,063  | 0       |
| 9条      | 190,080 | 195,196 | 280,197 | 267,094 | 256,795 |
| 再編      | 103,835 | 103,835 | 155,723 | 155,723 | 155,723 |
| 整備統合事業  | 75,021  | 68,476  | 252,573 | 0       | 0       |
| 小計      | 368,936 | 388,301 | 716,295 | 498,128 | 676,603 |
| 維持      | 6,470   | 7,786   | 7,764   | 7,819   | 7,258   |
| 合計      | 375,406 | 396,087 | 724,059 | 505,947 | 683,861 |
| 基地交(助成) | 665,776 | 670,220 | 680,164 | 669,092 | 730,925 |
| 〃 (調整)  | 24,826  | 24,914  | 23,700  | 22,522  | 22,540  |
| 〃 (計)   | 690,602 | 695,134 | 703,864 | 691,614 | 753,465 |

### (3) 議会・選挙

#### 1) 議 会

##### ①瑞穂町議会に対する請願・陳情 受付件数

平成 15 年～25 年の 11 年間に受け付けた瑞穂町議会に対する請願・陳情件数は、次のとおりである。

##### ■瑞穂町議会に対する請願・陳情受付け件数年次推移

(単位：件)

| 年度 | 採択 | 趣旨採択 | 不採択 | 参考配布 | 合計 |
|----|----|------|-----|------|----|
| 25 | 0  | 0    | 0   | 0    | 0  |
|    | 3  | 0    | 9   | 0    | 12 |
| 24 | 0  | 0    | 0   | 0    | 0  |
|    | 3  | 0    | 4   | 1    | 8  |
| 23 | 0  | 0    | 0   | 0    | 0  |
|    | 5  | 1    | 16  | 4    | 26 |
| 22 | 0  | 0    | 1   | 0    | 1  |
|    | 6  | 2    | 3   | 3    | 14 |
| 21 | 0  | 0    | 0   | 0    | 0  |
|    | 2  | 2    | 6   | 0    | 10 |
| 20 | 0  | 0    | 0   | 0    | 0  |
|    | 0  | 4    | 1   | 6    | 11 |
| 19 | 0  | 0    | 1   | 0    | 1  |
|    | 4  | 6    | 1   | 4    | 15 |
| 18 | 2  | 0    | 0   | 0    | 2  |
|    | 0  | 1    | 11  | 5    | 17 |
| 17 | 0  | 0    | 0   | 0    | 0  |
|    | 0  | 7    | 7   | 6    | 20 |
| 16 | 0  | 0    | 1   | 0    | 1  |
|    | 4  | 2    | 9   | 8    | 23 |
| 15 | 0  | 0    | 0   | 0    | 0  |
|    | 1  | 4    | 2   | 10   | 17 |

上段：請願      下段：陳情

##### ②議員定数

地方自治法の改正により市町村議会議員の定数の上限は無くなっているが、平成 26 年 4 月 1 日時点での瑞穂町の議員定数は 16 名となっている。

##### ■議員定数

|            |                              |      |    |
|------------|------------------------------|------|----|
| 瑞穂町<br>人 口 | 33, 864 人（平成 26 年 4 月 1 日現在） | 議員定数 | 16 |
|------------|------------------------------|------|----|

## 2) 選 挙

### ①町長選挙

平成21年4月19日の町長選挙では、当日有権者数が26,627人、投票率47.34%であった。  
次いで、平成25年4月21日の選挙では、当日有権者数が26,767人、投票率40.73%と低下した。

### ②町議会議員選挙

平成19年4月22日の瑞穂町議会議員選挙では、当日有権者数が26,619人、投票率55.06%であった。

次いで、平成23年4月24日の選挙では、当日有権者数が26,727人、44.64%と低下した。

### ③都知事選挙

平成19年4月8日の東京都知事選挙では、当日有権者数が26,863人、投票率51.01%であった。

次いで、平成24年12月16日の選挙では、当日有権者数が26,990人、投票率が55.90%に上昇した。



---

## 第 3 章 関連計画等

---



## 1. 分野別の計画

### (1) 計画の種類と期間

各分野別の各計画には期間が設定されているが、第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画の期間と比較すると以下のとおりである。(なお、期間を設定していない計画は、下記期間中も継続するものとしている。)

各計画ともに長期総合計画との整合性を踏まえて作成する等の記載がなされている。

| 計画名称等                        | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
|------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 第4次瑞穂町長期総合計画<br>後期基本計画       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町第4次行政改革大綱                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町地域防災計画                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町耐震改修促進計画                  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町業務継続計画（BCP）<br>【地震編】      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町第2次地域保健福祉計画               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町次世代育成支援行動計画<br>（後期計画）     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町第3期障害福祉計画                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町第5期高齢者保健福祉<br>計画・介護保険事業計画 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 第2期瑞穂町特定健康診査等<br>実施計画        |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町新型インフルエンザ等<br>対策行動計画      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町都市計画マスタープラン<br>（改定版）      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町緑の基本計画                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町住宅マスタープラン                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町景観基本計画                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町下水道プラン                    |    |    |    |    | 短  | 期  |    |    |    | 中  |    | 期  |    | 長  | 期  |
| 瑞穂町産業振興ビジョン                  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町工業振興計画                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町環境基本計画                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町一般廃棄物処理基本計画               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町地球温暖化対策実行計画               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

(続き)

| 計画名称等                    | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
|--------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 第4次瑞穂町長期総合計画<br>後期基本計画   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町生涯学習推進計画              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町スポーツ・レクリエー<br>ション振興計画 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 瑞穂町コミュニティ振興計画            |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 第5次瑞穂町男女共同参画社<br>会推進行動計画 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 水・緑と観光を繋ぐ回廊計画            |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 第2次瑞穂町国際化推進計画            |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

### ①行財政関連

今後の急速な高齢化や地方分権の進展などの変化に、一層適切に対応していくことが求められている中、住民等で構成される「行政評価委員会行政改革推進分科会」からの意見等に基づき、平成 27 年度末を目標年度とした「瑞穂町第 4 次行政改革大綱」を策定している。

| 項 目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 内 容 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| <b>【基本テーマ】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |     |
| ○『つづけよう改革 自立と協働のまち「みずほ」をめざして』<br>住民の皆様との協働を継続して、自立した身近な基礎自治体を目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |
| <b>【目標年次】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |     |
| ○平成 24（2012）年度～平成 27（2015）年度（※第４次瑞穂町長期総合計画の中間年度）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |     |
| <b>【具体的な推進方法】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |     |
| ○行政改革大綱に基づいた、わかりやすく、具体的な取り組みを明示した実施細目を策定・公表し、その内容を確実に推進する。<br>○また、進捗状況を住民等から構成される「行政評価委員会行政改革推進分科会」に定期的に報告し、透明性の確保と協働に必要な情報の提供に努める。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |     |
| <b>【大綱の基本理念】</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |     |
| １．協働のまちづくり<br>①町政への住民参加の促進                                  ②行政情報の共有化<br>③社会貢献活動団体との協働                                 ④民間活力の活用<br>２．行政評価システムの効果的運用と機能的な組織・人事管理<br>①目標管理・成果重視型行政執行の確立      ②スリムで効率的な組織の整備<br>③職員の資質、能力の向上                                 ④能力・成果主義による人事考課<br>３．行財政基盤の強化と安定的・効果的な行財政運営<br>①経営感覚を持った行財政運営                                 ②安定した財源の確保<br>③受益者負担の適正化                                         ④補助金等の適正化<br>⑤ＩＣＴ化の推進                                                 ⑥安全・安心<br>４．継続的な行政改革の推進<br>①職員一人ひとりの意識の徹底                                 ②住民への分かりやすい行政改革の報告 |     |

## ②防災関連

### ■瑞穂町地域防災計画（瑞穂町防災会議 平成 22 年 3 月策定）

瑞穂町地域防災計画は、災害対策基本法 42 条の規定に基づき、瑞穂町防災会議が作成する計画であり、地震・風水害等の災害に係る予防、応急対策、復旧対策を総合的かつ計画的に実施することにより、地域ならびに住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的として策定されている。

| 項 目               | 内 容 |
|-------------------|-----|
| <b>【計画の構成】</b>    |     |
| 第 1 編 総則・予防計画     |     |
| 第 1 部 総則          |     |
| 第 2 部 災害予防計画      |     |
| 第 2 編 地震災害対策計画    |     |
| 第 1 部 災害応急対策計画    |     |
| 第 2 部 災害復興計画      |     |
| 第 3 編 風水害対策計画     |     |
| 第 1 部 災害応急対策計画    |     |
| 第 2 部 災害復興計画      |     |
| 第 4 編 大規模事故災害対策計画 |     |
| 付編 警戒宣言等対応計画      |     |
| 資料編               |     |

### ■瑞穂町耐震改修促進計画

町における既存建築物の耐震診断および耐震改修等を、計画的かつ総合的に進めることにより既存建築物の耐震化を促進し、都市空間、居住空間における被害の軽減を図り、災害に強いまちづくりを進めるために策定されている。

| 項 目            | 内 容                                                              |
|----------------|------------------------------------------------------------------|
| <b>【基本テーマ】</b> |                                                                  |
|                | ○建築物の耐震改修で地震に強いまちづくりを！                                           |
| <b>【計画期間】</b>  |                                                                  |
|                | ○平成 24（2012）年度～平成 32（2020）年度<br>※定期的に進捗を把握する。本計画は必要に応じて見直すものとする。 |
| <b>【対象区域】</b>  |                                                                  |
|                | ○瑞穂町全域                                                           |
| <b>【計画の構成】</b> |                                                                  |
| 第 1 章          | （略）                                                              |
| 第 2 章          | 想定される地震の規模・被害の状況                                                 |
| 第 3 章          | 建築物の耐震化の現状と目標                                                    |
| 第 4 章          | 建築物の耐震化を促進するための施策                                                |
| 第 5 章          | 耐震化促進に関する啓発及び知識の普及                                               |
| 第 6 章          | 関係団体との連携                                                         |
| 第 7 章          | 計画の推進                                                            |

## ■瑞穂町業務継続計画（BCP）【地震編】

平成 24 年度に、限られた資源の中で、町民の生命、生活及び財産を守るため、実施すべき業務を選定し、その業務を実施するために必要な資源を洗い出すとともに事前対策や対応方針を定めた。

また、平成 25 年度からは、計画を管理・運用する業務継続マネジメント（BCM）の推進期間とし全職員を対象とした、計画推進のための研修会をはじめ、「災害対策本部設置訓練」等を実施し、全庁的に計画の課題検証等を行い、計画改定を実施した。

| 項 目    | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【目的】   | ○「瑞穂町地域防災計画」に基づき、大地震発生時（以下「発災時」という。）における町の業務を継続させ、町民の生命、生活及び財産を守る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 【基本方針】 | <p>①【実効性の確保】</p> <p>発災時、真に実効性のある計画とするため、時系列（発災後 1 時間、3 時間、12 時間、24 時間、48 時間、72 時間）で定める。</p> <p>②【堅実な計画】</p> <p>町が保有、又は調達可能な資源を明らかにし、町民の理解を得て、発災時やその後に実施できる継続業務範囲を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人員・・・発災時、参集できる人員数と業務量の適合</li> <li>・業務・・・発災時、実施すべき優先業務の抽出と順位化</li> <li>・資源・・・業務資源の事前対策及び発災時の機能把握・強化</li> </ul> <p>③【事前対策の重視】</p> <p>事前対策に重点を置き、継続的に発災時の被害軽減を図る。</p> |

### ③福祉・保健関連

#### ■瑞穂町第2次地域保健福祉計画

地域社会の変化や、国における福祉制度の転換、また、これに伴う社会福祉の新たな理念を踏まえ、町民、事業者、行政が協働して地域保健福祉を推進することにより、すべての町民が、尊厳を持ち、いつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らすことができ、生涯にわたって住み続け、自立した豊かな生活を送ることができる地域社会の実現を目ざし、策定した。

「瑞穂町第2次地域保健福祉計画」は、「瑞穂町地域保健福祉計画」の見直しを中心としながらも、新たな社会の変化に対応した保健福祉の総合的な計画として策定したもの。

| 項                       | 目                                                                                                  |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                         | 内 容                                                                                                |
| <b>【計画の基本理念】</b>        |                                                                                                    |
|                         | ○ふれあい・ささえあい・やさしさのあるまち みずほ<br>～ すべての人を包み込む福祉社会を目ざして ～                                               |
| <b>【計画期間】</b>           |                                                                                                    |
|                         | ○平成 23（2011）年度～平成 27（2015）年度<br>※ただし、社会状況の変化や関連制度・法令の改正、施策の推進状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。                 |
| <b>【基本理念実現に向けた重点施策】</b> |                                                                                                    |
|                         | ○地域住民による福祉活動の推進<br>○福祉サービス利用の支援<br>○すべての人が安全・安心に暮らせるまちづくり<br>○健康づくりの推進<br>○在宅での自立生活支援<br>○子育て支援の充実 |

## ■瑞穂町次世代育成支援行動計画（後期計画）

平成 15 年 7 月に成立した「次世代育成支援対策推進法」に基づき平成 17 年 3 月に、平成 17 年度から平成 26 年度までの 10 年間の計画期間とした「瑞穂町次世代育成支援行動計画」を策定したが、5 年後に見直しをすることとしたことから、各種調査（住民意向調査等）を踏まえ平成 22 年度～平成 26 年度の計画期間とする後期基本計画を策定した。

| 項 目        | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の目的】    | ○子どもが心身ともに健やかに育つ環境を整備し、地域における総合的な少子化対策、子育て支援施策を推進していくことを目的として策定している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 【計画の期間】    | ○平成 22（2010）年度～平成 26（2014）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 【基本理念】     | <p>○子どもたち自身の幸せを第一に考えることはもちろんのこと、父母その他の保護者が主体的に子育てを行うことを前提として、「子育てと仕事の両立支援」を中心とした子育て環境の整備だけではなく、すべての子育て家庭が安心して子育てできるように、地域社会とともに子育て家庭の自律的成長をささえていくことが何より重要としている。</p> <p>○子どもが日々成長していく存在であるように、親もまた、日々の子育てを通して親として成長していく存在です。子どもの成長と同時に親自身、そして親となる人たちの成長を地域社会全体でささえあっていくことで、新しい地域社会づくりが可能になるとする考えをもとに、計画の基本理念をつぎのように設定している。</p> <p style="text-align: center;">人と人とがささえあいともに育ちあうまち みずほ</p> |
| 【計画の基本的視点】 | <p>○子どもの権利を尊重し、子どもが大切にされる視点</p> <p>○子どもが次代の社会の担い手であるという視点</p> <p>○ゆとりをもって子育てできることを支援する視点</p> <p>○子どもとともに親の成長を支援する視点</p> <p>○地域社会全体で子育てをささえあうという視点</p>                                                                                                                                                                                                                                    |
| 【基本目標】     | <p>○すべての子育て家庭の支援</p> <p>○母と子の健康づくり</p> <p>○家庭・学校・地域の教育力の向上</p> <p>○安心して子育てができる生活環境の整備</p> <p>○支援が必要な子どもと家庭への取り組みの推進</p>                                                                                                                                                                                                                                                                  |

### ■瑞穂町第3期障害福祉計画

本計画は、「瑞穂町第2次地域保健福祉計画」における施策の基本方向を踏まえた上で、特定のサービスに関する指針として取りまとめられた計画であり、「瑞穂町第2次地域保健福祉計画」と一体的に取り組んでいく計画である。

計画期間の途中において、障害者総合支援法が制定された際に、計画見直しとなる可能性があること等を踏まえ、第3期計画の策定にあたっての基本的な考え方は、第2期計画の考え方を継承するものとした。

| 項 目                   | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【計画の法的根拠・位置づけ】</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「障害者自立支援法」に基づく市町村障害福祉計画で、障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保に関する計画を定めている。</li> <li>○障害者自立支援法第88条第1項の規定に基づき、策定が義務付けられている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                              |
| <b>【計画の期間】</b>        | ○平成24（2012）年度～平成26（2014）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>【計画の基本理念】</b>      | <p>○瑞穂町地域保健福祉計画の基本的考え方に基づき、困難な状況に陥っている人たちの存在をしっかりと認識し、同じ社会の構成員として包み込みさえあっていく（ソーシャル・インクルージョン）という考え方の実現を目指し、瑞穂町らしい障害福祉の充実を目指し、町民との協働に基づき事業の推進を図る。</p> <p>〈基本的考え方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働と参画のまちづくり</li> <li>・健康で安心して生活できる福祉のまちづくり</li> <li>・選択できる福祉サービス基盤の整備</li> <li>・保健福祉情報の一元化の推進</li> <li>・自立生活の基盤づくりへの支援</li> <li>・新しいつながりの構築</li> <li>・福祉文化の創造</li> </ul> |
| <b>【基本目標】</b>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○障がいのある方の自立と社会参加の実現</li> <li>○利用者本位のサービス体系の構築</li> <li>○地域生活移行や就労支援を促進するためのサービス提供基盤の整備</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>【計画における視点】</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な訪問系サービスの保障</li> <li>○障がいのある方が希望する日中活動系サービスの保障</li> <li>○施設入所・入院から地域生活への移行の推進</li> <li>○福祉施設から一般就労への移行の推進</li> <li>○適切なサービス利用を支える相談体制の構築</li> </ul>                                                                                                                                                                                        |

# ■瑞穂町第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

本計画は、「瑞穂町地域保健福祉計画」をふまえるとともに、「東京都高齢者保健福祉計画」など、東京都の計画との整合性をふまえ策定した。

| 項 目           | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の位置づけ】     | ○町の基本計画である「瑞穂町長期総合計画」や上位計画の「瑞穂町地域保健福祉計画」をふまえるとともに、「東京都高齢者保健福祉計画」など、東京都の計画との整合性を図るものである。                                                                                                                                                                        |
| 【計画の基本的考え方】   | ○高齢者保健福祉計画は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した生活が営めるよう、「医療」、「介護」、「予防」、「住まい」、「生活支援サービス」が切れ目なく一体化して提供される「地域包括ケアシステム」の考え方を念頭に置きつつ、地域に相応しいサービス提供体制の実現を計るものとする。<br>○介護保険事業計画は、平成17年度に改正された介護保険法の目的達成年度が平成26年度であることから、この考え方を基本にしつつ、平成27年度以降に迎える高齢化のピーク時に地域連携ができるものとする。 |
| 【計画の期間】       | ○平成24（2012）年度～平成26（2014）年度                                                                                                                                                                                                                                     |
| 【各計画対象者数の推計値】 | ※今後も高齢化率、要支援・要介護認定者数ともに増加傾向<br>○高齢者人口の推計<br>・平成29年度の推計値……65歳以上の人口＝8,509人（高齢率24.6%）<br>（うち、後期高齢者＝3,190人（構成比9.6%））<br>○要支援・要介護認定者数の推計<br>・平成29年度の推計値……要支援・要介護認定者数＝1,751人<br>（うち、要介護認定者数＝1,301人）                                                                  |
| 【目指すべき高齢社会像】  | ふれあい・ささえあい・やさしさのあるまち みずほ<br>～すべての人を包み込む福祉社会を目指して～<br><br>○だれもが自立して生活できる高齢社会<br>○だれもが生き生きと暮らせる高齢社会<br>○だれもが安心して生活できる高齢社会                                                                                                                                        |
| 【基本目標】        | ○要介護状態となることの予防の推進を図る。<br>○包括的・継続的なケアマネジメントを地域において確立する。<br>○高齢者が地域で安心して暮らすことのできるような体制の整備を図る。<br>○「高齢者の尊厳を支えるケア」を確立する。                                                                                                                                           |

## ■第2期瑞穂町特定健康診査等実施計画

瑞穂町国民健康保険の保険者である瑞穂町では、平成20年度を初年度として、5年を1期とする「瑞穂町特定健康診査等実施計画」を策定し、「内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防」を目的に、特定健康診査・特定保健指導に取り組んできた。この計画は5年ごとに見直しを行うこととなっているため、第2期となる本計画を策定した。

| 項 目      | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の期間】  | ○平成25（2013）年度～平成29（2017）年度                                                                                                                                                                                                                           |
| 【達成目標】   | ○本計画の実施により、平成29年度の特定健康診査受診率を60.0%、特定保健指導実施率を60%、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の平成20年度対比を25%減としている。                                                                                                                                                             |
| 【基本的考え方】 | <p>〈特定健康診査〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・満40歳～74歳の瑞穂町の国民健康保険被保険者を対象に、指定医療機関及び町施設での個別健診または集団健診により実施する。</li> </ul> <p>〈特定保健指導〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導（積極的支援・動機付け支援）の対象者は、特定健康診査の結果に基づいて対象者を選定する。</li> </ul> |

## ■瑞穂町新型インフルエンザ等対策行動計画

平成25年4月の「新型インフルエンザ等対策特別措置法」の施行に伴い、国・都はこれまで策定してきた行動計画等を整理し、特措法が規定する内容を踏まえた、新たな行動計画をそれぞれ策定したことから、瑞穂町においても、特措法に基づく「瑞穂町新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定した。

| 項 目      | 内 容                                                                                                                                                  |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の期間】  | ○平成26（2014）年12月以降<br>※瑞穂町行動計画は、今後の政府行動計画等の見直しを踏まえ、随時改訂を行うものとする。                                                                                      |
| 【達成目標】   | <p>○感染拡大を可能な限り抑制し、町民の生命及び健康を保護する。</p> <p>○町民生活及び経済活動に及ぼす影響が最小となるようにする。</p>                                                                           |
| 【基本的考え方】 | ○政府行動計画及び東京都行動計画に基づき、町における新型インフルエンザ等への対策の実施に関する基本的な方針、町が実施する対策及び病原性の高い新型インフルエンザ等への対応を念頭に置きつつ、発生した新型インフルエンザ等の特性を踏まえ、病原性が低い場合でも弾力的な運用ができるよう、対策の選択肢を示す。 |

#### ④都市計画関連

##### ■瑞穂町都市計画マスタープラン（改定版）

平成12年に策定された都市計画マスタープランと比べて、人口減少、少子高齢化、防災意識の高まりのほか、長期に渡る経済の低迷など、これらの社会経済状況は急速に変化していることから、町を取り巻く諸状況の変化に対応していくために都市計画マスタープランの改訂を行った。

| 項 目          | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【目標年次】       | ○平成32（2020）年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 【将来都市像】      | ○「ゆとりある生活都市 瑞穂」<br>・豊かな自然との調和の中で、職住近接の住みやすい生活環境を形成する都市づくりを推進するとともに、瑞穂町独自の環境や資源、施設等を活用しながら、交流やふれあいを育むことを目的として、将来都市像があげられている。                                                                                                                                                                                                        |
| 【将来都市像の実現目標】 | ○豊かな自然と調和したまちづくり<br>狭山丘陵などの豊かな自然環境と調和する潤いのあるまちづくりをすすめるとともに、自然環境への負荷の低減をはかったまちづくりをめざす。<br>○経済的ゆとりのある自立都市の形成<br>産業を振興し、ゆとりある職住近接の自立都市の形成をはかる。<br>○生活の向上をめざす都市機能の充実<br>人口減少、超高齢社会の到来、さらには防災意識の高まりなどに対応し、安全で安心して暮らせるまちづくりをめざし、都市機能の充実をはかる。<br>○多様な交流やふれあいが育まれる都市の形成<br>交流・連携の時代、個性化の時代に対応し、町固有の環境や資源を活用しながら、多様な交流やふれあいが育まれるまちづくりを展開する。 |

##### ■瑞穂町緑の基本計画

本計画は、緑地の保全及び緑化の推進を総合的かつ計画的に実施する為のもので、みどりあふれる個性豊かな町づくりの推進を図ることを目的としている。

また、本計画は、「瑞穂町都市計画マスタープラン」の中で、みどりのまちづくりに該当する部分の部門計画としての性格を合わせ持ち、今後のみどりに関する諸施策のもっとも基本となる計画として策定した。

| 項 目        | 内 容                                                                                                                         |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【目標年次】     | ○平成12（2000）年～平成32（2020）年                                                                                                    |
| 【将来像】      | ○「みどりとともに発展するいきいきとした生活のあるまち<br>－ グリーンアンドヒューマンライフ みずほ－」                                                                      |
| 【基本理念】     | ○「みどり豊かな美しいまちの創造を実現するために、人とみどりの新たな良好な関係を築いていく。」                                                                             |
| 【みどりの基本方針】 | ○みどりをつくる                      ○みどりをまもり、いかす                      ○みどりをつなげる<br>○みどりをふやす                      ○みどりをひろげるしくみを整える |
| 【計画の目標】    | ○町全体の緑地面積 ⇒ 48%を確保<br>○公園面積 ⇒ 20 m <sup>2</sup> /人を確保                                                                       |

## ■瑞穂町住宅マスタープラン

国の第8次住宅建設五箇年計画の終了により、新たに『住生活基本法』（平成18年6月）や、『大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法』（大都市法）（平成18年6月）が制定されたことを受け、住生活の最も重要な条件である『住宅の安全・安心の確保』を最重点課題とし、住宅の“量”から“質”の向上を追求することをめざし策定した。

| 項 目          | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の策定目的】    | <p>○各地での災害の状況、少子高齢化社会の急速な到来など社会情勢の変化を踏まえ、住生活の最も重要な条件である『住宅の安全・安心の確保』を行政として最優先すべき事項とし、また、『住生活基本法』に基づく“量”から“質”の向上を追求することが緊急の課題であるとしている。</p> <p>○町民が安全かつ快適な生活を送るための住まいや望ましい居住環境とはどうあるべきかについて、行政や町民、住宅関連事業者の協力を得て的確にとらえる必要があるという新たな視点のもと、その指針として策定されている。</p> |
| 【計画の位置づけ】    | <p>○国の『住生活基本法』や都の『住宅基本条例』を受けた町の住宅政策の指針となるものであり、『東京都住宅マスタープラン（2006年～2015年）』と基本的な部分で整合を図りつつ町の特性を反映するとともに、これまで策定された『瑞穂町都市計画マスタープラン』、『瑞穂町地域保健福祉計画』等の計画との整合を図り、また少子高齢化の進展や世帯構成の多様化が進む社会における総合的な住宅政策の展開を図るものとして、本マスタープランが位置づけられている。</p>                        |
| 【計画の期間】      | <p>○平成21（2009）年度～平成30（2018）年度</p>                                                                                                                                                                                                                        |
| 【住宅施策の基本テーマ】 | <p>○住生活基本法の趣旨や東京都住宅マスタープランの方向等を尊重し、瑞穂町長期総合計画（後期基本計画）の基本テーマを実現することを住宅施策の基本理念とし、次のテーマに取り組むとされている。</p> <p>①だれもが安全・安心できる居住環境<br/>         ②次世代に継承できる居住環境<br/>         ③住まいづくりと連携したまちづくり</p>                                                                  |
| 【計画推進の取り組み】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅関連計画等による良好な住環境の誘導</li> <li>・耐震化やバリアフリー化等の施策における国・東京都との役割分担と連携</li> <li>・計画づくりからの町民・事業者・NPO等との協働によるまちづくり</li> <li>・社会経済情勢の変化に対する柔軟な対応</li> </ul>                                                                |

## ■瑞穂町景観基本計画

景観を自然的、歴史的、都市的な視点から捉え、瑞穂町都市計画マスタープランでは、町内を4地区に区分したうえで、それぞれの地区特性をいかした景観形成を位置づけているが、近年の国や東京都の動向を受け、瑞穂町都市計画マスタープランの方針に加え、昨今の時代変化や新たなまちづくりに伴う都市構造の変化などにも対応した、町の総合的な景観方針として取りまとめた。

| 項 目       | 内 容                                                                                                                                                             |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の策定目的】 | ○誰もが共有できる景観を後世まで残し、いつまでも潤いのあるまちづくりに取り組むための長期的、基本的な指針とする。                                                                                                        |
| 【計画の位置づけ】 | ○国において施行された「景観法」、東京都において策定された「東京都景観計画」などの基本的方針を参考に、平成21年3月策定の「瑞穂町環境基本計画」で位置づけられている景観施策を踏襲しつつ、その後の社会情勢の変化や新たに行われたまちづくりなどを勘案・分析しなおした上で、これからの時代と町の将来像に整合した基本計画とする。 |
| 【計画の期間】   | ○平成23（2011）年度～平成32（2020）年度                                                                                                                                      |
| 【取組み方針】   | ○自然的景観の保全・育成<br>○歴史的景観の保全・継承<br>○都市景観の創出<br>○市街地景観の創出                                                                                                           |

## ■瑞穂町下水道プラン

国では「下水道ビジョン2100」や「関東甲信地方下水道ビジョン」などを定め、各自治体においてもその地域性などを取り入れ、独自に下水道事業の現状・課題・施策を検証し、今後の下水道事業・経営のあり方について、計画を定めることを推奨していることを受け、限られた財源を効果的に活用するとともに、計画的な下水道事業の推進を目的として策定した。

| 項 目       | 内 容                                                                                                   |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の策定目的】 | ○未普及地域への下水道整備、都市化の進展やゲリラ豪雨による浸水被害への対応、施設の老朽化や耐震性向上に向け、未普及地域への整備促進、雨水の整備、耐震対策、適正な維持管理などの施策を推進することをめざす。 |
| 【計画の位置づけ】 | ○「下水道ビジョン2100」や「関東甲信地方下水道ビジョン」を踏まえ、地域防災計画、都市計画マスタープラン、環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画等の関連する計画と連携する計画とする。           |
| 【計画の期間】   | ○短期計画：平成26（2014）年度～平成30（2018）年度<br>○中期計画：平成31（2019）年度～平成35（2023）年度<br>○長期計画：平成55（2043）年度まで            |
| 【取組み方針】   | ○快適に暮らせるまち<br>○安全に安心して暮らせるまち<br>○健全な下水道経営                                                             |

## ⑤産業関連

### ■瑞穂町産業振興ビジョン

「瑞穂町産業振興ビジョン」は、農業、商業、工業の3つの基本産業に、観光を加えた4つの産業の振興を図るため、瑞穂町の産業という大きな枠組みで検討し、産業全体の方向性を示すものとして策定した。

| 項 目                | 内 容                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【策定の目的】            | ○今回策定する産業振興ビジョンにおいては、4つの産業の詳細な計画を策定するのではなく、「瑞穂町の産業」という大きな枠組みで検討し、これまでの実績と方針をつなぎながら、環境変化を考慮し、産業全体の統合的な将来像をまとめる。産業振興ビジョンが、今後、それぞれの産業の方向性を更新し、新たな施策を実行していくための基準となるようにする。したがって、施策の「つくり方」を中心に「どうやるか」を示すことで柔軟に活用できるものにする。 |
| 【目標年度】             | ○平成32（2020）年度                                                                                                                                                                                                       |
| 【産業振興におけるまちのコンセプト】 | ○みんながつくる「マイスター交流・育成都市」                                                                                                                                                                                              |
| 【産業振興の3つの基本的な方向性】  | 1）住みたくなるまちを目指して4産業が価値創造に挑戦<br>2）人材の発掘・育成<br>3）内外に対するPR・ブランド戦略                                                                                                                                                       |
| 【推進の主体・体制】         | 1）産業振興ビジョン策定ワークショップの拡充<br>2）「（仮称）東京みずほ学校」の創設<br>産業振興ビジョンワークショップを拡充し、定期的に企画・実践・評価を行い、平成26年度は、このワークショップを「（仮称）東京みずほ学校（または大学）」として、発展させ、なるべくコストをかけず、自分たちができる「just doit!」を実践する。                                           |
| 【産業振興の施策】          | 1．施策の立案方針<br>1）つなげる 2）あつめる 3）まなぶ 4）つたえる 5）やってみる<br>2．施策内容（案）<br>以下の例を参考に、今後、数多くの施策を立案・実践していくことを目指す。<br>・（例）コミュニティマーケットの開催                                                                                           |

■瑞穂町工業振興計画

| 項 目         | 内 容                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【策定の目的】     | ○瑞穂町産業振興ビジョン（以下、産業振興ビジョン）に基づいて、瑞穂町の工業振興の課題を把握し、その解決を目指す基本方針と施策を策定する。                                                                                                                                     |
| 【目標年度】      | ○平成32（2020）年度                                                                                                                                                                                            |
| 【工業振興の基本方針】 | ○高齢化するマイスターたちの「匠」の技術や経験を次世代に伝え、特に小規模・中規模事業所の持続的な発展と変革を促し、よりよい「東京みずほライフ」を実現するエンジンになる。そのために、町内事業所の連携、マイスターの後継者育成などの既存事業所の活性化、創業者誘致や他産業との連携などの新しい価値創造の仕組みづくり、そして、これらに共通する「工業のみずほブランド」のあり方を確立し、内外に対してPRしていく。 |
| 【3つの戦略】     | ①既存事業者の活性化<br>②新しい価値創造の仕組みづくり<br>③前述の2つの戦略に共通する施策                                                                                                                                                        |
| 【工業振興の施策】   | 1. 施策の立案方針<br>1) つなげる 2) あつめる 3) まなぶ 4) つたえる 5) やってみる<br>2. 施策内容（案）<br>1) 受発注の機会拡大 2) 事業承継支援 3) 創業支援（育成・誘致）<br>4) 他産業との連携 5) PRとブランド戦略                                                                   |

## ⑥環境関連

### ■瑞穂町環境基本計画

瑞穂町環境基本計画は、瑞穂町の環境に対する理念を明確にした瑞穂町環境基本条例に基づいて策定した。また、瑞穂町長期総合計画を上位計画とした環境分野のマスタープランとして位置づけるものである。

| 項 目                         | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【計画策定の目的】</b>            | <p>○町・町民・事業者の責務等について定めた「瑞穂町環境基本条例」（平成 19 年 4 月施行）の次の 3 つの基本理念を具体化し、環境の保全等に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の保全等は、町民が健康で安全かつ快適に暮らすことができる良好な環境を確保し、これを将来の世代へ継承していくことを目的としないなければならない。</li> <li>・環境の保全等は、人と自然が共生し、環境への負荷が少ない持続的発展が可能なまちづくりを目的として、すべての者の積極的な取り組みと相互の協力によって行わなければならない。</li> <li>・環境の保全等は、地球環境の保全は、地域の環境が地球全体の環境に深くかかわっていることから、すべての日常生活及び事業活動において積極的に推進されなければならない。</li> </ul>                                                                                                                                                                               |
| <b>【計画の位置づけ】</b>            | <p>○瑞穂町環境基本条例に基づき策定し、瑞穂町長期総合計画を上位計画とした環境分野のマスタープランとして位置づけており、すべての個別計画・行政施策は、環境基本計画の趣旨を尊重し、環境への配慮を必要とするとしている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <b>【計画対象区域・計画の期間】</b>       | <p>○平成 21（2009）年度～平成 30（2018）年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞穂町の行政区域全体とし、町が単独で行えない場合や連携することにより効果が得られる場合は、周辺の市町村や都、国との協力を検討することとしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>【基本目標・環境像】</b>           | <p>○基本目標<br/>「自然とふれあい、安心して暮らせるまち みずほ」</p> <p>○望ましい環境像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやかな空気、きよらかな大地、みんなが安心して暮らすことのできるまちを創るために</li> <li>・豊かな緑、多様な生き物、みんなが共存できるまちを創るために</li> <li>・歴史と文化を大切に、みんなが楽しく暮らせるまちを創るために</li> <li>・地域から地球へ、みんなで地球を守っていくまちを創るために</li> <li>・みんなで考え、みんなで行動するまちを創るために</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <b>【環境像実現のための基本方針・取り組み】</b> | <p>○瑞穂町の望ましい環境像実現のために、次の 16 の基本方針をあげて町、町民・事業者が協働・連携して取り組むこととしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな空気を創っていくための取り組み</li> <li>・きれいな水を創っていくための取り組み</li> <li>・不快な騒音や振動をなくしていくための取り組み</li> <li>・清らかな大地を守っていくための取り組み</li> <li>・様々な公害を防いでいくための取り組み</li> <li>・豊かな緑を守り、育てていくための取り組み</li> <li>・多様な生き物を守り、育てていくための取り組み</li> <li>・水辺を守り、育てていくための取り組み</li> <li>・美しい景観のまちを創っていくための取り組み</li> <li>・人にやさしいまちを創っていくための取り組み</li> <li>・安心して暮らせるまちを創っていくための取り組み</li> <li>・地球温暖化を防止するための取り組み</li> <li>・地球環境問題への取り組み</li> <li>・ごみ減量のための取り組み</li> <li>・資源を再利用するための取り組み</li> <li>・みんなで学び、協力していくための取り組み</li> </ul> |

## ■瑞穂町一般廃棄物処理基本計画

ごみの発生抑制・資源化策を促進することによって、限りある資源を大切にし、環境への負荷を極力抑えた循環型社会の形成を目指す必要があり、計画を改定した。この計画の特徴としては、瑞穂町と西多摩衛生組合及び組合構成市（青梅市、福生市及び羽村市）が共同して課題を認識し、広域かつ効率的なごみ処理施策を推進することとした。

| 項 目                 | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【計画策定の目的】</b>    | ○「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を平成 12 年 3 月に策定しているが、廃棄物行政における循環型社会の形成を図るには、廃棄物の 3 R（リデュース＜発生抑制＞、リユース＜再使用＞、リサイクル＜再生利用＞）を積極的に推進し、広域的な取組みの中で総合的に廃棄物処理施設の整備をしていく必要がある。今回、町と燃やせるごみを共同処理している西多摩衛生組合及び組合構成市（青梅市、福生市及び羽村市）が燃やせるごみ以外の廃棄物の共同処理も視野に入れ、統一した課題の認識と広域かつ効率的な廃棄物処理施策を推進していくために見直しを行う。 |
| <b>【計画の位置づけ】</b>    | ○「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第 6 条第 1 項及び「同法施行規則」第 1 条の 3 の規定に基づき策定する。一般廃棄物処理基本計画と一般廃棄物処理実施計画から構成されるものであり、それぞれ、ごみに関する部分と生活排水に関する部分から構成する。                                                                                                                                          |
| <b>【計画の期間】</b>      | ○平成 24（2012）年度～平成 38（2026）年度                                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>【ごみ処理基本計画】</b>   | ○基本目標<br>「環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を目指したまちづくり」<br>◇ 3 R の推進<br>◇ 町民・事業者・行政の役割分担の明確化<br>◇ 適正処理・処分の推進<br>◇ ごみ処理から資源管理への転換<br>◇ ごみ処理業務の合理化及び効率化<br>計画目標年度の平成 38 年度までに、平成 22 年度比総排出量を 11.8%減とし、総資源化率を 40.1%以上。                                                                    |
| <b>【生活排水処理基本計画】</b> | ○基本方針<br>生活排水処理施設の整備に当たっては、市街化区域においては公共下水道整備を推進し、集落の形態をなしていない区域においては合併処理浄化槽の設置を促進する。                                                                                                                                                                                     |

## ■瑞穂町地球温暖化対策実行計画

日本は、平成 22(2010)年に「すべての主要国による公平かつ意欲的な目標の合意を前提とし、平成 32(2020)年までに平成 2(1990)年比 25%削減を目標とする」という C O P 1 5・コペンハーゲン合意に賛同する意思表示を行い、その後、地球温暖化対策に係わる中長期ロードマップ(環境大臣試案)を発表(平成 22(2010)年 3 月公表)した。これらを受け町の事務・事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減をめざす計画として策定した。

| 項 目                     | 内 容                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【計画策定の目的】</b>        | ○当該計画は、町の事務及び事業から発生する温室効果ガス排出量を削減することにより、地球温暖化対策の推進を図ることを目的とする。                                                                                                                                                                          |
| <b>【計画の位置づけ】</b>        | ○「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 20 条の 3 第 1 項において、京都議定書目標達成計画に即して、当該市町村の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出の量の削減並びに吸収作用の保全及び強化のための措置に関する計画を策定するものと規定され、同法第 20 条の 3 第 2 項に掲げる事項などについて定め、町に関する地球温暖化対策実行計画を策定する。                                                       |
| <b>【計画の期間】</b>          | ○平成 24(2012)年度～平成 28(2016)年度<br>※平成 22 年度の温室効果ガス排出量を基準                                                                                                                                                                                   |
| <b>【対象とする事務・事業の範囲】</b>  | ○地方公共団体の事務及び事業<br>※地方自治法に定められた行政事務全てが対象<br>※庁舎におけるもののほか、廃棄物処理、小・中学校なども含む。<br>また外部への委託や、指定管理者制度などにより実施するものも含む。                                                                                                                            |
| <b>【温室効果ガス排出量の削減目標】</b> | ○平成 22 年度を基準年として、平成 28 年度までに、事務・事業活動に伴う 温室効果ガス排出量の 20%削減をめざす。                                                                                                                                                                            |
| <b>【具体的な取組内容】</b>       | ①温室効果ガス排出量の削減に直接的に寄与するもの<br>(1)電気使用量の削減 (2)公用車燃料の削減 (3)その他の燃料の削減<br>(4)太陽光発電設備の導入<br>②温室効果ガス排出量の削減に間接的に寄与するもの<br>(1)用紙類の使用 (2)資源化・リサイクル (3)その他<br>③今後実施を検討する長期的な取組内容<br>(1)物品調達方針の設定(グリーン購入) (2)再生可能エネルギーなどの利用・導入<br>(3)施設の新築、改築時等における導入 |

## ⑦生涯学習関連

### ■瑞穂町生涯学習推進計画

平成 14 年度「瑞穂町生涯学習推進計画」を作成し、社会教育課を中心に推進してきた。地域社会が稀薄化している今日、生涯学習活動が自己実現や生きがいにとどまらず、地域づくりにつながる学習の機会のなることを期待し、引き続き学習機会の提供や環境の整備を充実し、地域の住民のネットワーク化をはかり、学習した結果を地域でいかせる仕組みづくりに努めるため策定した。

| 項 目           | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画策定の目的】     | ○町民のだれもが、生涯のいつでも、自由に学習する機会を選択して学ぶことができ、その成果を適切に生かすことのできる「生涯学習社会」の実現をめざして策定する。計画の推進にあたっては、「連携と協働がささえるまち」づくりを基本方針として、町民の担う役割と行政が担う役割を検証しながら、町民とともに全庁を挙げて取り組む。                                                                                                                           |
| 【計画の位置づけ】     | ○第 4 次瑞穂町長期総合計画を上位計画とし、その基本理念である「自立と協働」を念頭に、基本目標の一つである「一人ひとりが輝くみずほ」を具現化するために策定する個別計画です。                                                                                                                                                                                               |
| 【計画の期間】       | ○平成 23（2011）年度～平成 32（2020）年度<br>※社会経済情勢の変化などにあわせて、前期 5 年間終了時点で見直しを行う。                                                                                                                                                                                                                 |
| 【生涯学習推進施策の体系】 | ○推進計画の基本方針<br>1. あらゆる年齢における学びあい<br>・乳幼児期における学習機会の充実／青少年期における学習機会の充実／成人期・高齢期における学習機会の充実／学校・家庭・地域の連携<br>2. 生涯学習の場と機会の提供<br>・生涯学習環境の整備／学習機会の提供／ふるさと意識の醸成<br>3. 自主的な学習活動への支援<br>・生涯学習の普及・啓発／人材の養成・活用・支援／団体・グループ・サークル等の充実／スポーツ・レクリエーション活動の推進<br>4. 生涯学習推進体制の充実<br>・生涯学習推進体制の整備／生涯学習推進計画の評価 |

■瑞穂町スポーツ・レクリエーション振興計画

| 項 目                | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の位置づけ】          | ○町の保健・福祉部門や学校教育部門、さらには企画・財政部門等と連携を図って町民の心身にわたる健康づくりを推進するための社会教育部門としての計画として位置づけるとされている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 【計画期間】             | ○平成20（2008）年度～平成29（2017）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 【計画の基本理念とキャッチフレーズ】 | ○瑞穂町のスポーツ・レクリエーション振興にあたっては、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、子育て中の人も働き盛りの人も、町民誰もが生涯を通じて身近な地域で、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの年齢や身体条件、興味、目的に応じたスポーツやレクリエーションを楽しむことができる健康スポーツ社会の実現を目指すとしている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 【計画の基本目標と成果指標】     | <p>○基本目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの体力向上や子育て世代・働き盛り世代・高齢者や障がいのある人など、各世代や身体条件等に即したスポーツ・レクリエーション活動プログラムの開発・提供と情報提供体制の充実を図る。</li> <li>・地域の日常的なスポーツ・レクリエーション活動の場として子どもから大人まで、また高齢者や障がいのある人を含め、全ての町民が参加できる「総合型地域スポーツクラブ」の設立を図る。</li> <li>・これらの活動を効果的に実施できるようスポーツ・レクリエーション施設・設備・用具の充実と町民ニーズに即した管理運営の充実を図る。</li> <li>・関係団体の自立促進に向けた支援の推進と指導者・ボランティア体制の充実を図る。</li> <li>・東京国体開催に向け計画的に準備を進め、平成25年の大会実施に万全を期す。</li> <li>・住民参画を進めたスポーツ・レクリエーション行政の推進を図る。</li> </ul> <p>○成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度までに、成人の週1回以上のスポーツ実施率を現在の実施率21%から50%に向上させる。</li> <li>・平成24年度までに総合型地域スポーツクラブを1つ以上設立する。</li> <li>・平成29年度までに、子どもの体力向上を図り、全ての体力テスト項目で全国平均以上を目指す。</li> </ul> |
| 【キャッチフレーズ】         | ○みんな元気 健康スポーツのまち みずほ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 【施策の展開】            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各世代等におけるスポーツ・レクリエーション活動の充実</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ等の育成・充実</li> <li>・スポーツ・レクリエーション施設の整備、管理運営、情報提供体制の充実</li> <li>・指導者・ボランティアの発掘と育成</li> <li>・関係団体・サークルの育成と自立促進支援</li> <li>・東京国体の開催と競技力向上対策の推進</li> <li>・住民参画行政の推進体制の整備と各種大会・交流事業等への支援</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## ⑧協働関連

### ■瑞穂町コミュニティ振興計画

住民一人ひとりが主役となったまちづくりを進め、各地域の主体的な活動を促進し、その活性化を図るとともに住民のコミュニティ意識の醸成を図ることを目的として、瑞穂町コミュニティ振興計画を策定した。

| 項 目           | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【目標・方針】       | ○住民、地域、各種団体、行政等がそれぞれの適性を生かした社会活動に取り組み、住民による住民のための地域づくりを目指し、協働社会における主役としての役割を地域コミュニティ自らが実現するため、最適な活動に取り組むことができる環境を整え、地域コミュニティ活動の活性化と、よりよい協働関係の構築に取り組み、協働のまちづくりを推進するとしている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 【計画の期間】       | ○平成21（2009）年度～平成30（2018）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 【構成団体の役割】     | ○地域を構成する団体は、地域社会型（学校区、町内会・自治会など）とテーマ型（サークル、ボランティア、NPO等）に分けられ、その団体の役割が示されている。<br>〈町内会・自治会〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達・意見集約・交流の役割</li> <li>・安全・安心を与える役割</li> <li>・災害時の役割</li> <li>・生活環境を美しく維持する役割</li> <li>・文化の保護・伝承の役割</li> </ul> 〈生涯学習推進団体〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きがいの提供</li> <li>・活力ある豊かな社会を築き上げるために</li> </ul> 〈社会貢献活動団体〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なニーズに応える社会サービスの提供</li> <li>・アドボカシー（行動を伴う政策提案）</li> <li>・個人と社会をつなぐ新しい組織・場の提供</li> <li>・自己実現や生きがいの場の提供</li> <li>・新しい「働く場」の提供</li> </ul> |
| 【コミュニティの振興施策】 | ○環境づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの位置づけの明確化、地域コミュニティのあり方の検討、分野コミュニティ等との連携の推進、連絡調整の場の充実、住民への意識啓発</li> </ul> ○活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動拠点の充実、地域活動の支援</li> </ul> ○協働関係の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割の認識、協働ルールの確立</li> </ul> ○まちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりへの協力、地域コミュニティ間の連携</li> </ul>                                                                                                                                                                        |

## ■瑞穂町における社会貢献活動団体との協働に関する指針

複雑多様化した地域の課題を解決し、豊かな地域社会を築いていくためには、社会貢献活動団体と行政との「協働」の構築が必要であり、互いが対等な関係に立ち、それぞれの特性を生かして問題に取り組んでいくため、町内における社会貢献活動団体の現状把握及び課題抽出を行い、目指すべき協働、支援のあり方について指針をまとめた。

| 項 目                             | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【計画の位置づけ】</b>                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                 | ○社会貢献活動団体と瑞穂町との協働に関して、町内における社会貢献活動団体の現状把握及び課題抽出を行い、目指すべき協働、支援のあり方について指針をまとめた。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <b>【協働の推進にあたっての基本的な考え方】</b>     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                 | ○協働事業の取り入れ方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働を進めるべき事業／協働を進めるにあたって検討する事項／協働の進め方</li> </ul> ○効果的かつ効率的な協働形態の選択 <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働の形態／協働における責任の明確化／新たな協働形態の検討／適切な協働相手の特定</li> </ul> ○協働に対する評価の実施                                                                                                                                                        |
| <b>【社会貢献活動団体と町との協働に向けた環境整備】</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                 | ○社会貢献活動団体への支援策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動資金の確保・充実／活動拠点の確保／人材の確保と活動の充実／起業誘導に向けて／支援を行う際の留意点</li> </ul> ○社会貢献活動についての理解と共感の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動情報の提供／社会貢献活動団体についてのPR／ボランティア体験の奨励／生涯学習の観点からの取り組み</li> </ul> ○瑞穂町における協働推進体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献活動団体の担当部署の設置検討／協働に関する職員の理解の促進／社会貢献活動団体との協働及び支援に関する条例の検討</li> </ul> |

## ■第5次瑞穂町男女共同参画社会推進行動計画

平成11年3月に「性別にとらわれない自分らしさ」、「女性の問題は、男性の問題でもある」という意識の醸成を基本方針として、主に職員の意識改革をテーマとした「第1次行動計画」を策定、平成14年3月には、町民との協働に重点を置いた「第2次行動計画」を、平成17年3月には、仕事と家庭の両立支援をテーマとした「第3次行動計画」を、平成22年3月には、男女が共につくる地域社会をめざしてをテーマとした「第4次行動計画」を策定した。「第5次行動計画」では、政府が成長戦略の柱として「女性の活躍推進」を掲げ政策が進められる中で、一人ひとりが性差にとらわれずその個性と能力を十分に発揮できる社会を目指し「第5次行動計画」を策定した。

| 項 目          | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【基本理念】       | ○男女が共につくる地域社会をめざして                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 【計画の性格】      | <p>○男女共同参画社会基本法第14条第3項の「市町村の区域における男女共同参画社会の形成の促進に関する施策についての基本的な計画を定める。</p> <p>○女性も男性も性別によって差別されることなく、それぞれの個性や能力を十分に発揮し、あらゆる分野に責任を持って参画する「男女共同参画社会」の実現を目指して、町の取り組むべき施策を具体的および計画的に示す。</p>                                                                                                                                                |
| 【計画の期間】      | ○平成27（2015）年度～平成31（2019）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 【基本目標及び計画内容】 | <p>I あらゆる分野への女性参画の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の活性化の鍵となる女性の活躍を促進していくために、町職員から率先して取り組み、モデルケースとなることを目指す。</li> <li>・地域に根付いた経済活動を行う企業・事業者での女性の活躍促進を図る。</li> </ul> <p>II 男女共同参画を形成する環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女問わずあらゆる年代の全ての人が、互いに多様性を認め、尊重し合い、安心していきいきと充実した人生を送ることができる環境づくりを進める。</li> </ul> |

## ⑨その他

### ■「水・緑と観光を繋ぐ回廊計画」～みずほきらめき回廊～

長期総合計画のまちづくりの基本目標である「魅力ある温かいみずほ」「快適で美しいみずほ」を達成するための基本的な道筋を示すもの。活力とにぎわいが創出された魅力ある地域社会を形成するとともに、町の財産である豊かな自然と魅力ある都市空間を調和させ、人々にやすらぎと潤いを与えられるようなまちが「わがまち」の10年後の目標として策定した。

| 項 目             | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画策定の目的】       | ○狭山池上流部やカタクリの群生地、狭山丘陵などの自然環境資源を結び付けることにより、回遊性を高め、観光の振興を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 【計画の背景】         | ○わがまちの自然と人々が育んできたさまざまな資源の魅力を存分に発揮できるよう連携を図る！<br>○目指す将来都市像により近づくために！<br>○協働型社会の形成を目指す！                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 【計画の期間】         | ○平成24（2012）年度～平成32（2020）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 【基本理念】          | ○水と緑の保全及び新たな人や物の交流を創出することに努める。<br>○まちに暮らす人々が自らのまちに誇りを感じながら、未来に引き継ぐことに努める。<br>○まちを訪れる人々がこのまちに愛着を持てるよう努める。                                                                                                                                                                                                                                      |
| 【回廊計画の構成】       | ○拠点整備<br>①狭山池上流部整備<br>・農と水辺の風景づくり／自然の営みを感じる空間づくり<br>②カタクリ群生地整備 ・緑の拠点・里山保全<br>③新郷土資料館整備 ・郷土の自然と文化の発信地<br>○ルート整備<br>上記の拠点や狭山丘陵等各地域の資源を結ぶルート整備 を推進し、回遊性のあるルート網の形成を目指します。<br>①歩きやすい道の整備<br>②回遊して楽しい道づくり                                                                                                                                           |
| 【主な整備内容及びソフト施策】 | ○拠点整備<br>狭山池上流部整備……ビオトープ、植栽ゾーン、農作物販売所、駐車場等の設置<br>カタクリ群生地整備…遊歩道、園内案内板、あずまや、ベンチ等の設置<br>新郷土資料館整備……耕心館事業と調和した施設整備<br>○ルート整備<br>町内の4ルート、町外への2ルート、サイクリングルート4ルートを設定<br>・サイン（案内標識、指示標識）の充実、強化／小休止のための緑陰空間、ベンチやトイレの設置／モニュメントの設置／ルートマップの作成、イベント類の創出<br>○ソフト施策<br>地元の農家への農業イベントの講師依頼／マップや冊子の作成／ホームページ、ブログ、ツイッターなどを活用した観光情報の発信／水と緑の回廊スタンプラリーやウォーキングラリーの開催 |

## ■瑞穂町地域情報化計画

平成 14 年 2 月に「瑞穂町地域情報化計画」を策定し、この計画に基づき、庁内ネットワークの構築、住民基本台帳ネットワークの整備、総合行政ネットワークの接続などの基盤整備を進め、庁内や自治体間のネットワーク整備はほぼ完了することができた。さらに、町民サービスの向上のための取り組みを重点的に進めるため、改定計画を策定した。

| 項 目           | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【計画の位置づけ】     | ○瑞穂町地域情報化計画は、瑞穂町第 3 次長期総合計画に基づき、地域情報化の分野についての基本方針を示すとともに、地域情報化に関する具体的な実施計画を含む総合計画であり、都市マスタープラン、住宅マスタープランと並び、分野別総合調整的性格を持つ計画（マスタープラン）として位置づけられている。                                                                                                                                            |
| 【計画の視点】       | ○地域情報化を推進するうえで、I T の特性を活かしつつ、子どもからお年寄りまで、だれもが情報化の恩恵を受けることができるよう、次の 2 つの点を基本的な視点に据えて計画的に地域の情報化を進めるとされている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者により便利なシステムの実現</li> <li>・情報バリアフリーの実現</li> </ul>                                                                                           |
| 【計画の期間】       | ○平成 17（2005）年度～平成 19（2007）年度                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 【地域情報化の目標】    | ○I T を活用して積極的に情報公開を進めるとともに、町民と行政、また、町民相互の対話手段（コミュニケーションツール）としての I T の活用により、町民の町政への参画と町民と行政の協働によるまちづくりの一翼を担い、3 つの目標をもって地域の情報化を総合的、計画的に推進することとしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と共生するまちづくりのための情報化</li> <li>・活力ある生活を支えるまちづくりのための情報化</li> <li>・自らを高め互いを認め合うまちづくりのための情報化</li> </ul> |
| 【地域情報化の具体的施策】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの充実</li> <li>・行政評価支援システム</li> <li>・統合型地理情報システム（G I S）</li> <li>・文書管理システム</li> <li>・公共施設予約システム</li> <li>・図書館蔵書予約システム</li> <li>・電子申請システム</li> <li>・電子調達システム</li> </ul>                                                                           |

## ■第2次瑞穂町国際化推進計画

平成18年4月に「世界に開かれたまちーみずほーの実現」を基本理念とした「第1次瑞穂町国際化推進計画」の策定につづき、町内の国際化にも目を向け「町内の国際化推進」「海外との国際交流の充実」「国際化を推進する体制の整備」という3つの基本目標を達成するために、国際化への対応や国際交流を含む総合的な国際化推進施策を体系的にまとめたもの。

| 項 目               | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【基本理念】            | ○人がつながるだれもが住みよいまちづくり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 【計画の期間】           | ○平成23（2011）年度～平成27（2015）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 【基本目標とその達成のための施策】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本目標Ⅰ 町内の国際化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在住外国人への支援の充実</li> <li>・在住外国人の居場所づくり</li> <li>・緊急時及び災害時の対応</li> <li>・在住外国人との交流</li> </ul> </li> <li>○基本目標Ⅱ 海外との国際交流の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市モーガンヒル市との交流促進</li> <li>・アジア所在都市との交流</li> <li>・横田基地との交流</li> <li>・外国人来訪者への対応</li> </ul> </li> <li>○基本目標Ⅲ 国際化を推進する体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化を推進する支援協力団体との連携</li> <li>・推進体制の整備</li> <li>・国際人の育成</li> <li>・職員の意識改革</li> </ul> </li> </ul> |

---

## 第 4 章 人口推計

---



## 1. 将来人口推計にあたり

### (1) 推計に当たっての留意点

本資料は、第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画（平成28年～平成32年）を策定するにあたり、人口フレームを検討するための資料として作成した。

ここでの推計は、現在までの人口動態を基礎にした「統計的な推計手法による算出値」であり、今後の人口に大きく関連する計画施策・事業による実施効果やプロジェクト効果などを見込んだ「政策的な設定値」ではないことに留意する必要がある。

### (2) 前回の推計結果

平成21年度に、現在の第4次瑞穂町長期総合計画の策定資料として将来人口推計を実施したが、その時点での推計結果は以下の通りである。

〔将来人口推計結果（最大値と最小値）〕 ※平成21（2009）年度実施

| 区 分        |    | 国勢調査             |                  | 計画開始年            | 計画中間年            | 計画目標年            |
|------------|----|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|            |    | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成23年<br>(2011年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) |
| 総人口<br>(人) | 最小 | 32,892           | 33,691           | 33,580           | 33,258           | 32,569           |
|            | 最大 |                  |                  | 34,299           | 34,420           | 34,159           |

### (3) 国立社会保障・人口問題研究所の推計値

平成25（2013）年12月25日に、国立社会保障・人口問題研究所は「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」をまとめた。この推計は、将来の人口を都道府県別・市区町村別に求めることを目的としたものであるが、この推計では、平成22（2010）年の国勢調査を基に、平成22（2010）年10月1日から平成52（2040）年10月1日までの30年間（5年ごと）について、男女年齢（5歳）階級別の将来人口を推計している。

従来は都道府県別、市区町村別の順にそれぞれ推計していたが、ここでは市区町村別の推計を行い、その結果を合計して都道府県別の人口を得ている。

なお、推計の対象とした自治体は、平成25（2013）年3月1日現在の1県（福島県）および1,799市区町村（東京23区（特別区）および12政令市の128区と、その他の764市、715町、169村）であるが、自治体別の推計値の合計は、「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位・死亡中位仮定）による推計値に合致している。

## 【①男女・年齢（５歳）階級別の推計結果】

(人)

|              | 実績値                 | 推計値                 |                     |                     |                     |                     |                     |
|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|              | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 37 年<br>(2025 年) | 平成 42 年<br>(2030 年) | 平成 47 年<br>(2035 年) | 平成 52 年<br>(2040 年) |
| 総数           | 33,497              | 32,920              | 32,072              | 30,934              | 29,583              | 28,115              | 26,565              |
| 0～4 歳        | 1,260               | 1,185               | 1,031               | 906                 | 860                 | 828                 | 766                 |
| 5～9 歳        | 1,599               | 1,296               | 1,207               | 1,051               | 924                 | 877                 | 844                 |
| 10～14 歳      | 1,794               | 1,600               | 1,296               | 1,207               | 1,052               | 925                 | 878                 |
| 15～19 歳      | 1,789               | 1,812               | 1,611               | 1,306               | 1,218               | 1,061               | 934                 |
| 20～24 歳      | 1,804               | 1,754               | 1,798               | 1,603               | 1,300               | 1,209               | 1,053               |
| 25～29 歳      | 1,779               | 1,668               | 1,679               | 1,722               | 1,535               | 1,245               | 1,158               |
| 30～34 歳      | 2,019               | 1,709               | 1,625               | 1,640               | 1,679               | 1,497               | 1,214               |
| 35～39 歳      | 2,628               | 2,021               | 1,709               | 1,625               | 1,640               | 1,679               | 1,497               |
| 40～44 歳      | 2,508               | 2,673               | 2,045               | 1,731               | 1,645               | 1,657               | 1,697               |
| 45～49 歳      | 2,072               | 2,462               | 2,629               | 2,014               | 1,706               | 1,621               | 1,633               |
| 50～54 歳      | 1,935               | 2,060               | 2,441               | 2,610               | 2,001               | 1,696               | 1,611               |
| 55～59 歳      | 2,363               | 1,866               | 1,998               | 2,367               | 2,533               | 1,943               | 1,647               |
| 60～64 歳      | 2,870               | 2,280               | 1,806               | 1,936               | 2,295               | 2,460               | 1,888               |
| 65～69 歳      | 2,300               | 2,758               | 2,189               | 1,739               | 1,867               | 2,213               | 2,377               |
| 70～74 歳      | 1,790               | 2,123               | 2,559               | 2,037               | 1,622               | 1,747               | 2,067               |
| 75～79 歳      | 1,285               | 1,591               | 1,894               | 2,301               | 1,838               | 1,470               | 1,588               |
| 80～84 歳      | 841                 | 1,029               | 1,288               | 1,550               | 1,908               | 1,529               | 1,231               |
| 85～89 歳      | 515                 | 600                 | 737                 | 934                 | 1,140               | 1,432               | 1,153               |
| 90 歳以上       | 344                 | 433                 | 530                 | 655                 | 820                 | 1,026               | 1,329               |
| (再掲) 0～14 歳  | 4,652               | 4,081               | 3,534               | 3,164               | 2,836               | 2,630               | 2,488               |
| (再掲) 15～64 歳 | 21,769              | 20,305              | 19,341              | 18,554              | 17,552              | 16,068              | 14,332              |
| (再掲) 65 歳以上  | 7,076               | 8,534               | 9,197               | 9,216               | 9,195               | 9,417               | 9,745               |
| (再掲) 75 歳以上  | 2,985               | 3,653               | 4,449               | 5,440               | 5,706               | 5,457               | 5,301               |

## 【②封鎖人口を仮定した男女・年齢（５歳）階級別の推計結果】

(人)

|              | 実績値                 | 推計値                 |                     |                     |                     |                     |                     |
|--------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|              | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 37 年<br>(2025 年) | 平成 42 年<br>(2030 年) | 平成 47 年<br>(2035 年) | 平成 52 年<br>(2040 年) |
| 総数           | 33,497              | 33,037              | 32,325              | 31,332              | 30,148              | 28,830              | 27,415              |
| 0～4 歳        | 1,260               | 1,206               | 1,062               | 947                 | 915                 | 889                 | 823                 |
| 5～9 歳        | 1,599               | 1,250               | 1,197               | 1,054               | 940                 | 909                 | 883                 |
| 10～14 歳      | 1,794               | 1,592               | 1,244               | 1,193               | 1,050               | 937                 | 906                 |
| 15～19 歳      | 1,789               | 1,794               | 1,593               | 1,247               | 1,196               | 1,052               | 939                 |
| 20～24 歳      | 1,804               | 1,799               | 1,819               | 1,618               | 1,268               | 1,217               | 1,071               |
| 25～29 歳      | 1,779               | 1,809               | 1,822               | 1,843               | 1,642               | 1,289               | 1,236               |
| 30～34 歳      | 2,019               | 1,773               | 1,811               | 1,826               | 1,847               | 1,646               | 1,292               |
| 35～39 歳      | 2,628               | 2,007               | 1,764               | 1,802               | 1,818               | 1,839               | 1,639               |
| 40～44 歳      | 2,508               | 2,608               | 1,992               | 1,752               | 1,790               | 1,806               | 1,828               |
| 45～49 歳      | 2,072               | 2,485               | 2,584               | 1,974               | 1,737               | 1,775               | 1,792               |
| 50～54 歳      | 1,935               | 2,043               | 2,450               | 2,550               | 1,949               | 1,715               | 1,754               |
| 55～59 歳      | 2,363               | 1,896               | 2,003               | 2,404               | 2,503               | 1,913               | 1,685               |
| 60～64 歳      | 2,870               | 2,292               | 1,840               | 1,948               | 2,339               | 2,441               | 1,866               |
| 65～69 歳      | 2,300               | 2,740               | 2,193               | 1,763               | 1,870               | 2,247               | 2,350               |
| 70～74 歳      | 1,790               | 2,127               | 2,550               | 2,044               | 1,648               | 1,753               | 2,106               |
| 75～79 歳      | 1,285               | 1,573               | 1,884               | 2,278               | 1,831               | 1,481               | 1,582               |
| 80～84 歳      | 841                 | 1,033               | 1,279               | 1,548               | 1,898               | 1,530               | 1,244               |
| 85～89 歳      | 515                 | 585                 | 727                 | 914                 | 1,125               | 1,407               | 1,140               |
| 90 歳以上       | 344                 | 425                 | 511                 | 627                 | 782                 | 984                 | 1,279               |
| (再掲) 0～14 歳  | 4,652               | 4,048               | 3,503               | 3,194               | 2,905               | 2,735               | 2,612               |
| (再掲) 15～64 歳 | 21,769              | 20,506              | 19,678              | 18,964              | 18,089              | 16,693              | 15,102              |
| (再掲) 65 歳以上  | 7,076               | 8,483               | 9,144               | 9,174               | 9,154               | 9,402               | 9,701               |
| (再掲) 75 歳以上  | 2,985               | 3,616               | 4,401               | 5,367               | 5,636               | 5,402               | 5,245               |

総人口について、平成 21 年度に実施した将来人口推計結果と、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を、平成 27（2015）年及び平成 32（2020）年で比較すると以下の通りである。

〔将来人口推計結果（最大値と最小値）及び国立社会保障・人口問題研究所推計結果〕（人）

| 区 分 |    | 国勢調査                |                     | 計画開始年               | 計画中間年               | 計画目標年               |
|-----|----|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|     |    | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 23 年<br>(2011 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) |
| 町推計 | 最小 | 33,691              | 33,497              | 33,580              | 33,258              | 32,569              |
|     | 最大 |                     |                     | 34,299              | 34,420              | 34,159              |
| 社人研 | ①  |                     |                     | —                   | 32,920              | 32,072              |
|     | ②  |                     |                     | —                   | 33,037              | 32,325              |

上記の通り、平成 27（2015）年及び平成 32（2020）年の推計結果をみると、国立社会保障・人口問題研究所の推計値は町推計値の最小を下回る結果となっている。

こうしたことを踏まえ、今回再度将来人口の推計を行うものである。

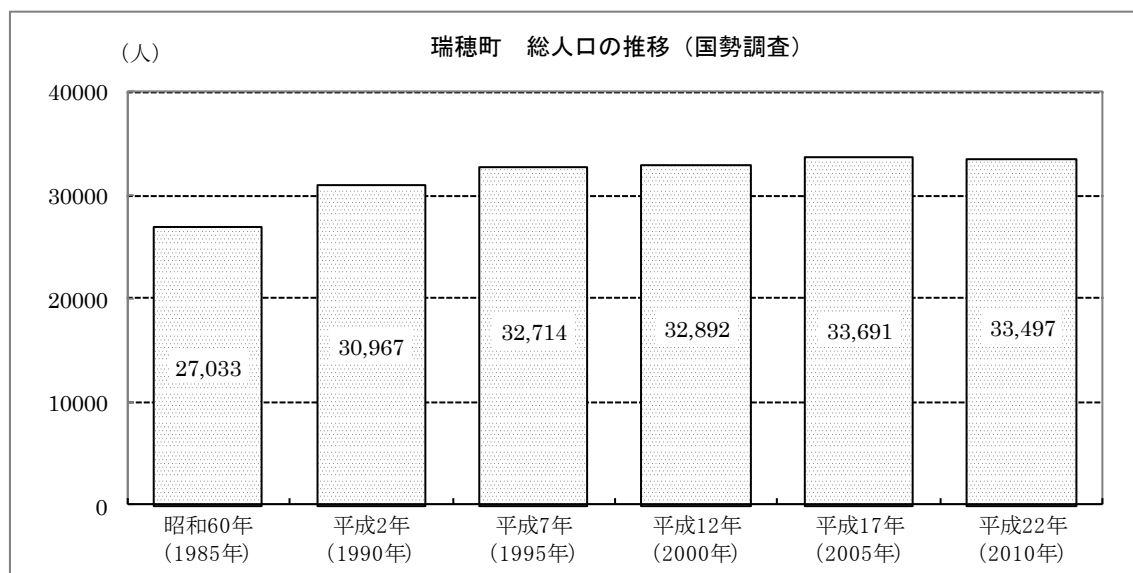
## 2. 人口の状況と推計内容

### (1) 瑞穂町の人口推移

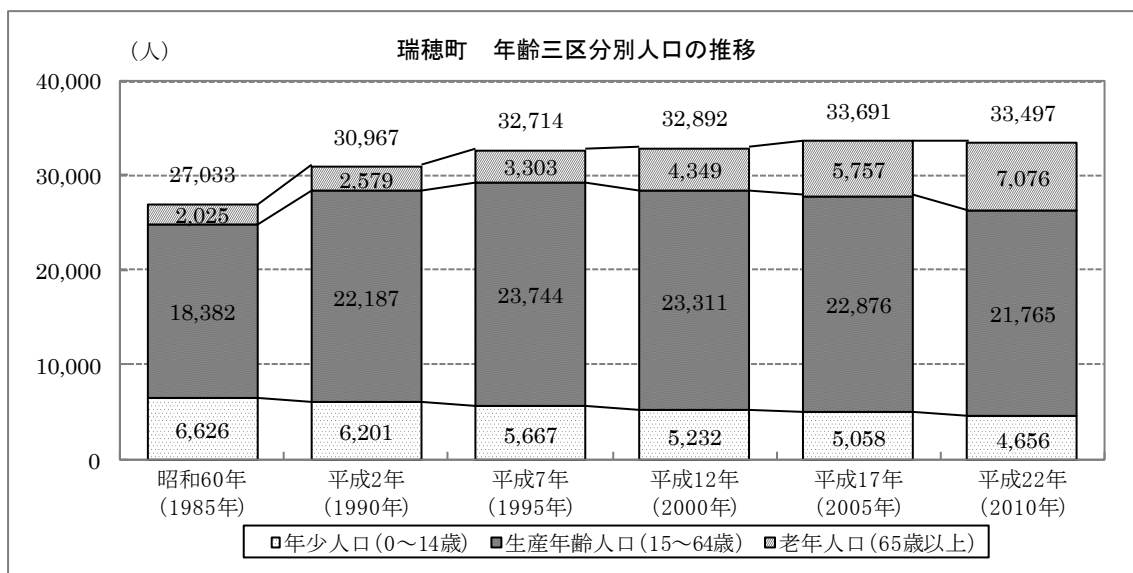
瑞穂町の昭和 60 年（1985 年）以降の人口を、国勢調査結果に基づきグラフに示すと以下の通りである。

平成 17 年まで一貫して人口は増加しているものの、平成 7 年以降は増加の度合いが鈍化し、平成 22 年には僅かであるが減少に転じている。

〔総人口の推移（国勢調査）〕



〔年齢三区分別人口の推移（国勢調査）〕



## (2) 人口推計の算出方法

### 【推計に用いた基礎データ（国勢調査実績値）】

＊平成 7 年（1995 年）、12 年（2000 年）、17 年（2005 年）、22 年（2010 年）の国勢調査（各年 10 月 1 日）による男女別 5 歳階級別人口

### 【人口推計の実施及び援用】

注）コーホート：同年または同期間に出生した集団のこと

#### ①センサス変化率法（コーホート移行率法）での算出

コーホートごとに 5 年間で次段階 5 歳階級に移行する率で推計します。人口変化の 3 変動要因ごとに分けて推計する方法で、移行率に変動要因が包含されていると仮定する。

$$\text{男女別・5 歳階級別移行率} = \frac{t \text{ 年} + 5 \text{ 年の次階級人口（例えば、H22 年男性の 20～24 歳人口）}}{t \text{ 年の前階級人口（例えば、H17 年男性の 15～19 歳人口）}}$$

注）H17 年の男性の 15～19 歳人口は、5 年後、H22 年には男性の 20～24 歳人口になる。

①— 1：最新移行率（H17 年～H22 年の移行率を使用）

①— 2：2 回平均移行率（H12 年～H17 年の移行率と H17 年～H22 年の移行率、の 2 つの移行率の平均を使用）

※本推計では、「初級階級である 0～4 歳人口の発生計数」として、

＊「子ども女性比」と「0～4 歳の性比」を当てはめて仮定値として採用した。

※「子ども女性比」：

＊ここでは子ども女性比における女性を 20 歳～34 歳とみなす。

＊「子ども女性比」を t 年の 0～4 歳の人口（男女計）を、同年の 20～34 歳女性人口で割った値とする。つまり、20～34 歳女性人口が初級階級である 0～4 歳の人口を生み出すものと仮定する。

※「0～4 歳の性比」：

＊0～4 歳の人口の性別をみるため、女子を 1.0 と指数化した場合の男子の指数（女子に対する男子の割合）を求め、性比とする。

#### ②国立社会保障・人口問題研究所がコーホート要因法で推計（平成 25 年 3 月）した結果の援用

コーホート要因法による推計は、国立社会保障・人口問題研究所から最近の平成 22 年国勢調査を基礎にして「日本の地域別将来人口（平成 25 年 3 月推計）」が発表されている。

コーホート要因法は、コーホートごとに 5 年間で次段階 5 歳階級に移行する人口変化の 3 変動要因（出生、死亡、移動）ごとに分けて変化率を仮定して推計する方法であり、公的に公開されている生残率等の仮定値を使用して推計している。このため、今回は重複する事を避けて、コーホート要因法については、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を採用した。

なお、推計に使用した仮定値である市町村別の将来の男女別・5 歳階級別の「生残率」と「純移動率」、そして初級階級発生計数となる「子ども女性比」、「0～4 歳性比」が公表されている。

【基礎データ（国勢調査）】

〔男女別5歳階級別人口の推移（年齢不詳人口調整済み）〕

(人)

| 男性     | 基本データ           |                  |                  |                  |
|--------|-----------------|------------------|------------------|------------------|
|        | 平成7年<br>(1995年) | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) |
| 0～4歳   | 870             | 807              | 791              | 662              |
| 5～9歳   | 950             | 902              | 887              | 830              |
| 10～14歳 | 1,147           | 942              | 925              | 884              |
| 15～19歳 | 1,213           | 1,166            | 952              | 929              |
| 20～24歳 | 1,460           | 1,178            | 1,119            | 938              |
| 25～29歳 | 1,412           | 1,396            | 1,111            | 971              |
| 30～34歳 | 1,126           | 1,306            | 1,339            | 1,080            |
| 35～39歳 | 1,063           | 1,046            | 1,302            | 1,340            |
| 40～44歳 | 1,334           | 1,010            | 1,059            | 1,357            |
| 45～49歳 | 1,625           | 1,271            | 988              | 1,060            |
| 50～54歳 | 1,290           | 1,536            | 1,252            | 1,002            |
| 55～59歳 | 1,076           | 1,221            | 1,499            | 1,195            |
| 60～64歳 | 817             | 1,026            | 1,229            | 1,456            |
| 65～69歳 | 573             | 761              | 1,016            | 1,173            |
| 70～74歳 | 363             | 499              | 711              | 906              |
| 75～79歳 | 233             | 286              | 442              | 611              |
| 80～84歳 | 134             | 183              | 229              | 330              |
| 85歳－   | 81              | 115              | 168              | 221              |
| 合 計    | 16,767          | 16,651           | 17,019           | 16,945           |

(人)

| 女性     | 基本データ           |                  |                  |                  |
|--------|-----------------|------------------|------------------|------------------|
|        | 平成7年<br>(1995年) | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) |
| 0～4歳   | 784             | 836              | 735              | 599              |
| 5～9歳   | 923             | 802              | 894              | 770              |
| 10～14歳 | 993             | 943              | 826              | 911              |
| 15～19歳 | 1,192           | 982              | 962              | 861              |
| 20～24歳 | 1,428           | 1,099            | 900              | 864              |
| 25～29歳 | 1,146           | 1,292            | 1,012            | 805              |
| 30～34歳 | 1,016           | 1,084            | 1,258            | 937              |
| 35～39歳 | 952             | 1,024            | 1,120            | 1,288            |
| 40～44歳 | 1,230           | 931              | 1,049            | 1,152            |
| 45～49歳 | 1,481           | 1,201            | 938              | 1,011            |
| 50～54歳 | 1,169           | 1,471            | 1,198            | 933              |
| 55～59歳 | 951             | 1,142            | 1,451            | 1,169            |
| 60～64歳 | 763             | 929              | 1,138            | 1,417            |
| 65～69歳 | 562             | 730              | 937              | 1,128            |
| 70～74歳 | 462             | 555              | 723              | 884              |
| 75～79歳 | 368             | 461              | 555              | 674              |
| 80～84歳 | 294             | 351              | 447              | 511              |
| 85歳－   | 233             | 408              | 529              | 638              |
| 合 計    | 15,947          | 16,241           | 16,672           | 16,552           |

(人)

|    |                 | 実績値             |                  |                  |                  |
|----|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|
|    |                 | 平成7年<br>(1995年) | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) |
| 男子 | 年少人口（0歳～14歳）    | 2,967           | 2,651            | 2,603            | 2,376            |
|    | 生産年齢人口（15歳～64歳） | 12,416          | 12,156           | 11,850           | 11,328           |
|    | 老年人口（65歳以上）     | 1,384           | 1,844            | 2,566            | 3,241            |
|    | 計               | 16,767          | 16,651           | 17,019           | 16,945           |
| 女子 | 年少人口（0歳～14歳）    | 2,700           | 2,581            | 2,455            | 2,280            |
|    | 生産年齢人口（15歳～64歳） | 11,328          | 11,155           | 11,026           | 10,437           |
|    | 老年人口（65歳以上）     | 1,919           | 2,505            | 3,191            | 3,835            |
|    | 計               | 15,947          | 16,241           | 16,672           | 16,552           |

|    |                 | 実績値             |                  |                  |                  |
|----|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|
|    |                 | 平成7年<br>(1995年) | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) |
| 総数 | 年少人口（0歳～14歳）    | 5,667           | 5,232            | 5,058            | 4,656            |
|    | 生産年齢人口（15歳～64歳） | 23,744          | 23,311           | 22,876           | 21,765           |
|    | 老年人口（65歳以上）     | 3,303           | 4,349            | 5,757            | 7,076            |
|    | 計               | 32,714          | 32,892           | 33,691           | 33,497           |

### 3. 将来人口の推計結果

#### (1) 総人口の推計

コーホート移行率法での算出、コーホート要因法での結果、計3種類の推計結果は、以下の通りである。

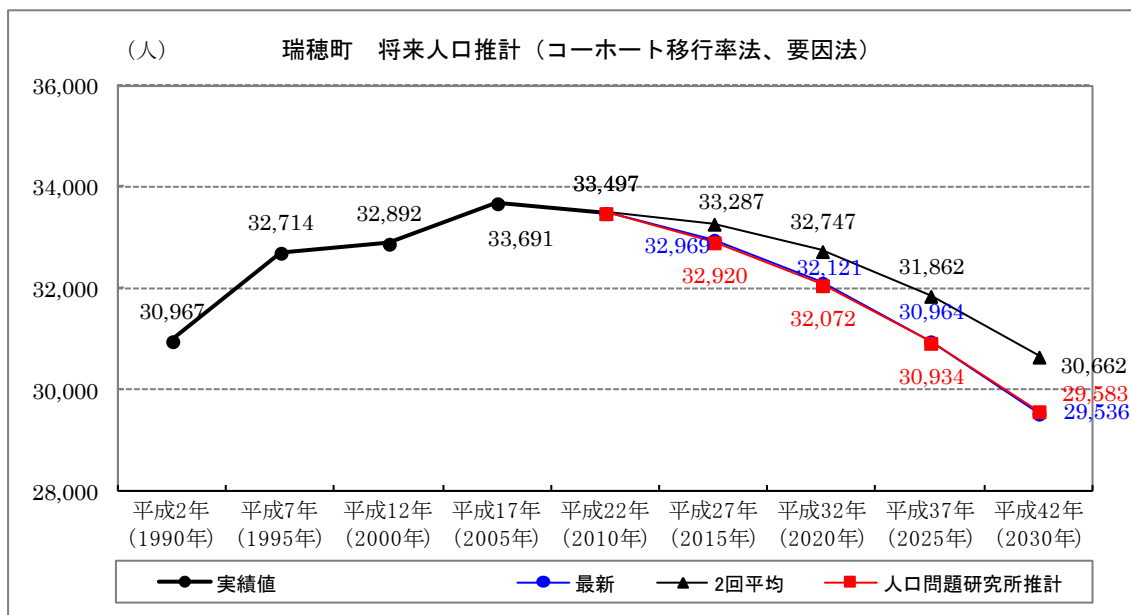
第4次瑞穂町長期総合計画期間（目標年度：平成32年）にあたる平成32年までの推計値の範囲でみると、移行率法〔2回平均移行率〕が推計最大値となり、コーホート要因法〔国立社会保障・人口問題研究所（以下、人口問題研究所）〕が推計最小値となった。

〔将来人口の推計結果（国勢調査年ベース）〕

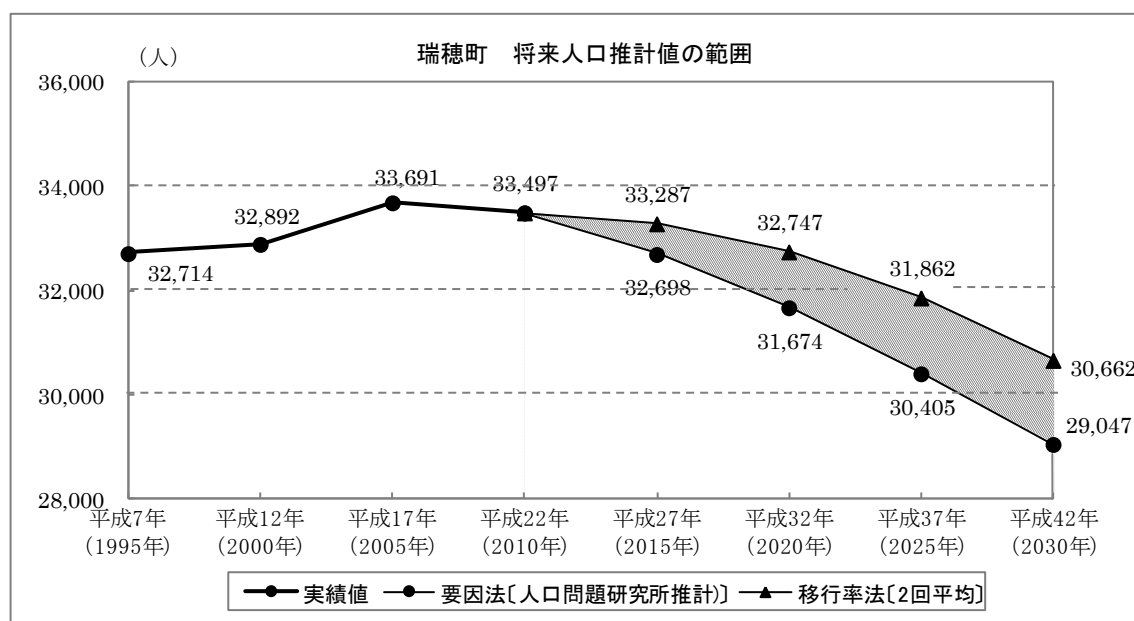
（人）

| 算出方法                 |    | 実績値              |                  | 推計値              |                  |                  |                  |
|----------------------|----|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|                      |    | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) | 平成42年<br>(2030年) |
| ①-1 移行率法<br>〔最新〕     |    | 33,691           | 33,497           | 32,969           | 32,121           | 30,964           | 29,536           |
| ①-2 移行率法<br>〔2回平均〕   | 最大 | 〃                | 〃                | 33,287           | 32,747           | 31,862           | 30,662           |
| ②-1 要因法<br>〔人口問題研究所〕 | 最小 | 〃                | 〃                | 32,920           | 32,072           | 30,934           | 29,583           |
| 最大と最小の差              |    | —                | —                | 367              | 675              | 928              | 1,079            |

〔将来人口の推計結果〕



〔将来人口の推計結果：最大と最小〕



#### 4. 年齢三区分別人口の推計結果

推計値の範囲とした、総人口の推計最大値（移行率法〔2回平均〕）と、推計最小値（要因法〔人口問題研究所〕）について、その年齢三区分別人口を見通す。

##### (1) 年齢三区分別人口の推計

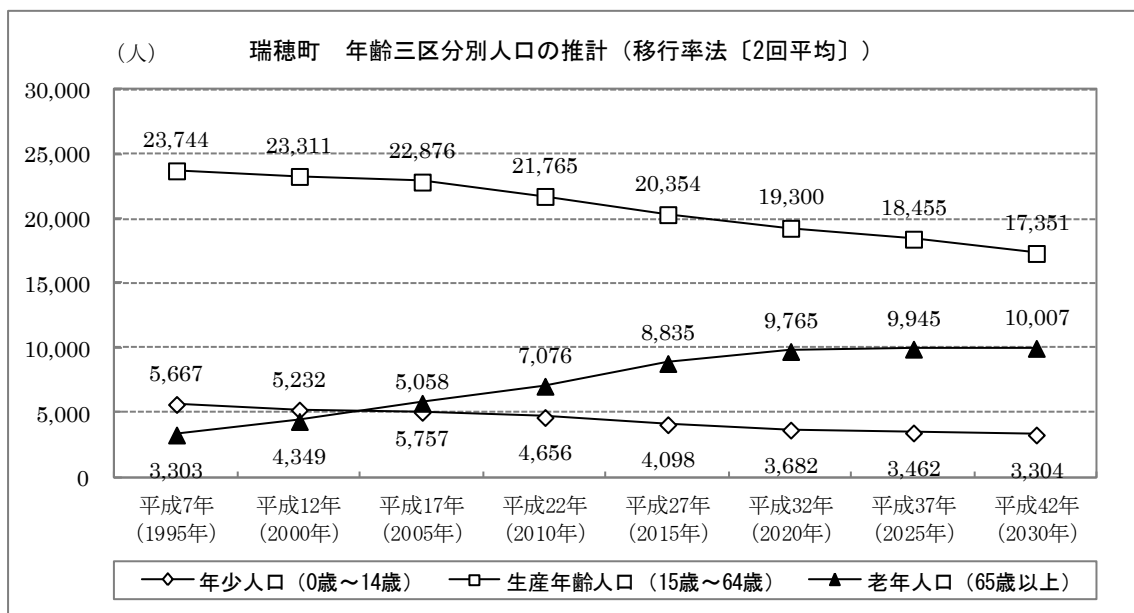
推計では、老年人口（65歳以上）は増加傾向、年少人口及び生産年齢人口は減少傾向となり、高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は、上昇し平成37年以降は30%台となる。

(人)

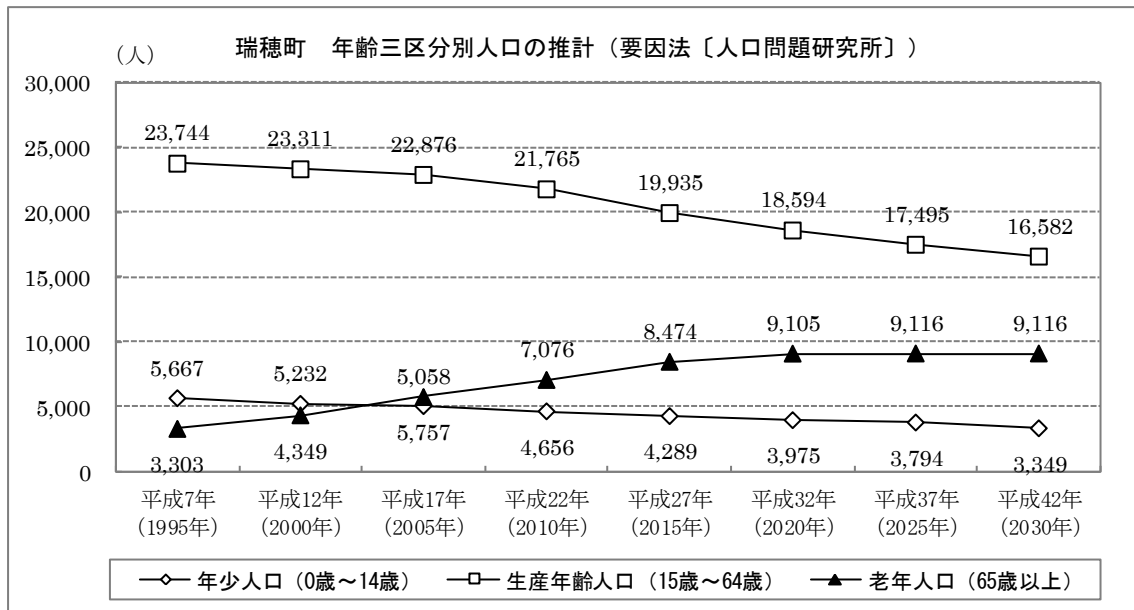
| 算出方法と区分        | 実績値              | 推計値              |                  |                  |                  |
|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|                | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) | 平成42年<br>(2030年) |
| 移行率法〔2回平均〕     | —                | (総人口の推計値最大)      |                  |                  |                  |
| 総人口            | 33,497           | 33,287           | 32,747           | 31,862           | 30,662           |
| 年少人口（0～14歳）    | 4,656            | 4,098            | 3,682            | 3,462            | 3,304            |
| 構成比（%）         | 13.9             | 12.3             | 11.2             | 10.9             | 10.8             |
| 生産年齢人口（15～64歳） | 21,765           | 20,354           | 19,300           | 18,455           | 17,351           |
| 構成比（%）         | 65.0             | 61.1             | 58.9             | 57.9             | 56.6             |
| 老年人口（65歳以上）    | 7,076            | 8,835            | 9,765            | 9,945            | 10,007           |
| 構成比（%）         | 21.1             | 26.5             | 29.8             | 31.2             | 32.6             |
| 要因法〔人口問題研究所〕   | —                | (総人口の推計値最小)      |                  |                  |                  |
| 総人口            | 33,497           | 32,698           | 31,674           | 30,405           | 29,047           |
| 年少人口（0～14歳）    | 4,656            | 4,289            | 3,975            | 3,794            | 3,349            |
| 構成比（%）         | 13.9             | 13.1             | 12.5             | 12.5             | 11.5             |
| 生産年齢人口（15～64歳） | 21,765           | 19,935           | 18,594           | 17,495           | 16,582           |
| 構成比（%）         | 65.0             | 61.0             | 58.7             | 57.5             | 57.1             |
| 老年人口（65歳以上）    | 7,076            | 8,474            | 9,105            | 9,116            | 9,116            |
| 構成比（%）         | 21.1             | 25.9             | 28.7             | 30.0             | 31.4             |

注）構成比は、小数点以下第2位で四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある。

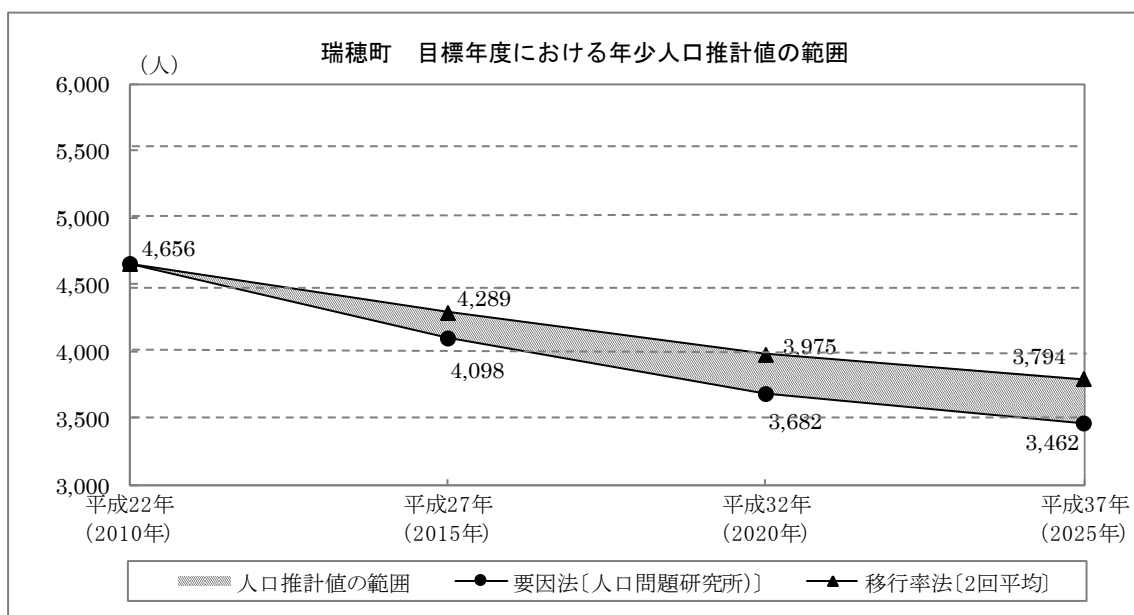
〔年齢三区分別人口の推計（移行率法〔2回平均〕、総人口推計値最大）～国勢調査年〕



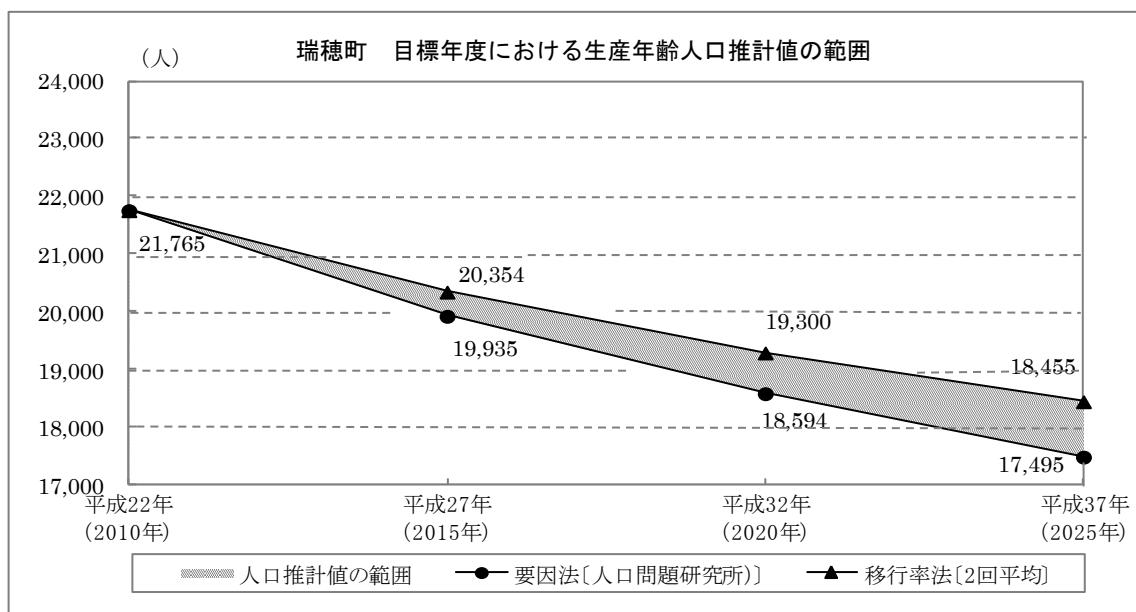
〔年齢三区分別人口の推計（要因法〔人口問題研究所〕、総人口推計値最小）～国勢調査年〕



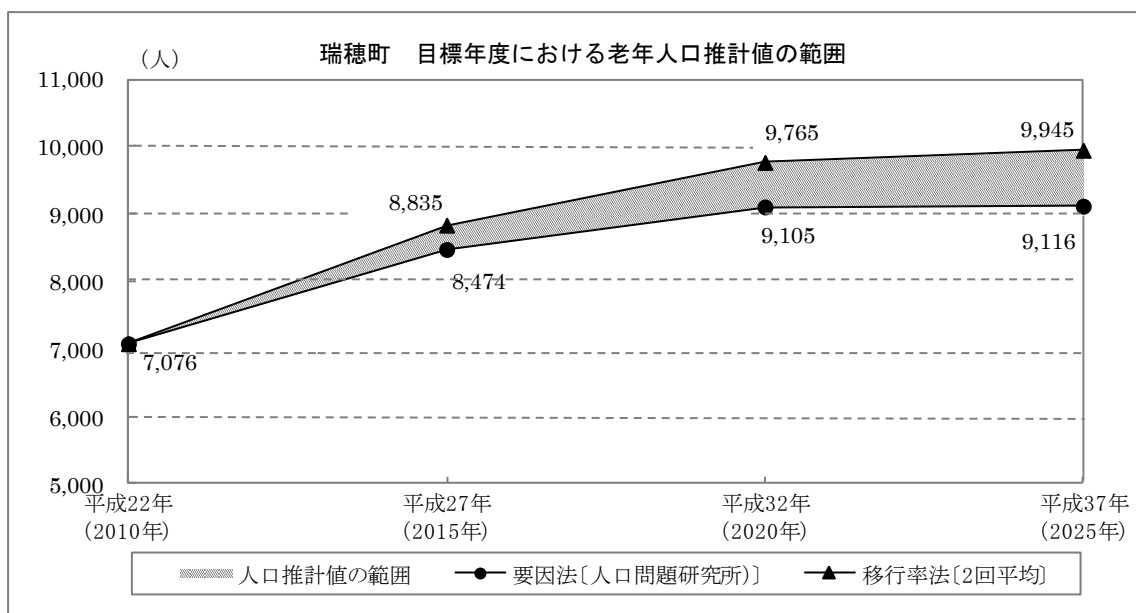
〔年齢三区分別人口の推計値（最大～最小）の範囲：年少人口〕



〔年齢三区分別人口の推計値（最大～最小）の範囲：生産年齢人口〕



〔年齢三区分別人口の推計値（最大～最小）の範囲：老年人口〕



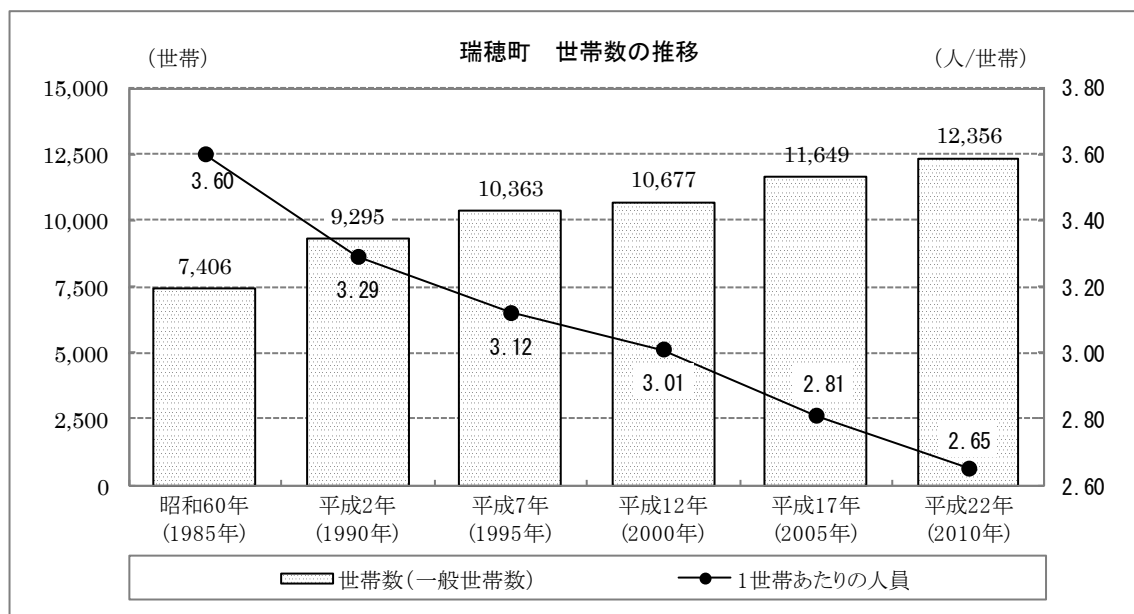
## 5. 世帯数の推計

### (1) 世帯数の推移

人口が停滞する中で、世帯数は増加傾向にあり、1世帯当りの人員は減少が続いている。

なお、総合計画における人口フレームにおける世帯数推計では、一般世帯数、その1世帯当たり人員を基礎データとする。

#### ①世帯総数・1世帯当たり人員の推移



| 区 分         | 昭和 60 年<br>(1985 年) | 平成 2 年<br>(1990 年) | 平成 7 年<br>(1995 年) | 平成 12 年<br>(2000 年) | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) |
|-------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 世帯数 (一般世帯数) | 7, 406              | 9, 295             | 10, 363            | 10, 677             | 11, 649             | 12, 356             |
| 世帯人員        | 26, 683             | 30, 573            | 32, 293            | 32, 127             | 32, 701             | 32, 721             |
| 1 世帯あたりの人員  | 3. 60               | 3. 29              | 3. 12              | 3. 01               | 2. 81               | 2. 65               |

資料：国勢調査

(2) 1世帯あたり人員の推計

回帰分析による予測を採用し、回帰式（「1次式」、「べき乗（累乗）式」）を用いて1世帯当たりの人員の推計を行ない、これを基にして世帯数を推計することとする。

まず、国勢調査における、平成2年（1990年）以降のデータを使用し、平成23年（2011年）～平成37年（2025年）の一般世帯の1世帯あたり人員数を推計する。

|                     | 一般世帯数  | 人／世帯 | 使用データA<br>H2～H22 |        | 使用データB<br>H7～H22 |        | 使用データC<br>H12～H22 |               | 使用データD<br>H17～H22 |        |
|---------------------|--------|------|------------------|--------|------------------|--------|-------------------|---------------|-------------------|--------|
|                     | (実績)   | (実績) | ①1次式             | ②べき乗式  | ①1次式             | ②べき乗式  | ①1次式              | ②べき乗式         | ①1次式              | ②べき乗式  |
| 平成2年                | 9,295  | 3.29 | 3.30             | 3.37   | —                | —      | —                 | —             | —                 | —      |
| 平成7年                | 10,363 | 3.12 | 3.14             | 3.01   | 3.14             | 3.17   | —                 | —             | —                 | —      |
| 平成12年               | 10,677 | 3.01 | 2.98             | 2.89   | 2.98             | 2.88   | 3.00              | 3.02          | —                 | —      |
| 平成17年               | 11,649 | 2.81 | 2.82             | 2.83   | 2.82             | 2.79   | 2.82              | 2.76          | 2.81              | 2.81   |
| 平成22年               | 12,356 | 2.65 | 2.66             | 2.78   | 2.66             | 2.74   | 2.64              | 2.68          | 2.65              | 2.65   |
| 平成23年               | —      | —    | 2.63             | 2.77   | 2.62             | 2.73   | 2.61              | 2.67          | 2.62              | 2.64   |
| 平成24年               | —      | —    | 2.60             | 2.76   | 2.59             | 2.72   | 2.57              | 2.66          | 2.59              | 2.62   |
| 平成25年               | —      | —    | 2.57             | 2.76   | 2.56             | 2.71   | 2.54              | 2.65          | 2.55              | 2.61   |
| 平成26年               | —      | —    | 2.54             | 2.75   | 2.53             | 2.70   | 2.50              | 2.64          | 2.52              | 2.60   |
| 平成27年               | —      | —    | 2.51             | 2.74   | 2.50             | 2.70   | 2.46              | 2.63          | 2.49              | 2.60   |
| 平成28年               | —      | —    | 2.47             | 2.74   | 2.46             | 2.69   | 2.43              | 2.62          | 2.46              | 2.59   |
| 平成29年               | —      | —    | 2.44             | 2.73   | 2.43             | 2.68   | 2.39              | 2.62          | 2.43              | 2.58   |
| 平成30年               | —      | —    | 2.41             | 2.72   | 2.40             | 2.68   | 2.36              | 2.61          | 2.39              | 2.58   |
| 平成31年               | —      | —    | 2.38             | 2.72   | 2.37             | 2.67   | 2.32              | 2.60          | 2.36              | 2.57   |
| 平成32年               | —      | —    | 2.35             | 2.71   | 2.33             | 2.67   | 2.28              | 2.60          | 2.33              | 2.56   |
| 平成33年               |        |      | 2.31             | 2.71   | 2.30             | 2.66   | 2.25              | 2.59          | 2.30              | 2.56   |
| 平成34年               |        |      | 2.28             | 2.70   | 2.27             | 2.66   | 2.21              | 2.58          | 2.27              | 2.55   |
| 平成35年               |        |      | 2.25             | 2.70   | 2.24             | 2.65   | 2.18              | 2.58          | 2.23              | 2.55   |
| 平成36年               |        |      | 2.22             | 2.69   | 2.21             | 2.65   | 2.14              | 2.57          | 2.20              | 2.55   |
| 平成37年               |        |      | 2.19             | 2.69   | 2.17             | 2.64   | 2.10              | 2.57          | 2.17              | 2.54   |
| 決定係数 R <sup>2</sup> |        |      | 0.9941           | 0.8040 | 0.9888           | 0.7979 | 0.9959            | <b>0.9471</b> | 1.0000            | 1.0000 |

| 使用データ                                | 推計方法 | 決定係数 R <sup>2</sup> | 計算式                       |
|--------------------------------------|------|---------------------|---------------------------|
| A 平成2年（1990年）<br>～平成22年（2010年）の世帯人員  | 1次式  | 0.9941              | $y = -0.0318 X + 3.33258$ |
|                                      | べき乗式 | 0.8040              | $y = 3.3666 X^{(-0.063)}$ |
| B 平成7年（1995年）<br>～平成22年（2010年）の世帯人員  | 1次式  | 0.9888              | $y = -0.0322 X + 3.1712$  |
|                                      | べき乗式 | 0.7979              | $y = 3.1701 X^{(-0.053)}$ |
| C 平成12年（2000年）<br>～平成22年（2010年）の世帯人員 | 1次式  | 0.9959              | $y = -0.036 X + 3.0393$   |
|                                      | べき乗式 | <b>0.9471</b>       | $y = 3.0224 X^{(-0.05)}$  |
| D 平成17年（2005年）<br>～平成22年（2010年）の世帯人員 | 1次式  | 1.0000              | $y = -0.032 X + 2.842$    |
|                                      | べき乗式 | 1.0000              | $y = 2.81 X^{(-0.033)}$   |

※決定係数 R<sup>2</sup>：式による推計値と実績データとの「当てはまり」の程度を表す。1に近いほど「当てはまりが良い」という意味である。

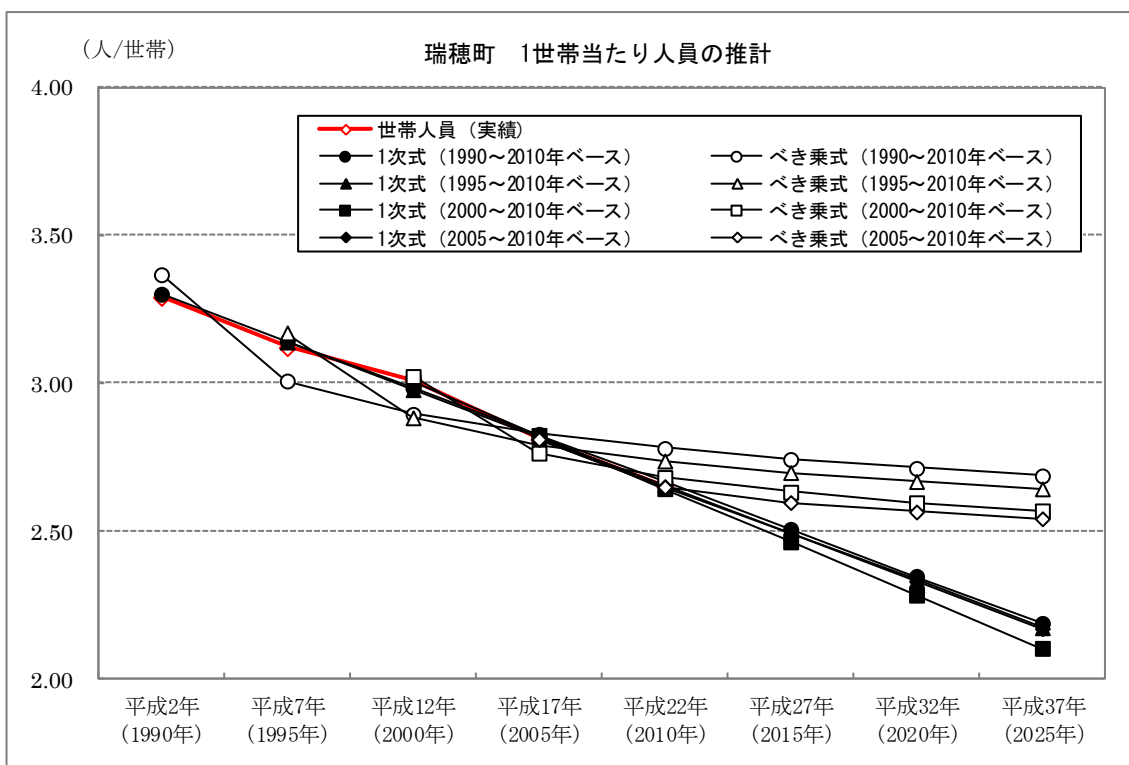
## 【世帯人員推計式採用の考え方】

前記の回帰式（「1次式」、「べき乗（累乗）式」）計8つの推計式の結果をグラフ化すると以下の通りである。

推計式のうち平成17年（2005年）から平成22年（2010年）のデータを使用した1次式とべき乗式は、決定係数が1.0と最も高く、当てはまりが良いと言えるが、平成17年から平成22年の短期間の傾向が長期に渡って継続されることは考えにくいと言える。

次いで、各年度間における1次式は決定係数が比較的高くなっているが、1世帯当たりの人員が1次式のようにコンスタントに低下することは考えにくく、低下が穏やかになると考える方が自然である。

平成2年（1990年）から平成22年（2010年）、平成7年（1995年）から平成22年（2010年）、平成12年（2000年）から平成22年（2010年）の各データを使用した「べき乗式」のうち、決定係数が最も高いのは、平成12年（2000年）から平成22年（2010年）のデータを使用した「べき乗式」（決定係数 0.9471）であり、本式を採用することとする。ただし、本式による平成22年（2010年）の推計値と実績値の間に差が生じていることから、この差分を補正して用いることとする。



|                 | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|                 | 実績値              |                  |                  | 推計値 (採用・補正值)     |                  |                  |
| 1世帯当たり人員 (人/世帯) | 3.01             | 2.81             | 2.65             | 2.60             | 2.56             | 2.54             |

注) 推計値 (採用・補正值) は、採用した「べき乗式」による推計値に補正を加えている。

### (3) 1世帯あたり人員の推計に基づく世帯数の推計

平成12年（2000年）から平成22年（2010年）のデータを使用した「べき乗式」（決定係数0.9471）の結果に基づく推計値と、総人口推計における推計値最小（要因法〔人口問題研究所〕）と推計値最大（移行率法〔最新〕）のそれぞれの人口推計結果から、世帯数（一般世帯）の推計値を導くこととする。

なお、世帯は「一般世帯」と「その他（施設等）世帯」に分けられているが、総合計画における世帯数及び1世帯あたり人員数は一般世帯数を対象とする。

その他（施設等）世帯人口は高齢化の進行に合わせ増加していくものと想定されるが、社会的要因にも左右されることから、平成22年における776人を各年度においてスライドするものとする。

※その他（施設等）世帯：寮や寄宿舎に住む学生と生徒、病院や療養所の入院者、老人ホームや児童保護施設、自衛隊営舎の居住者、そのほか定まった住居を持たない世帯等を意味する。

#### ①世帯数・世帯人員の推計（総人口推計値《最小》の場合）

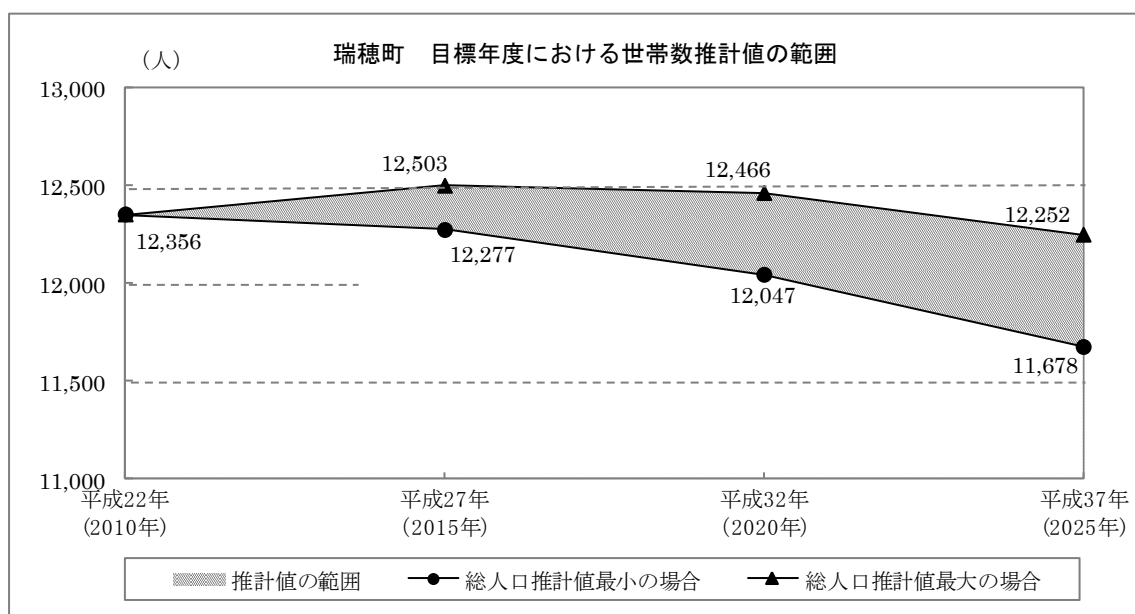
|             | 実績値              | 推計値              |                  |                  |
|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|             | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) |
| 総人口推計値（人） a | 33,497           | 32,698           | 31,674           | 30,405           |
| 一般世帯数（世帯）   | 12,356           | 12,277           | 12,047           | 11,678           |
| 1世帯あたり人員（人） | 2.65             | 2.60             | 2.56             | 2.54             |
| 一般世帯人口（人） b | 32,721           | 31,922           | 30,898           | 29,629           |
| その他世帯人口 a-b | 776              | 776              | 776              | 776              |

#### ②世帯数・世帯人員の推計（総人口推計値《最大》の場合）

|             | 実績値              | 推計値              |                  |                  |
|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|             | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) |
| 総人口推計値（人） a | 33,497           | 33,287           | 32,747           | 31,862           |
| 一般世帯数（世帯）   | 12,356           | 12,503           | 12,466           | 12,252           |
| 1世帯あたり人員（人） | 2.65             | 2.60             | 2.56             | 2.54             |
| 一般世帯人口（人） b | 32,721           | 32,511           | 31,971           | 31,086           |
| その他世帯人口 a-b | 776              | 776              | 776              | 776              |

#### (4) 世帯数の最大値と最小値

〔世帯数の推計値（最大～最小）の範囲〕



## 6. 就業人口の推計

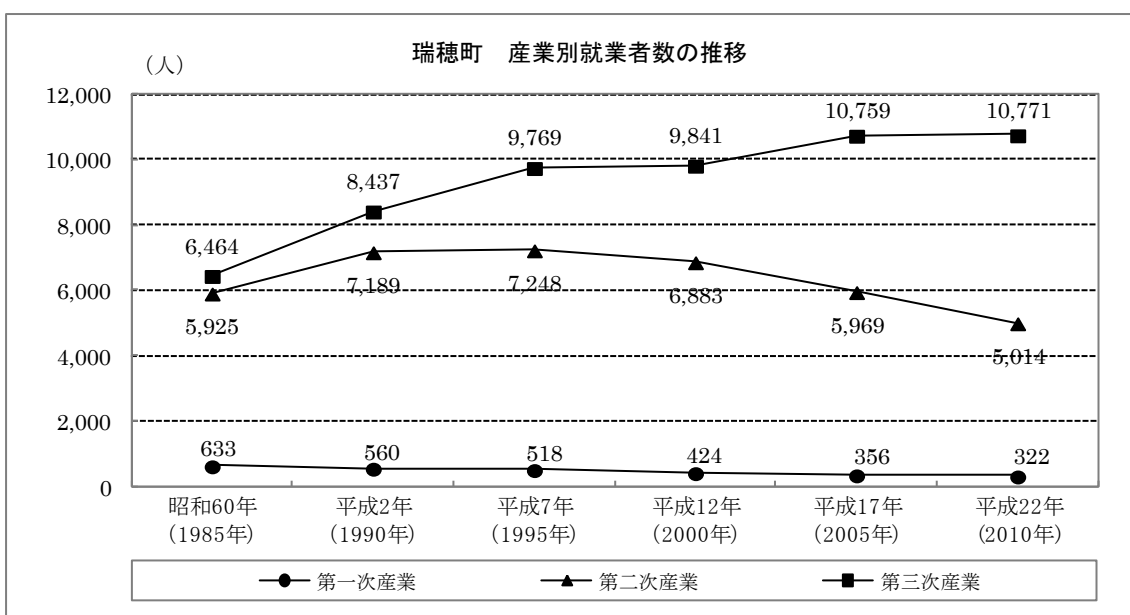
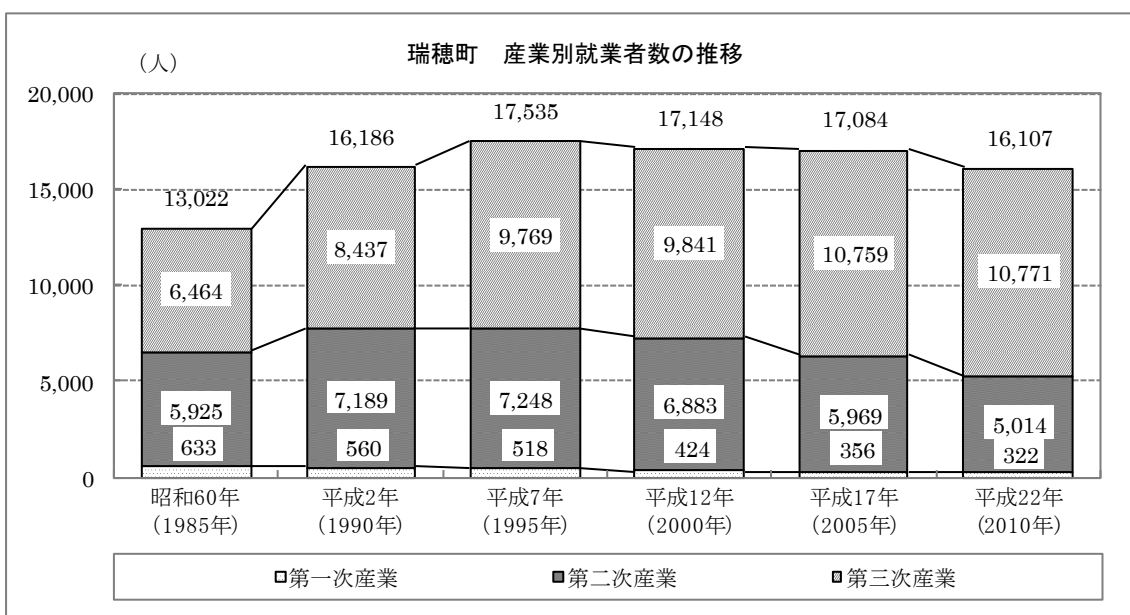
### (1) 就業者数の推移

人口の高齢化等に伴い、就業者数は平成7年をピークに減少しており、平成22年国勢調査では就業者数16,107人（常住地域ベース：瑞穂町に住んでいる人で就業している人）となっている。

産業別では、第1次産業が322人（構成比2.0%）、第2次産業が5,014人（31.1%）、第3次産業が10,771人（66.9%）となっている。

第2次産業の比率低下、第3次産業の比率拡大が目立ち、第1次産業は減少傾向がみえる。  
※第3次産業には分類不能を含む。

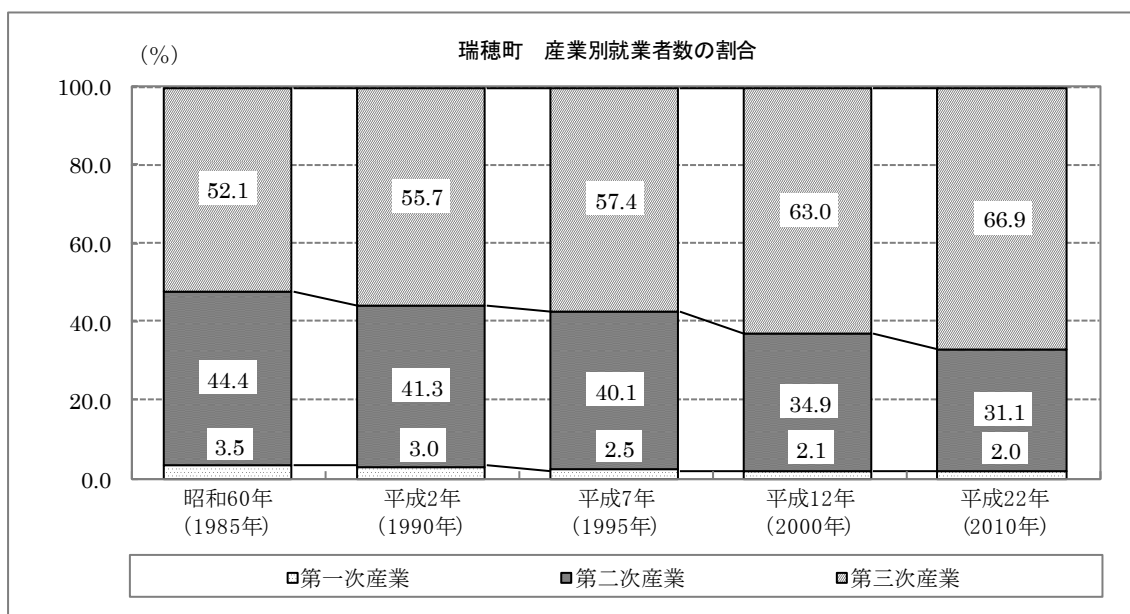
〔産業別就業者数の推移〕



注) 第3次産業に分類不能の産業を含む

資料：国勢調査

〔産業別就業者割合の推移〕



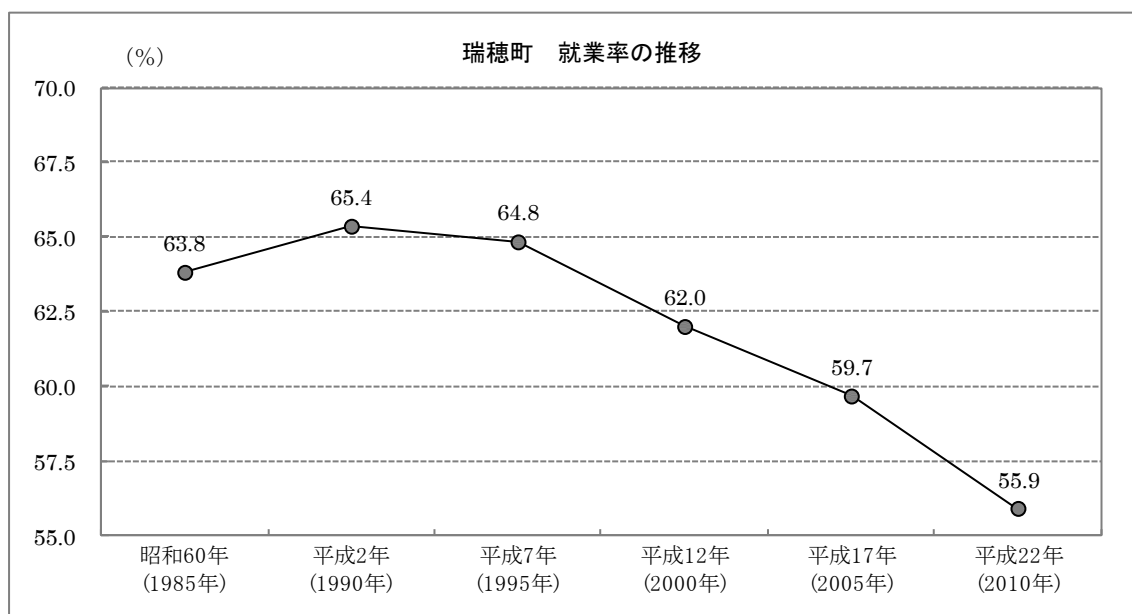
## (2) 就業率の推移からの推計

15 歳以上人口に対する就業率（就業者総数／15 歳以上人口）の推移は以下の通りである。

|              | 昭和 60 年<br>(1985 年) | 平成 2 年<br>(1990 年) | 平成 7 年<br>(1995 年) | 平成 12 年<br>(2000 年) | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) |
|--------------|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 就業者総数 (人)    | 13,022              | 16,186             | 17,535             | 17,148              | 17,084              | 16,107              |
| 15 歳以上人口 (人) | 20,407              | 24,766             | 27,047             | 27,660              | 28,633              | 28,841              |
| 就業率 (%)      | 63.8                | 65.4               | 64.8               | 62.0                | 59.7                | 55.9                |

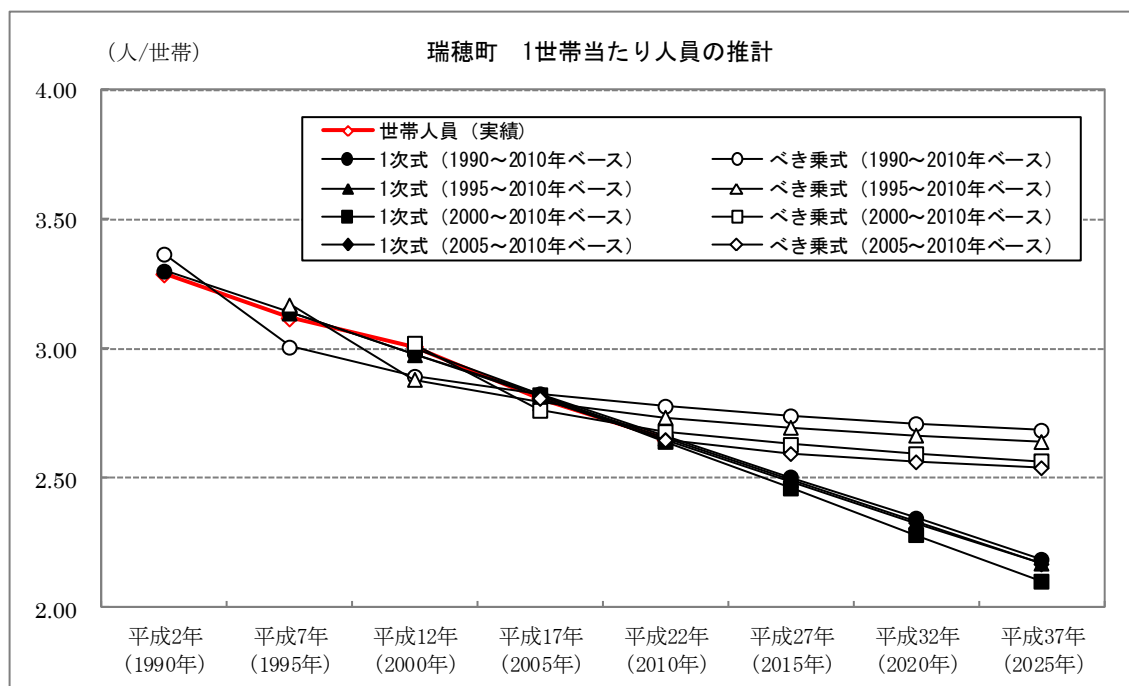
※15 歳以上人口は、按分した年齢不詳人口を加えたものである。

〔産業別就業者割合の推移〕



## 【世帯人員推計式採用の考え方】

前記の回帰式（「1 次式」、「べき乗（累乗）式」）計 8 つの推計式の結果をグラフ化すると以下の通りである。



# 【就業率の推計】

回帰分析による予測を採用し、回帰式（「1次式」、「べき乗（累乗）式」）を用いて就業率（対15歳以上人口）の推計を行ない、これを基にして就業者数を推計することとする。

まず、国勢調査における、平成2年（1990年）以降のデータを使用し、平成23年（2011年）～平成37年（2025年）の就業率を推計する。

|                     | 就業者数   | 就業率  | 使用データA<br>H2～H22 |        | 使用データB<br>H7～H22 |        | 使用データC<br>H12～H22 |               | 使用データD<br>H17～H22 |        |
|---------------------|--------|------|------------------|--------|------------------|--------|-------------------|---------------|-------------------|--------|
|                     | (実績)   | (実績) | ①1次式             | ②べき乗式  | ①1次式             | ②べき乗式  | ①1次式              | ②べき乗式         | ①1次式              | ②べき乗式  |
| 平成2年                | 16,186 | 65.4 | 66.4             | 67.0   | —                | —      | —                 | —             | —                 | —      |
| 平成7年                | 17,535 | 64.8 | 64.0             | 62.0   | 65.0             | 65.6   | —                 | —             | —                 | —      |
| 平成12年               | 17,148 | 62.0 | 61.5             | 60.4   | 62.1             | 60.4   | 62.2              | 62.4          | —                 | —      |
| 平成17年               | 17,084 | 59.7 | 59.1             | 59.4   | 59.1             | 58.7   | 59.2              | 58.3          | 59.7              | 59.7   |
| 平成22年               | 16,107 | 55.9 | 56.7             | 58.7   | 56.2             | 57.7   | 56.1              | 56.9          | 55.9              | 55.9   |
| 平成23年               | —      | —    | 56.3             | 58.6   | 55.6             | 57.6   | 55.5              | 56.8          | 55.1              | 55.6   |
| 平成24年               | —      | —    | 55.8             | 58.5   | 55.1             | 57.4   | 54.9              | 56.6          | 54.4              | 55.4   |
| 平成25年               | —      | —    | 55.3             | 58.4   | 54.5             | 57.3   | 54.3              | 56.4          | 53.6              | 55.1   |
| 平成26年               | —      | —    | 54.8             | 58.3   | 53.9             | 57.1   | 53.7              | 56.3          | 52.9              | 54.9   |
| 平成27年               | —      | —    | 54.3             | 58.2   | 53.3             | 57.0   | 53.1              | 56.1          | 52.1              | 54.7   |
| 平成28年               | —      | —    | 53.8             | 58.1   | 52.7             | 56.9   | 52.5              | 56.0          | 51.4              | 54.6   |
| 平成29年               | —      | —    | 53.4             | 58.0   | 52.2             | 56.8   | 51.9              | 55.9          | 50.6              | 54.4   |
| 平成30年               | —      | —    | 52.9             | 57.9   | 51.6             | 56.7   | 51.3              | 55.8          | 49.9              | 54.3   |
| 平成31年               | —      | —    | 52.4             | 57.8   | 51.0             | 56.6   | 50.7              | 55.7          | 49.1              | 54.1   |
| 平成32年               | —      | —    | 51.9             | 57.8   | 50.4             | 56.5   | 50.0              | 55.6          | 48.4              | 54.0   |
| 平成33年               |        |      | 51.4             | 57.7   | 49.8             | 56.4   | 49.4              | 55.5          | 47.6              | 53.9   |
| 平成34年               |        |      | 51.0             | 57.6   | 49.2             | 56.3   | 48.8              | 55.4          | 46.9              | 53.8   |
| 平成35年               |        |      | 50.5             | 57.5   | 48.7             | 56.2   | 48.2              | 55.3          | 46.1              | 53.7   |
| 平成36年               |        |      | 50.0             | 57.5   | 48.1             | 56.1   | 47.6              | 55.2          | 45.4              | 53.6   |
| 平成37年               |        |      | 49.5             | 57.4   | 47.5             | 56.0   | 47.0              | 55.1          | 44.6              | 53.5   |
| 決定係数 R <sup>2</sup> |        |      | 0.9515           | 0.6533 | 0.9906           | 0.8223 | 0.9819            | <b>0.8286</b> | 1.0000            | 1.0000 |

| 使用データ                               | 推計方法 | 決定係数 R <sup>2</sup> | 計算式                       |
|-------------------------------------|------|---------------------|---------------------------|
| A 平成2年（1990年）<br>～平成22年（2010年）の就業率  | 1次式  | 0.9515              | $y = -0.4816X + 66.847$   |
|                                     | べき乗式 | 0.6533              | $y = 66.955 X^{(-0.043)}$ |
| B 平成7年（1995年）<br>～平成22年（2010年）の就業率  | 1次式  | 0.9906              | $y = -0.5825 X + 65.549$  |
|                                     | べき乗式 | 0.8223              | $y = 65.591 X^{(-0.046)}$ |
| C 平成12年（2000年）<br>～平成22年（2010年）の就業率 | 1次式  | 0.9819              | $y = -0.6096 X + 62.844$  |
|                                     | べき乗式 | <b>0.8286</b>       | $y = 62.374 X^{(-0.038)}$ |
| D 平成17年（2005年）<br>～平成22年（2010年）の就業率 | 1次式  | 1.0000              | $y = -0.7531 X + 60.419$  |
|                                     | べき乗式 | 1.0000              | $y = 59.665 X^{(-0.036)}$ |

※決定係数 R<sup>2</sup>：式による推計値と実績データとの「当てはまり」の程度を表す。1に近いほど「当てはまりが良い」という意味である。

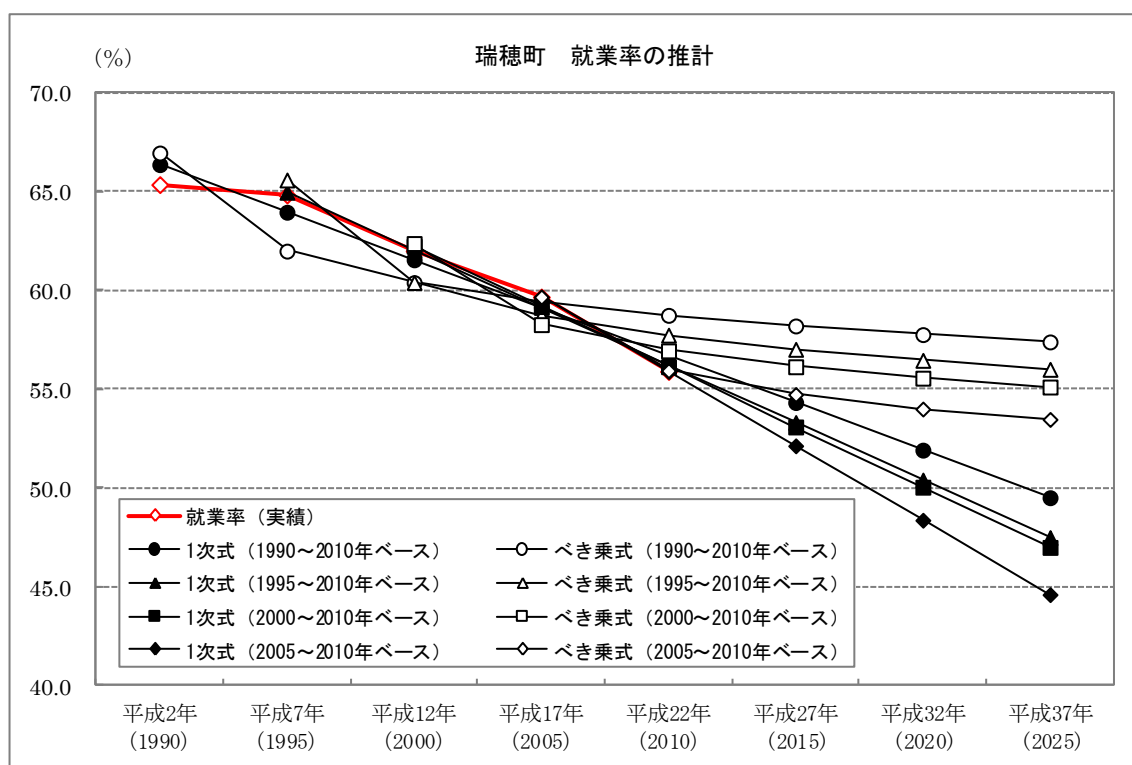
## 【就業率推計式採用の考え方】

前記の回帰式（「1次式」、「べき乗（累乗）式」）計8つの推計式の結果をグラフ化すると以下の通りである。

推計式のうち平成17年（2005年）から平成22年（2010年）のデータを使用した1次式とべき乗式は、決定係数が1.0と最も高く、当てはまりが良いと言えるが、平成17年（2005年）から平成22年（2010年）の短期間の傾向が長期に渡って継続されることは考えにくいと言える。

次いで、各年度間における1次式は決定係数が比較的高くなっているが、1次式のようにコンスタントに就業率が低下する傾向よりも、将来の景気の復調傾向や高齢者の就業機会の増大等を見込むならば、就業率の低下が穏やかになると考える方が自然である。

平成2年（1990年）から平成22年（2010年）、平成7年（1995年）から平成22年（2010年）、平成12年（2000年）から平成22年（2010年）のデータを使用した「べき乗式」のうち、決定係数が最も高いのは平成12年（2000年）から平成22年（2010年）のデータを使用した「べき乗式」（決定係数0.8286）であり、本式を採用することとする。ただし、本式による平成22年（2010年）の推計値と実績値の間に差が生じていることから、この差分を補正して用いることとする。



|               | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|               | 実績値              |                  |                  | 推計値（採用・補正值）      |                  |                  |
| 15歳以上人口就業率（%） | 62.0             | 59.7             | 55.9             | 55.1             | 54.5             | 54.1             |

注）推計値（採用・補正值）は、採用した「べき乗式」による推計値に補正を加えている。

### (3) 就業者数の推計

前記の採用・補正した就業率の推計値を総人口推計における推計値最小（コーホート要因法〔人口問題研究所〕）と推計値最大（コーホート移行率法〔2回平均〕）における、それぞれの15歳以上人口の推計結果にかけて就業者数を求める。

#### ①就業者数の推計（総人口推計値《最小》の場合）

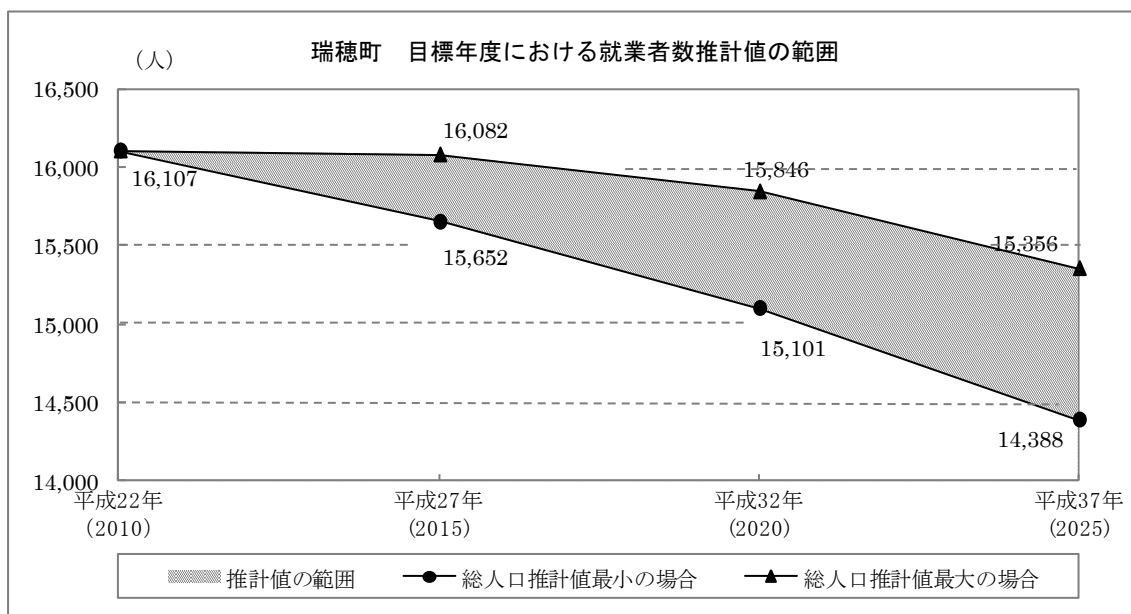
|            | 実績値              |                  |                  | 推計値              |                  |                  |
|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|            | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) |
| 15歳以上人口（人） | 27,660           | 28,633           | 28,841           | 28,409           | 27,699           | 26,611           |
| 就業率（％）     | 62.0             | 59.7             | 55.9             | 55.1             | 54.5             | 54.1             |
| 就業者数（人）    | 17,148           | 17,084           | 16,122           | 15,652           | 15,101           | 14,388           |

#### ②就業者数の推計（総人口推計値《最大》の場合）

|            | 実績値              |                  |                  | 推計値              |                  |                  |
|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|            | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) |
| 15歳以上人口（人） | 27,660           | 28,633           | 28,841           | 29,189           | 29,065           | 28,400           |
| 就業率（％）     | 62.0             | 59.7             | 55.9             | 55.1             | 54.5             | 54.1             |
| 就業者数（人）    | 17,148           | 17,084           | 16,122           | 16,082           | 15,846           | 15,356           |

### (4) 就業者数の最大値と最小値

〔就業者数推計値の範囲〕



## (5) 産業別就業者割合の推計

### 【産業別就業者割合の推計】

就業者総数推計における就業率の推計と同様に、回帰分析による予測を採用し、回帰式（「1次式」、「べき乗（累乗）式」）を用いて、産業別（第1次産業・第2次産業・第3次産業）の就業者割合の推計を行ない、これを基にして産業別の就業者数を推計することとする。

国勢調査における平成2年（1990年）以降の産業別就業者割合のデータを使用し、平成27年、平成32年、平成37年の第1次産業の割合と第3次産業の割合を推計する。

なお、第2次産業については平成12年から平成22年における就業者数の比較的顕著な減少や就業者割合の下降がみられるが、広域的な就労環境を含め、今後も長きにわたって急激な減少が継続するかどうかという見通しが困難な状況にある。そのため、第1次産業と第3次産業の推計値を合計（100%）から引いた値を第2次産業と考えることとした。

注）就業者総数や産業別就業者数は、国勢調査によるデータを使用している。国勢調査における就業状況の調査は、各産業別の統計調査とは就業者の基準が異なることを留意しておく必要がある。

### 【産業別就業者割合推計式採用の考え方】

第1次産業就業者割合を1次式で推計した場合、平成37年には1.8%へ落ち込む結果となっている。超高齢化が進行するなかでは継続的な低下も考えられるが、瑞穂町においては平成12年（2000年）以降、漸減傾向となっている。そのため本推計では、あえて穏やかな下降をたどるものとした。

なお、本式による平成22年（2010年）の推計値と実績値の間に差が生じていることから、この差分を補正して用いることとする。

第3次産業割合については一貫して上昇する傾向が続き、平成22年実績では66.9%の割合に達しており、1次式で推計した場合、平成37年には69.5%と推計される。瑞穂町においては、総人口の減少が推計され、これに伴い15歳以上人口に占める就業率の低下、そして就業者総数の減少が推計されている。

このような中なかで、広域的な就労環境も含め、今後も顕著なサービス産業化（第3次産業就業への高い依存）のみが進展するとは考えにくい。

そのため、第3次産業就業割合の上昇が穏やかになる式として、平成7年（1995年）から平成22年（2010年）の15年間データを使用した「べき乗式」（決定係数0.7616）を採用することとした。

この場合、実績と推計値の「当てはまり」の程度を表す決定係数は1次式（0.9649）と比べて高くはないが、穏やかな上昇をたどる推計値を採用した。なお、本式による平成22年（2010年）の推計値と実績値の間に差が生じていることから、この差分を補正して用いることとする。

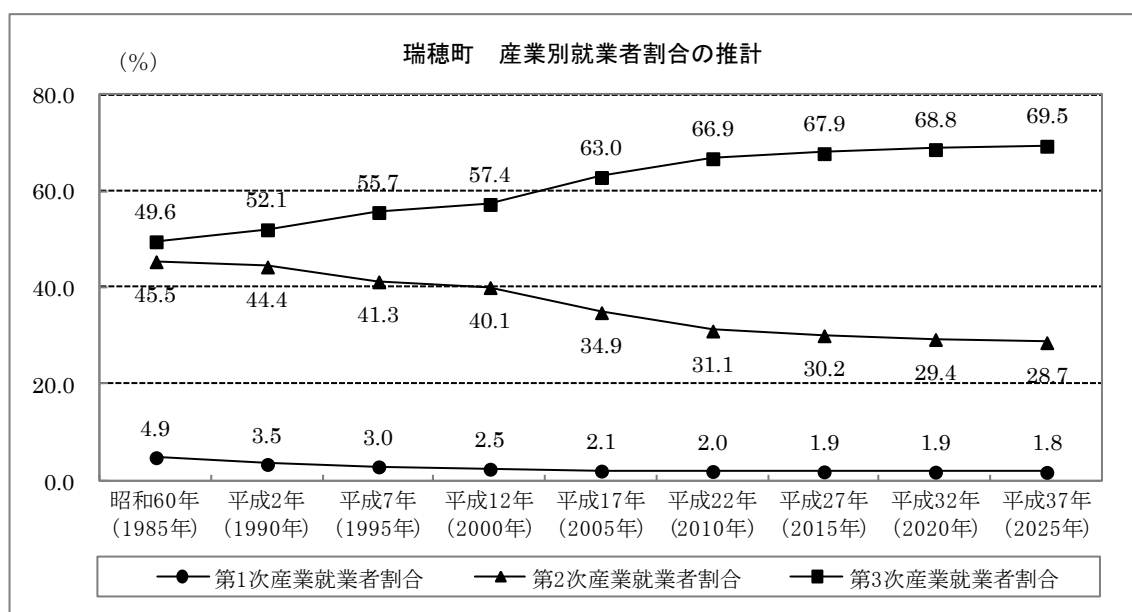
# 【産業別就業者割合の推計まとめ】

|              |    | 第1次産業<br>就業者割合<br>(%) | 第2次産業<br>就業者割合<br>(%) | 第3次産業<br>就業者割合<br>(%) | 合計 (%) |
|--------------|----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 昭和60年(1985年) | 実績 | 4.9                   | 45.5                  | 49.6                  | 100.0  |
| 平成2年(1990年)  |    | 3.5                   | 44.4                  | 52.1                  | 100.0  |
| 平成7年(1995年)  |    | 3.0                   | 41.3                  | 55.7                  | 100.0  |
| 平成12年(2000年) |    | 2.5                   | 40.1                  | 57.4                  | 100.0  |
| 平成17年(2005年) |    | 2.1                   | 34.9                  | 63.0                  | 100.0  |
| 平成22年(2010年) |    | 2.0                   | 31.1                  | 66.9                  | 100.0  |
| 平成27年(2015年) | 推計 | 1.9                   | 30.2                  | 67.9                  | 100.0  |
| 平成32年(2020年) |    | 1.9                   | 29.4                  | 68.8                  | 100.0  |
| 平成37年(2025年) |    | 1.8                   | 28.7                  | 69.5                  | 100.0  |

注) 平成7年(1995年)から平成22年(2010年)の産業別就業者割合の実績データから回帰式を算出し、就業者割合を推計した。

第1次産業は、穏やかな低下を想定する。第3次産業も穏やかな上昇を想定する。第2次産業は、第1次と第3次の設定割合から導いた結果、穏やかな低下を想定する。

## 〔産業別就業者割合の推移〕



(6) 産業別就業者数の推計

就業者数総数の推計結果に、前項の各産業別就業者割合の推計を乗じ、各産業別就業者数を求める。

① 産業別就業者数の推計（総人口推計値《最小》の場合）

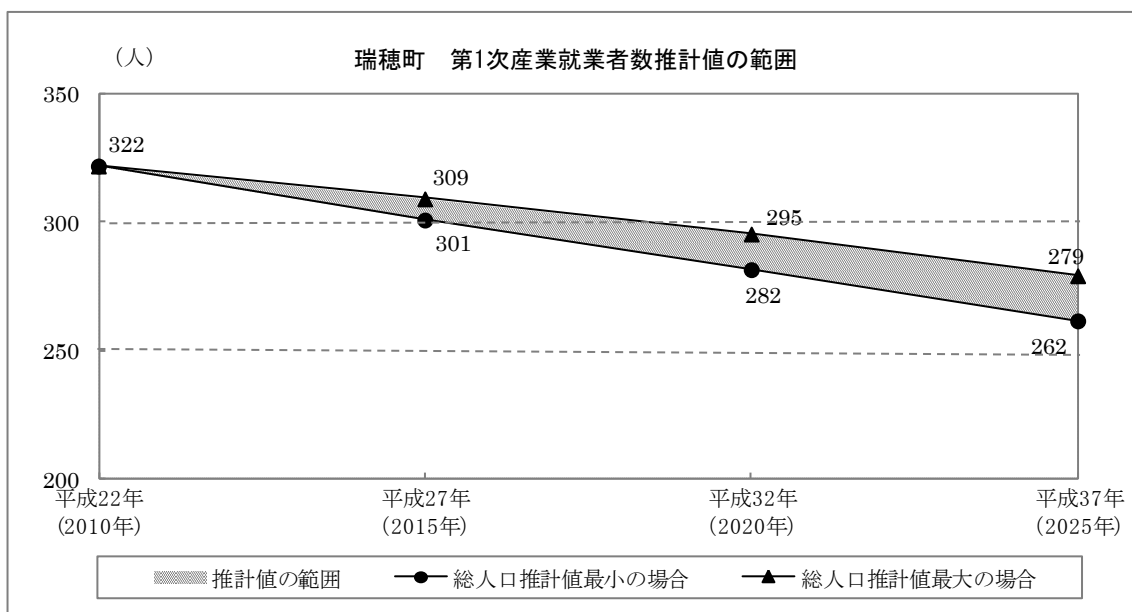
|               | 実績値              |                  |                  | 推計値              |                  |                  |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|               | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成37年<br>(2025年) |
| 就 業 者 総 数 (人) | 17,148           | 17,084           | 16,107           | 15,652           | 15,101           | 14,388           |
|               |                  |                  |                  |                  |                  |                  |
| 第1次産業割合 (%)   | 2.5              | 2.1              | 2.0              | 1.9              | 1.9              | 1.8              |
| 第2次産業割合 (%)   | 40.1             | 34.9             | 31.1             | 30.2             | 29.4             | 28.7             |
| 第3次産業割合 (%)   | 57.4             | 63.0             | 66.9             | 67.9             | 68.8             | 69.5             |
|               |                  |                  |                  |                  |                  |                  |
| 第1次産業就業者(人)   | 424              | 356              | 322              | 301              | 282              | 262              |
| 第2次産業就業者(人)   | 6,883            | 5,969            | 5,014            | 4,719            | 4,435            | 4,132            |
| 第3次産業就業者(人)   | 9,841            | 10,759           | 10,771           | 10,632           | 10,384           | 9,995            |

② 産業別就業者数の推計（総人口推計値《最大》の場合）

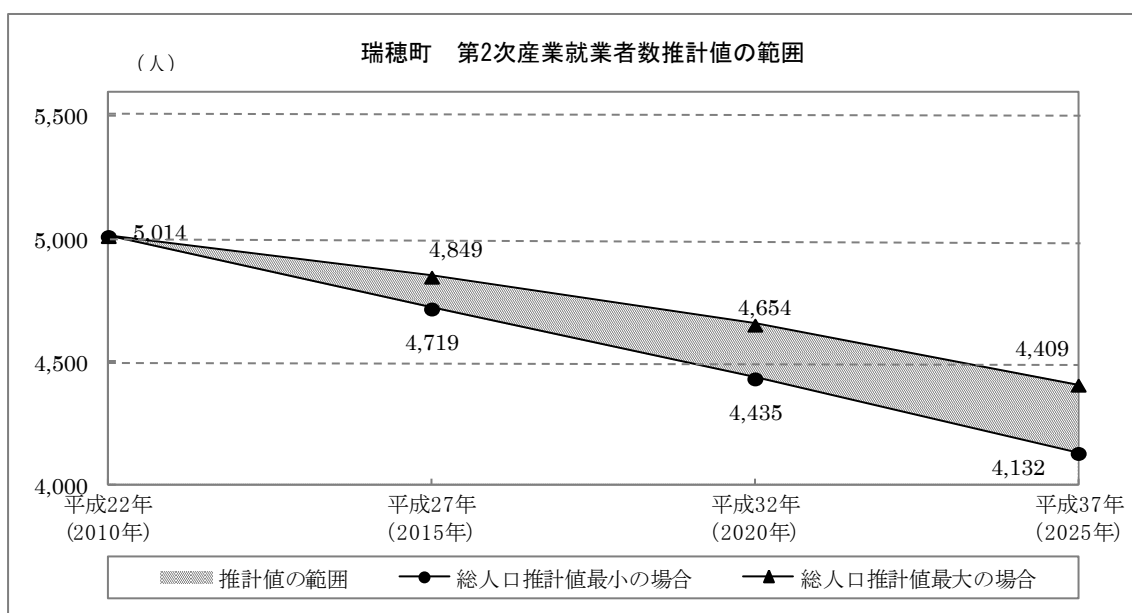
|               | 実績値              |                  |                  | 計画開始年            | 計画中間年            | 計画目標年            |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
|               | 平成12年<br>(2000年) | 平成17年<br>(2005年) | 平成22年<br>(2010年) | 平成27年<br>(2015年) | 平成32年<br>(2020年) | 平成36年<br>(2024年) |
| 就 業 者 総 数 (人) | 17,148           | 17,084           | 16,107           | 16,082           | 15,846           | 15,356           |
|               |                  |                  |                  |                  |                  |                  |
| 第1次産業割合 (%)   | 2.5              | 2.1              | 2.0              | 1.9              | 1.9              | 1.8              |
| 第2次産業割合 (%)   | 40.1             | 34.9             | 31.1             | 30.2             | 29.4             | 28.7             |
| 第3次産業割合 (%)   | 57.4             | 63.0             | 66.9             | 67.9             | 68.8             | 69.5             |
|               |                  |                  |                  |                  |                  |                  |
| 第1次産業就業者(人)   | 424              | 356              | 322              | 309              | 295              | 279              |
| 第2次産業就業者(人)   | 6,883            | 5,969            | 5,014            | 4,849            | 4,654            | 4,409            |
| 第3次産業就業者(人)   | 9,841            | 10,759           | 10,771           | 10,924           | 10,896           | 10,667           |

(7) 産業別就業者数の最大値と最小値

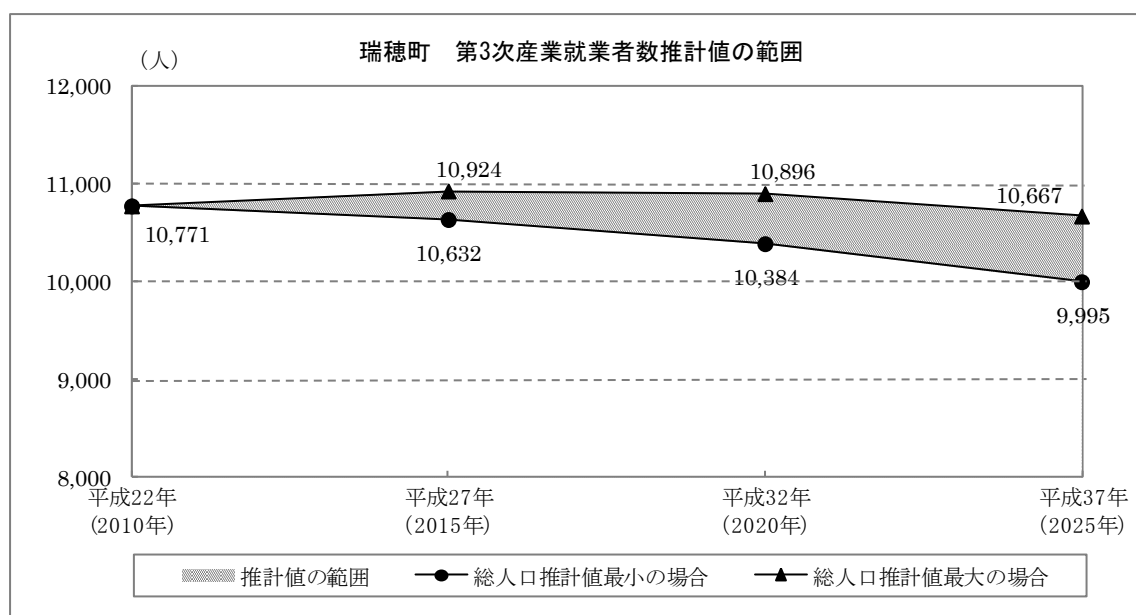
〔産業別就業者数の推計値（最大～最小）の範囲：第1次産業〕



〔産業別就業者数の推計値（最大～最小）の範囲：第2次産業〕



〔産業別就業者数の推計値（最大～最小）の範囲：第3次産業〕



## 7. 将来人口推計の全体まとめ

将来人口推計値の全体まとめは、次の通りである。

| 区 分 |        | 国勢調査実績              |                     | 計画開始年               | 計画目標年               | 参考                  |
|-----|--------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|     |        | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 37 年<br>(2025 年) |
| 総人口 | 推計《最小》 | 33,691 人            | 33,497 人            | 32,698 人            | 31,674 人            | 30,405 人            |
|     | 推計《最大》 |                     |                     | 33,287 人            | 32,747 人            | 31,862 人            |

注) 推計最小：コーホート要因法（国立社会保障・人口問題研究所・平成 25 年 3 月推計）による総人口推計値

推計最大：コーホート移行率法（平成 12 年～平成 22 年の 2 回平均移行率採用）による総人口推計値

### ① 「総人口推計値《最小》の場合」の年齢三分区、世帯、就業者

| 区 分         |  | 国勢調査実績              |                     | 計画開始年               | 計画目標年               | 参考                  |
|-------------|--|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|             |  | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 37 年<br>(2025 年) |
| 年少人口 (人)    |  | 5,058               | 4,656               | 4,289               | 3,975               | 3,794               |
| 0～14 歳 (%)  |  | 15.0                | 13.9                | 13.1                | 12.5                | 12.5                |
| 生産年齢人口 (人)  |  | 22,876              | 21,765              | 19,935              | 18,594              | 17,495              |
| 15～64 歳 (%) |  | 67.9                | 65.0                | 61.0                | 58.7                | 57.5                |
| 老年人口 (人)    |  | 5,757               | 7,076               | 8,474               | 9,105               | 9,116               |
| 65 歳～ (%)   |  | 17.1                | 21.1                | 25.9                | 28.7                | 30.0                |

| 区 分           |  | 国勢調査実績              |                     | 計画開始年               | 計画目標年               | 参考                  |
|---------------|--|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|               |  | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 37 年<br>(2025 年) |
| 一般世帯数 (世帯)    |  | 11,649              | 12,356              | 12,277              | 12,047              | 11,678              |
| 1 世帯当たり人員 (人) |  | 2.81                | 2.65                | 2.60                | 2.56                | 2.54                |

| 区 分                |  | 国勢調査実績              |                     | 計画開始年               | 計画目標年               | 参考                  |
|--------------------|--|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|                    |  | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 37 年<br>(2025 年) |
| 15 歳以上人口           |  | 28,633              | 28,841              | 28,409              | 27,699              | 26,611              |
| 就業率 (対 15 歳以上) (%) |  | 59.7                | 55.9                | 55.1                | 54.5                | 54.1                |
| 就業者数 (人)           |  | 17,084              | 16,107              | 15,652              | 15,101              | 14,388              |
| 第 1 次産業 (人)        |  | 356                 | 322                 | 301                 | 282                 | 262                 |
| (%)                |  | 2.1                 | 2.0                 | 1.9                 | 1.9                 | 1.8                 |
| 第 2 次産業 (人)        |  | 5,969               | 5,014               | 4,719               | 4,435               | 4,132               |
| (%)                |  | 34.9                | 31.1                | 30.2                | 29.4                | 28.7                |
| 第 3 次産業 (人)        |  | 10,759              | 10,771              | 10,632              | 10,384              | 9,995               |
| (%)                |  | 63.0                | 66.9                | 67.9                | 68.8                | 69.5                |

② 「総人口：推計値《最大》の場合」の年齢三区分、世帯、就業者

| 区 分         | 国勢調査実績              |                     | 計画開始年               | 計画目標年               | 参考                  |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|             | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 37 年<br>(2025 年) |
| 年少人口 (人)    | 5,058               | 4,656               | 4,098               | 3,682               | 3,462               |
| 0～14 歳 (%)  | 15.0                | 13.9                | 12.3                | 11.2                | 10.9                |
| 生産年齢人口 (人)  | 22,876              | 21,765              | 20,354              | 19,300              | 18,455              |
| 15～64 歳 (%) | 67.9                | 65.0                | 61.1                | 58.9                | 57.9                |
| 老年人口 (人)    | 5,757               | 7,076               | 8,835               | 9,765               | 9,945               |
| 65 歳～ (%)   | 17.1                | 21.1                | 26.5                | 29.8                | 31.2                |

| 区 分              | 国勢調査実績              |                     | 計画開始年               | 計画目標年               | 参考                  |
|------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|                  | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 37 年<br>(2025 年) |
| 一般世帯数 (世帯)       | 11,649              | 12,356              | 12,503              | 12,466              | 12,252              |
| 1 世帯当たり人員<br>(人) | 2.81                | 2.65                | 2.60                | 2.56                | 2.54                |

| 区 分                   | 国勢調査実績              |                     | 計画開始年               | 計画目標年               | 参考                  |
|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|                       | 平成 17 年<br>(2005 年) | 平成 22 年<br>(2010 年) | 平成 27 年<br>(2015 年) | 平成 32 年<br>(2020 年) | 平成 36 年<br>(2024 年) |
| 15 歳以上人口              | 28,633              | 28,841              | 29,189              | 29,065              | 28,400              |
| 就業率 (対 15 歳以上)<br>(%) | 59.7                | 55.9                | 55.1                | 54.5                | 54.1                |
| 就業者数 (人)              | 17,084              | 16,107              | 16,082              | 15,846              | 15,356              |
| 第 1 次産業 (人)           | 356                 | 322                 | 309                 | 295                 | 279                 |
| (%)                   | 2.1                 | 2.0                 | 1.9                 | 1.9                 | 1.8                 |
| 第 2 次産業 (人)           | 5,969               | 5,014               | 4,849               | 4,654               | 4,409               |
| (%)                   | 34.9                | 31.1                | 30.2                | 29.4                | 28.7                |
| 第 3 次産業 (人)           | 10,759              | 10,771              | 10,924              | 10,896              | 10,667              |
| (%)                   | 63.0                | 66.9                | 67.9                | 68.8                | 69.5                |



---

## 第 5 章 財政の状況

---



## 1. 瑞穂町の収支状況

### (1) 人口、世帯数、納税義務者数の推移と状況

瑞穂町の人口は、平成 16 年度においては 34,025 人と 3 万 4 千人を超えたが、平成 17 年以降は微減傾向が続き、平成 25 年度においては 33,883 人となっている。

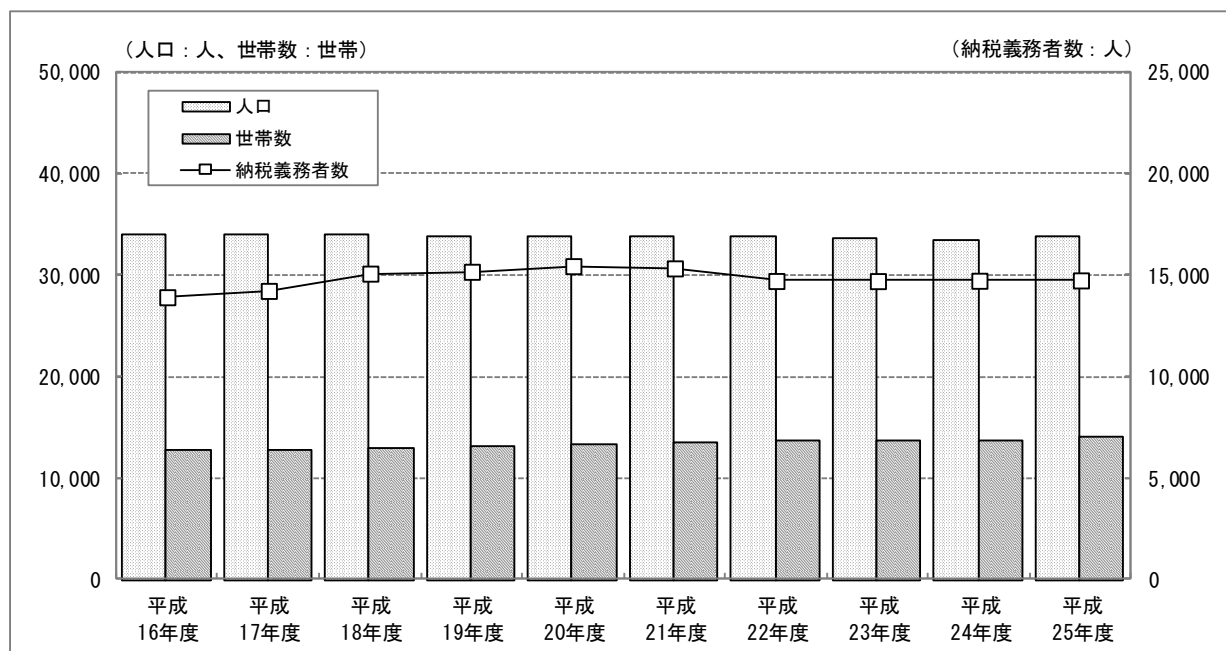
また、世帯数は近年増加が続いており、平成 16 年度には 12,745 世帯であったものが平成 25 年度においては 14,049 世帯と、10.2%の増加となっている。

一方、納税義務者数をみると、平成 16 年度では 13,924 人であったが、平成 25 年度では 14,754 人となっており、平成 16 年度から平成 25 年度の増加率は 6.0%となっている。

(人、%)

| 区 分    | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 人口     | 34,025   | 33,979   | 33,976   | 33,941   | 33,857   |
| (前年度比) | 0.2      | -0.1     | 0.0      | -0.1     | -0.2     |
| 世帯数    | 12,745   | 12,846   | 13,010   | 13,167   | 13,329   |
| (前年度比) | —        | 0.8      | 1.3      | 1.2      | 1.2      |
| 納税義務者数 | 13,924   | 14,236   | 15,089   | 15,179   | 15,457   |
| (前年度比) | —        | 2.2      | 6.0      | 0.6      | 1.8      |

| 区 分    | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 人口     | 33,783   | 33,786   | 33,661   | 33,531   | 33,883   |
| (前年度比) | -0.2     | 0.0      | -0.4     | -0.4     | 1.0      |
| 世帯数    | 13,494   | 13,633   | 13,716   | 13,773   | 14,049   |
| (前年度比) | 1.2      | 1.0      | 0.6      | 0.4      | 2.0      |
| 納税義務者数 | 15,347   | 14,724   | 14,719   | 14,736   | 14,754   |
| (前年度比) | -0.7     | -4.1     | 0.0      | 0.1      | 0.1      |



## (2) 歳入と歳出の推移と状況

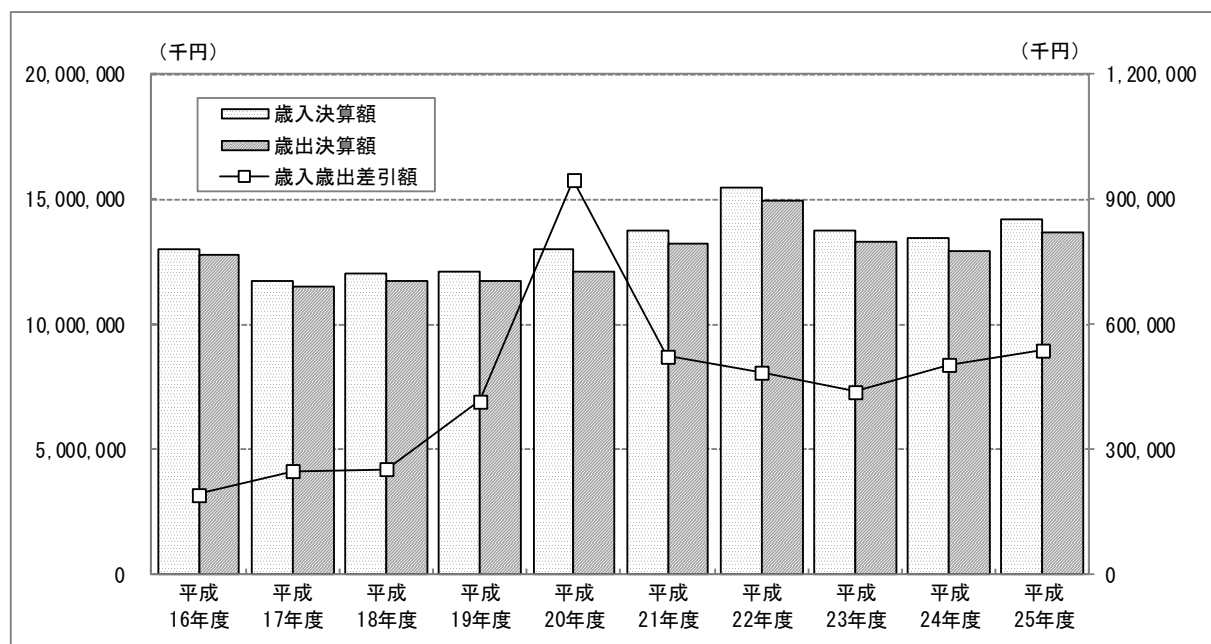
この10年間の瑞穂町の歳入の推移をみると、平成22年度の歳入決算総額は154.7億円と増加したが、その後2年間は減少し、平成25年度は再度増加している。

歳出決算総額は、平成22年度において149.9億円となったが、平成25年度においては136.6億円となっている。

| (千円)         |            |            |            |            |            |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 区 分          | 平成16年度     | 平成17年度     | 平成18年度     | 平成19年度     | 平成20年度     |
| 歳入決算総額       | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 歳出決算総額       | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 歳入・歳出<br>差引額 | 190,552    | 248,430    | 253,084    | 414,905    | 946,978    |

| 区 分          | 平成21年度     | 平成22年度     | 平成23年度     | 平成24年度     | 平成25年度     |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算総額       | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 歳出決算総額       | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 歳入・歳出<br>差引額 | 522,776    | 484,501    | 437,732    | 503,335    | 537,526    |



### (3) 実質収支と実質収支比率の推移と状況

歳入決算総額から歳出決算総額を単純に差し引いた額である形式収支から、翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた決算額を実質収支としているが、瑞穂町では、歳入・歳出ともに最も大きかった平成 22 年度においては 4.4 億円の実質収支であった。その後、平成 24 年度は 5.0 億円、平成 25 年度においては 3.8 億円の実質収支となっている。

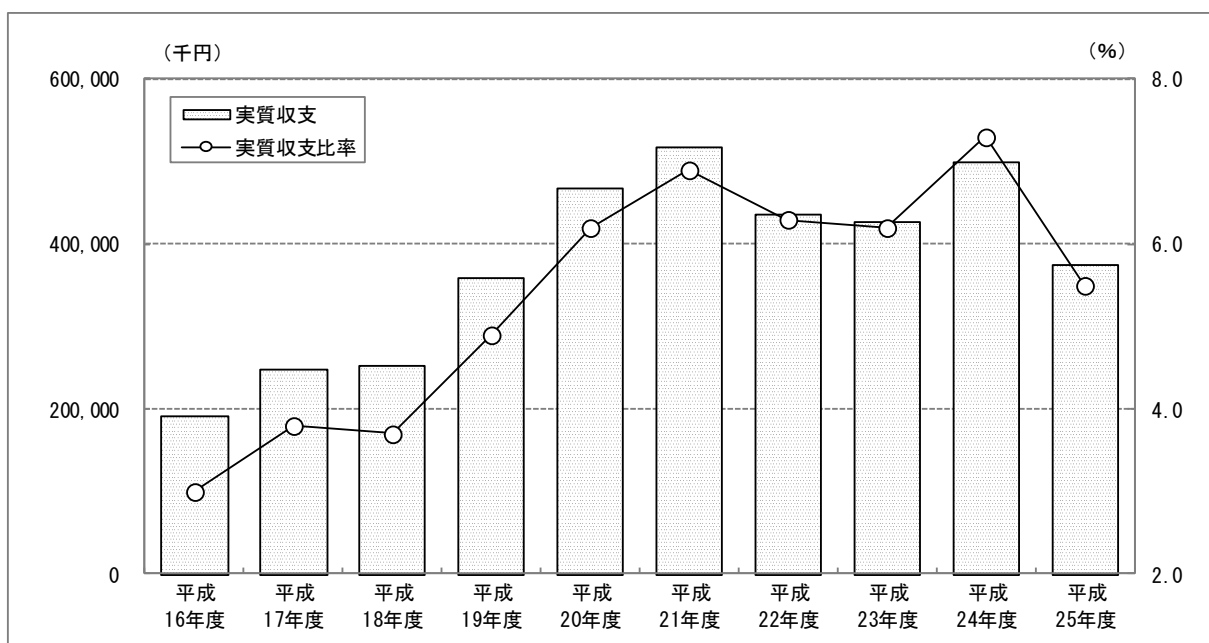
実質収支は、自治体の財政運営の良否を判断する重要なポイントとされるが、自治体は営利を目的とする団体ではないため、黒字の額が多いほど良いというものではなく、また、実質収支と、年度や人口及び納税義務者数との関係は特に見られない。

また、標準財政規模に対する実質収支の割合である実質収支比率の推移をみると、自治体の財政規模やその年度の景況などによって一概には言えないものの、一般的には標準財政規模の 3 ～ 5 % 程度が望ましいと考えられており、その点からは望ましい状況を推移しているといえる。

(千円、%)

| 区 分              | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算総額           | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 歳出決算総額           | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 歳入・歳出<br>差引額     | 190,552    | 248,430    | 253,084    | 414,905    | 946,978    |
| 翌年度へ繰り<br>越すべき財源 | 0          | 0          | 0          | 55,370     | 480,537    |
| 実質収支             | 190,552    | 248,430    | 253,084    | 359,535    | 466,441    |
| 実質収支比率           | 3.0        | 3.8        | 3.7        | 4.9        | 6.2        |

| 区 分              | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算総額           | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 歳出決算総額           | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 歳入・歳出<br>差引額     | 522,776    | 484,501    | 437,732    | 503,335    | 537,526    |
| 翌年度へ繰り<br>越すべき財源 | 5,022      | 49,338     | 10,888     | 4,051      | 161,980    |
| 実質収支             | 517,754    | 435,163    | 426,844    | 499,284    | 375,546    |
| 実質収支比率           | 6.9        | 6.3        | 6.2        | 7.3        | 5.5        |



#### (4) 実質単年度収支の推移と状況

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いて求めたものが単年度収支であるが、単年度収支は一定の期間において赤字になるのが健全とされている。その点からは、瑞穂町の単年度収支は、比較的健全な推移となっている。

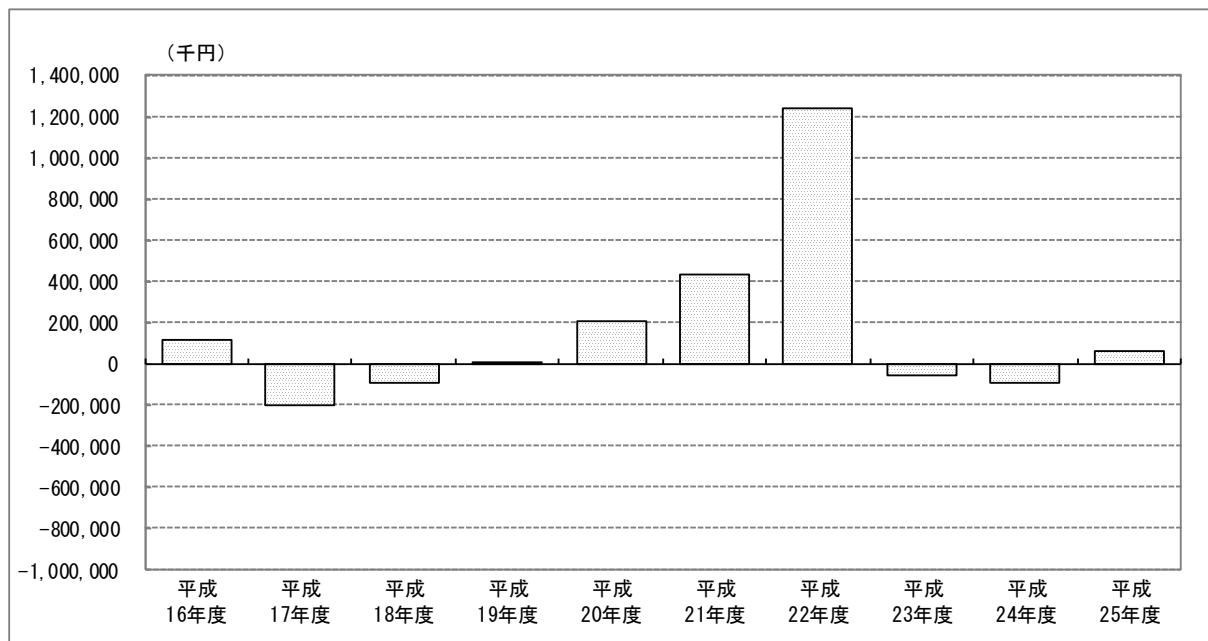
また、実質単年度収支は、実質的な債務の増加または貯蓄等債権の増加を捉えようとする指標であり、歳入歳出の中の実質的な黒字要素及び赤字要素が当該年度に措置されなかったとした場合の単年度収支を検証するものである。単年度収支から実質的な黒字要素である財政調整基金積立額、地方債繰上償還額を加え、実質的な赤字要素である財政調整基金取崩額を引いたものであるが、平成24年度においては9.2千万円の赤字となったものの、平成25年度においては6.5千万円の黒字となっている。

(千円)

| 区 分     | 平成16年度  | 平成17年度   | 平成18年度  | 平成19年度  | 平成20年度  |
|---------|---------|----------|---------|---------|---------|
| 単年度収支   | 23,975  | 57,878   | 4,654   | 106,451 | 106,906 |
| 積立金     | 90,460  | 1,179    | 3,533   | 4,317   | 103,408 |
| 繰上償還額   | 0       | 0        | 0       | 0       | 0       |
| 積立金取崩し額 | 0       | 264,000  | 106,000 | 106,000 | 0       |
| 実質単年度収支 | 114,435 | -204,943 | -97,813 | 4,768   | 210,314 |

| 区 分     | 平成21年度  | 平成22年度    | 平成23年度  | 平成24年度  | 平成25年度   |
|---------|---------|-----------|---------|---------|----------|
| 単年度収支   | 51,313  | -82,591   | -8,319  | 72,440  | -123,738 |
| 積立金     | 380,986 | 1,189,734 | 212,357 | 207,562 | 232,514  |
| 繰上償還額   | 0       | 137,758   | 0       | 0       | 0        |
| 積立金取崩し額 | 0       | 0         | 264,000 | 372,000 | 44,000   |
| 実質単年度収支 | 432,299 | 1,244,901 | -59,962 | -91,998 | 64,776   |

#### 〔実質単年度収支の推移〕



## 2. 瑞穂町の歳入状況

### (1) 自主財源の推移と状況

自主財源とは地方公共団体が自主的に収入し得る財源をいい、地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入がこれに該当する。

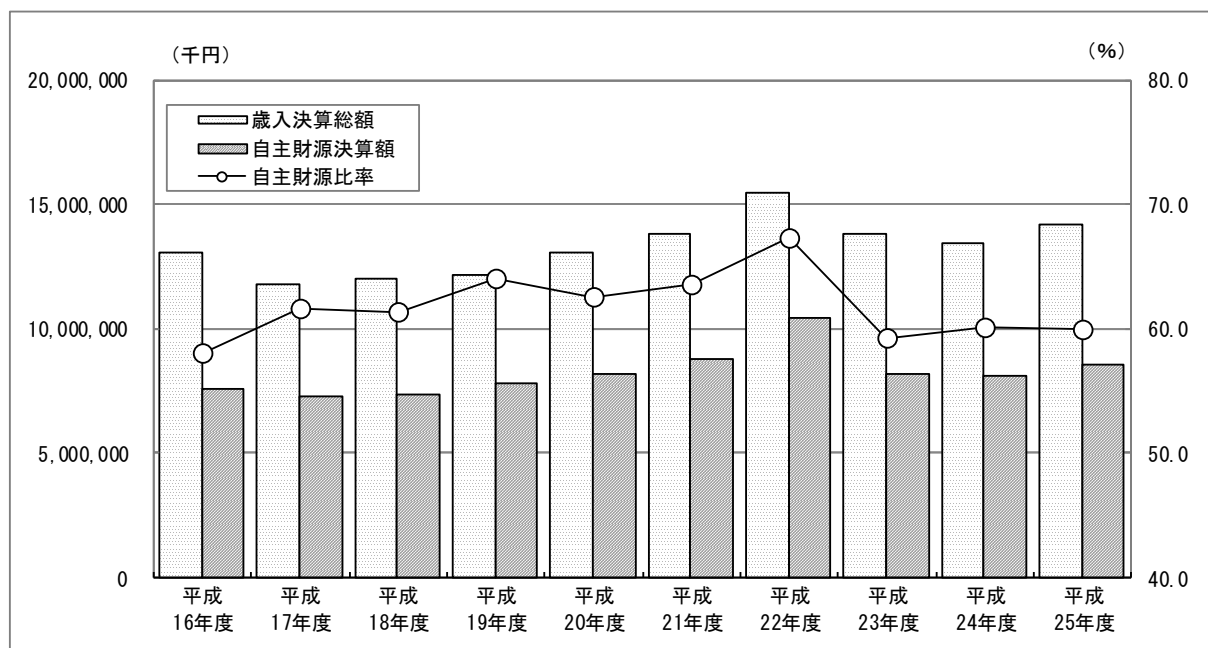
平成 16 年度以降の瑞穂町の歳入決算総額は、平成 22 年度において 154.7 億円と多くなっているが、平成 25 年度は 142 億円となっている。また、自主財源決算額も近年 80 億円～90 億円台で推移している。

(千円、%)

| 区 分     | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算総額  | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 自主財源決算額 | 7,553,218  | 7,259,392  | 7,372,674  | 7,773,985  | 8,163,345  |
| 自主財源比率  | 58.0       | 61.6       | 61.4       | 64.0       | 62.6       |

| 区 分     | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算総額  | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 自主財源決算額 | 8,768,710  | 10,411,789 | 8,164,492  | 8,072,031  | 8,511,419  |
| 自主財源比率  | 63.6       | 67.3       | 59.3       | 60.1       | 59.9       |



【参考：他団体との比較（平成 16 年度～平成 25 年度）】

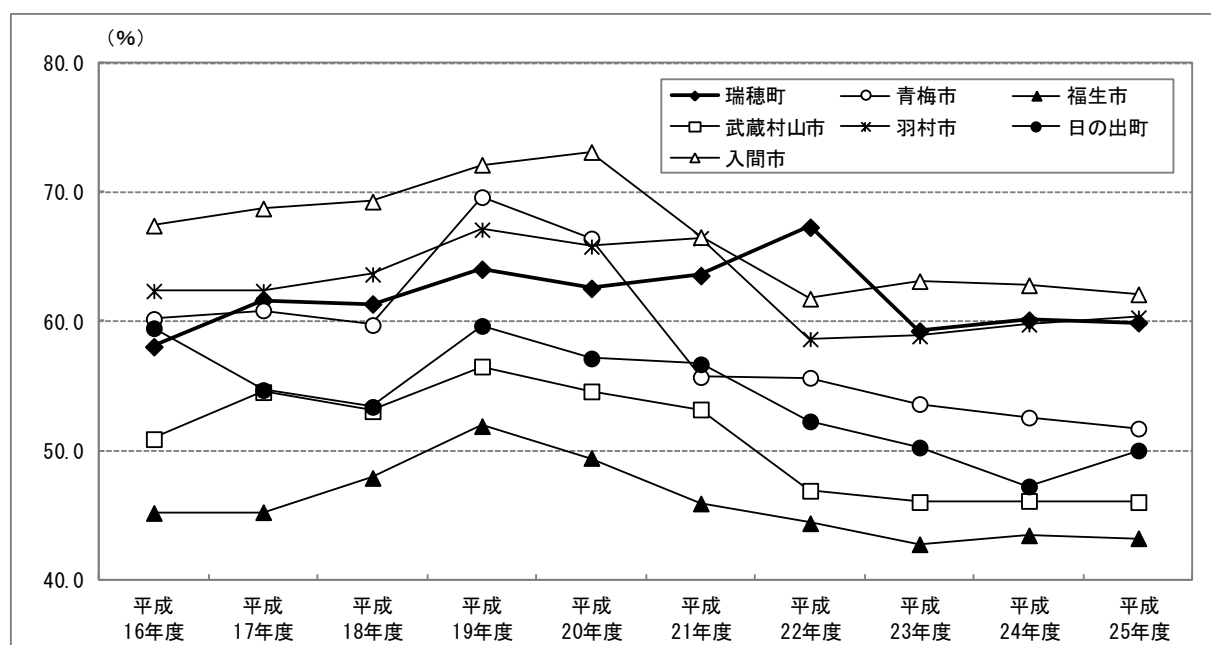
平成 16 年度以降、他団体と比べ自主財源比率が比較的高い状況となっているが、平成 25 年度においてもその状況は続いている。そのため、瑞穂町は財政的基盤が比較的堅固であると言える。

〔自主財源比率の比較〕

(%)

| 区 分 | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 瑞穂町 | 58.0     | 61.6     | 61.4     | 64.0     | 62.6     |
| 他団体 | 青梅市      | 60.2     | 60.9     | 59.7     | 66.4     |
|     | 福生市      | 45.2     | 45.2     | 47.9     | 49.4     |
|     | 武蔵村山市    | 50.9     | 54.5     | 53.0     | 54.6     |
|     | 羽村市      | 62.4     | 62.4     | 63.6     | 67.1     |
|     | 日の出町     | 59.5     | 54.7     | 53.4     | 57.1     |
|     | 入間市      | 67.4     | 68.8     | 69.3     | 72.1     |

| 区 分 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 瑞穂町 | 63.6     | 67.3     | 59.3     | 60.1     | 59.9     |
| 他団体 | 青梅市      | 55.7     | 55.6     | 53.6     | 51.7     |
|     | 福生市      | 45.9     | 44.4     | 42.7     | 43.2     |
|     | 武蔵村山市    | 53.2     | 46.9     | 46.0     | 46.0     |
|     | 羽村市      | 66.4     | 58.6     | 58.9     | 59.8     |
|     | 日の出町     | 56.7     | 52.3     | 50.2     | 50.0     |
|     | 入間市      | 66.5     | 61.8     | 63.1     | 62.1     |



## (2) 主要財源の推移と状況

自治体の主要財源である地方税、地方交付税、国庫支出金及び都支出金、地方債の推移をみると、自治体が課税の主体になっている地方税は、国民健康保険税のように特定の目的に使用するために課税される目的税や、一般的な行政サービスに使用するために課税される普通税がある。

瑞穂町においては、平成 16 年度の地方税が 61.0 億円であったが、平成 25 年度においては 64.7 億円となっている。

国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税それぞれの一定割合の額を、一定の基準により国が地方公共団体に交付する地方交付税は、平成 16 年度において 1.5 億円であったが、国庫補助負担金の廃止・縮減、税財源の移譲、地方交付税の一体的な見直しといういわゆる「三位一体の改革」の影響が続く中、平成 24 年度においては 1.8 億円、平成 25 年度においては 2.0 億円となっている。

自治体の支出する特定の経費に対して国が負担交付する国庫支出金は、平成 16 年度には 10 億円であったのが平成 25 年度においては 14.6 億円となっている。

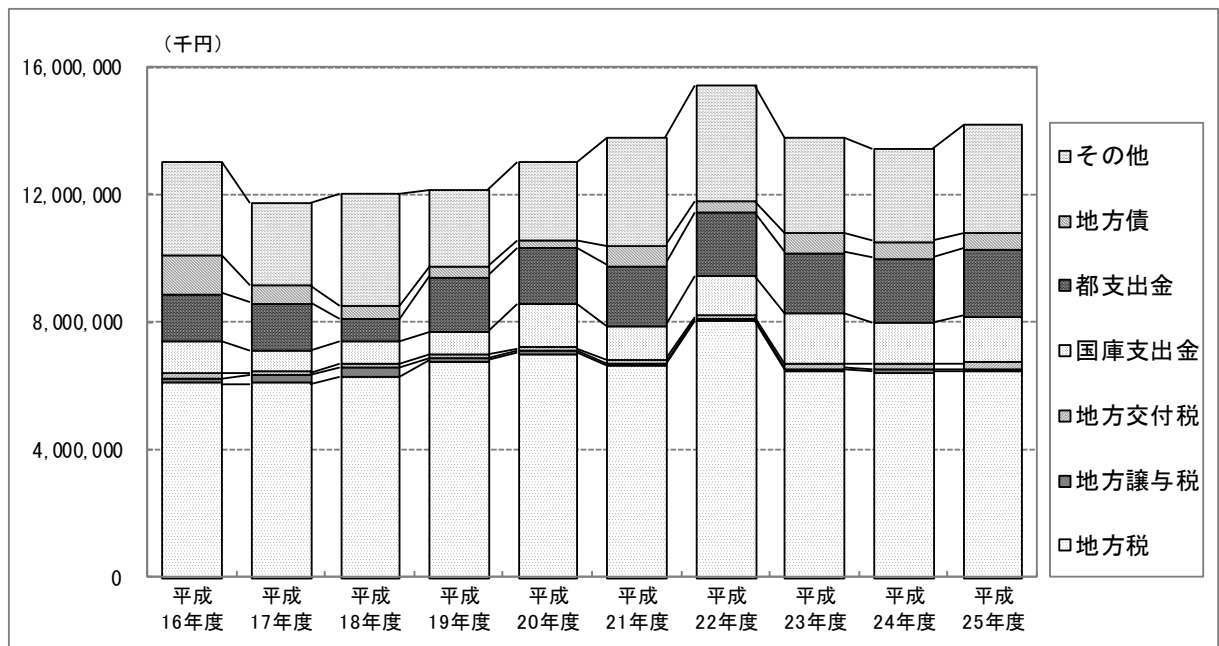
また、都が用途を特定して自治体に交付する都支出金は、変動が大きい状況となっている。

自治体が財政上必要とする資金を外部から調達するために負担する債務で、いわゆる借金である地方債は平成 16 年度に 12.1 億円であったが、その後抑制され、平成 25 年度は 5.3 億円となっている。

(千円)

| 区 分   | 平成 16 年度  | 平成 17 年度  | 平成 18 年度  | 平成 19 年度  | 平成 20 年度  |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 地方税   | 6,099,467 | 6,113,877 | 6,275,352 | 6,794,628 | 7,027,188 |
| 地方譲与税 | 163,961   | 222,637   | 339,532   | 104,021   | 99,863    |
| 地方交付税 | 154,984   | 132,766   | 99,583    | 81,393    | 81,383    |
| 国庫支出金 | 1,011,049 | 639,317   | 696,110   | 723,096   | 1,377,186 |
| 都支出金  | 1,445,370 | 1,492,791 | 696,110   | 1,728,788 | 1,742,388 |
| 地方債   | 1,208,600 | 557,400   | 436,000   | 323,100   | 260,500   |
| その他   | 2,929,221 | 2,621,024 | 3,474,337 | 2,384,042 | 2,459,948 |

| 区 分   | 平成 21 年度  | 平成 22 年度  | 平成 23 年度  | 平成 24 年度  | 平成 25 年度  |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 地方税   | 6,633,359 | 8,049,810 | 6,472,004 | 6,430,004 | 6,465,091 |
| 地方譲与税 | 94,389    | 91,574    | 88,638    | 83,138    | 79,472    |
| 地方交付税 | 81,627    | 66,427    | 136,143   | 179,765   | 196,891   |
| 国庫支出金 | 1,083,548 | 1,276,324 | 1,580,828 | 1,292,225 | 1,460,883 |
| 都支出金  | 1,865,988 | 1,967,216 | 1,894,155 | 2,022,515 | 2,090,976 |
| 地方債   | 619,100   | 370,000   | 614,000   | 540,000   | 525,000   |
| その他   | 3,419,379 | 3,649,657 | 2,991,886 | 2,882,502 | 3,381,716 |



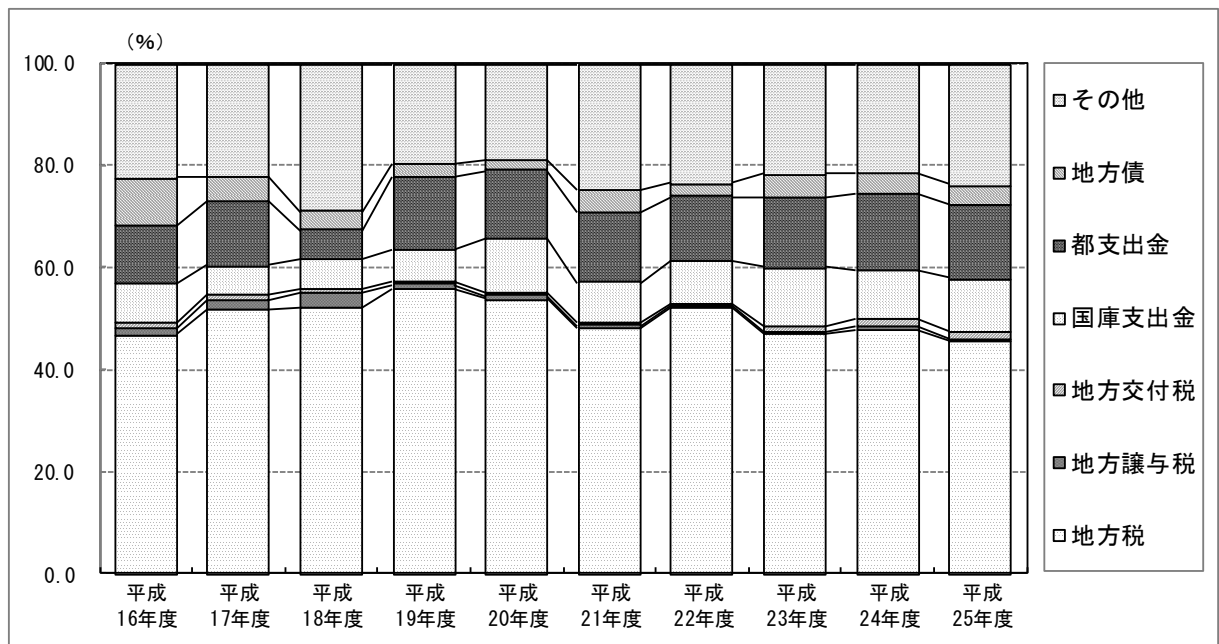
主要財源の割合の推移は以下の通りである。地方税の占める割合は平成 17 年度から平成 22 年度の間 50%を挟んで増減しながら推移したが、平成 25 年度においては 45.5%となっている。

また、地方交付税割合は少なく、平成 25 年度において地方交付税は 1.4%となっている。

(%)

| 区 分   | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 地方税   | 46.9     | 51.9     | 52.2     | 56.0     | 53.9     |
| 地方譲与税 | 1.3      | 1.9      | 2.8      | 0.9      | 0.8      |
| 地方交付税 | 1.2      | 1.1      | 0.8      | 0.7      | 0.6      |
| 国庫支出金 | 7.8      | 5.4      | 5.8      | 6.0      | 10.6     |
| 都支出金  | 11.1     | 12.7     | 5.8      | 14.2     | 13.4     |
| 地方債   | 9.3      | 4.7      | 3.6      | 2.7      | 2.0      |
| その他   | 22.5     | 22.3     | 28.9     | 19.6     | 18.9     |

| 区 分   | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 地方税   | 48.1     | 52.0     | 47.0     | 47.9     | 45.5     |
| 地方譲与税 | 0.7      | 0.6      | 0.6      | 0.6      | 0.6      |
| 地方交付税 | 0.6      | 0.4      | 1.0      | 1.3      | 1.4      |
| 国庫支出金 | 7.9      | 8.2      | 11.5     | 9.6      | 10.3     |
| 都支出金  | 13.5     | 12.7     | 13.7     | 15.1     | 14.7     |
| 地方債   | 4.5      | 2.4      | 4.5      | 4.0      | 3.7      |
| その他   | 24.8     | 23.6     | 21.7     | 21.5     | 23.8     |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

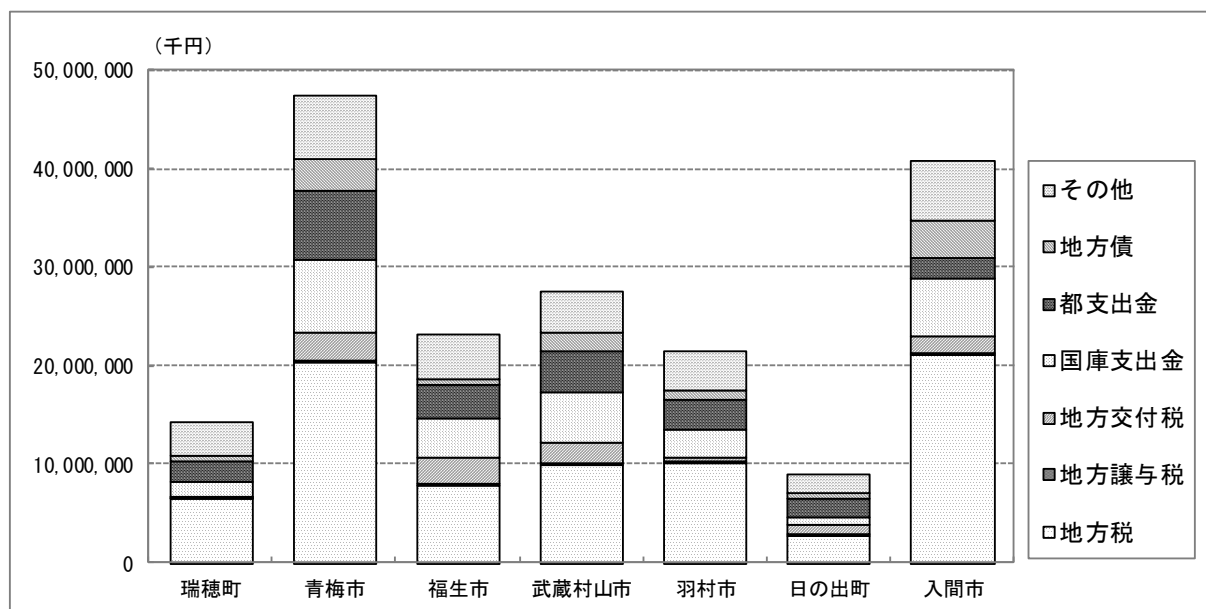
平成 25 年度における瑞穂町と他団体の主要財源を比べると、以下の通りである。

〔主要財源の比較：平成 25 年度〕

（千円）

| 区 分     | 瑞穂町        | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市        |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 地方税     | 6,465,091  | 20,276,032 | 7,939,502  | 9,933,579  | 10,166,879 |
| 地方譲与税   | 79,472     | 286,592    | 98,293     | 126,688    | 103,415    |
| 地方交付税   | 196,891    | 2,754,471  | 2,637,338  | 2,208,499  | 499,410    |
| 国庫支出金   | 1,460,883  | 7,448,414  | 4,065,808  | 5,116,236  | 2,794,413  |
| 都支出金決算額 | 2,090,976  | 6,953,580  | 3,366,068  | 4,164,225  | 3,042,679  |
| 地方債     | 525,000    | 3,326,410  | 500,000    | 1,743,591  | 928,000    |
| その他     | 3,381,716  | 6,473,184  | 4,515,979  | 4,291,570  | 3,938,282  |
| 歳入決算総額  | 14,200,029 | 47,518,683 | 23,122,988 | 27,584,388 | 21,473,078 |

| 区 分     | 瑞穂町        | 日の出町      | 入間市        |
|---------|------------|-----------|------------|
| 地方税     | 6,465,091  | 2,822,449 | 21,063,752 |
| 地方譲与税   | 79,472     | 42,561    | 303,333    |
| 地方交付税   | 196,891    | 954,669   | 1,723,460  |
| 国庫支出金   | 1,460,883  | 783,699   | 5,861,230  |
| 都支出金決算額 | 2,090,976  | 2,005,208 | 1,985,882  |
| 地方債     | 525,000    | 459,576   | 3,756,499  |
| その他     | 3,381,716  | 1,973,506 | 6,072,483  |
| 歳入決算総額  | 14,200,029 | 9,041,668 | 40,766,639 |



### (3) 町民税及び固定資産税の推移と状況

町税（町民税と固定資産税）の推移を見ると、以下の通りである。

町民税においては法人町民税に比べ個人町民税の割合が高く、個人町民税は、平成 20 年度は 20 億円台となったが、平成 22 年度以降 17 億円台で推移している。

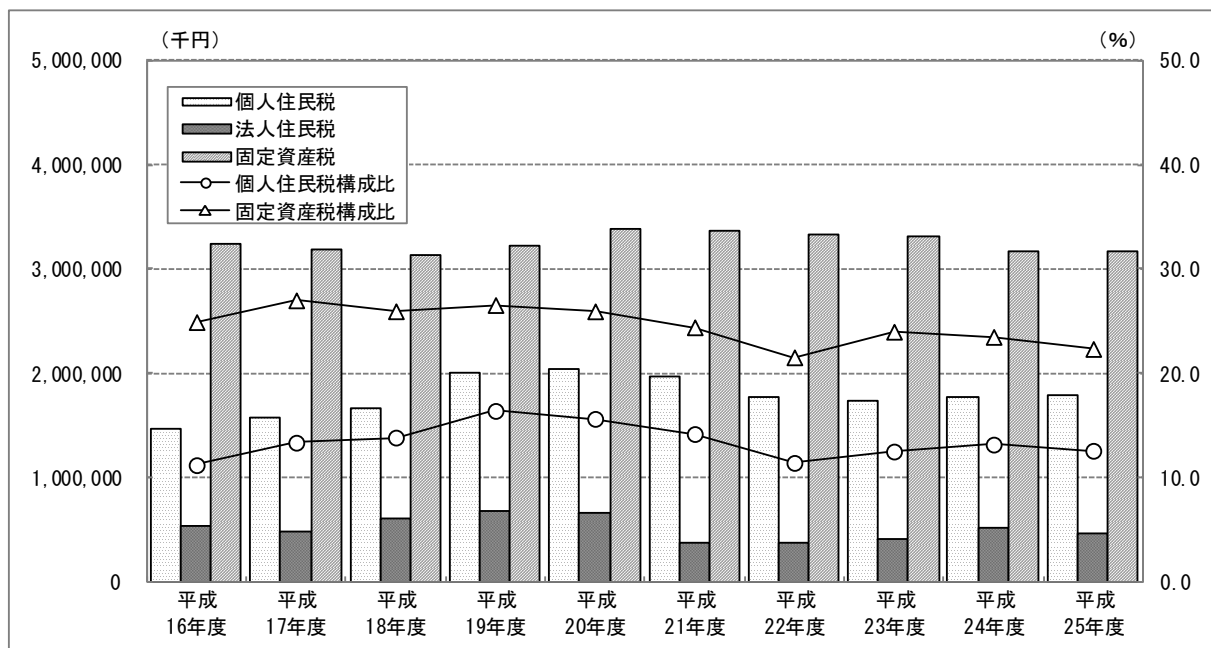
法人町民税は、増減しながら推移しているが、平成 25 年度には 4.6 億円となっている。

固定資産税は、平成 20 年度から平成 23 年度まで 33 億円台で推移していたが、平成 24 年度には 31.5 億円に減少し、平成 25 年度もほぼ同額となっている。

(千円)

| 区 分          | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計      | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 個人住民税        | 1,452,799  | 1,569,263  | 1,659,923  | 1,987,524  | 2,036,710  |
| 個人住民税<br>構成比 | 11.2       | 13.3       | 13.8       | 16.4       | 15.6       |
| 法人住民税        | 523,634    | 480,016    | 588,801    | 662,802    | 655,761    |
| 法人住民税<br>構成比 | 4.0        | 4.1        | 4.9        | 5.5        | 5.0        |
| 固定資産税        | 3,240,386  | 3,179,160  | 3,117,389  | 3,221,768  | 3,384,173  |
| 固定資産税<br>構成比 | 24.9       | 27.0       | 25.9       | 26.5       | 25.9       |

| 区 分          | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計      | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 個人住民税        | 1,952,769  | 1,760,941  | 1,718,301  | 1,764,588  | 1,781,298  |
| 個人住民税<br>構成比 | 14.2       | 11.4       | 12.5       | 13.1       | 12.5       |
| 法人住民税        | 362,834    | 358,694    | 404,598    | 507,694    | 458,634    |
| 法人住民税<br>構成比 | 2.6        | 2.3        | 2.9        | 3.8        | 3.2        |
| 固定資産税        | 3,366,773  | 3,329,176  | 3,303,180  | 3,153,425  | 3,169,962  |
| 固定資産税<br>構成比 | 24.4       | 21.5       | 24.0       | 23.5       | 22.3       |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

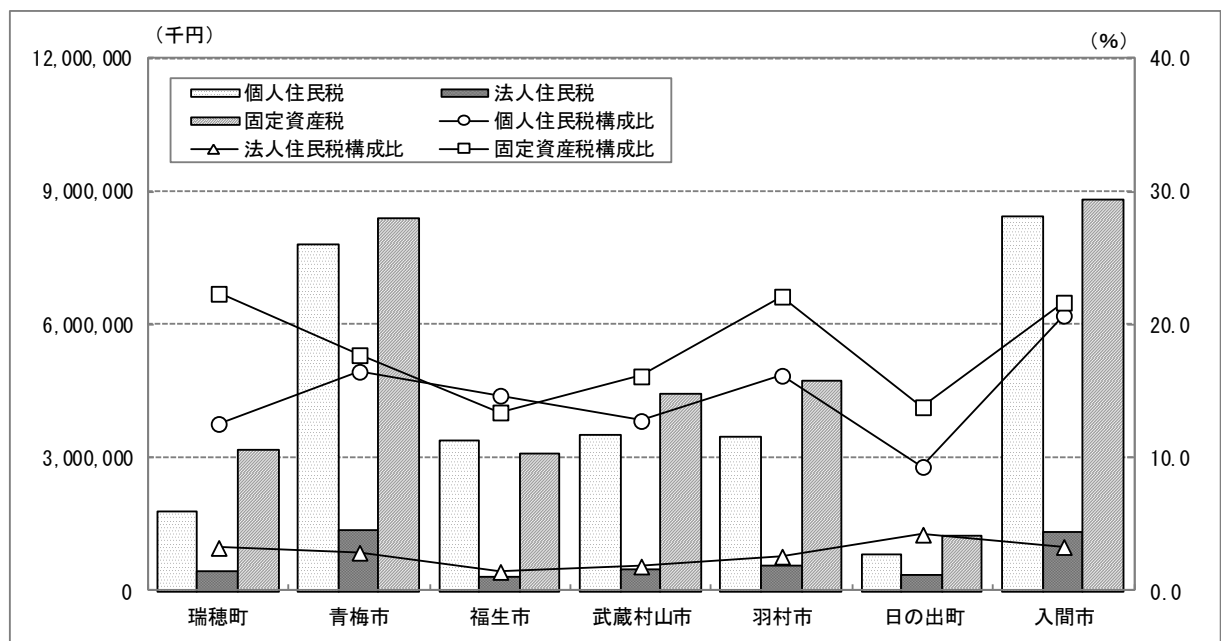
瑞穂町の町税の中心は個人町民税と固定資産税であるが、歳入決算額に占める瑞穂町の個人町民税の構成比は平成 25 年度において 12.5%となっている。

〔町税の比較：平成 25 年度〕

(千円)

| 区 分          | 瑞穂町        | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市        |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額<br>合計  | 14,200,029 | 47,518,683 | 23,122,988 | 27,584,388 | 21,473,078 |
| 個人住民税        | 1,781,298  | 7,823,257  | 3,391,173  | 3,520,975  | 3,470,904  |
| 個人住民税<br>構成比 | 12.5       | 16.5       | 14.7       | 12.8       | 16.2       |
| 法人住民税        | 458,634    | 1,363,478  | 330,166    | 505,566    | 552,892    |
| 法人住民税<br>構成比 | 3.2        | 2.9        | 1.4        | 1.8        | 2.6        |
| 固定資産税        | 3,169,962  | 8,415,845  | 3,100,140  | 4,445,547  | 4,747,602  |
| 固定資産税<br>構成比 | 22.3       | 17.7       | 13.4       | 16.1       | 22.1       |

| 区 分          | 瑞穂町        | 日の出町      | 入間市        |
|--------------|------------|-----------|------------|
| 歳入決算額<br>合計  | 14,200,029 | 9,041,668 | 40,766,639 |
| 個人住民税        | 1,781,298  | 842,242   | 8,428,029  |
| 個人住民税<br>構成比 | 12.5       | 9.3       | 20.7       |
| 法人住民税        | 458,634    | 381,946   | 1,345,343  |
| 法人住民税<br>構成比 | 3.2        | 4.2       | 3.3        |
| 固定資産税        | 3,169,962  | 1,247,657 | 8,829,699  |
| 固定資産税<br>構成比 | 22.3       | 13.8      | 21.7       |



#### (4) 地方譲与税及び各種交付金決算額の推移と状況

地方譲与税（国税として徴収され、一律的に地方公共団体に譲与される税）は、三位一体改革による、国庫補助金の削減と廃止の補てん財源として、本格的な税源移譲までの暫定的な措置がとられることとなり、国の所得税の一部を所得譲与税として、平成 16 年度（2004 年度）から都道府県と市町村に人口割等で配分されることとなった。その結果、平成 16 年度は 14.8 億円となったが、平成 25 年度には 13.4 億円と減少している。

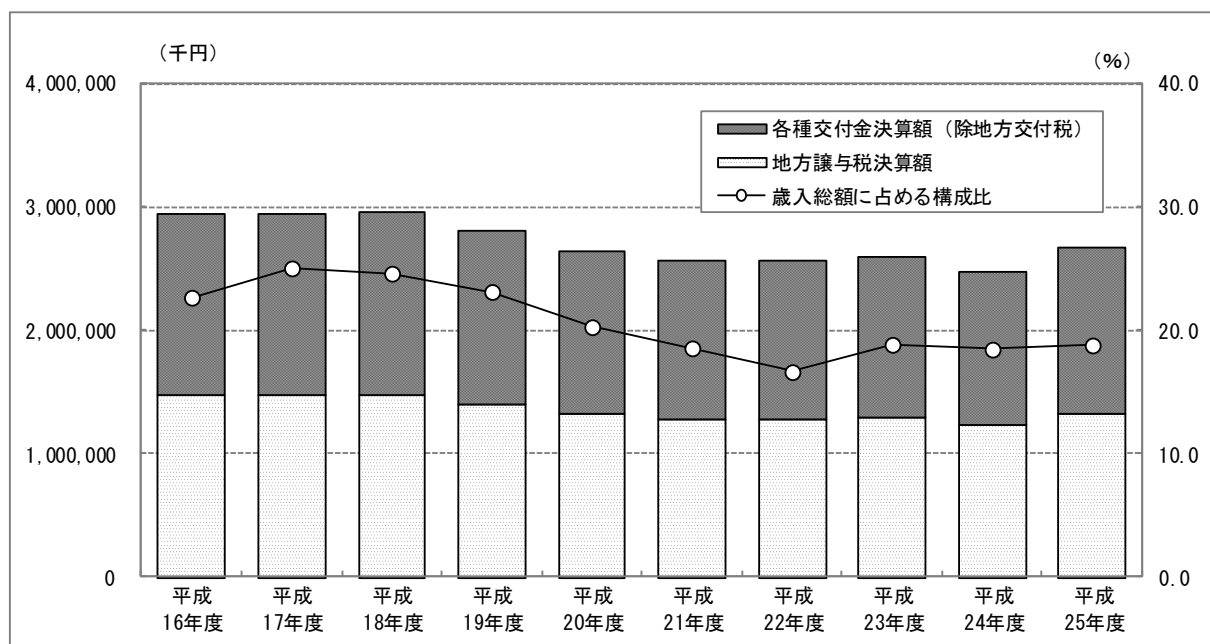
また、地方譲与税と各種交付金の合計額は、平成 16 年度において 29.5 億円であったが、平成 25 年度においては 26.7 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分               | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算総額            | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 地方譲与税<br>決算額      | 1,475,470  | 1,475,509  | 1,479,544  | 1,404,685  | 1,323,611  |
| 各種交付金<br>決算額      | 1,475,470  | 1,475,509  | 1,479,544  | 1,404,685  | 1,323,611  |
| 合計                | 2,950,940  | 2,951,018  | 2,959,088  | 2,809,370  | 2,647,222  |
| 歳入決算総額に<br>占める構成比 | 22.7       | 25.1       | 24.6       | 23.1       | 20.3       |

| 区 分               | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算総額            | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 地方譲与税<br>決算額      | 1,281,319  | 1,287,678  | 1,299,398  | 1,240,475  | 1,335,388  |
| 各種交付金<br>決算額      | 1,281,319  | 1,287,678  | 1,299,398  | 1,240,475  | 1,335,388  |
| 合計                | 2,562,638  | 2,575,356  | 2,598,796  | 2,480,950  | 2,670,776  |
| 歳入決算総額に<br>占める構成比 | 18.6       | 16.6       | 18.9       | 18.5       | 18.8       |

※各種交付金決算額において地方交付税は除く。



# (5) 地方交付税の推移と状況

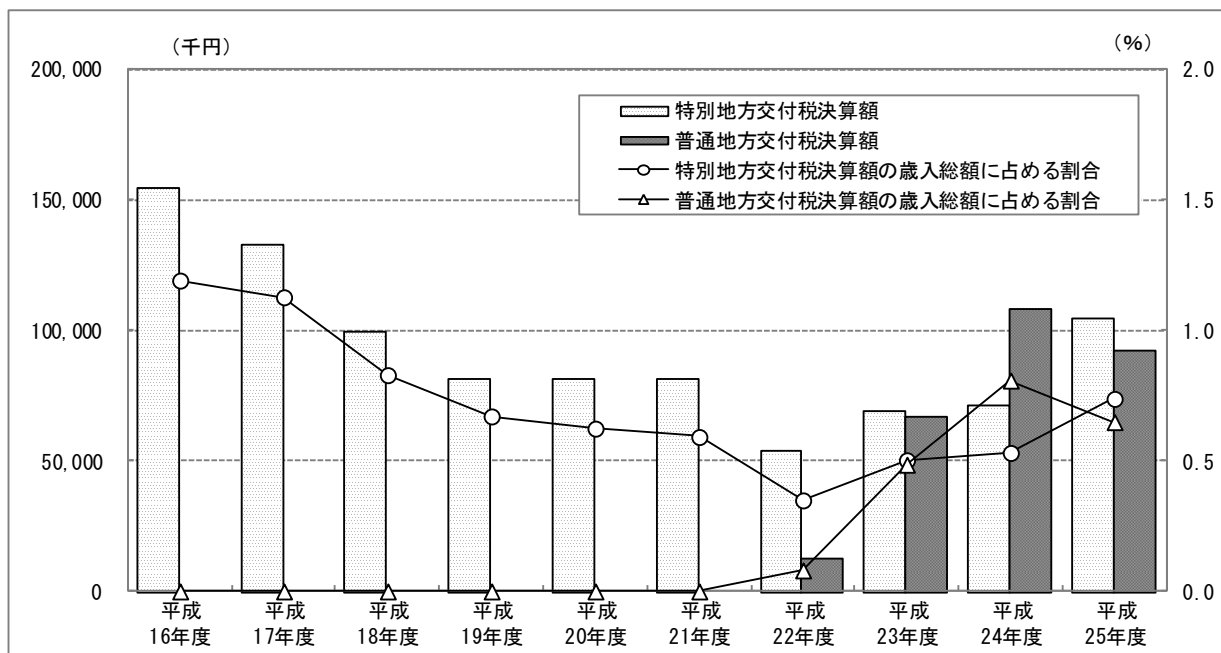
地方交付税には普通（地方）交付税と特別（地方）交付税があり、地方交付税法により算定した基準財政需要額が基準財政収入額を超える場合に、その超える額を財源不足額として交付される普通交付税の推移をみると、平成 21 年度までは不交付が続いていたが、平成 22 年度以降交付されるようになり、平成 25 年度においては 9 千万円の交付となっている。

また、災害など、普通交付税の算定で補足されなかった特別な財政需要に対して交付される特別交付税は、平成 16 年度に 1.5 億円であったが、平成 25 年度においては 1.0 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計        | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 普通地方交付税<br>決算額 | 0          | 0          | 0          | 0          | 0          |
| 普通地方交付税<br>構成比 | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        | 0.0        |
| 特別地方交付税<br>決算額 | 154,984    | 132,766    | 99,583     | 81,393     | 81,383     |
| 特別地方交付税<br>構成比 | 1.2        | 1.1        | 0.8        | 0.7        | 0.6        |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計        | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 普通地方交付税<br>決算額 | 0          | 12,461     | 66,902     | 108,502    | 92,135     |
| 普通地方交付税<br>構成比 | 0.0        | 0.1        | 0.5        | 0.8        | 0.6        |
| 特別地方交付税<br>決算額 | 81,627     | 53,966     | 69,235     | 71,259     | 104,749    |
| 特別地方交付税<br>構成比 | 0.6        | 0.3        | 0.5        | 0.5        | 0.7        |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

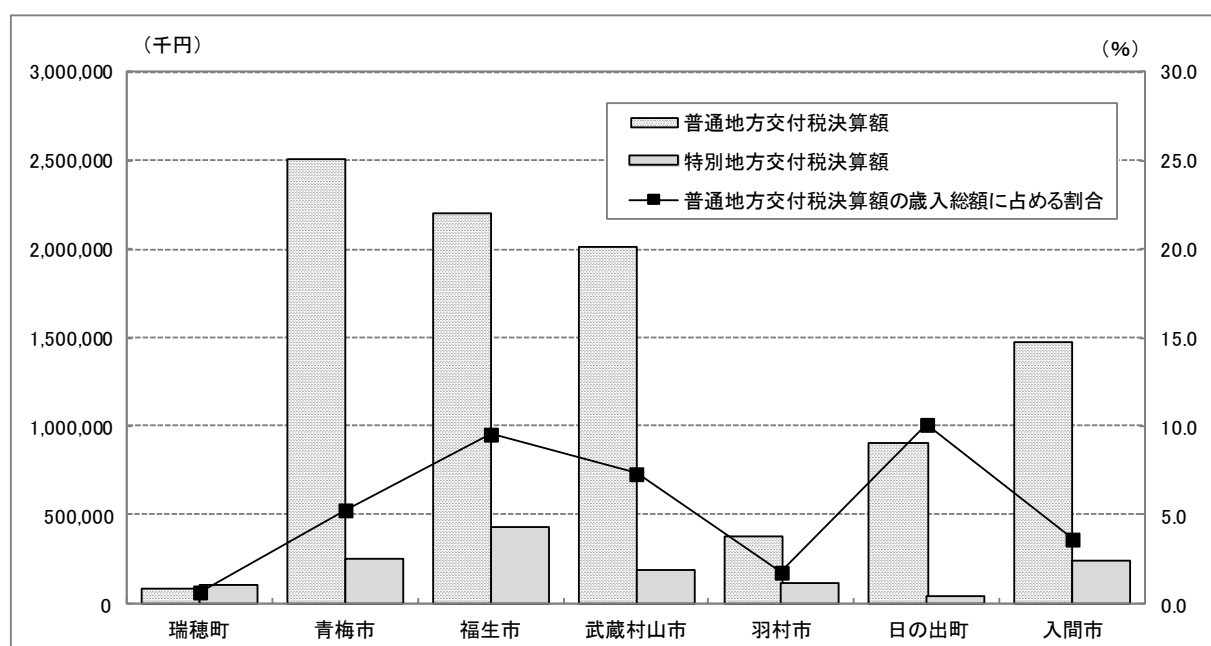
瑞穂町の歳入決算額に占める普通（地方）交付税額の割合を、他団体と比較すると、他の団体よりも低くなっている。

〔地方交付税の比較：平成 25 年度〕

（千円）

| 区 分                           | 瑞穂町        | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市        |
|-------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計                       | 14,200,029 | 47,518,683 | 23,122,988 | 27,584,388 | 21,473,078 |
| 普通地方交付税<br>決算額                | 92,135     | 2,507,033  | 2,207,321  | 2,017,935  | 379,141    |
| 普通地方交付税<br>決算額の歳入総額<br>に占める割合 | 0.6        | 5.3        | 9.5        | 7.3        | 1.8        |
| 特別地方交付税<br>決算額                | 104,749    | 247,341    | 430,017    | 190,525    | 120,262    |
| 特別地方交付税<br>決算額の歳入総額<br>に占める割合 | 0.7        | 0.5        | 1.9        | 0.7        | 0.6        |

| 区 分                           | 瑞穂町        | 日の出町      | 入間市        |
|-------------------------------|------------|-----------|------------|
| 歳入決算額合計                       | 14,200,029 | 9,041,668 | 40,766,639 |
| 普通地方交付税<br>決算額                | 92,135     | 913,046   | 1,480,165  |
| 普通地方交付税<br>決算額の歳入総額<br>に占める割合 | 0.6        | 10.1      | 3.6        |
| 特別地方交付税<br>決算額                | 104,749    | 41,620    | 243,267    |
| 特別地方交付税<br>決算額の歳入総額<br>に占める割合 | 0.7        | 0.5       | 0.6        |



# (6) 国庫支出金・都支出金の推移と状況

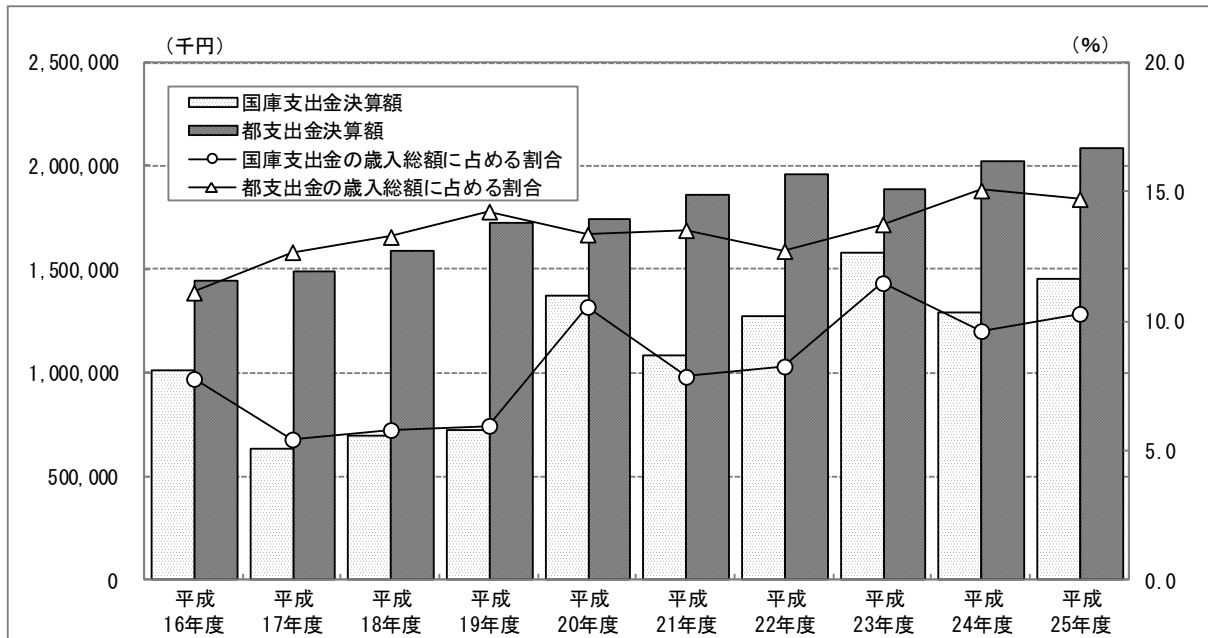
国庫支出金は、町が支出する特定の経費に対して国が負担交付する支出金であり、地方交付税など一般財源であるものを除く使い道が定められた支出金であるが、平成 25 年度においては 14.6 億円となっている。

一方、都支出金は国庫支出金と同様の性格を有する支出金であるが、比較的豊かな都の財政環境において、平成 25 年度においては 20.9 億円となっている。

| (千円、%)       |            |            |            |            |            |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 区 分          | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
| 歳入決算額合計      | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 国庫支出金<br>決算額 | 1,011,049  | 639,317    | 696,110    | 723,096    | 1,377,186  |
| 国庫支出金<br>構成比 | 7.8        | 5.4        | 5.8        | 6.0        | 10.6       |
| 都支出金決算額      | 1,445,370  | 1,492,791  | 1,593,581  | 1,728,788  | 1,742,388  |
| 都支出金構成比      | 11.1       | 12.7       | 13.3       | 14.2       | 13.4       |

| 区 分          | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計      | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 国庫支出金<br>決算額 | 1,083,548  | 1,276,324  | 1,580,828  | 1,292,225  | 1,460,883  |
| 国庫支出金<br>構成比 | 7.9        | 8.2        | 11.5       | 9.6        | 10.3       |
| 都支出金決算額      | 1,865,988  | 1,967,216  | 1,894,155  | 2,022,515  | 2,090,976  |
| 都支出金構成比      | 13.5       | 12.7       | 13.7       | 15.1       | 14.7       |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

平成 25 年度における瑞穂町の歳入決算額に占める国庫支出金の割合を他団体と比較すると、瑞穂町は 10.3%であり周辺市に比べ低くなっている。

また、都支出金は 14.7%であり、周辺市とほぼ同様の割合となっている。

〔国庫支出金・都支出金の比較：平成 25 年度〕

（千円）

| 区 分                  | 瑞穂町        | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市        |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額総額              | 14,200,029 | 47,518,683 | 23,122,988 | 27,584,388 | 21,473,078 |
| 国庫支出金決算額             | 1,460,883  | 7,448,414  | 4,065,808  | 5,116,236  | 2,794,413  |
| 国庫支出金の歳入<br>総額に占める割合 | 10.3       | 15.7       | 17.6       | 18.5       | 13.0       |
| 都支出金決算額              | 2,090,976  | 6,953,580  | 3,366,068  | 4,164,225  | 3,042,679  |
| 都支出金の歳入<br>総額に占める割合  | 14.7       | 14.6       | 14.6       | 15.1       | 14.2       |

| 区 分                  | 瑞穂町        | 日の出町      | 入間市        |
|----------------------|------------|-----------|------------|
| 歳入決算額総額              | 14,200,029 | 9,041,668 | 40,766,639 |
| 国庫支出金決算額             | 1,460,883  | 783,699   | 5,861,230  |
| 国庫支出金の歳入<br>総額に占める割合 | 10.3       | 8.7       | 14.4       |
| 都支出金決算額              | 2,090,976  | 2,005,208 | 1,985,882  |
| 都支出金の歳入<br>総額に占める割合  | 14.7       | 22.2      | 4.9        |

※入間市は（埼玉）県支出金である。

(7) 分担金・負担金及び使用料、手数料等の推移と状況

受益者による分担金及び負担金、また公共施設等の使用料及びサービスの対価として徴収される手数料等の推移は以下の通りである。

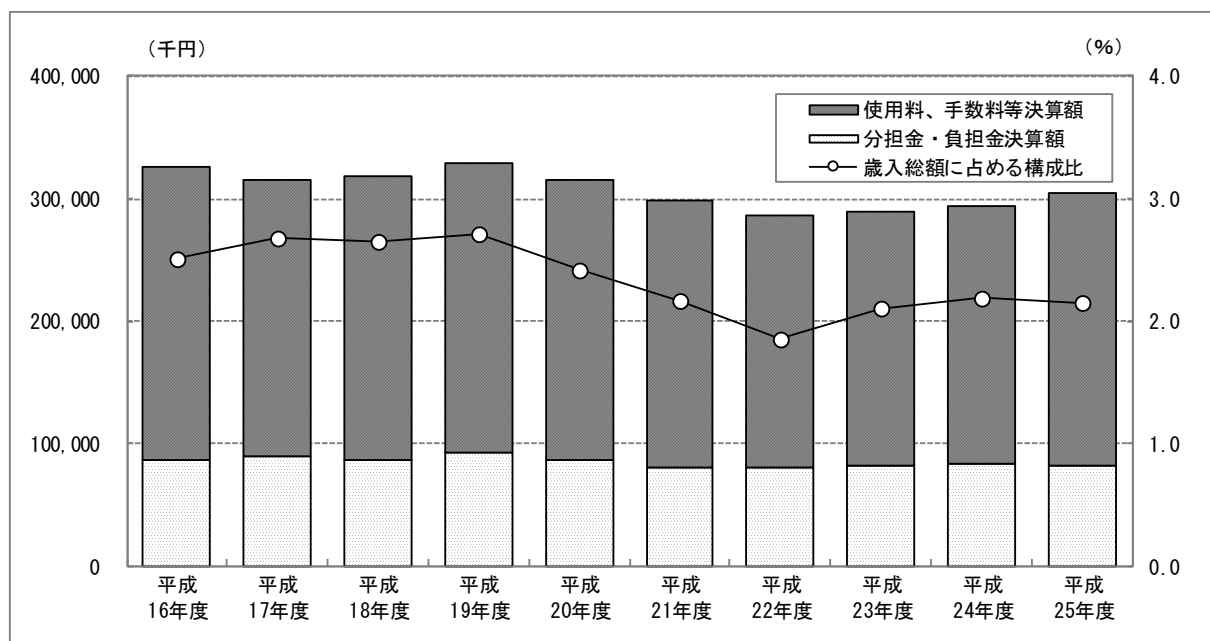
分担金・負担金は、平成 16 年度以降ほぼ 8 千万円台で推移している。

一方、使用料、手数料等の合計は平成 16 年度以降 2 億円台で推移しており、平成 25 年度においても 2.2 億円となっている。

| (千円、%)               |            |            |            |            |            |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 区 分                  | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
| 歳入決算額合計              | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 分担金・負担金<br>決算額       | 86,643     | 89,890     | 85,666     | 91,896     | 85,790     |
| 分担金・負担金<br>決算額の構成比   | 0.7        | 0.8        | 0.7        | 0.8        | 0.7        |
| 使用料、手数料<br>決算額       | 239,704    | 225,461    | 232,776    | 237,352    | 229,434    |
| 使用料、手数料<br>決算額の構成比   | 1.8        | 1.9        | 1.9        | 2.0        | 1.8        |
| 歳入決算額合計に<br>占める構成比合計 | 2.5        | 2.7        | 2.6        | 2.7        | 2.4        |

| 区 分                  | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計              | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 分担金・負担金<br>決算額       | 80,001     | 79,699     | 82,132     | 83,358     | 81,428     |
| 分担金・負担金<br>決算額の構成比   | 0.6        | 0.5        | 0.6        | 0.6        | 0.6        |
| 使用料、手数料<br>決算額       | 218,899    | 206,721    | 207,786    | 210,218    | 223,867    |
| 使用料、手数料<br>決算額の構成比   | 1.6        | 1.3        | 1.5        | 1.6        | 1.6        |
| 歳入決算額合計に<br>占める構成比合計 | 2.2        | 1.9        | 2.1        | 2.2        | 2.1        |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

平成 25 年度における瑞穂町の歳入決算額に占める分担金・負担金の割合を他団体と比較すると、瑞穂町の割合は 0.6%であり他と比べて低くなっている。

また、使用料・手数料の割合を他団体と比較すると、瑞穂町の割合は 1.6%であり福生市と同じ割合となっている。

〔分担金・負担金、使用料・手数料の比較：平成 25 年度〕

(千円)

| 区 分                | 瑞穂町        | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市        |
|--------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額総額            | 14,200,029 | 47,518,683 | 23,122,988 | 27,584,388 | 21,473,078 |
| 分担金・負担金<br>決算額     | 81,428     | 945,234    | 221,188    | 317,676    | 205,015    |
| 分担金・負担金<br>決算額の構成比 | 0.6        | 2.0        | 1.0        | 1.2        | 1.0        |
| 使用料・手数料<br>決算額     | 223,867    | 1,092,429  | 370,586    | 246,890    | 435,116    |
| 使用料・手数料<br>決算額の構成比 | 1.6        | 2.3        | 1.6        | 0.9        | 2.0        |

| 区 分                | 瑞穂町        | 日の出町      | 入間市        |
|--------------------|------------|-----------|------------|
| 歳入決算額総額            | 14,200,029 | 9,041,668 | 40,766,639 |
| 分担金・負担金<br>決算額     | 81,428     | 105,153   | 456,645    |
| 分担金・負担金<br>決算額の構成比 | 0.6        | 1.2       | 1.1        |
| 使用料・手数料<br>決算額     | 223,867    | 64,807    | 787,419    |
| 使用料・手数料<br>決算額の構成比 | 1.6        | 0.7       | 1.9        |

(8) 繰入金及び繰越金の推移と状況

瑞穂町の繰入金と繰越金の推移は以下の通りである。

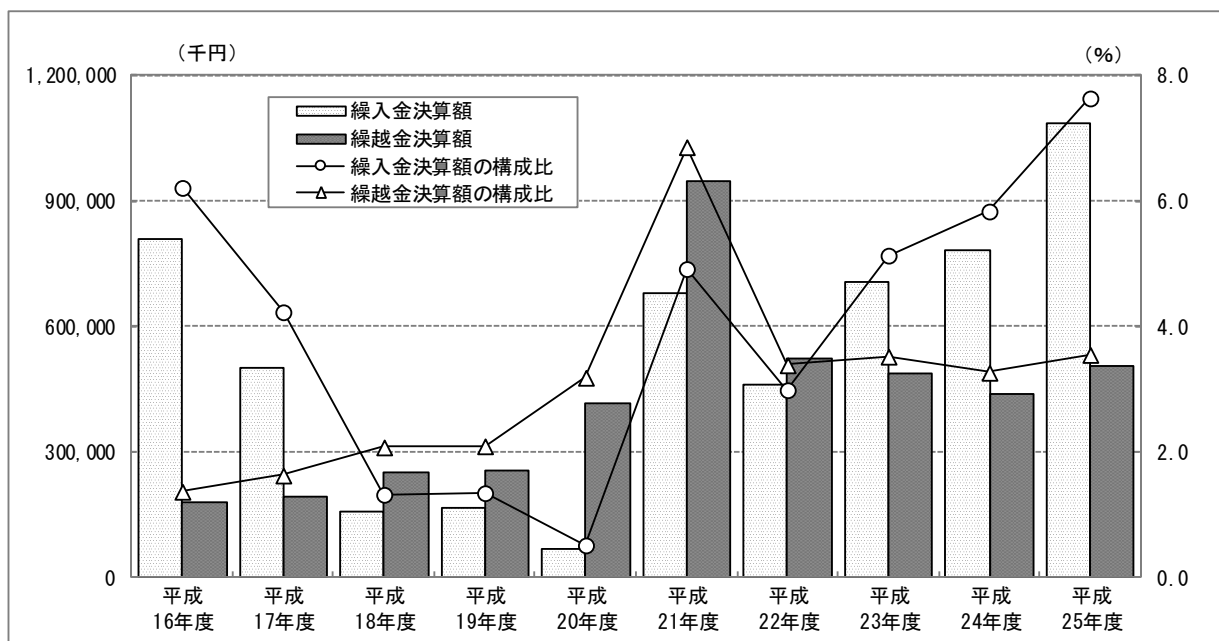
繰入金は、町の他の会計や基金（貯金）から繰り入れるものであるが、平成 23 年度以降は増加傾向にあり、平成 25 年度には 10.9 億円となっている。

繰越金は、町の決算剰余金（実質収支）を翌年度に繰り越して使用するものであるが、平成 25 年度以降は 5.0 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計        | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 繰入金決算額         | 808,477    | 497,879    | 157,436    | 162,193    | 65,442     |
| 繰入金決算額の<br>構成比 | 6.2        | 4.2        | 1.3        | 1.3        | 0.5        |
| 繰越金決算額         | 176,782    | 190,552    | 248,430    | 253,084    | 414,905    |
| 繰越金決算額の<br>構成比 | 1.4        | 1.6        | 2.1        | 2.1        | 3.2        |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計        | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 繰入金決算額         | 678,367    | 461,211    | 706,947    | 783,783    | 1,085,195  |
| 繰入金決算額の<br>構成比 | 4.9        | 3.0        | 5.1        | 5.8        | 7.6        |
| 繰越金決算額         | 946,978    | 522,776    | 484,501    | 437,732    | 503,335    |
| 繰越金決算額の<br>構成比 | 6.9        | 3.4        | 3.5        | 3.3        | 3.5        |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

平成 25 年度における瑞穂町の歳入決算額に占める繰入金及び繰越金割合を他団体と比較すると、繰入金割合においては非常に高く、また繰越金割合はほぼ同水準となっている。

〔繰入金、繰越金の比較：平成 25 年度〕

（千円）

| 区 分            | 瑞穂町        | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市        |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額総額        | 14,200,029 | 47,518,683 | 23,122,988 | 27,584,388 | 21,473,078 |
| 繰入金決算額         | 1,085,195  | 457,496    | 508,265    | 881,761    | 1,270,420  |
| 繰入金決算額の<br>構成比 | 7.6        | 1.0        | 2.2        | 3.2        | 5.9        |
| 繰越金決算額         | 503,335    | 824,829    | 739,573    | 910,950    | 541,364    |
| 繰越金決算額の<br>構成比 | 3.5        | 1.7        | 3.2        | 3.3        | 2.5        |

| 区 分            | 瑞穂町        | 日の出町      | 入間市        |
|----------------|------------|-----------|------------|
| 歳入決算額総額        | 14,200,029 | 9,041,668 | 40,766,639 |
| 繰入金決算額         | 1,085,195  | 10,024    | 126,258    |
| 繰入金決算額の<br>構成比 | 7.6        | 0.1       | 0.3        |
| 繰越金決算額         | 503,335    | 206,973   | 1,386,493  |
| 繰越金決算額の<br>構成比 | 3.5        | 2.3       | 3.4        |

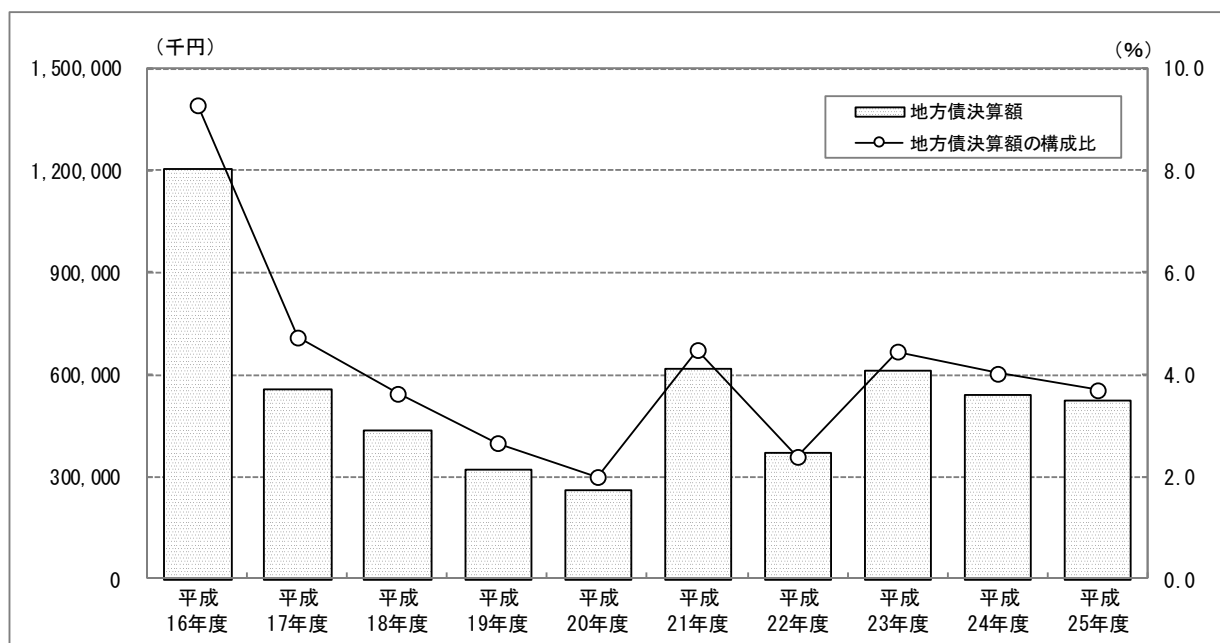
# (9) 地方債の推移と状況

地方債は、財政上必要とする資金を外部から調達するために負担する債務で、その返済が一会計年度を越えて行われ、各年度に必要な経費を一定した町税等の収入でまかなえるようにするための措置であるが、平成 16 年度においては突出していたものの、平成 25 年度においては 5.3 億円となっている。また、歳入決算額に占める割合も平成 25 年度においては 3.7% となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額総額        | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 地方債決算額         | 1,208,600  | 557,400    | 436,000    | 323,100    | 260,500    |
| 地方債決算額の<br>構成比 | 9.3        | 4.7        | 3.6        | 2.7        | 2.0        |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額総額        | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 地方債決算額         | 619,100    | 370,000    | 614,000    | 540,000    | 525,000    |
| 地方債決算額の<br>構成比 | 4.5        | 2.4        | 4.5        | 4.0        | 3.7        |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

平成 25 年度における瑞穂町の歳入決算額に占める地方債の割合を、他団体と比較すると以下の通りである。

福生市が 2.2%と低いものの、瑞穂町はそれに次いで低くなっている。

〔地方債の比較：平成 25 年度〕

（千円）

| 区 分            | 瑞穂町        | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市        |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額総額        | 14,200,029 | 47,518,683 | 23,122,988 | 27,584,388 | 21,473,078 |
| 地方債決算額         | 525,000    | 3,326,410  | 500,000    | 1,743,591  | 928,000    |
| 地方債決算額の<br>構成比 | 3.7        | 7.0        | 2.2        | 6.3        | 4.3        |

| 区 分            | 瑞穂町        | 日の出町      | 入間市        |
|----------------|------------|-----------|------------|
| 歳入決算額総額        | 14,200,029 | 9,041,668 | 40,766,639 |
| 地方債決算額         | 525,000    | 459,576   | 3,756,499  |
| 地方債決算額の<br>構成比 | 3.7        | 5.1       | 9.2        |

### 3. 瑞穂町の歳出状況

#### (1) 義務的経費及び投資的経費の推移と状況

義務的経費は、歳出のうち、その支出が義務づけられ任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費がこれにあたる。

瑞穂町の義務的経費の推移を見ると、平成 16 年度から平成 18 年度までは 39 億円台で推移していたが、平成 19 年度は 41.4 億円、平成 25 年度は 48.8 億円となっている。

一方投資的経費は、道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費がこれにあたる。

瑞穂町の投資的経費の推移を見ると、平成 16 年度において 30 億円を超えたが、それ以降は 20 億円台を前後し、平成 25 年度には 24.7 億円となっている。

投資的経費は、支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして後年度に及ぶ性質の経費である。

(千円)

| 区 分     | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計 | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 義務的経費   | 3,909,539  | 3,987,298  | 3,993,661  | 4,143,250  | 4,252,691  |
| 人件費決算額  | 2,073,951  | 2,096,915  | 2,091,984  | 2,080,484  | 2,027,197  |
| 公債費決算額  | 446,137    | 456,222    | 436,175    | 481,738    | 501,419    |
| 扶助費決算額  | 1,389,451  | 1,434,161  | 1,465,502  | 1,581,028  | 1,724,075  |
| 投資的経費   | 3,312,268  | 1,856,425  | 2,041,555  | 1,991,580  | 1,893,133  |

| 区 分     | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計 | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 義務的経費   | 4,277,928  | 4,898,142  | 4,850,660  | 4,852,284  | 4,881,756  |
| 人件費決算額  | 2,052,655  | 2,020,601  | 2,077,387  | 2,029,450  | 2,013,271  |
| 公債費決算額  | 465,653    | 593,734    | 419,147    | 437,904    | 473,790    |
| 扶助費決算額  | 1,759,620  | 2,283,807  | 2,354,126  | 2,384,930  | 2,394,695  |
| 投資的経費   | 2,048,788  | 2,638,149  | 2,406,276  | 1,831,843  | 2,473,788  |

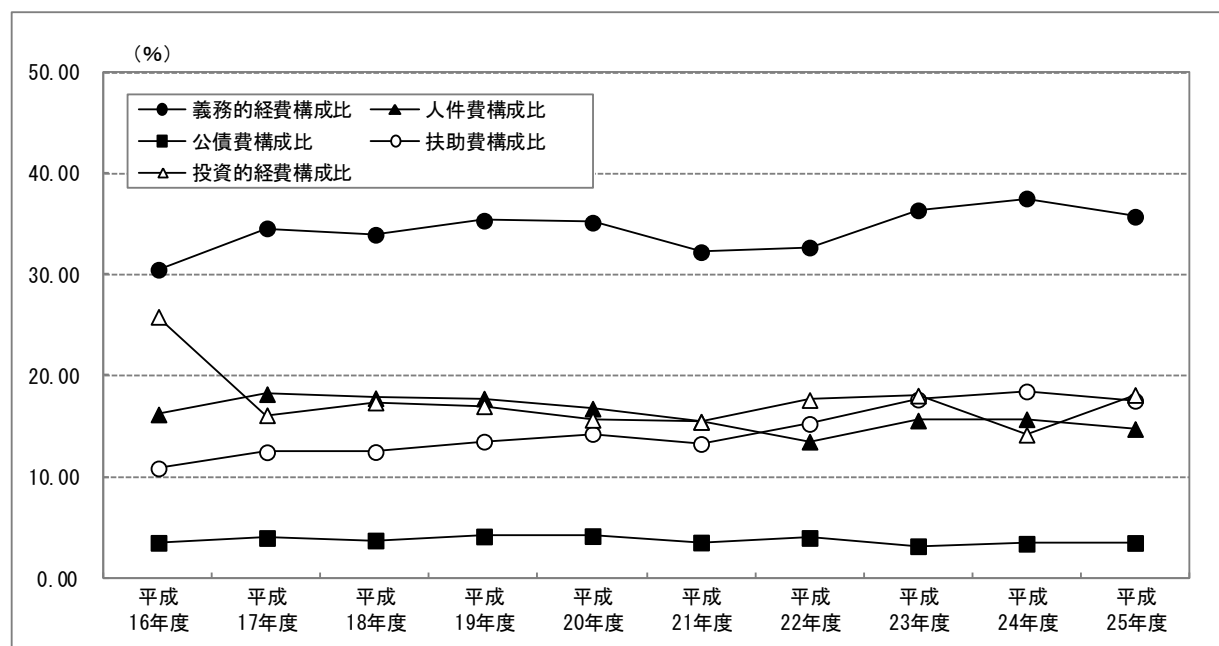
また、歳出決算額に占める義務的経費の割合を見ると、平成 16 年度には 30.49%であったものが、平成 25 年度においては 35.73%となっている。

また、義務的経費を構成する人件費、公債費、扶助費の割合の推移を見ると、人件費は概ね 15%前後で推移しているが、扶助費は近年上昇している。

(%)

| 区 分           | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 義務的経費構成比      | 30.49    | 34.58    | 33.95    | 35.34    | 35.14    |
| 人件費決算額<br>構成比 | 16.17    | 18.18    | 17.78    | 17.75    | 16.75    |
| 公債費決算額<br>構成比 | 3.48     | 3.96     | 3.71     | 4.11     | 4.14     |
| 扶助費決算額<br>構成比 | 10.84    | 12.44    | 12.46    | 13.49    | 14.25    |
| 投資的経費構成比      | 25.83    | 16.10    | 17.35    | 16.99    | 15.64    |

| 区 分           | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 義務的経費構成比      | 32.23    | 32.68    | 36.36    | 37.54    | 35.73    |
| 人件費決算額<br>構成比 | 15.46    | 13.48    | 15.57    | 15.70    | 14.74    |
| 公債費決算額<br>構成比 | 3.51     | 3.96     | 3.14     | 3.39     | 3.47     |
| 扶助費決算額<br>構成比 | 13.26    | 15.24    | 17.65    | 18.45    | 17.53    |
| 投資的経費構成比      | 15.43    | 17.60    | 18.04    | 14.17    | 18.11    |



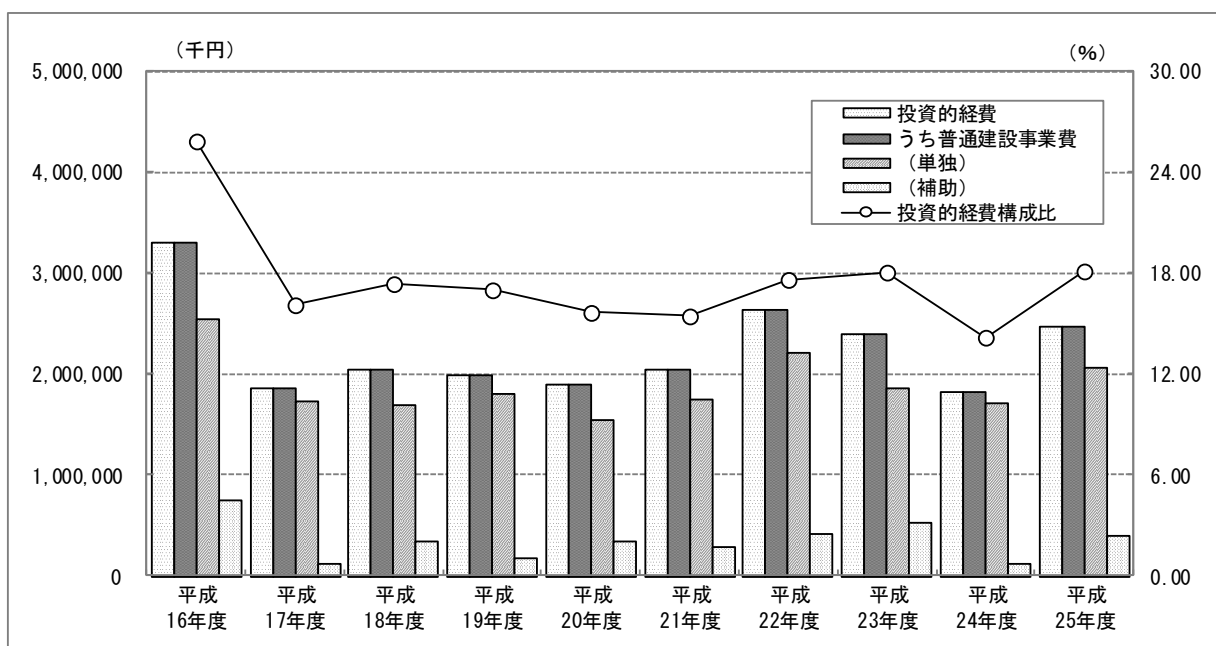
## (2) 普通建設事業費等の推移と状況

瑞穂町において投資的経費と普通建設事業費はほぼ同額である。

(千円、%)

| 区 分       | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計   | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 投資的経費決算額  | 3,312,268  | 1,856,425  | 2,041,555  | 1,991,580  | 1,893,133  |
| うち普通建設事業費 | 3,312,268  | 1,856,425  | 2,041,555  | 1,991,580  | 1,893,133  |
| (単 独)     | 2,550,736  | 1,734,886  | 1,698,354  | 1,802,942  | 1,547,481  |
| (補 助)     | 761,532    | 121,539    | 343,201    | 188,638    | 345,652    |
| (その他)     | —          | —          | —          | —          | —          |
| 投資的経費構成比  | 25.83      | 16.10      | 17.35      | 16.99      | 15.64      |

| 区 分       | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計   | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 投資的経費決算額  | 2,048,788  | 2,638,149  | 2,406,276  | 1,831,843  | 2,473,788  |
| うち普通建設事業費 | 2,048,788  | 2,638,149  | 2,403,270  | 1,830,737  | 2,467,758  |
| (単 独)     | 1,748,258  | 2,223,124  | 1,867,881  | 1,711,859  | 2,071,971  |
| (補 助)     | 300,530    | 415,025    | 535,389    | 118,721    | 395,787    |
| (その他)     | —          | —          | —          | —          | —          |
| 投資的経費構成比  | 15.43      | 17.60      | 18.04      | 14.17      | 18.11      |



### 3－②. 瑞穂町の歳出状況（目的別）

#### (1) 議会費の推移と状況

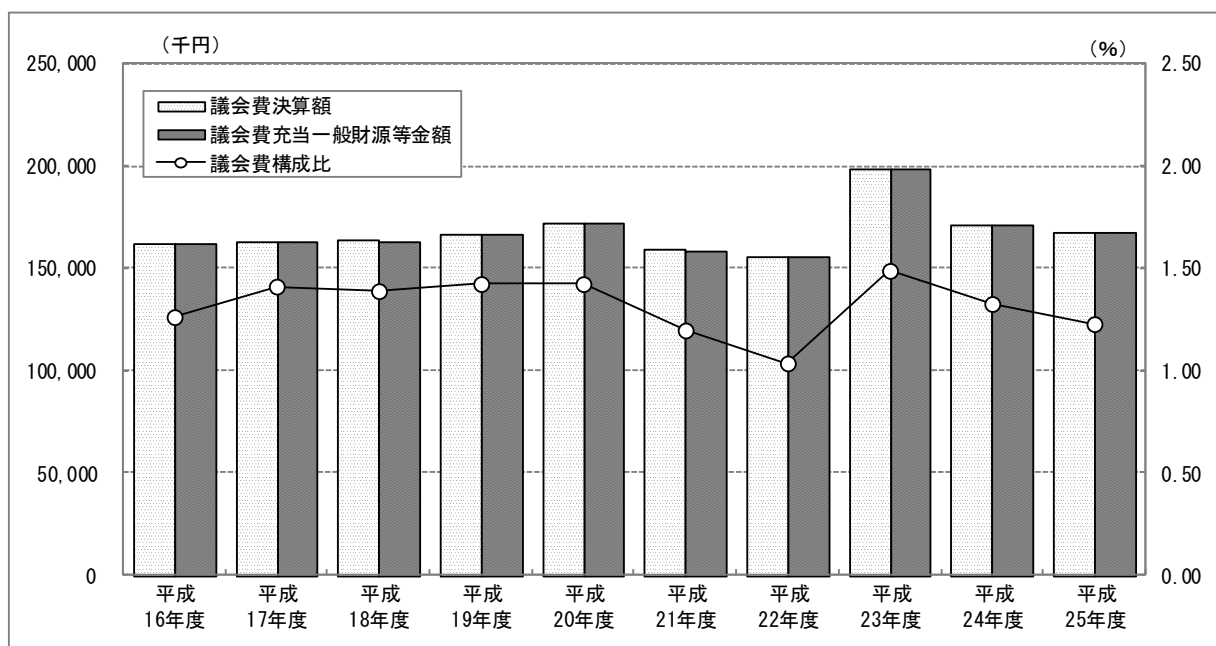
議会費は年度によって多少の変動をしながら推移し、平成 25 年度においては 1.7 億円となっている。

また議会費の構成比は 1.0%から 1.5%の間を推移しているが、平成 25 年度においては 1.2%となっている。

(千円、%)

| 区 分        | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計    | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 議会費決算額     | 161,812    | 162,731    | 163,378    | 166,908    | 172,236    |
| 議会費充当一般財源等 | 161,812    | 162,731    | 163,078    | 166,708    | 172,236    |
| 議会費構成比     | 1.26       | 1.41       | 1.39       | 1.42       | 1.42       |

| 区 分        | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計    | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 議会費決算額     | 158,871    | 155,219    | 198,498    | 171,421    | 167,755    |
| 議会費充当一般財源等 | 157,871    | 155,219    | 198,498    | 171,421    | 167,755    |
| 議会費構成比     | 1.20       | 1.04       | 1.49       | 1.33       | 1.23       |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

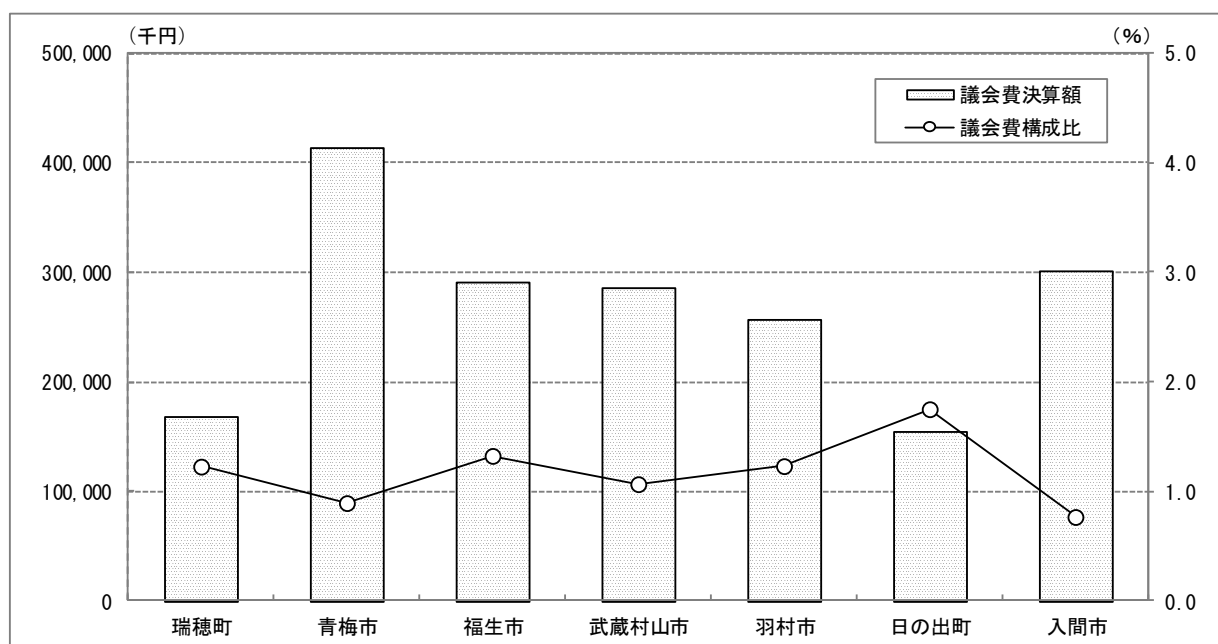
平成 25 年度における瑞穂町の議会費の割合を他団体と比較すると、以下の通りであるが、ほぼ同水準となっている。

〔議会費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分        | 瑞穂町     | 青梅市     | 福生市     | 武蔵村山市   | 羽村市     |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 議会費決算額     | 167,755 | 414,599 | 291,826 | 285,511 | 256,923 |
| 議会費充当一般財源等 | 167,755 | 414,465 | 291,826 | 285,511 | 256,923 |
| 議会費構成比     | 1.2     | 0.9     | 1.3     | 1.1     | 1.2     |

| 区 分        | 瑞穂町     | 日の出町    | 入間市     |
|------------|---------|---------|---------|
| 議会費決算額     | 167,755 | 154,320 | 300,690 |
| 議会費充当一般財源等 | 167,755 | 154,320 | 300,690 |
| 議会費構成比     | 1.2     | 1.8     | 0.8     |



## (2) 総務費の推移と状況

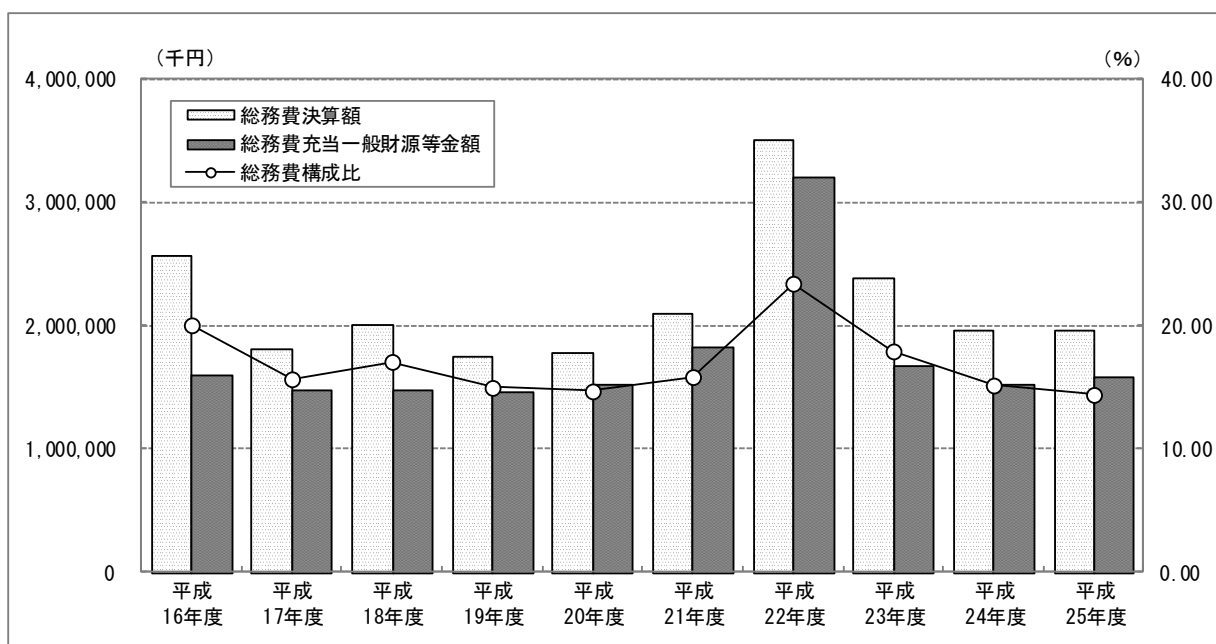
総務（広報、財政、財産、企画等）・税務・戸籍・選挙・統計・監査に関することに係る費用である総務費は、平成 16 年度に 25.7 億円であったが、増減を繰り返しながら減少傾向を続け、平成 25 年度においては 19.6 億円にまで低下している。

また、歳出に占める割合は平成 22 年度に 23.40%となったが、平成 25 年度においては 14.38%となっている。

(千円、%)

| 区 分        | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計    | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 総務費決算額     | 2,568,168  | 1,804,314  | 2,006,783  | 1,752,722  | 1,774,682  |
| 総務費充当一般財源等 | 1,595,718  | 1,480,844  | 1,471,258  | 1,457,714  | 1,521,991  |
| 総務費構成比     | 20.03      | 15.65      | 17.06      | 14.95      | 14.67      |

| 区 分        | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計    | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 総務費決算額     | 2,100,864  | 3,507,483  | 2,389,344  | 1,957,119  | 1,964,583  |
| 総務費充当一般財源等 | 1,821,964  | 3,199,653  | 1,673,420  | 1,521,952  | 1,579,801  |
| 総務費構成比     | 15.83      | 23.40      | 17.91      | 15.14      | 14.38      |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

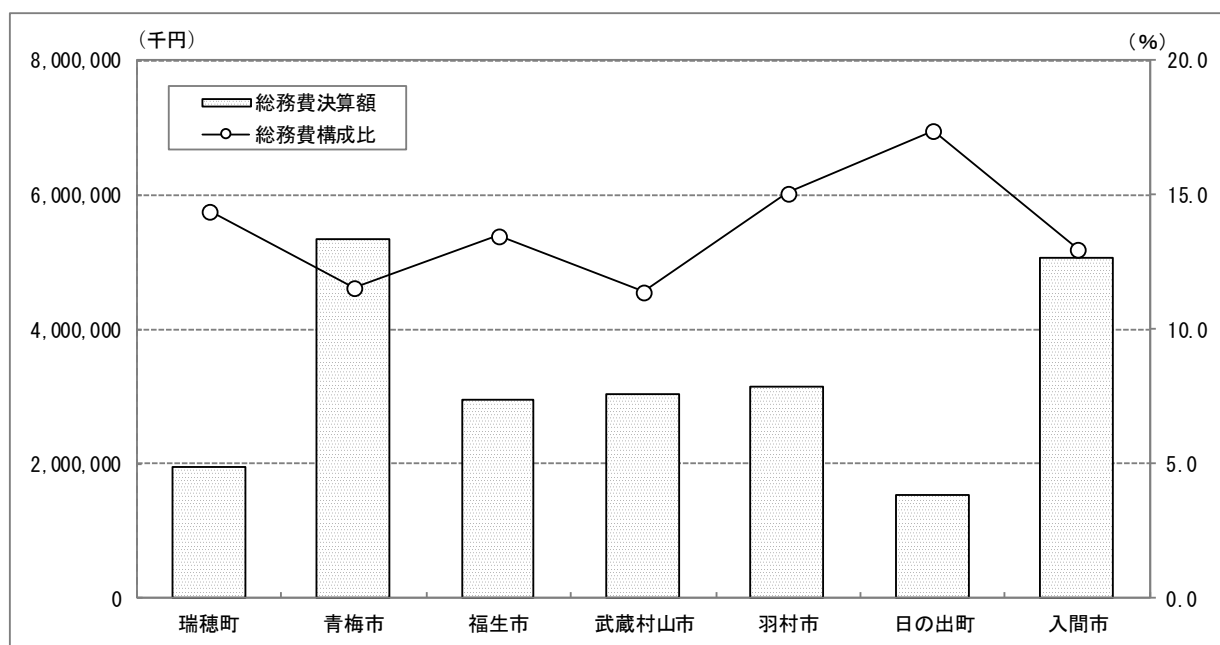
平成 25 年度における瑞穂町の総務費の割合を他団体と比較すると、以下の通りである。  
瑞穂町の割合は 14.4%であるが、他団体と比べ多少高くなっている。

〔総務費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分        | 瑞穂町       | 青梅市       | 福生市       | 武蔵村山市     | 羽村市       |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総務費決算額     | 1,964,583 | 5,345,972 | 2,963,019 | 3,042,307 | 3,137,390 |
| 総務費充当一般財源等 | 1,579,801 | 4,682,540 | 2,723,290 | 2,767,238 | 2,646,346 |
| 総務費構成比     | 14.4      | 11.5      | 13.5      | 11.4      | 15.0      |

| 区 分        | 瑞穂町       | 日の出町      | 入間市       |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 総務費決算額     | 1,964,583 | 1,530,744 | 5,078,180 |
| 総務費充当一般財源等 | 1,579,801 | 1,426,469 | 4,620,545 |
| 総務費構成比     | 14.4      | 17.4      | 13.0      |



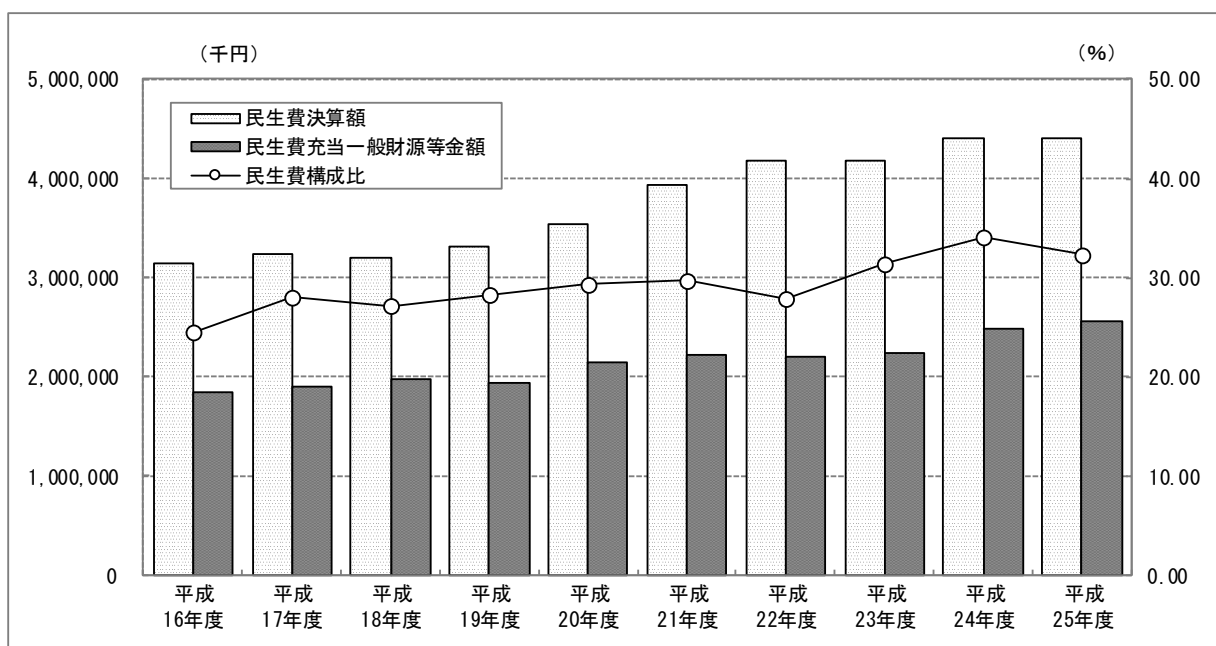
### (3) 民生費の推移と状況

社会福祉（高齢者、障がい者、人権など）・児童福祉（子育て、保育所など）に関することに係る費用である民生費は、平成 20 年度以降増加傾向となっており、平成 25 年度においては 44.1 億円、32.29%となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 民生費決算額         | 3,142,939  | 3,231,051  | 3,197,243  | 3,317,139  | 3,546,928  |
| 民生費充当<br>一般財源等 | 1,843,435  | 1,894,257  | 1,971,676  | 1,946,338  | 2,146,651  |
| 民生費構成比         | 24.51      | 28.02      | 27.18      | 28.29      | 29.31      |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 民生費決算額         | 3,942,082  | 4,179,055  | 4,186,698  | 4,407,868  | 4,411,189  |
| 民生費充当<br>一般財源等 | 2,227,883  | 2,193,497  | 2,232,463  | 2,491,940  | 2,556,590  |
| 民生費構成比         | 29.70      | 27.89      | 31.38      | 34.10      | 32.29      |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

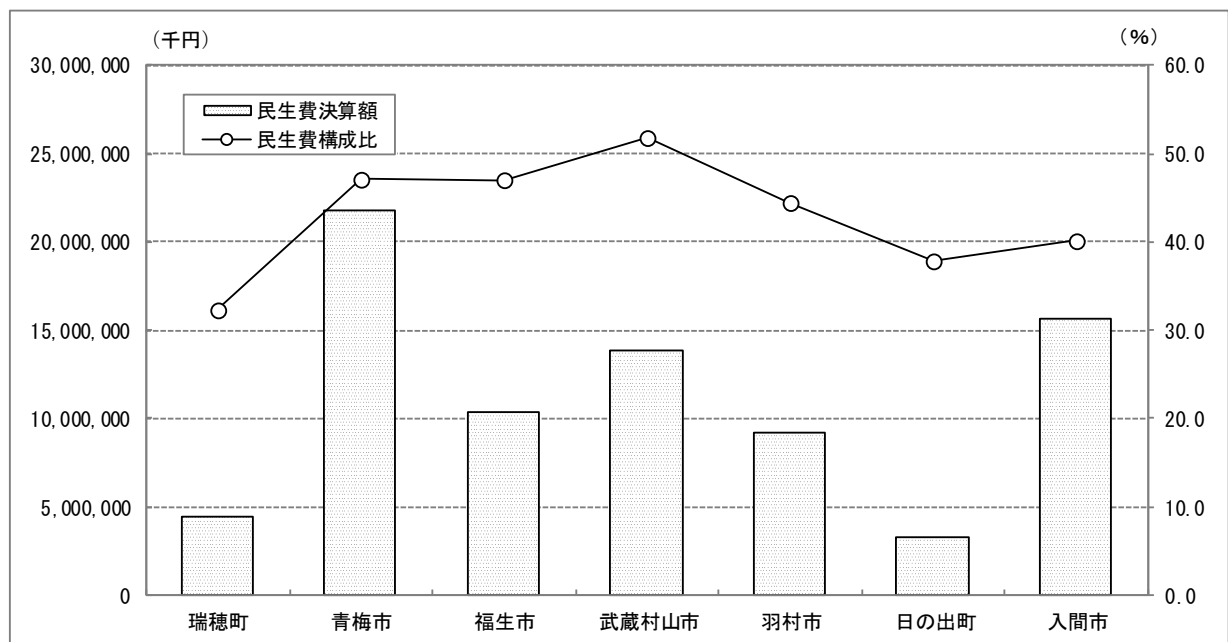
平成 25 年度における瑞穂町の民生費の割合を他団体と比較すると、以下の通りである。  
瑞穂町の割合は 32.3%であるが、他団体と比べ低い水準である。

〔民生費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分            | 瑞穂町       | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市       |
|----------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|
| 民生費決算額         | 4,411,189 | 21,819,617 | 10,351,006 | 13,855,282 | 9,265,142 |
| 民生費充当<br>一般財源等 | 2,556,590 | 9,217,560  | 4,917,793  | 6,399,021  | 4,659,201 |
| 民生費構成比         | 32.3      | 47.1       | 47.0       | 51.8       | 44.4      |

| 区 分            | 瑞穂町       | 日の出町      | 入間市        |
|----------------|-----------|-----------|------------|
| 民生費決算額         | 4,411,189 | 3,332,098 | 15,712,444 |
| 民生費充当<br>一般財源等 | 2,556,590 | 1,760,608 | 8,904,184  |
| 民生費構成比         | 32.3      | 37.8      | 40.1       |



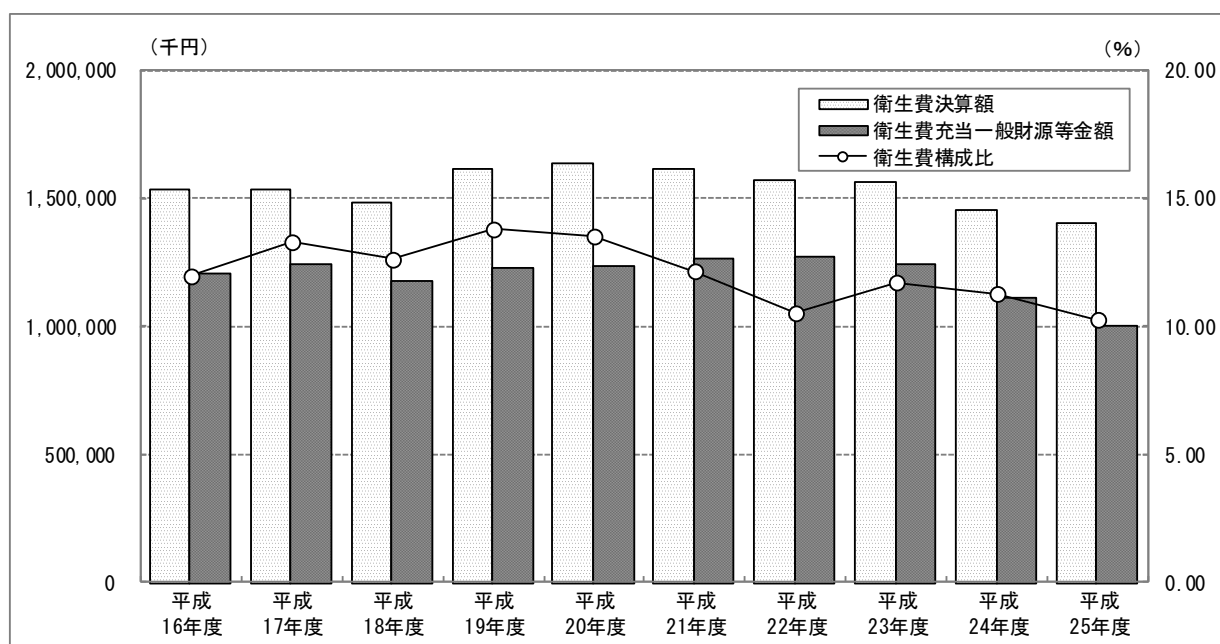
#### (4) 衛生費の推移と状況

保健衛生（医療、健康づくり、環境など）・清掃（ごみ処理、し尿処理など）に関することに係る費用である衛生費は、平成 19 年度から平成 21 年度までは 16 億円台であったが、平成 22 年度以降減少傾向に転じ平成 25 年度は 14 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 衛生費決算額         | 1,533,170  | 1,532,841  | 1,483,367  | 1,616,962  | 1,635,745  |
| 衛生費充当<br>一般財源等 | 1,207,491  | 1,241,551  | 1,180,807  | 1,231,732  | 1,237,401  |
| 衛生費構成比         | 11.96      | 13.29      | 12.61      | 13.79      | 13.52      |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 衛生費決算額         | 1,613,849  | 1,575,630  | 1,563,111  | 1,457,112  | 1,401,695  |
| 衛生費充当<br>一般財源等 | 1,266,968  | 1,270,986  | 1,246,091  | 1,113,249  | 1,003,911  |
| 衛生費構成比         | 12.16      | 10.51      | 11.72      | 11.27      | 10.26      |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

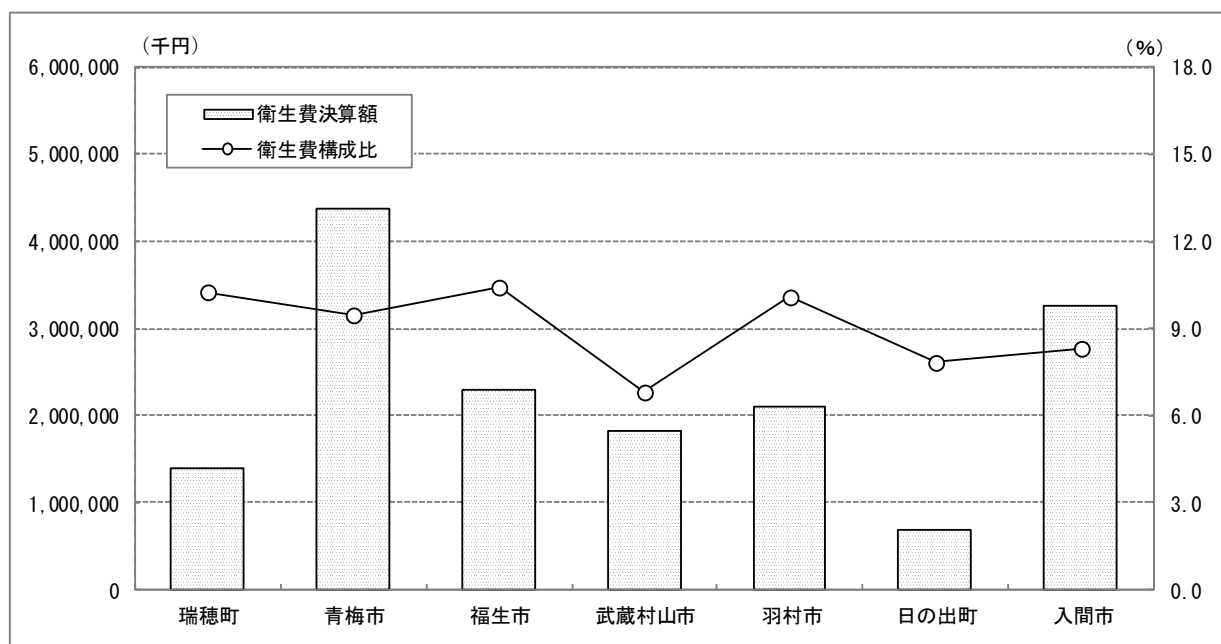
平成 25 年度における瑞穂町の衛生費の割合を他団体と比較すると、以下の通りである。  
瑞穂町の割合は 10.3%であるが、他団体よりも多少高い傾向にある。

〔衛生費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分            | 瑞穂町       | 青梅市       | 福生市       | 武蔵村山市     | 羽村市       |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 衛生費決算額         | 1,401,695 | 4,385,716 | 2,293,688 | 1,820,419 | 2,102,035 |
| 衛生費充当<br>一般財源等 | 1,003,911 | 3,067,754 | 1,354,889 | 1,407,327 | 1,303,332 |
| 衛生費構成比         | 10.3      | 9.5       | 10.4      | 6.8       | 10.1      |

| 区 分            | 瑞穂町       | 日の出町    | 入間市       |
|----------------|-----------|---------|-----------|
| 衛生費決算額         | 1,401,695 | 689,105 | 3,256,143 |
| 衛生費充当<br>一般財源等 | 1,003,911 | 426,245 | 2,898,326 |
| 衛生費構成比         | 10.3      | 7.8     | 8.3       |



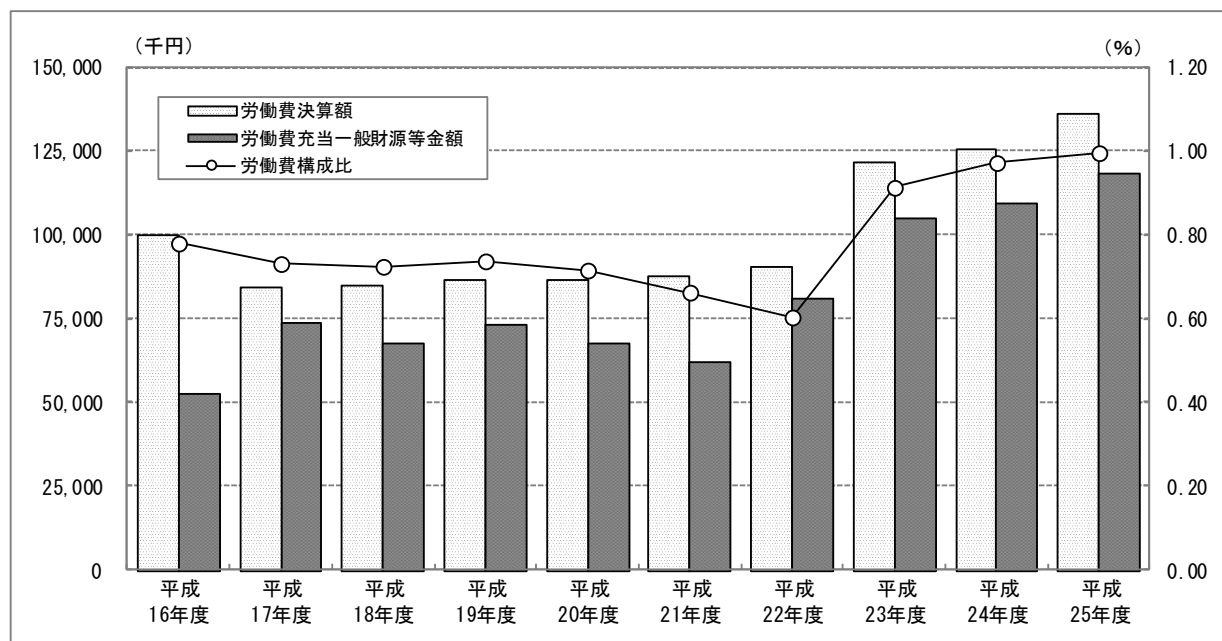
# (5) 労働費の推移と状況

労働（雇用、勤労者など）に関することに係る費用である労働費は、近年増加傾向にあり、平成 25 年度には 1.4 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 労働費決算額         | 100,005    | 84,304     | 85,229     | 86,467     | 86,589     |
| 労働費充当<br>一般財源等 | 52,886     | 73,688     | 67,613     | 73,170     | 67,859     |
| 労働費構成比         | 0.78       | 0.73       | 0.72       | 0.74       | 0.72       |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 労働費決算額         | 87,982     | 90,441     | 121,819    | 125,684    | 136,065    |
| 労働費充当<br>一般財源等 | 61,930     | 80,924     | 105,376    | 109,488    | 118,591    |
| 労働費構成比         | 0.66       | 0.60       | 0.91       | 0.97       | 1.00       |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

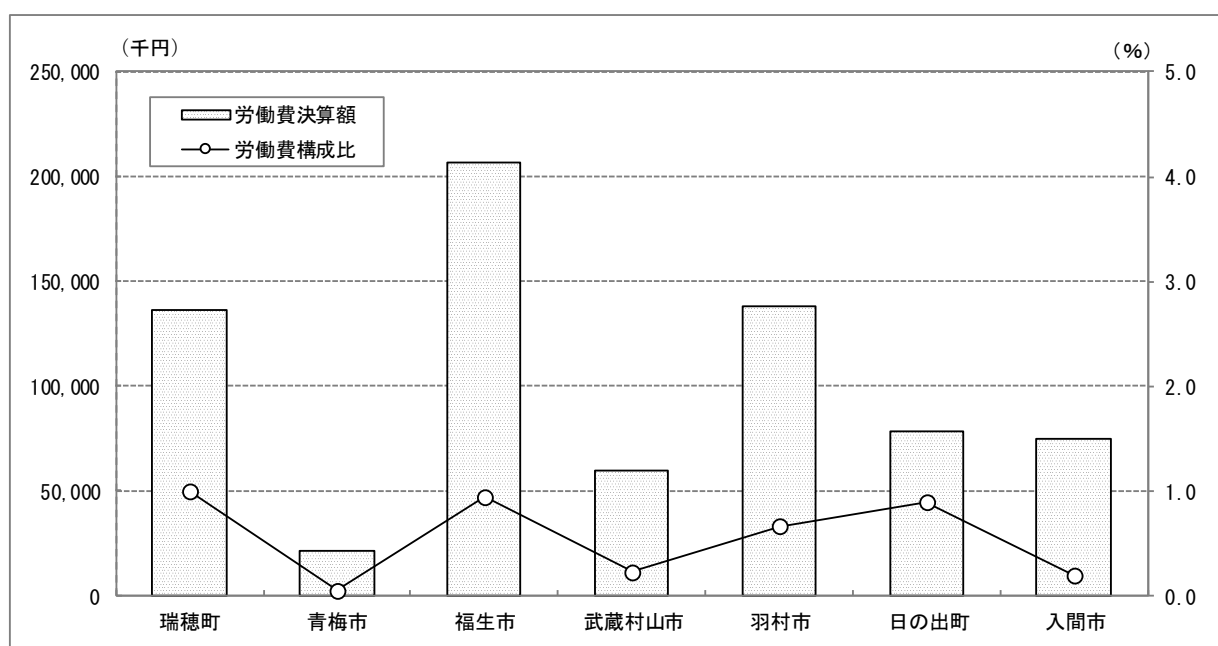
平成 25 年度における瑞穂町の労働費の割合を他団体と比較すると、福生市や日の出町とほぼ同じ割合であるが、その他の団体と比べると多少高くなっている。

〔労働費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分            | 瑞穂町     | 青梅市    | 福生市     | 武蔵村山市  | 羽村市     |
|----------------|---------|--------|---------|--------|---------|
| 労働費決算額         | 136,065 | 20,924 | 206,981 | 59,256 | 138,288 |
| 労働費充当<br>一般財源等 | 118,591 | 11,659 | 163,723 | 24,664 | 120,705 |
| 労働費構成比         | 1.0     | 0.0    | 0.9     | 0.2    | 0.7     |

| 区 分            | 瑞穂町     | 日の出町   | 入間市    |
|----------------|---------|--------|--------|
| 労働費決算額         | 136,065 | 78,618 | 75,017 |
| 労働費充当<br>一般財源等 | 118,591 | 66,346 | 16,598 |
| 労働費構成比         | 1.0     | 0.9    | 0.2    |



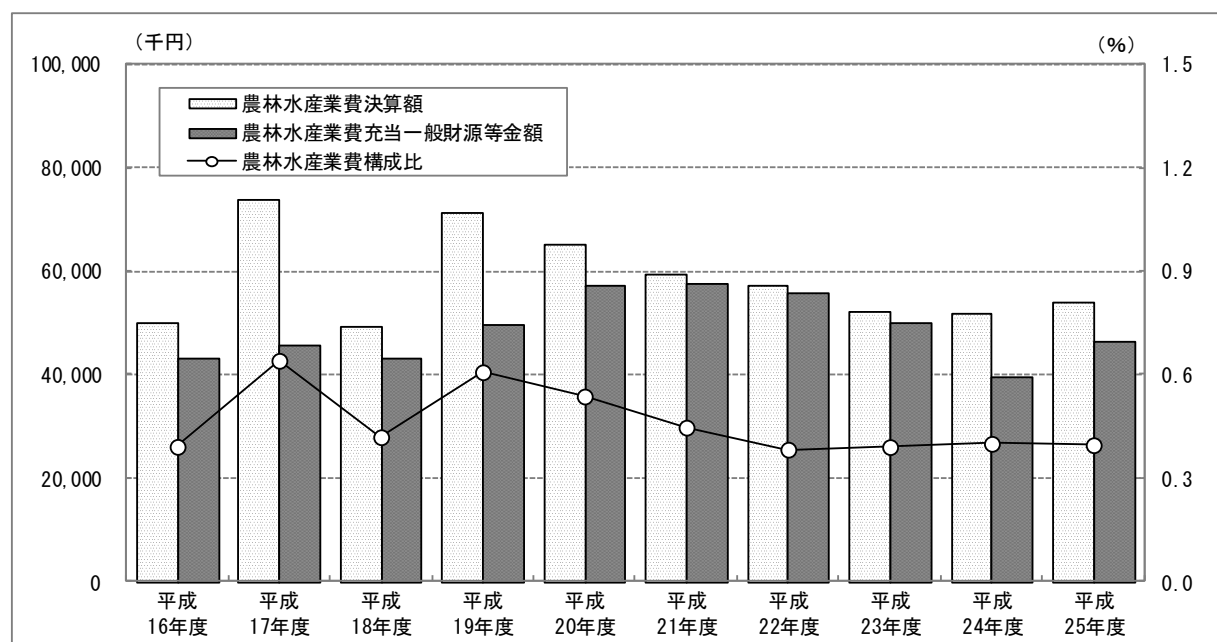
# (6) 農林水産業費の推移と状況

農業（農業振興、農道等）に関することに係る費用である農林水産業費は、平成 25 年度においては 5.4 千万円となっている。

(千円、%)

| 区 分               | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計           | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 農林水産業費<br>決算額     | 50,165     | 73,891     | 49,307     | 71,233     | 65,006     |
| 農林水産業費<br>充当一般財源等 | 43,129     | 45,716     | 43,030     | 49,678     | 57,251     |
| 農林水産業費<br>構成比     | 0.39       | 0.64       | 0.42       | 0.61       | 0.54       |

| 区 分               | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計           | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 農林水産業費<br>決算額     | 59,335     | 57,406     | 52,097     | 51,708     | 54,110     |
| 農林水産業費<br>充当一般財源等 | 57,636     | 55,796     | 49,942     | 39,542     | 46,563     |
| 農林水産業費<br>構成比     | 0.45       | 0.38       | 0.39       | 0.40       | 0.40       |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

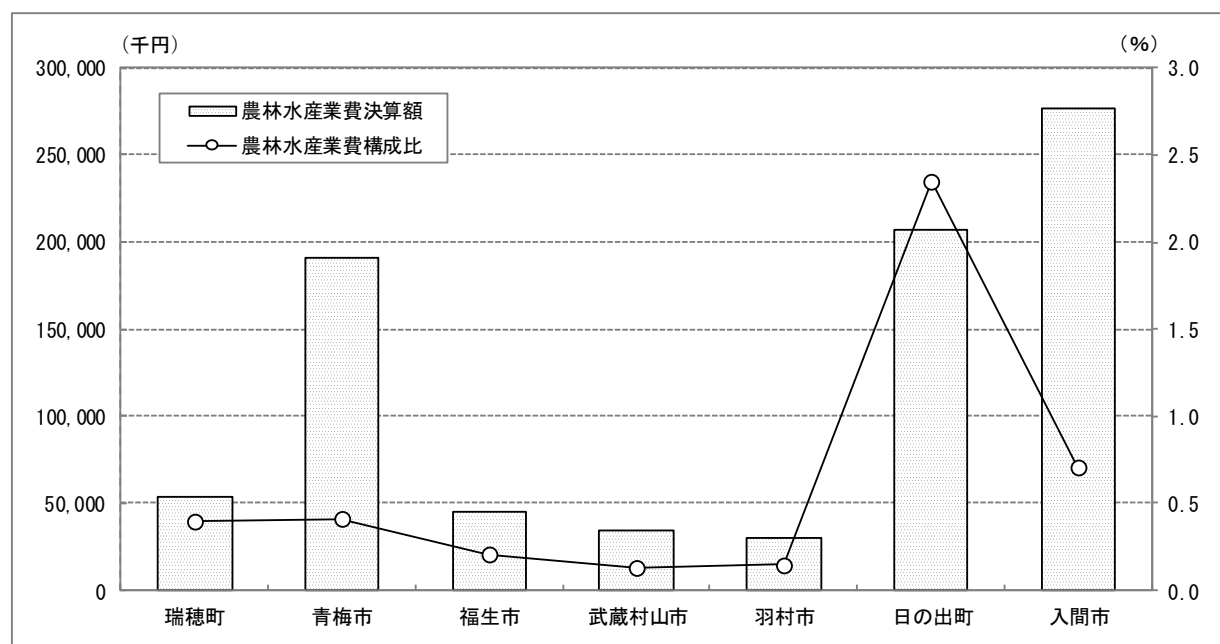
平成 25 年度における瑞穂町の農林水産業費の割合を他団体と比較すると、以下の通りである。他団体に比べて多少高い割合となっている。

〔農林水産業費の比較：平成 25 年度〕

（千円、％）

| 区 分               | 瑞穂町    | 青梅市     | 福生市    | 武蔵村山市  | 羽村市    |
|-------------------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 農林水産業費<br>決算額     | 54,110 | 190,835 | 45,647 | 34,769 | 30,120 |
| 農林水産業費<br>充当一般財源等 | 46,563 | 125,057 | 44,907 | 33,422 | 27,001 |
| 農林水産業費<br>構成比     | 0.4    | 0.4     | 0.2    | 0.1    | 0.1    |

| 区 分               | 瑞穂町    | 日の出町    | 入間市     |
|-------------------|--------|---------|---------|
| 農林水産業費<br>決算額     | 54,110 | 206,780 | 276,988 |
| 農林水産業費<br>充当一般財源等 | 46,563 | 73,700  | 145,867 |
| 農林水産業費<br>構成比     | 0.4    | 2.3     | 0.7     |



# (7) 商工費の推移と状況

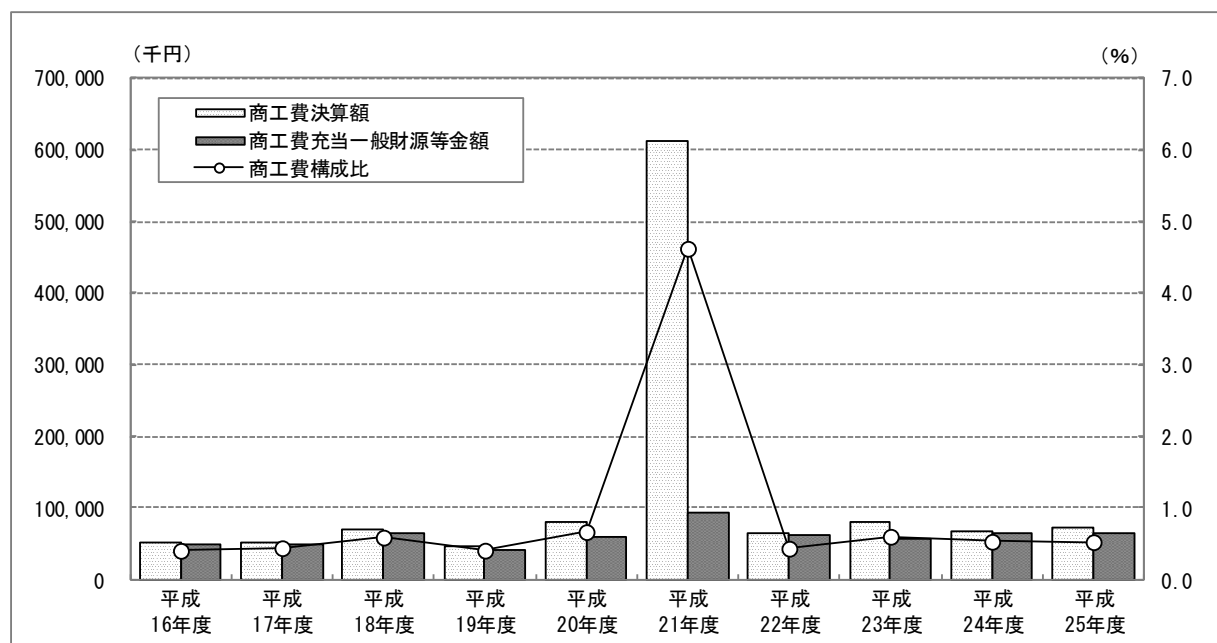
商工業の振興に係る費用である商工費は、平成 21 年度には 6.1 億円となったが、平成 22 年度以降は平成 20 年度以降の水準に戻り、平成 25 年度においては 7.2 千万円となっている。

また歳出に占める割合は、平成 25 年度においては 0.53%となっている。

(千円、%)

| 区 分        | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計    | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 商工費決算額     | 52,212     | 51,173     | 69,624     | 48,046     | 80,907     |
| 商工費充当一般財源等 | 50,775     | 49,266     | 65,516     | 42,132     | 60,368     |
| 商工費構成比     | 0.41       | 0.44       | 0.59       | 0.41       | 0.67       |

| 区 分        | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計    | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 商工費決算額     | 613,753    | 65,480     | 80,504     | 68,992     | 72,143     |
| 商工費充当一般財源等 | 92,748     | 61,558     | 57,364     | 65,484     | 66,188     |
| 商工費構成比     | 4.62       | 0.44       | 0.60       | 0.53       | 0.53       |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

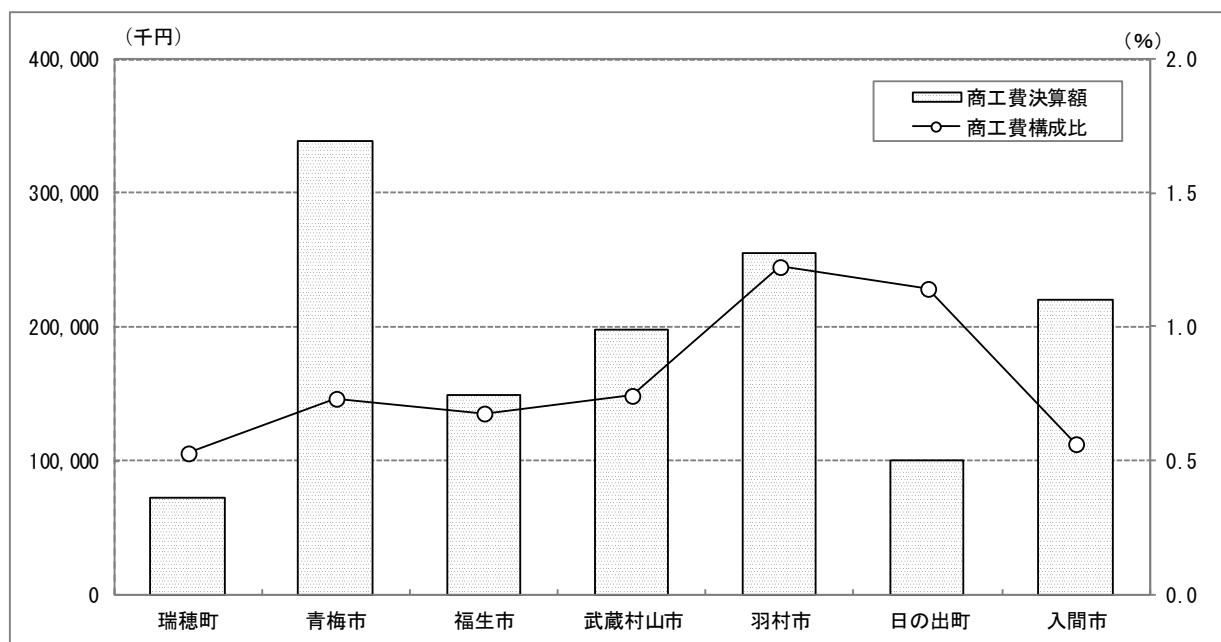
平成 25 年度における瑞穂町の商工費を他団体と比べると、僅かではあるが低くなっている。

〔商工費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分            | 瑞穂町    | 青梅市     | 福生市     | 武蔵村山市   | 羽村市     |
|----------------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 商工費決算額         | 72,143 | 339,261 | 149,003 | 198,721 | 255,321 |
| 商工費充当<br>一般財源等 | 66,188 | 265,752 | 104,829 | 170,679 | 242,169 |
| 商工費構成比         | 0.5    | 0.7     | 0.7     | 0.7     | 1.2     |

| 区 分            | 瑞穂町    | 日の出町    | 入間市     |
|----------------|--------|---------|---------|
| 商工費決算額         | 72,143 | 100,669 | 220,291 |
| 商工費充当<br>一般財源等 | 66,188 | 63,633  | 130,287 |
| 商工費構成比         | 0.5    | 1.1     | 0.6     |



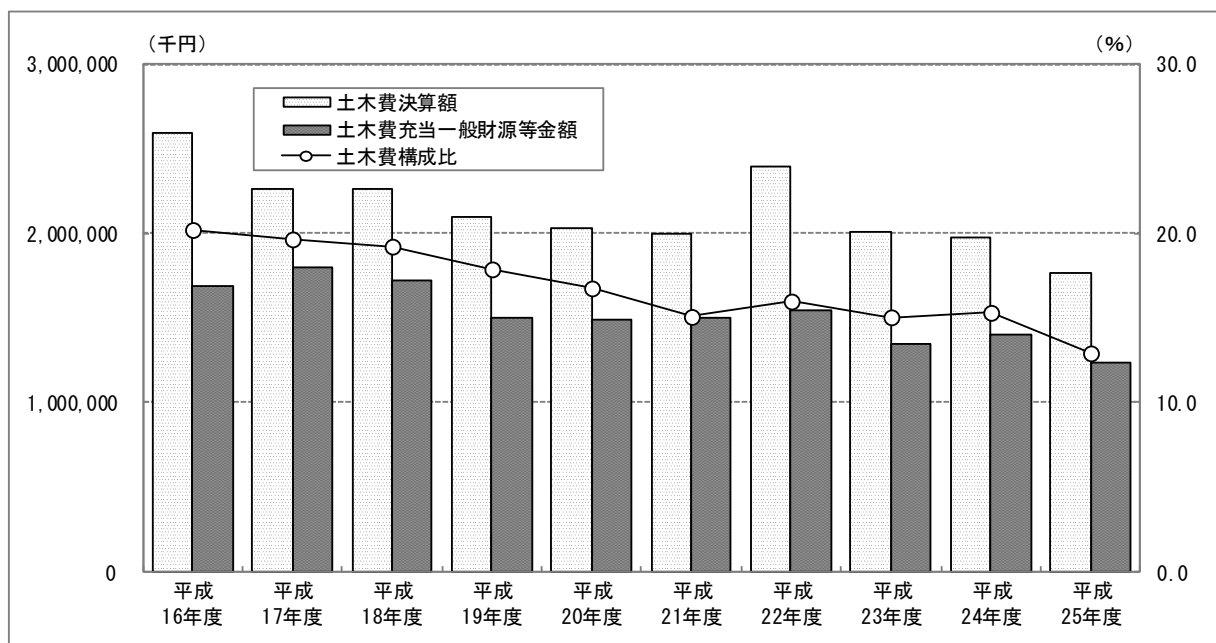
# (8) 土木費の推移と状況

道路・河川・都市計画（公園等）・住宅に関することに係る費用である土木費は、平成 16 年度の 25.9 億円をピークに減少し、平成 25 年度においては 17.7 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 土木費決算額         | 2,593,232  | 2,268,028  | 2,263,399  | 2,098,175  | 2,029,174  |
| 土木費充当<br>一般財源等 | 1,692,672  | 1,804,847  | 1,723,444  | 1,505,384  | 1,494,988  |
| 土木費構成比         | 20.22      | 19.67      | 19.24      | 17.90      | 16.77      |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 土木費決算額         | 2,002,290  | 2,397,069  | 2,008,897  | 1,981,081  | 1,765,991  |
| 土木費充当<br>一般財源等 | 1,502,190  | 1,546,147  | 1,344,348  | 1,405,996  | 1,238,544  |
| 土木費構成比         | 15.08      | 15.99      | 15.06      | 15.33      | 12.93      |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

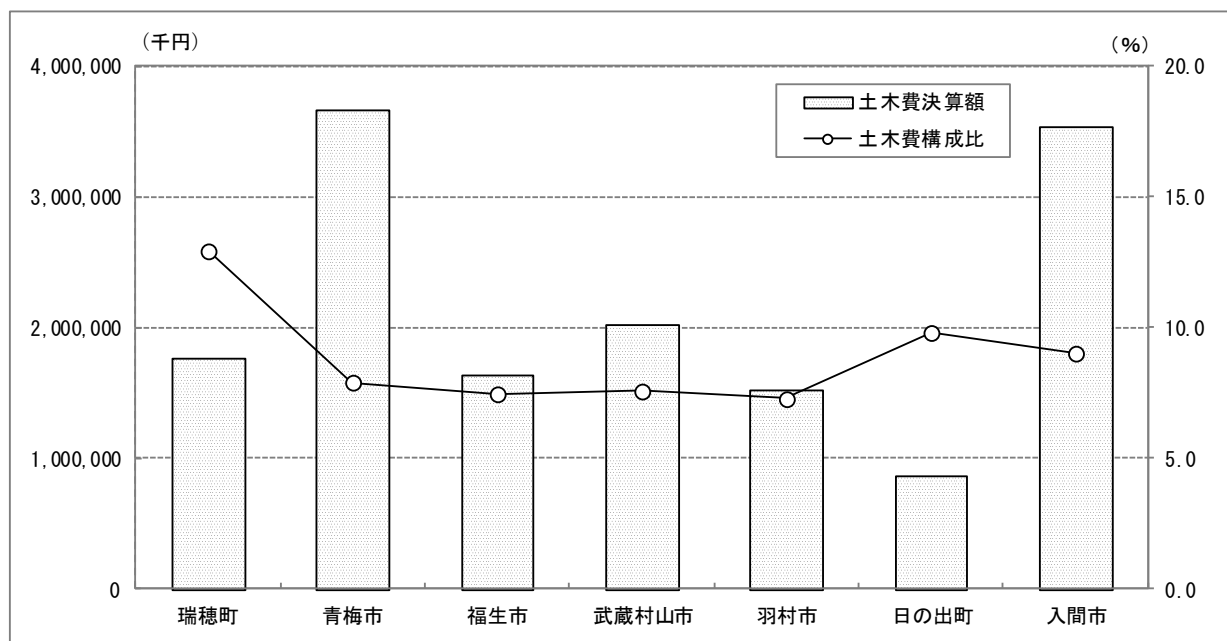
平成 25 年度における瑞穂町の土木費を他団体と比べると、以下の通りである。瑞穂町の割合は 12.9% となっており、他団体に比べ高い割合となっている。

〔土木費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分            | 瑞穂町       | 青梅市       | 福生市       | 武蔵村山市     | 羽村市       |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 土木費決算額         | 1,765,991 | 3,664,051 | 1,642,607 | 2,024,172 | 1,516,677 |
| 土木費充当<br>一般財源等 | 1,238,544 | 2,948,558 | 989,230   | 1,219,992 | 1,273,749 |
| 土木費構成比         | 12.9      | 7.9       | 7.5       | 7.6       | 7.3       |

| 区 分            | 瑞穂町       | 日の出町    | 入間市       |
|----------------|-----------|---------|-----------|
| 土木費決算額         | 1,765,991 | 863,510 | 3,531,565 |
| 土木費充当<br>一般財源等 | 1,238,544 | 319,379 | 2,360,123 |
| 土木費構成比         | 12.9      | 9.8     | 9.0       |



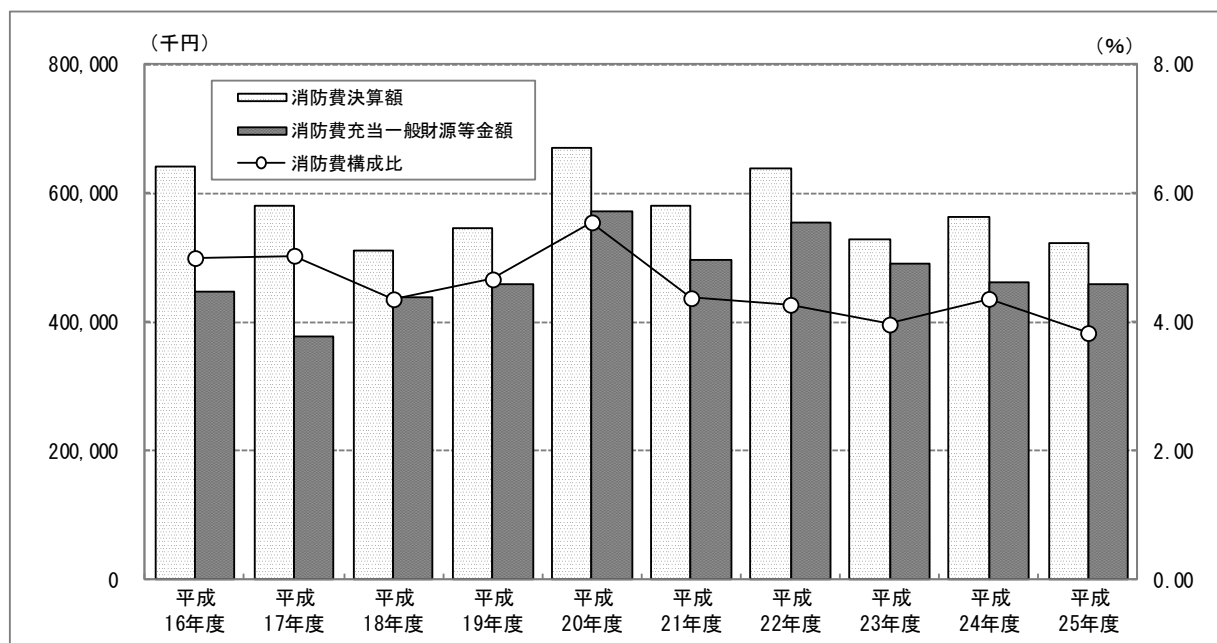
# (9) 消防費の推移と状況

消防（火災予防、防災、水防など）に関することに係る費用である消防費は、平成 25 年度においては 5.2 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 消防費決算額         | 640,445    | 580,110    | 512,258    | 546,697    | 671,602    |
| 消防費充当<br>一般財源等 | 446,037    | 377,241    | 439,917    | 460,282    | 571,222    |
| 消防費構成比         | 4.99       | 5.03       | 4.35       | 4.66       | 5.55       |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 消防費決算額         | 580,206    | 639,675    | 528,485    | 563,651    | 523,155    |
| 消防費充当<br>一般財源等 | 496,777    | 555,973    | 490,919    | 462,217    | 459,342    |
| 消防費構成比         | 4.37       | 4.27       | 3.96       | 4.36       | 3.83       |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

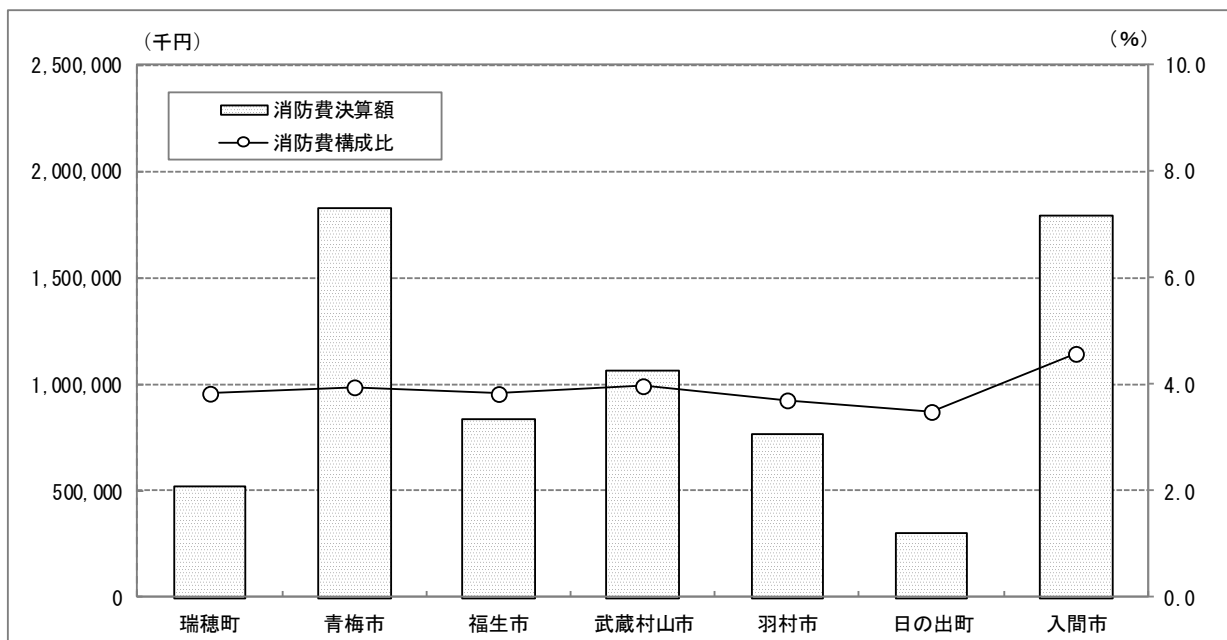
平成 25 年度における瑞穂町の消防費を他団体と比べると、ほぼ同水準となっている。

〔消防費の比較：平成 25 年度〕

（千円、％）

| 区 分            | 瑞穂町     | 青梅市       | 福生市     | 武蔵村山市     | 羽村市     |
|----------------|---------|-----------|---------|-----------|---------|
| 消防費決算額         | 523,155 | 1,830,168 | 841,592 | 1,061,871 | 772,126 |
| 消防費充当<br>一般財源等 | 459,342 | 1,481,753 | 580,524 | 545,198   | 588,210 |
| 消防費構成比         | 3.8     | 3.9       | 3.8     | 4.0       | 3.7     |

| 区 分            | 瑞穂町     | 日の出町    | 入間市       |
|----------------|---------|---------|-----------|
| 消防費決算額         | 523,155 | 307,036 | 1,793,178 |
| 消防費充当<br>一般財源等 | 459,342 | 164,956 | 1,745,863 |
| 消防費構成比         | 3.8     | 3.5     | 4.6       |



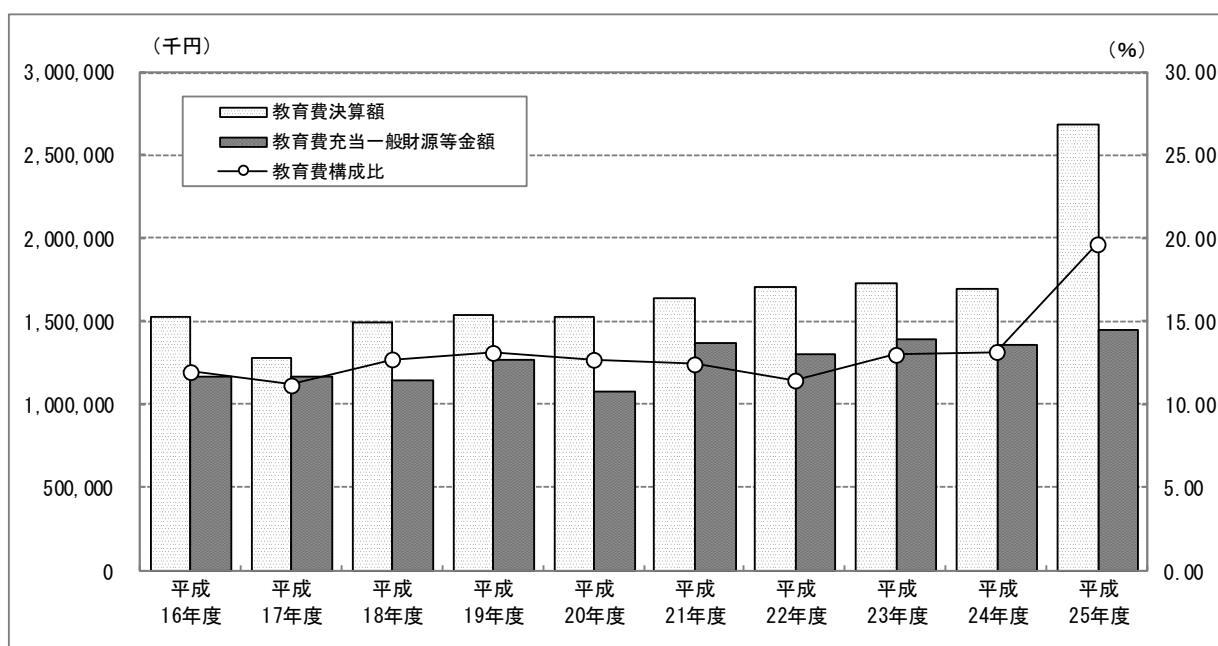
# (10)教育費の推移と状況

学校教育（幼稚園、小・中学校）・社会教育・生涯学習・保健体育に関することに係る費用である教育費は、平成 22 年度以降 17 億円台に上昇したが、平成 25 年度においては 26.9 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分        | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計    | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 教育費決算額     | 1,533,815  | 1,286,717  | 1,497,177  | 1,538,076  | 1,537,190  |
| 教育費充当一般財源等 | 1,171,769  | 1,171,941  | 1,152,511  | 1,270,352  | 1,080,657  |
| 教育費構成比     | 11.96      | 11.16      | 12.73      | 13.12      | 12.70      |

| 区 分        | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計    | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 教育費決算額     | 1,649,729  | 1,716,453  | 1,734,316  | 1,703,168  | 2,685,997  |
| 教育費充当一般財源等 | 1,374,903  | 1,302,242  | 1,396,783  | 1,358,358  | 1,453,084  |
| 教育費構成比     | 12.43      | 11.45      | 13.00      | 13.18      | 19.66      |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

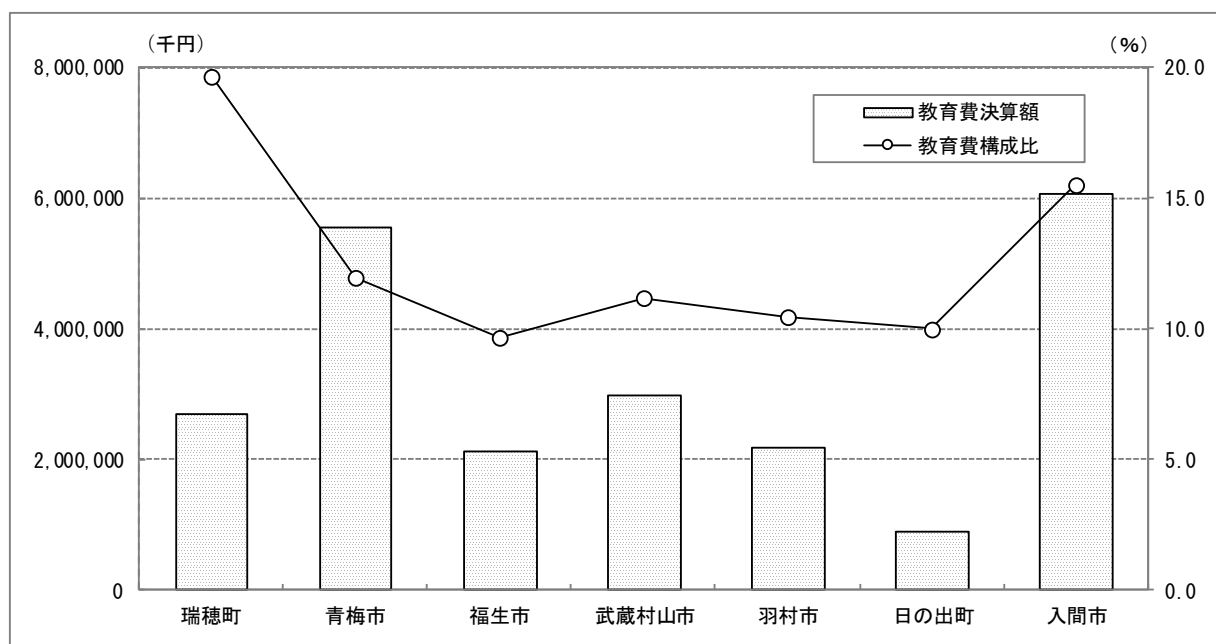
平成 25 年度における瑞穂町の教育費を他団体と比べると、以下の通りである。瑞穂町の割合は 19.7% と非常に高くなっている。

〔教育費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分            | 瑞穂町       | 青梅市       | 福生市       | 武蔵村山市     | 羽村市       |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 教育費決算額         | 2,685,997 | 5,541,151 | 2,125,701 | 2,990,121 | 2,178,556 |
| 教育費充当<br>一般財源等 | 1,453,084 | 4,330,716 | 1,772,627 | 2,449,560 | 1,603,503 |
| 教育費構成比         | 19.7      | 12.0      | 9.7       | 11.2      | 10.5      |

| 区 分            | 瑞穂町       | 日の出町    | 入間市       |
|----------------|-----------|---------|-----------|
| 教育費決算額         | 2,685,997 | 878,485 | 6,074,050 |
| 教育費充当<br>一般財源等 | 1,453,084 | 541,357 | 3,721,300 |
| 教育費構成比         | 19.7      | 10.0    | 15.5      |



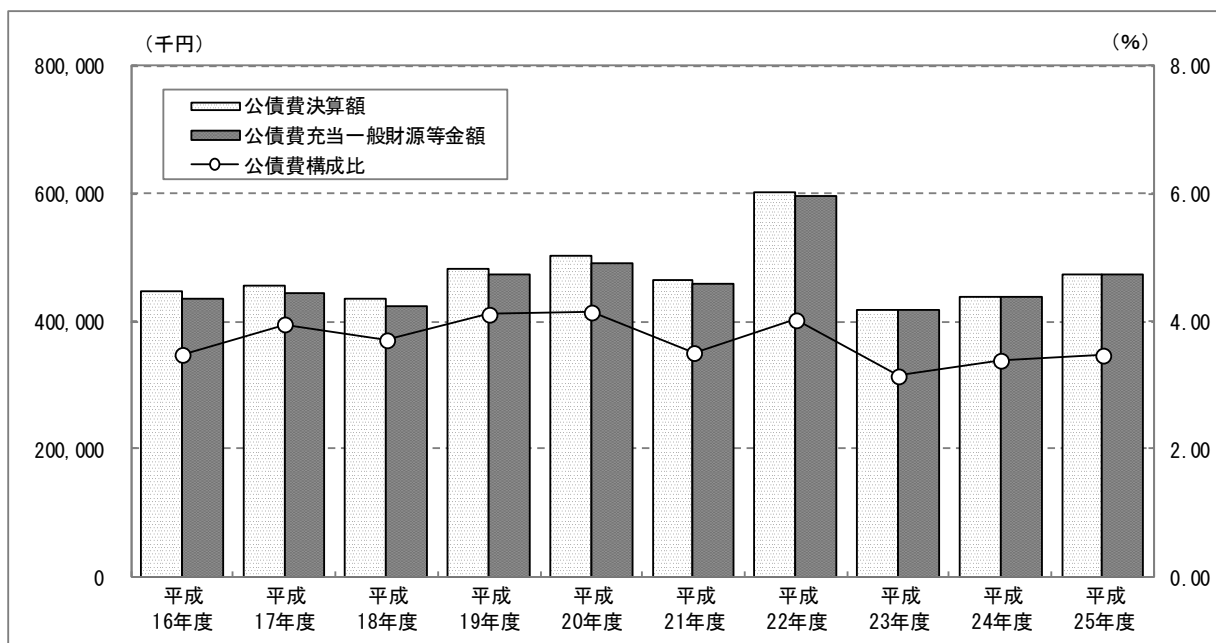
# (11) 公債費の推移と状況

町債の償還・資金調達に関することに係る費用である公債費は、平成 22 年度に 6.0 億円となったが、平成 25 年度においては 4.7 億円となっている。

(千円、%)

| 区 分            | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 12,822,100 | 11,531,382 | 11,763,940 | 11,724,163 | 12,101,478 |
| 公債費決算額         | 446,137    | 456,222    | 436,175    | 481,738    | 501,419    |
| 公債費充当<br>一般財源等 | 434,230    | 444,455    | 424,408    | 473,602    | 492,413    |
| 公債費構成比         | 3.48       | 3.96       | 3.71       | 4.11       | 4.14       |

| 区 分            | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳出決算額合計        | 13,274,614 | 14,986,507 | 13,339,922 | 12,926,814 | 13,662,503 |
| 公債費決算額         | 465,653    | 602,596    | 419,147    | 437,904    | 473,790    |
| 公債費充当<br>一般財源等 | 458,329    | 596,821    | 419,147    | 437,904    | 473,790    |
| 公債費構成比         | 3.51       | 4.02       | 3.14       | 3.39       | 3.47       |



【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

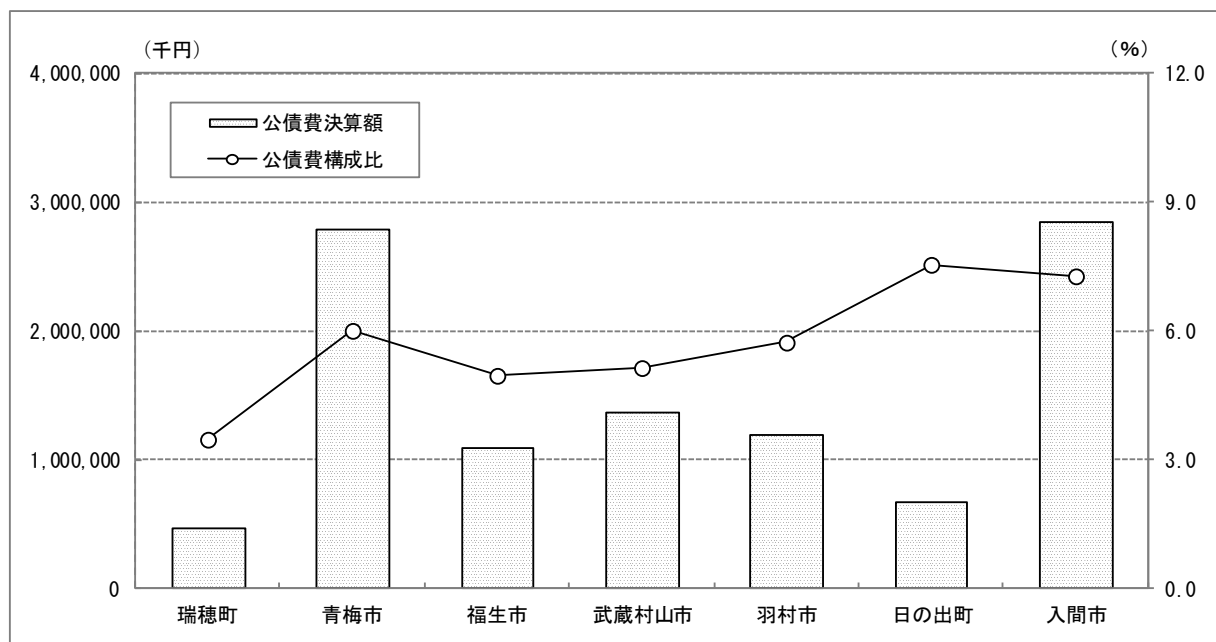
平成 25 年度における瑞穂町の公債費を他団体と比べると、以下の通りである。瑞穂町の割合は 3.5%と低くなっている。

〔公債費の比較：平成 25 年度〕

(千円、%)

| 区 分            | 瑞穂町     | 青梅市       | 福生市       | 武蔵村山市     | 羽村市       |
|----------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 公債費決算額         | 473,790 | 2,782,542 | 1,090,970 | 1,373,907 | 1,194,356 |
| 公債費充当<br>一般財源等 | 473,790 | 2,737,186 | 1,045,278 | 1,309,484 | 1,190,301 |
| 公債費構成比         | 3.5     | 6.0       | 5.0       | 5.1       | 5.7       |

| 区 分            | 瑞穂町     | 日の出町    | 入間市       |
|----------------|---------|---------|-----------|
| 公債費決算額         | 473,790 | 664,261 | 2,849,566 |
| 公債費充当<br>一般財源等 | 473,790 | 645,796 | 2,834,063 |
| 公債費構成比         | 3.5     | 7.5     | 7.3       |



(12) 目的別歳出への一般財源等充当率の推移と状況

目的別歳出への一般財源等充当率の推移をまとめると、以下の通りである。

| (%)    |          |          |          |          |          |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 区 分    | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
| 議会費    | 100.0    | 100.0    | 99.8     | 99.9     | 100.0    |
| 総務費    | 62.1     | 82.1     | 73.3     | 83.2     | 85.8     |
| 民生費    | 58.7     | 58.6     | 61.7     | 58.7     | 60.5     |
| 衛生費    | 78.8     | 81.0     | 79.6     | 76.2     | 75.6     |
| 労働費    | 52.9     | 87.4     | 79.3     | 84.6     | 78.4     |
| 農林水産業費 | 86.0     | 61.9     | 87.3     | 69.7     | 88.1     |
| 商工費    | 97.2     | 96.3     | 94.1     | 87.7     | 74.6     |
| 土木費    | 65.3     | 79.6     | 76.1     | 71.7     | 73.7     |
| 消防費    | 69.6     | 65.0     | 85.9     | 84.2     | 85.1     |
| 教育費    | 76.4     | 91.1     | 77.0     | 82.6     | 70.3     |
| 公債費    | 97.3     | 97.4     | 97.3     | 98.3     | 98.2     |

| 区 分    | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 議会費    | 99.4     | 100.0    | 100.0    | 100.0    | 100.0    |
| 総務費    | 86.7     | 91.2     | 70.0     | 77.8     | 80.4     |
| 民生費    | 56.5     | 52.5     | 53.3     | 56.5     | 58.0     |
| 衛生費    | 78.5     | 80.7     | 79.7     | 76.4     | 71.6     |
| 労働費    | 70.4     | 89.5     | 86.5     | 87.1     | 87.2     |
| 農林水産業費 | 97.1     | 97.2     | 95.9     | 76.5     | 86.1     |
| 商工費    | 15.1     | 94.0     | 71.3     | 94.9     | 91.7     |
| 土木費    | 75.0     | 64.5     | 66.9     | 71.0     | 70.1     |
| 消防費    | 85.6     | 86.9     | 92.9     | 82.0     | 87.8     |
| 教育費    | 83.3     | 75.9     | 80.5     | 79.8     | 54.1     |
| 公債費    | 98.4     | 99.0     | 100.0    | 100.0    | 100.0    |

#### 4. 瑞穂町の財政状況

##### (1) 基準財政収入額、基準財政需要額、標準財政規模の推移と現状

基準財政収入額とは、地方公共団体の標準的な一般財源収入額を、

$$\begin{aligned} \text{基準財政収入額} &= [\text{法定普通税} + \text{税交付金（利子割交付金など）} + \text{地方特例交付金}] \\ &\quad \times 75 / 100 + \text{地方譲与税} + \text{交通安全対策特別交付金} \\ &\quad ※ [\text{法定普通税} + \text{税交付金（利子割交付金など）} + \text{地方特例交付金}] \times 75 / 100 \\ &\quad \text{を基準税額と呼ぶ。} \end{aligned}$$

の式により算定したものである。つまり、各市町村の財政力を客観的、合理的に測定するために、標準的な状態で徴収が見込まれる税収入などを一定の方法で算定した額であり、標準的な税収入見込額の 75%相当額と譲与税など税外収入の 75%相当額（一部 100%）が普通交付税の算定に使われる。

基準財政需要額とは、普通交付税額を算定する場合に、地方公共団体の標準的な財政需要を算定するもので、行政項目ごとに

$$\begin{aligned} \text{基準財政需要額} &= \text{単位費用} \times (\text{測定単位の数値} \times \text{補正係数}) \\ &\quad ※ \text{単位費用} \cdots \text{測定単位の一単位当たりの単価で、標準団体（市町村は人口 10 万人、面積 160km}^2\text{）を設定し、そこで必要とされる財政需要をもとに計算される。} \\ &\quad ※ \text{測定単位} \cdots \text{行政項目の財政需用の大きさを測定するための指標で、例えば消防費の場合は人口が測定単位となる。} \\ &\quad ※ \text{補正係数} \cdots \text{各地方公共団体における自然的・社会的条件等を調整するための係数であり、人口規模に対する財政需要を補正する段階補正などがある。} \end{aligned}$$

の式により算定したものである。つまり、各市町村が、合理的で妥当な水準の行政サービス等を実施するため、または施設を維持するために必要と想定される財政需要を一定の方法で算定した額であり、普通交付税の算定に使われる。

以上の基準財政需要額から基準財政収入額を差し引いた額に調整率を乗じたものが、その年に交付される普通交付税額となる。

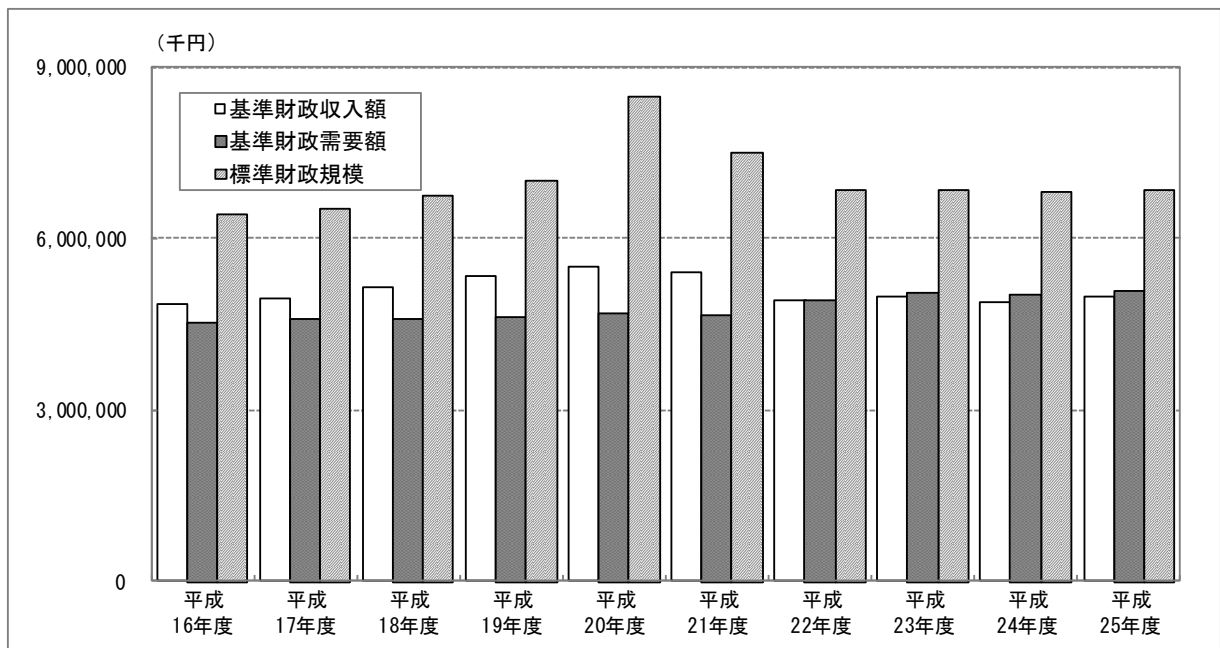
また、標準財政規模とは、地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税額と臨時財政対策債発行可能額を加えた額をいう。

瑞穂町における平成 16 年度以降の基準財政収入額は、48.5 億円から 55.1 億円の間で推移しているが、平成 25 年度においては 50.0 億円となっている。また、平成 25 年度の基準財政需要額は 50.9 億円となっている。

(千円)

| 区 分     | 平成 16 年度  | 平成 17 年度  | 平成 18 年度  | 平成 19 年度  | 平成 20 年度  |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 基準財政収入額 | 4,848,030 | 4,960,879 | 5,155,649 | 5,357,850 | 5,507,606 |
| 基準財政需要額 | 4,535,844 | 4,593,114 | 4,594,920 | 4,634,130 | 4,682,146 |
| 標準財政規模  | 6,424,660 | 6,536,357 | 6,753,043 | 7,016,345 | 8,501,520 |

| 区 分     | 平成 21 年度  | 平成 22 年度  | 平成 23 年度  | 平成 24 年度  | 平成 25 年度  |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 基準財政収入額 | 5,402,849 | 4,909,860 | 4,981,124 | 4,897,534 | 4,995,977 |
| 基準財政需要額 | 4,674,010 | 4,922,321 | 5,048,026 | 5,005,673 | 5,088,112 |
| 標準財政規模  | 7,523,867 | 6,847,082 | 6,847,011 | 6,821,168 | 6,862,712 |

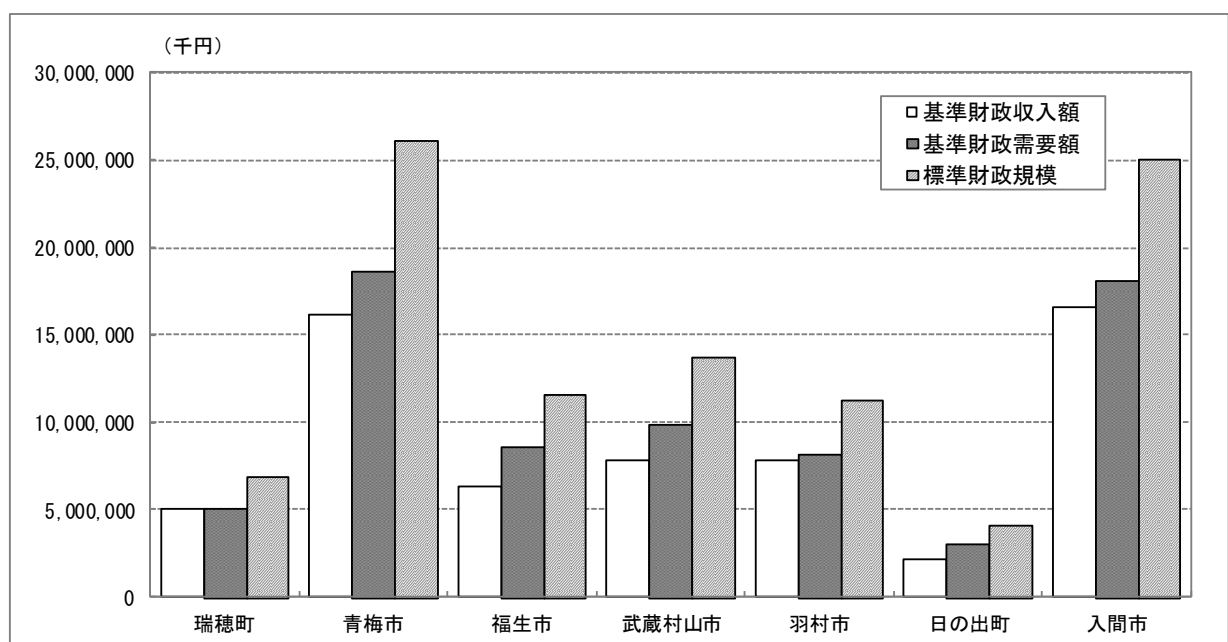


【参考：他団体との比較（平成25年度）】

(千円)

| 区 分     | 瑞穂町       | 青梅市        | 福生市        | 武蔵村山市      | 羽村市        |
|---------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 基準財政収入額 | 4,995,977 | 16,138,986 | 6,356,547  | 7,848,981  | 7,787,381  |
| 基準財政需要額 | 5,088,112 | 18,646,019 | 8,555,214  | 9,866,916  | 8,172,234  |
| 標準財政規模  | 6,862,712 | 26,083,723 | 11,518,026 | 13,667,516 | 11,233,410 |

| 区 分     | 瑞穂町       | 日の出町      | 入間市        |
|---------|-----------|-----------|------------|
| 基準財政収入額 | 4,995,977 | 2,123,476 | 16,592,760 |
| 基準財政需要額 | 5,088,112 | 3,042,941 | 18,073,227 |
| 標準財政規模  | 6,862,712 | 4,125,638 | 25,008,067 |



## (2) 財政力指数の推移と現状

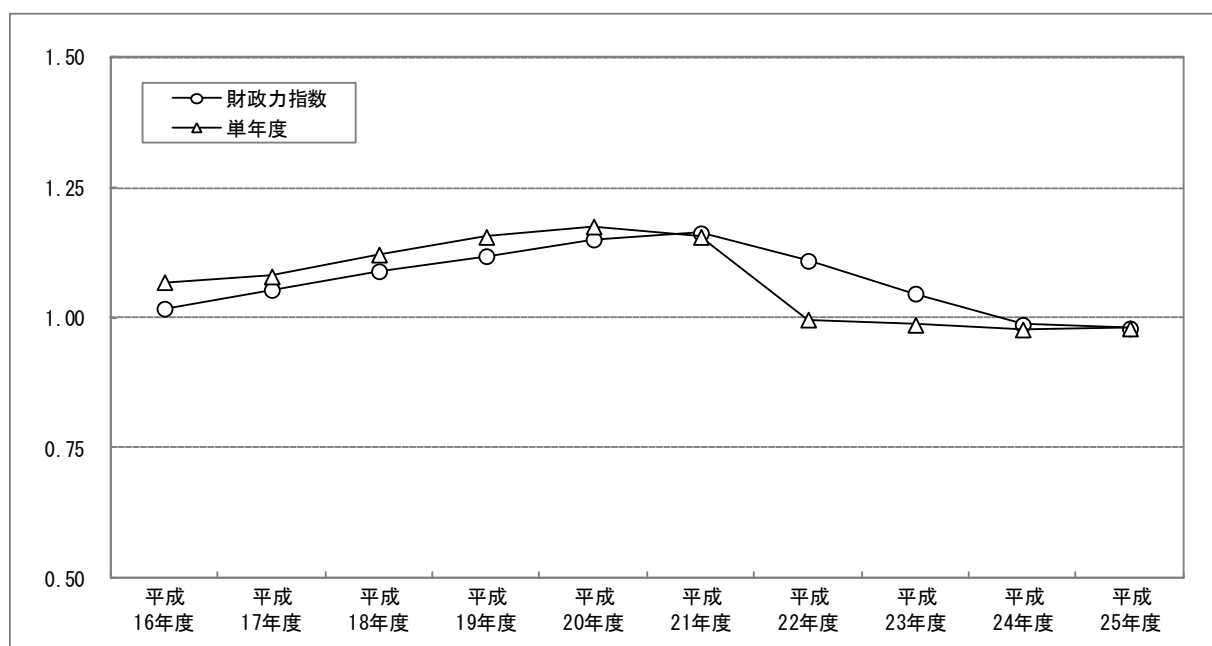
財政力指数とは、収入面からみた地方公共団体の財政の余裕の程度を示すものであるが、普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値のことで、通常過去3か年の平均値を指す。

$$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \times 100\%$$

地方公共団体の財政力を示す指標で、この値が大きいほど財政的には余裕があり、1を超えた団体は地方交付税の不交付団体ということになる。

| 区 分   | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 財政力指数 | 1.02     | 1.05     | 1.09     | 1.12     | 1.15     |
| (単年度) | 1.07     | 1.08     | 1.12     | 1.16     | 1.18     |

| 区 分   | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 財政力指数 | 1.16     | 1.11     | 1.05     | 0.99     | 0.98     |
| (単年度) | 1.16     | 1.00     | 0.99     | 0.98     | 0.98     |



### (3) 経常一般財源比率の推移と現状

経常一般財源とは、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に（継続的に）収入される一般財源（現実の収入）のことをいうが、その用途が特定されずに使用できる。

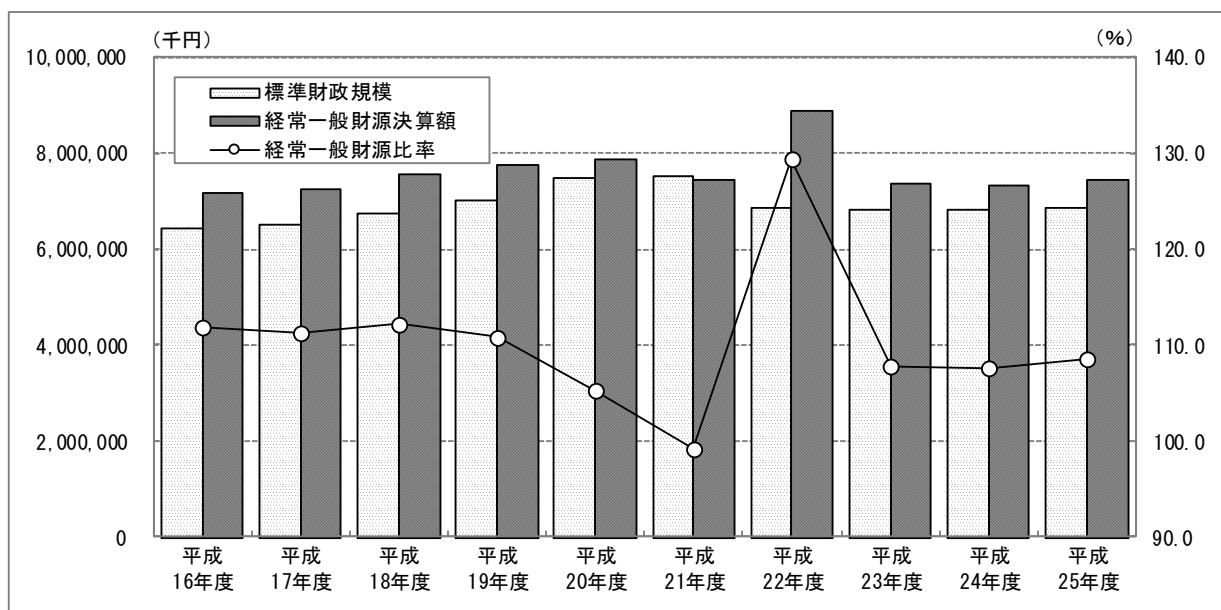
経常一般財源比率は、地方公共団体が標準的状况で収入すると期待される一般財源の規模と、現実に収入する一般財源を比較することによって歳入構造の弾力性を判断する指標である。そのため、この比率は100を超える場合が高いほど経常一般財源に余裕があり、税収の落ち込みなどの収入状況の変化に対応できるとされている。

$$\frac{\text{経常一般財源}}{\text{標準財政規模}} \times 100\%$$

(千円、%)

| 区 分           | 平成 16 年度  | 平成 17 年度  | 平成 18 年度  | 平成 19 年度  | 平成 20 年度  |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 標準財政規模        | 6,424,660 | 6,536,357 | 6,753,043 | 7,016,345 | 7,501,520 |
| 経常一般財源等<br>合計 | 7,186,401 | 7,272,026 | 7,573,446 | 7,772,068 | 7,896,630 |
| 経常一般財源比率      | 111.9     | 111.3     | 112.1     | 110.8     | 105.3     |

| 区 分           | 平成 21 年度  | 平成 22 年度  | 平成 23 年度  | 平成 24 年度  | 平成 25 年度  |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 標準財政規模        | 7,523,867 | 6,874,082 | 6,847,011 | 6,821,168 | 6,862,712 |
| 経常一般財源等<br>合計 | 7,460,476 | 8,895,050 | 7,380,328 | 7,339,847 | 7,449,068 |
| 経常一般財源比率      | 99.2      | 129.4     | 107.8     | 107.6     | 108.5     |



#### (4) 経常収支比率の推移と現状

経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費、物件費、補助費、維持補修費、繰出金のなかの経常経費部分など経常的経費に充てられた一般財源等の、経常一般財源等に対する比率であり、財政構造の弾力性を判断する指標である。

$$\frac{\text{経常的経費充当一般財源等}}{\text{経常一般財源等}} \times 100\%$$

つまりこれら経常的支出に充てられた経常一般財源がどの程度の割合になるか、また経常一般財源の余裕はどの程度になるかを把握するための指標であるといえる。

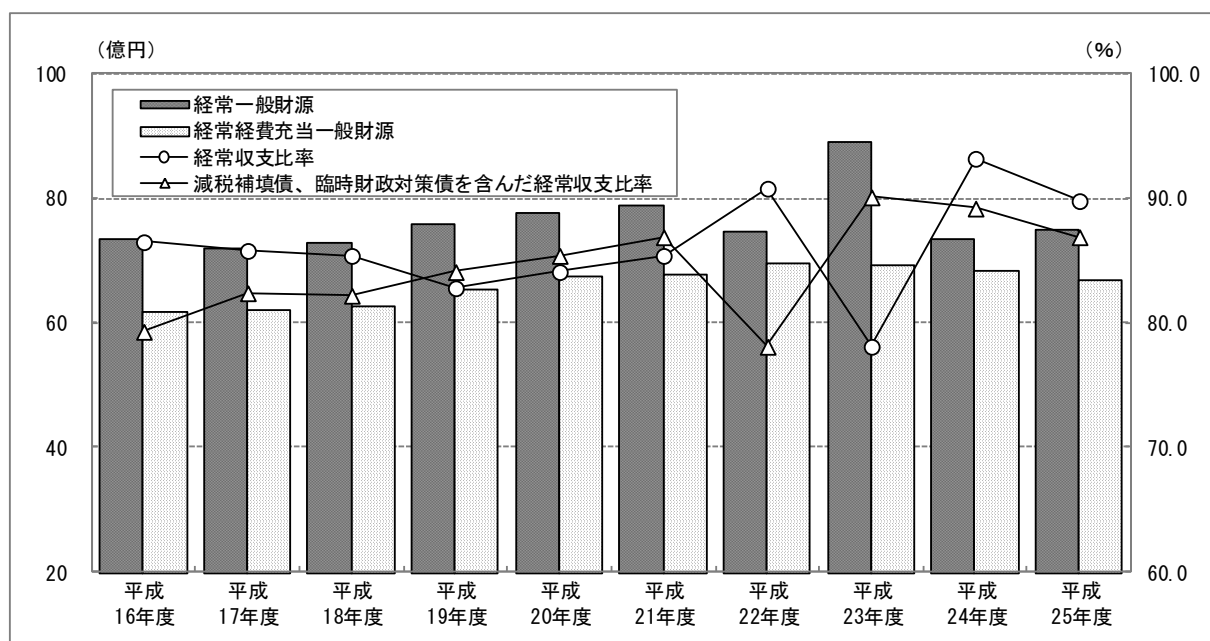
都市では 75%、町村では 70%程度が妥当であり、これがおのおの 5 %程度超えると財政構造が硬直化しつつあると考えられている。

瑞穂町は平成 16 年度以降 80%を超え、平成 24 年度には 93.2%まで上昇したが、平成 25 年度には 89.8%に低下した。

(千円、%)

| 区 分              | 平成 16 年度   | 平成 17 年度   | 平成 18 年度   | 平成 19 年度   | 平成 20 年度   |
|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計          | 13,012,652 | 11,779,812 | 12,017,024 | 12,139,068 | 13,048,456 |
| 経常一般財源等合計        | 7,339,847  | 7,186,401  | 7,272,026  | 7,573,446  | 7,772,068  |
| 経常経費充当一般財源等合計    | 6,164,798  | 6,213,300  | 6,268,209  | 6,534,451  | 6,741,637  |
| 経常収支比率           | 86.5       | 85.8       | 85.4       | 82.8       | 84.1       |
| 減収補てん債＋臨時財政対策債～① | 585,600    | 267,400    | 51,000     | 0          | 0          |
| ①を含む経常収支比率       | 79.3       | 82.4       | 82.2       | 84.1       | 85.4       |

| 区 分              | 平成 21 年度   | 平成 22 年度   | 平成 23 年度   | 平成 24 年度   | 平成 25 年度   |
|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 歳入決算額合計          | 13,797,390 | 15,471,008 | 13,777,654 | 13,430,149 | 14,200,029 |
| 経常一般財源等合計        | 7,896,630  | 7,460,476  | 8,895,050  | 7,339,847  | 7,449,068  |
| 経常経費充当一般財源等合計    | 6,775,954  | 6,950,888  | 6,923,945  | 6,842,972  | 6,691,809  |
| 経常収支比率           | 85.4       | 90.8       | 78.1       | 93.2       | 89.8       |
| 減収補てん債＋臨時財政対策債～① | 333,100    | 0          | 314,000    | 328,000    | 255,000    |
| ①を含む経常収支比率       | 86.9       | 78.1       | 90.1       | 89.2       | 86.9       |



(5) 公債費負担比率、公債費比率及び起債制限比率の推移と現状

公債費負担比率とは、公債費に充てられた一般財源等の一般財源総額に対する比率で、過去に発行された地方債が、現在一般財源の使途の自由度をどの程度制約しているかをみることによって財政構造の弾力性を判断する指標である。

$$\frac{\text{公債費充当一般財源等}}{\text{一般財源等}} \times 100\%$$

つまり、一般財源の総額のうち、公債費（過去に借金したものの返済金）に要した金額がどの程度の割合を占めているかを示す指標であり、この比率が高いほど財政運営が硬直化していることを示している。

一般的に 20%が危険水域、15%が警戒水準とされており、現在 15%を超える団体数は全地方公共団体の 6 割を超えている。

平成 25 年度において、瑞穂町の公債費負担比率は 4.9%であり、堅実な運営がなされているといえる。

| (%)     |          |          |          |          |          |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 区 分     | 平成 16 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 |
| 公債費負担比率 | 4.9      | 4.9      | 4.7      | 5.2      | 5.3      |
| 区 分     | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
| 公債費負担比率 | 4.6      | 5.1      | 4.3      | 4.5      | 4.9      |

## (6) 実質公債費比率の現状

実質公債費比率とは、実質的な公債費による財政負担の程度を示す指標である。平成 18 年 4 月に地方債制度が「許可制度」から「協議制度」に移行したことに伴い、新たに導入された財政指標であるが、従来の「起債制限比率」に反映されていなかった公営企業（特別会計を含む。）の公債費への一般会計繰出金、P F I や一部事務組合の公債費への負担金、債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの等を算入している。

地方債協議制度の下では、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、さらに、25%以上の団体は地域活性化事業等の単独事業に係る地方債が制限され、35%以上の団体はこれらに加えて一部の一般公共事業債についても制限されることとなる。

$$\frac{\begin{aligned} &(\text{当該年度の元利償還金} + \text{公営企業元利償還金への一般会計繰出金等公債費類似経費}) \\ &- (\text{元利償還均等の特定財源} + \text{普通交付税の基準財政需要額算入公債費}) \end{aligned}}{\text{標準財政規模} - \text{普通交付税の基準財政需要額算入公債費}} \times 100\%$$

瑞穂町の実質公債費比率は低い比率で推移している。

| (%)     |          |          |          |          |          |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 区 分     | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
| 実質公債費比率 | 2.6      | 2.3      | 1.3      | 0.3      | -0.7     |

### 【参考：他団体との比較（平成 25 年度）】

平成 25 年度において、瑞穂町の実質公債費比率は-0.7%となっており、他団体よりも極めて低い数値となっている。

| (%)     |      |     |     |       |     |
|---------|------|-----|-----|-------|-----|
| 区 分     | 瑞穂町  | 青梅市 | 福生市 | 武蔵村山市 | 羽村市 |
| 実質公債費比率 | -0.7 | 2.2 | 0.5 | 1.0   | 2.7 |

| 区 分     | 瑞穂町  | 日の出町 | 入間市 |
|---------|------|------|-----|
| 実質公債費比率 | -0.7 | 7.2  | 1.4 |

---

## 第 6 章 各種意見

---



## 1. 町民提案（まちづくり懇談会、まちづくり女性懇談会）

### (1) 懇談会実施の目的

第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画の策定にあたり、住民の意見を全町的に把握する手段として、18歳以上の住民を対象とした無作為抽出による「町民意識調査」（抽出数 3,000）を実施した。この意識調査により住民の意向をほぼ把握することが可能であるが、回収率が 60%程度と見込むものの一般的に高齢者の回答率が高くなる傾向があることから、年齢層の偏りという問題がある。この機会（後期基本計画の策定）を利用し、普段、行政運営へ参加する機会の少ない住民を対象に意見を求めることは、町政への関心を高めることにもつながるものと考え実施した。

### (2) 実施方法等

#### 1) まちづくり懇談会

以下の会場・開催日時、及び内容で開催した。

##### ①会場・開催日時・参加者数

| 会場            | 開催日時                        | 参加者数 |
|---------------|-----------------------------|------|
| 武蔵野コミュニティセンター | 平成 26 年 11 月 21 日（金） 19：00～ | 10 名 |
| 長岡コミュニティセンター  | 平成 26 年 11 月 25 日（火） 19：00～ | 7 名  |
| 元狭山コミュニティセンター | 平成 26 年 11 月 26 日（水） 19：00～ | 14 名 |
| 町民会館          | 平成 26 年 11 月 30 日（日） 19：00～ | 25 名 |

##### ②内容

|                           |
|---------------------------|
| 18：45 開場                  |
| 19：00 開会 瑞穂町のまちづくりの現状について |
| 19：30 意見交換                |
| 20：30 閉会（予定）              |

#### 2) まちづくり女性懇談会

以下の会場・開催日時、及び内容で開催した。

##### ①会場・開催日時・参加者数

| 会場  | 開催日時                            | 参加者数 |
|-----|---------------------------------|------|
| 耕心館 | 平成 26 年 12 月 6 日（土） 10：00～11：30 | 18 名 |

##### ②内容

|                                   |
|-----------------------------------|
| 9：45 開場                           |
| 10：00 開会                          |
| 10：05 懇談会参加者の自己紹介                 |
| 10：10 講話（株式会社日本コンサルタントグループ 千枝 奈々） |
| 10：40 懇談会                         |
| 11：30 閉会                          |

### (3) まちづくり懇談会

武蔵野コミュニティセンターでは、総合計画策定に関する流れの質問のほか、意見のフィードバックに関する意見が出された。

具体的な意見としては、高齢者が増加する中での今後の行政の対応、図書館の充実、相談窓口の充実、防災無線について、協働の進め方や今後の対応について、広報みずほのあり方について等が出された。

#### ■武蔵野コミュニティセンター

- ☐ 総合計画やその策定プロセスについて知りたい。
- ☐ アンケートにおける選択肢の表現について。
- ☐ 若い人の意見がアンケートには反映していないのではないか。
- ☐ 役場職員と町民が直接話し合える場があるのは良いことである。
- ☐ 会場に参加者があまり来ないのは、行政に対する信任票であるかもしれないが、その理由を考えることも必要である。
- ☐ 高齢者が増え、それに対応する施設を増やすと町の負担が増えるが、どのような対処を考えているか。
- ☐ 防災無線が良く聞こえない。情報がしっかり伝わる方策を考えてもらいたい。
- ☐ 総合計画における基地の位置づけについて知りたい。
- ☐ 町が行ったことを町民にどのようにフィードバックしているかを知りたい。
- ☐ 図書館の本やパソコン等を充実してもらいたい。
- ☐ アンケート結果を受けて以前と数字が同じということを、行政は真摯に受け止めるべきである。
- ☐ 協働を進めるための支援組織等を育てることも行政の役割である。
- ☐ 若い人の声が届くシステムが必要である。
- ☐ 不自由を抱えている人に対する相談場所が必要である。
- ☐ 協働という運動を盛り上げる必要がある。
- ☐ 広報みずほが町民からどのように見られているかを調べることも大事である。
- ☐ 町民と行政の間で、上下の関係でなく、課題解決を図るための回転のシステムが必要である。

長岡コミュニティセンターでは、計画策定に当たり住民の意見に留意すること、回廊計画に長岡地区を含めること、人が集まるまちづくりを進めること、食と安全の環境づくり、その他の意見が出された。

#### ■長岡コミュニティセンター

- ☐ 計画を策定する時、参加した住民の意見の扱いに留意するべきである。
- ☐ 回廊計画に長岡地区をより多く含めるべきである。
- ☐ 高齢化の中で、食と安全の環境を良くしてもらいたい。
- ☐ 他市に誇れるものをつくり、人が集まってくるようにしてもらいたい。
- ☐ 入所施設の要望等に対しどのように考えるか。
- ☐ 選挙の投票率が低い。
- ☐ 西多摩地区での医療費の順番を知りたい。
- ☐ スカイホールで食事（弁当等）の提供ができるようにするべきである。
- ☐ 豪華な庁舎をつくる必要はない。
- ☐ 土地区画整理事業を進めると、町の負債は大きくなってしまわないか。

元狭山コミュニティセンターでは、福生病院へ通院する上での交通費（バス代）の問題、公共交通の利便性の向上、土地区画整理事業の進捗状況や農地保全との関係、犯罪者や不審者への対応策、けやき館の今後の運営方策等の意見が出された。

また、意見に対するフィードバックの実施についての要望が出された。

#### ■元狭山コミュニティセンター

- ☐ 福生病院に運営費を出している瑞穂町の住民が、病院に行くのに福生や羽村の住民以上のバス代を出すのはおかしいと思う。
- ☐ 高根町の町民が駅や役場に行ける交通機関を充実してもらいたい。
- ☐ モールに行くバスを運行している事業者と連携して元狭山地区にバスが来るようにしてもらいたい。
- ☐ 土地区画整理事業の状況について知りたい。
- ☐ 都道 179 号の拡幅について知りたい。
- ☐ けやき館の今後の運営について知りたい。
- ☐ 小学校がケーブルテレビに接続できるように検討してもらいたい。
- ☐ 土地区画整理事業と農地の保全との関係が分からない。
- ☐ 土地区画整理事業や道路拡幅等の情報を提供してもらいたい。
- ☐ 町と地域の歯車がかみ合った活動や協力をお願いしたい。
- ☐ 犯罪者や不審者に対する対応策を検討しているのであれば、聞かせてもらいたい。
- ☐ 近隣自治体の施設利用を進めることにより、町の施設（図書館）の整備が進まなくなるのは困る。
- ☐ アンケート結果について地域性を分析してもらいたい。
- ☐ 問い合わせに対して書面で回答してもらえるのか。
- ☐ 懇談会で出された意見とそれに対する回答を公開してもらいたい。
- ☐ 計画がどのように見直されるのかよく分からない。
- ☐ これからの人づくりに向けてアンケート等を取ってしっかり考えて欲しい。

町民会館では、検診の充実、介護保険について、避難場所について、町内会の負担軽減、公園や歩道の整備、校庭の芝生化、高齢化を前提とした行政サービスの拡充等の意見が出された。

また、アンケートの分析についての要望が出された。

#### ■町民会館

- ☐ ジェネリック医薬品の案内をわかりやすく説明できる態勢を整えてもらいたい。
- ☐ 特定検診の追加項目を希望すれば受けられるようにしてもらいたい。
- ☐ 福祉バスを病院等の前まで付けるようにしてもらいたい。
- ☐ 介護保険の事業の検討状況を分かるようにしてもらいたい。
- ☐ 第五小学校は避難所にされているが、土砂災害警戒区域になったといわれたが、その一方で避難先が第五小なのはなぜか。また、災害時の対策を講じてもらいたい。
- ☐ アンケート調査分析は年齢別の分析をしっかりと行ってもらいたい。
- ☐ 計画の策定にあたっては、医療問題については医師会と、買い物については大型店と、また地元の工場等とも意見を交わしながら作ってもらいたい。
- ☐ 町内会の負担を減らす工夫をしてもらいたい。
- ☐ 基地に対しては友好関係に力をいれるだけでなく、騒音問題に対して、対応してもらいたい。
- ☐ 飛行機等から何か落ちてくることのないように、対応してもらいたい。
- ☐ 町内に公園や日陰のあるエリアを作ってもらいたい。
- ☐ 残堀川の周辺に暑さをしのげる屋根などを作ってもらいたい。
- ☐ 瑞穂の狭い道路や歩道をできる範囲で改善してもらいたい。また、スピードを出す車に対する対応をしっかりとってもらいたい。
- ☐ 新しい施設は長期的な財政見通しを踏まえて作っているのかお聞きしたい。
- ☐ 学校の芝生はひどい状態にあり、町民の税金で整備していることから慎重に行ってもらいたい。
- ☐ 商店街の振興について、昔の商店街が少しでも復興するよう、視野を変えてやってもらいたい。
- ☐ 高齢化を前提とした各種サービスの拡充を図るべきである。
- ☐ アンケートの複数回答項目には、それを明示するべきである。
- ☐ 調査報告書「概要版」の中の行政と住民の役割部分について説明が欲しい。

#### (4) まちづくり女性懇談会

まちづくり女性懇談会では、女性や若者が積極的に活動する環境づくりや職場づくりを進めることや、若い人がショッピング等を楽しめるまちづくり、農作物を活用した道の駅づくりや、農作物による特色ある町の情報発信を進めること等の意見が出された。

- 女性が働きやすい職場づくりを進めたい。
- ジェンダー意識の改善を図りたい。
- 男女共同参画を進めている中、男女の役割を区別する意識の改善を期待したい。
- 町内での委員会や会議、懇談会への女性参加を増やしたい。
- 将来、女性の町長が誕生するようにサポートしたい。
- 女性の活躍したいという意識が反映される職場づくりを進めたい。
- バランスの取れた男女共同を考えてもらいたい。
- 女性のコミュニケーション能力の向上を図りたい。
- 町のアイデンティティを明確にしていきたい。
- 基地問題に取り組む活動を活性化したい。
- 基地を無くせば、民営化されて騒音問題が出てきて、新しい課題が生まれると考える。
- ただ基地を無くすのではなく、話し合いを行いたい。
- 町に対して、若い人が興味を持つ町としたい。
- ショッピングができる町をつくりたい。
- 町に映画館が欲しい。
- 自転車で行動できる範囲に、各種店舗がある町になってもらいたい。
- 若い人に、自分で何か行動を起こしてほしい。
- 若い人には、興味を持っていることを周りの人に話すことから始めてほしい。
- 農作物が町の特色と感じており、それを何かの形でもっと発信したい。
- とても素敵な瑞穂町をもっと紹介して、色々な人に来てもらいたい。
- 町の活性化につながる道の駅を作りたい。そのために道路もよくしたい。

## 2. 箱根ヶ崎駅アンケート調査

### (1) 調査の目的

平成 28 年度から平成 32 年度の 5 年間を計画期間とする「第 4 次瑞穂町長期総合計画後期基本計画」の策定にあたり、J R 箱根ヶ崎駅において、乗降車する方に対して第 4 次瑞穂町長期総合計画後期基本計画を策定中であることを周知しつつ、町政に係るアンケート用紙を配布し、これまで推進してきた第 4 次瑞穂町長期総合計画及び前期基本計画に対する町民の評価、この間の町民意識の変化等を把握することを目的に本調査を実施した。

### (2) 調査方法等

- |        |                                         |
|--------|-----------------------------------------|
| ①調査項目  | ・ 瑞穂町の良い点と悪い点について<br>・ 町政の各分野に対する評価について |
| ②調査地域  | J R 箱根ヶ崎駅                               |
| ③調査対象者 | J R 箱根ヶ崎駅利用者                            |
| ④調査方法  | 調査票の直接配布・設置回収箱への直接投入                    |
| ⑤調査期間  | 平成 26 年 11 月 26 日～平成 26 年 11 月 28 日     |

### (3) 回収結果

- |        |       |
|--------|-------|
| ①配 布 数 | 264 票 |
| ②回 収 数 | 50 票  |
| ③回 収 率 | 18.9% |

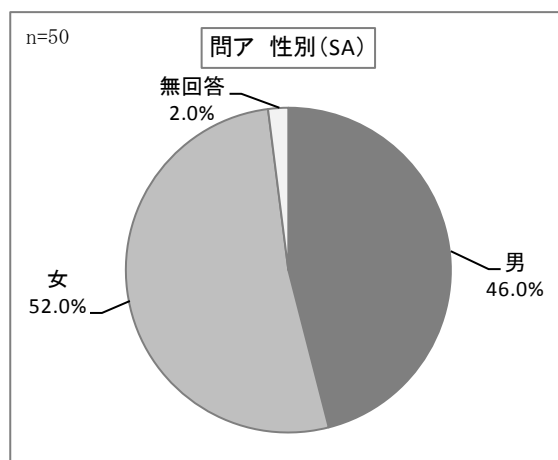
### (4) 注意事項

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- 図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下 1 位まで示した数値は、回答比率(%)である。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

## (5) 回答者の属性

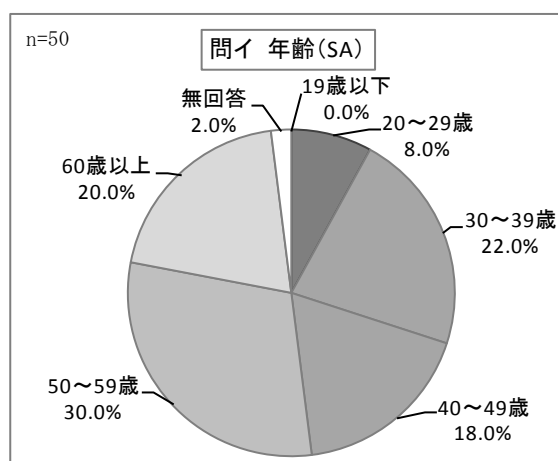
### ①性別

回答者の性別は、「男性」が 46.0% (23 人)、「女性」が 52.0% (26 人)、「無回答」が 2.0% (1 人) であった。



### ②年齢

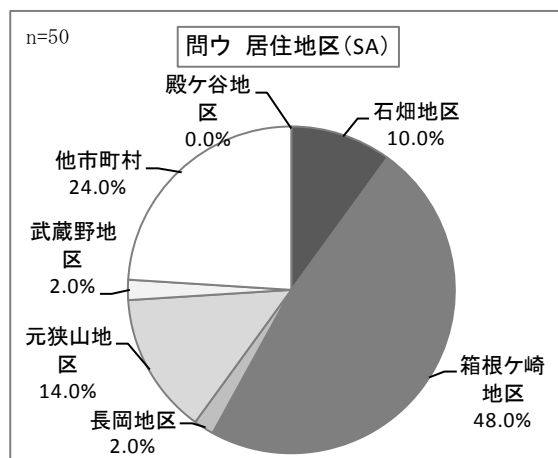
回答者の年齢は、「20～29 歳」が 8.0% (4 人)、「30～39 歳」が 22.0% (11 人)、「40～49 歳」が 18.0% (9 人)、「50～59 歳」が 30.0% (15 人)、「60 歳以上」が 20.0% (10 人)、「無回答」が 2.0% (1 人) であった。



### ③居住地区

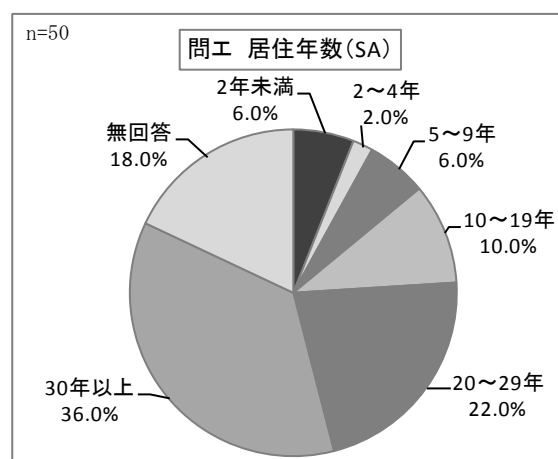
回答者の居住地区は、「石畑地区」が 10.0% (5 人)、「箱根ヶ崎地区」が 48.0% (24 人)、「長岡地区」が 2.0% (1 人)、「元狭山地区」が 14.0% (7 人)、「武蔵野地区」が 2.0% (1 人)、他市町村が 24.0% (12 人) であった。

なお、居住する他市町村は、世田谷区、八王子市、西東京市、昭島市、日野市、あきる野市、飯能市、入間市、相模原市と回答されている。



#### ④居住年数

回答者の居住年数は、「2年未満」が6.0%（3人）、「2～4年」が2.0%（1人）、「5～9年」が6.0%（3人）、「10～19年」が10.0%（5人）、「20～29年」が22.0%（11人）、「30年以上」が36.0%（18人）となっている。

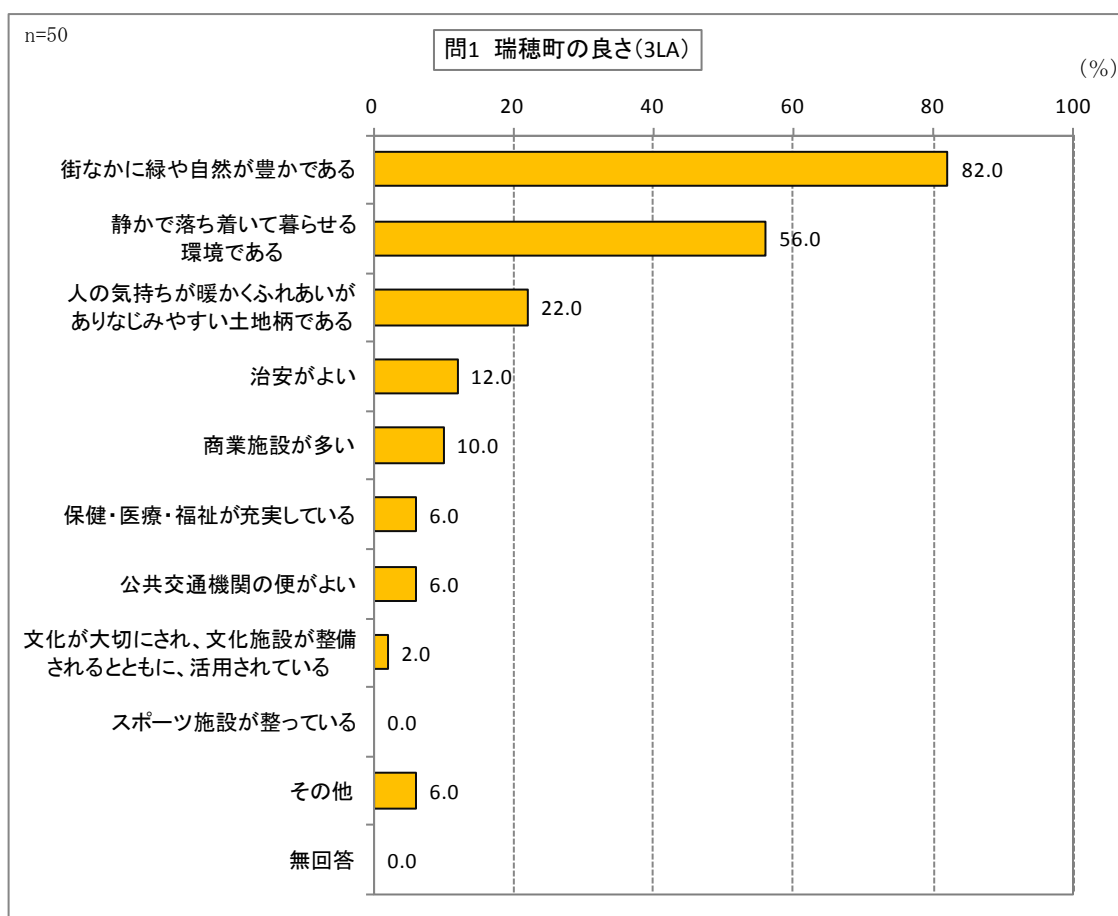


(6) 瑞穂町の良い点と悪い点について

①良い点

問1 あなたは、瑞穂町の良さはどのようなところにあると思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

瑞穂町の良さについて、「街なかに緑や自然が豊かである」が最も多く 82.0%となっており、次いで「静かで落ち着いて暮らせる環境である」が 56.0%、「人の気持ちが暖かくふれあいがありなじみやすい土地柄である」が 22.0%と続いている。



〔その他回答〕

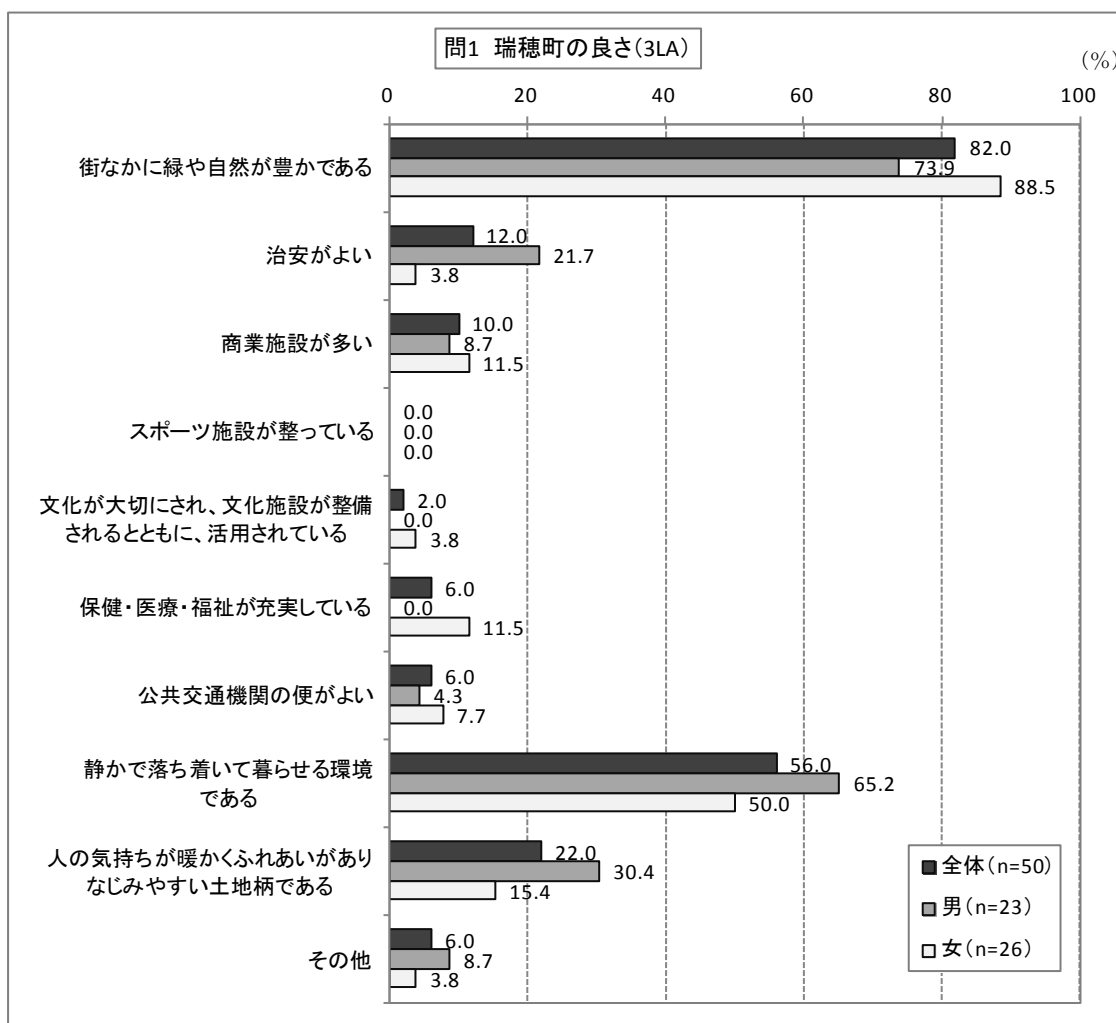
閉鎖的

のびのび子どもが育つ

長く住んでいるのでなじみがある。町のコンパクトさ。

〔男女別〕

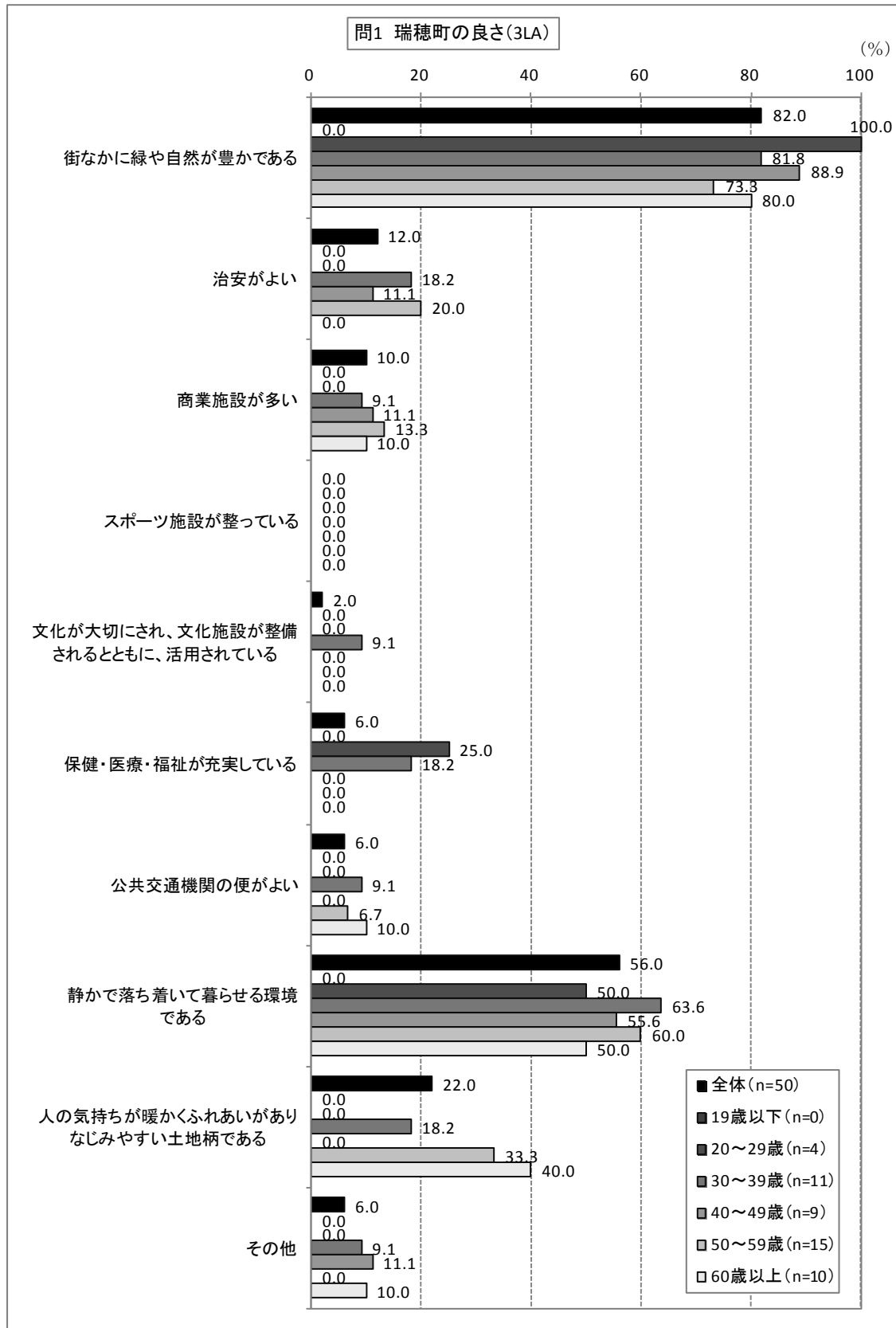
男女ともに「街なかに緑や自然が豊かである」が最も多く、次いで「静かで落ち着いて暮らせる環境である」が続いている。



〔年齢別〕

各年齢層ともに「街なかに緑や自然が豊かである」が最も多く、次いで「静かで落ち着いて暮らせる環境である」が続いている。

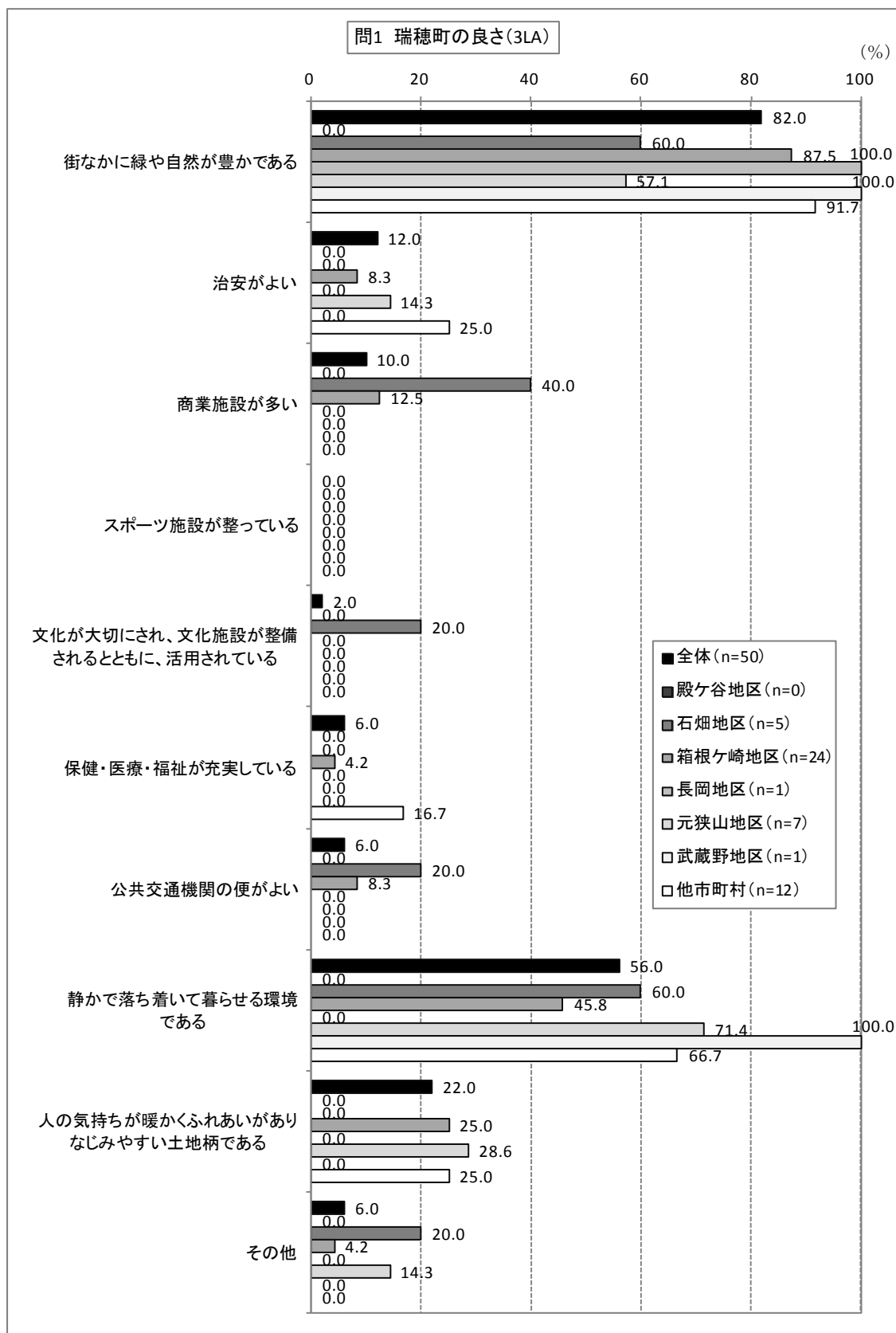
また、「人の気持ちが暖かくふれあいがありなじみやすい土地柄である」は年齢層が上がるにつれ、回答割合が多くなっている。



# 〔居住地区別〕

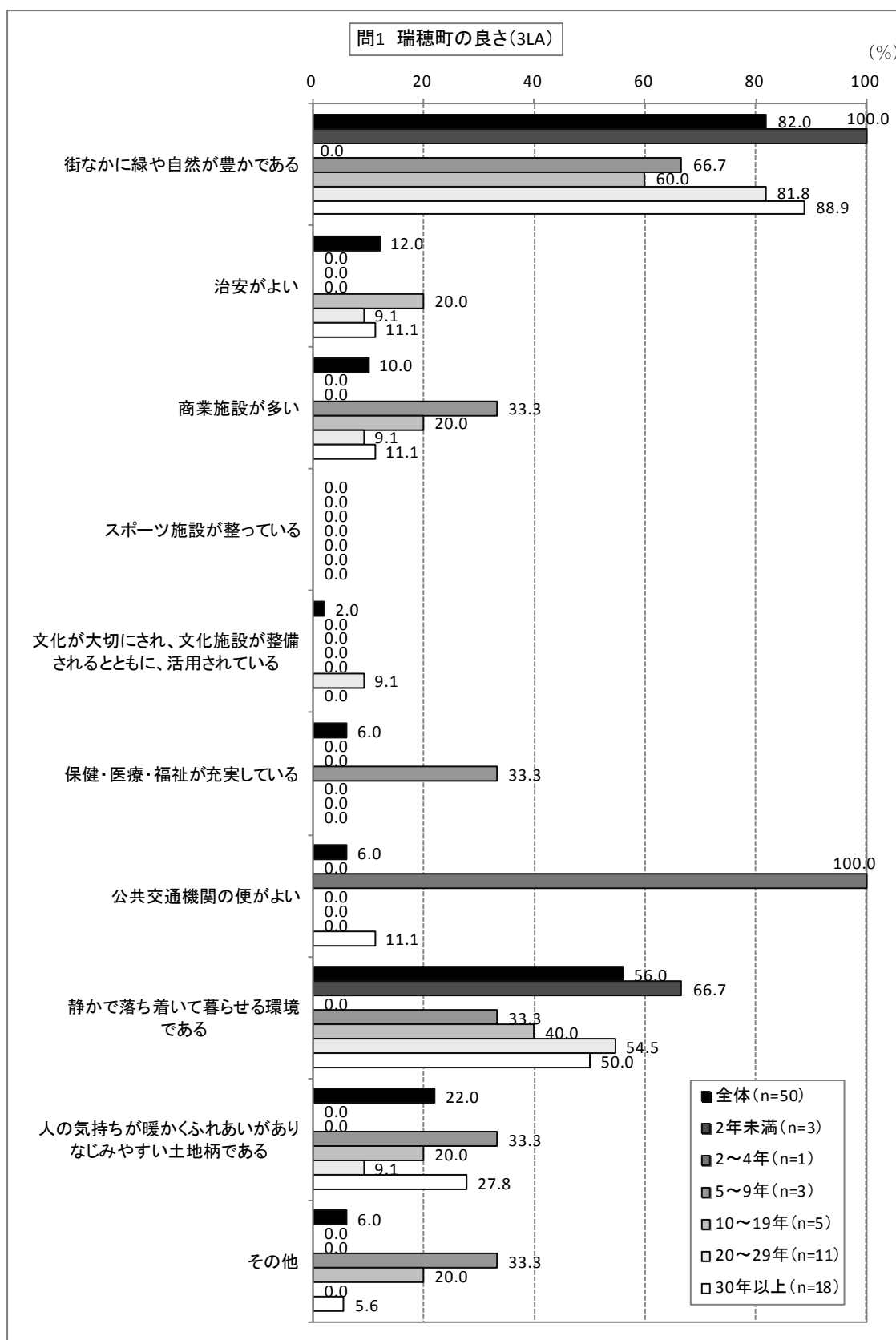
各居住地区ともに「街なかに緑や自然が豊かである」が最も多く、次いで「静かで落ち着いて暮らせる環境である」が続いている。

なお、他市町村居住者の回答結果も同様の傾向となっている。



〔居住年数別〕

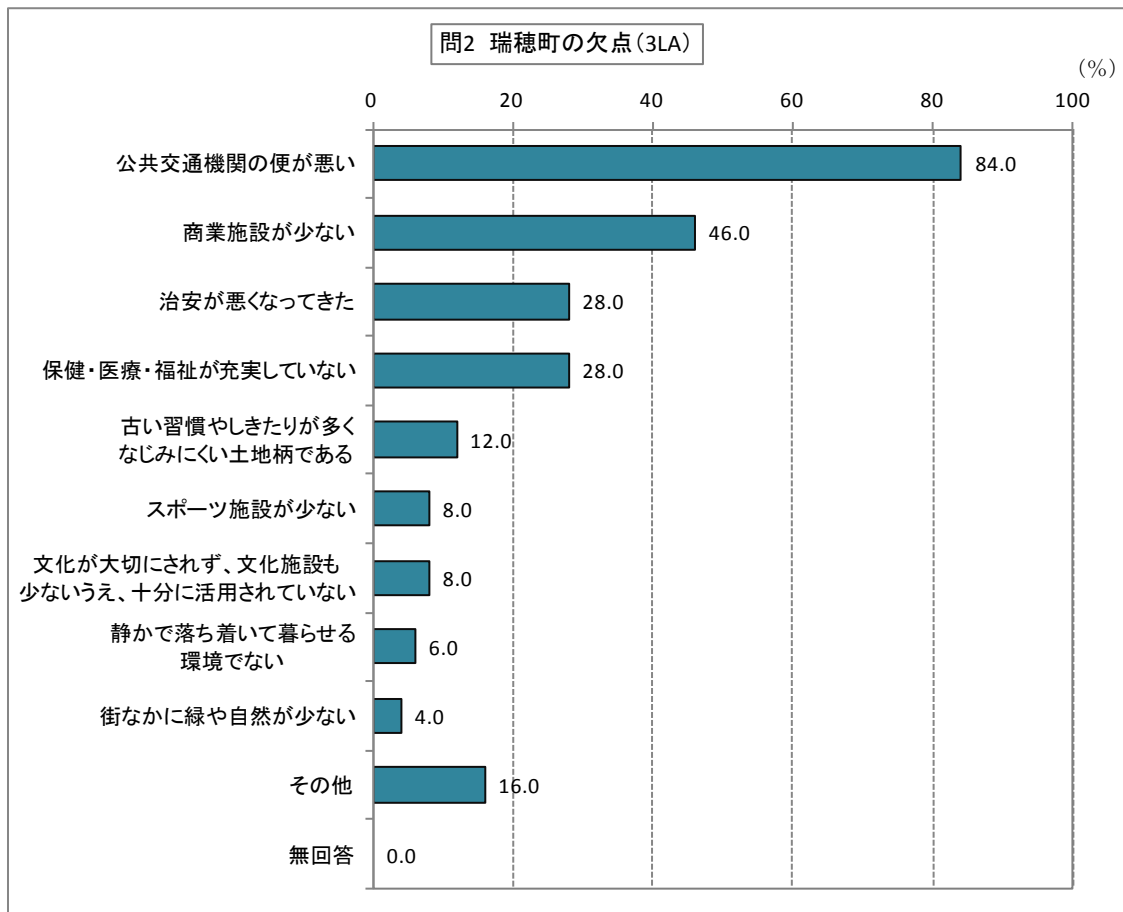
各居住年数ともに「街なかに緑や自然が豊かである」が最も多く、次いで「静かで落ち着いて暮らせる環境である」が続いている。



②欠点

問2 あなたは、瑞穂町の欠点はどのようなところにあると思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

瑞穂町の欠点について、「公共交通機関の便が悪い」が最も多く 84.0%となっており、次いで「商業施設が少ない」が 46.0%、「治安が悪くなってきた」及び「保健・医療・福祉が充実していない」が 28.0%と続いている。



〔その他回答〕

全体的には静かで落ち着いて暮らせますが、一部、夜中まで若者がバイクや車のエンジン音がうるさく、眠ることが難しいところもある。

住民も行政も受け身な姿勢があること。

図書館が貧弱で、便利が悪い。

都市ガス（東京ガス）の利用ができない、少ない。

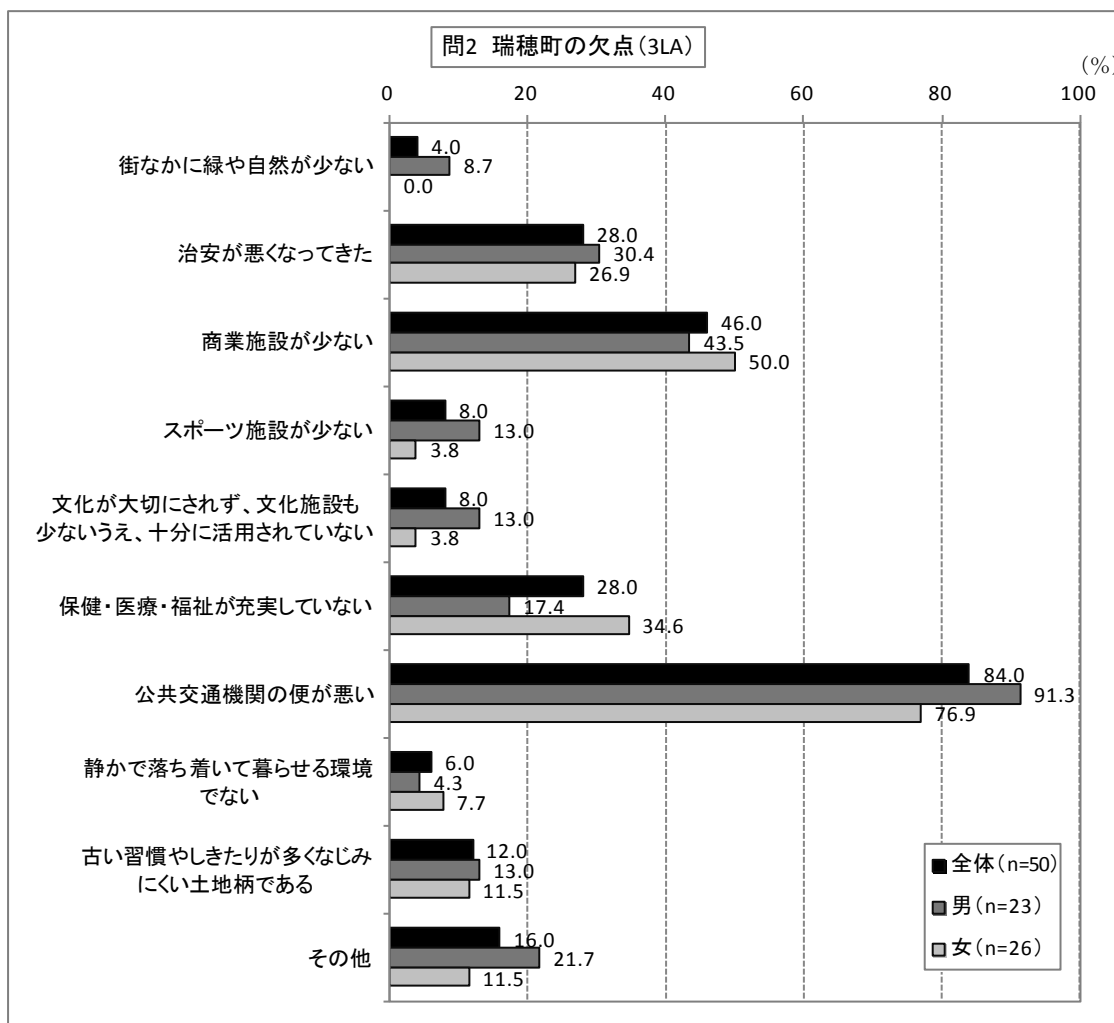
古くからの住人達に新たな者がとけ込みにくい。

駅前に飲み屋、タバコの売っているコンビニが欲しい。（飲食店）気軽に入れる。

町営グラウンドの整備をし、町民体育祭を開催

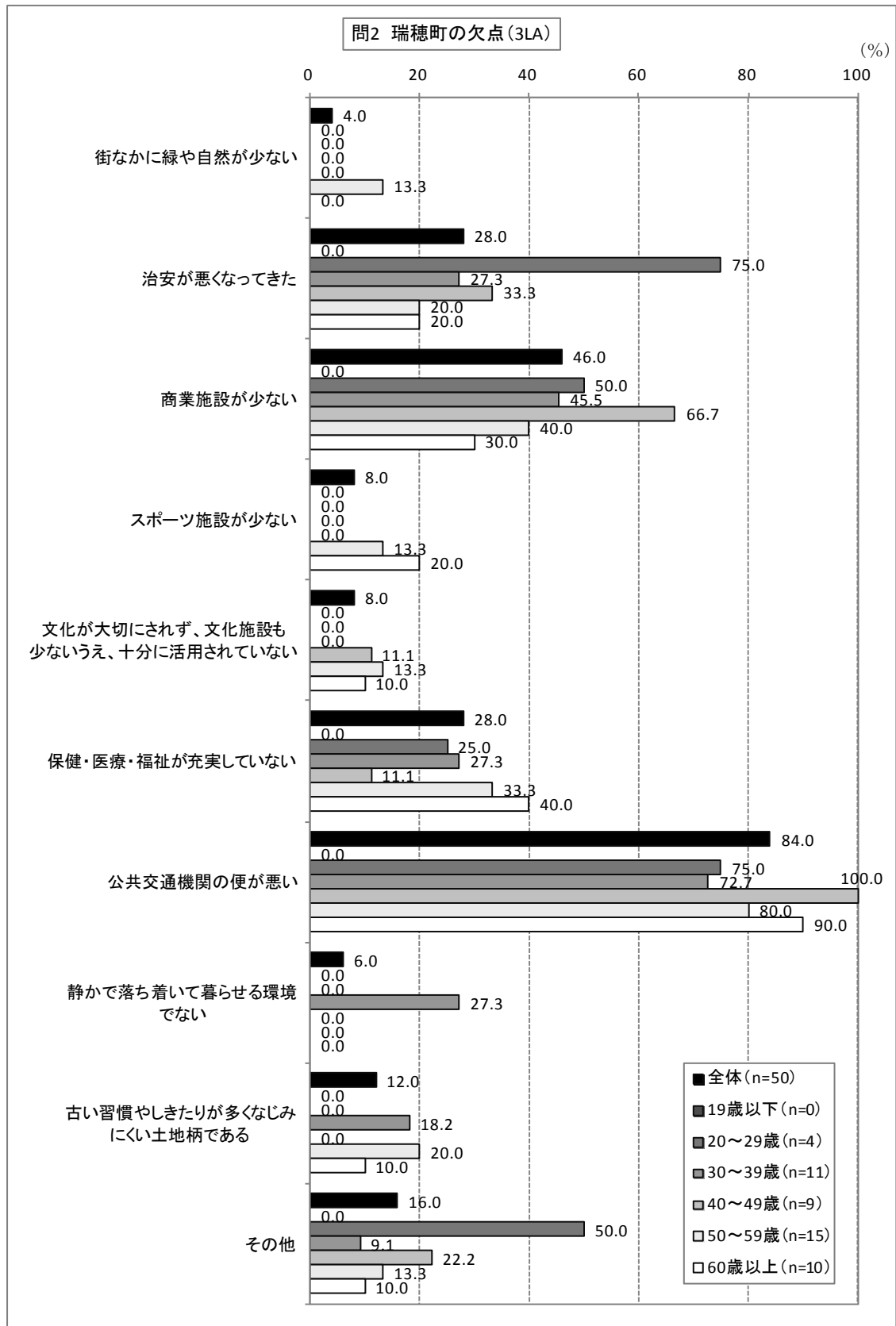
〔男女別〕

男女ともに全体の回答結果と同じ傾向となっている。



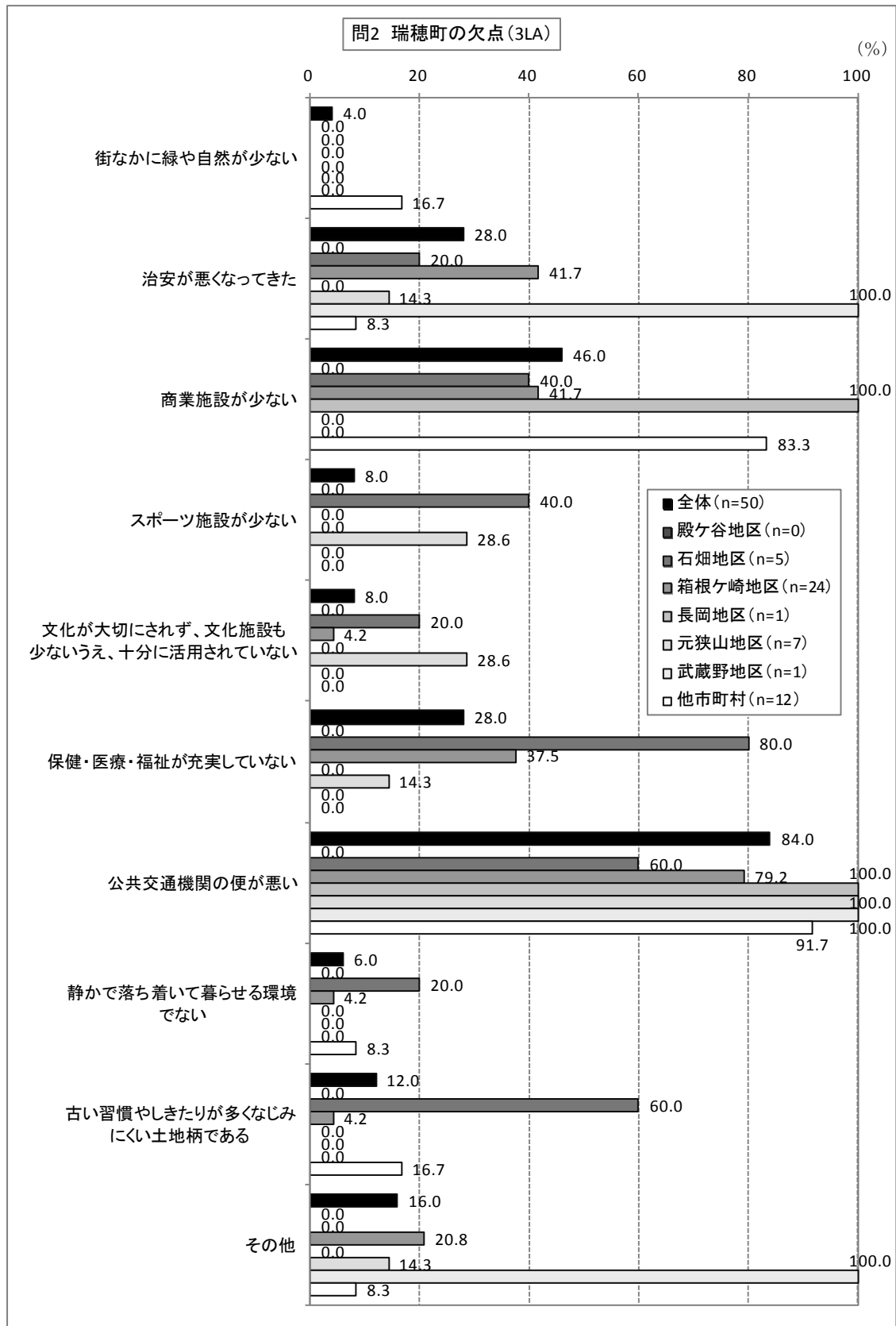
〔年齢別〕

各年齢層ともに全体の回答結果と同じ傾向となっている。



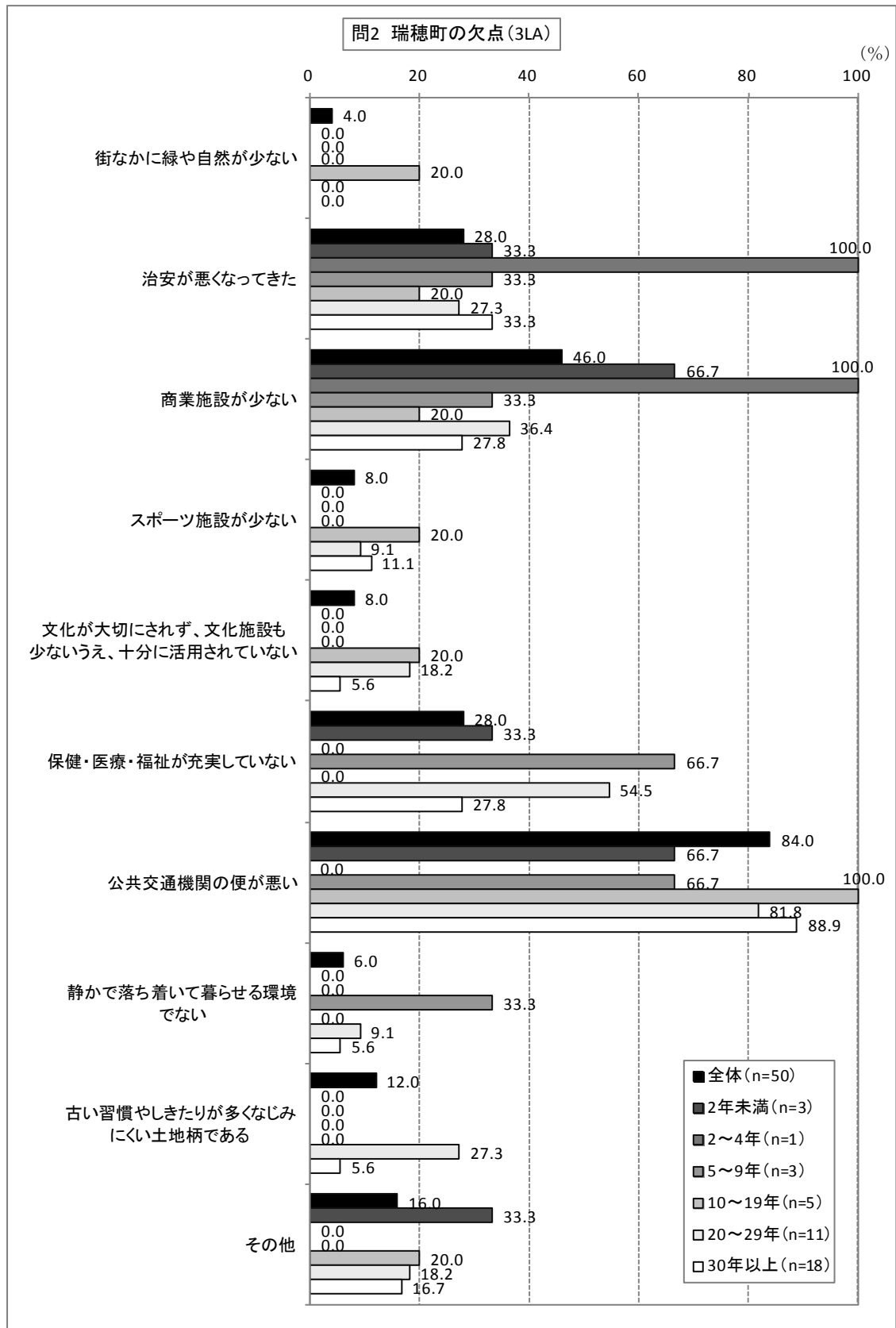
〔居住地区別〕

各居住地区ともに全体の回答結果と同じ傾向となっている。



〔居住年数別〕

各居住年数ともに全体の回答結果と同じ傾向となっている。

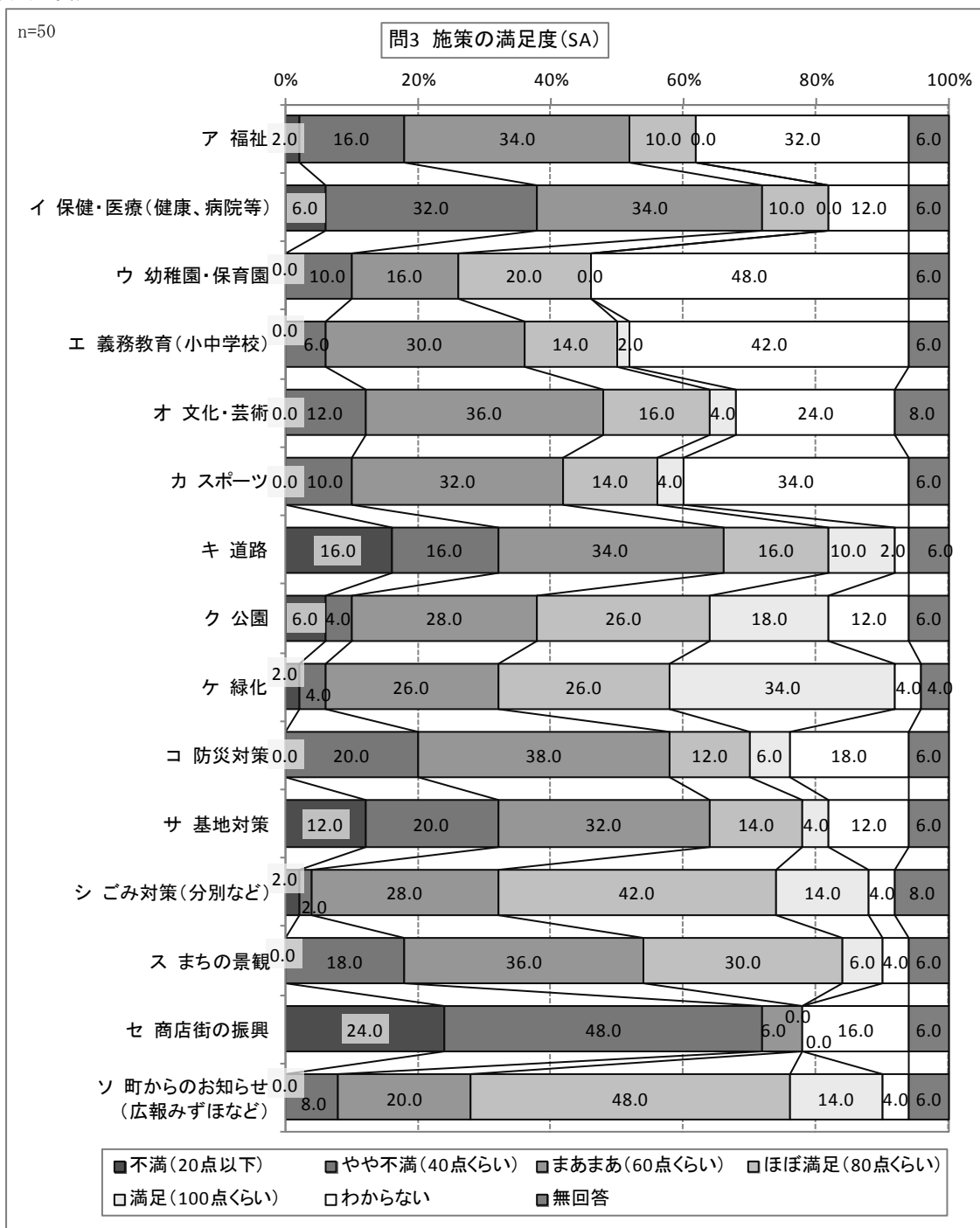


(7) 町政の各分野に対する評価について

問3 瑞穂町行政の各分野の施策について、日ごろ感じられるあなたの満足度と今後どれくらい力を入れたらよいと思うかについて、ア～ソの各分野の施策毎に回答してください。

町政の15分野について、満足度と重要度をたずねたが、その結果は以下の通りである。

〔満足度〕



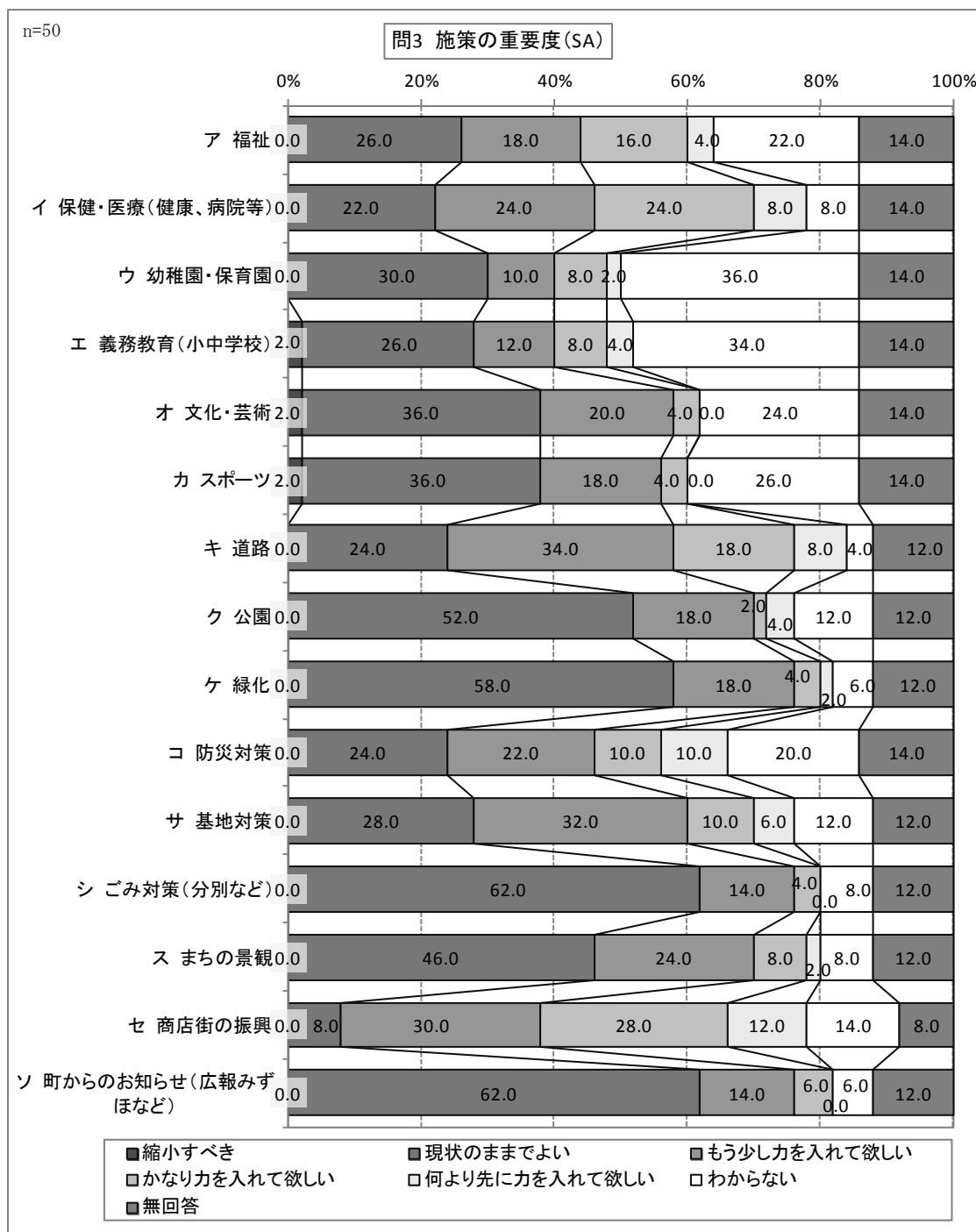
前頁のグラフでは、不満から満足までの区分を、「不満（20点以下）」、「やや不満（40点くらい）」、「まあまあ（60点くらい）」、「ほぼ満足（80点くらい）」及び「満足（100点くらい）」の5区分としているが、中間の「まあまあ（60点くらい）」を除き、「不満（20点以下）」と「やや不満（40点くらい）」を合わせた“不満”と、「ほぼ満足（80点くらい）」と「満足（100点くらい）」を合わせた“満足”で分けると以下の通りとなる。

| 区 分                 | “不満” | “満足” |
|---------------------|------|------|
| ア 福祉                | 18.0 | 10.0 |
| イ 保健・医療（健康、病院等）     | 38.0 | 10.0 |
| ウ 幼稚園・保育園           | 10.0 | 20.0 |
| エ 義務教育（小中学校）        | 6.0  | 16.0 |
| オ 文化・芸術             | 12.0 | 20.0 |
| カ スポーツ              | 10.0 | 18.0 |
| キ 道路                | 32.0 | 26.0 |
| ク 公園                | 10.0 | 44.0 |
| ケ 緑化                | 6.0  | 60.0 |
| コ 防災対策              | 20.0 | 18.0 |
| サ 基地対策              | 32.0 | 18.0 |
| シ ごみ対策（分別など）        | 4.0  | 56.0 |
| ス まちの景観             | 18.0 | 36.0 |
| セ 商店街の振興            | 72.0 | 0.0  |
| ソ 町からのお知らせ（広報みずほなど） | 8.0  | 62.0 |

上表において、“不満”が“満足”を上回る項目は6項目、“満足”が“不満”を上回る項目は9項目となっている。

| “不満”が“満足”を上回る項目 | “満足”が“不満”を上回る項目     |
|-----------------|---------------------|
| ア 福祉            | ウ 幼稚園・保育園           |
| イ 保健・医療（健康、病院等） | エ 義務教育（小中学校）        |
| キ 道路            | オ 文化・芸術             |
| コ 防災対策          | カ スポーツ              |
| サ 基地対策          | ク 公園                |
| セ 商店街の振興        | ケ 緑化                |
|                 | シ ごみ対策（分別など）        |
|                 | ス まちの景観             |
|                 | ソ 町からのお知らせ（広報みずほなど） |

〔重要度〕



重要度のグラフでは、「縮小すべき」、「現状のままでよい」、「もう少し力を入れて欲しい」、「かなり力を入れて欲しい」、「何より先に力を入れて欲しい」、「わからない」の6区分としているが、「縮小すべき」と「現状のままでよい」を合わせた“縮小または現状のままでよい”と、「もう少し力を入れて欲しい」、「かなり力を入れて欲しい」及び「何より先に力を入れて欲しい」を合わせた“力を入れて欲しい”で分けると、次頁の通りとなる。

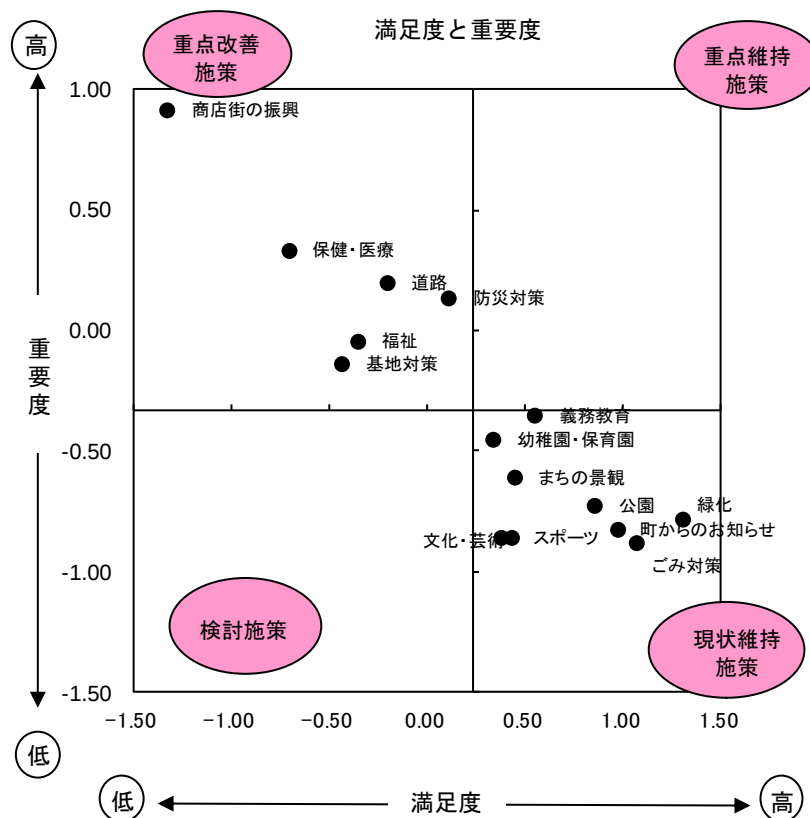
| 区 分                 | 縮小または<br>現状のま<br>までよい | 力を入れて<br>欲しい |
|---------------------|-----------------------|--------------|
| ア 福祉                | 26.0                  | 38.0         |
| イ 保健・医療（健康、病院等）     | 22.0                  | 56.0         |
| ウ 幼稚園・保育園           | 30.0                  | 20.0         |
| エ 義務教育（小中学校）        | 28.0                  | 24.0         |
| オ 文化・芸術             | 38.0                  | 24.0         |
| カ スポーツ              | 38.0                  | 22.0         |
| キ 道路                | 24.0                  | 60.0         |
| ク 公園                | 52.0                  | 24.0         |
| ケ 緑化                | 58.0                  | 24.0         |
| コ 防災対策              | 24.0                  | 42.0         |
| サ 基地対策              | 28.0                  | 48.0         |
| シ ごみ対策（分別など）        | 62.0                  | 18.0         |
| ス まちの景観             | 46.0                  | 34.0         |
| セ 商店街の振興            | 8.0                   | 70.0         |
| ソ 町からのお知らせ（広報みずほなど） | 62.0                  | 20.0         |

上表において、“縮小または現状のままでよい”が“力を入れて欲しい”を上回る項目は9項目、“力を入れて欲しい”が“縮小または現状のままでよい”を上回る項目は6項目となっている。

| “縮小または現状のままでよい”     | “力を入れて欲しい”      |
|---------------------|-----------------|
| ウ 幼稚園・保育園           | ア 福祉            |
| エ 義務教育（小中学校）        | イ 保健・医療（健康、病院等） |
| オ 文化・芸術             | キ 道路            |
| カ スポーツ              | コ 防災対策          |
| ク 公園                | サ 基地対策          |
| ケ 緑化                | セ 商店街の振興        |
| シ ごみ対策（分別など）        |                 |
| ス まちの景観             |                 |
| ソ 町からのお知らせ（広報みずほなど） |                 |

# 〔満足度と重要度のマトリックス〕

町政の 15 分野それぞれの項目を加重平均値とし、「満足度」と「重要度」のマトリックス図に示すと以下の通りとなる。



その結果、「重点維持施策」と「検討施策」領域に区分される項目はなく、「重点改善施策」と「現状維持施策」に区分された。

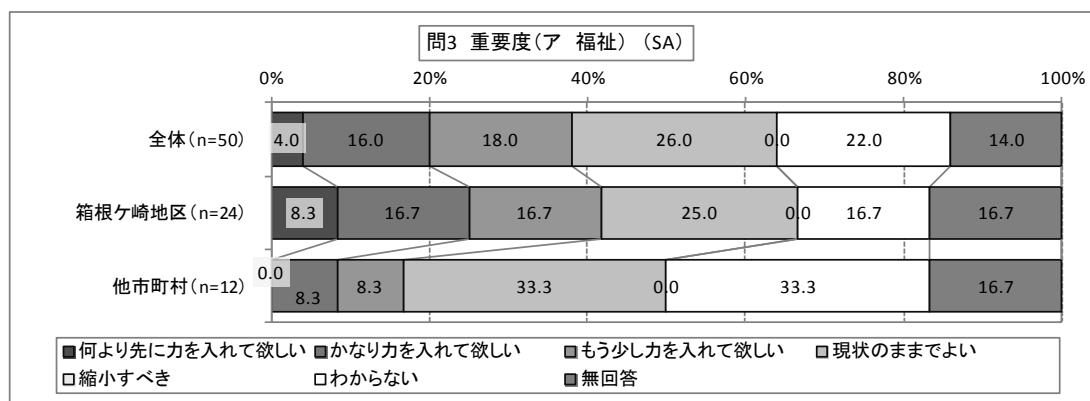
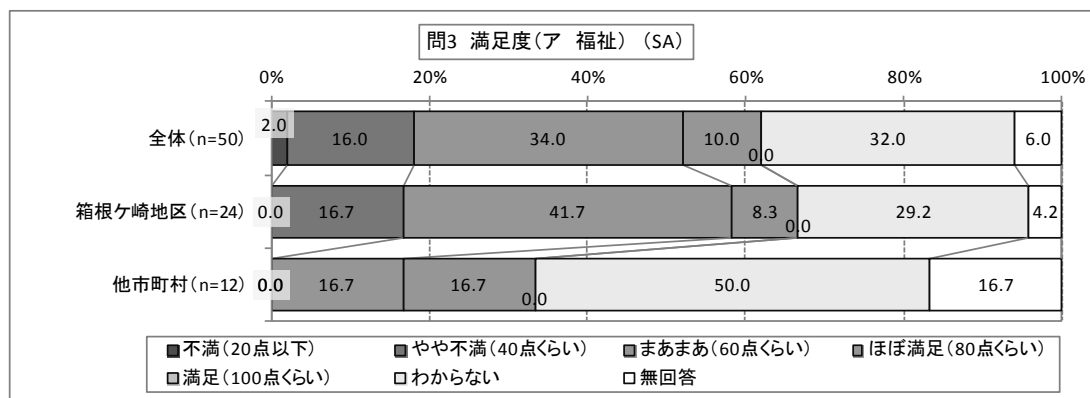
特に、「商店街の振興」、「保健・医療」、「道路」、「防災対策」、「福祉」及び「基地対策」は重点改善施策の領域にあり対応が求められると勘案される。

## 〔地区別の比較〕

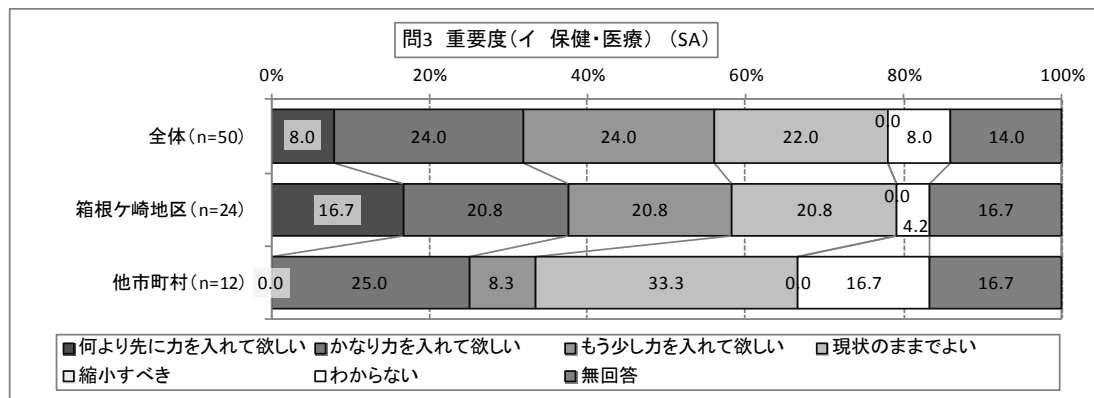
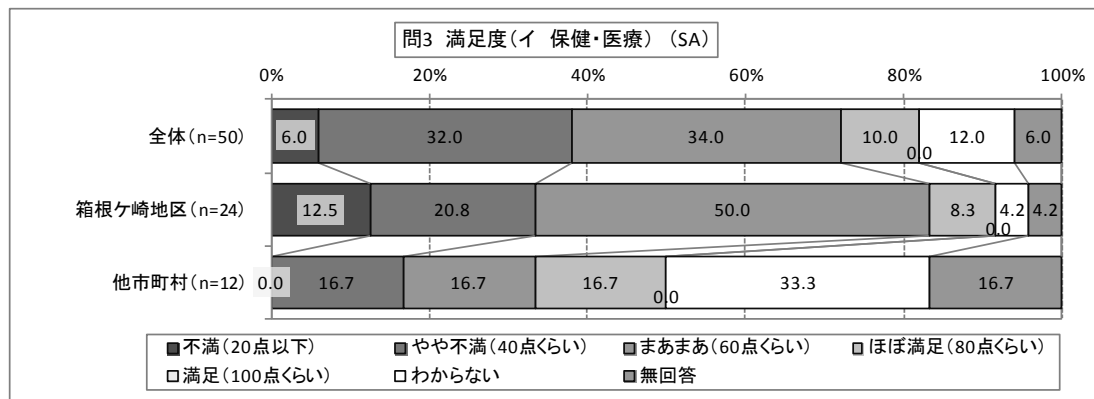
町政の15分野について、町内居住者と町外居住者の満足度と重要度を比較すると、以下の通りである。

ただし、地区別の回答数（n）は、殿ヶ谷地区が0、石畑地区が5、長岡地区が1、元狭山地区が7、武蔵野地区が1と少ないことから、全体（n=50）、箱根ヶ崎地区（n=24）、及び他市町村（n=12）の比較とした。

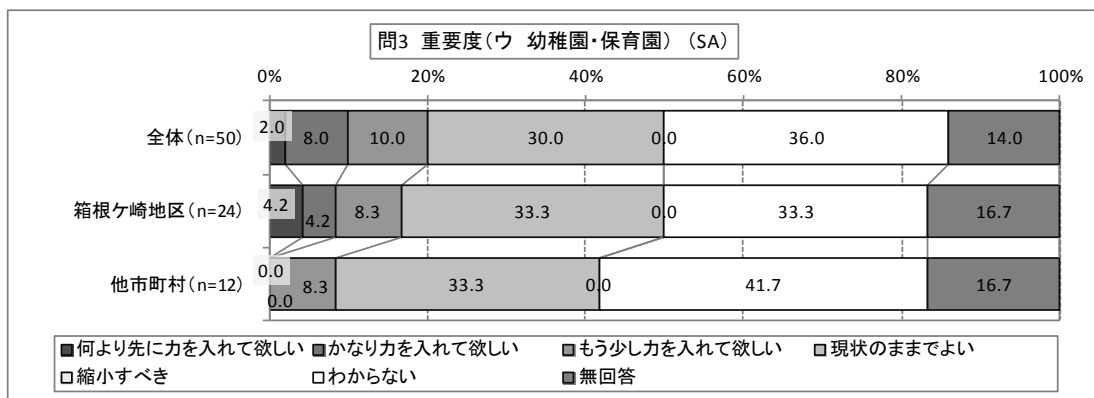
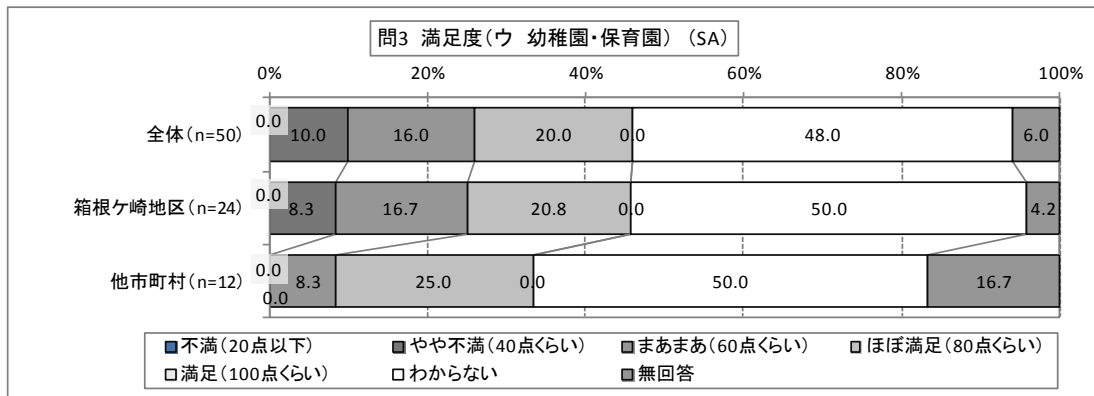
## ア 福祉



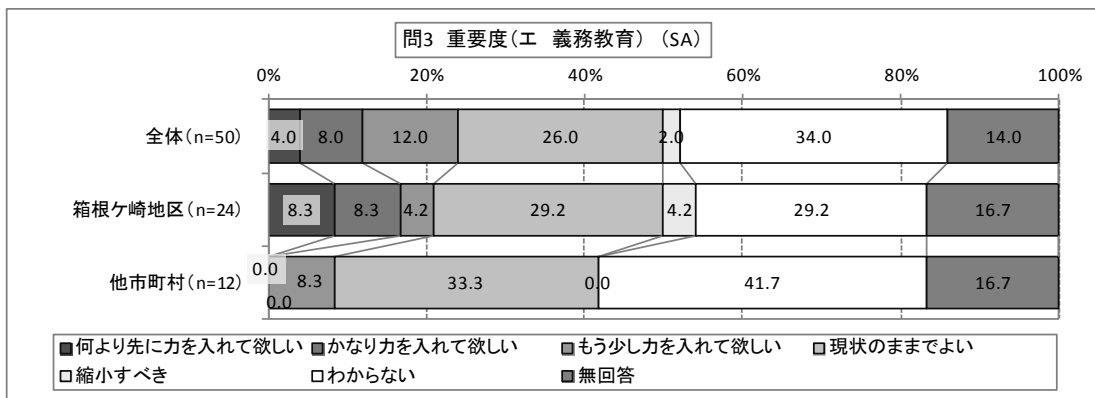
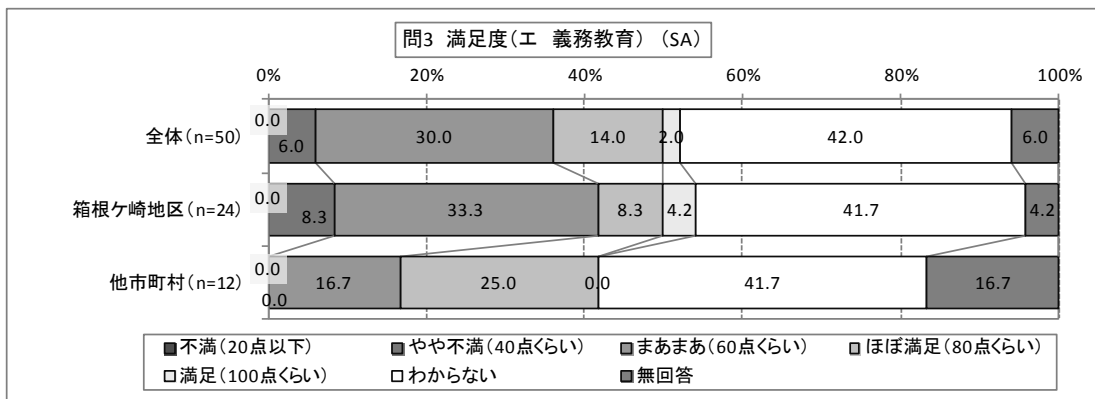
## イ 保健・医療（健康、病院等）



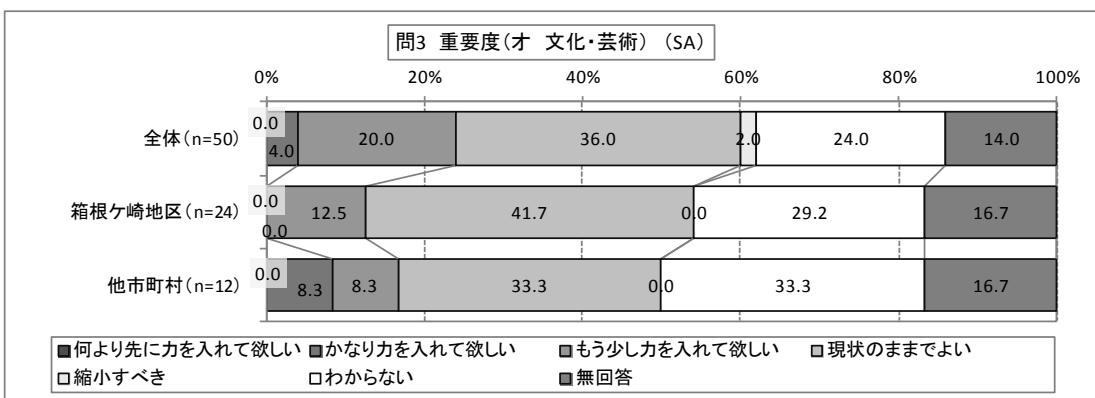
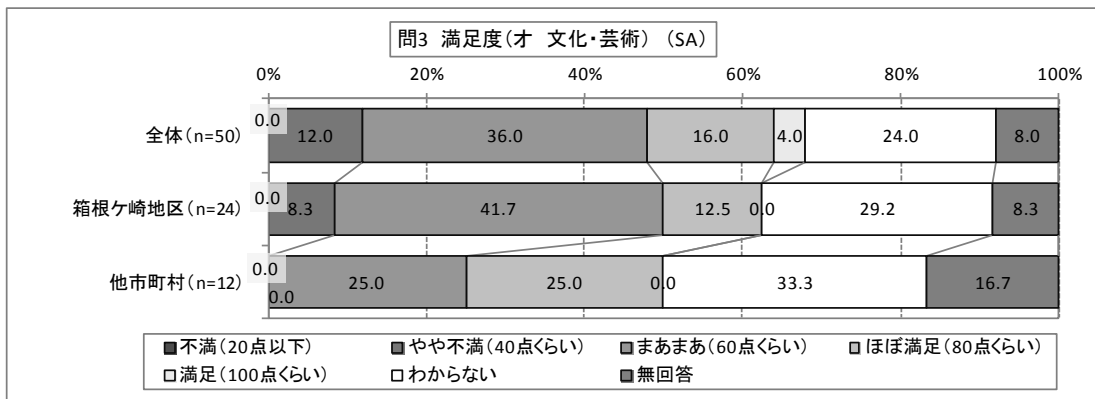
## ウ 幼稚園・保育園



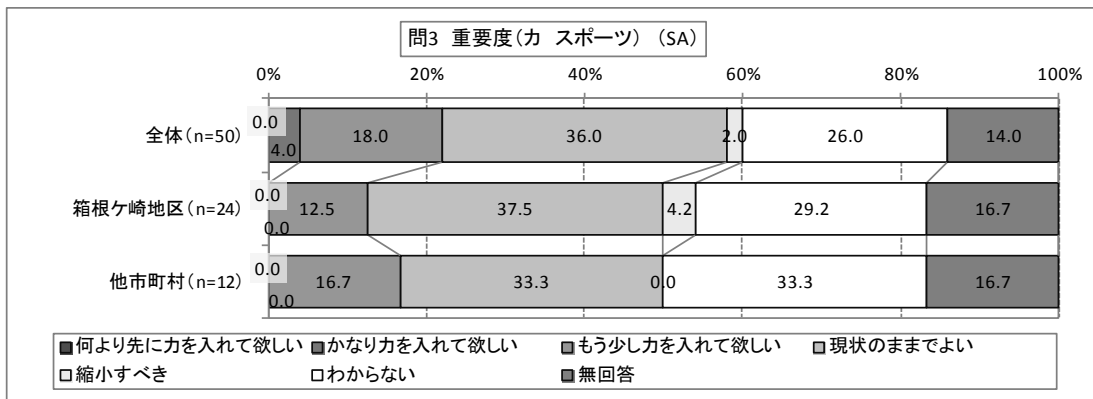
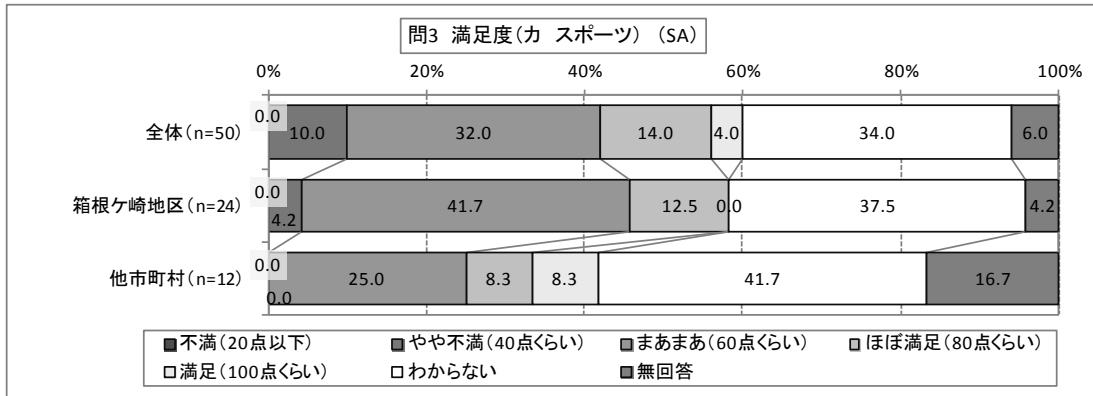
## エ 義務教育（小中学校）



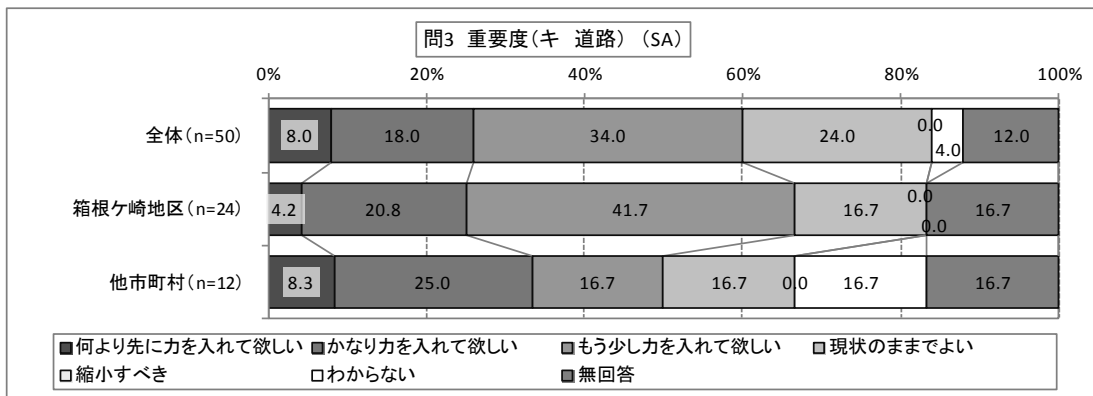
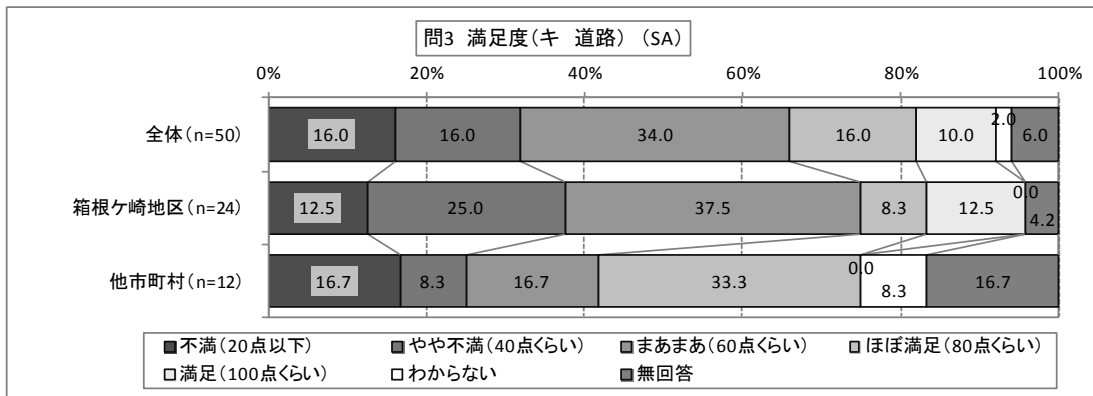
## オ 文化・芸術



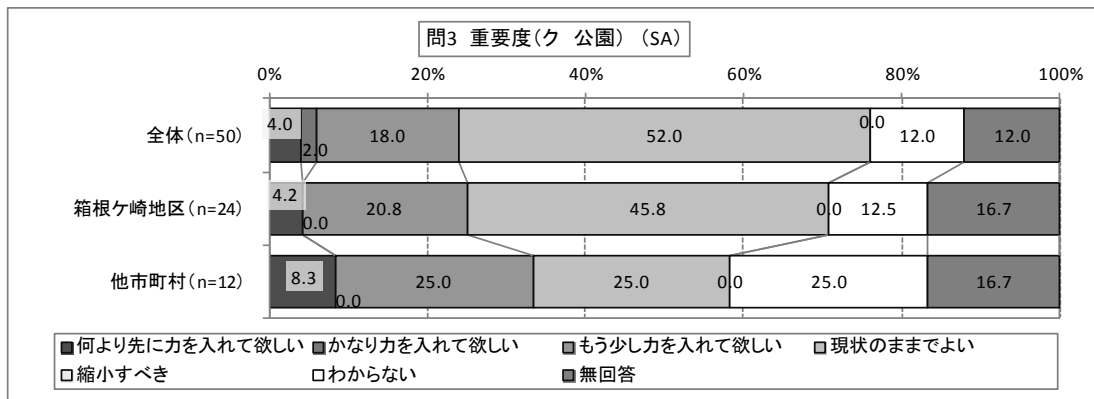
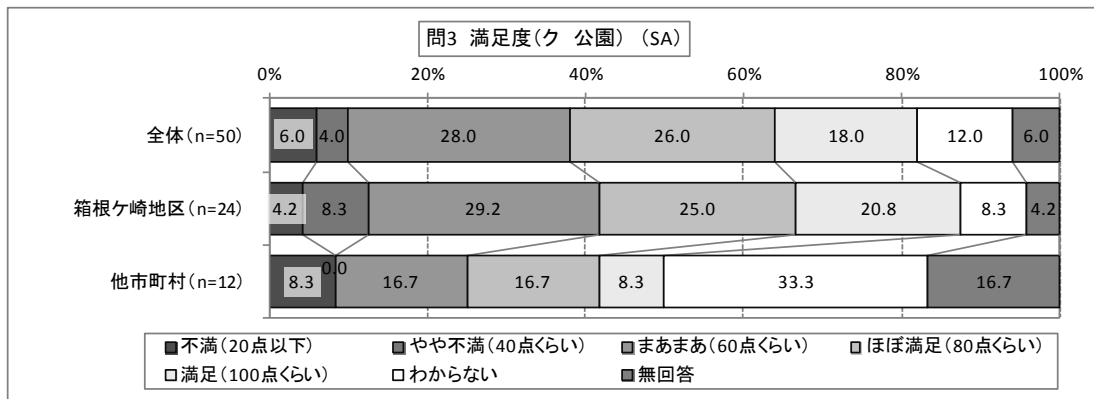
## カ スポーツ



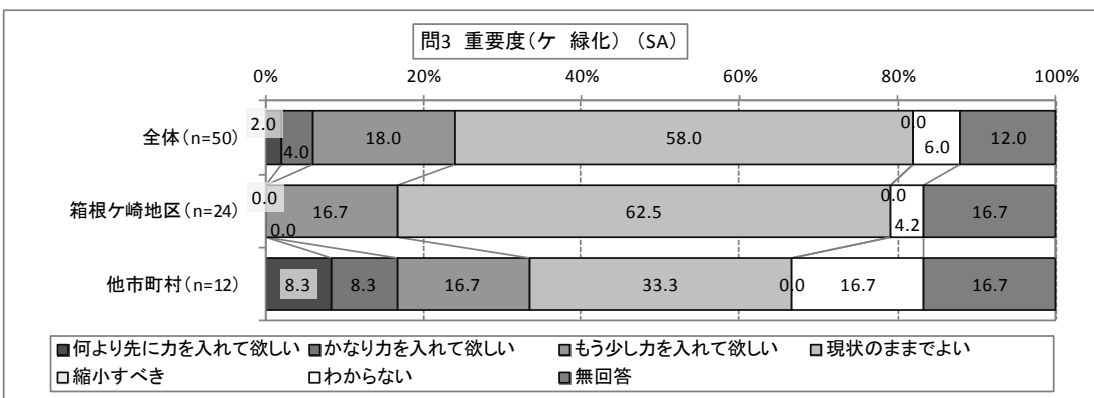
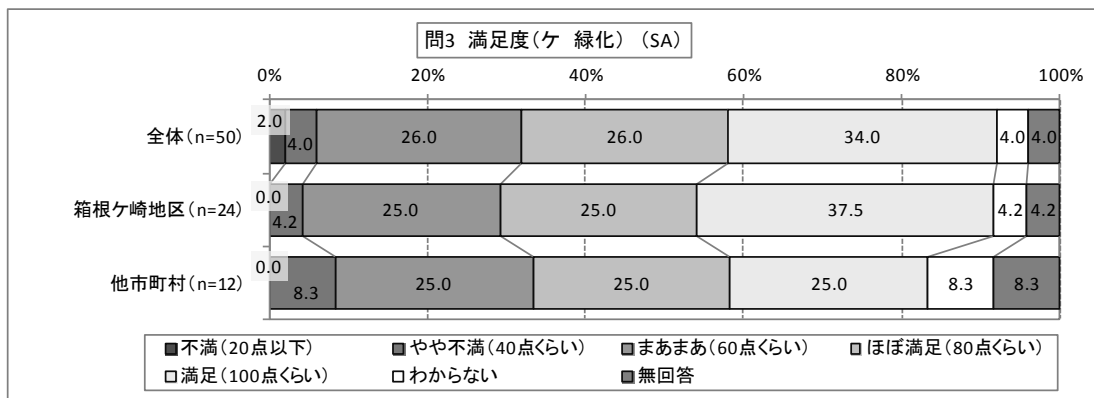
## キ 道路



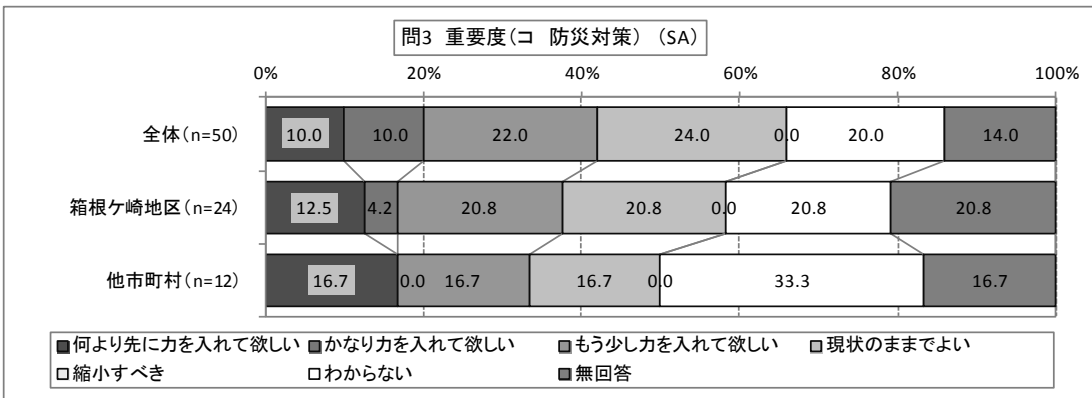
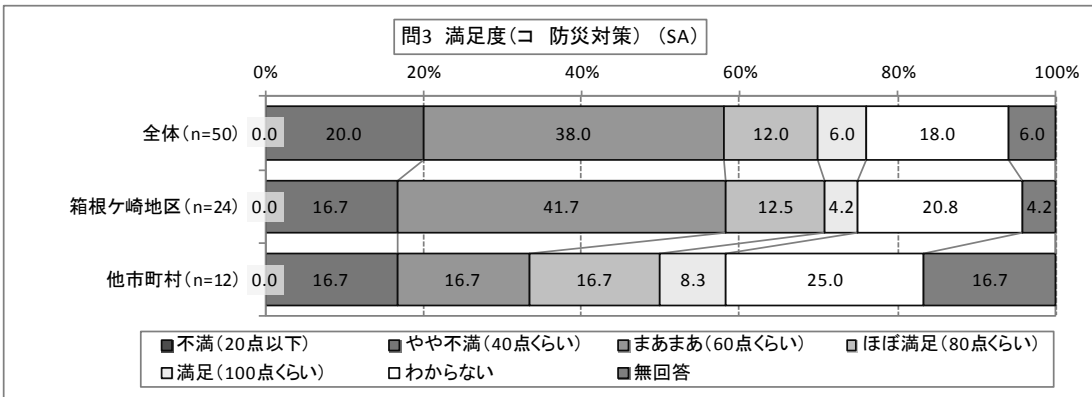
## ク 公園



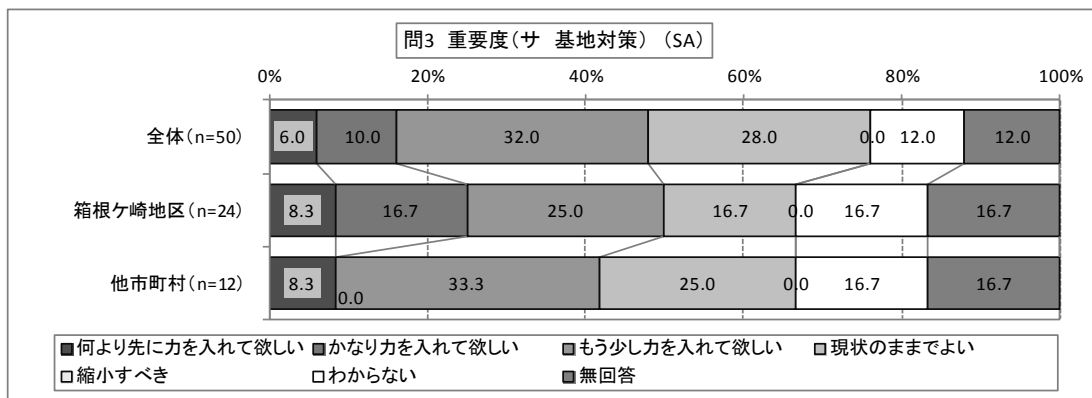
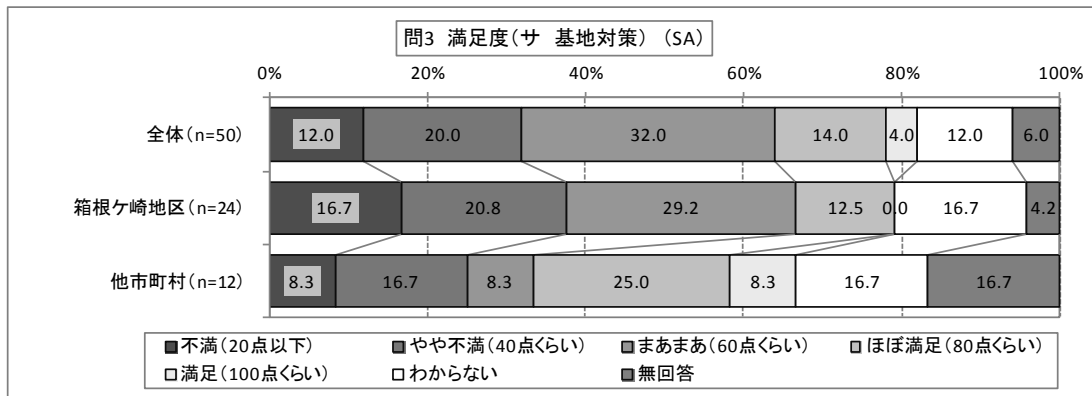
## ケ 緑化



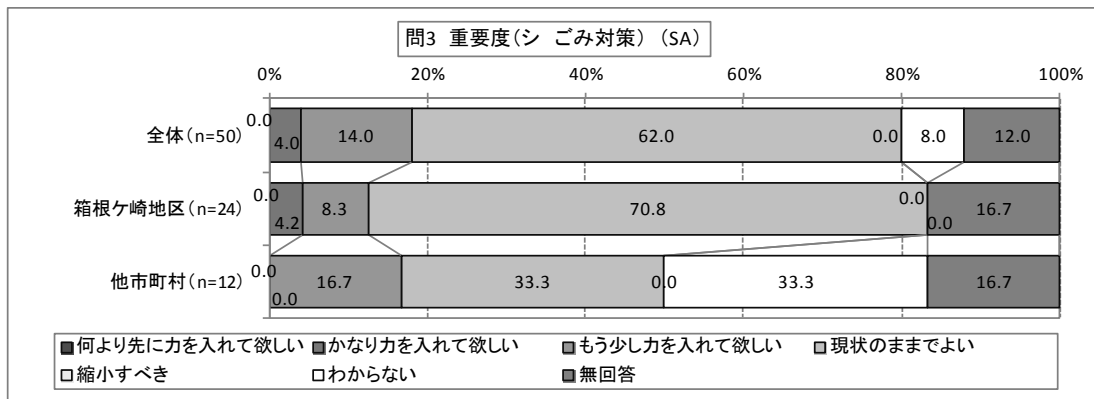
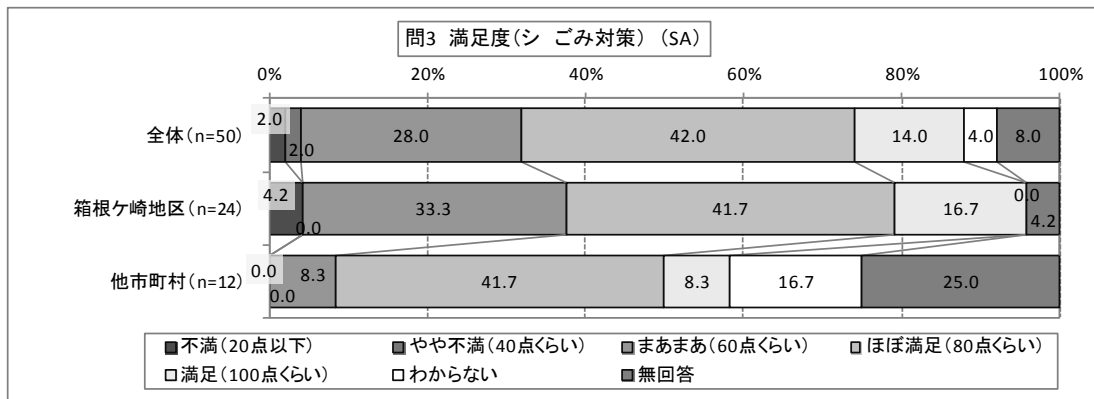
## コ 防災対策



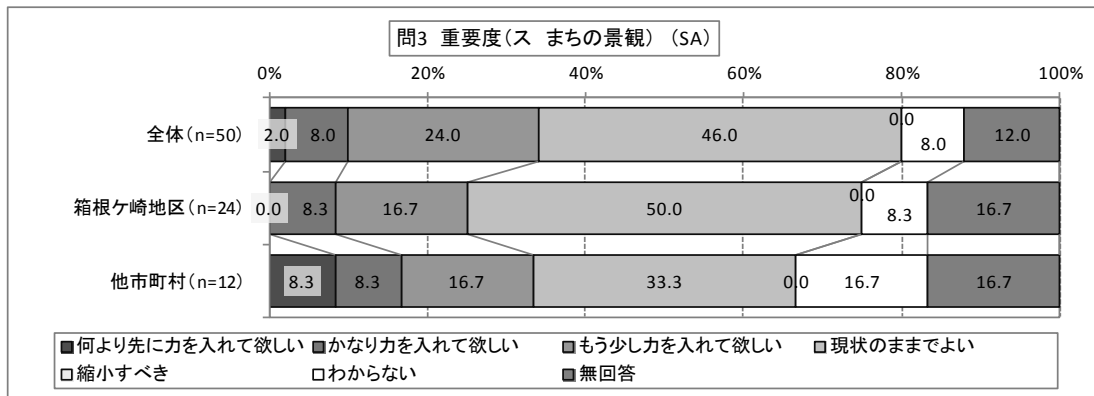
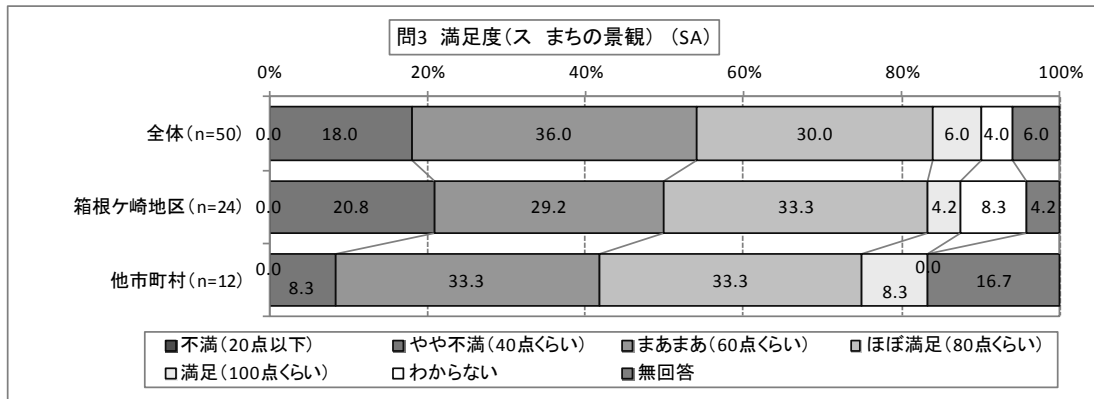
## サ 基地対策



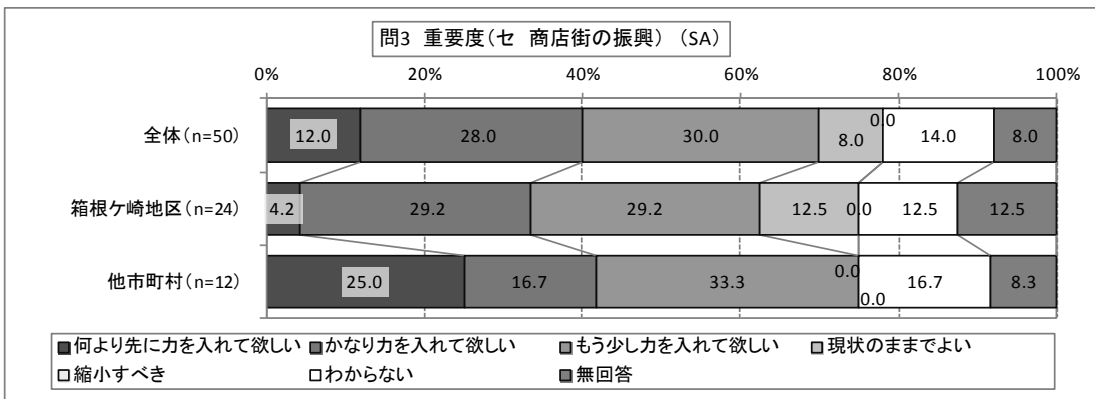
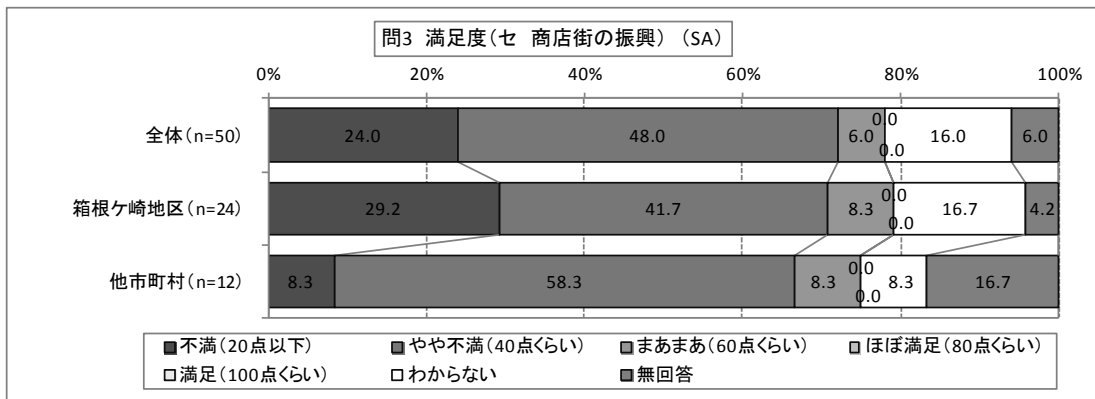
## シ ごみ対策（分別など）



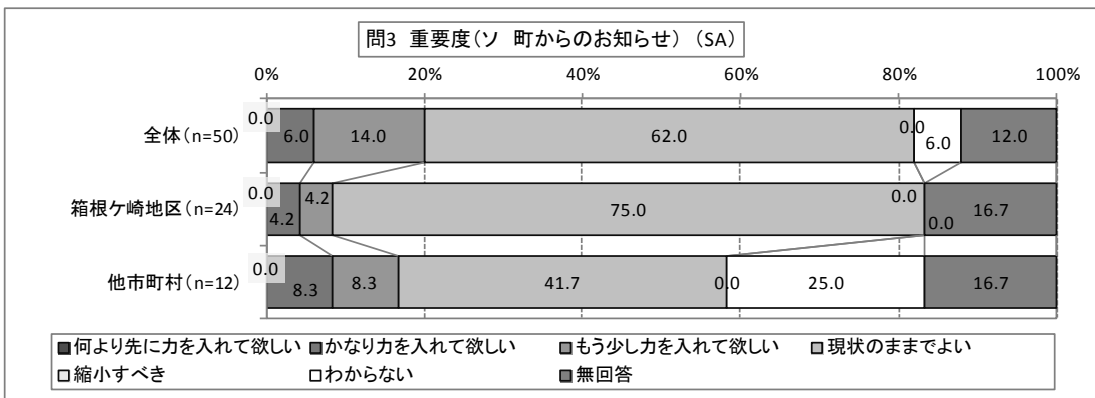
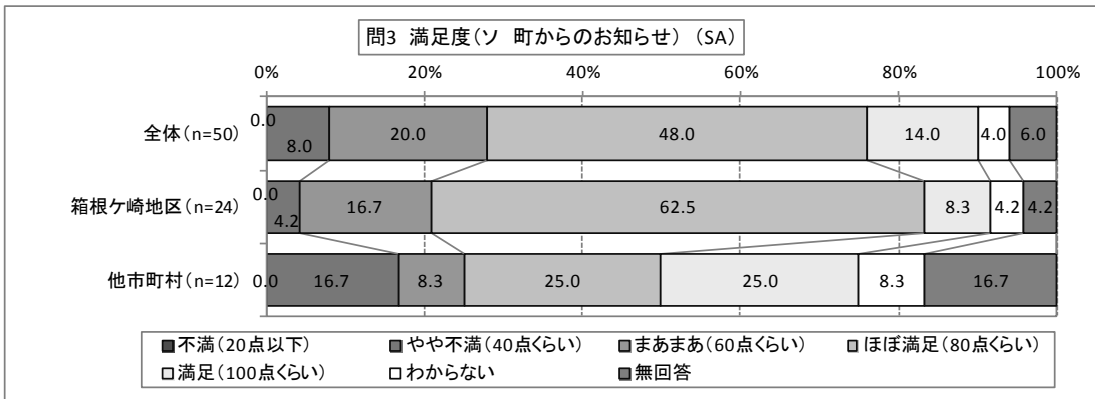
## ス まちの景観



## セ 商店街の振興



## ソ 町からのお知らせ(広報みずほなど)



(8) 瑞穂町への意見や要望について

問 4 瑞穂町に対するご意見、ご要望などがありましたら、以下にご記入ください。

回答いただいた意見や要望は、以下の通りである。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・あまり使わない道路をアスファルトにして、ムダ。カーブミラーを付けてくれと言ってもナシ（家から出る所）。</li><li>・さやま池の近くに出来た住宅地の所にムダな公園を作っている。</li><li>・旧 16 号の歩道に草が生え放題（都？）</li><li>・町の職員も町長も議員も瑞穂以外の世界を知った人がなったほうがいいと思います。</li><li>・駅のあのロータリーは要らない。電車通勤をしていない人の考え方。便が悪いのだから車で出むかえ当り前で狭すぎ。</li><li>・富士山（旧 16 号）に公園とトイレがあるが、朝夜の間は閉っている。あれは、六道山散策の人の為に作った物なのか。〇〇医院にかけての山も削っているが、中学生の通学路の確保（日光街道）が先ではないのか。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・活気あるまちづくりには、働き盛りの年齢の人達に住んで子育てをしてほしい。その為には終電が早すぎます、そして本数増を望みます。親家庭と子ども家庭が近所に住むことに補助金を出す区があります。仮にそうであっても今の八高線では不便で子ども家庭は増えないかと思う。</li><li>・この町へ仕事で来る方々からも電車の本数の少なさに驚く声を年中聞きます。そして駅周辺に食事できる場がなく、慌てる人が多いです。</li><li>・ゴミ収集についてはとても良いと思っています。</li><li>・贅沢を申しあげますが、始発電車も早くなると遠出するのに都合良くなります。</li></ul>                                                                |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・町内の交通機関がとても不自由です。車を持たない人にとって不便なので、町を走る福祉バスを誰にでも利用出来る循環バスに変えて頂きたい。雨の中の病院通院や駅までなど。利用出来れば幸いです。他の市町などはほとんどがあります。全区間 100 円位で利用出来たらと思います。駅東口、西口ときれいになったのにロータリーに商店が全くないのは不便である。もう少し商業にも力を入れてほしい。役場も月 1 回土曜日に開庁していれば良い。羽村市も福生市、その他やっているのになぜ瑞穂はやらないのか。</li></ul>                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・歩きたばこの人が多くて困ります。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・高根町、駒形町地区は公共交通機関の便が非常に悪い。元狭山地区と箱根ヶ崎地区等では施設面においても格差があるのでは。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・自然豊かな町のままでいてほしいです。大雪などの災害の時は、地域の方々と協力しあいですが、町としても除雪車など用意してくれるとありがたいです。人間の力では限界があります（お年寄りも多いので）。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・町では、家の石垣やブロック塀を植樹塀に補助金を出しているが、その後の検証がされてなく、敷地をはみ出た樹の枝が歩行の妨げになっている。それだけでなく、道の狭い瑞穂町で通学路などより危険な状況となっている。制度を活かすことは、やりっぱなしでなく、その後まで管理し、敷地をはみ出している家には注意をし、従わない場合、補助金の戻し入れをする対応が求められる。</li></ul>                                                                                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・箱根ヶ崎駅の周辺に、ファーストフード店やカフェのようなお店がほしい。駅周辺がにぎやかになったほうが街が明るくなると思います。図書館が山の上にあり利用しづらい。駅のほうにほしいです。治安を良くして安心して暮らしたい。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・郷土資料館が開館したが、個人的には充実させていただきたい。箱根ヶ崎駅が新しくなった時にも駅周辺に期待したのだが。是非新しい図書館を希望します（図書館といっても小さな子どもを連れてこれる様なもの）。スポーツ施設もグラウンド（野球・サッカー）はある</li></ul>                                                                                                                                                                                                                           |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>が、個人で利用出来るジムやプールといった施設がお粗末である。町が外から若い人を呼び入れたいのなら、若い人（20～30 代夫婦々）の希望に合うまちづくりも考えるべきであると思います。保育・教育の充実・文化・健康面の充実がないと今の若い世代は交通の便も悪く、最終電車の早い（青梅線の最終と拝島は合わすべき）所には住まない。最近家の近辺で東南アジアの男・女が目立つ様になったが、偏見は持っていないが、朝早く（5時頃）や深夜に7～8人で自転車にのり一車線をつぶして大声で走行していると少々違和感を感じる。町でも、そのような人達にルールやマナーのパンフを配るなどして欲しい。蛇足だが、もう町にパチンコ屋は不要。</p>                                                                                                                                                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔ながらの風習、地元、意識が強く感じられ、お嫁に来て以来よそ者扱いを感じられ、今までできました。よそ者が地区になじめるような取り組み、この町になじめるような親しく、ふれあい、楽しく老後が暮らせるように施策を考えてほしいです。地元以外の方が体操、レク等指導していきいきと楽しみを持てる様な場所の提供をしてほしいです。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・問2の「2」について。最近暴走族等の集会など、不安を感じるが多い。対策をしっかりしてほしい。「基地対策」について。基地のまち、横田との友好といいながら、オスプレイの飛来に対し抗議声明を出すなど矛盾した行動も多い。近隣市町との歩調あわせも大事だが、間違った情報におどらされることなく冷静な対策をとってほしい。基地は雇用や観光の資源にもなりうる。うまく共存していくべき。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山池からの残堀川沿いの遊歩道について、大通りを横切らずに渡れるような工夫が欲しい（例えば道路の下をくぐるなど）。特に青梅街道、日光街道、旧16号など横断する時危ない。</li> <li>・日光街道など一部歩道が狭くて怖い。</li> <li>・人々が集まってくる魅力ある商店街</li> <li>・道の駅などを検討してほしい。</li> <li>・川沿いの遊歩道に街灯がほとんどなく暗い。</li> <li>・箱根ヶ崎駅の喫煙所を隔離してほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・もし可能であれば、バス停に時刻表を掲示し、その時間以外にバスが来ても乗車できないことを書いておいてほしいです。今日、雨の中、夕方待っていたおじいさんがバスに乘れず「え？行っちゃうの！？」と声をあげていました。バスはそのまま去り、おじいさんも帰って行きました。追いかけてみましたが見失いました。この先もあのおじいさんはバスの時刻を知ること、30分以外に停止するバスには乗れないことを知らないままだろうと思います。バスの時刻表は駅に貼ってありますが、不便です。見つけられない人も多いと思います。お年寄こそ、このバスを必要としていると思うので、瑞穂町で働きかけてほしいと思いました。あのおじいさんは〇〇へ行ったら、きっと何か買っていたと思うので、もったいないなと思いました。潜在的なお客さんはもっと多いと思います。行きたくても行けないから。バスの利用法をお年寄が一目でわかるように何とかできないでしょうか。このまま売上げが落ちて〇〇が無くなってしまったら残念です。どうぞ宜しくお願い致します。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・基地の騒音対策に毅然とした対応してください。基地の騒音に対しすぐに基地と連絡できるようにして下さい（警察・消防署などで、できれば町からも確認できるよう）。役場近くに公衆トイレ（公園などにも）を作して下さい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民にとっては、どれだけ他の自治体と比べて町が優れ、劣っているのか比較して考える機会が少ないと思います。交通環境も、区内、多摩と比べれば弱点であるけれど、全国的にいや関東のエリアに目を広げれば大きく劣っているわけではないと思います。今後の行政は、いかに現在の世代で身の丈に合った生活を送るため、応分の負担をし、次代に負担を迫りたくないことを旨として進めるべきだと思います。そのために、住民にも不便なり、行政施策の縮小、見直しも訴え、それを受け入れていただくことなど「イヤなこと言える」行政であって欲しいと思います。</li> </ul>                                                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は5人家族で子どもが3人います。上の2人は社会人で下の子どもが中学3年生ですが、瑞穂町は税金が高すぎだと思います。日の出町みたいに住みやすく町民が住みたい町づくり</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>を瑞穂町も考えるべきではないでしょうか。私も下の子どもが中学を卒業しましたらこの町を離れたいと考えております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会など、もう要らないと思います。バス便、八高線も本数が少ない。町の循環バスが出来たら少しは楽かもしれない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・八高線の 15 分間隔運転の実現</li> <li>・モノレールの早期延伸</li> <li>・道の駅を作り地元の品で活性化、充電スタンド設置</li> <li>・電気自動車の役場導入と町民への充電スタンド開放</li> <li>・高齢者の健診、予防接種の充実</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の整備等いろいろとしてくださってありがたいと思っています。その際歩道にも少し配慮していただけるとありがたいです。特に役場周辺の歩道はごつごつしていてつまづきやすく、車椅子利用の際にも振動が大きいです。介助にも負担がかかるように思います。最近では雨水も浸透して歩きやすい歩道が増えています。最近整備された駅前の歩道もその点では少し残念でした。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バスを誰でも乗れる様にしてほしい。病院廻りをしてもらいたい。岩蔵街道に廻って〇〇の方に廻ってもらいたい。止まる場所を増やしてもらいたい。友達は息子家族と一緒に住んでいるのに介護を受けている。生活保護を受けているのに人より良い生活をしている。民生委員の人はもう少し廻って調べてもらいたい。議員はもう少し減らしてもらいたい。いつ迄も長く持っている人が多すぎる。新しい道路を作るより元からの道又は下水を良くしてもらいたい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞穂町の古文書の類の整理ができていないと聞きました。もっと大事にしていきたいと思います。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・何より瑞穂にきて、20 年になるが J R の便数が少ないことにがっかり。子どもは、小学生のときに引っ越してきたが今は、成人して外のもっと便の良いところに出てしまった。東京駅 10 時に出ても八高線に間に合うかどうかという感じ。これでは、ちょうど良い働き手である青年たちは、皆町を出てしまう。税収も少ないのでは。老人と小さい子どもたちだけの町になる。人口も増えない。</li> <li>・駅舎が新しく明るくきれいになったのはよかった。防犯上もよい。</li> <li>・とにかく J R の本数をふやしてほしい。老人や子どもたちのために駅までのバスの便として、お金を出してもよいので、バスの便を増やしてほしい。福祉バスコミュニティバスをだれでもよいから乗れるようにしてほしい。他の市は、200 円くらいでだれでも乗れるようになっている。松山町からは、西武バスもほとんど出ていないので利用できない。老人になると車を運転するのでもできなくなるので。11/17 拝島駅で 6 時からガーデンシクラメンの配布をしていたがそのような情報は、インターネットや携帯のメール情報で知らせてほしい。他市町向けかもしれないが、どんどん知らせてほしい。とにかくメインの鉄道八高線を早くなんとかして便利にしてほしい。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は箱根ヶ崎の駅を 20 年以上利用しています。駐輪場の件で、料金が瑞穂町に住んでいる人と他市に住んでいる人と料金に差をつけるというのはおかしいと思います。会社が瑞穂にある訳ですから、同じ料金にするべきだと思います。飯能は無料ですし東飯能の駅の駐輪場は、半分以上他の市からくる学生さんでうまります。でもみんなでどなたでも利用できるという事でそれでいいと思います。箱根ヶ崎の駅の駐輪場は学生さんも使用していると思います。料金が違うという事で瑞穂はおかしいな考え方をする町だと悪い印象を持ちました。この際ですからぜひ宜しくをお願いします。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー世代が多くなってきましたので、病気になるない様“体操”を町をあげて力を入れてほしい。朝一番、皆が集まって健康によい体操をやる等を企画してほしい。</li> <li>・町の福祉バスは、だれでも乗れるようにしてはどうか。利用率があがり、有効に活用されればそれでいいと思う。コミュニティセンター等の温度管理を臨機応変に対応してほしい。(常にエアコン〇〇度、暖房〇〇度) 画一に決めそれだけをおしつけるのはおかしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通機関が不便、八高線の本数増加、複線化、終電が早すぎる、車両の増加・バスの本数増化（西武バス入間方面等）</li> <li>・二本木、栗原、松山エリアへの交通手段がない（バスがない）。スーパーを増やして欲しい。箱根ヶ崎駅近くに買い物をするところがないので、仕事帰りに買い物ができない。仕事と家事を両立していると駅近にお店があると助かります。</li> <li>・ガス代が高い（プロパンガスなので）。</li> <li>・コインパーキングが少ない（特に駅近）。道路が狭い、歩道が少ない。自転車の利用をする人が多いので、車を運転していると危ない</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一小学校のまわりに公園をつくってほしい。学校は、日曜日、野球が占領していて子ども達は遊べません。何で毎回毎回野球をやってるんですか。ボールが飛んでくるからあぶないよと学校をおいだされるし、だからといって近くに公園や広場が無い。外で（道路近くや駐車場）遊ばせると、近くのおじちゃん怒り出す。学校を開放してほしい。</li> </ul>                                                                                                                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・町としてはコンパクトにまとまり暮らしやすいと思いますが、移入当時のご近所の方となじむのに時間がかかりました。言わゆる「よそ者」だったのでしょう。今でも同じ思いの方は多いかと推測します。施設等に不足が有る訳ではありませんが、住民が力を寄せ集める「核」が何か足りない気がします。具体的に何かと問われても答えられないのですがシンボリックな何か（物体とは限りません）が無いのです。高齢社会に向って「これがミズホだ」と言ったものがあったら良いなと希望しています。</li> </ul>                                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根ヶ崎駅の駅名を変更したら。箱根という言葉が地域に反映していない。瑞穂町駅などが良いのでは。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根ヶ崎駅が整備されました。未だ中途半端な気がします。旧街道側がそのままの様な気がします、花でも植えるのでしょうか。芝生できれいにしましょう。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き口がパートタイムしかない、青梅街道沿いの商店がさびれすぎ。どこかアーケード街のように、小売り店の通りを作って欲しい。道造りが中途半端→道の片側にしかラインを引いてないので左右行きかう人でケンカになっていることも（右側を歩け）、（線が引いてあるんだから左だっていいだろうとか）。</li> </ul>                                                                                                                                    |

第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画策定に向けて

# 瑞穂町 まちづくりアンケート

## アンケートご協力をお願い

本町では、行政運営を行う上での計画である「第4次瑞穂町長期総合計画」に基づき、「**みらいに ずっと ほこれるまち 潤いあふれ、活力みなぎる地域社会を目指して**」を将来都市像に掲げまちづくりを進めていますが、現在計画の中間見直し（策定）を進めています。

このアンケートは、ＪＲ箱根ヶ崎駅を利用する皆さんを対象に、瑞穂町のイメージや、瑞穂町へのご意見・ご提案などをお聞かせいただき、新たなまちづくりの計画策定に反映するために実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成26年11月

### …ご記入にあたって…

#### 1 記入方法

- (1) ご記入は、ボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
- (2) お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
- (3) お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、(     ) 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

#### 2 回収方法

**■ 12月1日（月）午後11時までにＪＲ箱根ヶ崎駅改札正面にある  
自由通路大型ディスプレイ脇の回収ボックスに投函して下さい。**

#### 3 お問い合わせ先

**■**記入上のご不明な点、このアンケートについてのお問い合わせは、次をお願いします。

瑞穂町 企画部 企画課 企画係 （電話 042-557-7468 直通）

（月曜～金曜日 午前8時30分～午後5時15分）

# 瑞穂町まちづくりアンケート 調査票

【問ア】あなたの性別について、当てはまる番号に○印をつけてください。

|   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| 1 | 男性 | 2 | 女性 |
|---|----|---|----|

【問イ】あなたの年齢について、当てはまる番号に○印をつけてください。

|   |         |   |         |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 19 歳以下  | 2 | 20～29 歳 |
| 3 | 30～39 歳 | 4 | 40～49 歳 |
| 5 | 50～59 歳 | 6 | 60 歳以上  |

【問ウ】あなたのお住まいの住所について、当てはまる番号に○印をつけてください。

|   |                                                                        |
|---|------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 殿ヶ谷地区 (町内会名：安住町、表町、仲町、中芝町)                                             |
| 2 | 石畑地区 (町内会名：東砂町、西砂町、丸町、神明町、表東町、表上町、上仲町、旭町)                              |
| 3 | 箱根ヶ崎地区 (町内会名：東1丁目、西1丁目、2丁目、東3丁目、中3丁目、西3丁目、4丁目、5丁目、6丁目、7丁目、8丁目、9丁目、松原町) |
| 4 | 長岡地区 (町内会名：長岡町、東長岡町、春日町、愛宕町、水保町)                                       |
| 5 | 元狭山地区 (町内会名：二本木町、駒形町、高根町、富士山町、栗原町、松山町)                                 |
| 6 | 武蔵野地区 (町内会・自治会名：旭が丘、さかえ町、富士見町、南平町)                                     |
| 7 | 他市町村 ( )                                                               |

【問エ】町内にお住まいの方にお聞きします。あなたの町内での居住年数について、当てはまる番号に○印をつけてください。

|   |         |   |         |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 2 年未満   | 2 | 2～4 年   |
| 3 | 5～9 年   | 4 | 10～19 年 |
| 5 | 20～29 年 | 6 | 30 年以上  |

【問 1】あなたは、瑞穂町の良さはどのようなところにあると思いますか。次の中から 3 つまで 選んで、番号に○印をつけてください。

|    |                                 |   |                   |
|----|---------------------------------|---|-------------------|
| 1  | 街なかに緑や自然が豊かである                  | 2 | 治安がよい             |
| 3  | 商業施設が多い                         | 4 | スポーツ施設が整っている      |
| 5  | 文化が大切にされ、文化施設が整備されるとともに、活用されている | 6 | 保健・医療・福祉が充実している   |
| 7  | 公共交通機関の便がよい                     | 8 | 静かで落ち着いて暮らせる環境である |
| 9  | 人の気持ちがあたたかくふれあいがありなじみやすい土地柄である  |   |                   |
| 10 | その他 ( )                         |   |                   |

【問 2】あなたは、瑞穂町の欠点はどのようなところにあると思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

|    |                                      |   |                   |
|----|--------------------------------------|---|-------------------|
| 1  | 街なかに緑や自然が少ない                         | 2 | 治安が悪くなってきた        |
| 3  | 商業施設が少ない                             | 4 | スポーツ施設が少ない        |
| 5  | 文化が大切にされず、文化施設も少ない<br>うえ、十分に活用されていない | 6 | 保健・医療・福祉が充実していない  |
| 7  | 公共交通機関の便が悪い                          | 8 | 静かで落ち着いて暮らせる環境でない |
| 9  | 古い習慣やしきたりが多くなじみにくい土地柄である             |   |                   |
| 10 | その他（ ）                               |   |                   |

【問 3】瑞穂町行政の各分野の施策について、日ごろ感じられるあなたの満足度と今後どれくらい力を入れたらよいと思うかについて、ア～スの各分野の施策毎に回答してください。

|                         | 日ごろ感じられる、あなたの満足度は？<br>(各項目1～6のいずれかに○印) |                  |                  |                  |                 |       | 今後どれくらい力を入れたらよいと思いますか？<br>(各項目1～6のいずれかに○印) |             |              |          |       |       |
|-------------------------|----------------------------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|-------|--------------------------------------------|-------------|--------------|----------|-------|-------|
|                         | 不満<br>(20点以下)                          | やや不満<br>(40点くらい) | まあまあ<br>(60点くらい) | ほぼ満足<br>(80点くらい) | 満足<br>(100点くらい) | わからない | 何より先に力を入れて欲しい                              | かなり力を入れて欲しい | もう少し力を入れて欲しい | 現状のままでよい | 縮小すべき | わからない |
| ア 福祉                    | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| イ 保健・医療<br>(健康、病院等)     | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| ウ 幼稚園・保育園               | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| エ 義務教育 (小中学校)           | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| オ 文化・芸術                 | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| カ スポーツ                  | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| キ 道路                    | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| ク 公園                    | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| ケ 緑化                    | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| コ 防災対策                  | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| サ 基地対策                  | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| シ ごみ対策 (分別など)           | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| ス まちの景観                 | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| セ 商店街の振興                | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |
| ソ 町からのお知らせ<br>(広報みずほなど) | 1                                      | 2                | 3                | 4                | 5               | 6     | 1                                          | 2           | 3            | 4        | 5     | 6     |

【問 4】瑞穂町に対するご意見、ご要望などがありましたら、以下にご記入ください。

|       |
|-------|
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |
| ----- |

**調査にご協力いただき大変ありがとうございました。**

12月1日（月）午後11時までJR箱根ヶ崎駅改札正面にある  
自由通路大型ディスプレイ脇の回収ボックスへ投函して下さい。

### 3. 瑞穂農芸高等学校アンケート調査

#### (1) 調査の目的

平成 28 年度から平成 32 年度の 5 年間を計画期間とする「第 4 次瑞穂町長期総合計画後期基本計画」の策定にあたり、東京都立瑞穂農芸高等学校に通う高校生に対して第 4 次瑞穂町長期総合計画後期基本計画の策定中であることを周知しつつ、瑞穂町への意見・提案などを把握することにより、新たなまちづくりの計画策定に反映するために実施した。

#### (2) 調査方法等

- |        |                                                                                         |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ①調査項目  | ・ 瑞穂町のイメージについて<br>・ 瑞穂町の良い点と悪い点について<br>・ 瑞穂町での居留意向について<br>・ 居住地と瑞穂町の比較評価について（町外居住者のみ回答） |
| ②調査地域  | 東京都立瑞穂農芸高等学校                                                                            |
| ③調査対象者 | 東京都立瑞穂農芸高等学校に在籍する 2 年生                                                                  |
| ④調査方法  | 調査票の教職員による直接配布・直接回収                                                                     |
| ⑤調査期間  | 平成 26 年 12 月 3 日～平成 26 年 12 月 5 日                                                       |

#### (3) 回収結果

- |      |       |
|------|-------|
| ①配布数 | 172 票 |
| ②回収数 | 163 票 |
| ③回収率 | 94.8% |

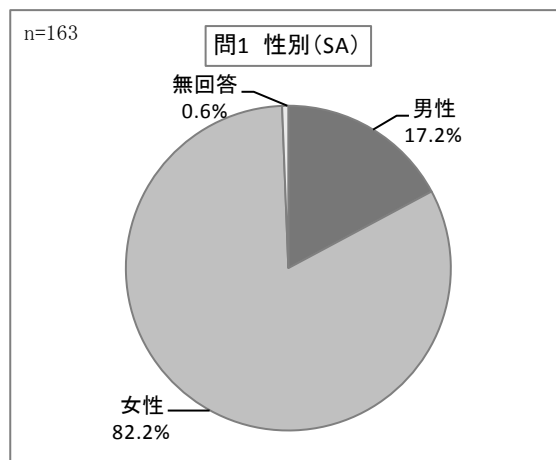
#### (4) 注意事項

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- 図表中の「n」(net)とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下 1 位まで示した数値は、回答比率(%)である。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。

## (5) 回答者の属性

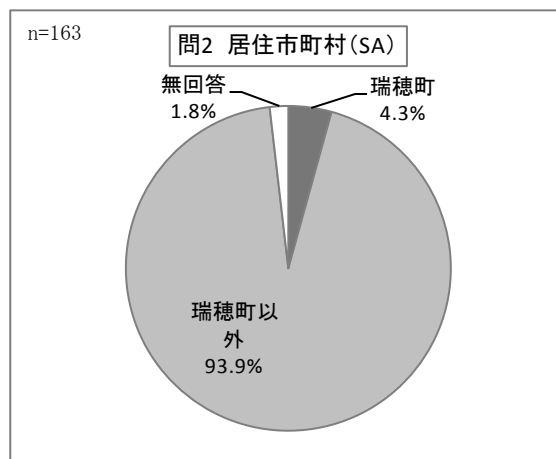
### ①性別

性別は、「男性」が 17.2%（28 人）、「女性」が 82.2%（134 人）、「無回答」が 0.6%（1 人）であった。



### ②居住区市町村

居住する区市町村は下表の通りであるが、「瑞穂町」居住者が 4.3%（7 人）、「瑞穂町外」居住者は 93.9%（153 人）、「無回答」は 1.8%（3 人）であった。



### 〔市区町村別回答者数〕

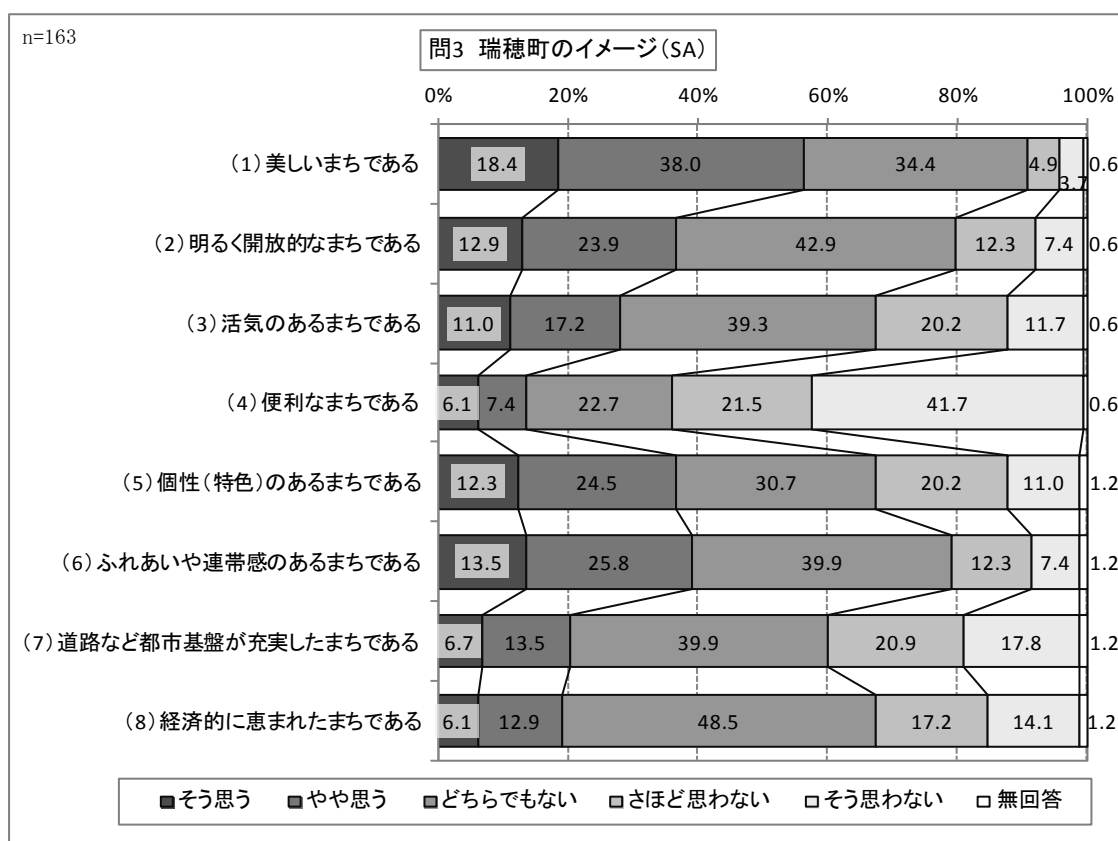
| 区市町村名 | 回答者数 | 区市町村名 | 回答者数 |
|-------|------|-------|------|
| 新宿区   | 1    | 東村山市  | 2    |
| 中野区   | 1    | 国分寺市  | 2    |
| 板橋区   | 1    | 国立市   | 1    |
| 練馬区   | 2    | 福生市   | 12   |
| 八王子市  | 17   | 東大和市  | 16   |
| 立川市   | 8    | 清瀬市   | 2    |
| 青梅市   | 22   | 武蔵村山市 | 21   |
| 府中市   | 2    | 羽村市   | 4    |
| 昭島市   | 13   | あきる野市 | 15   |
| 調布市   | 2    | 西東京市  | 2    |
| 町田市   | 1    | 瑞穂町   | 7    |
| 小平市   | 1    | 日の出町  | 2    |
| 日野市   | 3    | 無回答   | 3    |
|       |      | 計     | 163  |

(6) 瑞穂町のイメージや、良い点と悪い点について

①瑞穂町のイメージ

問3 あなたは、現在の瑞穂町をどのようなまちだと思いますか。次の各項目について、それぞれあてはまるものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

瑞穂町へのイメージは、「美しいまちである」、「ふれあいや連帯感のあるまちである」、「明るく開放的なまちである」「個性（特色）のあるまちである」への回答が多くなっている一方、「便利なまちである」への回答が最も低くなっている。



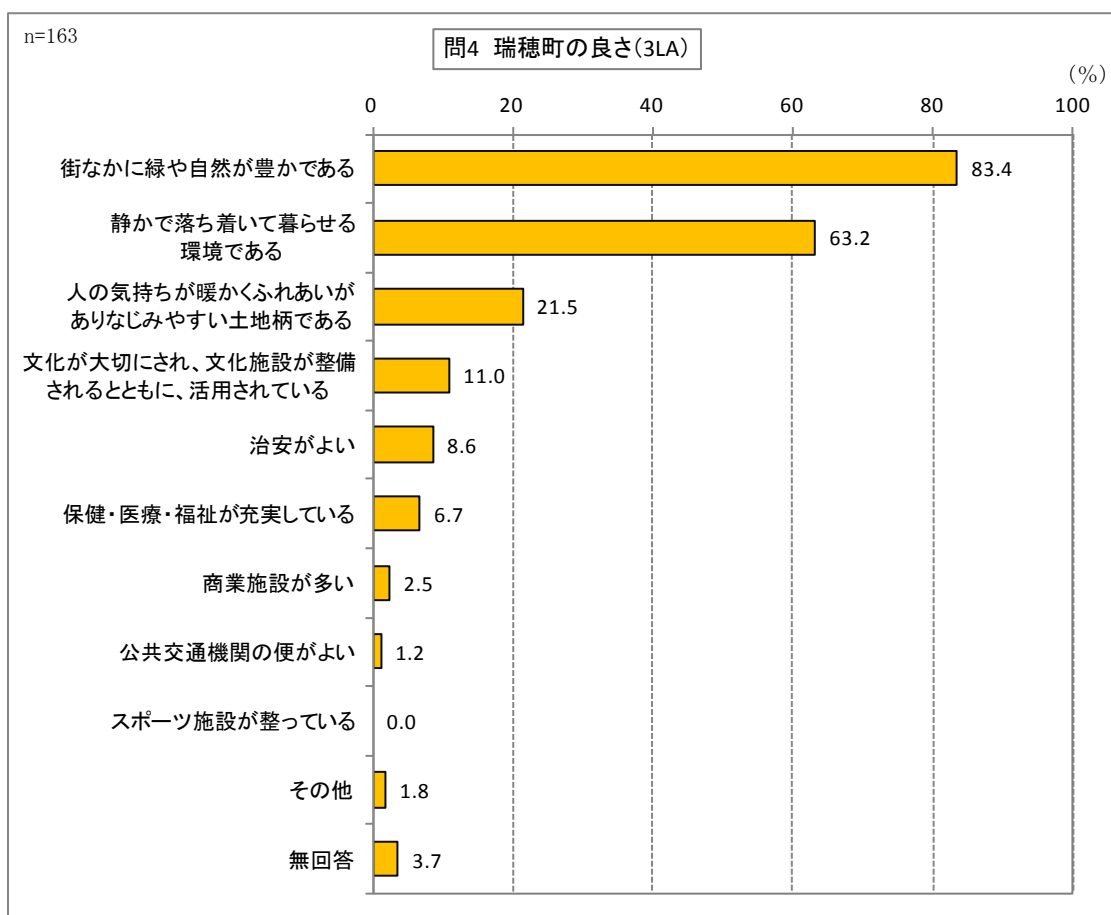
〔市区町村別回答者数〕

| 回答選択肢                  | そう思う | やや思う | 合計   |
|------------------------|------|------|------|
| (1) 美しいまちである           | 18.4 | 38.0 | 56.4 |
| (6) ふれあいや連帯感のあるまちである   | 13.5 | 25.8 | 39.3 |
| (2) 明るく開放的なまちである       | 12.9 | 23.9 | 36.8 |
| (5) 個性（特色）のあるまちである     | 12.3 | 24.5 | 36.8 |
| (3) 活気のあるまちである         | 11.0 | 17.2 | 28.2 |
| (7) 道路など都市基盤が充実したまちである | 6.7  | 13.5 | 20.2 |
| (8) 経済的に恵まれたまちである      | 6.1  | 12.9 | 19.0 |
| (4) 便利なまちである           | 6.1  | 7.4  | 13.5 |

## ②瑞穂町の良い点

問4 あなたは、瑞穂町の良さはどのようなところにあると思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

瑞穂町の良さについて、「街なかに緑や自然が豊かである」が最も多く 83.4%となっており、次いで「静かで落ち着いて暮らせる環境である」が 63.2%、「人の気持ちが暖かくふれあいがありなじみやすい土地柄である」が 21.5%と続いている。



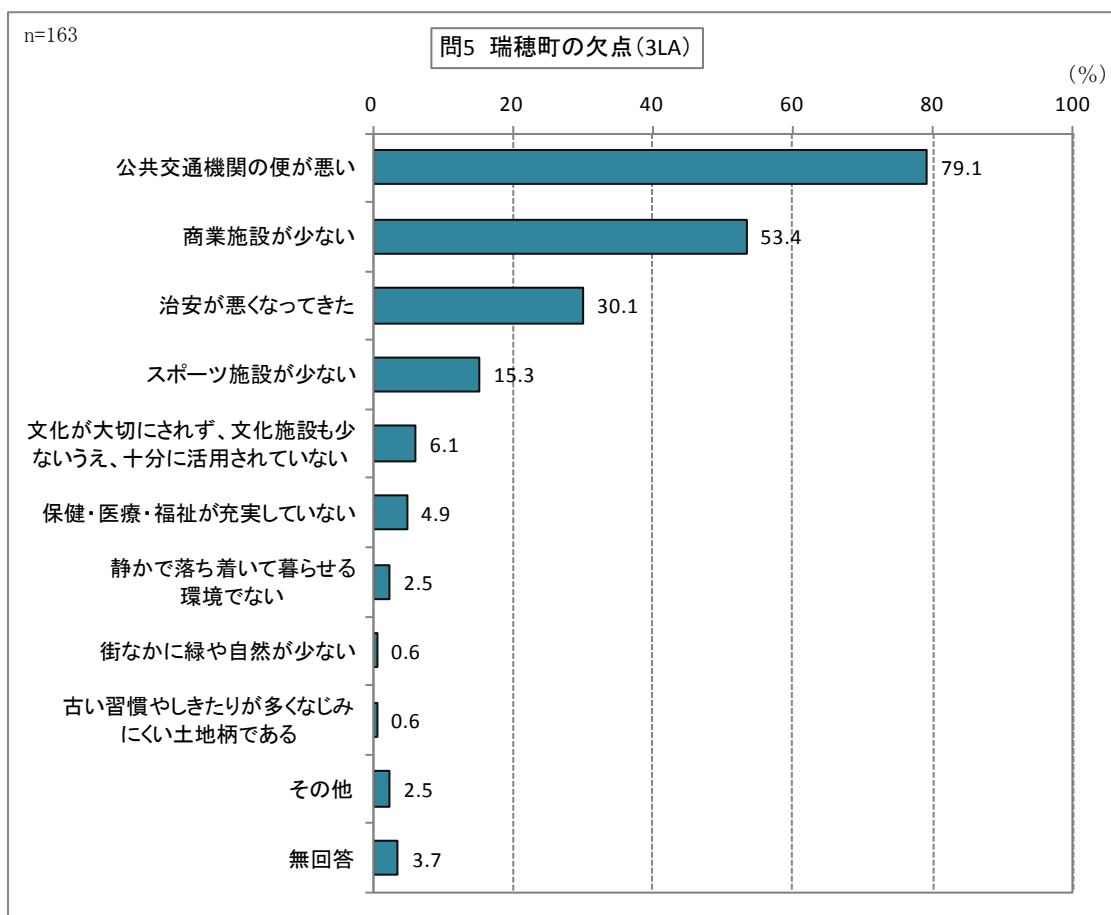
〔その他回答〕

良い人がある。

### ③瑞穂町の欠点

問5 あなたは、瑞穂町の欠点はどのようなところにあると思いますか。次の中から  
3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

瑞穂町の欠点について、「公共交通機関の便が悪い」が最も多く 79.1%となっており、次いで「商業施設が少ない」が 53.4%、「治安が悪くなってきた」が 30.1%と続いている。



#### 〔その他回答〕

お店が少ない。

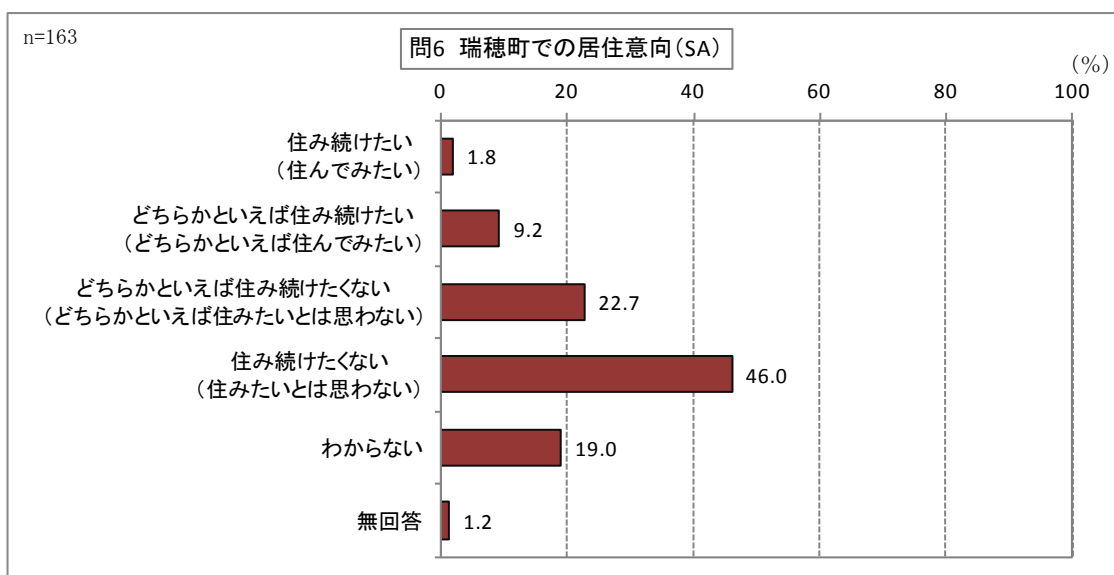
暗い。

(7) 瑞穂町での居住意向について

①瑞穂町での居住意向

問6 あなたは、将来瑞穂町に住み続けたい（瑞穂町内居住者）、あるいは住んでみたい（瑞穂町外居住者）と思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

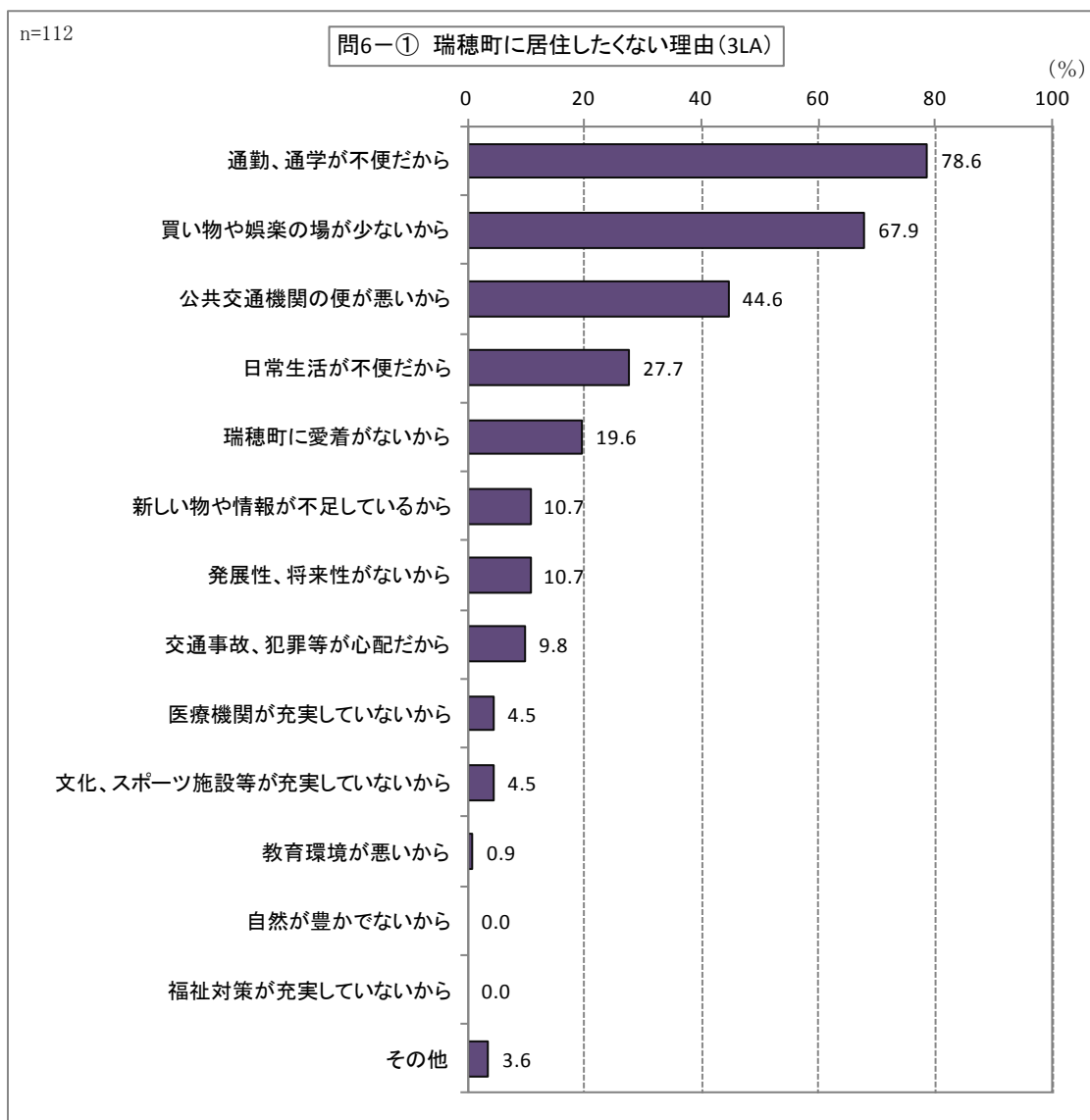
瑞穂町に対する居住意向について、「住み続けたくない（住みたいとは思わない）」が最も多く 46.0%となっており、次いで「どちらかといえば住み続けたくない（どちらかといえば住みたいとは思わない）」が 22.7%となっており、この2つを合わせると、68.7%と約7割が居住意向について否定的な回答をしている。



②瑞穂町に住みたくない理由

問6ー① 前問(問6)で「3」又は「4」に○印をつけられた方におたずねします。  
 あなたが“住み続けたくない(住みたいとは思わない)”と思う理由は何ですか。  
 次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

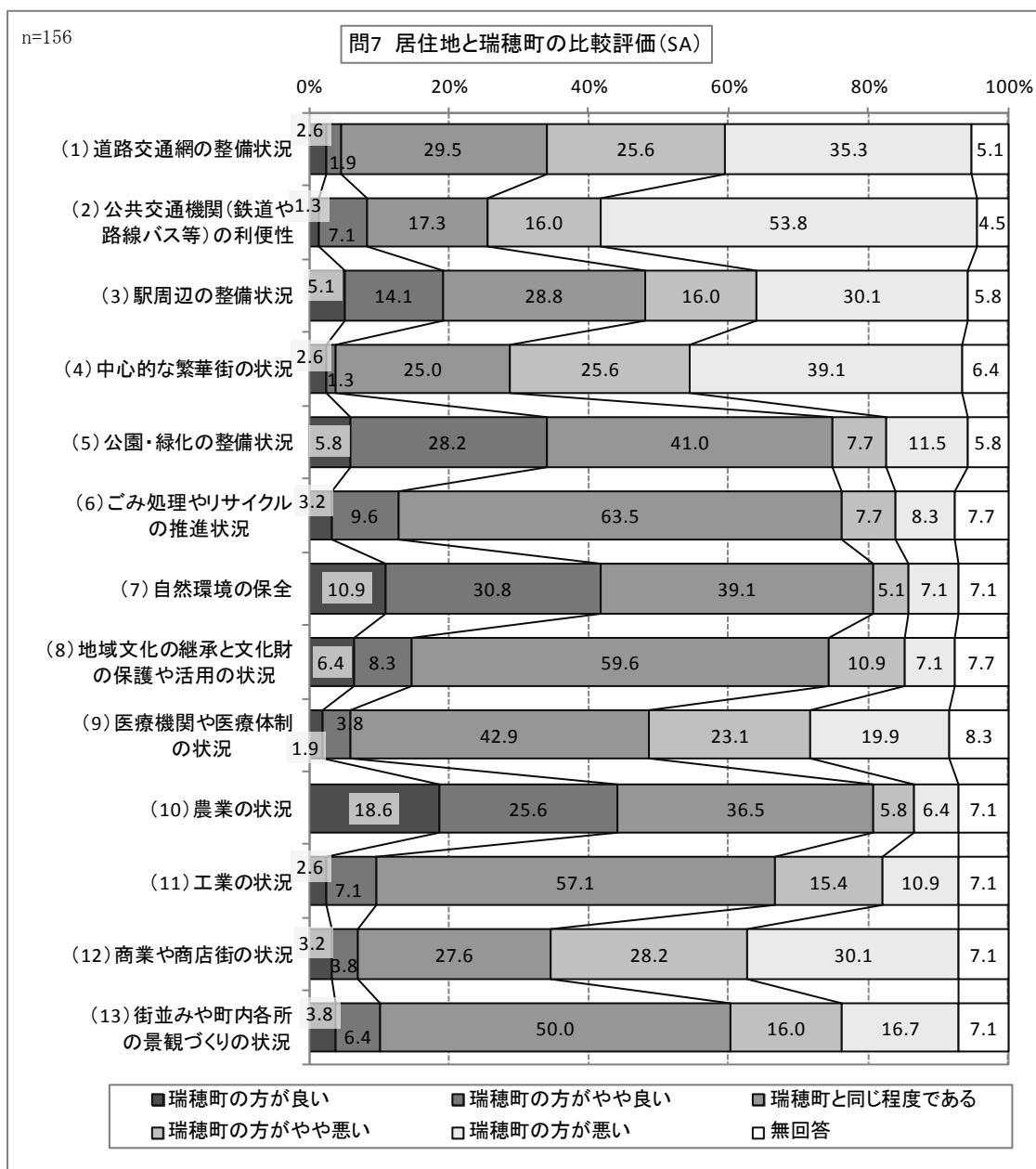
前問で居住意向について否定的な回答をしている回答者(112人)にその理由をたずねたところ、「通勤、通学が不便だから」が最も多く78.6%となっており、次いで「買い物や娯楽の場が少ないから」が67.9%、「公共交通機関の便が悪いから」が44.6%と続いている。



(8) 居住地と瑞穂町の比較評価について

問7 **瑞穂町外**に住んでいる方にお聞きします。現在お住まいの市町村と比べ瑞穂町の現状について、どのように思われますか。(1)～(13)の全ての項目について、1～5のうちからそれぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

瑞穂町外居住者（156人）に、瑞穂町の現況と比較評価をしてもらったところ、以下の回答結果であった。



この回答結果を、「瑞穂町の方が良い」と「瑞穂町の方がやや良い」を合わせた“瑞穂町の方が良い”と、「瑞穂町の方がやや悪い」と「瑞穂町の方が悪い」を合わせた“瑞穂町の方が悪い”を比較すると以下の通りである。

〔比較結果〕

| 回答選択肢                    | “瑞穂町の方が良い” | “瑞穂町の方が悪い” |
|--------------------------|------------|------------|
| (1) 道路交通網の整備状況           | 4.5        | 60.9       |
| (2) 公共交通機関（鉄道や路線バス等）の利便性 | 8.3        | 69.9       |
| (3) 駅周辺の整備状況             | 19.2       | 46.2       |
| (4) 中心的な繁華街の状況           | 3.8        | 64.7       |
| (5) 公園・緑化の整備状況           | 34.0       | 19.2       |
| (6) ごみ処理やリサイクルの推進状況      | 12.8       | 16.0       |
| (7) 自然環境の保全              | 41.7       | 12.2       |
| (8) 地域文化の継承と文化財の保護や活用の状況 | 14.7       | 17.9       |
| (9) 医療機関や医療体制の状況         | 5.8        | 42.9       |
| (10) 農業の状況               | 44.2       | 12.2       |
| (11) 工業の状況               | 9.6        | 26.3       |
| (12) 商業や商店街の状況           | 7.1        | 58.3       |
| (13) 街並みや町内各所の景観づくりの状況   | 10.3       | 32.7       |

“瑞穂町の方が良い”と回答した割合と、“瑞穂町の方が悪い”と回答した割合を比較すると、“瑞穂町の方が良い”項目は3項目、“瑞穂町の方が悪い”項目は8項目、それほど大きな差が無い項目は、「ごみ処理やリサイクルの推進状況」及び「地域文化の継承と文化財の保護や活用の状況」の2項目となっている。

☐ “瑞穂町の方が良い”項目

- (5) 公園・緑化の整備状況
- (7) 自然環境の保全
- (10) 農業の状況

☐ “瑞穂町の方が悪い”項目

- (1) 道路交通網の整備状況
- (2) 公共交通機関（鉄道や路線バス等）の利便性
- (3) 駅周辺の整備状況
- (4) 中心的な繁華街の状況
- (9) 医療機関や医療体制の状況
- (11) 工業の状況
- (12) 商業や商店街の状況
- (13) 街並みや町内各所の景観づくりの状況

(9) 瑞穂町への意見や要望について

問 8 瑞穂町に対するご意見、ご要望などがありましたら、以下にご記入ください。

瑞穂町に対する意見や要望を自由に記載してもらったところ、以下の 43 件が出された。

この 43 件のうち、「八高線の運行本数を増やす」ことを希望する意見が 24 件と過半を占めている。

〔意見・要望等一覧〕

|                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・電車の本数を増やしてほしいです。                                                                                                                                  |
| ・暗いところが多いので電灯を増やしてほしいです。不審者が多いのでもう少しどうにかしてほしいです。                                                                                                   |
| ・八高線が不便（本数が少ない、車両が少ない）学校からお店が遠い、お店の数自体少ない。                                                                                                         |
| ・変な人がよく出る。                                                                                                                                         |
| ・コンビニ等のお店を増やしてほしい。夜道が暗い。                                                                                                                           |
| ・電車の本数を増やして欲しい。                                                                                                                                    |
| ・隣町だけど、羽村にはない瑞穂のいいところがいっぱいあると思います。個人的にはみずほブランドがいいなと思いました。                                                                                          |
| ・この町は、本当に駅前にコンビニがあるだけで、他は何もない。ただの田舎。                                                                                                               |
| ・ファミレスや薬局などができてほしい。                                                                                                                                |
| ・電車の数がとても少ないです。                                                                                                                                    |
| ・交通の便が悪くて、学校まで遠い。電車の本数が少ない。                                                                                                                        |
| ・八高線の本数が少ないので増やしてほしい。                                                                                                                              |
| ・山が多く、坂などが多いのに学生に対して、交通の便が良くないと思います。ダメな所以外に良い所もあると思います。でも、ダメな所がよくなったら良いなと感じました。                                                                    |
| ・八高線の運行をもっと増やして下さい。                                                                                                                                |
| ・電車が少ない。通学時に歩くのがつらい。                                                                                                                               |
| ・住んでる人を丸々入れ替えればいいんじゃない。                                                                                                                            |
| ・単線なのは分かっていますが電車の本数を増やしてほしい。遊ぶ場所がない。                                                                                                               |
| ・もっとコンビニとかお店をつくってほしい。                                                                                                                              |
| ・瑞穂中学校の生徒の態度が悪い。                                                                                                                                   |
| ・もっと八高線の本数を増やしてほしい。もっと商業施設を増やしてほしい。                                                                                                                |
| ・瑞穂町に対してではないかもしれませんが、瑞穂農業高校の自転車置き場が全く近くない。自転車置き場が学校からあきらかに遠いです。定時は学校まで自転車で行けるのに対して、全日制がとても遠すぎです。全日制も学校まで行けるようにしてほしいです。自転車置き場から学校まで約 10 分かかるのはムリです。 |
| ・八高線の本数を増やして下さい。                                                                                                                                   |
| ・八高線の運行をもっと増やして下さい。                                                                                                                                |
| ・八高線の本数を多くしてほしい。バスを使いたい（登校の時）。                                                                                                                     |
| ・八高線増やして下さい。お願いします。                                                                                                                                |
| ・八高線の本数を増やして下さい。                                                                                                                                   |
| ・ここ最近、犯罪が増え治安が悪い。木や森が多く、人目の付かない場所が多く、治安の悪さがさらに目立つ。                                                                                                 |
| ・その上、交通の機関である八高線の本数が少なくとても不便で、この町に住まなくて良かったと思いました。                                                                                                 |
| ・電車の本数を増やしてほしい。                                                                                                                                    |

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| ・八高線の本数を増やしてください。バスをつくってほしい。                                      |
| ・コンビニとかを増やしてほしいです。                                                |
| ・八高線の運行数を増やして下さい。                                                 |
| ・コンビニが少ない。電波が悪い。                                                  |
| ・八高線の本数を増やして欲しい。                                                  |
| ・遊ぶ場所がない。                                                         |
| ・電車の本数を増やしてほしい。バスの本数も増やしてほしい。                                     |
| ・八高線の電車の本数増やしてください。                                               |
| ・中学生の態度が悪すぎる。交通ルールを理解してない大人が多すぎる（自転車のルールについて）。1度は交通ルール講習会を開いてみては。 |
| ・あと高校付近が夜暗いです。街灯を増やしてほしい。駅周辺も大事だけど安全の方が大切だと思います。                  |
| ・電車の本数が少なすぎてアルバイトだとかに間に合わない時がある。                                  |
| ・電車の本数が少ない。高校まで遠い。バスがほしい（駅から）。                                    |
| ・スーパーをつくってください。坂道を通るバスをつくってください。おねがいします。                          |
| ・八高線の本数の少なさ、飲食店や商店街が発展してないと思います                                   |
| ・これからも、緑のあふれる町であってほしいです。                                          |
| ・電車少ない。店が少ない。あったとしても、老人向けが多い。人をこの町にまねいても紹介するところがない。               |
| ・もっと、八高線の本数を増やしてほしい。コンビニをもっと多く作ってほしい。                             |
| ・治安が悪いかなと思います。                                                    |
| ・八高線の便を増やしてほしいのと、車両も増やしてほしい。                                      |

第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画策定に向けて  
東京都立瑞穂農芸高等学校の皆さんに  
お聞きします。

アンケートご協力をお願い挨拶

本町では、行政運営を行う上での計画である「第4次瑞穂町長期総合計画」に基づき、「**みらいに ずっと ほこれるまち 潤いあふれ、活力みなぎる地域社会をめざして**」を将来都市像に掲げまちづくりを進めていますが、現在計画の中間見直し（策定）を進めています。

この調査は、東京都立瑞穂農芸高等学校に通う2年生の皆さんを対象に、瑞穂町のイメージや、瑞穂町へのご意見・ご提案などをお聞かせいただき、新たなまちづくりの計画策定に反映するために実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成26年12月

…ご記入にあたって…

1 記入方法

- (1) ご記入は、ボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
- (2) お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
- (3) お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、(     ) 内になるべく具体的にその内容をご記入ください。

2 締め切りと回収方法

■ **12月19日（金）までに**回答をご記入して下さい。学校で回収します。

3 お問い合わせ先

■ 記入上のご不明な点、このアンケートについてのお問い合わせは、下記までをお願いします。

瑞穂町 企画部 企画課 企画係   （電話 042-557-0501 内線 2110）  
（月曜～金曜日 午前8時30分～午後5時15分）

# 瑞穂町まちづくり高校生アンケート 調査票

【問1】あなたの性別について、当てはまる番号に○印をつけてください。

|      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

【問2】 お住まいの市区町村名をお書きください。

|  |
|--|
|  |
|--|

【問3】あなたは、現在の瑞穂町をどのようなまちだと思いますか。次の各項目について、それぞれあてはまるものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

|                      | そう<br>思う | やや<br>思う | どちら<br>でもない | さほど<br>思わない | そう<br>思わない |
|----------------------|----------|----------|-------------|-------------|------------|
| 1 美しいまちである           | 1        | 2        | 3           | 4           | 5          |
| 2 明るく開放的なまちである       | 1        | 2        | 3           | 4           | 5          |
| 3 活気のあるまちである         | 1        | 2        | 3           | 4           | 5          |
| 4 便利なまちである           | 1        | 2        | 3           | 4           | 5          |
| 5 個性（特色）のあるまちである     | 1        | 2        | 3           | 4           | 5          |
| 6 ふれあいや連帯感のあるまちである   | 1        | 2        | 3           | 4           | 5          |
| 7 道路など都市基盤が充実したまちである | 1        | 2        | 3           | 4           | 5          |
| 8 経済的に恵まれたまちである      | 1        | 2        | 3           | 4           | 5          |

【問4】あなたは、瑞穂町の良さはどのようなところにあると思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

|    |                                 |   |                   |
|----|---------------------------------|---|-------------------|
| 1  | 街なかに緑や自然が豊かである                  | 2 | 治安がよい             |
| 3  | 商業施設が多い                         | 4 | スポーツ施設が整っている      |
| 5  | 文化が大切にされ、文化施設が整備されるとともに、活用されている | 6 | 保健・医療・福祉が充実している   |
| 7  | 公共交通機関の便がよい                     | 8 | 静かで落ち着いて暮らせる環境である |
| 9  | 人の気持ちが暖かくふれあいがありなじみやすい土地柄である    |   |                   |
| 10 | その他（ ）                          |   |                   |

【問5】あなたは、瑞穂町の欠点はどのようなところにあると思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

|                                        |                     |
|----------------------------------------|---------------------|
| 1 街なかに緑や自然が少ない                         | 2 治安が悪くなってきた        |
| 3 商業施設が少ない                             | 4 スポーツ施設が少ない        |
| 5 文化が大切にされず、文化施設も少ない<br>うえ、十分に活用されていない | 6 保健・医療・福祉が充実していない  |
| 7 公共交通機関の便が悪い                          | 8 静かで落ち着いて暮らせる環境でない |
| 9 古い習慣やしきたりが多くなじみにくい土地柄である             |                     |
| 10 その他（ ）                              |                     |

【問6】あなたは、将来瑞穂町に住み続けたい（瑞穂町内居住者）、あるいは住んでみたい（瑞穂町外居住者）と思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

|                                            |                                      |
|--------------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 住み続けたい（住んでみたい）                           | 2 どちらかといえば住み続けたい<br>（どちらかといえば住んでみたい） |
| 3 どちらかといえば住み続けたくない<br>（どちらかといえば住みたいとは思わない） | 4 住み続けたくない<br>（住みたいとは思わない）           |
| 5 わからない                                    |                                      |

【問6－①】前問(問6)で「3」又は「4」に○印をつけられた方におたずねします。

あなたが“住み続けたくない（住みたいとは思わない）”と思う理由は何ですか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

|                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1 買い物や娯楽の場が少ないから  | 2 新しい物や情報が不足しているから      |
| 3 通勤、通学が不便だから     | 4 交通事故、犯罪等が心配だから        |
| 5 日常生活が不便だから      | 6 発展性、将来性がないから          |
| 7 瑞穂町に愛着がないから     | 8 自然が豊かでないから            |
| 9 教育環境が悪いから       | 10 医療機関が充実していないから       |
| 11 福祉対策が充実していないから | 12 文化、スポーツ施設等が充実していないから |
| 13 公共交通機関の便が悪いから  |                         |
| 14 その他（ ）         |                         |

【問 7】瑞穂町外に住んでいる方にお聞きします。現在お住まいの市町村と比べ瑞穂町の現状について、どのように思われますか。(1)～(13)の全ての項目について、1～5のうちからそれぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

| 項 目                    | 瑞穂町の方が良い | 瑞穂町の方がやや良い | 瑞穂町と同じ程度である | 瑞穂町の方がやや悪い | 瑞穂町の方が悪い |
|------------------------|----------|------------|-------------|------------|----------|
| 1 道路交通網の整備状況           | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 2 公共交通機関（鉄道や路線バス等）の利便性 | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 3 駅周辺の整備状況             | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 4 中心的な繁華街の状況           | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 5 公園・緑化の整備状況           | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 6 ごみ処理やリサイクルの推進状況      | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 7 自然環境の保全              | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 8 地域文化の継承と文化財の保護や活用の状況 | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 9 医療機関や医療体制の状況         | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 10 農業の状況               | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 11 工業の状況               | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 12 商業や商店街の状況           | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |
| 13 街並みや町内各所の景観づくりの状況   | 1        | 2          | 3           | 4          | 5        |

[illegible]

ご確認のうえ、**12月19日(金)**に回収しますので、学校へ持参して下さい。

#### 4. みずほ小・中学生子ども議会

##### (1) 意見のまとめ

町内の小中学校に通う児童・生徒が、子ども議員としてまちづくりに関する質問に、町長・副町長・教育長をはじめ職員が回答する「子ども議会」での、平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年間の意見まとめると、以下のとおりであった。

##### ■意見の数

| 区 分    | 意見数  | 区 分        | 意見数 |
|--------|------|------------|-----|
| 安全・安心  | 12 件 | 高齢者福祉      | 3 件 |
| 公園・遊び場 | 11 件 | 図書館        | 4 件 |
| 道路・歩道  | 10 件 | コミュニティセンター | 3 件 |
| 学校     | 7 件  | 自然環境       | 2 件 |
| 美化     | 6 件  | 基地         | 2 件 |
| スポーツ   | 5 件  | ごみ・マナー     | 2 件 |
| 町の活性化  | 5 件  | 医療         | 2 件 |
| 福祉     | 2 件  | その他        | 3 件 |

意見の数としては、「安全」に関するものが最も多く 12 件を数え、次いで「公園・遊び場」関係が 11 件、「道路・歩道」関係が 10 件、「学校」関係が 7 件、「美化」関係が 6 件と続いているが、小中学生が関心を持っていることの傾向がうかがえる。

安全については毎年意見として出ているが、街灯や歩道等の安全対策に関する意見が多く、公園・遊び場については、大きい公園や自由に遊べる公園、また公園内での遊具の充実等を求める意見や、きれいな公園の維持を求める意見も出ている。

道路・歩道については、交通安全が図れる歩道の整備に関する意見が多く、学校については芝生化や空調設備に関する意見が出ている。

##### 〔安全・安心〕…12 件

- 街灯を増やし、夜でも安心して歩けるまちにしてほしい。(平成 22 年度)
- 安全に登下校ができる環境にしてほしい。(平成 22 年度)
- 街灯を増やしてほしい。(平成 23 年度)
- 通学路に街灯を増やしてほしい。(平成 24 年度)
- 安全な通学路にしてほしい。(平成 25 年度)
- 交通量が多い道路に、歩道橋を設置してほしい。(平成 25 年度)
- 明るい街灯にしてほしい。(平成 25 年度)
- 学校の照明や街灯などを LED に変えてほしい。(平成 26 年度)
- 大人が交通ルールを守るようにしてほしい。(平成 26 年度)
- 不審者のいない町にしてほしい。(平成 26 年度)
- 道路の安全性を向上してほしい。(平成 26 年度)
- 街灯を増設してほしい。(平成 26 年度)

〔公園・遊び場〕…11件

- 交通公園と防災・安全を楽しみながら学べる所をひとつにしたような安全公園をつくってほしい。(平成22年度)
- 六道山公園に町営のキャンプ場をつくって欲しい。(平成22年度)
- 町の公園に楽しい遊具を増やしてほしい。(平成22年度)
- 公園でボール遊びができるようにしてほしい。(平成22年度)
- 手軽に行ける大きな公園をつくってほしい。(平成22年度)
- 町に大きな公園をつくってほしい。(平成23年度)
- 公園に遊具を設置してほしい。(平成24年度)
- 自由に遊べる公園を増やしてほしい。(平成24年度)
- 公園をもっときれいにし、ユニバーサルデザインも取り入れてほしい。(平成24年度)
- 身近で遊べる遊び場を増やしてほしい。(平成24年度)
- 公園のトイレをきれいに維持してほしい。(平成26年度)

〔道路・歩道〕…10件

- バス停にベンチを置いて、待つ人が楽になるようにしてほしい。(平成22年度)
- 青梅街道に歩道をつくってほしい。(平成22年度)
- 通学路・公園・街路樹を整備してほしい。(平成22年度)
- 登下校時安全な歩道をつくってほしい。(平成23年度)
- 青梅街道沿いの歩道を安全に整備してほしい。(平成23年度)
- 交差点の測道を安全にしてほしい。(平成23年度)
- 自転車で走れる歩道をつくってほしい。(平成24年度)
- 安全な道路(歩道、街灯)を増やしてほしい。(平成24年度)
- 高齢者に優しい歩道を整備してほしい。(平成25年度)
- 広い道路に歩道橋を設置してほしい。(平成26年度)

〔学校〕…7件

- 学校の安全を守る施設(避難非常階段)や設備(消火器・さすまた等)を増やしてほしい。(平成22年度)
- 校庭の芝生化を進めてほしい。(平成23年度)
- 学校の遊具の周りを芝生にほしい。(平成23年度)
- 給食の種類と飲み物を増やしてほしい。(平成23年度)
- 学校の教室毎にエアコンの温度調節ができるようにしてほしい。(平成24年度)
- 学校の空調設備を整備してほしい。(平成24年度)
- 漢検や英検の費用を負担してもらいたい。(平成24年度)

〔美化〕…6件

- 歩道に覆いかぶさる樹木を整備してほしい。(平成23年度)
- 町の一斉清掃の回数を増やしてほしい。(平成24年度)
- 町のごみ拾いの日を増やしてほしい。(平成25年度)
- 公園にごみ箱を設置してほしい。(平成25年度)
- 公共のトイレをきれいに維持してほしい。(平成25年度)
- 公園でのごみのポイ捨てをなくしてほしい。(平成26年度)

〔スポーツ〕…5件

- 公共施設を利用してスポーツイベントを開いてほしい。(平成22年度)
- 子どもが利用する施設やプールをきれいに維持してほしい。(平成23年度)
- 学校にプールをつくってほしい。(平成24年度)
- 町民運動会を必ず開催してほしい。(平成24年度)
- 町にサッカー専用のグラウンドをつくってほしい。(平成26年度)

〔町の活性化〕…5件

- 町の人口を増やしてほしい。(平成22年度)
- 町の商店街で住民が買い物を積極的にしてほしい。(平成23年度)
- 住民が、町内の行事に積極的に参加してほしい。(平成23年度)
- 町を良くする運動を教えてほしい。(平成23年度)
- 町の農産物を使って商業を活性化してほしい。(平成26年度)

〔福祉〕…2件

- 町に点字やバリアフリーの施設を増やしてほしい。(平成25年度)
- 公共のトイレのバリアフリー化を進めてほしい。(平成26年度)

〔高齢者福祉〕…3件

- 敬老の日に高齢者と接するイベントを行ってほしい。(平成25年度)
- 一人暮らしの高齢者が集える施設を整備してほしい。(平成25年度)
- 高齢者と交流する機会を増やしてほしい。(平成25年度)

〔図書館〕…4件

- 町に図書館を増やしてほしい。(平成22年度)
- 図書館の図書を充実してほしい。(平成22年度)
- 図書館を大きく、図書を充実して欲しい。(平成23年度)
- 身近に利用できる図書館を増やしてほしい。(平成24年度)

〔コミュニティセンター〕…3件

- コミュニティセンターの駐輪場を広くしてほしい。(平成23年度)
- 子どもも行きやすいコミュニティセンターにしてほしい。(平成24年度)
- 楽しく過ごせるコミュニティセンターにしてほしい。(平成26年度)

〔自然環境〕…2件

- 虫・鳥・魚などの生物が過ごしやすい環境づくりをしてほしい。(平成22年度)
- 狭山池の水質をよくしてほしい。(平成26年度)

〔基地〕…2件

- 横田基地で仕事や生活している人との交流機会を増やしてほしい。(平成22年度)
- 横田基地の騒音をなくすため、飛行機等が来ないようにしてほしい。(平成24年度)

〔ごみ・マナー〕…2件

- 町でポイ捨てを無くしてほしい。(平成23年度)
- 残堀川からごみをなくしてほしい。(平成23年度)

〔医療〕…2件

- 町に大きな病院があるようにしてほしい。(平成25年度)
- 高齢者が利用できる身近な診療所を増やしてほしい。(平成25年度)

〔その他〕…3件

- 学校や町中に花があふれるまちにしてほしい。(平成25年度)
- 町民農園が獣害にあわないようにしてほしい。(平成26年度)
- 子ども議会で出た意見にしっかり対応してほしい。(平成26年度)

## 5. 町長への手紙

### (1) 意見のまとめ

瑞穂町では町政に対する意見・要望・提案などを聞き、町政に反映させるために「町長への手紙」制度を行っている。

毎年多くの意見が寄せられており、本調査分析では平成 22 年度から平成 25 年度の意見を対象とした。

### (2) 分野別の件数

提案内容の内訳は、住民生活分野に関する意見がもっとも多く 190 件を数え、福祉保健分野が 62 件、産業建設分野が 107 件、教育分野が 55 件、行財政分野が 73 件、その他が 29 件であり、この 4 年間で意見の総数は 516 件に上っている。

| 分野別意見（延べ） |      | 516 件 |
|-----------|------|-------|
| 1         | 住民生活 | 190 件 |
| 2         | 福祉保健 | 62 件  |
| 3         | 産業建設 | 107 件 |
| 4         | 教育   | 55 件  |
| 5         | 行財政  | 73 件  |
| 6         | その他  | 29 件  |

なお、送られてきた意見の中には「セールス・営業」「業者からの問い合わせ」「個人的感想」「職員に対する意見」等もあるが、これらは上記には含まれていない。

### (3) 項目別の件数

#### ①住民生活分野

住民生活分野の提案件数 190 件のうち、「ごみ・環境」に関する意見が 73 件と最も多くなっている。その内容は、ごみ袋に関する意見のほか、騒音や悪臭に関する意見があるが、もっとも多いのは身近な生活環境を乱す要因（ごみの焼却や不法投棄、野焼き、野良猫対策）に対する対応への要望が多い。「自然・景観」に関しては、生垣等剪定に関する意見が多い。「公園・緑地」に関しては、公園や緑地の整備のほか、安全対策としての公園管理に関する意見も多くなっている。

交通安全に関しても多いが、安全施設の整備や交通規則やマナーについての意見、そして安全確保への対策の要望が多くなっている。

|           |       |
|-----------|-------|
| ① 住民生活    | 190 件 |
| 〔1〕 ごみ・環境 | 73 件  |
| 〔2〕 自然・景観 | 21 件  |
| 〔3〕 公園・緑地 | 25 件  |
| 〔4〕 防災    | 14 件  |
| 〔5〕 防犯    | 16 件  |
| 〔6〕 交通安全  | 26 件  |
| 〔7〕 情報    | 12 件  |
| 〔8〕 エネルギー | 3 件   |

#### 〔1〕 ごみ・環境

|                                                |
|------------------------------------------------|
| ○排水溝が詰まらないよう行政指導してもらいたい。（平成 22 年 4 月）          |
| ○騒音対策でクーラーを設置するサポートをしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）      |
| ○瑞穂町のごみ袋を安くしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）               |
| ○横田基地の騒音対策をしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）               |
| ○工場から出る悪臭の改善を指導してもらいたい。（平成 22 年 4 月）           |
| ○空き地の草取りを適宜行ってもらいたい。（平成 22 年 5 月）              |
| ○ナガミヒナゲシの草取りを 5 月連休前後に行ってもらいたい。（平成 22 年 6 月）   |
| ○道路の雨水吸込部内の清掃を適切に行ってもらいたい。（平成 22 年 7 月）        |
| ○産業廃棄物処理業者の違法行為に対し指導監督監視をしてもらいたい。（平成 22 年 8 月） |
| ○下師岡公園前のトラック騒音への対応を適切に行ってもらいたい。（平成 22 年 8 月）   |
| ○ごみを自宅で燃やさないようにしてもらいたい。（平成 22 年 9 月）           |
| ○殿ヶ谷区画整理管理地（保留地）の雑草を適切に除草してもらいたい。（平成 22 年 9 月） |
| ○ピアノの騒音に対する注意を行ってもらいたい。（平成 22 年 9 月）           |
| ○事前連絡なしに粗大ごみの持込が出来るようにしてもらいたい。（平成 22 年 9 月）    |
| ○緑道の枯葉を収集する方策を検討してもらいたい。（平成 22 年 11 月）         |
| ○悪臭対策をしっかりとやってもらいたい。（平成 22 年 11 月）             |
| ○悪臭対策をしっかりとやってもらいたい。（平成 22 年 12 月）             |
| ○犬の放し飼いをやめてもらいたい。（平成 23 年 1 月）                 |
| ○町道にごみが散乱している場合の対応を取ってもらいたい。（平成 23 年 1 月）      |
| ○瑞穂町上空のセスナの飛行を制限してもらいたい。（平成 23 年 1 月）          |
| ○役場や公共施設の全面禁煙を実施して欲しい。（平成 23 年 1 月）            |

|                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------|
| ○福島原発近辺のゴミの受け入れ予定があるのであれば、慎重な対応をお願いしたい。（平成 23 年 4 月）                     |
| ○サッカーグラウンド（耕心館横）東屋近くの排水溝がつまって水たまりが出来るので、掃除をしてほしい。（平成 23 年 5 月）           |
| ○最近米軍の飛行機が頻繁に行き交い騒音に困っています。防音工事の助成金が出るとか対策はないのでしょうか。（平成 23 年 6 月）        |
| ○町でも放射能の測定を常時して欲しい。（平成 23 年 6 月）                                         |
| ○町の色々な場所で放射線数値の計測をして欲しい。（平成 23 年 6 月）                                    |
| ○プール、土壌、大気の調査を町として独自にして欲しい。（平成 23 年 6 月）                                 |
| ○放射能セシウムによる土壌汚染調査は東京都に頼らず町でやって欲しい。（平成 23 年 7 月）                          |
| ○生ごみ処理機購入の助成金を再開していただきたい。（平成 23 年 7 月）                                   |
| ○給食の食材に放射性物質が含まれていないか検査していただきたい。（平成 23 年 7 月）                            |
| ○放射性セシウムの土壌調査はどのような場所で測定しているのか教えていただきたい。（平成 23 年 8 月）                    |
| ○野焼きに対する行政の指導をしっかりと行ってもらいたい。（平成 23 年 8 月）                                |
| ○四丁目スポーツ広場の奥で、夕方黒い煙と時折火花が見えるので確認してもらいたい。（平成 23 年 9 月）                    |
| ○民間が設置した看板は風で飛ばされてしまうようなものもあるので、注意してもらいたい。（平成 23 年 9 月）                  |
| ○四丁目スポーツ広場の奥で、夕方黒い煙と時折火花が見え、ダイオキシンや火災の心配があるので行政指導を行ってもらいたい。（平成 23 年 9 月） |
| ○新青梅街道に草を生やさないようにしてもらいたい。（平成 23 年 10 月）                                  |
| ○セシウムの検出に当たっては、正しい測定方法で行ってもらいたい。（平成 23 年 11 月）                           |
| ○ごみが散乱している状態で人の通行ができないようにしている場所があるので適切な指導をしてもらいたい。（平成 24 年 1 月）          |
| ○車に傷を付ける等器物損壊をする猫を駆除してもらいたい。（平成 24 年 1 月）                                |
| ○たき火をやめてもらいたい。（平成 24 年 1 月）                                              |
| ○100 ミリシーベルト以下（年間）の放射線被爆で健康に害があることは立証されていないことを周知してもらいたい。（平成 24 年 1 月）    |
| ○放射線測定器の貸し出しについては、働いている人のことを考え貸出時間を延長すべきである。（平成 24 年 1 月）                |
| ○犬をつながずに散歩している人がおり、対応してもらいたい。（平成 24 年 3 月）                               |
| ○犬の排泄物は持ち帰ってもらいたい。（平成 24 年 3 月）                                          |
| ○ゴミ持ち込みは 20kg 位まで無料にしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                |
| ○畑の野焼きに注意をしてほしい。（平成 24 年 4 月）                                            |
| ○ごみ袋の素材はもう少し丈夫なものにしてもらいたい。（平成 24 年 5 月）                                  |
| ○ゴミのポイ捨てはやめて欲しい。（平成 24 年 5 月）                                            |
| ○道路にポイ捨てのゴミが多いので、ゴミの収集にボランティアを募って欲しい。（平成 24 年 5 月）                       |
| ○大音量のカラオケに困っています。町広報で注意喚起して欲しい。（平成 24 年 5 月）                             |
| ○東日本大震災で発生した瓦礫焼却を中止してください。（平成 24 年 6 月）                                  |
| ○野良猫対策をして欲しい。（平成 24 年 6 月）                                               |
| ○小学校の芝生化によって蛇が集まってくるのでその対応を検討してもらいたい。（平成 24 年 6 月）                       |
| ○乗り捨てられた自転車の回収を早くしてもらいたい。（平成 24 年 7 月）                                   |
| ○町に多く生えているケシの花を除草するよう啓発してもらいたい。（平成 24 年 7 月）                             |

|                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------|
| ○使用済み天ぷら油等の廃油再利用を進めてもらいたい。（平成 24 年 7 月）                                   |
| ○生活排水を川に流す人がいるので対応してもらいたい。（平成 24 年 7 月）                                   |
| ○残堀川沿いに放置された自転車を回収してもらいたい。（平成 24 年 7 月）                                   |
| ○重機の洗車にあたっては油水分離装置を設置することが法律で決まっているはずなので、指導してもらいたい。（平成 24 年 10 月）         |
| ○ビン・カンの収集用バケツが何度も紛失するので対応してほしい。（平成 25 年 4 月）                              |
| ○箱根ヶ崎で産業廃棄物（有害物質）を燃やしているため体調が心配。何とかしてほしい。（平成 25 年 4 月）                    |
| ○個人の家でゴミを燃やさないでほしい。（平成 25 年 4 月）                                          |
| ○首輪を付けずに犬を散歩させている人がいる。対応をお願いしたい。（平成 25 年 8 月）                             |
| ○廃油の捨て方を町の広報等で掲載してほしい。（平成 25 年 8 月）                                       |
| ○ごみの収集袋の配布場所を今まで通りにしてほしい。（平成 25 年 10 月）                                   |
| ○ごみ袋の見直しをしてほしい。（平成 25 年 11 月）                                             |
| ○犬を放し飼いにした上首輪をしないで散歩する人がいる。（平成 26 年 1 月）                                  |
| ○個人でゴミを燃やすのはやめてほしい。（平成 26 年 1 月）                                          |
| ○町道のゴミの放置を改善してほしい。（平成 26 年 2 月）                                           |
| ○電柱に住民が何か撒き散らかしているのを調査してほしい。（平成 26 年 2 月）                                 |
| ○猫の注意書きにある、避妊・去勢手術をしましょう。無責任な餌やりはやめましょう。その改善には町の協力が必要だと思います。（平成 26 年 2 月） |

## 〔2〕 自然・景観

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| ○基地内の樹木の定期的な剪定をしてもらいたい。（平成 22 年 5 月）                 |
| ○スズメの巣箱設置を進めてもらいたい。（平成 22 年 6 月）                     |
| ○役場職員駐車場の植木の剪定を適宜行ってもらいたい。（平成 22 年 6 月）              |
| ○公道にはみ出ている民家の植木を剪定してもらいたい。（平成 22 年 6 月）              |
| ○公園の樹木にプレートをつけてもらいたい。（平成 22 年 9 月）                   |
| ○花の植え替えは、季節にあう花を選ぶべきではないか。（平成 23 年 7 月）              |
| ○狭山池にきれいな鯉を放している人を紹介してもらいたい。（平成 23 年 10 月）           |
| ○環境パトロールの仕事が適切に行われているか知りたい。（平成 23 年 11 月）            |
| ○残堀川でのカワセミの営巣活動を見守るために迷彩網の設置はできないでしょうか。（平成 24 年 4 月） |
| ○環境パトロールの充実を図って欲しい。（平成 24 年 4 月）                     |
| ○大雨の時に残堀川に錦鯉が流れてこないように気をつけてもらいたい。（平成 24 年 4 月）       |
| ○エコパークのイシガメが逃げ出さないようにしてもらいたい。（平成 24 年 7 月）           |
| ○エコパークのタニシを適切に取り除いてもらいたい。（平成 24 年 7 月）               |
| ○道路に覆いかぶさる樹木の剪定を指導してもらいたい。（平成 24 年 12 月）             |
| ○緑道に植えられている樹木を常緑樹に植え替えしてもらいたい。（平成 25 年 2 月）          |
| ○放置自転車を町が希望者に販売するようにしてもらいたい。（平成 25 年 2 月）            |
| ○道路にはみ出ている樹木を切り落としてほしい。（平成 25 年 4 月）                 |
| ○日本ミツバチに職員の力をお貸しください。（平成 25 年 5 月）                   |
| ○犬を放し飼いでいる家がある。（平成 25 年 6 月）                         |
| ○投棄自転車や雑草、ゴミの焼却等、環境改善に配慮してほしい。（平成 25 年 8 月）          |
| ○雑草が多いので目障りになる前に刈り取ってほしい。（平成 25 年 11 月）              |

### 〔3〕公園・緑地

|                                                              |
|--------------------------------------------------------------|
| ○ひばり公園に町のチャイムが流れるようにしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）                    |
| ○六道山公園管理人の接客態度を改善してもらいたい。（平成 22 年 9 月）                       |
| ○松原中央公園のローラーすべり台で、危険がないように指導してもらいたい。（平成 22 年 10 月）           |
| ○六道山で、東京都で立てた地図は間違いが多いので改善してもらいたい。（平成 23 年 3 月）              |
| ○小学校の周りのさくらの木を伐採した理由を知りたい。（平成 23 年 3 月）                      |
| ○防災公園の出入り口付近の白い部分が出来上がったばかりなのに剥がれ始めていて不安である。（平成 23 年 6 月）    |
| ○若草公園の鉄棒が、大きく曲がっているので早急に修繕してほしい。（平成 23 年 7 月）                |
| ○殿ヶ谷表橋の武蔵村山よりの公園を毎朝清掃している人を皆が見習ってもらいたい。（平成 23 年 10 月）        |
| ○松原中央公園の桜の倒木後に時計台を設置するのは再検討してもらいたい。（平成 23 年 12 月）            |
| ○松原中央公園内の設備が荒らされていることへの対策をとってもらいたい。（平成 23 年 12 月）            |
| ○ジュンサイ池の男子トイレの故障を早く直してもらいたい。（平成 24 年 4 月）                    |
| ○松原中央公園は横断歩道がなく危険で、犬のフンも大量にあります。（平成 24 年 4 月）                |
| ○公園のトイレは洋式、和式両方を設置して欲しい。洋式の便座は冷たくないものにして欲しい。（平成 24 年 4 月）    |
| ○公園に時計を設置して欲しい。（平成 24 年 4 月）                                 |
| ○大きな公園の設置、町内の各所をつなぐ道路を整備して欲しい。（平成 24 年 4 月）                  |
| ○公園に 1 歳前後の幼児用の遊具を設置して欲しい。（平成 24 年 4 月）                      |
| ○狭山谷公園での深夜の花火や落書き等周辺住民に迷惑となる行為が見受けられるので対処して欲しい。（平成 24 年 6 月） |
| ○子どもたちが遊べる公園をつくって欲しい。（平成 24 年 7 月）                           |
| ○普段雑草地となっている場所を公園にってもらいたい。（平成 24 年 7 月）                      |
| ○狭山公園に相撲取りの銅像が出来たが、首に大蛇が巻き付けてあり、恐怖で公園にいけない。（平成 25 年 7 月）     |
| ○狭山池での全面禁煙を希望します。（平成 25 年 4 月）                               |
| ○松原中央公園のトイレの電気を朝 5 時 30 まで点灯するようにしてほしい。（平成 25 年 10 月）        |
| ○若草公園に時計がほしいです。（平成 25 年 11 月）                                |
| ○箱根ヶ崎の火葬場あたりに公園等の施設がほしい。（平成 25 年 11 月）                       |
| ○瑞穂町ゆかりの村山土佐守の銅像を作ったのはいいが、玉林寺公園に設置するのはいかなものか。（平成 25 年 11 月）  |

### 〔4〕防災

|                                                |
|------------------------------------------------|
| ○雨天時に状況を確認し雨水対策をしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）          |
| ○近くに消火器はあるが消火栓がない。（平成 22 年 4 月）                |
| ○消防相互応援協定を結んでももらいたい。（平成 22 年 5 月）              |
| ○大雨時の浸水対策を即座に行ってもらいたい。（平成 22 年 7 月）            |
| ○町防災会議委員に東京消防庁の職員を加えるべきです。（平成 23 年 4 月）        |
| ○所沢市と常備消防の相互応援協定を結ぶべきだ。（平成 23 年 4 月）           |
| ○災害対策本部条例施行規則の別表がおかしいのではないか。（平成 23 年 5 月）      |
| ○雪の日に歩道を雪かきし、塩化カルシウムをまいてもらえてうれしい。（平成 24 年 3 月） |

|                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------|
| ○首都直下型地震に備えて長期保存できる長芋の増産を考えて欲しい。（平成 24 年 5 月）                     |
| ○防災マップを作成し配布してもらいたい。（平成 24 年 5 月）                                 |
| ○災害警報を流す際には、異常を感じた場合の連絡先も流していただきたい。（平成 24 年 6 月）                  |
| ○携帯電話を持っていない高齢者のため、非常時の防災無線がより有効に利用されるよう望みます。（平成 25 年 10 月）       |
| ○消防署と交番を設置してください。（平成 25 年 11 月）                                   |
| ○聴覚障害者を災害から守る為、「消火器」「消火栓」等に超輝度蓄光剤を塗ることを法律化し義務付けてほしい。（平成 26 年 3 月） |

## 〔5〕 防犯

|                                                         |
|---------------------------------------------------------|
| ○駅西区画整理事業地区に街灯を設置してもらいたい。（平成 22 年 4 月）                  |
| ○悪質な訪問販売を撲滅する取組や対策を取ってもらいたい。（平成 22 年 4 月）               |
| ○昼夜関係なく点灯し続けている街灯を消してもらいたい。（平成 22 年 6 月）                |
| ○横田の花火開催時の騒音等を取り締まってもらいたい。（平成 22 年 7 月）                 |
| ○横田基地と国道 16 号線の境のフェンスをしっかりとしたものに変更してもらいたい。（平成 22 年 7 月） |
| ○緑道に防犯灯をつけて欲しい。（平成 23 年 7 月）                            |
| ○児童のセキュリティ対策にもう少し力を入れてほしい。（平成 23 年 9 月）                 |
| ○防犯対策の為街灯を設置してもらいたい。（平成 23 年 10 月）                      |
| ○乗り捨て自転車の取り締まりを強化してもらいたい。（平成 24 年 4 月）                  |
| ○住宅街の街灯を増やしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                         |
| ○六道山で少年による集団リンチ暴行が行われているので対応してもらいたい。（平成 24 年 4 月）       |
| ○八高線と交差する立橋の上に照明をつけてもらいたい。（平成 24 年 8 月）                 |
| ○街路灯の照射位置をすぐに直してもらって有難い。（平成 24 年 11 月）                  |
| ○パトロールの車は必要がないと思う。（平成 25 年 4 月）                         |
| ○箱根ヶ崎駅の西口付近が利便性を増したが、素行の悪い人も増えたので対策をしてほしい。（平成 25 年 7 月） |
| ○訪問販売での不審な事例を教えてほしい。（平成 25 年 11 月）                      |

## 〔6〕 交通安全

|                                                  |
|--------------------------------------------------|
| ○見えにくい道路でのミラー設置をしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）            |
| ○交通量が多い割には道幅がせまい交差点の改善をしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）     |
| ○利用者の動きを見て必要な交差点をスクランブル化してもらいたい。（平成 22 年 4 月）    |
| ○残堀川兩岸の道路は通行止めにしてもらいたい。（平成 22 年 5 月）             |
| ○箱根ヶ崎駅前交差点をスクランブル化してもらいたい。（平成 22 年 5 月）          |
| ○役に立っていないカーブミラーを直してもらいたい。（平成 22 年 7 月）           |
| ○耕心館前の大型車のスピード超過を取り締まってもらいたい。（平成 122 年 7 月）      |
| ○大型ダンプが出入りする場所での安全対策を行ってもらいたい。（平成 22 年 8 月）      |
| ○16 号バイパス西平交差点の交通事故防止の看板を設置してもらいたい。（平成 22 年 8 月） |
| ○必要な場所に音声信号機を設置してもらいたい。（平成 23 年 3 月）             |
| ○交通量の激しい道路の路面標識は見えるように常に気を配ってもらいたい。（平成 23 年 5 月） |
| ○幹線道路の道路灯が消えていないように確認してもらいたい。（平成 23 年 8 月）       |
| ○車が停止線を越えて停車しないよう厳しく取り締まってもらいたい。（平成 23 年 10 月）   |

|                                                           |
|-----------------------------------------------------------|
| ○道路標識の「左右確認板」がきちんと止められていないものがあるので直して欲しい。（平成 24 年 4 月）     |
| ○新青梅街道の抜け道になっている一小の前の道路を通学時間帯は通行止めにして欲しい。（平成 24 年 4 月）    |
| ○3 小前の町道のゴムポールを頑丈なガードレールに換えて欲しい。（平成 24 年 5 月）             |
| ○第三小学校への通学路が危険なので、ガードレールを設置して欲しい。（平成 24 年 5 月）            |
| ○高根町 201－1 番地付近の坂道に一時停止の標識をつけて欲しい。（平成 24 年 5 月）           |
| ○池谷鉄工所から国道 16 号に抜ける道は時間帯通行止めかスクールゾーンにしてください。（平成 24 年 5 月） |
| ○箱根ヶ崎駅東口の歩道橋の下に横断歩道を設置してもらいたい。（平成 24 年 9 月）               |
| ○カーブミラーに樹木が覆いかぶさっている箇所の対策を指導してもらいたい。（平成 24 年 9 月）         |
| ○町道 775～931 号線は大型車進入禁止の措置をとってもらいたい。（平成 24 年 12 月）         |
| ○危険な場所にミラーの設置をお願いします。（平成 25 年 9 月）                        |
| ○スクランブル交差点にしてください（平成 25 年 11 月）                           |
| ○ビューパークの駐車場 P 3 が事故が起きやすい構造になっている。改善してほしい。（平成 25 年 11 月）  |
| ○大型車禁止カ所を大型車が通っていて危険を感じる。（平成 25 年 11 月）                   |

## 〔7〕 情報

|                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------|
| ○地デジ受信に係る受信料の二重払いを改善したい。（平成 22 年 5 月）                                       |
| ○防災無線が聞き取れるよう、内容を伝えてもらいたい。（平成 23 年 3 月）                                     |
| ○防災無線が聞き取れるようにしてもらいたい。（平成 23 年 3 月）                                         |
| ○震災後、放送が流れると停電や地震等の知らせと思い、心が休まらないので子ども達の見守り活動を促す放送を一時中止して欲しい。（平成 23 年 4 月）  |
| ○防災無線が聞き取れるようにしてもらいたい。（平成 23 年 7 月）                                         |
| ○防災瑞穂の放送を聞き取れるようにしてもらいたい。（平成 23 年 9 月）                                      |
| ○風や雨対策を講じている中ではチャイム音は聞こえるものの耳を立てて聞いても放送内容を把握できる状況ではないので不安を感じる。（平成 23 年 9 月） |
| ○ホームページの ZOOMS I G H T という読み上げ機能が P C によっては機能しないので改善してもらいたい。（平成 23 年 10 月）  |
| ○テニスコートの予約システムは、携帯電話に当選結果も送れるシステムにしてもらいたい。（平成 24 年 2 月）                     |
| ○防災無線が聞き取りにくいので改善して欲しい。（平成 24 年 6 月）                                        |
| ○コミュニティセンター等の施設の空室確認や予約をインターネットでできるようにしてもらいたい。（平成 24 年 9 月）                 |
| ○たずね人、迷子放送について、詳細な地番を言ってほしい。（平成 25 年 8 月）                                   |

## 〔8〕 エネルギー

|                               |
|-------------------------------|
| ○都市ガスを整備してもらいたい。（平成 22 年 4 月） |
| ○都市ガスの納入をお願いしたい。（平成 24 年 2 月） |
| ○都市ガスを引いてほしい。（平成 25 年 10 月）   |

## ②福祉保健分野

福祉保健分野の提案件数は 62 件であるが、福祉や子育て・児童福祉への意見が多くなっている。意見の多くは行政サービスの提供方法やそれに関する意見など、サービスの提供を受けようとする場合のものであるが、社会環境を背景とした切実な意見が多い。

| ② 福祉保健       | 62 件 |
|--------------|------|
| 〔1〕 保健       | 6 件  |
| 〔2〕 福祉       | 28 件 |
| 〔3〕 子育て・児童福祉 | 22 件 |
| 〔4〕 医療       | 3 件  |
| 〔5〕 社会保障     | 2 件  |
| 〔6〕 人権       | 1 件  |

### 〔1〕 保健

|                                                   |
|---------------------------------------------------|
| ○不妊治療の補助金制度を検討してもらいたい。（平成 22 年 4 月）               |
| ○任意の子どもの予防接種へ補助金を出してもらいたい。（平成 22 年 4 月）           |
| ○親の虐待をうけている疑いがある子どもがいますので慎重に調査して欲しい。（平成 23 年 4 月） |
| ○検診項目を増やしてもらいたい（目や頭など）。（平成 24 年 4 月）              |
| ○検診車による検診はコミュニティセンターにってもらいたい。（平成 24 年 4 月）        |
| ○熱中症対策グッズを配布してもらいたい。（平成 24 年 9 月）                 |

### 〔2〕 福祉

|                                                        |
|--------------------------------------------------------|
| ○寿楽利用時にバス発車のサポート（放送）をお願いしたい。（平成 22 年 4 月）              |
| ○障害者福祉センターあゆみの建物の構造は利便性に欠けているので改善してもらいたい。（平成 22 年 4 月） |
| ○福祉会館のボランティアセンター室へのスロープを設置してもらいたい。（平成 22 年 4 月）        |
| ○母子家庭でも不安なく看護専門学校を受験できる制度の改正をお願いしたい。（平成 22 年 7 月）      |
| ○チャイルドシートの購入補助を制度化してもらいたい。（平成 22 年 8 月）                |
| ○東日本大震災後の寿楽の節電をそろそろ解除して欲しい。（平成 23 年 4 月）               |
| ○首元を冷やすタオルの配布は条件を無くして 65 歳以上全員に配布してもらいたい。（平成 23 年 8 月） |
| ○一人暮らしの高齢者が集まれるような場所をつくっていただきたい。（平成 24 年 4 月）          |
| ○独居者を一堂に集めて個室を提供するような建物をつくることを検討してもらいたい。（平成 24 年 4 月）  |
| ○乳がん検診は毎年して欲しい。（平成 24 年 4 月）                           |
| ○学区を決めないで選択制にして欲しい。（平成 24 年 4 月）                       |
| ○町内にグループホームがない理由、今後の建設予定を聞きたい。（平成 24 年 5 月）            |
| ○100 歳になった祖父に町からお祝いをして欲しい。（平成 24 年 5 月）                |
| ○介護保険によるサービスが適切かしっかり見てもらいたい。（平成 24 年 7 月）              |
| ○社協の自動販売機の値段が施設により違う理由を知りたい。（平成 25 年 4 月）              |
| ○寿楽には福祉バスのバス停が 2 カ所あることを福祉バスのカード作成時に教えてほしい。            |

|                                                           |
|-----------------------------------------------------------|
| (平成 25 年 4 月)                                             |
| ○デイサービスの違法な請求を監査してほしい。(平成 25 年 6 月)                       |
| ○宿泊サービスを利用者へ請求書内容を良く確認するよう町から指導していただきたい。(平成 25 年 7 月)     |
| ○町の老人施設のケアマネージャーに不信感を持っている。職員が、聞き取り調査をしてほしい。(平成 25 年 7 月) |
| ○ケアマネージャーの暴言でいやな思いをしている。町で注意喚起をしてほしい。(平成 25 年 8 月)        |
| ○介護給付通知書のサービス費用の項目を詳細にしてほしい。(平成 25 年 8 月)                 |
| ○介護給付費通知書の内容に疑問をもっている。(平成 25 年 8 月)                       |
| ○介護給付通知書のサービス費用の内容を知りたい。(平成 25 年 8 月)                     |
| ○ショートステイの個人負担部分を調査してほしい。(平成 25 年 9 月)                     |
| ○寿楽のお風呂を毎日入れるようにしてほしい。(平成 25 年 10 月)                      |
| ○敬老会で用紙類をもらうが、敬老会で渡さなくてもいいのではないかと。(平成 25 年 11 月)          |
| ○寿楽の日曜日の入浴を再開して下さい。(平成 25 年 12 月)                         |

### 〔3〕子育て・児童福祉

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| ○雇用先がなく働いていないと保育料が出ない場合も補助金を出して欲しい。(平成 22 年 4 月)     |
| ○病児・病後時保育を行う保育園もしくは医療機関の設置を検討してもらいたい。(平成 22 年 4 月)   |
| ○母子家庭の子どもが保育園に入れるようにしてもらいたい。(平成 22 年 4 月)            |
| ○保育園を増やしてもらいたい。(平成 22 年 4 月)                         |
| ○子ども手当の不正受給がされないよう、慎重な審査をしてもらいたい。(平成 22 年 4 月)       |
| ○学童保育を設置してもらいたい。(平成 22 年 4 月)                        |
| ○幼児虐待が減るようにしてもらいたい。(平成 22 年 9 月)                     |
| ○寿楽のふろの洗い場の利用方法について、説明書がほしい。(平成 22 年 12 月)           |
| ○学童への待機児童が沢山いる状況を改善してもらいたい。(平成 23 年 2 月)             |
| ○学童に入所できない連絡があった時に即答を求めるのはやめてもらいたい。(平成 24 年 1 月)     |
| ○無認可幼稚園へも補助金が出るので感謝しています。(平成 24 年 4 月)               |
| ○子育て支援をもう少し充実して欲しい。(平成 24 年 4 月)                     |
| ○町の援助で進学できるような、弱者に手を差し伸べる行政運営を行ってもらいたい。(平成 24 年 4 月) |
| ○母子家庭への支援をもっと充実してもらいたい。(平成 24 年 6 月)                 |
| ○本の頒布会では子どもに行き渡るようにしてもらいたい。(平成 24 年 11 月)            |
| ○町の育児への取り組みは評価している。(平成 25 年 6 月)                     |
| ○児童扶養手当の申請を 12～1 時でもできるようにしてほしい。(平成 25 年 8 月)        |
| ○子育て環境を改善するため親の意見を聞いてほしい。(平成 25 年 8 月)               |
| ○母子家庭が都営住宅に住めるようにしてほしい。(平成 25 年 11 月)                |
| ○二小学童を増員してほしい。(平成 25 年 11 月)                         |
| ○保育園の入園の選考基準に収入も考慮してほしい。(平成 25 年 12 月)               |
| ○待機児童の解消をしてほしい。(平成 26 年 3 月)                         |

#### 〔4〕 医療

- |                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| ○子宮頸がんの予防接種への無料化や補助金制度を検討してもらいたい。（平成 22 年 4 月）      |
| ○ワクチンの接種補助は適切に行ってもらいたい。（平成 22 年 6 月）                |
| ○小児慢性疾患医療券を使って在宅用の吸引器を購入できる補助をしてもらいたい。（平成 22 年 8 月） |

#### 〔5〕 社会保障

- |                                                  |
|--------------------------------------------------|
| ○国民健康保険の徴収率を上げる対策を取ってもらいたい。（平成 22 年 7 月）         |
| ○国民健康保険の督促状には加入者（対象者）の氏名を入れてもらいたい。（平成 22 年 10 月） |

#### 〔6〕 人権

- |                                                  |
|--------------------------------------------------|
| ○通報等の F A X も個人情報なので公開しないようにお願いしたい。（平成 23 年 4 月） |
|--------------------------------------------------|

### ③産業建設分野

産業建設分野の提案件数は 107 件であるが、道路と公共交通への意見がともに 30 件を数え他の項目に比べ多い結果となっている。

道路については歩道の整備や道路・側溝などの修繕に関する意見が多い。また、公共交通は、コミュニティバスの充実に対する意見が多い。

| ③ 産業建設      | 107 件 |
|-------------|-------|
| 〔1〕 産業      | 8 件   |
| 〔2〕 観光・イベント | 10 件  |
| 〔3〕 国際化     | 2 件   |
| 〔4〕 道路      | 32 件  |
| 〔5〕 公共交通    | 38 件  |
| 〔6〕 土地利用    | 3 件   |
| 〔7〕 住宅      | 6 件   |
| 〔8〕 河川      | 1 件   |
| 〔9〕 上下水道    | 7 件   |

#### 〔1〕 産業

|                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------|
| ○駅西區画整理に伴う商店街づくりは関係者の資金で進めてもらいたい。（平成 22 年 7 月）                  |
| ○とくとも商品券を町の住民に還元するのではなく、地震で被災した地区に支援物資として送ってもらいたい。（平成 23 年 3 月） |
| ○とくともクーポン券の使える店舗を HP に載せてほしい。（平成 23 年 3 月）                      |
| ○産業まつりにおいて東北復興コーナーを設け、東北からの産直物産等を販売してもらいたい。（平成 23 年 10 月）       |
| ○八高線の本数を増やし駅前にスーパーや食料品のお店を作してほしい。（平成 23 年 10 月）                 |
| ○近所にスーパーがなく不便を感じている。（平成 24 年 4 月）                               |
| ○フレッシュハウスに傷んだ野菜をおかないで欲しい。（平成 24 年 4 月）                          |
| ○西口にコンビニ、郵便局がほしい。西口の汚れがひどい。（平成 25 年 11 月）                       |

#### 〔2〕 観光・イベント

|                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------|
| ○町民農園をもっと整備（増加）してもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                   |
| ○町の PR をさらに行ってもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                      |
| ○道の駅は設置しないでももらいたい。（平成 22 年 7 月）                                        |
| ○農園利用者がごみの不法投棄をしないようにしてもらいたい。（平成 23 年 2 月）                             |
| ○ラジオ体操や盆踊り、縁日等昔ながらの催しを子ども達に伝えていくために、イベントを増やして地域を盛り上げて欲しい。（平成 23 年 6 月） |
| ○スカイホール時計塔の上にライブビューカメラを設置してはいかがでしょうか。（平成 23 年 7 月）                     |
| ○六道山という素晴らしい観光になる山を活用してもらいたい。（平成 24 年 1 月）                             |
| ○公共施設に観光 PR と農産物、特産品、加工品等の販売所を設置して欲しい。（平成 24 年 4 月）                    |
| ○各地で好評を得ている車いすシンガーの方のライブや講演会を検討して頂きたい。（平成 24 年 4 月）                    |
| ○町内で採れた食材を使用した調理大会を開催してほしい。（平成 25 年 12 月）                              |

### 〔3〕国際化

|                                            |
|--------------------------------------------|
| ○中国人へのビザ発給の大幅緩和を中止してもらいたい（平成 22 年 6 月）     |
| ○オーバーステイと思われる住人がいるので、対処して欲しい。（平成 24 年 4 月） |

### 〔4〕道路

|                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ○改修工事の工事車両による公道沈下の対策をお願いしたい。（平成 22 年 4 月）                                             |
| ○高根下から 3 小へ行く歩道を整備してもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                               |
| ○学校近くの自動車の通行が危険な場所はスクールゾーンにしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                      |
| ○交通量の増加によって崩れた土手をアスファルトにしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                         |
| ○青梅街道に右折レーンをつくってもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                                   |
| ○下水道配管工事により段差が出来た道路をフラットにしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                        |
| ○瑞穂第二中学校両脇の通学路が雨での水溜りで歩けない状況を改善してもらいたい。（平成 22 年 11 月）                                 |
| ○残堀川沿いの歩道が途中で無くなっているのは危険なので整備してもらいたい。（平成 23 年 9 月）                                    |
| ○都道青梅街道踏切から栗原町の都道までの間に放射線状の町道 10 本程度中、8 本が未整備なので整備してもらいたい。（平成 23 年 10 月）※同一内容の意見計 4 点 |
| ○JR 八高線沿い東側に道路の新設をお願いしたい。（平成 23 年 10 月）                                               |
| ○雨が降ると緑道是水浸しになるので、対応してもらいたい。（平成 24 年 1 月）                                             |
| ○箱根ヶ崎駅から遠回りして会社に行くので、一刻も早く通路の確保をお願いしたい。（平成 24 年 3 月）                                  |
| ○愛宕神社の通りを歩行者や自転車に配慮した道路にしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                         |
| ○ジョイフル本田へ行く交差点を改善してもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                                |
| ○新青梅街道拡張計画について詳細に知らせたい。（平成 24 年 4 月）                                                  |
| ○青梅街道の歩道が狭い。（平成 24 年 4 月）                                                             |
| ○緑道に街灯が設置されたことによる効果を確認してもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                           |
| ○水たまりが出来ないような、道路整備をお願いします。（平成 24 年 4 月）                                               |
| ○水道管入れ替え工事による道路補修が不十分な箇所への適切な再整備をお願いしたい。（平成 24 年 8 月）                                 |
| ○道路工事誘導員の素行に対しても指導をしてもらいたい。（平成 24 年 9 月）                                              |
| ○旧青梅街道に歩道をつくってもらいたい。（平成 24 年 9 月）                                                     |
| ○緑道の排水を考えたインターロッキング等に改めてもらいたい。（平成 24 年 10 月）                                          |
| ○栗原新田から日立製作所間の道路（所沢－青梅線）の歩道を広くしてもらいたい。（平成 24 年 10 月）                                  |
| ○青梅街道に歩道を設置して欲しい。（平成 25 年 6 月）                                                        |
| ○交通事故や転倒を防ぐための沿道の整備をしてほしい。（平成 25 年 9 月）                                               |
| ○緑道が舗装されたため、水はけが悪くなり、雨の時の歩行が困難になったので対応してほしい。（平成 25 年 10 月）                            |
| ○一部だけの舗装のため歩きづらい。改修してほしい（平成 25 年 11 月）                                                |
| ○緑道の舗装により段差ができた。夜ライトをつけるなど便利で安全で快適な美しい緑道を希望しています。（平成 25 年 11 月）                       |
| ○町道の表示及び整備をして散歩ができる道にしてほしい。（平成 25 年 11 月）                                             |

|                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------|
| ○歩道をつくってほしい。（平成 25 年 11 月）                                            |
| ○歩道をきれいにしてほしい。（平成 25 年 11 月）                                          |
| ○緑道と歩道の違い、緑道禁止事項を教えてください。また職員による植木の選定作業の内容確認の基準を教えてください。（平成 26 年 1 月） |

## 〔5〕 公共交通

|                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------|
| ○石畑、殿ヶ谷地区で福祉バスを増発してもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                |
| ○福祉バスで高齢者が立たずに乗れるようにしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）                             |
| ○福祉バスの利用を高めてもらいたい。（平成 22 年 7 月）                                       |
| ○福祉バスのバス停が分かりにくいので改善してもらいたい。（平成 22 年 10 月）                            |
| ○高齢者や障がい者である交通弱者に配慮したバス停の設置をしてもらいたい。（平成 22 年 10 月）                    |
| ○登校時間に福祉バスの運行をするようにしてもらいたい。（平成 22 年 10 月）                             |
| ○箱根ヶ崎駅のホームにある喫煙所を廃止してもらいたい。（平成 22 年 11 月）                             |
| ○箱根ヶ崎駅の改札の外に時刻表を置いてもらいたい。（平成 22 年 12 月）                               |
| ○利用者の少ない巡回バスを廃止してもらいたい。（平成 23 年 3 月）                                  |
| ○福祉バスは利用者のニーズに合った運行計画を立ててもらいたい。（平成 23 年 3 月）                          |
| ○福祉バスの中継点が駅西口が変わったが、運転手の休憩場所がないこと、乗客の待ち合い場所がないことが気になります。（平成 23 年 4 月） |
| ○高根町地域を走る西武バスが、早朝等の便を廃止した理由を教えてください。（平成 23 年 8 月）                     |
| ○65～70 才以上は、駅前の自転車駐輪場の料金を無料にするべきである。（平成 23 年 10 月）                    |
| ○深夜時間帯の公共交通が無いことに対応してもらいたい。（平成 23 年 12 月）                             |
| ○八高線や路線バスの本数を増やしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                  |
| ○駅でも福祉バスの運行時刻表を分かるようにしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                            |
| ○一般の人でも 100 円位で福祉バスに乗れるようにすれば利用者がもっと増えると思います。（平成 24 年 4 月）            |
| ○かわせみ号に人が乗っているのを見たことがありません。子どもの遊具にでもしたらどうでしょうか。（平成 24 年 4 月）          |
| ○一般の人でも 100 円程度で利用できるようにするなど福祉バスの利用者を増やす対策を考えていただきたい。（平成 24 年 4 月）    |
| ○交通の便をもっと良くしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                      |
| ○巡回バスについて、耕心館に寄るコースを作ってほしい。（平成 24 年 4 月）                              |
| ○福祉バスの利用資格や内容を教えて欲しい。（平成 24 年 4 月）                                    |
| ○駅前に有料駐車場の設置をお願いします。（平成 24 年 5 月）                                     |
| ○乗客が少ない福祉バスの有効利用を検討して下さい。（平成 24 年 5 月）                                |
| ○福祉バスは誰でも乗れるようにして欲しい。（平成 24 年 5 月）                                    |
| ○福祉バスの本数を増やしてもらいたい。（平成 24 年 9 月）                                      |
| ○福祉バスの往復便をつくってもらいたい。（平成 24 年 9 月）                                     |
| ○瑞穂町内の JR 駅にホームドアを設置してもらいたい。（平成 25 年 1 月）                             |
| ○福祉バス停留所の設置距離を短くしてもらいたい。（平成 25 年 2 月）                                 |
| ○八高線の混み具合がひどい。7 時台の本数か車両を増やしてほしい。（平成 25 年 6 月）                        |
| ○西口駅前のベンチを撤去してほしい。（平成 25 年 6 月）                                       |

|                                            |
|--------------------------------------------|
| ○箱根ヶ崎の西口駅前規制条例等を検討してほしい。（平成 25 年 10 月）     |
| ○交通網の整備をお願いします。（平成 25 年 11 月）              |
| ○福祉バスに乗客が少ない。無駄ではないか。（平成 25 年 11 月）        |
| ○辺境にも路線バスがほしい。また歩道がほしい。（平成 25 年 11 月）      |
| ○ＪＲ箱根ヶ崎―金子間に１駅設置してください。（平成 25 年 11 月）      |
| ○高齢者の足となるコミュニティバスの充実をお願いします。（平成 25 年 12 月） |
| ○福祉バスの利用改善をしてほしい。（平成 26 年 2 月）             |

## 〔6〕 土地利用

|                                            |
|--------------------------------------------|
| ○区画整理事業の数年先までの計画表が欲しい。（平成 22 年 4 月）        |
| ○区画整理に関して代替地の引き渡しをしてもらいたい。（平成 22 年 5 月）    |
| ○箱根ヶ崎の施行予定箇所を示す前に換地を先にして頂きたい。（平成 24 年 4 月） |

## 〔7〕 住宅

|                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------|
| ○新たな町営住宅をつくる予定があるか教えてもらいたい。（平成 22 年 6 月）                            |
| ○役所の指導で立てた住宅を小さく立て直しさせることはやめてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                    |
| ○都市計画担当の職員の指導によって無駄な工事をさせられることのないようにしてもらいたい。（平成 24 年 5 月）           |
| ○西地区区画整理事業により家を建て替えるのは難しい。（平成 25 年 4 月）                             |
| ○都営瑞穂アパートの 5 号、6 号棟が空調工事の区域外でエアコンの工事が無い。不公平を解消してください。（平成 25 年 12 月） |
| ○都営住宅の一部（50 戸）で空調設備の交換が実施されませんでした。町にお力添えをお願いします。（平成 26 年 3 月）       |

## 〔8〕 河川

|                                |
|--------------------------------|
| ○残堀川をきれいにしてもらいたい。（平成 22 年 4 月） |
|--------------------------------|

## 〔9〕 上下水道

|                                                              |
|--------------------------------------------------------------|
| ○公共下水道事業の受益者負担金に格差があるので軽減措置あるいはその算出根拠を示してもらいたい。（平成 22 年 4 月） |
| ○雨水処理用の下水道の整備により床下浸水が起こらないようにしてもらいたい。（平成 22 年 7 月）           |
| ○下水道受益者負担金の減免をしてもらいたい。（平成 22 年 8 月）                          |
| ○浄化槽地域の下水道化を早急に進めてもらいたい。（平成 22 年 11 月）                       |
| ○下水道の匂いがひどい。（平成 25 年 10 月）                                   |
| ○下水道をつくってほしい。（平成 25 年 11 月）                                  |
| ○下水道の整備を早急にしてほしい。（平成 25 年 11 月）                              |

#### ④教育分野

教育分野の提案件数は55件であるが、生涯学習の意見の多くが図書館の利便性や機能の充実（返却ポストの設置、図書の更新等）に対するものである。

スポーツ・レクリエーションに関する意見も21件と多いが、スポーツ施設の整備と利用に対する利便性の向上についての意見が半数近くを占めている。

| ④ 教育             | 55 件 |
|------------------|------|
| 〔1〕生涯学習          | 12 件 |
| 〔2〕学校教育          | 12 件 |
| 〔3〕文化・芸術         | 3 件  |
| 〔4〕スポーツ・レクリエーション | 21 件 |
| 〔5〕青少年           | 7 件  |

#### 〔1〕生涯学習

|                                                    |
|----------------------------------------------------|
| ○寿楽陶芸教室の窯が壊れてしまったので、修理してもらいたい。（平成22年5月）            |
| ○図書館へノートパソコンを持込み出来るようにしてもらいたい。（平成22年6月）            |
| ○駅に図書館の返却BOXの設置をしてもらいうれしい。（平成22年8月）                |
| ○コーラスの指導者を紹介してもらいたい。（平成23年9月）                      |
| ○郷土資料館で、瑞穂名物の体験ができるコーナースペースをつくってもらいたい。（平成23年9月）    |
| ○図書館開館日の確認後に行ったら閉館しており、職員の教育をしっかりしてもらいたい。（平成24年3月） |
| ○スカイホールへ行く坂道にエアーロード、エスカレーター等を設置して欲しい。（平成24年4月）     |
| ○図書館に幼児専用ルームをつくってほしい。（平成25年4月）                     |
| ○図書館を祝日の日曜日にも利用したい。（平成25年11月）                      |
| ○郷土資料館新築は現段階で、用地買収、規模等からいって過大投資ではないか。（平成25年11月）    |
| ○図書館を設置してほしい。（平成25年11月）                            |
| ○町でコーラスの発表機会を作ってほしい。（平成26年1月）                      |

#### 〔2〕学校教育

|                                                       |
|-------------------------------------------------------|
| ○通学路ではバスを除いて通行止めをしてもらいたい。（平成22年4月）                    |
| ○小学校の旗振りにはアルバイトでまかなってもらいたい。（平成22年6月）                  |
| ○学校（二中）のグラウンドが狭くなった経緯を説明してもらいたい。（平成22年11月）            |
| ○教える能力の低い小学校教諭に適切な対応を行ってもらいたい。（平成23年3月）               |
| ○周辺自治体に比べ教育への力の入れようが低いので対策を検討してもらいたい。（平成23年3月）        |
| ○学校給食検査設備費補助金を要請するのか知りたい。（平成23年12月）                   |
| ○サポート教員は平等に指導して欲しい。（平成24年5月）                          |
| ○学校からいじめを無くしてもらいたい。（平成24年7月）                          |
| ○子どもに言い訳するような、とても身勝手で問題がある教師がいるので指導をお願いしたい。（平成24年12月） |

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| ○長岡コミュニティセンター駐車場が中学生の通学路になっているので指導してもらいたい。<br>(平成 25 年 2 月) |
| ○徒歩で通学できる中学を設置してほしい。(平成 25 年 12 月)                          |
| ○小中学校でタブレット端末を使った授業など最新のシステムも検討してほしい。(平成 25 年 12 月)         |

### 〔3〕文化・芸術

|                                                            |
|------------------------------------------------------------|
| ○駅舎展示スペースでの展示物はセンス良く展示してもらいたい。(平成 22 年 6 月)                |
| ○スカイホールのバナーを作って、利用しやすいようにしてもらいたい。(平成 22 年 10 月)            |
| ○阿豆佐味天神社の老朽化が著しい。由緒ある建物なので町の有形文化財に登録し改修してほしい。(平成 26 年 1 月) |

### 〔4〕スポーツ・レクリエーション

|                                                               |
|---------------------------------------------------------------|
| ○町にパターゴルフ場をつくってもらいたい。(平成 22 年 4 月)                            |
| ○瑞穂町でハイキングをするにあたり標識を多く設置してもらいたい。(平成 22 年 6 月)                 |
| ○室内プールを整備してもらいたい。(平成 22 年 7 月)                                |
| ○公式競技ができるスポーツ施設を整備してもらいたい。(平成 22 年 9 月)                       |
| ○就学児童の親子リレーは教育委員会など町当局が対象世帯へ個別に通知すべきである。(平成 22 年 10 月)        |
| ○他の市町村と同程度の負担で済むスキー教室にってもらいたい。(平成 23 年 2 月)                   |
| ○中央体育館だけでなく、体育館施設を整備してもらいたい。(平成 23 年 3 月)                     |
| ○子ども達の水泳大会がバランスよく実施されるように考えてもらいたい。(平成 23 年 8 月)               |
| ○町内にある体育施設は個人対応でないのを改善してもらいたい。(平成 23 年 2 月)                   |
| ○長岡コミュニティセンターの体育館に、ポール（支柱）を備えてもらいたい。(平成 24 年 3 月)             |
| ○町が提携しているホテルの補助を充実してもらいたい。(平成 24 年 4 月)                       |
| ○今あるスポーツ施設の利用時間の延長や学校施設の開放をお願いしたい。(平成 24 年 7 月)               |
| ○瑞穂町体育施設の予約が自動キャンセルになることがあるので、システムの見直しをしてもらいたい。(平成 24 年 10 月) |
| ○寿楽の落語は福祉バスを利用してあちこちから聞きにくるので良い。(平成 24 年 12 月)                |
| ○町営グラウンドを土日も使用したい。(平成 25 年 6 月)                               |
| ○体育祭の運営（実行委員会）に町内会の代表を参加させてほしい(平成 25 年 9 月)                   |
| ○石畑スポーツグラウンドのトイレの管理者が清掃活動を行っていないので、かえてほしい。(平成 25 年 10 月)      |
| ○長岡コミュニティセンター内にあるトレーニングルームをもう少し広くしてほしい。(平成 25 年 11 月)         |
| ○運動会で国歌斉唱、国旗掲揚がないのはおかしい。(平成 25 年 11 月)                        |
| ○温水プールを設置してほしい。(平成 25 年 11 月)                                 |
| ○体育館は決められた時間通りにあけてもらいたい。(平成 26 年 2 月)                         |

#### 〔5〕 青少年

|                                                     |
|-----------------------------------------------------|
| ○ボーイスカウトの活動場所を健康に問題ない場所にしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）       |
| ○高校生の歩行マナーを改善してもらいたい。（平成 22 年 6 月）                  |
| ○子ども達が道路上で自転車やキックボードで遊ばないようにしてもらいたい。（平成 22 年 10 月）  |
| ○スケートボードで道路を走っている子どもに対して指導をしてもらいたい。（平成 24 年 3 月）    |
| ○道路を遊び場にしないよう指導をしてもらいたい。（平成 24 年 3 月）               |
| ○スケートボードや車付きのくつで、道路で遊ぶ子ども達に注意をしてもらいたい。（平成 24 年 6 月） |
| ○松原中央公園で勝手に放題の中学生集団がいるので対応してもらいたい。（平成 24 年 7 月）     |

## ⑤行財政分野

行財政分野の提案件数は74件であるが、その多くが行財政に関する意見となっている。

| ⑤ 行財政      | 73 件 |
|------------|------|
| 〔1〕 コミュニティ | 14 件 |
| 〔2〕 住民参加   | 5 件  |
| 〔3〕 協働     | 4 件  |
| 〔4〕 行財政    | 40 件 |
| 〔5〕 まちづくり  | 10 件 |

### 〔1〕 コミュニティ

|                                                              |
|--------------------------------------------------------------|
| ○高根町にコミュニティセンターを設置してもらいたい。（平成22年4月）                          |
| ○コミュニティセンターの一部を受験生限定で開放してもらいたい。（平成22年5月）                     |
| ○営利目的の町民会館利用は規制してもらいたい。（平成22年9月）                             |
| ○コミュニティセンターに自習スペースを設置してほしい。（平成23年1月）                         |
| ○高齢者の死亡情報を自治会に早めに知らせてもらいたい。（平成24年2月）                         |
| ○世帯の家族構成の確認をお願いしたい。（平成24年4月）                                 |
| ○図書館やコミセンの休日をもう少し少なくしてほしい。（平成24年5月）                          |
| ○祝日でもコミセンを利用できるようにしてほしい。（平成24年5月）                            |
| ○先日投書した長岡コミセンの開館日と街灯の設置要望に回答していただきたい。（平成24年5月）               |
| ○ふれあいセンター1階事務室の環境を整備してもらいたい。（平成25年1月）                        |
| ○南会館の一室を子どもやお年寄りに開放して、両者の交流を図れるようにしてほしい。（平成25年11月）           |
| ○町内の構成を図で分かりやすく表示してほしい。（平成25年11月）                            |
| ○むさし野コミュニティセンターのクリスマスツリーにイルミネーションをつけて下さい。（平成25年12月）          |
| ○除雪作業時に町から「道路に雪を投げないでください」とのメールが2度も届きとても不快な思いをしました。（平成26年3月） |

### 〔2〕 住民参加

|                                               |
|-----------------------------------------------|
| ○体育祭等で町歌を町民が歌うようにしてもらいたい。（平成22年10月）           |
| ○被災地へのボランティアバスを出して欲しい。（平成23年6月）               |
| ○大規模災害を機に寄せられた意見を把握し対応してもらいたい。（平成23年9月）       |
| ○住民に依頼する調査（工業統計調査）の回収はしっかりとやってもらいたい。（平成25年1月） |
| ○選挙の結果報告をしてほしい。（平成25年4月）                      |

### 〔3〕 協働

|                                                |
|------------------------------------------------|
| ○斎場周辺の清掃、プランターの世話をする賃金を早期に振り込んでもらいたい。（平成22年9月） |
| ○自治会の役員への交通費の必要経費を認めてもらいたい。（平成22年12月）          |
| ○都議会議員選挙の瑞穂町の低投票率に対策をしてほしい。（平成25年6月）           |
| ○選挙の低投票率の真の原因を選挙管理委員会で追求してほしい。（平成25年7月）        |

#### 〔4〕 行財政

|                                                             |
|-------------------------------------------------------------|
| ○高齢者福祉センター寿楽の従業員を合理化してもらいたい。（平成 22 年 5 月）                   |
| ○リンク集の関連機関に「東京都市町村総合事務組合」を登載してもらいたい。（平成 22 年 7 月）           |
| ○リサイクルセンターも隣の自治体と共同利用ができるように協定を結んでももらいたい。（平成 22 年 10 月）     |
| ○町民に対する態度が非常に悪い女性職員を指導してもらいたい。（平成 23 年 2 月）                 |
| ○広報に「伝言板」欄をつくってほしい。（平成 23 年 2 月）                            |
| ○震災後に学校施設の利用を許可されたが、後日自粛依頼という形で断られたが、納得いかない。（平成 23 年 4 月）   |
| ○役場内で行き先が分からず、通りすがりの職員に声をかけたが対応してもらえず不愉快だった。（平成 23 年 4 月）   |
| ○役場のコピー機はよく手入れをしていて欲しい。（平成 23 年 4 月）                        |
| ○役場からの通知に敬称が略されていた。住民宛ての通知には敬称を付けて欲しい。（平成 23 年 5 月）         |
| ○役場からの通知文書がくっついて送られてきたので、そのようなことの無いようにしてもらいたい。（平成 23 年 5 月） |
| ○軽自動車の納付をコンビニかクレジットカードでの支払いを可能にしてください。（平成 23 年 5 月）         |
| ○障がい者へのアンケートは封筒の表書きから子どもに分からないようにしてもらいたい。（平成 23 年 9 月）      |
| ○町長の公務日誌は早々に掲載するようにしてもらいたい。（平成 23 年 12 月）                   |
| ○町報が届くのがいつも遅いので改善してもらいたい。（平成 24 年 3 月）                      |
| ○住民票などは機械で発行できるようにしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                     |
| ○電車、バスの時刻表を広報に載せてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                        |
| ○認可保育所と認証保育所の受付窓口を一つにしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                  |
| ○職員が業務中居眠りをしたり、対応・口調が乱暴な方がいます。（平成 24 年 4 月）                 |
| ○確定申告の手続相談は受付順にして欲しい。支払いも 5 時までにしてほしい。（平成 24 年 4 月）         |
| ○人材育成のため、他の役所との交換人事を行って欲しい。（平成 24 年 4 月）                    |
| ○地元の人間を役場に採用することはやめてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                     |
| ○地元の人間を役場に採用する風習はやめてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                     |
| ○職員の態度が悪く不満を感じる。喫煙所は出入り口に置かないで欲しい。（平成 24 年 4 月）             |
| ○役所からの手紙にも「様」を付けて欲しい。（平成 24 年 4 月）                          |
| ○センターを利用しづらい、態度が傲慢な職員がいる。（平成 24 年 4 月）                      |
| ○福生市・羽村市との合併を提言します。（平成 24 年 5 月）                            |
| ○窓口に行けない障がい者が、各種書類の提出や手続を郵送でも出来るようにして欲しい。（平成 24 年 5 月）      |
| ○近隣住民とのトラブルを解消するよう役場の人に介入してもらいたい。（平成 24 年 5 月）              |
| ○ガードレールを設置すると車道が狭くなるとの回答に不満があります。（平成 24 年 5 月）              |
| ○広報紙にお悔やみコーナーを作って欲しい。（平成 24 年 5 月）                          |
| ○各種手続に必要な証明書類は役所側でコピーして欲しい。（平成 24 年 6 月）                    |
| ○町報を適切に届けるようにしてもらいたい。（平成 24 年 8 月）                          |
| ○法人税申告のエルタックスを早急に導入してもらいたい。（平成 24 年 12 月）                   |

|                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○公務員の育児休暇にゆとりを感じる。（平成 25 年 4 月）                                                                 |
| ○無責任な飼い主のために、ペット税を発足してほしい。（平成 25 年 4 月）                                                         |
| ○瑞穂町職員に対するセクハラとパワハラの定期的な教育の有無、専任の担当部署を設置しているかを確認したい。（平成 25 年 5 月）                               |
| ○選挙の投票所の運営に手落ちがあった。もう少し真剣に取り組んでほしい。（平成 25 年 7 月）                                                |
| ○西多摩郡瑞穂町は単独市制施行には、岐阜県瑞穂市との同一名称を避けて平仮名の「みずほ市」「箱根ヶ崎市」「西多摩市」「南いるま市」のいずれか 1 つに改称してほしい。（平成 26 年 2 月） |
| ○大雪による被害届出証明発行時の職員の対応がよかった。（平成 26 年 3 月）                                                        |

#### [5] まちづくり

|                                                       |
|-------------------------------------------------------|
| ○市になってもらいたい。（平成 22 年 4 月）                             |
| ○場外馬券場に対するビジョンを示してもらいたい。（平成 22 年 4 月）                 |
| ○場外馬券場等の娯楽施設の設置の可否は町民の意見を多く聞いてもらいたい。（平成 22 年 4 月）     |
| ○ゴミの山、犯罪の増加、借金問題等を次世代に回すことの無い様にしてもらいたい。（平成 22 年 6 月）  |
| ○外国人参政権や夫婦別姓制度をこれからも阻止してもらいたい。（平成 22 年 8 月）           |
| ○場外馬券場の設置はやめてもらいたい。（平成 22 年 8 月）                      |
| ○常設型住民投票条例は「外国人地方参政権」を付与することになるので反対したい。（平成 22 年 12 月） |
| ○人口減少に歯止めをかけてほしい。（平成 25 年 6 月）                        |
| ○町の 20 点を選び 100 年間の街並みの変化を記録してはどうか。（平成 25 年 11 月）     |

⑥その他

各分野以外あるいは複数の分野にまたがったため分類ができない意見は本項（その他）に区分しているが、29件の意見が寄せられている。

|         |      |
|---------|------|
| ⑥ その他   | 29 件 |
| 〔1〕 その他 | 29 件 |

〔1〕 その他

|                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○町民会館のブロックの亀裂を補修してもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                                                                   |
| ○準備のため成人式の開始時間を遅らせてもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                                                                  |
| ○長い住居表示は短くしてもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                                                                         |
| ○元狭山地域の地名を整備してもらいたい。（平成 22 年 4 月）                                                                                       |
| ○町営墓地をつくってもらいたい。（平成 22 年 5 月）                                                                                           |
| ○駅西区画整理事業を進める上で通行者を誘導する立看板を設置してもらいたい。（平成 22 年 6 月）                                                                      |
| ○成人式が荒れないようにしてもらいたい。（平成 22 年 8 月）                                                                                       |
| ○大震災の被災者を受け入れてもらいたい。（平成 23 年 3 月）                                                                                       |
| ○大規模な災害が発生した時は、リタイアした職員等でカンパを募ることをしてみてもどうか。（平成 23 年 3 月）                                                                |
| ○役所からの手紙の住所に「大字」がついていたが、大字はつかないはずなので正しく記入していただきたい。（平成 23 年 4 月）                                                         |
| ○任期中の議員の仕事内容がわかるようにしてもらいたい。（平成 23 年 4 月）                                                                                |
| ○瑞穂町を瑞穂市にってもらいたい。（平成 23 年 10 月）                                                                                         |
| ○葬儀場の拾骨で、担当がまるで楽しんでいるかのような延々と色々語っているのはやめてもらいたい。（平成 23 年 11 月）                                                           |
| ○町議会便りでは、議員の賛否についての簡単な理由を添付してもらいたい。（平成 24 年 2 月）                                                                        |
| ○住所を短くしてもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                                                                             |
| ○被災地域から女性を受け入れ、瑞穂に嫁いでくれるような機会をつくってもらいたい。（平成 24 年 4 月）                                                                   |
| ○町名や地区名が分かる地図を作成して欲しい。（平成 24 年 5 月）                                                                                     |
| ○グリーンピア津南の利用に補助をして欲しい。（平成 24 年 6 月）                                                                                     |
| ○瑞穂町を発展させ瑞穂市にってもらいたい。（平成 24 年 11 月）                                                                                     |
| ○町民が町外の施設を利用するときに補助金を出してほしい。（平成 25 年 4 月）                                                                               |
| ○瑞穂斎場内のある〇〇は雇用主の暴力がひどい。人生終焉の場にふさわしくない。（平成 25 年 4 月）                                                                     |
| ○住所が長いので短くしてほしい。（平成 25 年 11 月）                                                                                          |
| ○日本に米軍基地は本当に必要でしょうか。（平成 26 年 1 月）                                                                                       |
| ○都知事選時の投票所付近の雪対策が後手にまわったのではないかと。（平成 26 年 2 月）                                                                           |
| ○都知事選の低投票率について①今回の選挙に於ける投票率アップの対応（具体的に） ②今回の最低投票率についての見解（原因は何だったのか？） ③今後の投票率アップに対する具体策。について、明確なお答えをいただきたい。（平成 26 年 2 月） |
| ○除雪作業の優先順位を知りたいので教えてほしい。（平成 26 年 2 月）                                                                                   |
| ○選挙投票所人員を半分に減らしてよいと思います。（平成 26 年 2 月）                                                                                   |
| ○ご当地ナンバー（瑞穂）をできれば検討してもらいたい。（平成 23 年 1 月）                                                                                |
| ○子どもたちが道路でなく公園で遊ぶように指導してもらいたい。（平成 22 年 2 月）                                                                             |

---

## 第 7 章 職員意見

---



## 1. 提案された施策・事業等

第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画に盛り込むべき施策や事業について、平成26年9月に職員に意見を求めたところ、9人から以下の提案が上げられた。（※なお、提案者名及び所属部署は掲載しない。）

| 施策分野名                               | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全・安心                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁用車へのドライブレコーダーの設置<br/>庁用車へ設置し、抑止力と同時に、犯罪発生後の犯人確認に活用してはどうか。</li> </ul>                                                                                                                                                        |
| 高齢者福祉<br>安全・安心<br>環境美化              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当者以外の職員による定期的な見廻り活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者宅の雨戸等の開閉状況</li> <li>○ 不法投棄</li> <li>○ 子どもたちの動向</li> <li>○ 不審者情報の連続発生場所</li> </ul> </li> </ul> <p>情報を共有することで、担当者によるきめの細かい見回りができるようになるのではないかな。</p>            |
| 学校教育<br>道路<br>上下水道<br>スポーツ・レクリエーション | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設、インフラの老朽化<br/>道路や上下水道、公園、学校等の公共施設を含めたインフラが老朽化し、今後改修や更新等を一挙に行うことが必要になり、多額の費用がかかることが予想されるので、インフラの選択と集中を行うとともに、他市町村との広域的な共同利用の検討が必要ではないかな。</li> </ul>                                                                       |
| 障がい者福祉<br>高齢者福祉<br>公共交通             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉バスとデマンド型旅客による複合型交通システムの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援（固定）</li> <li>○ 特別支援（通級）</li> <li>○ 障がい者移動支援</li> <li>○ 高齢者移動支援</li> <li>○ 福生病院送迎</li> <li>○ デマンドシステムの開発</li> <li>○ 運行情報システム</li> </ul> </li> </ul> |
| 高齢者福祉<br>公共交通                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉バスの一般開放<br/>現在町内の福祉施設を巡回している福祉バスを、一般の町民にも開放する等、町内の巡回バスとして活用することを提案する。町内の移動の利便性を高めることができるかと考える。</li> </ul>                                                                                                                  |
| 地域協働                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワーク・ライフ・バランスの推進<br/>女性の社会進出を推進するため、具体的内容としては、町女性職員等の活躍の促進、町内企業における女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進等である。</li> </ul>                                                                                                                    |

| 施策分野名                  | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ごみ・し尿                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物処理基本計画について</li> </ul> <p>基本的には後期計画においてもこの項目を継続していくことになるものと考えられるが、西多摩衛生組合構成市町のごみ処理の合理化、一元化に向けた、より具体的な記述が必要になることも考えられるため、当該計画の見直しの内容を考慮する必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 生涯学習                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書活動推進計画の推進</li> <li>・貸し出し体制の充実</li> <li>・図書館施設の充実</li> <li>・読書活動の推進</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 循環型社会<br>スポーツ・レクリエーション | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画の改訂について</li> </ul> <p>環境基本計画改訂状況等の情報共有が図れるよう体制を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都オリンピック・パラリンピックについて</li> </ul> <p>東京オリンピック・パラリンピック開催に関連した環境配慮への町民の意識啓発に関する項目について、設ける必要があると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水・緑と観光を繋ぐ回廊計画について</li> </ul> <p>水・緑と観光を繋ぐ回廊計画と第4次瑞穂町長期総合計画（後期基本計画）をどのように整合させていくか、また、オリンピック大会後の開催都市周辺への海外からの観光客が著しく増加するため、日本独特の文化等を生かした「エコツーリズム」等の推進が有効である。</p> |
| スポーツ・レクリエーション          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設の充実</li> </ul> <p>スポーツ施設の適切な維持管理と計画的な改修が必要である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 学校教育                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化</li> </ul> <p>施設の老朽化が進んでおり、給食センターの施設運営について検討する必要があるのではないか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

## 瑞穂町基礎調査報告書

～「第4次瑞穂町長期総合計画後期基本計画」策定に向けて～

---

|       |                                                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 発 行 日 | 平成27年3月                                                                             |
| 発 行   | 瑞穂町 企画部 企画課 企画係                                                                     |
|       | 〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎 2335 番地                                                  |
|       | TEL 042-557-0501（代表）                                                                |
|       | URL <a href="http://www.town.mizuho.tokyo.jp/">http://www.town.mizuho.tokyo.jp/</a> |